

生活を支援する居宅サービスの受給に適した  
住宅の事例収集・分析業務

報告書  
(工夫事例編)

生活を支援する居宅サービスの受給に適した  
住宅の工夫事例集

平成25年3月

(株)市浦ハウジング&プランニング



## 生活を支援する居宅サービスの受給に適した住宅の工夫事例集 目次

＊各事例のページ番号は、下表の右列に示す。

＊各事例の事例番号及び通し番号は、調査票（事例シート）の1ページ目左肩に伏す。

事例 番号 ／ NO	通し 番号	事例 名称	対象者 状況	カテゴリータイプ								更新 手法	対象者	認知症の 有無 ○症状有 ☆工夫有	代表 事例 ● ヒアリン グ	事例集 ページ 番号
				1. 対象者の居室との関係			2. 移動の円滑化や生活支援			3. 水廻りに 限定した 生活支援	4. その他					
				1-① 玄関 近接	1-② 居間 近接	1-③ トイレ 近接	2-① 移動のみ	2-② 移動+α								
1	36	H邸	A		○							新築・建替	障害者		1	事例－1
2	4	M邸	A		○							新築・建替	障害者			事例－9
3	26	K邸	A		○							新築・建替	障害者			事例－17
4	48	H邸	A		○							新築・建替	障害者			事例－25
5	79	N邸	A		○							新築・建替	障害者			事例－33
6	96	Y邸	A		○							改修・増築	高齢障害者			事例－41
7	14	Y邸	A		○							改修・増築	障害者			事例－49
8	82	T邸	A						○			改修・増築	高齢障害者		2	事例－59
9	45	T邸	A						○			改修・増築	障害者			事例－67
10	11	T邸	A							○		新築・建替	障害者			事例－73
11	95	T邸	A								○	改修・増築	障害者			事例－81
12	62	H邸	B I	○								新築・建替	障害者		3	事例－89
13	54	U邸	B I	○								改修・増築	高齢障害者			事例－95
14	10	T邸	B I		○							新築・建替	障害者			事例－105
15	6	NE邸	B I		○							改修・増築	障害者			事例－113
16	44	T邸	B I		○							改修・増築	障害者			事例－121
17	58	S邸	B I				○					新築・建替	高齢障害者			事例－129
18	119	ケア－C－2	B I						○			改修・増築	高齢障害者			事例－137
19	5	I邸	B I				○					改修・増築	障害者			事例－143
20	49	I邸	B I						○			改修・増築	障害者		4	事例－151
21	9	H邸	B I							○		改修・増築	障害者		5	事例－161
22	101	S邸	B I								○	改修・増築	障害者		6	事例－169
23	13	K邸	B II	○								新築・建替	高齢者			事例－177
24	1	U邸	B II	○								新築・建替	高齢障害者	○		事例－185
25	73	N邸	B II	○								改修・増築	高齢障害者			事例－191
26	29	K邸	B II		○							新築・建替	高齢障害者		7	事例－201
27	12	G邸	B II		○							新築・建替	高齢者	☆		事例－209
28	7	NY邸	B II		○							改修・増築	障害者			事例－215
29	59	T邸	B II		○							改修・増築	障害者			事例－223
30	16	S邸	B II				○					改修・増築	高齢障害者	☆		事例－233
31	38	M邸	B II				○					改修・増築	高齢障害者		8	事例－241
32	93	M邸	B II				○					改修・増築	障害者			事例－249
33	100	N邸	B II				○					改修・増築	障害者			事例－255
34	63	Y邸	B II						○			改修・増築	高齢者	○		事例－263
35	86	K邸	B II						○			改修・増築	高齢者			事例－271
36	68	M邸	B II				○					改修・増築	高齢障害者	○		事例－277
37	33	S邸第2期	B II						○			改修・増築	高齢障害者	○		事例－285
38	67	Y邸	B II							○		新築・建替	障害者		9	事例－293
39	57	O邸	B II							○		改修・増築	高齢障害者			事例－301
40	89	YY邸	B II							○		改修・増築	高齢障害者			事例－307
41	15	T邸	B II								○	改修・増築	障害者			事例－315
42	121	外サ－C－1	B II									改修・増築	高齢者		10	事例－323
43	21	K邸	C	○								新築・建替	高齢者			事例－331
44	64	S邸	C	○								新築・建替	高齢者			事例－337
45	31	K邸	C	○								新築・建替	高齢障害者			事例－343
46	34	T邸	C	○								新築・建替	高齢障害者			事例－351
47	56	M邸	C	○								新築・建替	高齢障害者			事例－357
48	90	O邸	C	○								新築・建替	高齢障害者			事例－361
49	19	F邸	C	○								改修・増築	高齢者			事例－367
50	41	Hi邸	C	○								改修・増築	高齢者			事例－373
51	87	S邸	C	○								改修・増築	高齢者			事例－381
52	35	N邸	C	○								改修・増築	高齢者		11	事例－389
53	106	M邸	C	○								改修・増築	高齢者			事例－395
54	60	K邸	C	○								改修・増築	高齢者		12	事例－403
55	8	O邸	C	○								改修・増築	高齢障害者			事例－409
56	17	U邸	C	○								改修・増築	高齢障害者	○		事例－417
57	120	ケア－C－3	C	○								改修・増築	不明			事例－425
58	25	A邸	C		○							新築・建替	高齢者			事例－433
59	20	S邸	C		○							新築・建替	高齢者		13	事例－439
60	69	H邸	C		○							新築・建替	高齢者			事例－445

事例 番号 ／ N O	通し 番号	事例 名称	対象者 状況	カテゴリータイプ								更新 手法	対象者	認知症の 有無 ○症状有 ☆工夫有	代表 事例 ● ヒアリン グ	事例集 ページ 番号	
				1. 対象者の居室との関係			2. 移動の円滑化や生活支援				3. 水廻りに 限定した 生活支援						4. その他
				1-①	1-②	1-③	2-① 移動のみ	2-② 移動+α									
				玄関 近接	居間 近接	トイレ 近接	屋内移 動のみ	屋内外 移動	屋内移 動のみ	屋内外 移動							
61	71	J邸	C		○								新築・建替	高齢者		事例-451	
62	22	Y邸	C		○								新築・建替	高齢者	☆	14● 事例-459	
63	50	Y邸	C		○								改修・増築	高齢者		事例-467	
64	83	IN邸	C		○								改修・増築	高齢者		事例-475	
65	109	支-A-3	C		○								改修・増築	高齢者		事例-483	
66	113	備-A-2	C		○								改修・増築	高齢者		事例-491	
67	114	備-A-3	C		○								改修・増築	高齢者		事例-499	
68	115	備-A-4	C		○								改修・増築	高齢者		事例-507	
69	116	ケア-A-1	C		○								改修・増築	高齢者		事例-515	
70	111	支-B-2	C		○								改修・増築	障害者		事例-521	
71	42	Y邸	C			○							新築・建替	高齢者		事例-529	
72	65	F邸	C			○							新築・建替	高齢者	○	事例-535	
73	85	N邸	C			○							新築・建替	高齢者		事例-541	
74	72	S邸	C			○							新築・建替	高齢者	☆	事例-547	
75	39	F邸	C			○							改修・増築	高齢者	○	事例-555	
76	97	N邸	C			○							改修・増築	高齢者		事例-563	
77	107	支-A-1	C			○							改修・増築	高齢者		事例-571	
78	27	I邸	C			○							改修・増築	高齢者	☆	15● 事例-577	
79	112	支-C-1	C			○							改修・増築	高齢者		事例-585	
80	117	ケア-B-1	C			○							改修・増築	高齢者		事例-593	
81	77	S邸	C			○							改修・増築	障害者		事例-599	
82	98	N邸	C				○						改修・増築	高齢障害者		事例-607	
83	74	H邸	C					○					改修・増築	高齢者		事例-615	
84	80	E邸	C					○					改修・増築	高齢者		事例-621	
85	2	A邸	C					○					改修・増築	高齢障害者		事例-627	
86	47	S邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-635	
87	51	N邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-643	
88	52	T邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-651	
89	53	T邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-657	
90	55	T邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-665	
91	81	I邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-671	
92	91	T邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-679	
93	99	M邸	C						○				改修・増築	高齢者		事例-685	
94	104	T邸	C						○				改修・増築	高齢者	○	事例-693	
95	43	M邸	C						○				改修・増築	高齢障害者	☆	事例-699	
96	37	K邸	C						○				改修・増築	高齢障害者		事例-707	
97	28	I邸	C							○			改修・増築	高齢者		事例-717	
98	30	M邸	C							○			改修・増築	高齢者		事例-725	
99	40	K邸	C							○			改修・増築	高齢者		事例-731	
100	75	I邸	C							○			改修・増築	高齢者	○	16 事例-737	
101	92	H邸	C							○			改修・増築	高齢者		事例-745	
102	32	S邸第1期	C							○			改修・増築	高齢障害者		事例-751	
103	61	Is邸	C							○			改修・増築	高齢障害者		事例-759	
104	66	K邸	C							○			改修・増築	高齢障害者		事例-769	
105	24	T邸	C							○			改修・増築	障害者		事例-779	
106	88	T邸	C								○		改修・増築	高齢者	○	事例-787	
107	108	支-A-2	C								○		改修・増築	高齢者		事例-793	
108	46	A邸	C								○		改修・増築	障害者		事例-801	
109	110	支-A-4	C									○	改修・増築	高齢者		事例-805	
110	118	ケア-C-1	C									○	改修・増築	高齢者		事例-811	
111	94	I邸	D	○									改修・増築	高齢者		事例-819	
112	84	K邸	D		○								新築・建替	高齢障害者		事例-825	
113	3	M邸	D		○								改修・増築	障害者	17●	事例-833	
114	23	H邸	D			○							改修・増築	障害者		事例-843	
115	103	M邸	D					○					改修・増築	障害者		事例-851	
116	18	S邸	D						○				改修・増築	障害者		事例-859	
117	70	S邸	D						○				改修・増築	障害者		事例-867	
118	78	H邸	D							○			改修・増築	障害者		事例-875	



1(036)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H 邸	事例所在地	滋賀県彦根市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	快適な空間の中   生活が出来ること。 畳の生活も希望された。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	94.66 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	H22 年／概ね 2.400 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		ダイニング
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 59 歳／ ■男 □女 家族 妻 45 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■自立支援法 障害区分 6区分
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	身体障害あり (身体障害・1級)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	先天性 脳性マヒ
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（          無し・病院は投薬のみ          ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（          ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり ■スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 ■ポータブルトイレ ■その他（ 入浴介護用リフト          ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	新築なので快適な、開放的な空間がほしい。 奥様やヘルパーが調理しているのを見たいし食品の管理もしたい。	押入や納戸を除くすべての部屋
2	介護に必要なスペース（ヘルパーなど自由に入出りできる）と完全なプライベート空間を分けてほしい。	書斎をプライベート空間
3	畳の上でごろりとしたいし、介護者の見守りの就寝場所にもなるように。	和室・寝室
4	内部・外部を問わず出入りをスムーズに。	各室の開口
5	便所や洗面室の汚れ物をダイニングを通らず洗濯室に運びたい。 洗面は	便所・洗面・浴室・洗濯室
6	浴室は入浴介護用リフトを取り付けたい。洗い場の寸法を 1400 欲しい。	浴室
7	来客の対応がベット上でもできるよう 車椅子の汚れを洗浄できる設備。スロープやデッキも木製に。 自動車に車椅子を載せやすい外構計画	外構・寝室

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

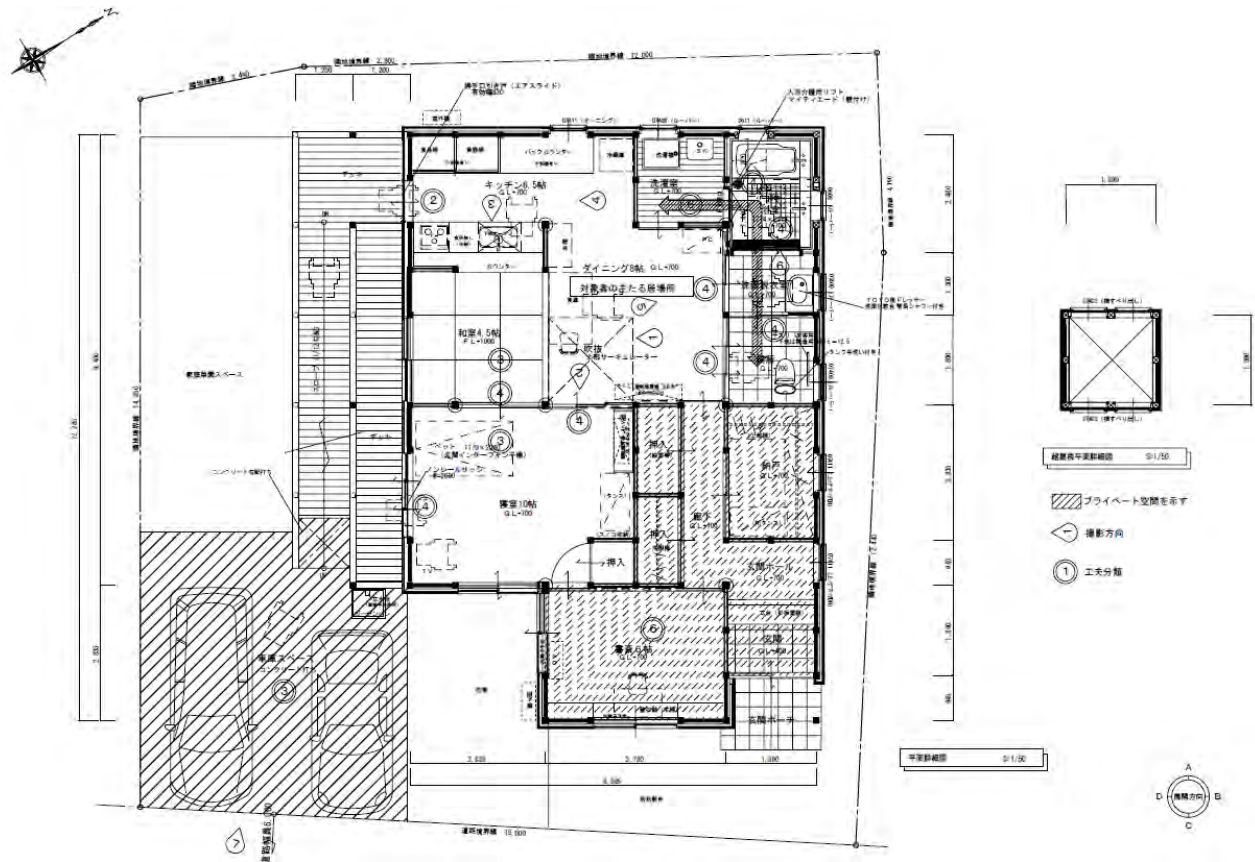
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	全室	採光や調湿、通風などを考慮して木造、越屋根付きの母屋や梁、柱あらかわしの大空間とした。また平屋であるため隣家の日影などを図面化して検討した。	⑥
2	全室	書斎を主にプライベート室とし、ヘルパーさんにも入れない空間を確保。しかし寝室とは隣接する配置となっている。 玄関は近所の方や健常者の訪問のために通常の広さで確保している。	⑥
3	和室・寝室	陽だまりのスペースを和室とした。この和室の床高さを一般床高より300上げた。移乗には低いが生活者の動線や動きも考慮した寸法とした。和室を寝室に併設することにより介護者が就寝場所にすることができ常にお互い安心して眠れる。	③
4	寝室・便所・洗面・浴室・キッチン	内部は寝室・浴室・便所は3本引き戸とし、2本引きでも有効800は確保。寝室からデッキへも3本引きとした。またキッチンから出入する方が施鍵の点からも簡単なのでこの開放寸法も830の有効を確保した。	① ③
5	洗濯室・浴室・洗面・便所	便所・洗面・浴室を通り抜け洗濯室にも行けるよう、各部屋2～3方向の開口を作った。このことにより来客中でも直にトイレのドアを開けずにすむし、浴室の介助も追加のドアで活用できる。 いろいろ便利な活用がなされている。	② ④
6	浴室	入浴介護リフト設置。ユニットバスではあるが洗い場の寸法も確保	③
7	外構	内部床材が杉材であるため少しでも車椅子タイヤに石などや汚れを持ちこまないようスロープの横に水栓を設置。	③
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ダイニングから和室方向	②	寝室から書斎方向
			
③	キッチンから寝室方向	④	キッチンから外部出口方向
			

④	ダイニングから便所・洗面・洗濯室方向	⑤	洗面から浴室方向
			
⑥	道路から駐車場・スロープ・デッキ方向	⑦	
			



## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

設計上のポイントとしては、一般の生活者より住居におられ、ペット生活も長いのですからまずは快適な空間を！と話されました。

奥様も住宅の住み心地に関して熱心な方で、私どもの勉強会に顔を出され、地産地消の地元の材を使った住宅づくりから調湿や通風、採光など最も住まうのに大切なところから話が始まりました。

私も滋賀の女性部会で20年前から作業療法士のかたなどから障害者の住まいづくりの話は勉強してきましたので、この住宅計画にすんなり当てはまった状態でした。

なかなか改修だと出来ないことも新築だと上手くいき、特に梁などアラワシにしたことで将来リフト走行や天井吊りでも下地が見えているので費用をかけず出来ると思っております。

絵を描くことを趣味や生きがいとされており、大きな壁面は作品で埋められるようになっております。丸2年が経過し心地よさを、たまにお便り頂きます。設計者としても有難いことです。





2(004)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	北海道江別市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック(複数可)した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	197.50 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 23 年／概ね 3,000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		127.73 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	25 歳／ ■男 □女
		家族	父 63 歳、母 58 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( 障害あり 1 級 )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	頸、胸髄損傷による体幹機能障害	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（エレベーター、車いす対応車両）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	対象者ができるだけ車いすで移動可能にするため	エレベーター、スロープ
2	介助者の介助負担の軽減をするため	浴室、寝室
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	狭さと段差で車いすでは外出できない
2	浴室	狭く介助ができない
3	寝室	和室のため、介護ベッドが入らない
4	台所	台所から見守りができない間取り
5	建物全体	築 35 年で改修では不可能
6		

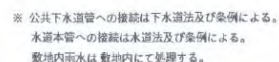
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居間・寝室	日中はオープンにし、対象者の状況が見守りやすい繋がりとした	②
2	台所・食堂	対面キッチンと広めのカウンターで食事の介助をしやすいとした	④
3	居間	外出は、居間から直接出られるよう段差の無い開口部を付け、ベランダからスロープ、アプローチとつなげた	①
4	エレベーター	2階にも移動できるようエレベーターと、広いホールをつけた	④
5	車庫	車いす対応車両から風除室を通りエレベーターで直接居間に入れるようにした	①
6	浴室	全介助のため、ストレッチャー付浴槽を導入しベッドから移乗しやすく、介助が楽になり寒さ対応の暖房換気を設置	③
7	アプローチ、敷地内	リハビリのため、建物の周りをアスファルト・コンクリート舗装した	④
8			

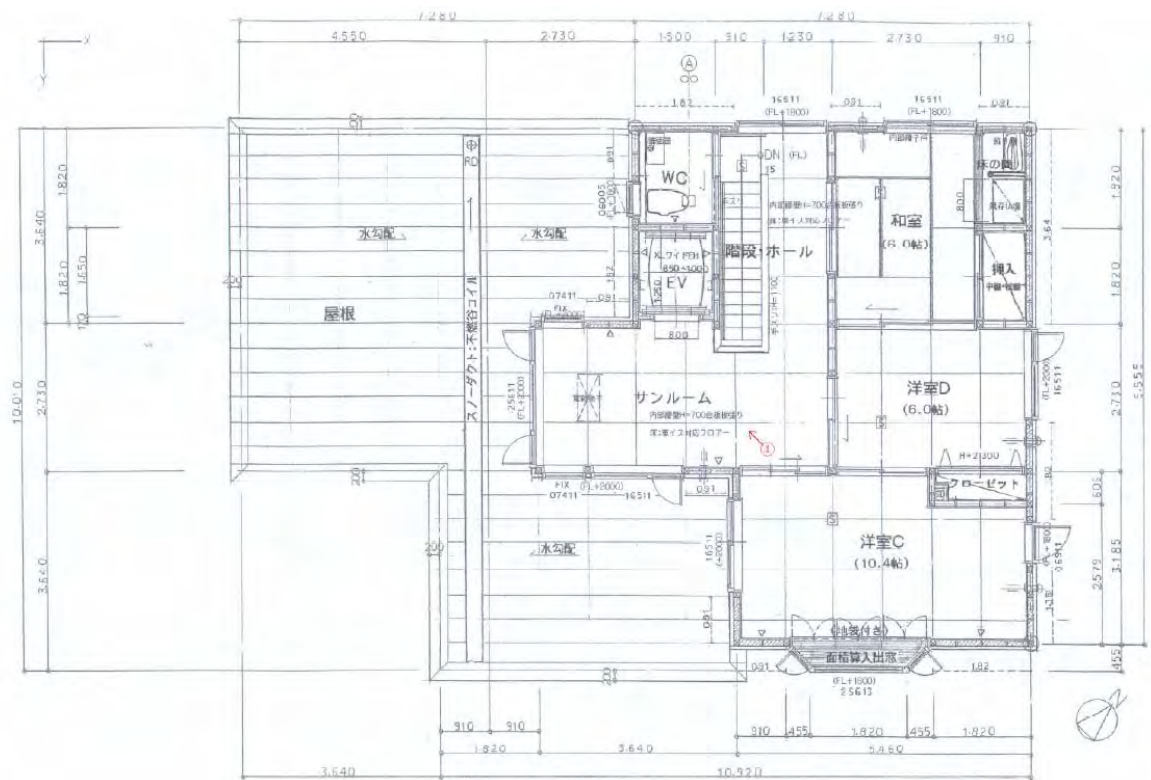
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

### ◆配置図

[illegible]

◆ 2階平面図



筋カイ：総壁量が建築基準法施行令第46条による必要壁量の1.1倍以上にて設計配置する

(床仕上材下地板：構造用合板 $t=12 \cdot N50$ 釘@150以内)

\* FL+2000はサッシ内寸法上端位置を示す



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	スロープ	②	カーポート
			
③	1Fエレベーター	④	2Fエレベーターホール
			
⑤	ダイニングキッチン	⑥	廊下～対象者寝室、リビング
			

⑦ 対象者寝室～浴室	⑧ 対象者寝室～ダイニングキッチン
	
⑨ 対象者専用浴室	⑩ 対象者専用浴室
	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

長期入院をされていた対象者のために、家族との生活を取り戻し、両親の介護やヘルパーの介助を受けながらこれからの生活をいかに快適にするかが一番の目的です。若い対象者が意欲的になるよう、間取りと移動方法を検討した。特殊な電動車椅子で自力で屋内外をリハビリを兼ねて自由に移動できることと、日常生活動作は全介助のため、介助しやすく、どこからも見守りしやすいように各室のつながりを重視した。



3(026)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K 邸	事例所在地	新潟県新潟市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者と介護者の動線ををシンプルにする為に廊下の概念を無くした。</li> <li>・すべての出入口の幅を広く確保した。</li> <li>・寝たきりの対象者に通風と採光と景観を充分配慮した。</li> </ul>

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	129.04 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2009（平成 21 年）／概ね 2.200 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター ■その他（対象者の補保育園教諭）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者 5 歳／ ■男 □女 家族 父 36 歳、母 36 歳、姉 7 歳、妹 0 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 ■その他 姉 ）
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	身体障害有り （身体障害者手帳 1 級 療育手帳 A）
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	水頭症 先天性疾患有り
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■全介助 □用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用 ■抱きかかえ移動）

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input checked="" type="checkbox"/> その他（養護学校への通学）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input checked="" type="checkbox"/> その他（障害者施設のリハビリ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（   ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	《家族みんなで育つ家づくり》をコンセプトに、先天性障がい（寝たきり）のある子供が、他の姉妹二人と隔てなく家族5人が普通であることの幸せを感じながらずっと心地よく暮らせること。	玄関前アプローチ（カーポート）を含む1階居住部分全て
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

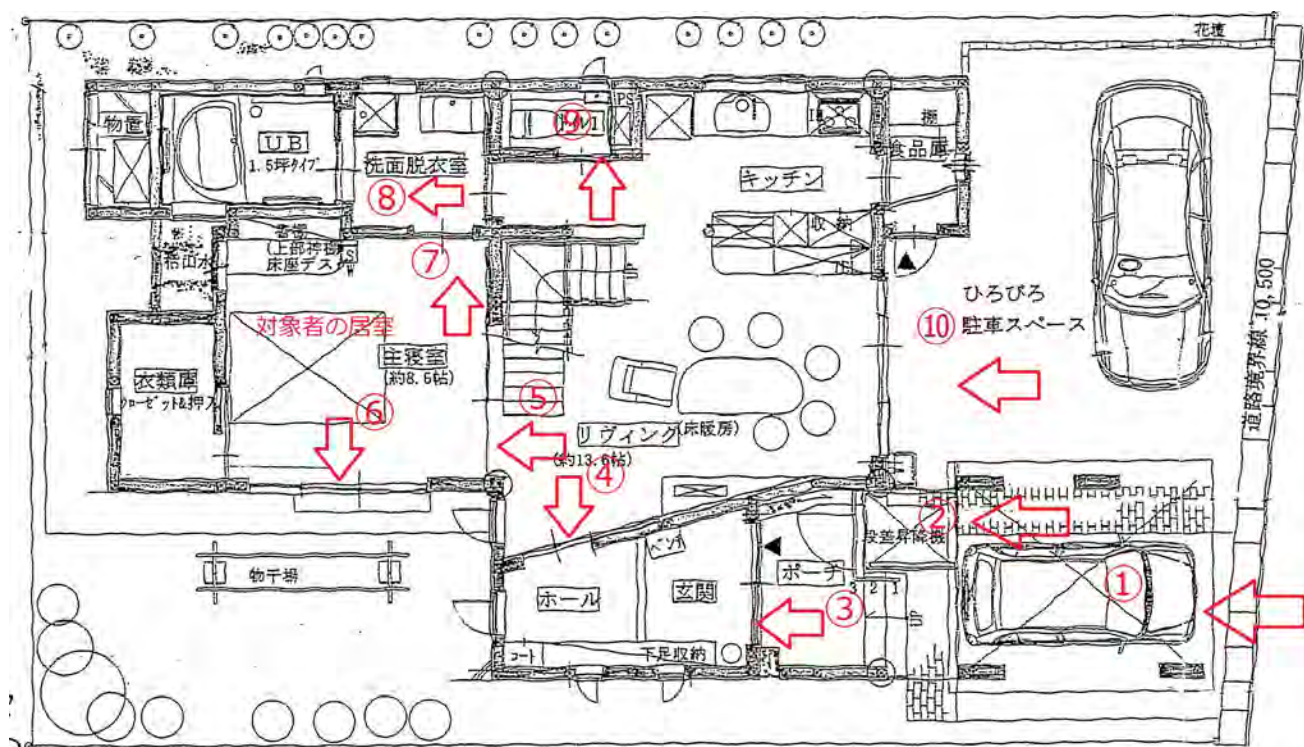
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	カーポート	障がいのある子供と車から玄関まで雨に濡れずに入れるように、軒先と重なりを持たせて設置した。	①
2	段差解消機	ポーチ階段の家族と一緒に並んで上がれる安全な段差解消機。	①
3	ポーチ～玄関	ポーチと玄関をフラットにし、上がり框を9 cmに抑えスロープなしでホールにあがれる。	①
4	リビング 幅広引戸	抱きかかえたまま壁にぶつからずに移動できる。	①
5	リビング～寝室 三枚引戸	リビングと対象者の居室を一体化させ疎外感を無くし見守りできるようにした。	⑥
6	寝室からの掃出し窓（避難時対応）	寝たきりの対象者に採光と通風を考慮し、庭を眺められるように配慮した。又、緊急時の避難出入口として使用できる。	⑥
7	寝室から脱衣室	対象者をお風呂に入れる際、寝室で衣服を脱がせそのまま脱衣室から浴室へ抱いて入れるように動線に配慮した。	⑥
8	ユニットバス 1.5 坪	対象者を抱いたまま入浴し、洗い場に寝かせて洗体するため広さを充分確保した。	⑥
9	トイレの汚物収納スペース	おむつや汚物を一時的に処理できるように汚物入れバケツを置くスペースを作り、上部にすぐ取り出せるようにおむつ収納庫を設置した。	⑥
10	アプローチから直接入れるリビング大型窓	道路から大型送迎車をアプローチに乗り入れして、大型窓より直接リビングへ楽に入れる。	⑥

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	カーポート	②	段差解消機
			

③ ポーチ～玄関	④ リビング 幅広引戸
	
⑤ リビング～寝室 三枚引戸	⑥ 寝室からの掃出し窓（避難時対応）
	
⑦ 寝室から脱衣室	⑧ ユニットバス 1.5 坪
	



⑨	トイレの汚物収納スペース	⑩	アプローチから直接入れるリビング大型窓
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

柱を建てずに2階バルコニーを大きく跳ねだして屋根部分を作り、玄関アプローチ及び駐車場スペースでの移動や介助が快適にできるように工夫した。





## 4(048)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称（建築主等のイニシャルで事例名称をご回答下さい。）

事例名称	H邸	事例所在地	岡山県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築（母屋と廊下で繋いだので建築的には増築になるのかもしれませんが新築扱いにしました）
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 </div> <hr/> <div> <input checked="" type="checkbox"/>その他（ 防災に備える工夫 ） </div>
主たる工夫のポイント 寒冷な場所であり、当事者である子供さんは植物的な状態になり体温調整がむづかしい  家族の見守りが必要  当事者を自宅で風呂に入りたい	<p>自立循環の基礎の作り方を応用して地熱を利用し、ヒュッグ（ベットの部屋）に北のトップライトの光を取り入れ、南北の風が良く通るようにして 機会的な調節をなるべくしないで自然の恵みを利用できる設計とした 調湿性に優れた珪藻土を使用した</p> <p>どこにいても見守りができる間取りとし、母屋の廊下へも繋いで祖父母の協力を得られるようにした</p> <p>入浴介護を楽にするため、浴室は当事者専用にしてヒュッグに隣接させ、走</p>

との希望	<p>行リフトを使って素早く安全に移動できるようにした 家族は母屋の風呂へ入る</p> <p>浴槽は周りから複数の手で、立った状態で介護できるように簡易浴槽にし、浴室内で1回転できるようにした</p> <p>蛇口は湯の入れ替えが早くできるように2箇所取り付け付けた</p> <p>これらの工夫で看護師・ヘルパー・母親で介護し30分ほどで入浴できる汚れたものもすぐ洗濯ができるように 洗濯機を浴室に設置した</p>
昼間は車椅子で過ごし、病院などの外出もする	<p>走行リフトをつけることで寝ている状態から楽に車椅子に移動できる</p> <p>車椅子で外出する時はリビングからすぐに外へ出てスロープで車までいけるようにした スロープは軒の出がある外壁の周りを回ることにした</p>
走行リフトで入浴のときにもスリングを使う	<p>スリングに関して熟練したOTの方に来ていただき、使い方や材質、サイズ、用途などの指導を仰いだ リフトとスリングの関係、特に入浴時濡れた場合や外出時の使い方や注意を家族や業者や介護していただく方とともに体験をした</p>
緊急の場合に素早く外へ出られるようにした	<p>走行リフトのレールを家の外まで伸ばして、スリングに乗ったまま外に出ってから車椅子に降りることができるようにした 荷重はメーカーで安全を確認した</p>
建具とリフトのレールの取り合い	<p>特に外部へのレールの張り出しについては、切り取った建具の一部を着脱できるようにした</p>
衛生面に留意しなければいけない	<p>外から来た人や訪問介護や訪問看護の人のために、部屋から直接手洗いができるように洗面所にドアをつけずに利用することにした</p>
介護の人が部屋に入りやすくした	<p>介護の人が他の部屋を通らずに当事者のいるリビングへ入れるようにした</p>
家族全員で見守り、福祉も利用できるようにしたい	<p>昼間は車椅子に座り 兄弟も一緒に育つ環境をイメージして設計をした</p>

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	73.3 m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 1,600 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	73.3 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 ■ケアマネジャー ■ホームヘルパー ■保健師 ■看護師 ■医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	7 歳／ ■男 □女
		家族	父、母、弟、祖父母
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 ■その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	植物的な状態	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( 胃ろう )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用 ■走行リフト)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ 通院 ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 ■訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり ■スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ ■その他（ 走行リフト ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家で介護をしたい	
2	訪問介護 訪問入浴 訪問看護を受けたい	
3	通院をしたい	
4	家族全体の中で介護したい いつも見守りができるようにしたい	
5	体温調節がうまくいきづらいので できるだけ自然の状態で身体に良い条件となる住環境にしたい	
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

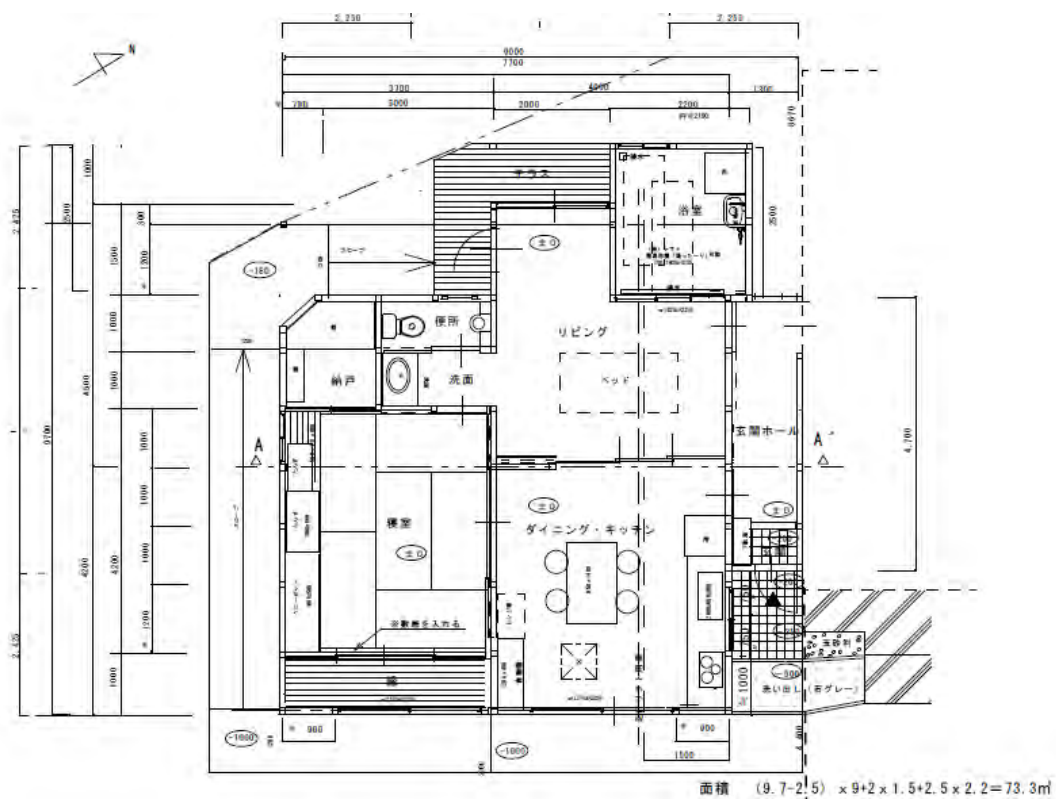
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1			
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	スロープ	②	スロープ登りはじめ
 <p>A photograph of a light-colored house with a dark roof. A concrete ramp leads up to the entrance. A laundry rack with clothes is in the foreground. A date stamp '2008/7/29' is visible in the bottom right corner.</p>		 <p>A photograph showing the side of the house and a concrete ramp. A drainage ditch runs alongside the ramp. A date stamp '2008/3/28' is visible in the bottom left corner.</p>	

③ スロープコーナー	④ 北出入り口
	
⑤ 車椅子出入り口	⑥ スリングベッドからリビングへ
	



⑦	換気口	⑧	走行リフト外部へ
			
⑨	走行リフト外へ	⑩	脱着
			
⑪	レールと窓枠挿入	⑫	レールのみ
			

⑬ スリング外部へ試乗	⑭ 汚物流しと洗濯機
	
⑮ 簡易浴槽	⑯
	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 5(079)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	
------	----	-------	--

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <input type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫             </div> <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（家族の介助がしやすい新築住宅）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	101 m <sup>2</sup> ／2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 1700 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（大学教授、県工業技術センター職員、家具製作会社、義肢装具士）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 歳／ ■男 □女
		家族 父親、母親、兄
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	重度の身体障害 ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> ++車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車椅子用のスロープに庇を設けて車の乗り降り時に雨にぬれにくいような工夫	
2	キッチン是对面式で子供たちに目が届く	
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

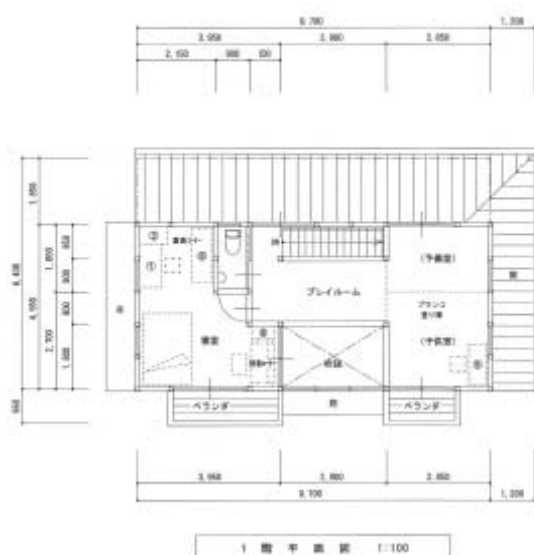
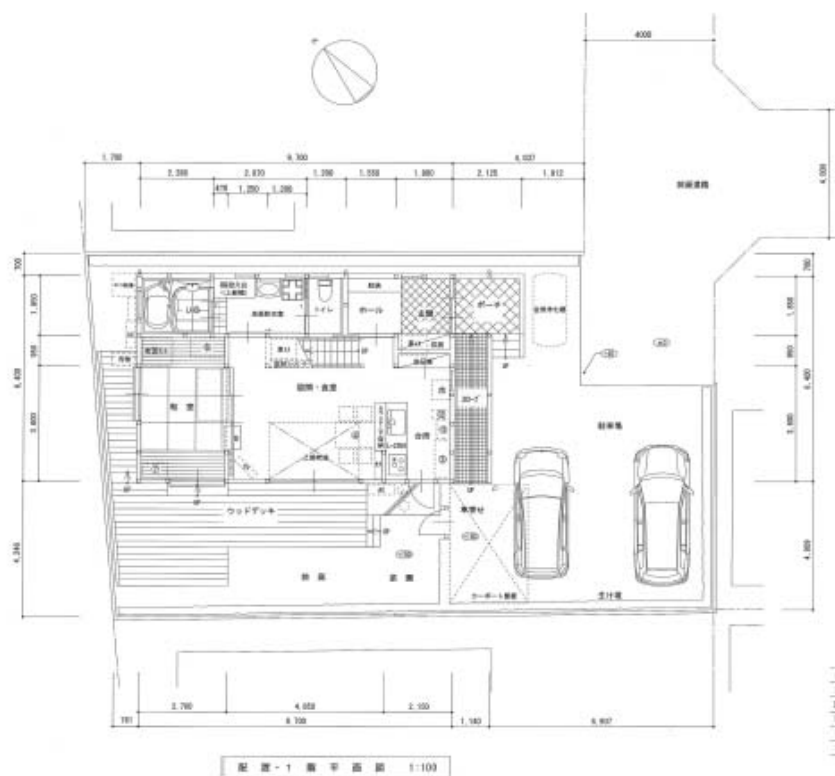
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	駐車場	駐車場から室内まで段差がなく車いすでスムーズに移動できる	③
2	アプローチ	緩やかなスロー設置、脱輪防止立ち上がり、雨に濡れない庇付	③
3	玄関	段差のない3枚引き戸、玄関で室内用の車いすに乗り換え、車いす収納スペース	③
4	扉	各部屋の入口は全て引き戸にし、有効幅1mを確保	③
5	脱衣室	家族が介助しやすい高さの脱衣台を設置、木製の転倒防止柵取り付け	③
6	洗面台	車いす使用時にも使いやすい高さに簡単に変わるレバー付き洗面台を設置	③
7	トイレ	介助スペースを考えた広さを確保	③
8	浴室	家族と一緒に入れ介助がしやすい広めのユニットバス（1.25坪）を設置	③
9	タタミ床	介護がしやすい床高さのタタミの床を設定	③
10	台所	子供の様子がいつでも確認できるよう対面式のキッチン	③
11	ウッドデッキ	段差が無いバリアフリーサッシを取り付け	③

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	スロープ	②	スロープ
			
③	玄関	④	脱衣所（転落防止）
			
⑤	玄関	⑥	敷居
			



<p>⑤ 敷居</p> 	<p>⑦ キッチンから居室</p> 
<p>⑤ 和室</p> 	<p>⑥ 玄関</p> 
<p>⑤ 洗面所</p> 	<p>⑥ トイレ</p> 



⑤ 階段	⑥ 浴室
	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

- メイン動線のアクセシブル（車→スロープ（勾配・幅・脱輪防止・手すり・大きな庇）→玄関（3枚引き戸段差なし・車椅子乗り換え・車椅子収納）→ホール（段差 20mm）→（上げ床H400・転落防止・音の遮断）
- 水回り/便所（様式・汚物流し・ハンドシャワー）、非常呼び出し。
- 将来の天井走行リフト設置に備えて  
設置予定ルート（寝室・トイレ・洗面・浴室）。（電源、レール固定位置の梁郷土の確保）

## 6 (096) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	富山県富山市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（介護者が常に様子がうかがえる工夫）
主たる工夫のポイント	対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	122.55 m <sup>2</sup> ／ 平屋
	工事実施年／工事費用	平成 10 年 ／ 概ね 1,200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	増築部分 14.32 m <sup>2</sup> ／ 改装部分 81.80 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		床面積 96.12 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	65 歳 ／ ■男 □女
		家族	妻 65 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 ■要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		有り (頸椎損傷／四肢体感麻痺)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		先天性疾患無し
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用 □ベッド利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用 □ベッド利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（入院）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 ■訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

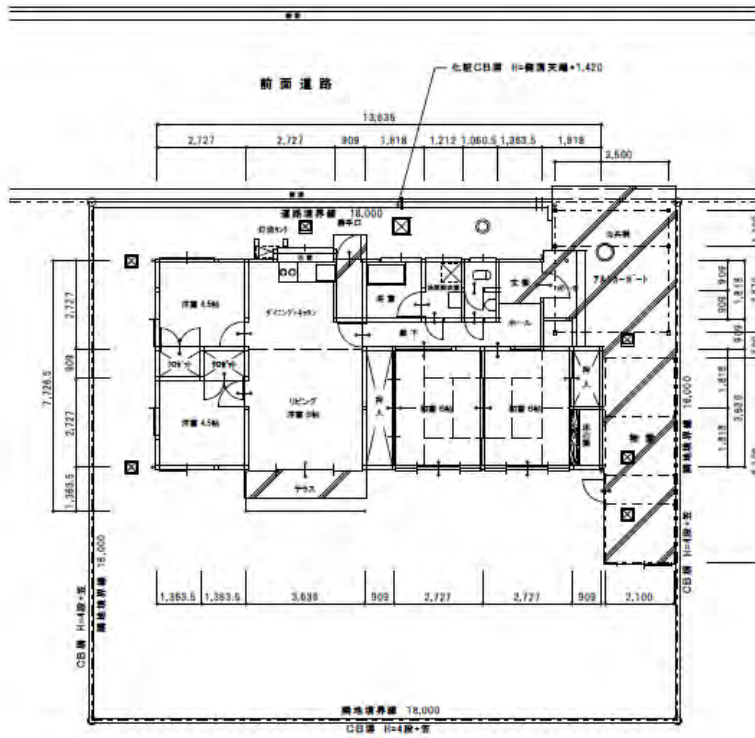
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	外出（通院）を容易にしたい。車への移乗及び雨・雪対策	玄関・アプローチ・カーポート
2	天気の良い日には、外の空気を吸いたい。	デッキ・庭
3	介護者の負担が少なくなるよう考慮して欲しい。	WC・浴室・洗面所
4	室内の温度差を無くす。	寝室・WC・浴室・洗面所 全て
5	入浴時の衣服の脱着スペース及び移動	和室 4.5 帖
6	介護者が常に様子がうかがえる間取り及び開口部の工夫 介護者が庭仕事していても互いに様子がうかがえる。	リビング／キッチン／庭から
7	訪問者への配慮	客用 WC

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	アプローチ・玄関	段差・入口ドア
2	廊下	巾が狭い
3	WC	和式 WC・介助スペースが無い・入口が狭い
4	浴室	入口が狭い・介助スペースが無い
5	洗面所	入口が狭い・車椅子では使用出来ない
6	敷居	各室に全て敷居の段差（30mm 以上）有り
7	建具	開口幅・ドア形状・取手が扱い難い
8		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

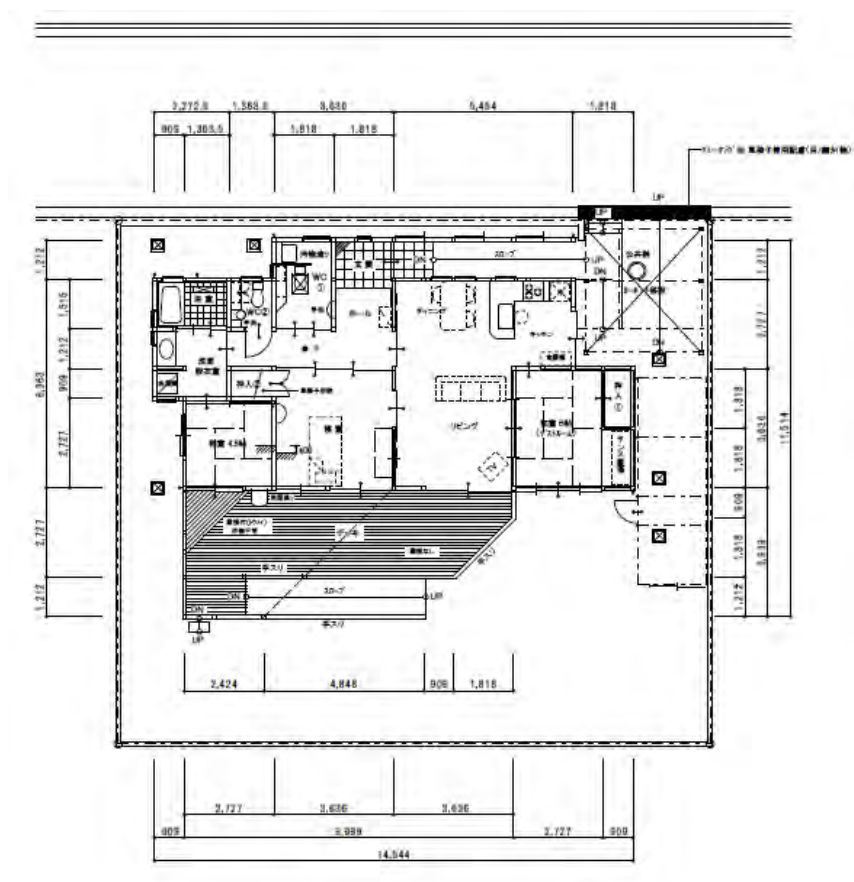
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関・77° ローチ	段差を無くし、室内的アプローチを設けた。（来客者も室内から確認できる）	①②
2	廊下	巾を広くし、移動距離を短くする。	②③
3	和室 4.5 帖 （寝室の横）	入浴の着替えスペース※床高+400 にて車椅子への移乗がし易い。 介護者（仮眠も含む）スペース。 ※ベッド高さがポイント。	③⑤
4	寝室	趣味（本 CD など）の物が見える位置に配置・ベッドのままデッキへ デッキ段差無し ※布団干しを兼ねる事が出来る。 介護者の様子（庭仕事・物干し）が見える。	③④⑤
5	キッチン	台所仕事をしていても互いに様子が見える。	②⑤
6	浴室	取付金具等の位置（高さ等※介助者の使用）配慮。	③④⑤
7	WC①	移動及び介助しやすいスペース・オストメイト対応（本人にも見え 難い位置）。	③④⑤
8	WC②	来客用 WC。	③④
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	アプローチ・玄関	②	玄関
			
③	洗面所	④	脱衣室
			
⑤	便所	⑥	浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	リビング	⑧	寝室
			
⑨	キッチン	⑩	和室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 7(014)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	秋田県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（高齢の両親が介護の負担を軽減できる環境づくり） 高齢のご両親が娘さんの介護を楽にできるよう、生活の場をコンパクトに、また、福祉用具を利用し屋外への出入りを楽にできるスロープを設置。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	992.37 m <sup>2</sup> ／ 平屋建 （副寺寮一部2階建）
	工事実施年／工事費用	約40 年／ 概ね 2,000 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	98.07 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	29 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	父 65 歳、母 62 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り ( <input checked="" type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他)	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		糖尿病による低血糖症による後遺症 脳性マヒ  (1 種 1 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		糖尿病、低血糖	
	* 認知症の有無と状況		<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	A D L の 状況	食事	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)	
屋外		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)		
* 改修・建築後の		有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	

通所系サービスの利用状況	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり ■スロープ（常設） □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（天井走行リフト）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	屋外への出入りを車いすですることができるように	スロープ
2	全介助のため、日中母親が家事をしている時も近くで見守ることができるように、台所と寝室を隣接または近くにしたい。	台所、居間、寝室、サンルーム
3	身体を清潔に保つため入浴させたいが、浴室までの縁側が狭く移動が困難。更に、脱衣室が狭く浴室入り口も狭く段差があるため、床走行リフトを使用しているが、夫婦二人がかりで腰痛をかばいながら恐々介助している。	浴室、居間、洗面所
4	古いお寺の庫裡で、断熱性能も昭和 50 年代の仕様であり、たとえ寝たきりであっても、車いすに移乗させて家族のそばで過ごさせたい。	床、壁、天井断熱仕様、断熱サッシ
5	ベット上の生活でも室内温度と湿度を調整し、風邪やウィルス性疾患などの感染を予防したい。	床暖房、換気
6	夫婦共高齢のため、今後介護期間が長くなると仮定すると、将来は娘さんと一緒に両親とも介護を必要とする時期がくるはず。	スロープ、浴室、トイレ、居間
7		

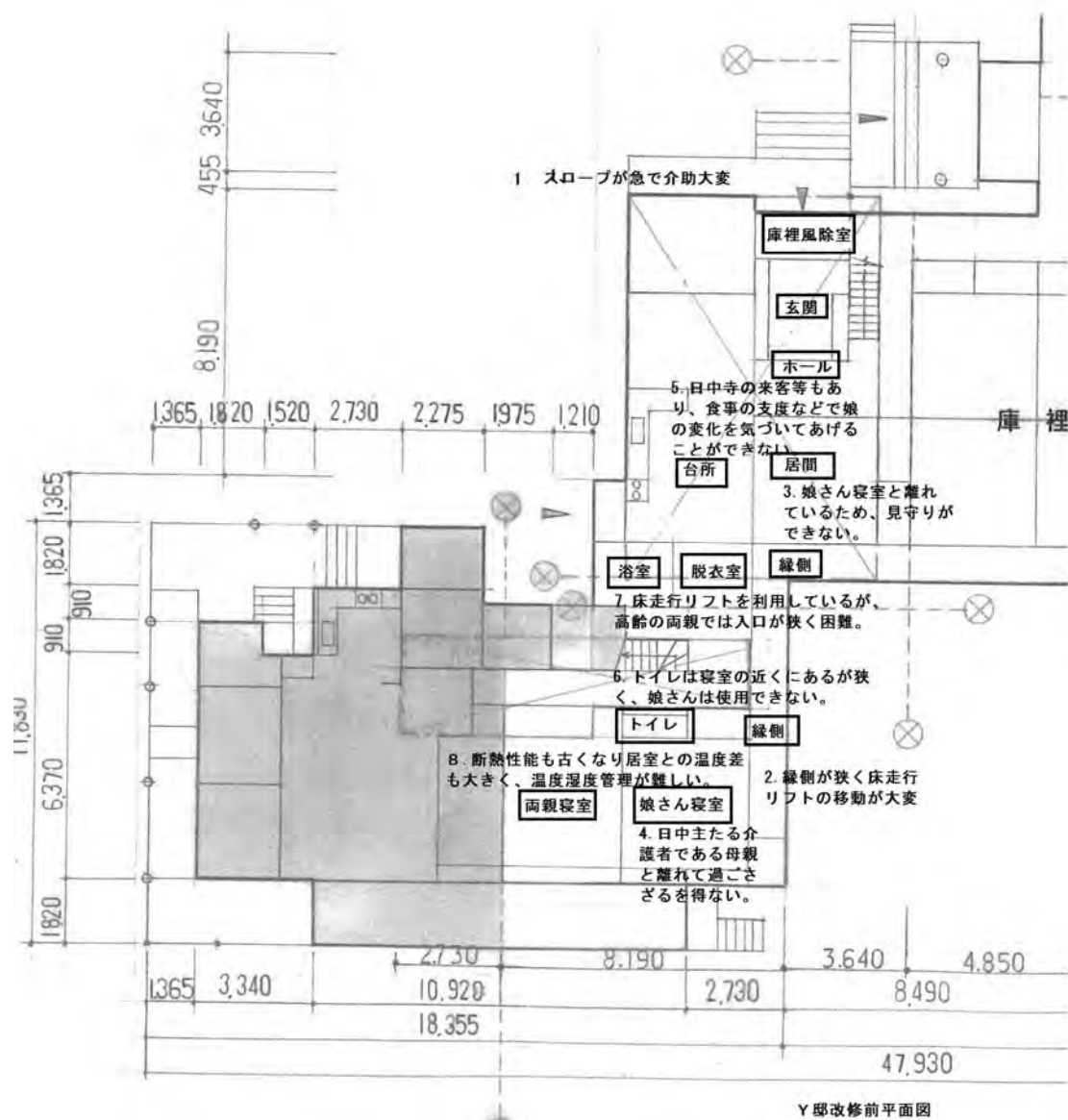


## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	古い寺院の庫裡で、境内から玄関・出入口までの段差が約 1m 以上ある。車椅子で出入りしているが、簡易スロープでは急傾斜となり、介助する側も一苦労。
2	廊下・縁側	廊下・縁側有効巾W=780mm で、車いすはようやく通れるが、床走行リフトを移動で使用するには狭く、介助が難しい。
3	居間	居間と寝室は狭い縁側とつながっているが、日中母親が居間・台所にいて家事作業をしているときは、娘さんの身体状況や変化に気づいてあげられない。
4	寝室	両親の寝室の隣部屋であり、日中は家族から離れた部屋で眠っている。意思疎通はできないが、細かな変化に気づけるよう、常に近くにいられるように。
5	台所	食事療法のため、毎日 3 食 Cal 計算をして健康管理に気をつけている母親は、台所・居間にいる時間が長い（寺院への来客の接待もしている）、離れた寝室で眠っている娘さんを見守ることができないことが心配。
6	トイレ	既存の娘さんの寝室脇にトイレはあるが狭い。利用の主体は両親。
7	浴室	身体を清潔に保つため入浴させたいと、床走行リフトを使用して縁側を移動し、浴室まで移動しているが、縁側が狭く移動が困難。更に、脱衣室が狭く浴室入り口も狭く段差があるため、リフトを使用し夫婦二人がかりで腰痛をかばいながら恐々介助している。限界を感じている。
8	室内温度環境	古いお寺の庫裡で、断熱性能も昭和 50 年代の仕様であり、特に居室と縁側との温度差は大きい。暖房は局所暖房で、温度・湿度管理が難しい。
9		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

◆平面図



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	スロープ	境内より直接出入りできるよう、1mの段差を解消できるスロープを南側サンルームに接続。雨・雪の日も移動を可能にするため屋根を設置。	①④⑤
2	サンルーム	母親の家事作業が常に娘さんが感じ取れるよう、寝室脇南側にサンルームを設置。洗濯物を干すだけでなく、娘さんが日光浴、森林浴ができる空間とする。	①④⑤
3	居間	床ラインを玄関・台所・居間・寝室すべて同一とし、車いすでの生活が楽にできるよう、床暖房仕様のフローリングとし、日中は車いすに移乗して母親の近くで過ごせるようにした。	④⑤
4	寝室	床の仕上げをフローリングとし、車いすでの生活が楽にできるよう、室内の家具を整理し、空間を確保した。（暖房は床暖房を採用し室内を広く有効に利用できる。また、認知症のため暖房等の操作はボイラー室内で親族が管理する。）	③④⑤
5	台所	コンパクトでも機能的に、お料理中でも娘さんを見守り、声を掛けられるよう居間と一体とした。台所と一体であることで、娘さんが食事の支度中の匂いであることを知らせることになる。	③④⑤
6	寝室	長時間車いすに座り続けることも身体に負担がかかるため、体調不良の際ベットに横たわっていても、葉はいやの姿・気配が感じられるよう、居間と一体としてりようできるよう隣接させた。間仕切り壁を閉めることで、プライバシーが保てる。状況によって間仕切り壁を動かすことができる。	③④⑤
7	浴室	入浴介助と介助される当事者共に、負担を軽減するため天井走行リフトを浴室～寝室間に設置。車いすへの移乗においても介護者の腰にかかる負担を軽くできる。浴槽は父親と介護される娘さんが一緒に入れるBIGサイズの特注浴槽とした。	②④⑤
8	室内温度環境	既存住宅に増築したため、高气密工断熱化は困難であるが、暖房空間を間仕切壁で仕切り、居住スペースの暖房効率を高めるため、断熱化、外部サッシはペアガラスとする。	⑥
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

Architectural floor plan of a 1st-floor apartment unit. The plan shows a layout with various rooms including a living area (リビング), dining area (ダイニング), kitchen (キッチン), and bedrooms (寝室). It also includes a bathroom (バス), toilet (トイレ), and a balcony (バルコニー). The plan is detailed with dimensions, room names, and furniture placement. Key features include a large living area with a fireplace, a dining area with a table, a kitchen with a sink and stove, and a bedroom with a bed. The plan also shows a bathroom with a bathtub, a toilet, and a balcony with a railing. The overall layout is efficient and functional, with a clear flow between rooms.

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	既存寺院・庫裡 改修前の玄関前スロープ	②	外部増築部分 玄関出入口・スロープ
			
③	玄関・ポーチ（ご両親＋愛犬）	④	サンルーム
			
⑤	スロープ	⑥	リビング
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	寝室～リビング（両親＋娘）	⑧	リビング～浴室
			
⑨	浴室	⑩	洗面所
			



## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

訪問入浴サービス事業者を経由し、在宅で重度身体障害者の娘さんを介護しているYさんの住宅改修相談が入った。当事者である娘さんは幼少期（低学年）に糖尿病（低血糖）との診断をされ、母親が毎日食事療法を続けてきた。高校卒業後は関東の大学に進学、ここから娘さん自身が自らの健康管理と食事療法を続ける。その後結婚、間もなく低血糖による発作を起こし脳障害で植物状態になる。両親は故郷に引き取り、在宅で療養・介護を決心する。この時既に高齢期に入った両親は、娘さんの回復を願いながら、自らの老いによる身体機能の不安を抱えながら、在宅でともに暮らし続けてきた。

しかし、自宅が古い寺院の庫裡のため、屋外（境内）との床の段差が1mと非常に高く、娘さんの通院や外出のたびに簡易スロープを設置し、やっとの思いで出入りしていた。また、屋内においても全介助のため、最も大変なのは入浴介助であった。そのため両親の介護疲労も限界に近づいていることを訪問入浴サービス提供事業者がキャッチ、住宅改修について紹介、説明し改修を行うことを決断した。

両親にとって、住宅改修を行うことは即ち現在の娘さんの介護負担を軽減することと同時に、介護期間が長期化する可能性が高まり、共に老いていく自分たちの「死」を見つめ、たとえ娘が一人になっても、自宅が介護する側に配慮された環境となっていれば、外から公的な介護サービスを受けることによって、顔見知りの近所の方たちや、寺院関係者、兄弟の支援により天寿を全うすることができるのではないかという思いがあった。

改修プランの打合せ期間にも、何度も夫婦喧嘩に巻き込まれた。それは、覚悟を決めたとはいえ、毎日の介護の合間に住宅改修の打合せのため、疲労もたまり心理状態が不安定となり、マイナス思考になりがちである。その度に弱気になる父親を母親がなだめ励ましながら、日を重ねるごとに覚悟が固まっていった。

住宅改修を決断した時期は、現在ほど身体障害者に対する政策も介護に対するサービスも地域差があり、介護している家族にとって安心できる支援が限定されていたことも事実である。更に娘さんの容態も一進一退で先が見えない状態であったため、余計に介護負担を重く感じておられたようだ。

その点母親は常に明るく、娘さんの回復を願って献身的な介護を続け、住宅改修が始まり仮住まいの期間中、家事作業中も常に娘さんを側におき、話しかけスキンシップを続けていくうちに、意思疎通のできなかった娘さんが足の親指を動かして何かのサインを送っていることに気づいた。それがオムツが濡れたときの合図であることを発見した母親は、とにかくどんな小さなことも見逃さなかった。

Yさんの住宅改修は、高齢期の両親が身体機能の衰えを感じながらも、介護負担を軽減することと、家族ができる限り共にすごす時間を多く持てるよう、既存住宅に新たに居住スペースを増築した。また、車いすで屋外（境内）に出られるようスロープを設置し、気軽に娘さんと散歩ができるようになり、娘さんの障害についてありのままにご近所の方たちに伝えることができたと話している。

Yさんの住宅改修は、家族の絆も深まるだけでなく、社会とのつながりも再構築できると実感できた貴重な事例である。

## 8(082)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	
------	----	-------	--

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	寝たきりの母親の寝室のポータブルトイレしかつかえなかったのを、トイレが使えるようにした。入浴サービスを受けていたが、自宅で入浴できるように改善した。その他水まわりをすべてやりなおした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2003 年／概ね 380 万円（介護保険の住宅改修制度を利用）
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者 82 歳 / □男 ■女 家族 娘
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他）
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 ■要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	寝たきり、日常生活動作困難 （ ）
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用）

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

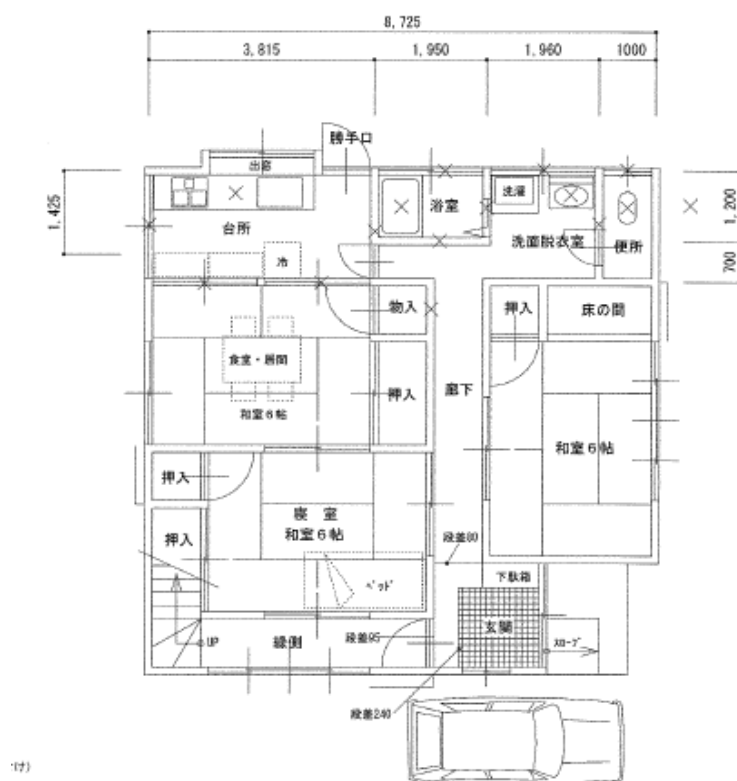
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	浴室は広くし、介護しやすくしたい。	
2	便所は和式を洋式に変え介護しやすくしたい。	
3	洗面脱衣所は介護しやすくしたい。	
4	浴室、洗面脱衣、便所に車椅子でいけるようにしたい。	
5	台所をシステムキッチンにしたい。	
6	寝室から玄関に車椅子の上りおりを出来るようにしたい。	
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		便所、洗面所、浴室が介助しながら使用するには問題が多い。廊下幅が狭い、車椅子でアクセスできない。
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



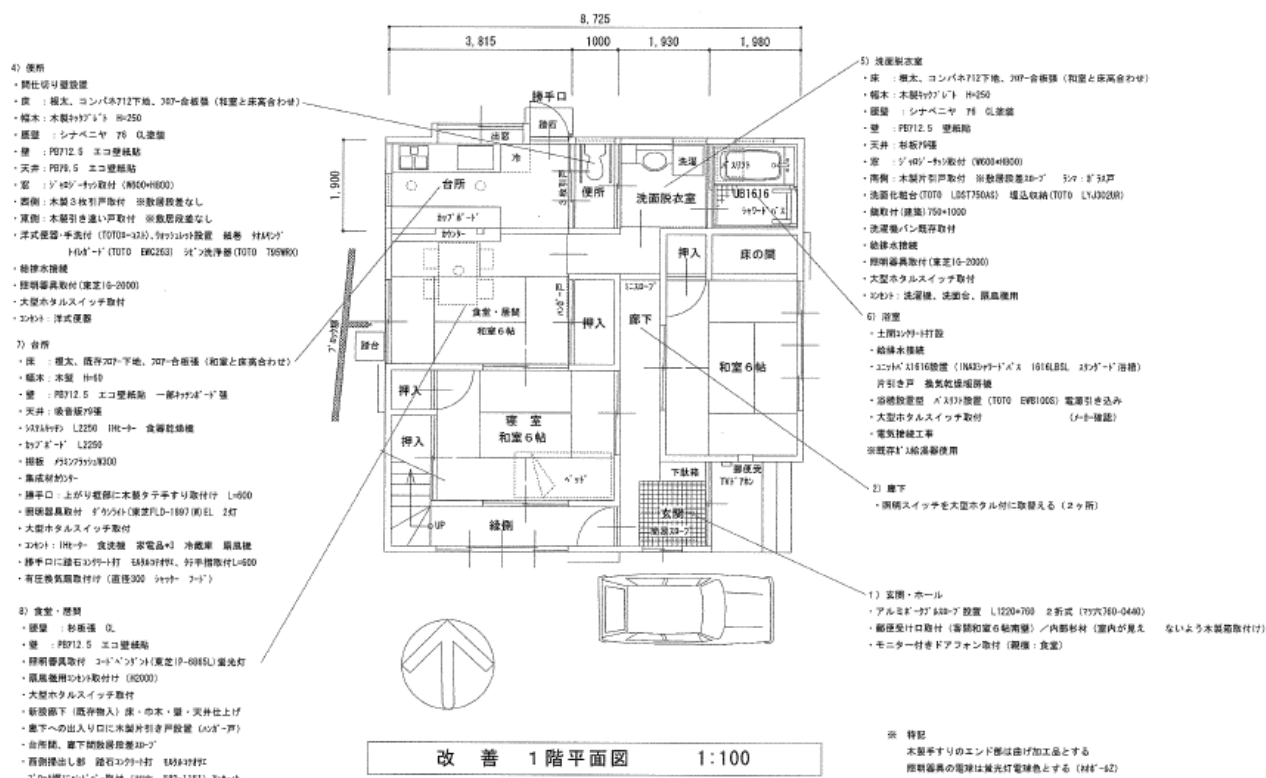
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	通路	洗面・トイレ・浴室への通路幅が60cm程度と狭かったが車いすでも行けるように間仕切壁を撤去した	
2	トイレ	限られた広さの中で、介助が出来るよう、壁を設けず両側を木製引き戸にした。トイレには寝室で使うポータブルトイレ洗浄用のハンドシャワーを取り付けた。手すりは壁がないので床固定式とした。	
3	浴室	入浴サービスから自宅でシャワーと入浴が出来るようにした。洗面所と段差のない引き戸にし、シャワーキャリーで入れるようにした。座って浴びられるシャワーを設置した。入浴用の簡易リフト（充電式）を設置、家族が入る場合は取り外す。	
4	洗面所	車いすでも使用できるフットレストの確保された洗面台を設置した。	

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ	②	トイレ
			
③	洗面、トイレ	④	トイレ
			
⑤	浴室	⑥	浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 9(045)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	鳥取県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	対象をショールームに連れて行き、トイレの手摺、移動空間、配置を確認相談した。（本人、家族も分からなかった）子供の自立の気持ちを配慮した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	約 200 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年／概ね 350 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	30 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 12 歳 / □男 ■女 家族 祖父母、両親、兄、本人
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 ■要支援3 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	障害区分3 ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳性麻痺
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■電動車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■電動車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

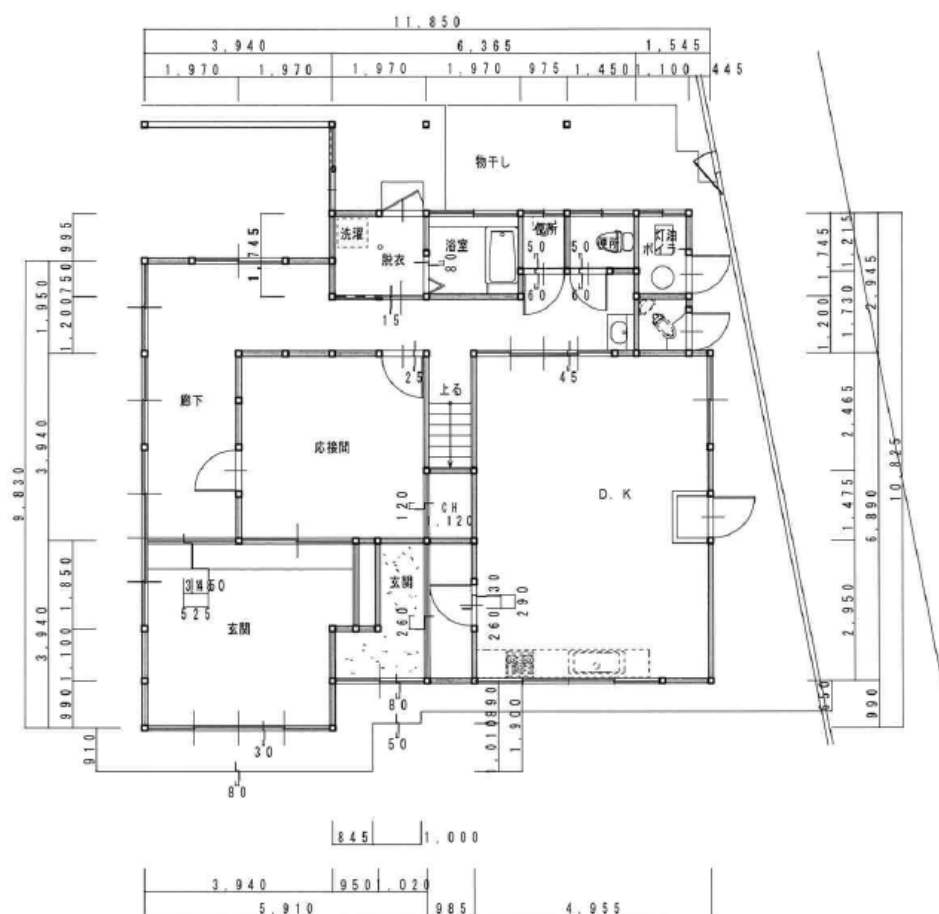
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	子供が大きくなり、洗面、排泄、入浴介助が辛くなり、改修して介助が楽になりたい。	玄関、洗面、便所、脱衣、浴室
2	祖父母の障害者への差別意識があり、勝手口からの出入りとしたい。	勝手口
3	浴槽が深く、介助が辛い。	浴室
4	使用出来なく、一度も顔が洗った事がなかった。	洗面
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	勝手口	表玄関使用は殆ど無く、家族は勝手口利用を主にしていた。
2	便所	大小便所がそれぞれあるが、車いすの入れる空間を確保するのが、困難だった。
3	浴室	既存の浴室は手摺も無く浴槽が深く、介助が困難だった。
4	洗面	使用出来ない。
5		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	勝手口	<p>電動車いすで移動して本人が段差解消機の操作出来るように、段差解消機を設置した。</p> <p>段差解消機は当初予定には無く、子供の将来的行動と介助を予測し、両親に説得、導入の理解をしてもらった。</p> <p>狭い空間の中で、本人の動きと、家族用の下足収納を工夫した</p>	
2	便所	<p>大便所、外部使用のボイラー室を壊し、車いす使用のトイレに改修した。</p> <p>本人が服の着脱も便所でし、介助が少しでも減り、自立できる部分が増えるように、手摺、便器、空間を考慮した。</p>	
3	浴室	<p>フリーサイズユニット（当時は珍しい）で出来る限り広い空間と手摺の設置した。</p>	
4	洗面	<p>昇降可能な洗面化粧台を設置した。</p>	

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	勝手口	②	玄関 勝手口前
			
③	勝手口	④	便所
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 10(011)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	青森県青森市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築   □建替え   □改修（増築を除く）   □増築
対象者の別	□高齢者対応   ■障害者対応   □高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	■主に対象者の現在の状況を考慮した工事 □主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> ■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  □ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  □ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  ■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  □介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 </div> <hr/> ■その他（ADL 全介助の対象者へ介護がしやすい工夫）
主たる工夫のポイント	介護ベッドもしくはストレッチャーで住宅内を移動可能な動線計画とスペースの確保

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	182.18 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 21 年／ 2,650 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	167.27m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 6 歳／ ■男 □女 家族 父 28 歳、母 26 歳、弟 1 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	出産時のアクシデントによる脳性麻痺 (痙直型)、精神発達障害 重症心身障害児／肢体不自由一種一級
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	後天性の脳性麻痺、股関節脱臼
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他 (経鼻栄養)
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他 (おむつ)
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■全介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■全介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（病院への定期的な短期入所）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ 低段差解消機 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	天候に左右されずに車に乗り降りさせたい	カーポート、玄関
2	介護ベッドもしくはストレッチャーで住宅内を移動したい	居室（床、建具）
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

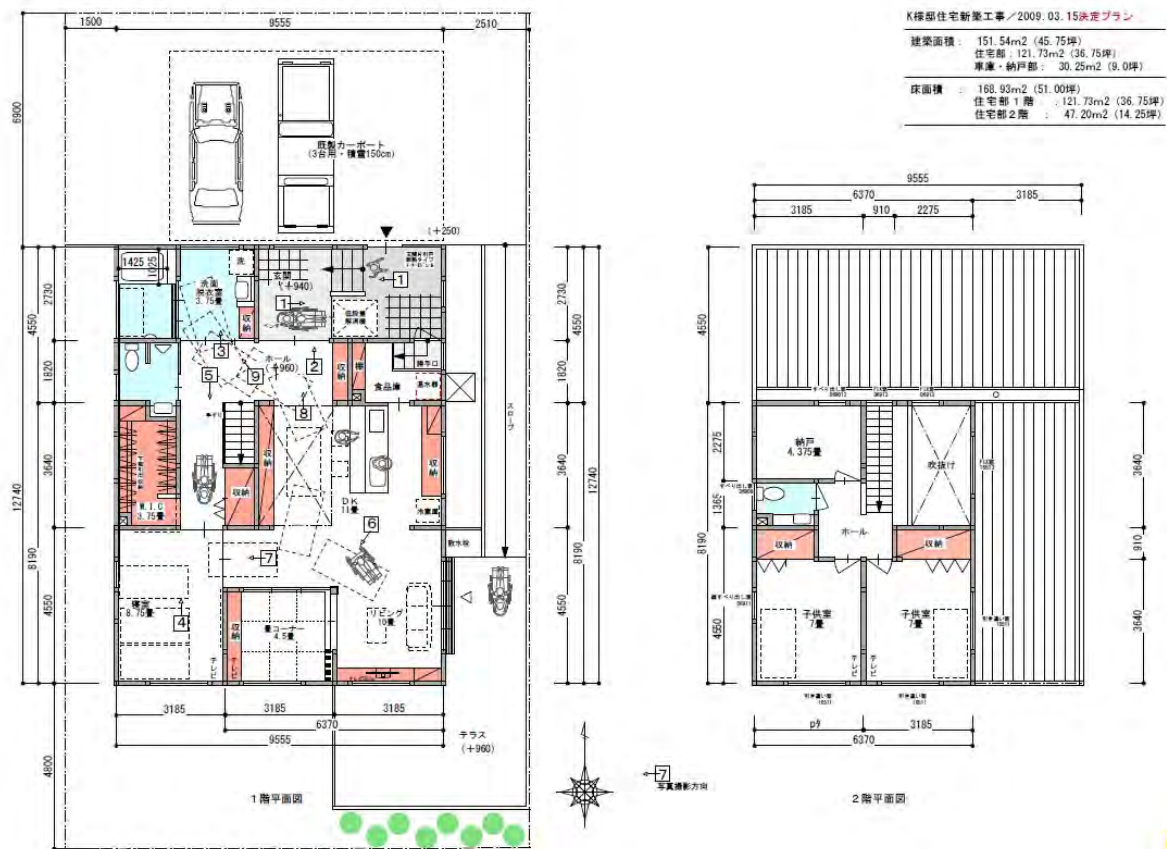
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	カーポート ～風除室	カーポートから玄関への出入り口を設け、1階床高さまで低段差解消機で垂直移動できる準備をした。現在は幼少のため、抱えて室内へ移動している。	①・④
2	テラス～ スロープ	リビングから直接テラスへでられるように開口幅員の大きなサッシの導入。テラスから前面道路までのスロープ設置。	④
3	脱衣所	広いスペースとし、介護ベッドを配置できるようにした。	④
4	浴室	1.5坪のユニットバス。	④
5	居室（床、建具）	耐キャストフローリングとし、主たる動線上の建具は3枚引戸・ハンガー式とした。土間床暖房として居室全体の温熱環境を高めた。	④
6		経鼻栄養用のフックを、天井に数カ所取り付け付けた。	⑤
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

◆ 1 階、2 階平面図




9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関風除室 低段差解消機/テーパー階段	①	低段差解消機設置するスペース
			



② 玄関	③ 洗面脱衣所 介護ベッド
	
④ 寝室 有効開口幅員の広い建具	⑤ 廊下 有効開口幅員の広い建具
	
⑥ 寝室 有効開口幅員の広い建具	⑦ 寝室から洗面脱衣所への移動 1
	



⑧	寝室から洗面脱衣所への移動 2	⑨		寝室から洗面脱衣所への移動 3
				

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

主たる介護者である母親が、これから成長していく息子（脳性麻痺）の介護がしやすいようにすることはもちろん、介護に疲れ落ち込むことが多い母親の精神的な安定を醸し出すようなインテリアとした。

I・II地区以上で利用可能な断熱性能のある玄関引戸がないため、安定した温熱環境計画がしにくいことが多々ある。需要が少ないことは理解できるが、時代が居宅の生活と住まいのバリアフリー化を推し進める一方で、改正次世代省エネルギー基準に対応できないことは、今後の課題となると考える。



# 11 (095) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T 邸	事例所在地	
------	-----	-------	--

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	230 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 3000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	230 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1階和室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 7 歳 / ■男 □女 家族 父、母、兄弟2人
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

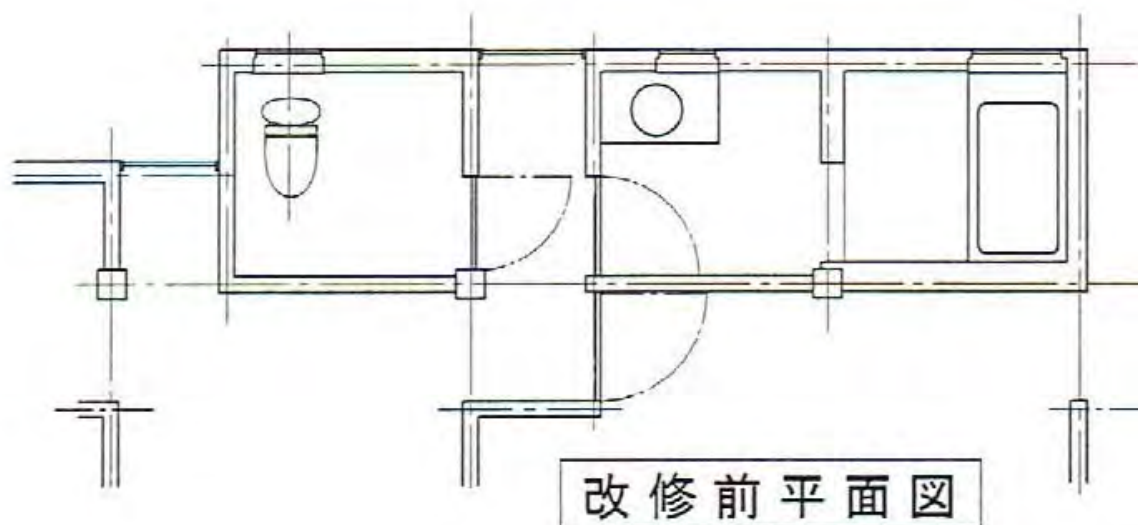
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	福井から移築した築200年の古民家を改修	全面改修
2	田の字プラン4室と広縁廊下をリビングダイニングとキッチン、小上がりの畳室へ。	
3	玄関横の独立和室は化粧直し程度で予備室。	
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



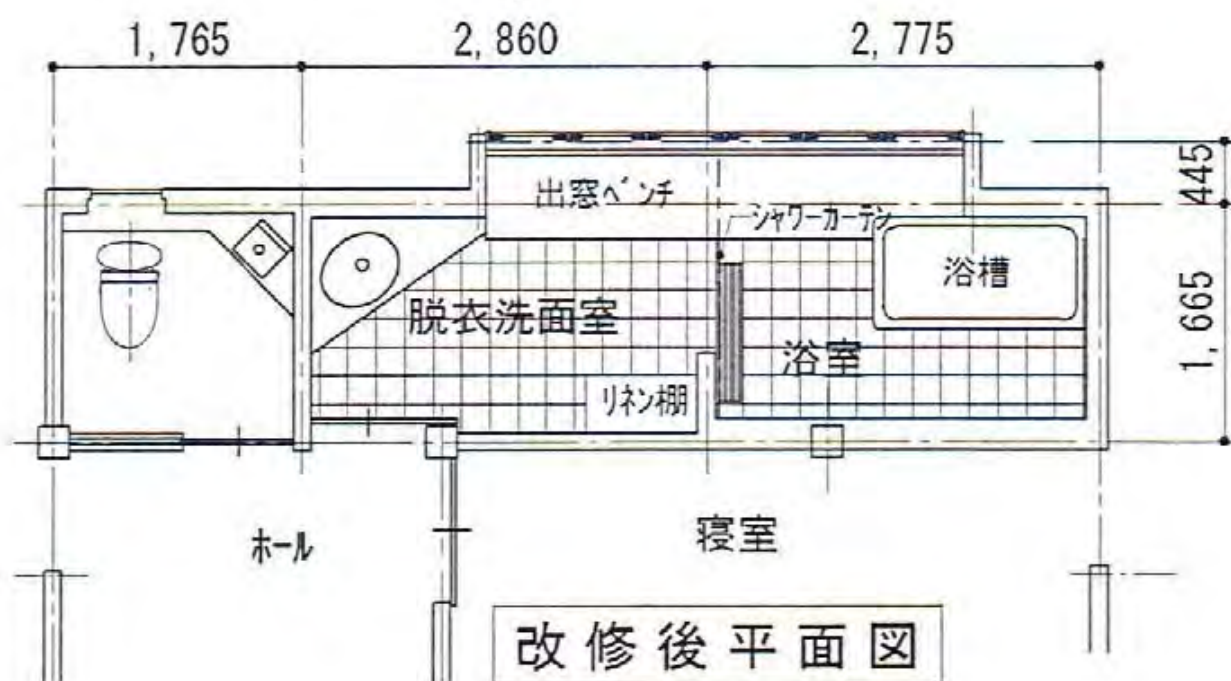
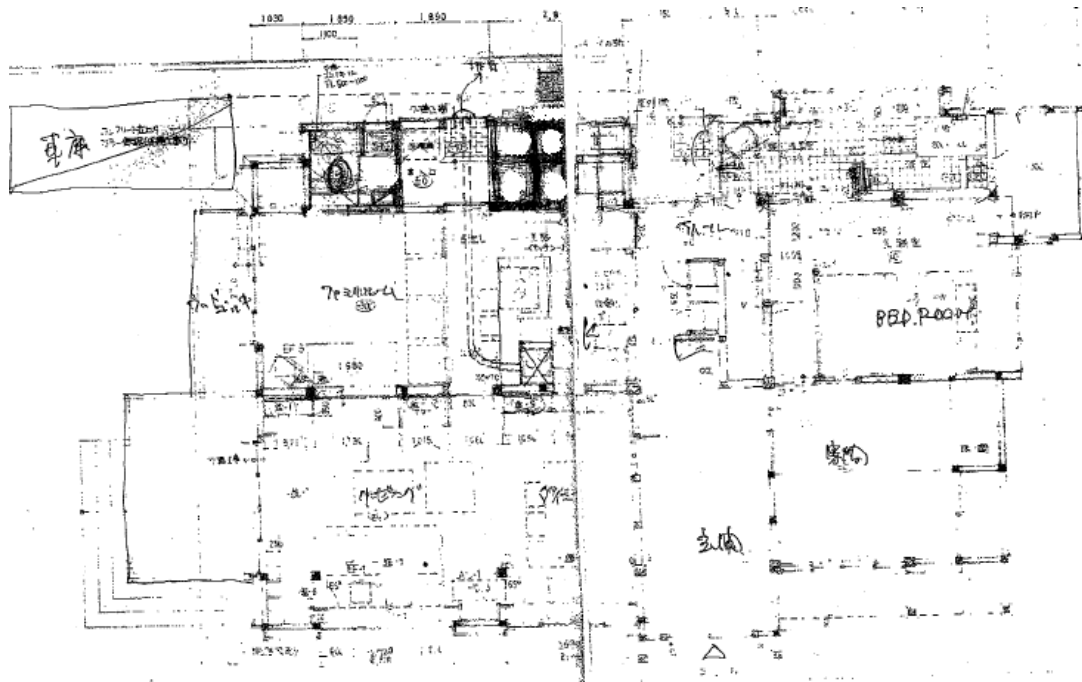
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	30 ㍍の段差. 移乗させやすい。	③④
2	浴室・洗面室	浴室と洗面室がワンルーム 出窓型ベンチ（暖房）、換気通風と明るさ（ハイサイドライト&トップライト）、シャワーカーテンで仕切る。手すり（落下防止）	③④
3	ウッドデッキ	駐車場からウッドデッキを経由して直接和室で出入り可能。 掃き出し開口部は腰窓	
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ダイニング	②	田の字窓（内部の様子が確認できる）
			
③	トイレ	④	トイレ
			
⑤	浴室	⑥	浴室、洗面所
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	ウッドデッキ	⑧	開口部
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 12(062)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	長崎県長崎市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫             </div> <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（家族から孤立しないような配慮）
主たる工夫のポイント	車いすでの室内の移動と外部への出入りを可能にする。 ADLの自立を可能にすることで、家族の介護負担を軽くする。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	257.11 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2006 年／概ね 4000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		36.85 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

(障害は交通事故によるもの。入院後リハビリ施設に入所、新築を待って退院、以前の住宅で生活したと想定しての回答)

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	29 歳／ ■男 □女
		家族	父、母、妹家族(妹・妹の夫・その子)
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り(■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	身体障害 有り (頸椎損傷 1 級 )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他(新築前の住宅の場合)
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他(新築前の住宅の場合)
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他(新築前の住宅の場合)
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他(新築前の住宅の場合)
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■全介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input checked="" type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車いすでの室内生活を可能にしたい。	居室まわりの屋内出入り口巾
2	介助なしでの入浴（シャワーのみで可）・排泄を可能にしたい。	便所・シャワー室
3	介助なしで、外での車いすマラソンの練習をしたい。	居室の出入り口・ベランダ
4	家族の介護負担をできるだけ減らしたい。	便所・シャワー室
5	外出の際の車への乗り降りを楽しみたい。	ベランダ、カーポート
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

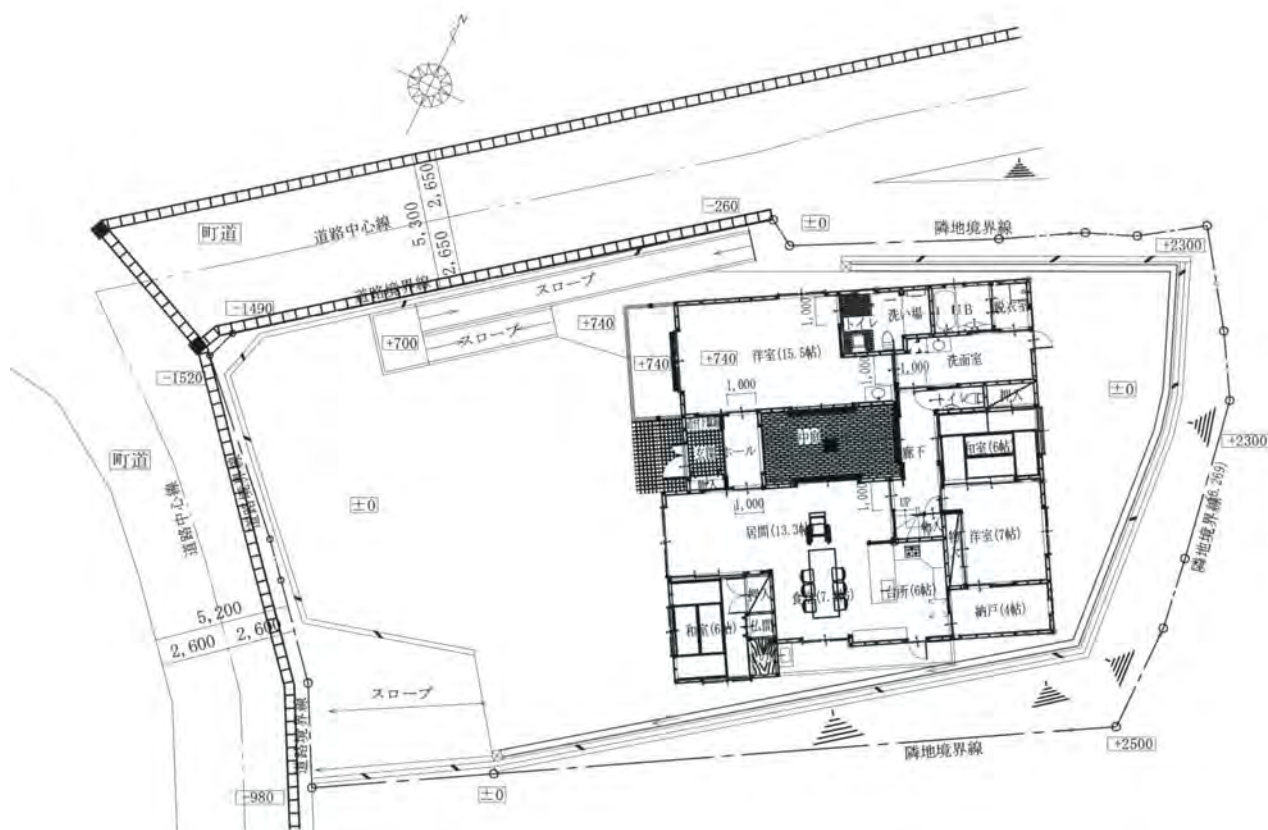
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室まわり（屋内出入り口巾）	ホール・廊下・居間・食堂への出入り口巾を車いすでの出入りが可能な巾とした。	④
2	居室（出入り口）	外部への出入りは、居室のはき出し窓とし、ベランダ・中庭とも段差のない構造を採用した。	①
3	便所・シャワー室	車いす座面と同じような高さのマットに便器を埋め込んだ形とし、マット上をいざって排泄・脱衣・シャワー・着衣ができるようにした。	⑥
4	ベランダ	ベランダから駐車場の移動用の油圧リフトを設置した。	①
5	ベランダからのスロープ	車いすマラソンの練習のための外出経路は、車両通行が少ない西側の道路であるため、そちらに向かってのスロープを設置した。	①
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	中庭への出入り口	②	ベランダへの出入り口
			
③	シャワー室・脱衣室・便所	④	油圧リフト
			
⑤	ベランダからのスロープ	⑥	スロープとカーポート
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

リハビリ施設での訓練を重ね、その施設に用意されている便所・シャワー室であれば自立できるという目的が立ち、同じような設備を望まれた。対象者の両親が高齢となった場合、また、亡き後に妹家族への負担が重くならないよう、出来だけ自立できるような住宅を望まれた。

対象者と両親は1階に、妹家族は2階にと、私的生活空間は分けつつ、台所・食堂・居間は家族で共有、入浴・洗面・便所は対象者専用を用意し、両親と妹家族は共有とした。

家族との自然な触れ合いが可能なように、対象者の居室から居間食堂へは、3方向の経路を用意した。その際、短い銅線で移動できるようにという配慮で、数種類の中から中庭を設けた案に決定した。

シャワー使用時の着脱衣や排便時の背もたれの設置に関しては、対象者の体位と動きを確認して製作し、取り付けしたが、設置後も多少の高さの調節等やステンレス部分にタオルを巻いたり、幾度かの改善を行った。

# 13(054)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	U邸	事例所在地	山口県下関市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 自立意識の高い高齢障害者が 快適に生活できる工夫 ） 居宅内で、自立し且つ快適に車椅子移動・日常生活が可能となることを目的とした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> 共同建て <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 医院併用住宅 ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	225.57 m <sup>2</sup> ／ 2 階建(住宅部分)
	工事実施年／工事費用	H 21 年／概ね 2900 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	改修面積 106.27 m <sup>2</sup> (内増築面積 8.83 m <sup>2</sup> )
	敷地の状況	<input type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input checked="" type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		居間 寝室
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input checked="" type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 80 歳 ／ <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 家族 妻 75 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り（ <input type="checkbox"/> 親 <input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input checked="" type="checkbox"/> その他）
	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り (肢体不自由(下肢)3級)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	筋腫瘍
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度
	ＡＤＬの状況	食事 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
		屋外 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり ■スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

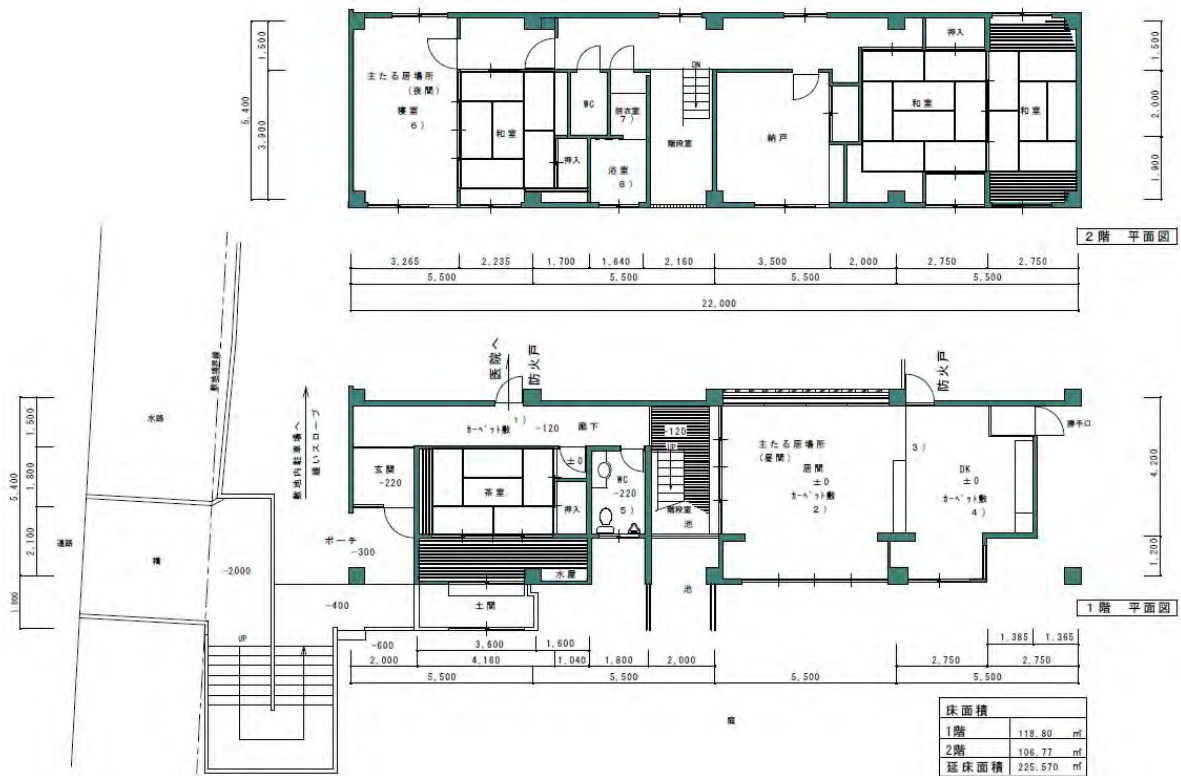
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	片下肢膝上より切断手術により車椅子使用となったため、2階での生活を1階に移し車椅子生活に対応した快適な住居にしたい。	寝室・洗面・浴室・居間・WC
2	1階での車椅子移動や生活を可能な限り自立して行いたい。	廊下・居間・寝室・食堂・WC・洗面・浴室
3	床からの底冷えを低減したい。	居間・食堂・寝室・洗面・WC
4	サウナに通うのは難しくなったので、自宅でサウナ浴したい。強い要望。	サウナ
5	医師としての仕事が生きがいなので、医院への移動の際の介助者への負担を軽減したい。	廊下から医院部分への開口部
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	廊下	車椅子利用で、居間(3期工事終了迄寝室兼用)と段差が120mmあり、自走で移動できない。医院への移動の際、医院からの介助者が防火戸を開け閉めするのに2人必要となる。
2	居間	車椅子移動困難な、床仕上げが毛足の長いカーペット。しかし、底冷えがする。
3	居間～DK	カーペットとパーケットフロアの境界が段差になっている。建具がないため、台所の家政婦さんから居間(3期工事終了迄寝室兼用)が常時見える。
4		底冷え。
5	便所	扉が内開きのため開けられない。段差が220で車椅子で入れない。便器への移乗手摺がない。床が冷たく、室内全体が寒い。
6	寝室	陽当たりも悪く、2階へ車椅子での移動不可能。
7	脱衣室	2階へ車椅子での移動不可能。狭い。
8	浴室	2階へ車椅子での移動不可能。狭い。
9		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類
1	廊下～医院	仕事で医院との行き来の際、1人の介助者で防火戸を開け放したまま で居間まで送迎しても医院側から自宅側が見えないように、アウトセットの 引き戸を自宅廊下側に設置。	①
2・5 ・12	廊下	扉開閉時、使用の縦手摺を設置。	④
3	〃	車椅子移動のため、120mmの段差をスロープにて解消。	④
4	〃	カーペット仕上げを、重歩行用CFシートに変更。	④
6	居間	扉開閉時、使用の縦手摺設置。	④
7	〃	クローザー機能の引き戸に変更。	④
8	〃	退院までに全工事完了は時間と本人の要望を反映した設計のは無理 なため、寝室等の3期工事が終了するまで寝室兼用とするので、快適 に過ごせ車椅子で移動できるよう、床仕上げをタイルとし床暖房を設 置した。	④⑥
9	居間～食堂	台所の家政婦さんから、居間(3期工事終了迄寝室兼用)が常時見えな いように、移動も楽にできるように、3枚連動引戸を設置した。	④⑥
10	食堂	快適に過ごせ車椅子で移動できるよう、床暖房を設置。	⑥
11	WC	クローザー機能の引き戸に変更。	④
13	〃	T型手摺を設置。	④
14	〃	便器からの立ち上がりを補助する、電動式昇降便座を設置。	④
15	〃	使用時の身体保持がしやすいように、前方ポード付の手摺を設置。	④
16	〃	車椅子移乗用にP型手摺を設置。	④
17	〃	使用中が快適に過ごせるように、床暖房を設置。	⑥
18	〃	出入りでスイッチ操作の要らない、人感センサー付の照明に変更。	⑥
19	寝室～廊下	扉開閉時、使用の縦手摺設置。	④
20	〃	出入りに都合の良い位置に変更し、引戸に変更。	④
21	寝室	増築部分との兼ね合いで生じる180mmの段差を解消し、自走での移動 を可能にするために、段差解消機を設置。	④
22	〃	段差解消機作動中の安全とコントローラーを使用し易いようにp型 手摺を設置。	④
23	〃	快適に過ごせるように、床暖房を設置。	⑥
24	〃	日常使用の洋服類が取り易いように、オープン棚と低い高さにパイプ ハンガーを設置。	⑥
25・26 ・27	寝室～洗面脱 衣室	車椅子で移動し易い、3枚引戸を設置。扉開閉時、使用の縦手摺設置。	④
28	洗面	本人と妻の両方が使い易い、洗面カウンターの高さが可動式の化粧台を設 置。	⑥

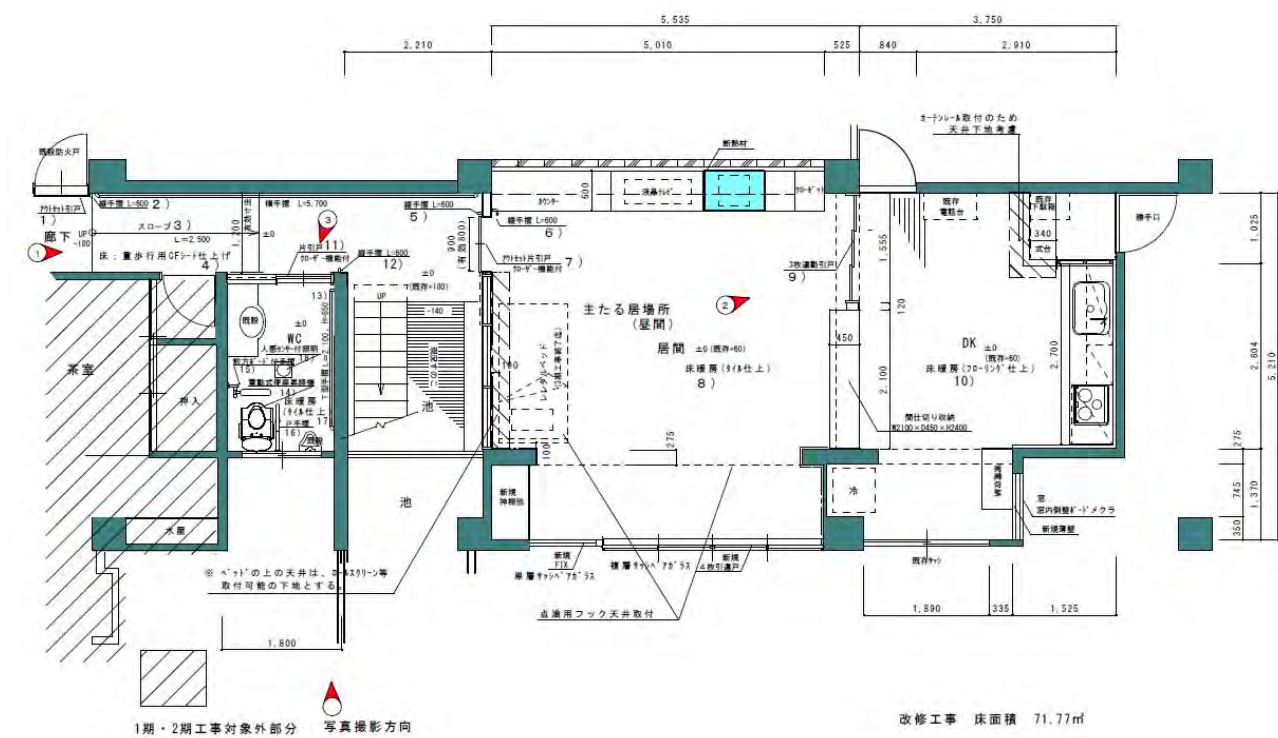


29	洗面	使い勝手によってタオル掛などの位置が簡単に換えられるマグネットの商品が使えるように、ホーローのパネルをサイドの壁材に使用。	⑥
30	〃	汚物で汚したものや雑巾等を洗える、マルチシンクと混合水栓を設置。	⑥
31	〃	快適に過ごせるように、床暖房を設置。	⑥
32	脱衣～浴室	車椅子で移動し易い、3枚引戸を設置。扉開閉時、使用の縦手摺設置。	④
33			
34			
35	浴室	移動用手摺を設置。	④
36			
37	脱衣～サウナ	移動用手摺を設置。	④
38	サウナ	手摺金具による火傷に配慮した手摺、及びベンチ下に呼出用の非常連絡器設置。	⑥

#### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	廊下 1～5・7	②	居間～食堂 9
			
②	WC 14～18	③	寝室 1・20・21・22
			
④	廊下～寝室 21・22・24・25・26	⑥	寝室～洗面脱衣室 24・33・37
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	洗面脱衣室 28～31	⑧	浴室 32・34～36
			
⑨	サウナ 37・38	⑩	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

ご本人の入院中に依頼。「片足を切断することになった。今の状態では生活ができない。とりあえず、退院までに1期工事で医院(退院直後は医院の特別室を寝室とする)と自宅が車椅子(介助有)で移動できるように、トイレは自宅で使用できるようにしてほしい。」との要望。

その後2期工事で居間(3期工事完了まで寝室兼用)・DKを改修することが決まったのですが、退院後の打ち合わせで、寝室や浴室をどうするかがなかなか決められず、居間から渡り廊下を作って別棟を庭に建てたいとの希望もあり、設計・見積り行いましたが、ご本人のサウナへのこだわりが捨てられないので、別棟は安全上不安。茶室を寝室に変更し浴室・サウナを増築することで、ご本人・ご家族の了解があり、2期工事完了から半年後3期工事が完了しました。

細かいところまでご本人とご家族と打ち合わせし、使い勝手を考えて設計・機器等の選定をし、ご提案し決定しました。

施工中にもご意見やご希望を伺いながら設計変更もしました。2か月に一度は伺って、アフターフォローもいたしております。

高齢になって障害者となりながら、車椅子で生活の自立を目指し実際に診療も行い海外旅行もし、昨年亡くなる当日午後迄、外来診療と学校校医の仕事をされました。どうしてもとの希望で設置した「サウナ」も数日前まで頻繁に使用され、「希望通りの快適な生活が遅れ、本人も満足だったようです。」とご家族に言っていました。



14(010)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T 邸	事例所在地	青森県青森市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車いすを使用する夫（ADL 自立・車いすバスケット選手）が、積極的に家事に参加できるような空間の確保。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	182.18 m <sup>2</sup> ／ 2階建
	工事実施年／工事費用	平成 24 年／ 2,300 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	182.18 m <sup>2</sup> (車庫 32.19m <sup>2</sup> )
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 29 歳／ ■男 □女 家族 妻 26 歳、娘 0 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	(なんらかの) 疾患による脊髄損傷 (下肢 1 級程度) ADL の状況を見ると、T7～L2 の損傷と思われる。
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脊椎疾患自体は寛解したように思われる。
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ 低段差解消機 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	天候に左右されずに車庫まで行きたい	車庫、風除室、玄関
2	安全に入浴したい	脱衣所、浴室
3	車いすでトイレへ入りたい	便所
4	車いすで室内移動したい	居室（床、建具）
5	調理に参加したい	
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

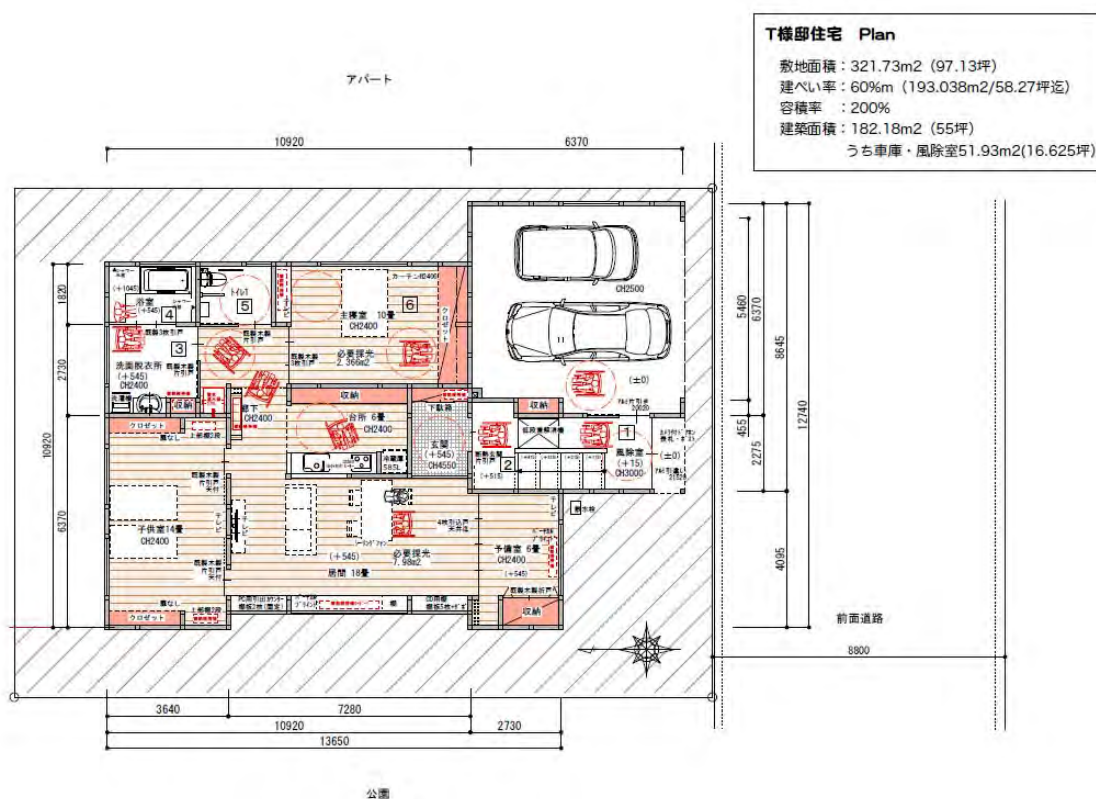
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	車庫→風除室	車庫から風除室への出入り口を設け、1階床高さまで低段差解消機で垂直移動することとした。併設の階段は車いす車輪の角度に合わせてテーパ―をとって、車いすで上がり下り可能とした。	①・④
2	玄関	アウトセットタイプの片引戸。下駄箱はフットレスト部分が入ることので近づいて出し入れできるようにした。玄関土間と1階床高さの段差解消。	①・④
3	脱衣所	広いスペースとし、車いすで利用しやすい洗面化粧台とした。	④
4	浴室	車いす座面と同じ高さの移乗台をもうけた。臀部に褥瘡ができないように、バイオマットを敷設した。移乗台上で洗髪・洗身体できるように専用のシャワー水栓を設置した。	④
5	便所	広いスペースとして、跳ね上げ式・L型手すりを設置した。	④
6	居室（床、建具）	耐キャストフローリングとし、主たる動線上の建具は3枚引戸・ハンガー式とした。	④
7	収納	扉開閉しやすいようにカーテンとした。	④
8	分電盤	収納内部の低い位置に設置した。	④
9	台所	主たる調理従事者は妻であるため、キッチンセットは妻に合わせた。広いスペースとして、収納はフットレスト部分が入ることので近づいて出し入れや作業ができるようにした。	
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

## ◆1階平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関風除室 低段差解消機/テーパー階段	①	テーパー勾配検証用モックアップ
			
②	玄関 下駄箱下部フットレスト用開放	③	洗面脱衣所
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
④	浴室 移乗台	⑤	便所 可動手すり・L型手すり
			
⑦⑧	寝室 収納・分電盤	⑨	台所 収納下部フットレスト用開放
			
⑥	建具幅員拡張・上吊り	⑥	建具幅員拡張・上吊り
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

車いすバスケットボールの選手ということで、ADL 全般に自立できるため、本人が使いやすいことスペースや高さ関係に留意して、予算の範囲内で設計した。

積雪寒冷地において屋外スロープは日常的が利用が困難なため（二方向避難のみ）、風除室などに低段差解消機を設置し利用することが多いが、この低段差解消機の機器寸法が、建築的モジュールと一致しないために、経年劣化などで交換を余儀なくされた場合、躯体に影響をおよぼすことが多々ある。よって、福祉用具の開発の際には、建築的モジュールを念頭においてほしいと思う。

# 15(006)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	N E 邸	事例所在地	北海道札幌市
------	-------	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫         </div> <div> <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫         </div> <div> <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫         </div> <div> <input type="checkbox"/>その他（ ）         </div>
主たる工夫のポイント	車いすで安全に外出ができるようにしたい。車いすで室内のどこにでも移動でき、できるだけ自立した生活を継続したい。



#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	74 m <sup>2</sup> ／ 階建 4階に居住
	工事実施年／工事費用	2005 年／概ね 1,000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	74 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input checked="" type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 53 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 家族
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他)
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	1種2級 (多発性脊髄神経鞘腫による運動失調により起立位を保つことが困難な体幹機能障害及び両下肢機能の著しい障害)
身体状況	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	多発性脊髄神経鞘腫 日常生活は車いす。つかまるところがあれば、数メートル歩行可能。 握力低下でよく物を落とす。
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度
	A D L の状況	食事 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 入浴用具、）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	通勤のため車いすを使って介助なしで屋外まで移動したい。	玄関
2	室内を車いすで自由に移動したい。	室内全般
3	車いすから便器に移乗して、身体を支えるものがほしい。	トイレ
4	ひとりで入浴したい。	浴室
5	車いすです調理ができるようにしたい。	台所
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	上がり框の段差があり、車いすで移動ができない。 玄関ドア（防火戸）が重くて開閉が困難。
2	室内全般	床の段差があり、車いすで移動ができない。
3	トイレ	狭くて、車いす入ることができないため、便器への移乗が困難。 排泄障害のため排泄時間が長い。長時間座位姿勢をとるのが困難。
4	浴室	段差があり、車いすで入ることができない。 つかまるところがないので、浴槽に入ることができない。
5	台所	狭くて、車いすの移動が困難。方向転換ができない。 シンク下に膝入れスペースがないので車いすで使用するのが困難。
6		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



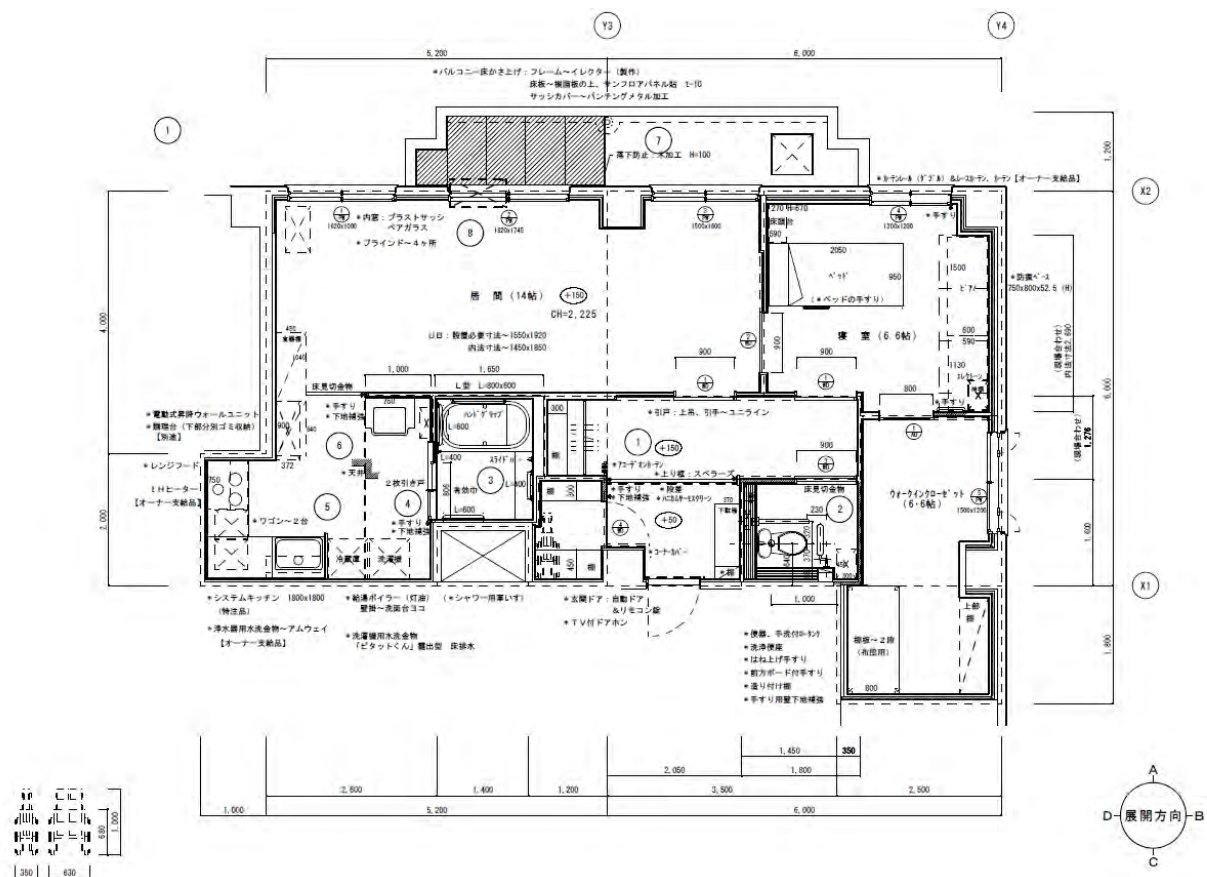
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	室内全体の床レベルを揃えるために段差50から100となり、 条件が悪くなったが、手すりを設置することで、屋外用と室内用の 車いすを乗り換えることで解消した。  (この時点で、数メートルは伝い歩きができた) 玄関ドアはリモコンで開閉できるように自動ドアに改造。	④⑤
2	室内全般	室内床仕上げ面をユニットバスの床レベルに合わせた。 寝室は和室から洋室に変更。建具は引き戸に変更。 車いすでの移動がスムーズにできるようにシンプルな間取りに変更 した。	④⑤
3	トイレ	隣接する収納スペースを利用して、トイレスペースを拡大。 長時間姿勢保持のために前方ボード付き手すりを設置。 便器ヨコのスペースはトイレ用品、CD等をおくカウンターとした。	④⑤
4	浴室	スペースを広げ、バリアフリータイプのユニットバスに入れ替え。 ひとりで入浴できるように、手すりを取り付けた。 入浴用車いすと移乗台で浴槽に入ることが可能になった。	④⑤
5	台所	オーダーメイドのシステムキッチンに入れ替え。 シンク下は開放して車いすでも使えるようになった。 収納はキャスターをつけて、調理台下部も開放されている。 電動昇降の収納棚を取り付けることで収納スペースを確保した。	④⑤
6	バルコニー	外の空気に触れ、山並みの景色が見られるようにしたいと考えた。 車いすでも出られるようにかさ上げし、移動の際、ステンレスプレ ートで建具のレール部分を保護した。	④⑤
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	トイレ
			
③	浴室	④	浴室
			
⑤	台所	⑥	台所
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	バルコニー	⑧	バルコニー
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

NE氏は進行性の病気で入退院を繰り返しながら、定年まで就労するのがリハビリだと頑張っています。新築のバリアフリー仕様のマンションに転居も考えていたそうですが、古いマンションで管理人、居住者との交流がありサポートもあるので、ここに住み続けたいと決心したそうです。

今回の工事は、ひとり暮らしの生活を継続するために、できるだけ楽に動けて、病気が進行しても大きな改造をしなくて済むようにと大規模なリフォームに踏みきりました。

- ・家の中を車いすで自由に移動できるようにしたい。
- ・食事は自分で作りたい。
- ・入浴は可能な限り自立したい  
(何度も身体にメスを入れているので、まだ他人の介助は受け入れられない)。
- ・休みの日にはピアノやエレクトーンも弾きたい。
- ・物（特に衣類）が多いので、この機会に整理し、収納を充実させたい。

自分らしい生活の具体的なイメージを話していただきながら、プランを進めていきました。

身体状況については、本人、病院の理学療法士から情報提供してもらいました。

友人達のサポートもあり、できるだけ今の生活を継続できることを願っています。



# 16(044)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	和歌山県和歌山市
------	----	-------	----------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	対象者は体幹機能障害があり車いす生活のため、福祉用具の利用をすることで自立してADLを行えるようにした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 ■その他（ 木造 一部RC造 ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	444.82 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 1,000 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	154.20 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター■その他(建築施工管理技士)

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者 60 歳 / ■男 □女 家族 妻 58 歳、娘 26 歳、父 91 歳、母 86 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（□親 ■配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他）
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 ■要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	身体障害有 （体幹機能障害 1 級）
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用）
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（入浴台、入浴用いす）

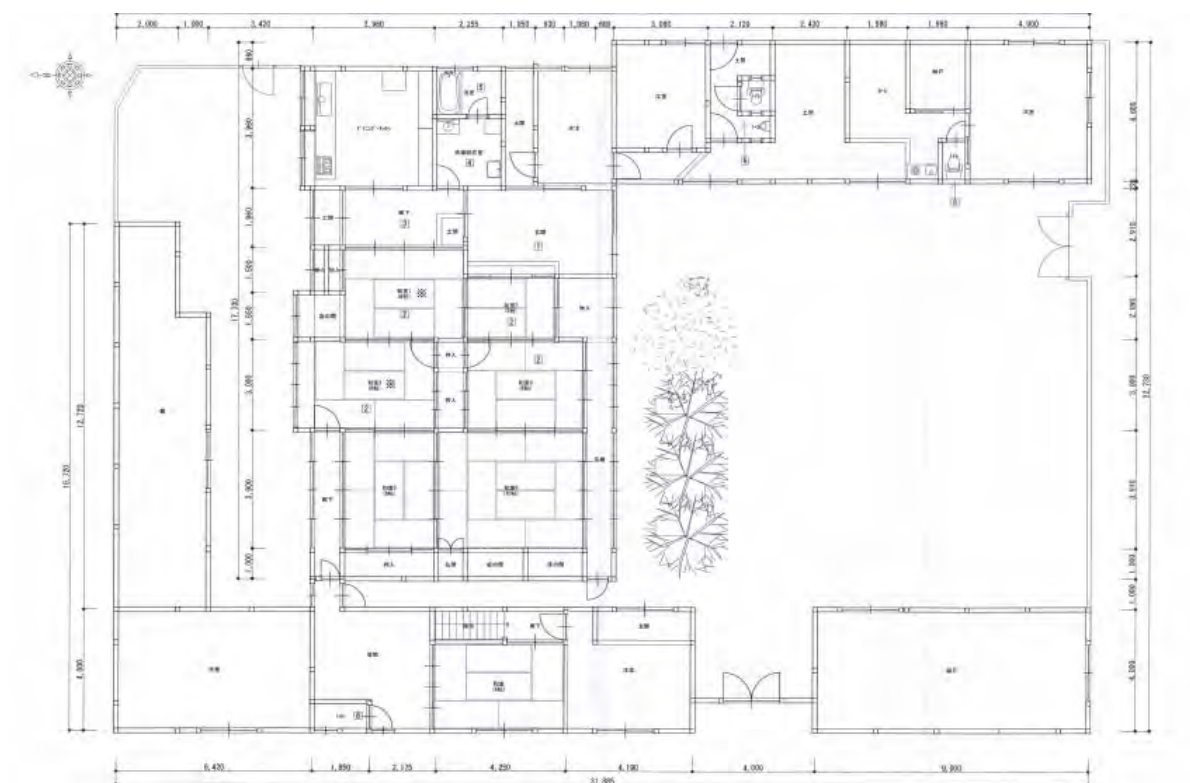
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで外出がしたい	玄関
2	介助なしでトイレ・浴室に行きたい	トイレ、洗面脱衣室、 浴室
3	室内を車いすで移動したい	和室、廊下ダイニン グ・キッチン
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	車いす利用で外から玄関までは来れるが、敷居の段差が 150 mm、玄関と和室との段差が 500 mmあり自力で室内には入れない。
2	和室 1, 2, 3, 4	畳敷きで車いすの利用が困難である。
3	廊下 リビング ダイニング	和室 1 との段差が 250 mm、リビング・ダイニングとの段差が 45 mmあり車いすの利用ができない。
4	洗面脱衣室	車いすが通れる開口寸法がなく、敷居との段差が 45 mmあり、入口近くの土間は転落の可能性があるため車いすの通行ができない。
5	浴室	車いすが通れる開口寸法がなく、敷居との段差が 150 mmあり車いすの利用ができない。
6	トイレ	車いすで行くことができず、介助者なしでは困難である。
7		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



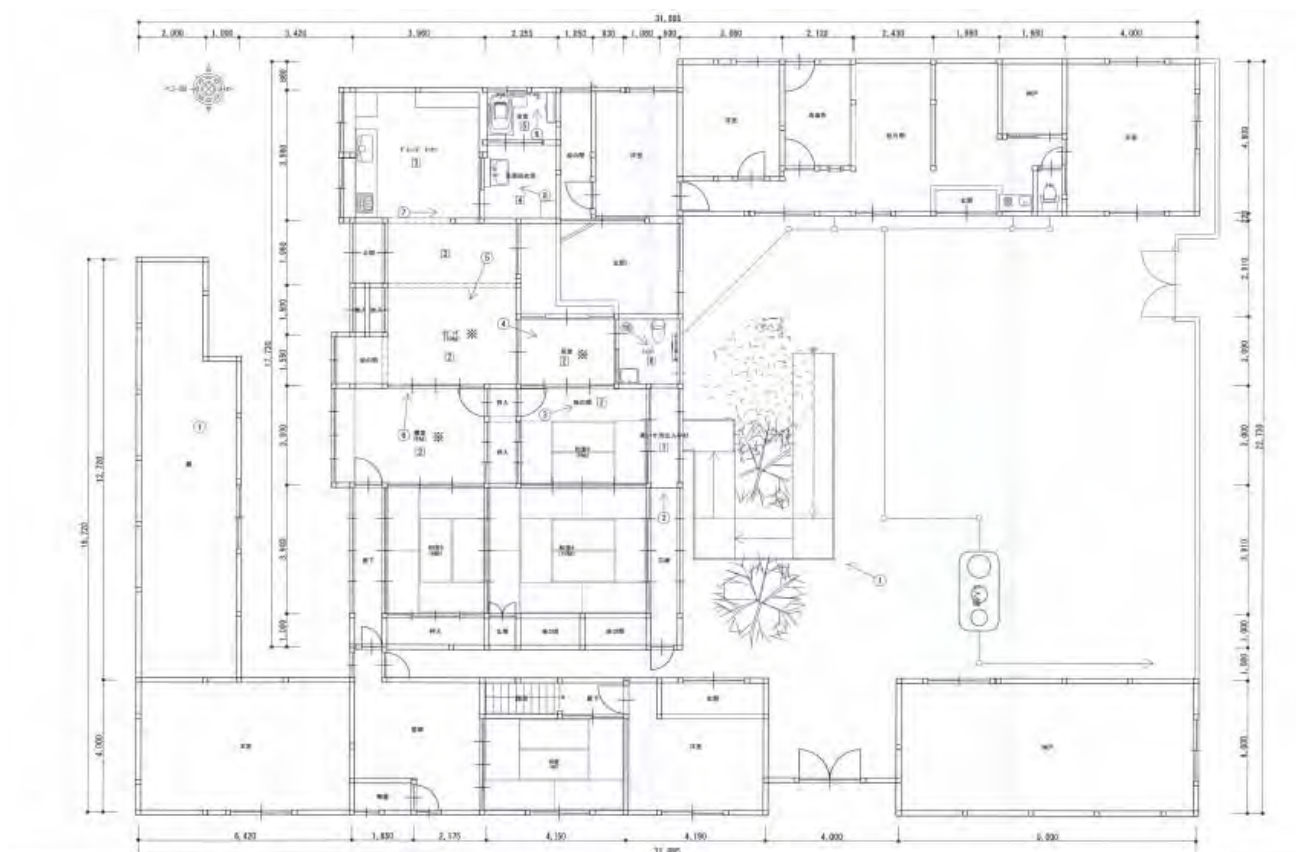
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	広縁 出入り口の新設	玄関からの外出をあきらめ、広縁のはき出し窓を出入り口とし、段差解消のスロープを設置した。距離が長くなると車いすでの上り下りが大変なため踊り場を設けコの字型とした。広縁を車いすで通れるよう、また外出時に必要なものを置けるスペースとして板張りとし和室4との段差解消も行った。	①④⑤
2	板の間、居室、 リビング、寝室	和室の各部屋に車いすで通れるよう畳敷きから床を板張りとした。和室4においては応接室としても使用することから、出入り口からの通行部分のみ板張りとした。	①④⑤
3	リビング ダイニング キッチン	廊下との段差を解消するために床の高さを上げ板張りとし、玄関に式台を設けることにより土間スペースをなくすことで転落の恐れをなくした。 和室1、ダイニング・キッチンとの取合いの建具をなくすことにより車いすでの通行を容易にした。	④⑤
4	洗面脱衣室	段差を解消するために床の高さを上げ板張りとした。入口をダイニング・キッチン側に変更し、扉も車いすでの利用がしやすいように引戸とした。車いすでも使えるように昇降機能付きの洗面化粧台を設置した。	④⑤
5	浴室	段差を解消するために床の高さを上げタイル張りとした。入口をグレーチング付の3枚引戸とすることで車いすでの通行を容易にし水漏れにも配慮した。浴槽の設置高さを上げ、カウンター、入浴用いす、入浴台、手すりを設けることにより自立で入浴できるよう配慮した。	④⑤
6	トイレ1	トイレが離れたところにあり、車いすで行けないことから車いす用のトイレを新設した。手すりと座面高さの高いトイレを採用することで車いすからの移行を容易にした。また洗濯流しを設けることで自立して掃除等行えるように配慮した。	④⑤

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	中庭出入り口スロープ	②	車いす用出入り口
			
③	車いす用出入り口～板の間	④	板の間～居室
			
⑤	リビング～寝室	⑥	寝室～リビング
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	リビング～ダイニングキッチン～洗面脱衣室	⑧	洗面脱衣室～ダイニングキッチン
			
⑨	洗面脱衣室～浴室	⑩	居室～トイレ1
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

17(058)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S 邸	事例所在地	徳島県徳島市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	404.86 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 20 年／概ね 800 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	85 歳／ □男 ■女
		家族	娘 61 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	足が不自由 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 ■歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 ■歩行器利用 ■車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ ■歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来、外出しやすいようにしたい。	玄関・玄関前アプローチ
2	将来、介護等をうけやすいようにしたい。	洗面脱衣・風呂・便所 エレベーター
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

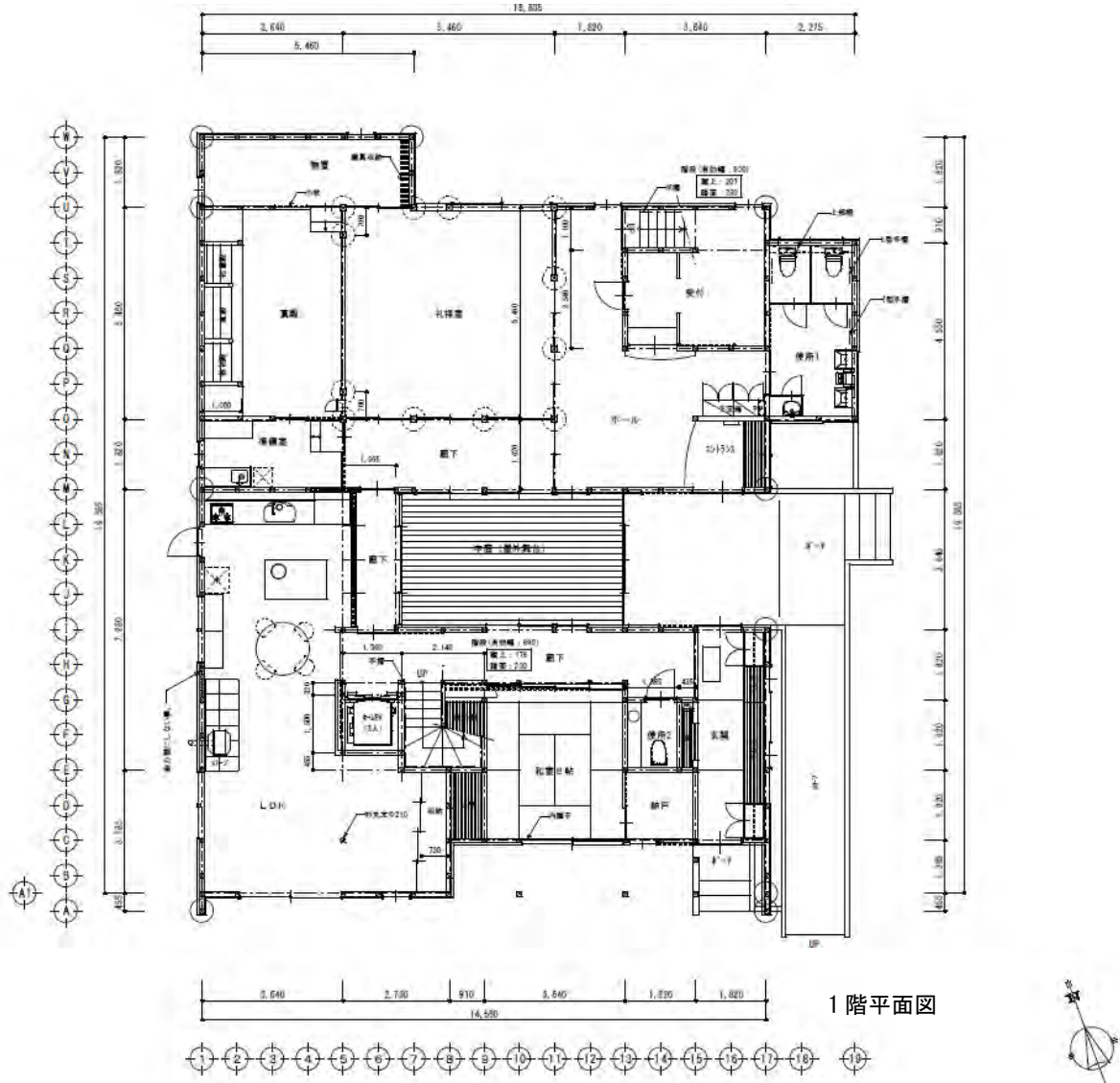
# 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

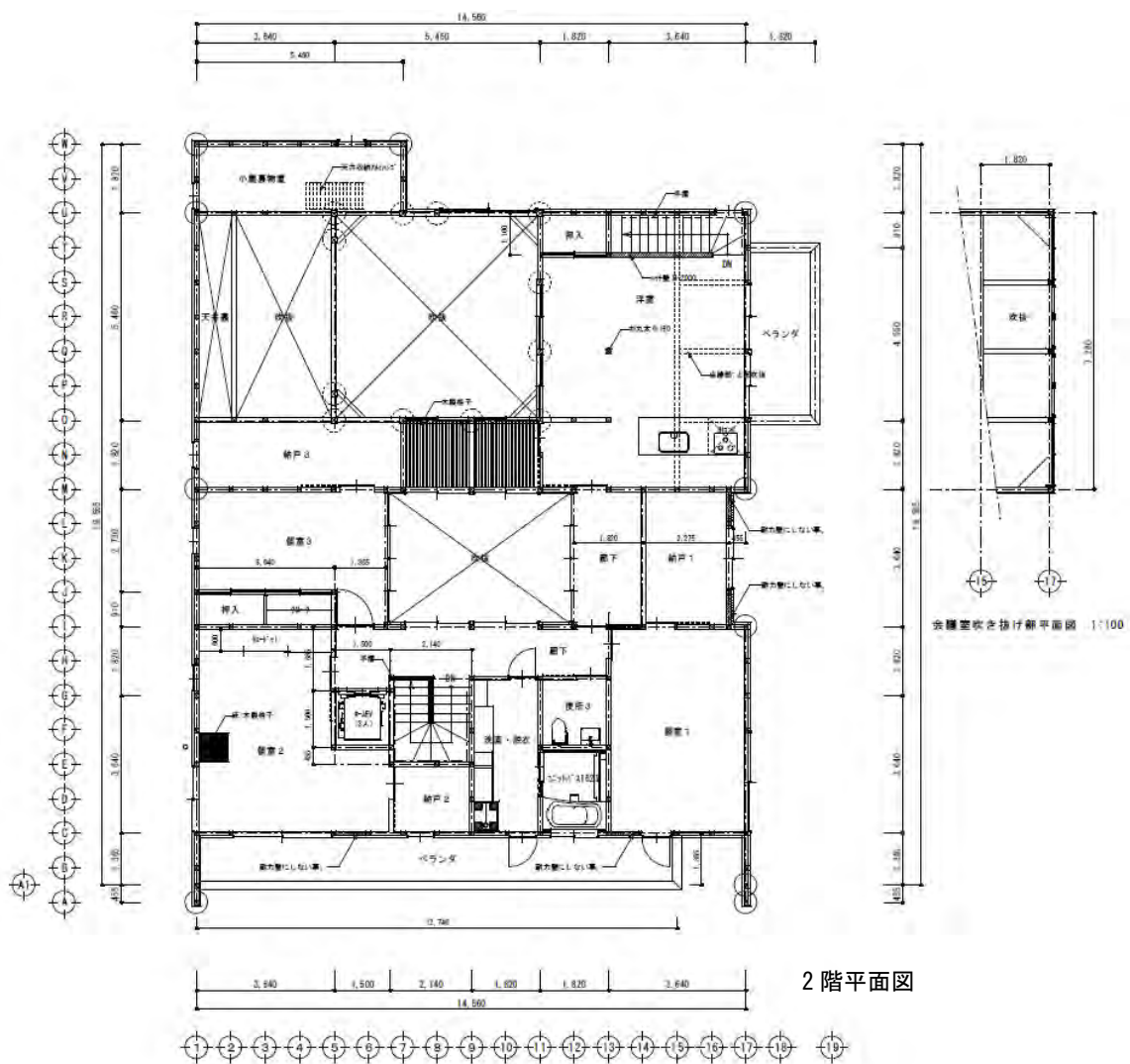
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	スロープを設け、外部の出入りがしやすくなるように、スロープ近くへ車が入れるようにした。	①
2	洗面脱衣・風呂・便所	段差を無くし、スペースを広く取り、将来、介護等が必要となった場合にも、介助者が作業しやすいようにした。	⑤
3	エレベーター	将来、ホームヘルパー等の介護者の介護を受けやすいように設けた。	④
4			

## ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他




## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図







## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	玄関
			
③	廊下	④	廊下
			
⑤	洗面所	⑥	トイレ
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦		⑧	
			

**10. その他特記事項**

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 18 (119) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	ケアーC-2	事例所在地	宮城県
------	--------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車いす生活になるお母様が習字教室や趣味の洋裁が続けられるよう、動線を考慮してプランニング。広々とした玄関やリビング、3枚引き戸の採用、段差の解消など、自立した生活をサポートする工夫を盛り込みました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1400 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	81.98 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	80 歳代 / □男 ■女
		家族	娘 60 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車いすでの生活になる母が安全に、笑顔で暮らせる家にしたい。	
2	寒さ、暗さ、古さを解消し、次世代まで長持ちするようにしたい。	
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	車いすでは使用できない。
2	居室	段差が多く、車いすでの移動は困難。
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	リビングダイニング	車いすの使用を想定し、広々としたリビングに。	④
2	扉	三枚引き戸を多用し、お母様が自立した生活を送りやすいように配慮。	④
3	玄関扉	同上。	④
4	玄関	車いすの方向転換も可能な玄関。	④
5	窓	全部屋ペアガラスを採用。	⑥
6	トイレ	温水パネルヒーターを設置。	⑥
7	浴室	車いすで浴室まで入られる。	④
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	リビングダイニング	②	廊下から洗面所扉
			
③	玄関扉	④	玄関
			
⑤	窓	⑥	トイレ
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

段差がなく、ゆとりのある設計なので、車いすでスイスイ動けて、夜中でも1人でトイレに行くことができます。断熱性を高めたことで夏でも涼しく、エアコンの効きがよくなった気がします。掛け軸を飾るスペースもできたので、自分の書で掛け軸をつくる楽しみが増えました。

## 19 (005) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	1 邸	事例所在地	北海道札幌市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	ひとりで外出が出来るように、収納スペースを階段室に改造して階段昇降機を設置。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	74 m <sup>2</sup> ／ 2階建 地下1階
	工事実施年／工事費用	2007 年／概ね 190 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	27.5 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 59 歳 / ■男 □女 家族 妻 57 歳、娘 22 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り (1種1級) (両足関節機能の著しい障害：下肢1級 右肘関節機能の著しい障害 右手指機能の著しい障害：上肢4級)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	ポリオによる両股、膝関節機能の全廃
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他(夜間のみ尿瓶使用)
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（階段昇降機、入浴用具、）

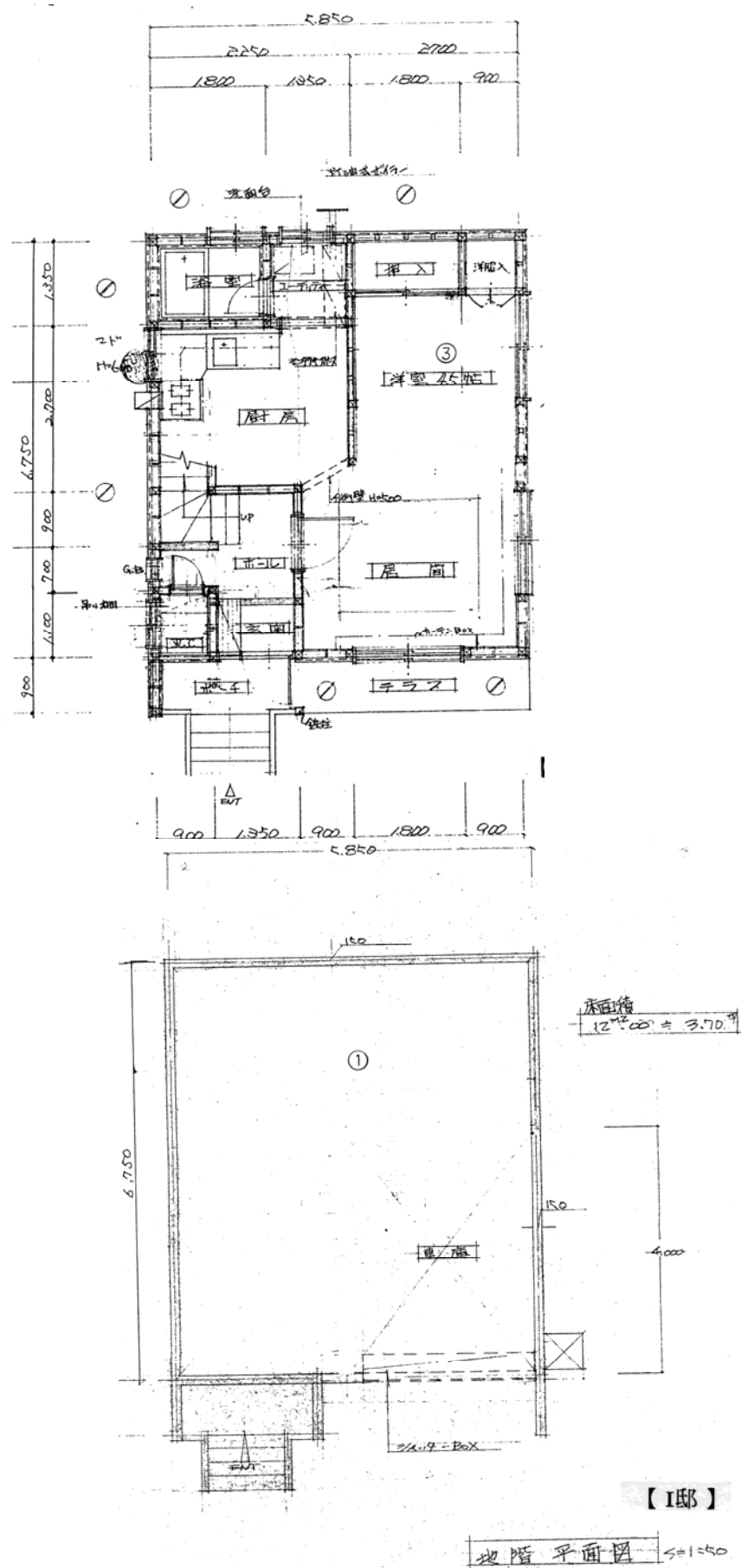
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで屋外まで移動して車の運転をしたい。	玄関、ポーチ、車庫
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関・ポーチ	地下車庫があるため基礎が高く、玄関から屋外に至るまで屋外階段（7段）があり、車いすで移動ができない。 現在、外出時は兄弟ふたりがかりで抱えて移動している。
2	車庫	屋外から車庫までの敷地が傾斜しており、車椅子での移動は危険。 車庫内から住宅内に入る経路がない。
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



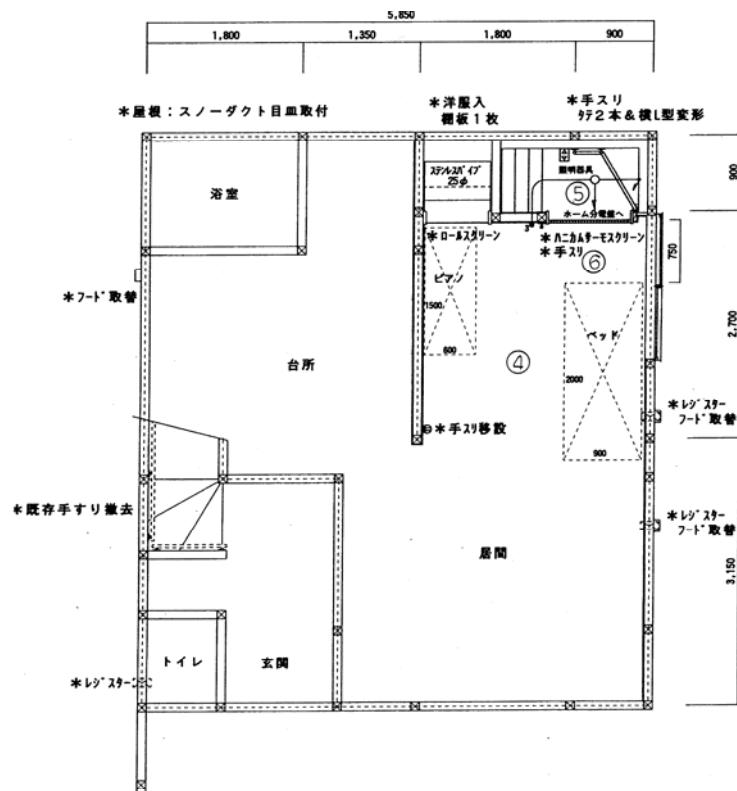
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	リビングに隣接した対象者の寝室（洋室 4.5 帖）にある 1 間半の収納スペースを利用して階段昇降機を設置するための階段を増設し、階段昇降機を設置。地下車庫まで自分で移動できるようになった。階段の断熱対策として、洋室からの出入口は断熱仕様のロールスクリーンを取り付けた。	④⑤
2	車庫	車までの移動は、中古の車いすで移動もしくは手すりにつかまって歩行（体調が回復した場合）。 車庫のシャッターは電動に取り替えた。 階段の断熱対策として、車庫からの出入口は断熱仕様のアルミ引き戸を取り付けた。	⑤
3			

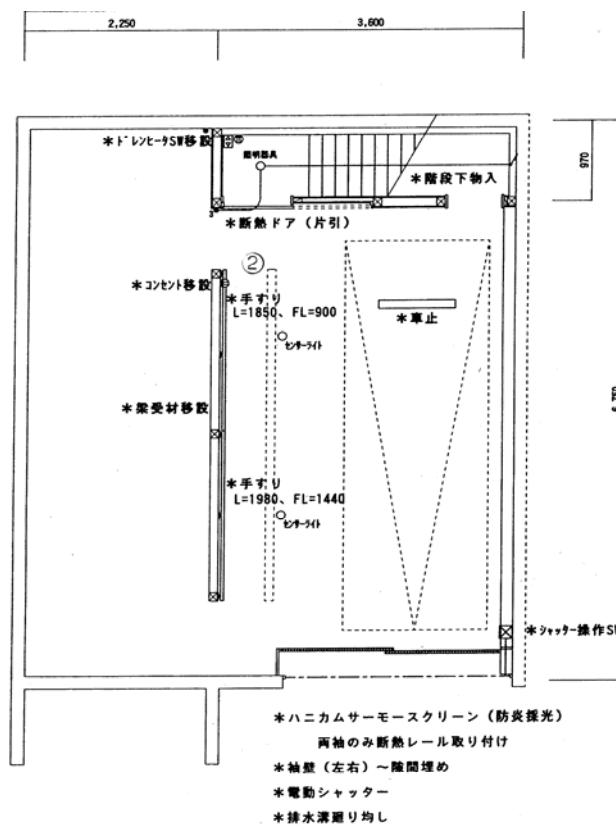
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



1 階 平 面 図



地 階 平 面 図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	車庫	②	車庫【工事後】
			
③	寝室	④	寝室【工事後】
			
⑤	階段	⑥	階段
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	階段（地下）	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

対象者は松葉杖を使っていたが、下肢の急速な衰えにより立位がとれなくなり自力歩行困難となった。医療機関を受診するが、ポリオの二次障害であるポストポリオ症候群と診断されるまでに数年が経過していた。その間、自己流のリハビリで身体を酷使することでさらに悪化したようだ。

敷地は狭く、住宅内には段差解消手段としてホームエレベーター、段差解消リフトを設置するスペースがなく、また費用も高額となる。福祉用具メーカーと相談した結果、寝室の収納スペース（1間半）を利用すれば設置基準ギリギリで納まることが確認できたので階段昇降機設置となった。

車いすから階段昇降機へ移乗するときに必要な手すりは、本人、施工者と一緒に位置を決定。

車庫から自家用車までの数メートルの移動は、症状が回復した場合は手すりにつかまって伝い歩きで移動。歩行困難なときは車いすで移動と想定。外出用の車いすは車のトランクルームに収納しており、介助者がいないと移動ができないため「NPO 法人飛んでけ！車いすの会」より、中古の車いすを無期限貸与という形で借り受けた。

寝室の出入口には建具を取り付けるスペースがない上、車庫からの冷気が上がってくるので、断熱仕様のスクリーン（ハニカムサーモスクリーン 断熱レール仕様）を取り付けた。ループの操作で簡単に開閉でき、夏は開放したままでも納まりがいい。

工事後は改造した自家用車で自由に外出が可能となり、夫婦でドライブに出かけたり、妻を迎えにいくなど外出する機会が増えた。

障害については「北のポリオの会」から情報収集した。障害当事者の会ではあるが、ポリオ患者は就労している方が多く、自身が障害という意識が低いと伺った。本事例でも、二次障害の情報を入手していれば、もっと早くに対応できたのでは…。

リハビリの方法と移乗動作について、理学療法士に訪問を依頼し、動作確認およびリハビリ方法についてのアドバイスを受けた。

ベッドは木製ベッドを使用していたが、車椅子からの移乗動作等が危険であるため、日常生活用具給付より介護ベッドを導入することになった。

## 20（049）「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Ⅰ邸	事例所在地	岡山県岡山市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	64.62 m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	2003 年／概ね 600 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	64.62 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input checked="" type="checkbox"/> 理学療法士 <input checked="" type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input checked="" type="checkbox"/> 保健師 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師 <input checked="" type="checkbox"/> 医師 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 家族 独居
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他)
	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( 障害手帳2級 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脊椎小脳変性症 16歳より発症
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度
	ＡＤＬの状況	食事 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)
		屋外 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

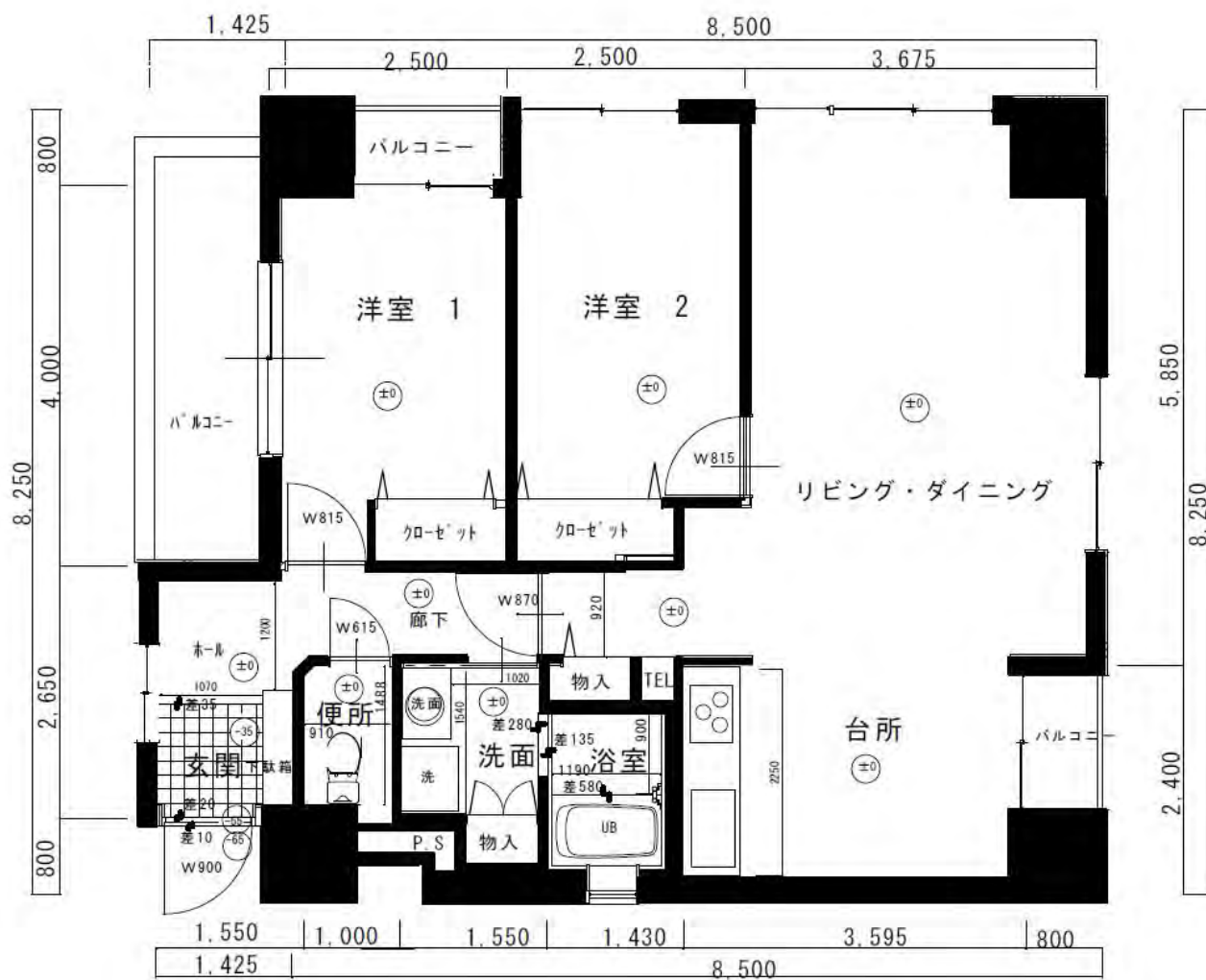
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1		
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室	脱衣室から浴室の敷居は洗面室より+280 浴室の床は+145 で車椅子ごと浴室には入れない。シャワー浴は自立してやりたい。介助があるときは、湯槽に入りたい。脱衣の床は車椅子対応のもので滑りにくいものに張り替えたい。
2	便所	自立してトイレを使いたい。
3	廊下と建具	廊下幅W920 でトイレの開きの建具の開口W616 洗面室の引き戸の開口 645 で、どちらも中に入れられない。
4	玄関	検眼 30 框 35 の段差があり、自走車椅子では難しい。玄関で電動車椅子に乗り換えるまでにはどうするか？回転ができない。玄関扉が開けることはできるが入るまでに閉まる。来訪者が来たときは？
5	キッチン	車椅子に座ったまま手の届く範囲にすべて機能的に配置したい。盛り付けたものは、カウンターまで滑らせて運べるようにしたい。
6	リビング	パソコンやTVを置ける手の届きやすいカウンターを出来る限りつけたい。本屋カセット、CD等使いやすく収納したい。
7	クローゼット	洋服掛けが高すぎて手が届かない
8	窓	クレセントに手が届かない。窓が開けにくい
9	スイッチ	高すぎて手が届かない
10		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

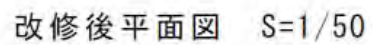
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	浴室	自立でシャワー浴をするときは移乗台（イレクターのベンチ）を設置して手すりとサイドケインを使って移乗する。移乗台を浴室の内と外の2台として連結を着脱することでシャワーカーテンも引けて解除によりリフトを使う時は取り外せるようにした。介助のある時はリフトを使って脱衣から湯槽に入る。	
2	便所	縦手すりは車椅子からの立ち上がりを使い、コーナーの横手すりは便座からの立ち上がり及び歩行衣類の上げ下ろしの時に使う。床材は車椅子対応、耐水、滑りにくい材質とする。	
3	廊下と建具	廊下幅W1200とし、途中の建具は撤去。洗面室へはW1200の引き戸にして両サイドどちらにもでも引けるようにした。トイレから洗面室は3枚引き戸、介助の事を考えてどちらからでも開けられるようにした。洋間1のクローゼットを撤去し昇降座椅子を設置壁の両サイドと天井に補強・コンセント。部屋の扉もW1200の引き戸として洋室1と洋室2の間にも引き戸を設けぐるっと回れるようにした。	
4	玄関	玄関は解消版を設置（ステンレス）ホールは下駄箱を撤去し床までスロープの床タイトルとし、電動車椅子が入るところまでをタイトルとした。車椅子移乗の為の横手すりをつける。ドアのクローザーを外し閉めるときは、リーチャーを使う。証明はセンサー付き。	
5	キッチン	手の届く範囲が車椅子のアームから前面に500までと非常に範囲が狭いのでキッチンは既製品が使えないのでつくることにし、基準は手の届く範囲と足が入る奥行とした。吊戸は無、収納は引出ワゴン。コンロは奥行が無いので、1口IHヒーターを2台使う埋め込みとする。水栓は流しの高さを120としたので大鍋を洗えるようにグースネックとし、先端をシャワー付きの伸ばせるものとした。	
6	リビング	H700のカウンターを回しカウンター下に引出ワゴン・木棚ワゴンを作った。手の届く高さにクレセントを付けた。	
7	クローゼット	硝子に吸盤ハンドルを付け、リーチャーで開けるリフト・コートハンガーを付けた。	
8	スイッチ	床から900の一にスイッチを付け替えた	
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他




## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
	玄関		玄関
			
	昇降座車椅子		トイレ
			
	浴槽		浴槽
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
	浴槽		浴槽
			
	洗面		洗面
			
	キッチン		キッチン
			



リビング	リビング
	
リビング	リビング
	
クローゼット	リビング
	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 21(009)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	青森県青森市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	賃貸アパートのため、退去時に現状復帰が可能であること、少ない予算の範囲で必要最低限で最大の効果（ADL 自立）を発揮できること。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input type="checkbox"/> 持ち家 <input checked="" type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2階建木造アパート
	工事実施年／工事費用	平成16年／概ね 24万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	37.26 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input checked="" type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 33歳／ <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
		家族
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他)
身体状況	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	二分脊椎による両下肢機能右手指先機能の全廃、及び座っていることのできない体幹機能障害、及び社会での日常生活が著しく制限される膀胱機能障害(肢体不自由一種1級／上肢3級下肢1級体幹1級膀胱4級)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	褥瘡
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度
	ＡＤＬの状況	食事 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用)



		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ガイドヘルパーにより2週一回通院）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで駐車場（移送車）まで行きたい	駐車場、ポーチ、玄関
2	介助なしで入浴したい	脱衣所、浴室
3	介助なしで排泄したい	便所
4	車いすで室内移動したい	居室（床、建具）
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	駐車場・ポーチ	駐車場から玄関までのポーチ部に段差があり車いすで移動できない。
2	玄関	玄関土間とポーチ、土間と室内に段差があり移動できない。玄関土間が狭いため、玄関ドア内側のポストが開閉の邪魔になる。
3	室内床	車いす移動の際に床材を痛める可能性がある。
4	トイレ	廊下との段差と、狭いスペースのため車いすで入れない。
5	洗面・脱衣所	スペースが狭く洗面化粧台をしようできない。脱衣所とのマタギ段差。
6	寝室	クロゼット扉
7		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

賃貸アパートのため間取り変更はないので従前プラン図面添付なし

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	室内床	既存フローリングの上に、CF シートを敷設した。	④
2	トイレ	イレクターで便座高さと同じ移乗台（可動式）を設置した。	④
3	洗面・脱衣所	脱衣用のベンチを設置した。	④
4	浴室	マタギ段差解消のために樹脂製すのこを設置した。	④
5	玄関	たたき段差解消用スリツケを設置した。ポストを外した。	④
6	駐車場・ポーチ	木製のスリツケを設置した。	①④
7			

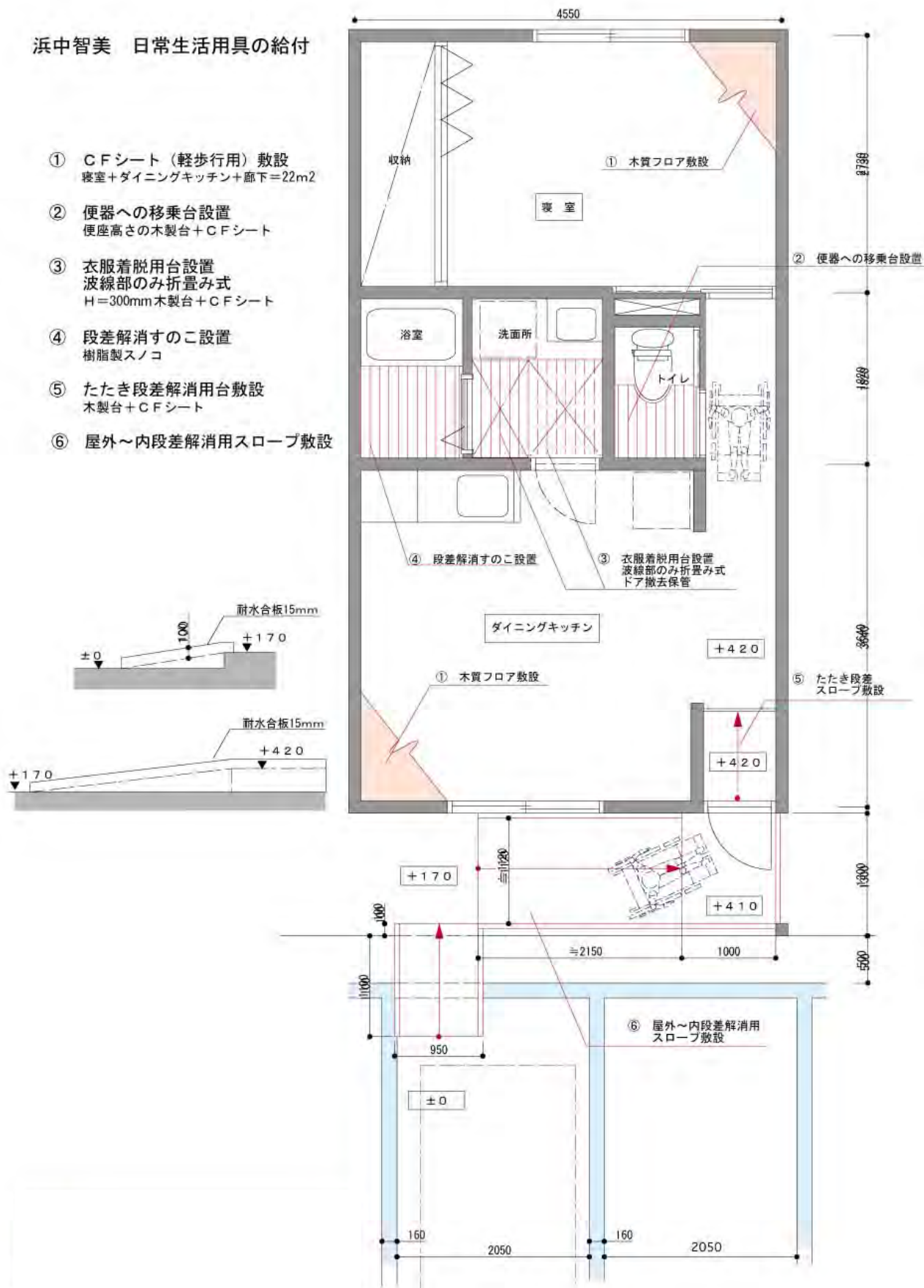
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

浜中智美 日常生活用具の給付

- ① CFシート（軽歩行用）敷設  
寝室+ダイニングキッチン+廊下=22m<sup>2</sup>
- ② 便器への移乗台設置  
便座高さの木製台+CFシート
- ③ 衣服着脱用台設置  
波線部のみ折畳み式  
H=300mm木製台+CFシート
- ④ 段差解消すのこ設置  
樹脂製スノコ
- ⑤ たたき段差解消用台敷設  
木製台+CFシート
- ⑥ 屋外～内段差解消用スロープ敷設



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑥	玄関ポーチ	⑥	玄関出入り
			
⑤	玄関土間スロープ設置	①	既存床損傷防止のため CF シート敷設
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
②	移乗台設置	②	便所移乗台は来客の際には跳ね上げる
			
④	浴室のマガキ段差解消用のこの敷設	⑧③	洗面所へ脱衣用移乗台設置
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

○住宅改修費は、「日常生活用具の給付（入浴補助用具と歩行支援用具）」を利用した。

○以下、ADL の補足

- ・ 基本的な移動は手動式車いすで、遠方などの場合は電動式車いすを利用する。
- ・ 入浴はシャワー浴のみとして、浴槽の利用はない。
- ・ 洗面化粧台は、スペースが狭いため利用しない。歯磨き等は既存のキッチンを利用する。
- ・ 週3回のヘルパーが買い物、掃除、調理準備を行う。既存のキッチンを利用して簡単な調理が可能である。
- ・ ベッド高を床から 800 ミリ程度として、下部を収納として利用。
- ・ コート掛け等、高い位置の利用は、リーチャーを利用。

## 22(101)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	熊本県合志市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他 自立 自立するために現在ある能力を最大限に活用する



#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄				
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>歳 / ■男 □女</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>両親、姉</td> </tr> </table>	対象者	歳 / ■男 □女	家族	両親、姉
	対象者	歳 / ■男 □女				
家族	両親、姉					
* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)					
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明				
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	(頸椎損傷)				
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況					
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度				
	A D L の状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）			
		排泄	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）			
		入浴	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）			
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）			
移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)				
	屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)				

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

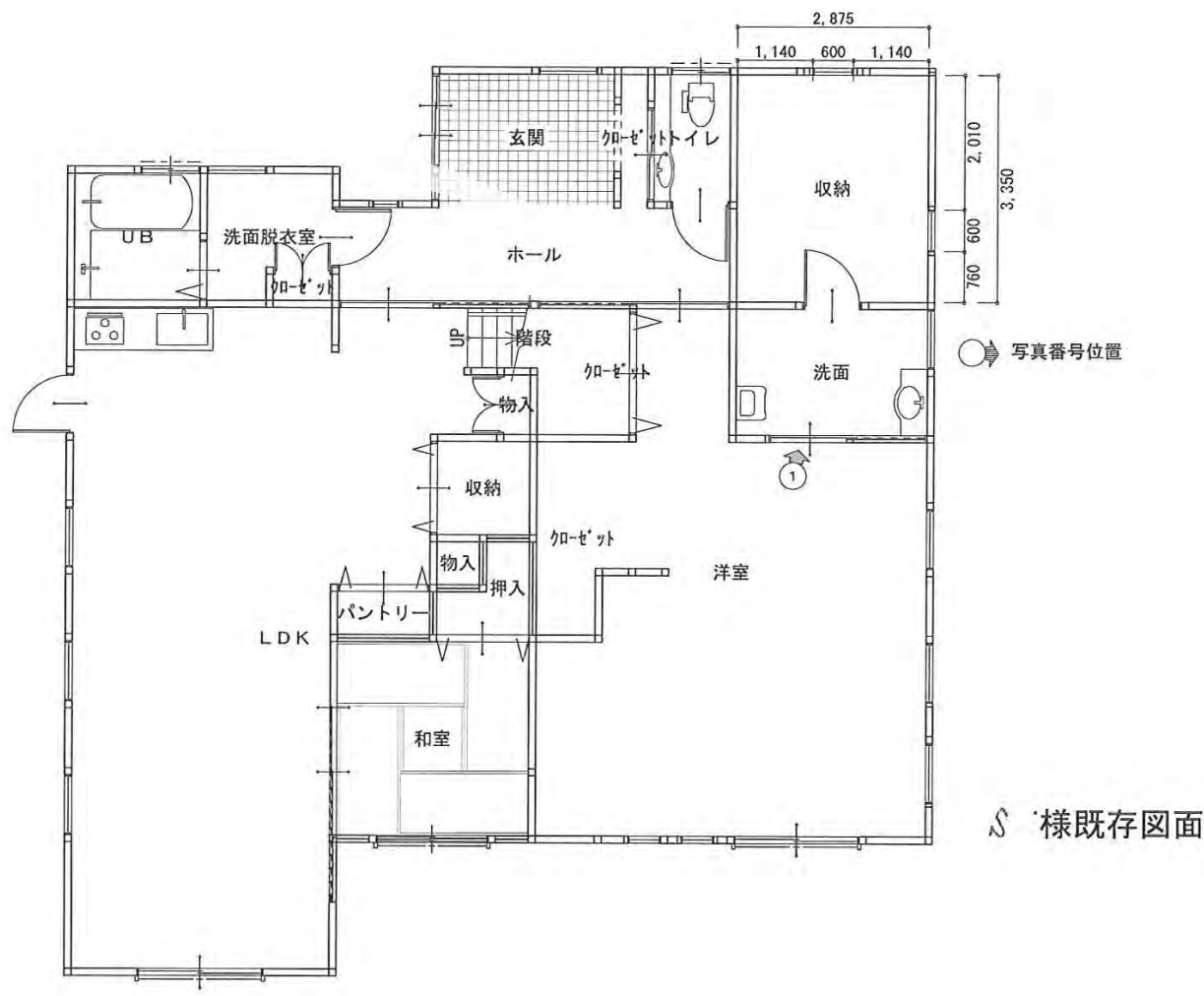
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしでトイレ・シャワーを使いたい	トイレ・シャワー
2		
3		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	家族と共用できない
2	浴室	家族と共用できない
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



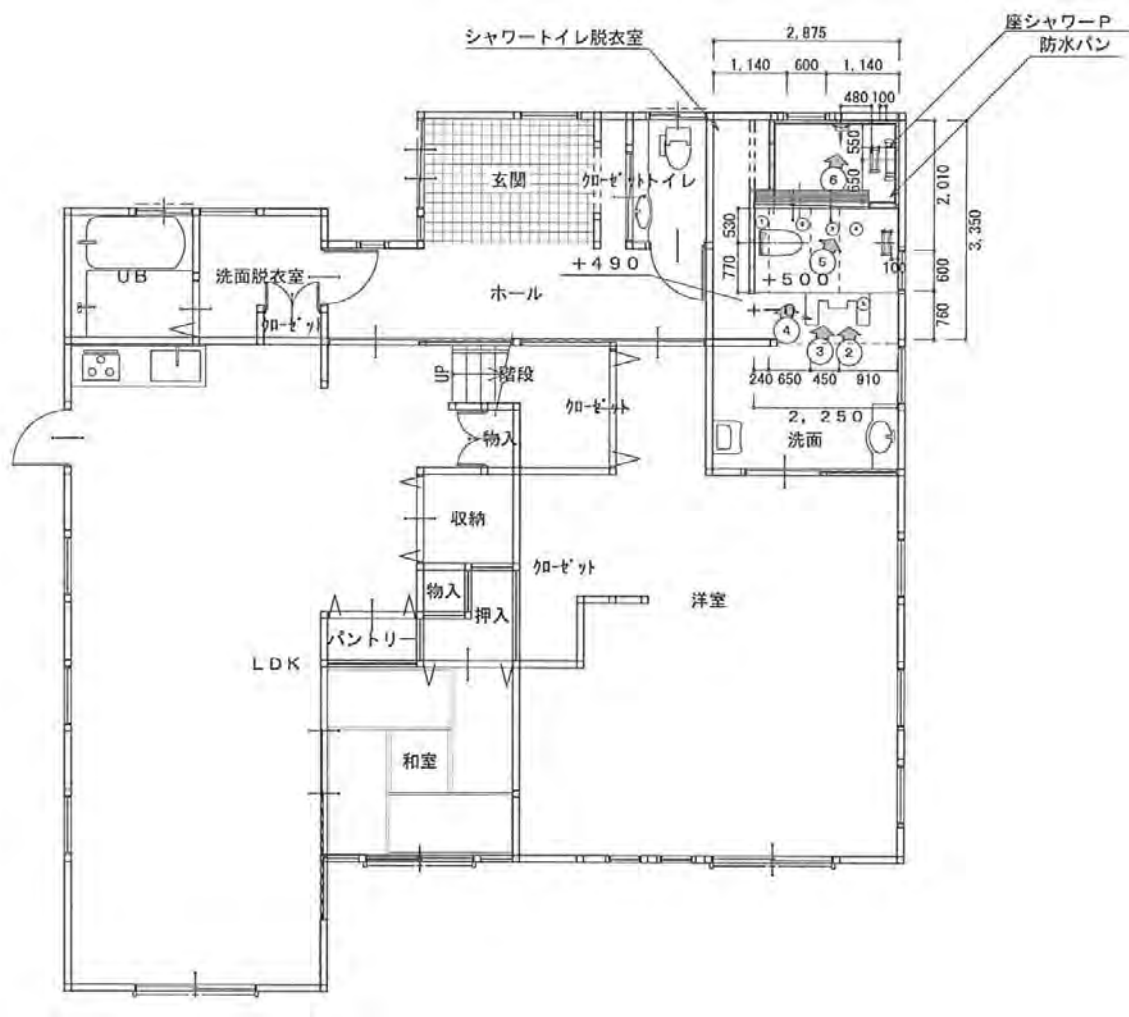
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	脱衣所・トイレ	<p>移乗台を使い、脱衣所とトイレに車椅子から移乗する。</p> <p>移乗台と、脱衣・トイレ台の高さの差が10mmとても大事な高さの差。</p> <p>トイレの便器の中にモニターカメラの設置【父親施工】コンセントの前もっての打ち合わせ。</p> <p>背もたれ、場所は設置の際に再確認。</p> <p>台と便座の高さ関係や台のクッションの沈み具合・硬さ・シートの滑り具合など訓練所の先生のアドバイスが為になります。</p> <p>脱衣場所とトイレの位置関係、台の広さ、シャワー室への移動等多くの事を知る必要がありそうです。</p>	
2	シャワー室	<p>入口の開口寸法や排水の取り合い移動方法の確認、シートが濡れた時の滑り具合など、訓練時に使った商品の知識を教えて頂きました。</p> <p>ザ・シャワーのお湯の制御は、電磁弁とリモコンを使う事で自分でも使えるようにしました。</p> <p>入口ドアは三枚引き戸で対応しましたが、レールのところの渡が大変です、電動シャッターの透明樹脂パネルで対応出来ると排水や、レールのところの対応が今少し楽になりそうですが、浴室に電気を持ち込めないとのことで、対応して頂けませんでした。</p> <p>床は、特注の防水パンを造ってもらい対応、シャワーの離れや高さを決めるのも大変です。</p> <p>シャワー室での背もたれの固定も課題です。</p>	
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	既存開口部広くするために、図面と現場で構造材の確認。	②	収納部分を片づけて場所を確保。 <b>移乗台の高さなどは訓練所の先生に確認。</b>
			
③	移乗台と台の高さ 10mm の違いですがとても大切な事です。	④	便器（埋め込み）便器と台の高さも 10mm 違います、便器の横の空は出来るだけ少なく、台が柔らかすぎると沈み込みが大きくなりますので、硬さも大事、硬すぎると痛みが出る事もあるそうです。
			
⑤	座シャワーリモコンで操作。	⑥	ハンドシャワー補助、極力軽い物を。
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



23(013)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	岩手県花巻市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を検討した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫           <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫           <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫           <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫           <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫         </div> <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	福祉用具の使用ができる。車いすで外出、移動できる。介護しやすい水廻りの設備。介護サービスの導入がしやすい。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	196.25 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2007 年／概ね 4,000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 89 歳／ ■男 □女
		家族
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 ■要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用→ ■歩行器利用→ ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	福祉用具を利用できる家屋構造にしたい	居室、通路
2	車いすでの外出がしやすい	屋根付きカーポート
3	ホームヘルパーが居室に行き易い間取り	玄関脇の居室
4	介護が受け易い設備	居室に隣接したトイレ
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

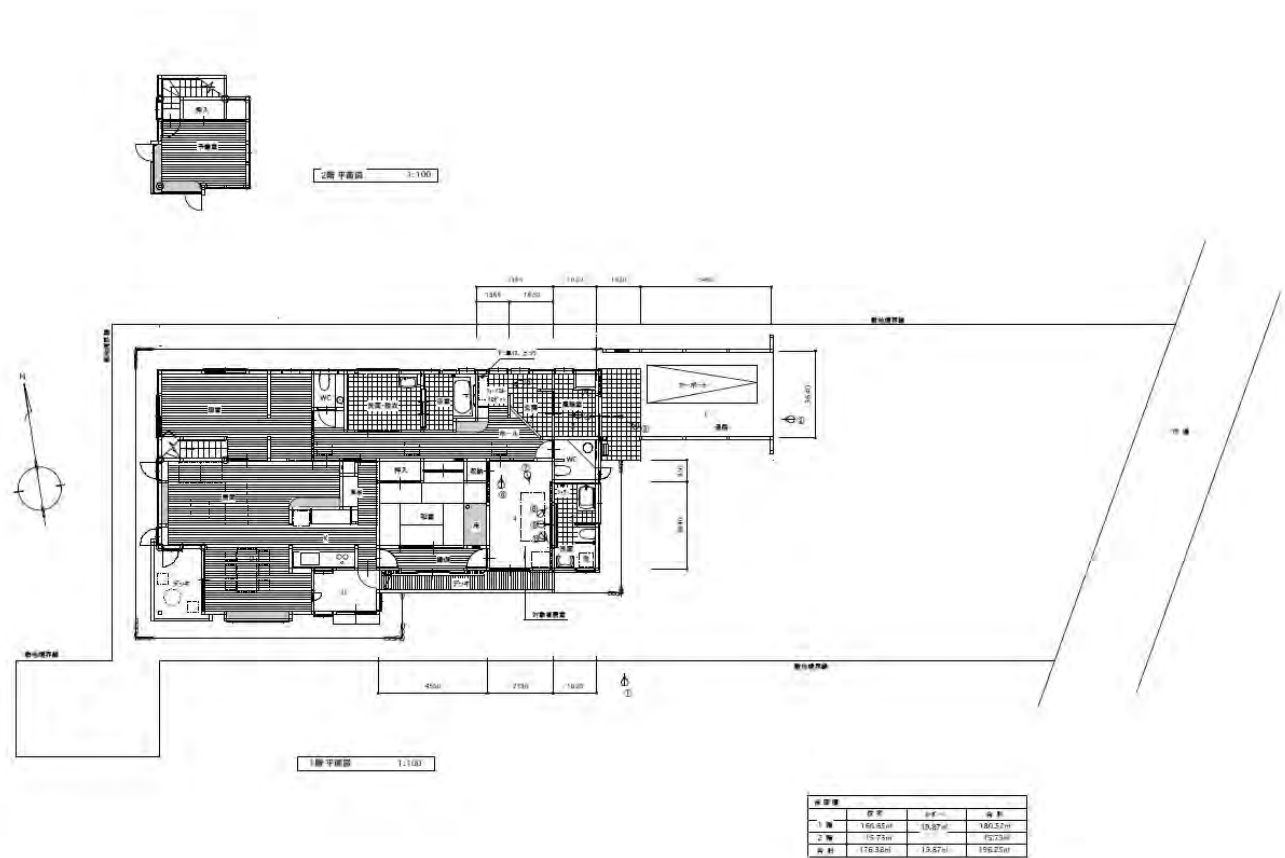
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	カーポート	屋根付きとし、車いすの乗降可能なスペースを確保した。	①
2	風除室	車いす等福祉機器の使用と介助の為のスペースを考慮し、開口幅を広くできるように、引込み戸とした。	①
3	玄関	車いす回転できる広さと外出用車いすの収納スペースを用意した。	①
4	居室	玄関に近く南向きの明るい場所に配置し、デッキを設けて布団を干したり、対象者も介護者も、自然に接することができるように考慮した。福祉機器使用、介護サービスを考慮した広さとし、床材の選択も転倒しても怪我しないようなクッション性と同時に掃除のしやすさも考慮した。移動の安全のための段差解消、引戸とした。	②③④
5	トイレ	トイレ、洗面、入浴の動線を考慮して居室に隣接した位置に水廻りスペースをまとめて設けた。移動の安全のために手摺をつけ段差をなくした。床は水洗いもできるように排水、勾配を考慮した。	③④
6	主要室	訪問サービスを利用する際の、家人不在時に一部施錠できる部屋を準備した。	③
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

◆平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	全景：屋根付きカーポートと南向き対象者居室	②	スロップになっているカーポートから風除室入口へ
			
③	風除室引込戸を開けて玄関を見る。床段差無し	④	風除室から玄関ホールを見る
			
⑤	ウォークスルークローゼットの可動棚に車いす収納スペース	⑥	居室入口引戸を開けて玄関ホールを見る
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	居室入口から洗面所を見る。床：クッションフロア	⑧	居室から浴室を見る。手摺設置。床暖房
			
⑨	トイレ：固定手摺、可動手摺	⑩	引戸：段差は無い。非常ブザーの紐が見える
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

高齢の父親にとって、介護が受け易く、介護者である嫁が、介護し易い住まいになるように設計し、訪問サービスの導入も当初から考慮してある。新築後3年余の在宅介護で此処が穏やかな終の住処となった。





24(001)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	U 邸	事例所在地	北海道網走市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	□高齢者対応    □障害者対応    ■高齢障害者対応
工事分類  （主たる工事分類一つをチェック）	□主に対象者の現在の状況を検討した工事 ■主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別）  （主たる工夫について、右記５つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <p>■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫</p> <p>■ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫</p> <p>■ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫</p> <p>■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫</p> <p>■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫</p> </div> <hr/> <p>□その他（ ）</p>
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	171.36 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	H20 年／概ね 2,500 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター ■その他（息子・大工）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	76 歳／ □男 ■女
			家族	息子 52 歳、息子の嫁 52 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子の嫁 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明 (現在：要介護 5)	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		有り ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		有り	
	* 認知症の有無と状況		□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用 (現在：車椅子のみ))	
屋外		□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用 (現在：車椅子のみ))		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ショートステイ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	対象者が、家族に気兼ねなくサービスを受けたい。	ローカ
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

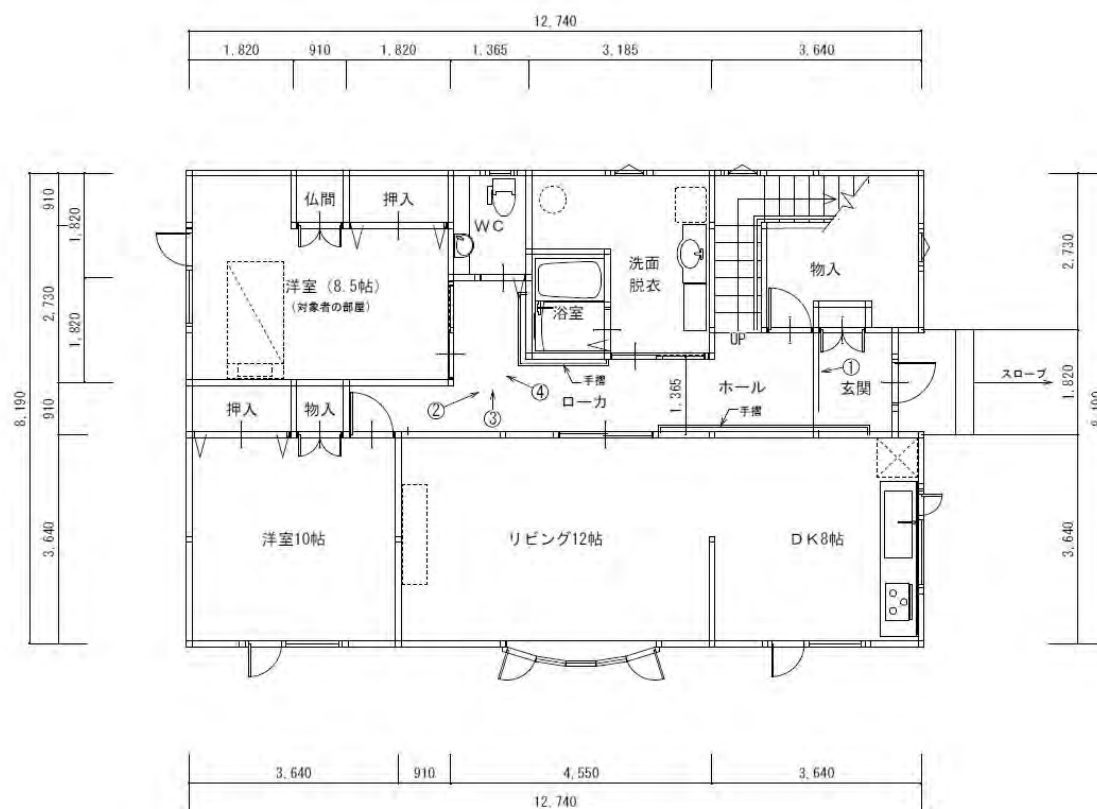
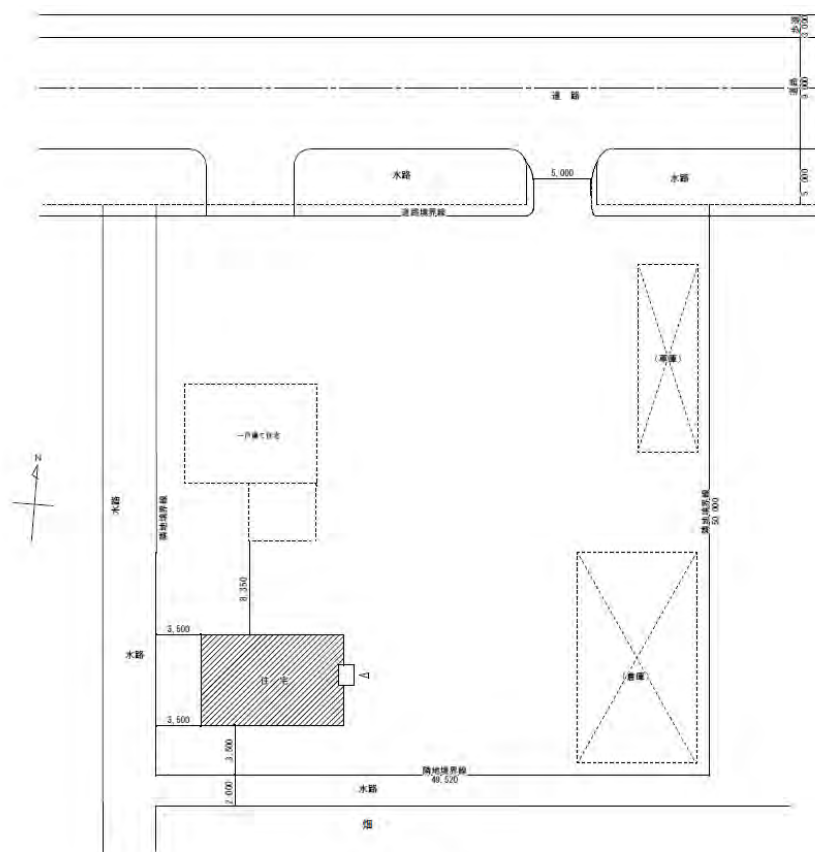
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	廊下	家族に気兼ねなく、サービスを受けやすくするため玄関から直接、 対象者の部屋に行けるようにした。 廊下の幅（W=1,200）とし、車椅子でもサービスを受けやすくした。	①～⑤
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ローカ(右奥、対象者室)	②	ローカ
			
③	ローカ(トイレ前)	④	ローカ(対象者室出入口)
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。





## 25(073)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車椅子での移動の為に床をバリアフリーとした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	134.1 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 110 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	42.38 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 78 歳 / □男 ■女 家族 夫 76 歳、娘 49 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り ( 障害者 4 級 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	骨粗鬆症、大腿骨転子部骨折、喘息
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

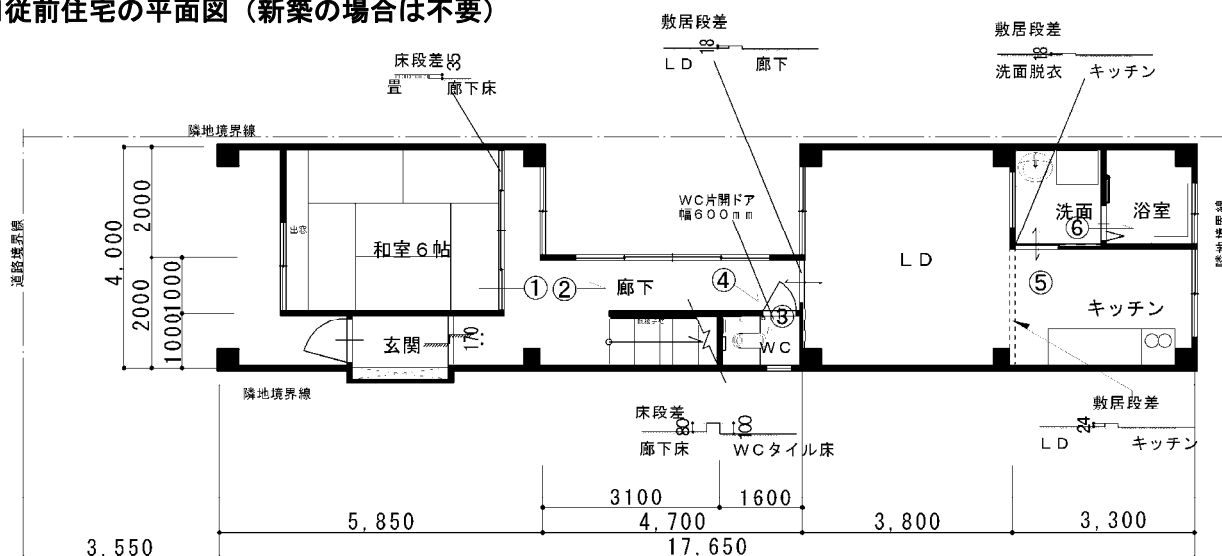
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	寝室を2階から1階にしたいが気に入っている間取りは変更したくない。	1階和室
2	段差解消（敷居段差）	1階居室、廊下、洗面
3	1階トイレの改造 兼用(和式)→洋式	1階トイレ
4	洗面化粧台を車椅子対応にしてほしい。	1階洗面所
5	体位保持の為に手すりを設置	1階浴室、トイレ
6	人感センサー付照明器具	1階廊下、トイレ
7		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体的課題・問題の内容
1	寝室	2階にある為に昇降出来ない。
2	居室、廊下、洗面	敷居段差がある為に車椅子で移動できない。
3	トイレ	跨ぎ段差、兼用便器、扉の幅が狭く車椅子で寄り付けない等の為に使用出来ない
4	洗面化粧台	車椅子では自力で使用できない。
5	浴室	自力で体位保持出来ない。
6	廊下、トイレ	既設スイッチの高さが車椅子利用では高い
7		

## 従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



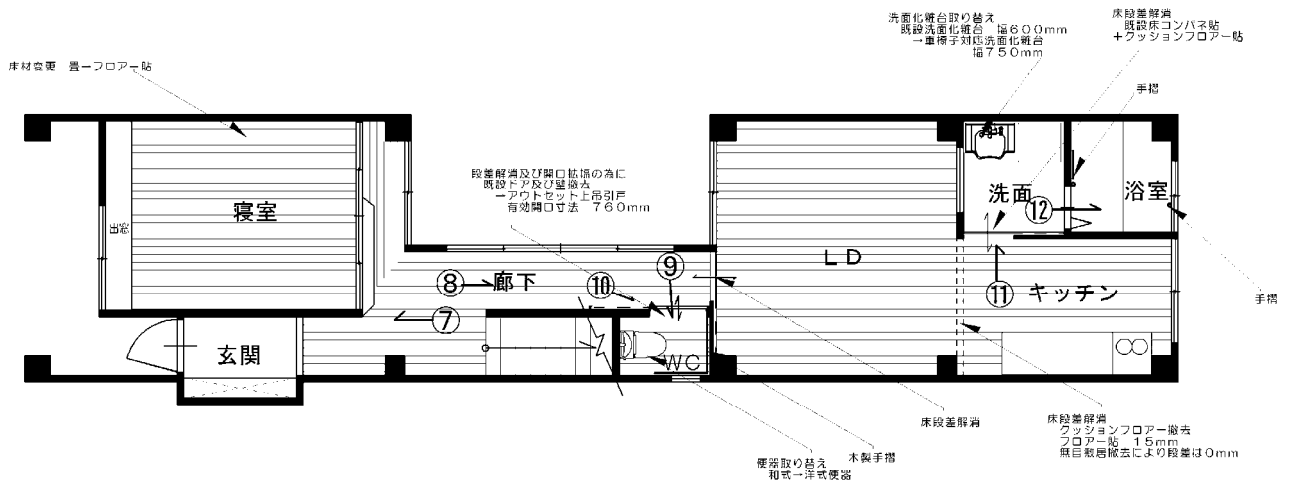
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	1階玄関横の和室を改修し寝室とした。	②③④
2	居室、廊下、洗面	敷居段差を無くし屋内は車いす自力走行可能とした	④
3	トイレ	便器を洋風便器に取り替えた	④
4	トイレ	ドアを引き戸にして車いすで寄り付き可能とした。	④
5	洗面化粧台	車椅子対応洗面化粧台としたことで歯磨き、洗顔、整髪を自力で行える	④
6	浴室、トイレ	体位維持に必要なヶ所へ手摺を取り付けた	③④
7	廊下、トイレ	人感センサー付照明器具に取り替えた	
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	1 階和室（改修前）	②	廊下 敷居段差（改修前）
			
③	トイレ 兼用便器（改修前）	④	トイレ ドア跨ぎ段差（改修前）
			
⑤	洗面化粧台（改修前）	⑥	浴室（改修前）
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	1 階寝室（改修後）	⑧	廊下（改修後）
			
⑨	トイレ 洋風便器（改修後）	⑩	トイレ 引き戸（改修後）
			
⑪	洗面化粧台（改修後）	⑩	浴室内手摺（改修後）
			



## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

転倒骨折により車椅子を利用した生活となった対象者の自宅は築28年になる鉄骨3階建ての住宅です。敷地は4.5mの狭小間口であり建蔽率はすでに規制値の為に建物の増築は出来ませんでした。

対象者は住み慣れた我が家で安心して暮らし続けることを希望していました。2階の寝室へは昇降できなくなったので1階玄関横の和室を改装して寝室としたのは既設間取り上の事でしたが訪問サービス介護者の出入りと対象者の外出のし易さを含めて考えたことでした。対象者から計画当初は客間がなくなる事を気にしてなかなか了解いただけませんでした。いずれ歩行が出来るようになったらまた和室に戻しましょうということでの了解を得ました。リハビリの目標を自立歩行ととても前向きに考えて下さいました

対象者が入院中の工事でしたが、ご家族が住みながらの改修工事は9時～17時(11:45～13:00は家族の昼食時間の為作業中断)毎日作業時間の中で屋内養生、工事、清掃、復旧を行ない、移動させた家具や什器、書籍等は必ず本の位置に戻す事や何時にどのような職種の人が来て搬入される材料の種類、数量を書面提出し説明もしましたが、持病の為に少しの変更も不安に思われるご家族に大変気を遣った工事となりました。



## 26(029)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 排泄の自立ができる工夫・介護しやすい工夫 ）
主たる工夫のポイント	・ 車椅子が利用しやすい通行巾・部屋の広さの確保。 ・ 車椅子が移動しやすいように段差をなくす。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	199.66㎡／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2005 年／概ね 4,000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	㎡
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階のリビング・ダイニング・寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 74 歳／ ■男 □女 家族 妻 67 歳、娘 39 歳、娘の夫 37 歳、孫 7 歳・5 歳・3 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 ■要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	障害有 左半身麻痺 (身体障害等級 1 級 (手 2 級、足 3 級) )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳血管障害
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（バスボード・浴室椅子・多脚 杖 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車椅子でスムーズに移動できるようにしたい。	廊下・寝室
2	排泄をトイレで介助なしで行えるようにしたい。	トイレ
3	安全に入浴できるようにしたい。	浴室
4	車椅子での外出がスムーズに行えるようにしたい。	玄関・アプローチ
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

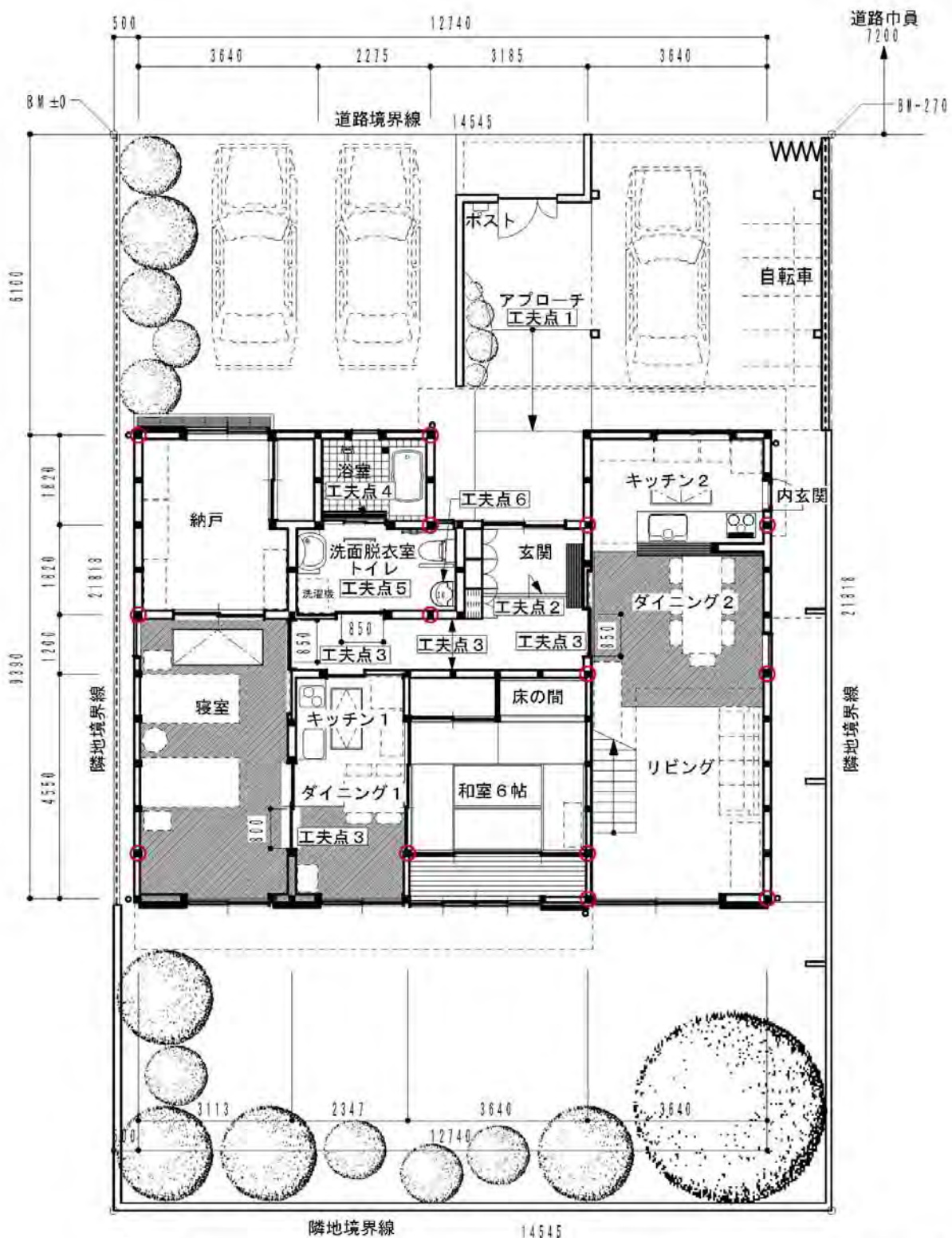
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	アプローチ	道路から玄関までのアプローチをスロープとした。	①
2	玄関	上り框の高さを対象者が乗り越え可能な 8 cm とした。	①
3	廊下・建具巾	廊下の有効巾を 1070 mm、建具の有効巾を 800 mm 以上確保し、車椅子の通行がスムーズに行えるようにした。	④
4	浴室	浴室の出入り口をバリアフリーとした。	④
5	洗面脱衣室・トイレ	洗面脱衣室とトイレをワンルームとし、車椅子からの排泄動作がスムーズに行えるスペースを確保した。	⑥
6	洗面脱衣室・トイレ	夜間使用する収尿器などを洗うための専用の流しを設けた。	⑥
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



対象者の主たる居場所

※ 2 階は子供世帯の空間の為、省略。

K 邸 1 階平面図

1 : 100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	アプローチ	②	玄関
			
③	玄関上り框	④	廊下
			
⑤	洗面脱衣室・トイレ入り口	⑥	ワンルームとした洗面脱衣室・トイレ
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	トイレ・収尿器洗浄専用流し	⑧	浴室入口
			
⑨	高齢者対応浴槽・浴室手摺	⑩	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

左半身マヒとなり、車いす生活となった対象者ができるだけ介助者の手を借りずに一人で排泄・住宅内移動ができる事に重点を置いて設計した。

2世帯住宅であるので、子供世帯との交流ができることも大切な課題であった。

入浴・外出には介助の手が必要だが、スムーズな動作が行えることが課題となった。

段差が多く、廊下が狭かった昔の住宅では寝室から出ることもできず、寝室にポータブルトイレを置いての排泄だった。また、部屋・廊下が狭い事が、車椅子での移動を阻み、介助者が対象者を自宅に長時間一人残すことができなかった。住宅を建て替えることにより、行動範囲が広がりリハビリにもつながっている。



27(012)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	G邸	事例所在地	岩手県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢の母親を、離れて生活している子供たちが、協力して交替で介護を担当できる住宅に建替える。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	73.21 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年／概ね 1,400 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	93 歳／ □男 ■女
			家族	息子 57 歳、息子の嫁 56 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 ■娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 ■ 要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		無し ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		脳内出血	
	* 認知症の有無と状況		□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 ■重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)	
屋外		□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	福祉用具の使用可能なバリアフリー住宅	居室、トイレ、浴室
2	冬期の寒さ対策として高気密の寒くない住まい	全館
3	独立した子供たちが、交替で親の介護する為に泊まる部屋	和室
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	床段差	敷地が傾斜しているので、部屋毎に段差があって、車いす使用できない。
2	寒冷地の寒さ	ヒートショックが心配。
3	介助者の部屋	子供たちが交替で介助できるように、介助者の部屋を用意したい。
4		

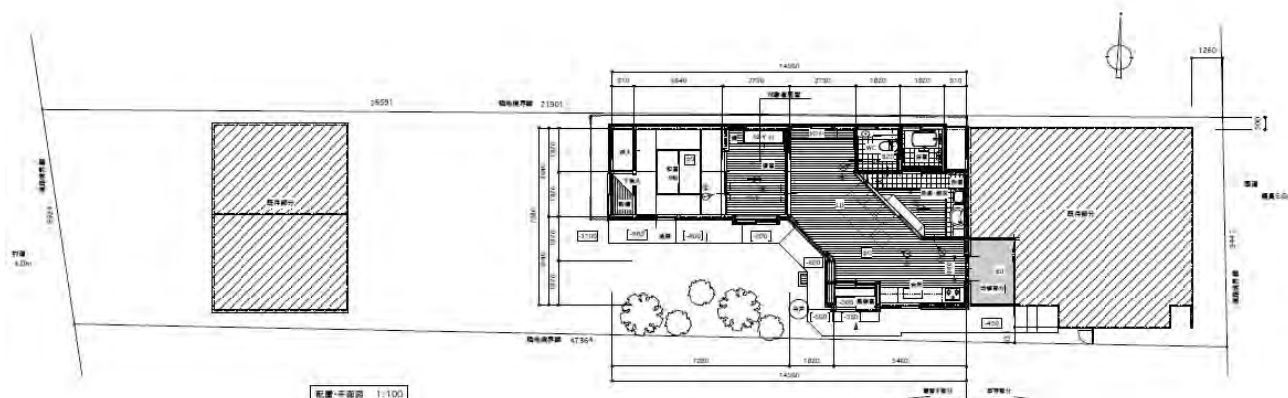
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	全体	段差解消と引戸にすることで車いす移動ができるようにした。	④
2	居室	ベッド、車いすが使用できる広さにした。	④
3	脱衣、洗面	車いす使用できる広さと段差解消。ヒートショック防止床暖房にした。	④
4	トイレ	居室からの動線を短く、介助スペースを十分確保した、床：防汚タイル敷 脱衣からも出入りできるように2方向開口を設けた。	④
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	キッチンから脱衣、浴室、トイレを見る	②	和室から居室、居間、トイレを見る
			
③	脱衣、洗面スペース	④	居間からトイレ内部を見る
			
⑤	居室に隣接する介助者の寝室	⑥	居間、居室、介助者室とつながる動線
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

認知症の対象者が建替えに不安を感じないように、庭の景色、樹木等を従来のまま保存するように心懸けた。



## 28(007)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N Y 邸	事例所在地	北海道札幌市
------	-------	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	195 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2002 年／概ね 2,100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	106 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 52 歳 / ■男 □女 家族 妻 52 歳、次男 16 歳、次女 14 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	1 種 1 級 (?) ( 不明 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳梗塞による右片麻痺、失語症
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

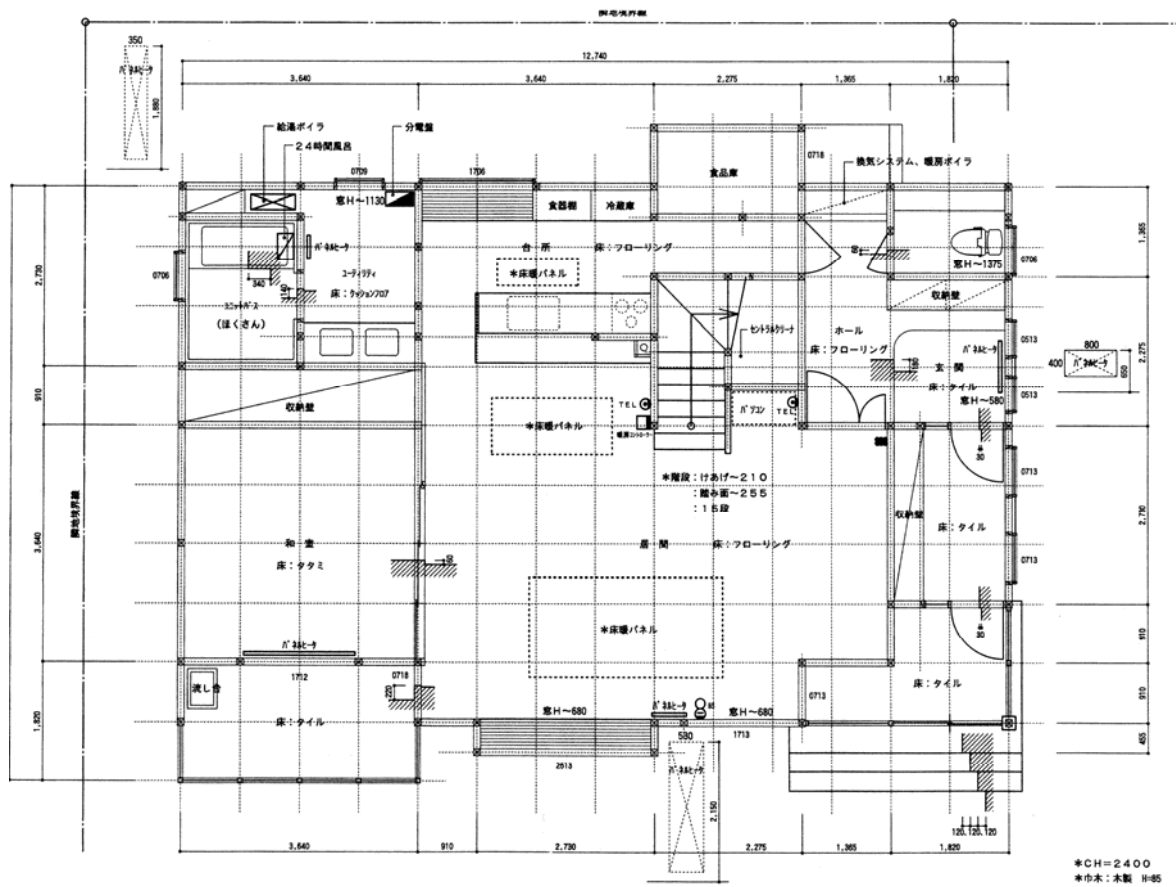
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車椅子、杖を使って室内を安全に移動したい。	寝室、台所、食堂、洗面室、浴室、トイレ
2	寝室を1階和室に移し、洋室に変更したい。	和室
3	トイレの床段差、ドア巾が狭いことで介助ができない。	トイレ
4	浴室の洗い場に段差があり、つかまるところがないので介助ができない。	浴室
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	寝室	2階にあるので、階段昇降が困難。
2	トイレ	床の段差があり、車いすで入ることができない。つかまるところもないので安全に移動できず、介助も不安。 寝室から遠い。
3	浴室	広さは十分だが、脱衣室と洗い場の段差がある。洗い場の床も滑りやすいため、転倒のおそれがある。つかまるところがないので、本人&介助者とも不安。
4	サンルーム	居間との段差があり、移動が困難。 趣味のスペース（金魚、花の世話）
5		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



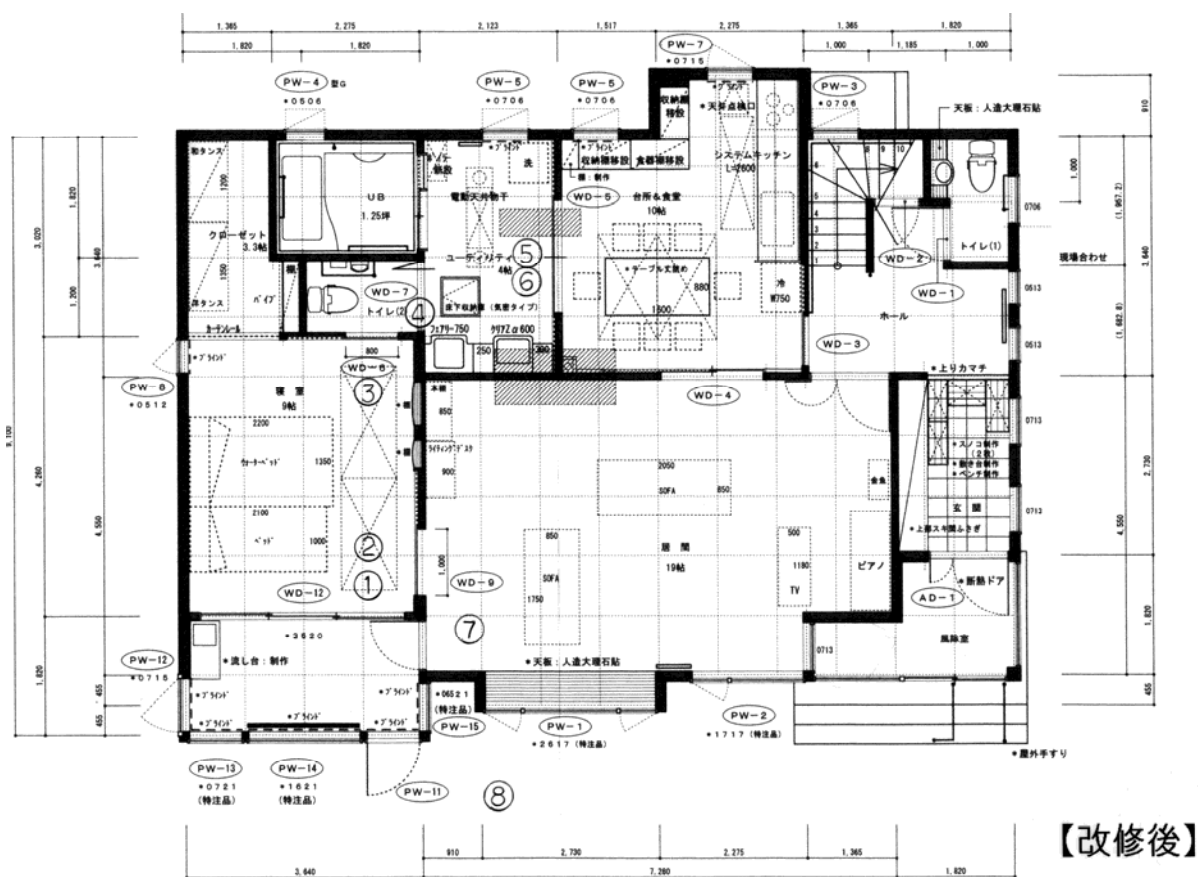
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	1 階和室の床を居間のレベルに合わせて段差解消し、洋室に変更。 リビングから出入り口は引き戸に変更。	④⑤
2	トイレ	寝室に隣接した位置に増設。 寝室～トイレ～ユーティリティの動線を確保。	④⑤
3	浴室	バリアフリータイプのユニットバスに取替。 手すりを取り付け、シャワーチェアを使用。	④⑤
4	サンルーム	床を居間のレベルに合わせ、寝室からも出入りできるように引き戸にし、南面からの採光が寝室まで入るようにガラス面を大きくとった。	④⑤
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



【改修後】

# 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	寝室	②	寝室
			
③	トイレ	④	トイレ
			
⑤	ユーティリティ	⑥	ユーティリティ
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	サンルーム	⑧	庭
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

子育て期に新築した住まい。夫婦が50歳代に入り将来（高齢）に備えてリフォームしようとしていた矢先に夫が脳梗塞を発症し右片麻痺の後遺症が残った。医師から回復しても車いす生活となると診断され、バリアフリーが最優先のリフォームとなった。

2階の主寝室を1階和室に移動し、洋間に変更。隣接するサンルームは夫の趣味空間で流し台まである。床をかさ上げして、リビング・寝室・サンルームが一体となるようにした。  
ここから前庭に出られように木製デッキを設置した。

玄関ホールにあるトイレは段差があり、ドア巾もせまくて介助が困難な状況だった。寝室隣にトイレを増設し、ユーティリティへのアクセスもできるようなレイアウトとした。

新築時は子育てを意識して、リビング、ダイニングキッチンが一体となっていたが、今回は来客時にリビングと仕切られるように変更。階段も玄関側に移動。

大きな家の割に窓が小さく、日中でも暗い印象を受けたので、リフォームを機に窓のサイズを大きくして、採光を十分取り入れ、通風もとれるように配慮した。

対象者はリハビリの効果で杖歩行ができるまでに回復し、介助者の負担が激減した。



## 29(059)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	愛媛県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車椅子使用可能トイレ増設、1 階部分のバリアフリー 浴室に車椅子で入る事が出来る

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	190 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 1200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	125 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	32 歳 ／ ■男 □女
		家族	4 人
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	1 級身体障害者 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

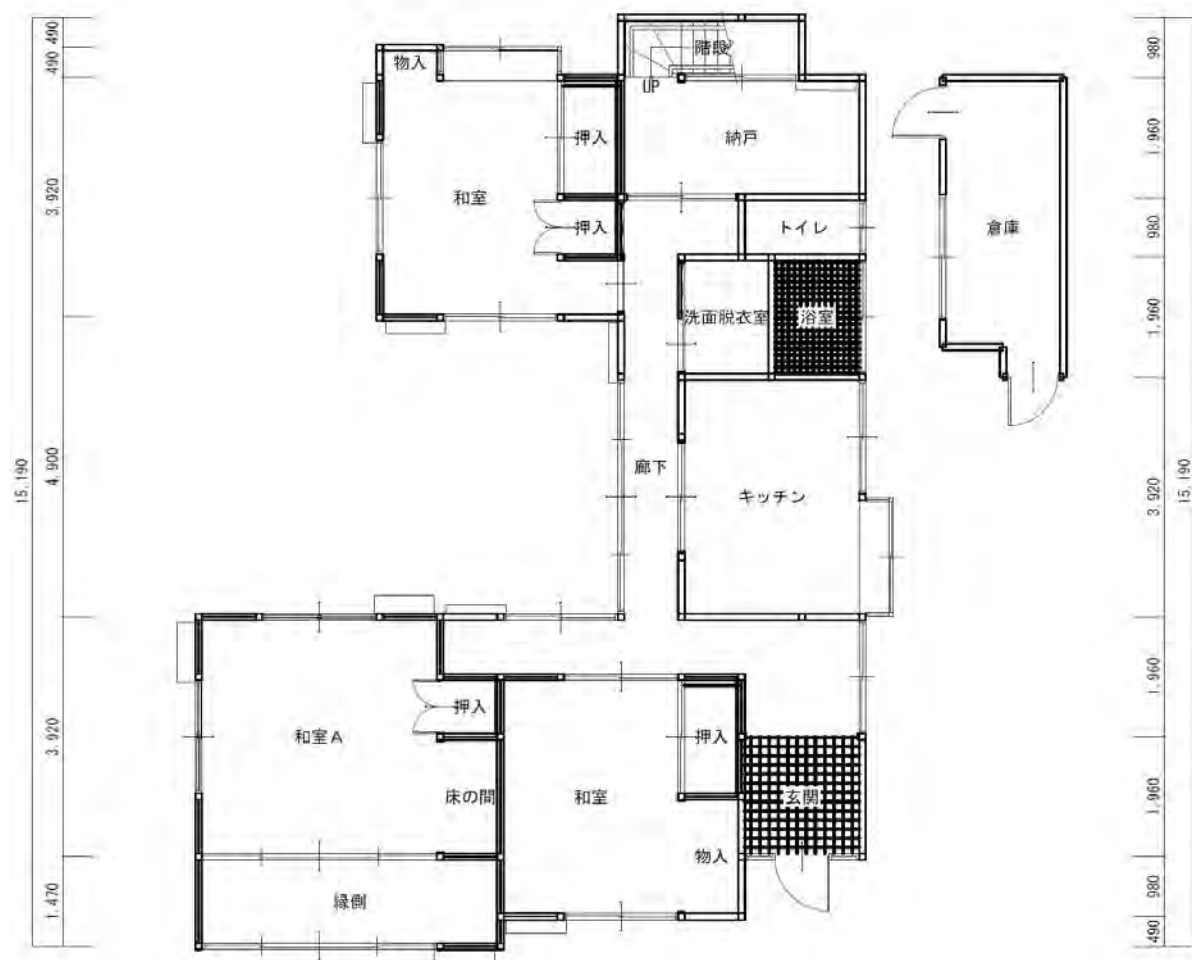
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	自分で車椅子を使ってトイレ移動	トイレ
2	生活のすべてを車椅子で	1階すべて
3	車椅子で外出	玄関スロープ
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	段差 260mm あり車椅子で外出出来ない
2	台所	段差あり
3	トイレ	狭くて車椅子では入れない
4	浴室	狭くて、段差あり
5	洗面所	段差あり
6		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



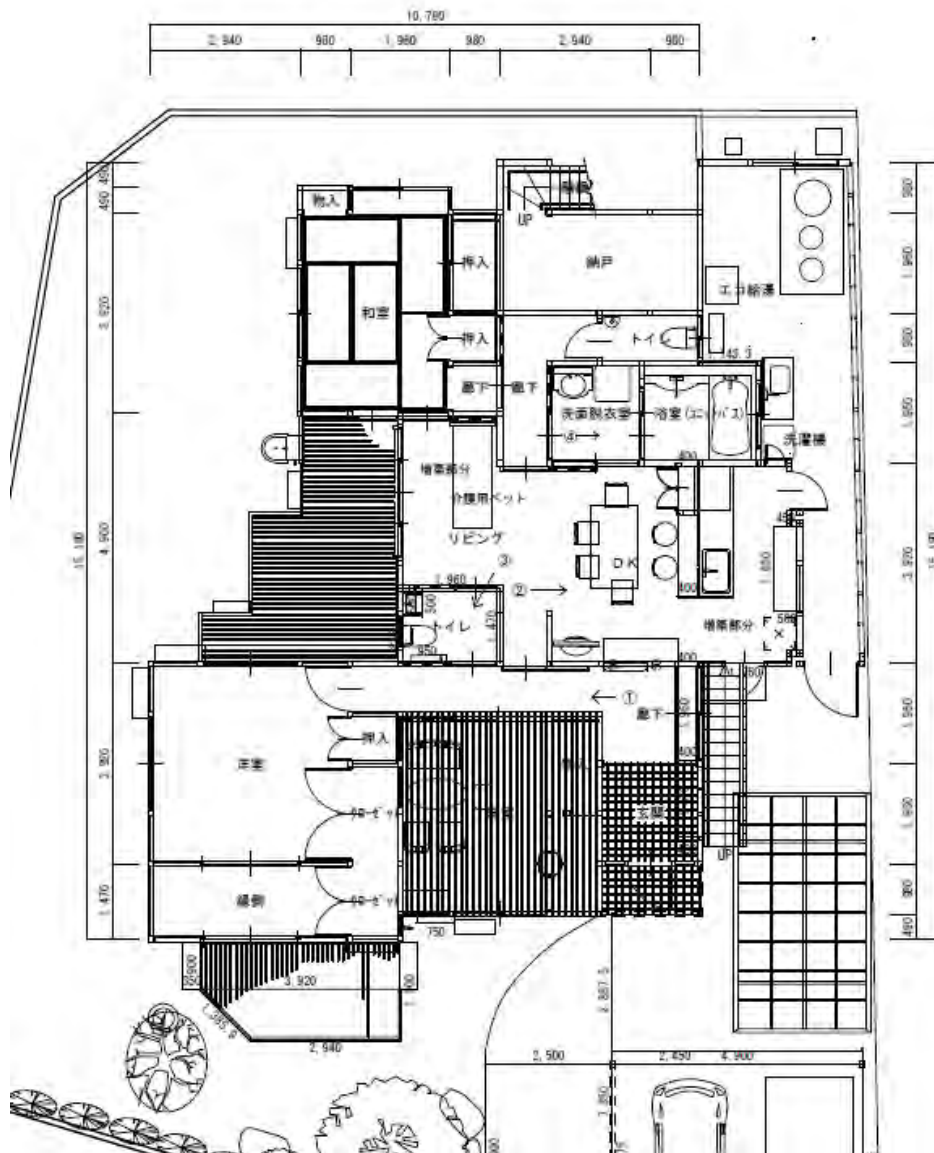
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	スロープ	①
2	トイレ	車椅子で入れるよう増築	②③④
3	寝室	トイレ横に増築	②③④
4	洗面、浴室	段差解消、浴室増床	④
5	LDK	車椅子で食卓につける	④
6	1階全面バリアフリー	車椅子で移動	②③④
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

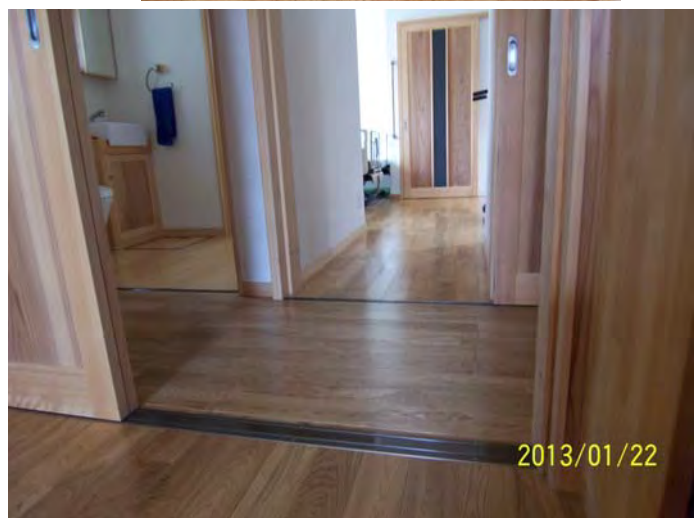
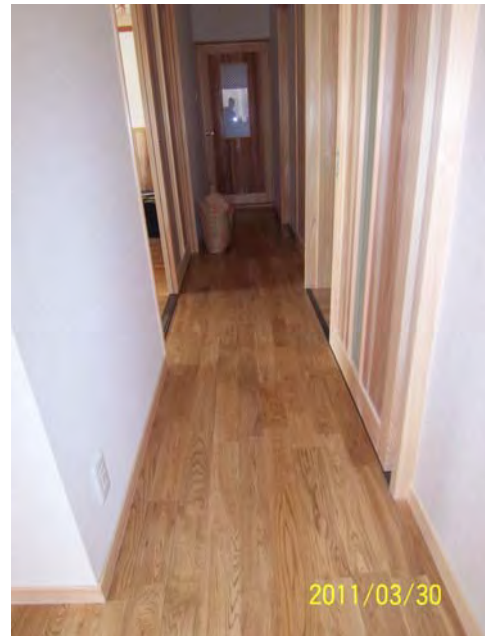
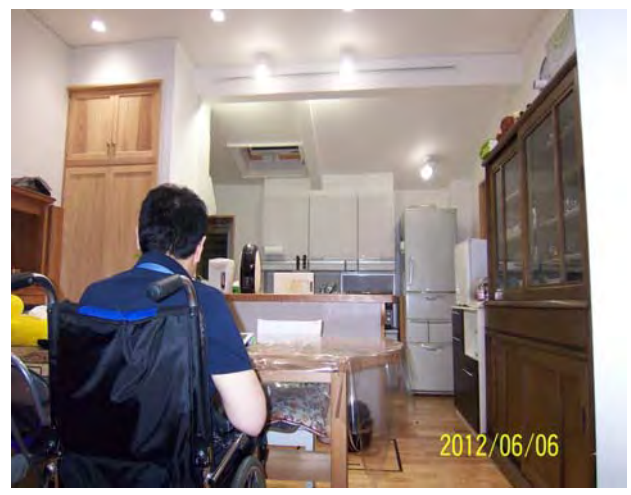
## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	洗面所から浴室へ	②	廊下
			
③	台所	④	玄関
			
			







## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

1 階の 80%バリアフリーに改装いたしました。

玄関から廊下へはスロープで LDK、寝室、トイレ、洗面所、UB はバリアフリーにしました。

LDK からウッドデッキへ車いすで移動可能です。

引戸を開け放てば狭い室内でも歩行器を使って、歩行訓練が出来るようにしました。

車椅子での移動の妨げになるため、手摺はどうしても必要なところだけにしました。



# 30(016)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	秋田県北秋田市
------	----	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	施設退所に伴い、明治時代の町屋作りの自宅を一人でも暮らせるように、特にトイレ、浴室、台所を居間寝室に隣接して新たに設ける。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	(全容不明) 261.99 m <sup>2</sup> ／ 平屋建
	工事実施年／工事費用	約 110 年 / 概ね 580 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	88.94 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		居間・寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー ■ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	歳   ／   □男   ■女
			家族	一人暮らし（同市内に兄弟がおり、見守りをしている）
	* 家族内の主たる介助者の状況		■介助者無し □介助者有り（□親   □配偶者   □息子   □娘   □子どもの配偶者 □孫   □その他）	
身体 状況	* 要介護度		□自立   □要支援1   □要支援2 □要介護1   □要介護2   ■要介護3   □ 要介護4   □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況（障害種別と等級）		障がい者手帳なし	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		認知症との診断であったが、施設担当看護師の個人史によると、親族からの情報も加味すれば、幼い頃より知的な障害があったと推察される。	
	* 認知症の有無と状況		□無し   □認知症の疑い有り   ■軽度   □中等度   □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立   ■見守り   □一部介助   □全介助   □その他（                    ）	
		排泄	□自立   □見守り   ■一部介助   □全介助   □その他（                    ）	
		入浴	□自立   □見守り   ■一部介助   □全介助   □その他（                    ）	
		起居	□自立   □見守り   ■一部介助   □全介助   □その他（                    ）	
	移動方法	屋内	□自立   □見守りが必要   ■一部介助 ■用具利用（□杖利用   □歩行器利用   ■車椅子利用）	
屋外		□自立   □見守りが必要   ■一部介助 ■用具利用（□杖利用   □歩行器利用   ■車椅子利用）		
* 改修・建築後の		有無	■有り   □無し	

通所系サービスの利用状況	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ（常設） □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

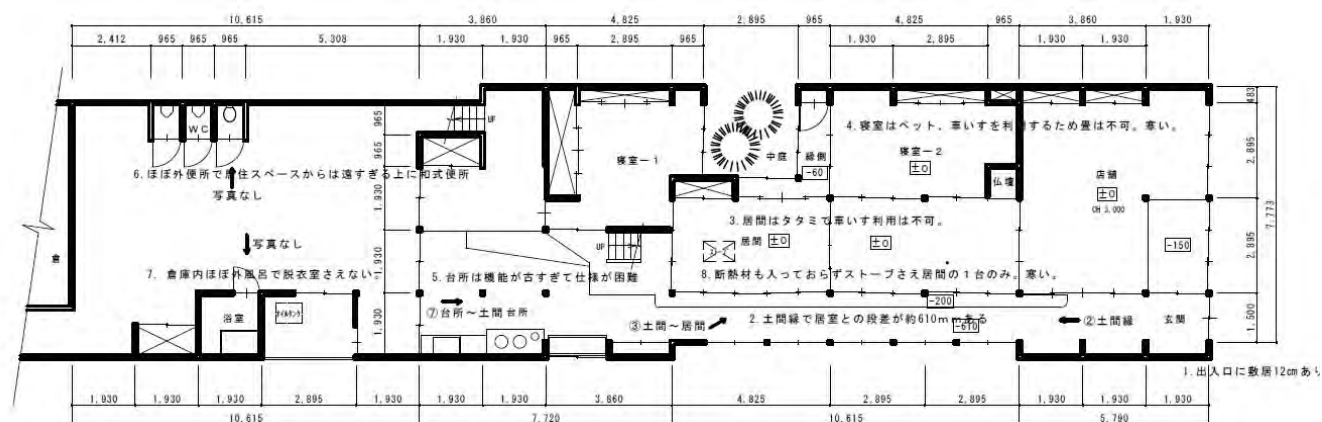
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	屋外への出入りを車いすでするように。	玄関、土間縁
2	玄関・土間縁と居間・寝室との段差を無くす。	土間縁
3	かまど、外風呂、外便所を居間と同じ床レベルとし隣接させたい。	台所、浴室、トイレ、居間
4	トイレ、洗面所、浴室を車いすで使えるようにしたい。	浴室、トイレ、洗面所
5	暖房設備を完備したい。	各室内床、ボイラー室
6	室内温度環境をたかめたい。	断熱材・外部サッシ
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体的課題・問題の内容
1	玄関	町屋づくりのため、出入口引違戸は木製で、約12cmの敷居をまたがなければならない。車椅子で介助なしでは通ることができない。
2	通路	土間縁で凹凸が激しく、苔が生えている。
3	居間	土間から居間の床高さ61cmと高く、上り下りが困難。建物の中央のため、屋外へ接していないため、FF暖房機は使用不可。床はタタミで、車いすでの使用は不適切。
4	寝室	居間と隣接し、帰宅後はベッドを置く予定。移動は車いすレベルの予定のため、床のタタミは操作上不適切。
5	台所	土間縁の延長線奥にあり、居間からは約61cmの段差を上り下りしなければならない。また、明治以来のかまどと流しは料理をするには不便である。
6	トイレ	居間・寝室から土間縁に降り、土間縁の奥の倉庫内に昔ながらの外便所（和式）がある。倉庫の中には親族の商売資材が保管されており、室内温度はほぼ外気と同じで、本人は不便さと体調を鑑み、自分の意思でオムツを利用してきた。
7	浴室	トイレと同じく、倉庫の中の一角に仕切られた簡易な風呂で、お湯は昔ながらの風呂釜（ガス）。本人の身体状況を考慮し、火災防止のためにも風呂がまの操作等自分で行うことは不可。
8	室内温度環境	居間に局所暖房の灯油ストーブ1台あるのみ。寝室や流しなど、本来日常的に使用する居室は暖房ができていない。明治時代の建築物であり、外壁はそのまま内壁であり、窓は木製のガラス窓のため、断熱仕様などまったく無い。また、コンセントの数も少ないため、家電製品（洗濯機、ファンヒーター等）の使用も限られている。
9		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



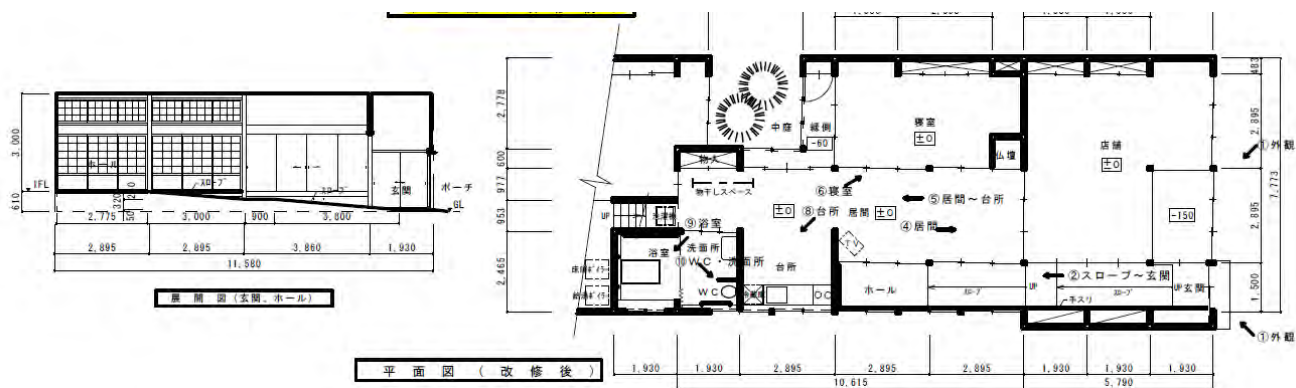
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	前面道路より直接出入りできるよう敷居を埋め込み、引き戸の開口幅を広げた。	①④
2	通路	車いす・杖歩行を可能にするため、土間縁を利用し、屋内スロープとし、手すりを設置する。床仕上げは滑りにくい素材とし、土間縁のイメージを壊さない配色とした。	①④
3	居間	床の仕上げをフローリングとし、車いすでの生活が楽にできるよう、室内の家具を整理し、空間を確保した。（暖房は床暖房を採用し室内を広く有効に利用できる。また、認知症にため暖房等の操作はボイラー室内で親族が管理する。）	④
4	寝室	床の仕上げをフローリングとし、車いすでの生活が楽にできるよう、室内の家具を整理し、空間を確保した。（暖房は床暖房を採用し室内を広く有効に利用できる。また、認知症にため暖房等の操作はボイラー室内で親族が管理する。）	④
5	台所	床の仕上げをフローリングとし、ヘルパーさんと一緒に後片づけができるよう、コンパクトでシンプルな間取りとし、居間と食堂と一体で使えるようにした。	①
6	トイレ・洗面所	居間から直接出入りできるよう、浴室と一体とし床はFRP塗布防水で滑りにくい仕上げとした。車いすで使用する場合も、浴室と一体のため、洗い場が広く取れ、脱衣も車いすからの移乗もゆったりとできる空間を確保できた。	③④
7	浴室	将来入浴介助も必要になる可能性を考慮し、左右両方から出入りできるよう、浴槽をセンターに配置した。	①④
8	室内温度環境	家自体が古く広すぎるため、改修部分のみ内側から床・壁・天井の断熱、更に開口部は内側に樹脂サッシを設置し、断熱化を高めた。暖房設備はボイラーによる床暖房（本人は操作不可）とし、給湯もボイラーから温度管理されたお湯を使うようにした。	⑥

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外部正面 玄関出入口	①	土間縁をスロープに
			
②	床組改修施工中	④	居間
			
③	居間・食堂（フォローアップの様子）	⑥	寝室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	既存流し部分に新に台所・浴室・トイレを作る	⑧	台所
			
⑨	浴室	⑩	トイレ・洗面所
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

施設ケアマネより、Sさんの対処に当たり「帰宅」のための相談があり、事実上の後見人である弟夫婦と打合せを行った。Sさんは数年前、身体機能の低下により軽費老人ホームへ入所。その後施設内で転倒し骨折して退院が延びた。退院後は一旦老人保健施設へ入所、リハビリをしながら自宅へ戻るために必死でリハビリを行った。その甲斐あって、弟夫婦も了解し帰宅にあわせて住宅改修を行うこととなる。(実弟からは、当初「たとえ姉のためとは言え、このような古い建物にお金を掛けるのは、金を溝に捨てるようなもの」と改修のための打合せが進められなかった。しかし帰宅にあたり、在宅介護サービスと訪問看護サービス、デイサービス利用のマネジメントにより、一人暮らしの支援プランについて詳細に説明することにより、了解を得ることができた。施工途中には、毎日のように状況写真を撮りに訪れ、離れた親族までもが変化していくSさんの自宅を見学に訪れてくれた。完成後、Sさんは車いすで帰宅したが、玄関の前に立つと「歩いて入る」と言い、スタッフに支えられながら土間縁の手すりを使い、自立歩行で帰宅した。たとえ認知症の症状があっても、自宅と理解することができ、帰宅後もデイサービスを利用しない日には、近所を散歩する姿を見ることができた。Sさんはこの自宅で約5年暮らし、4年前に亡くなった。現在は空家となっている。

# 31 (038) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	滋賀県
------	----	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	対象者が外出しやすいように、また介護サービス等が受けやすいように、寝室（居間）の外にテラスを設け、スロープを通じて駐車場へ出られるようにした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	250.31 m <sup>2</sup> ／2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 250 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	44.17 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階居間・寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 ■理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳 / ■男 □女
		家族	妻 68 歳、息子 35 歳、息子の嫁 30 歳、孫女 2 歳、孫女 0 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 ■要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り ( 2 級 第一種 )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	有り くも膜下出血による右上肢機能全廃、右下肢機能障害	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

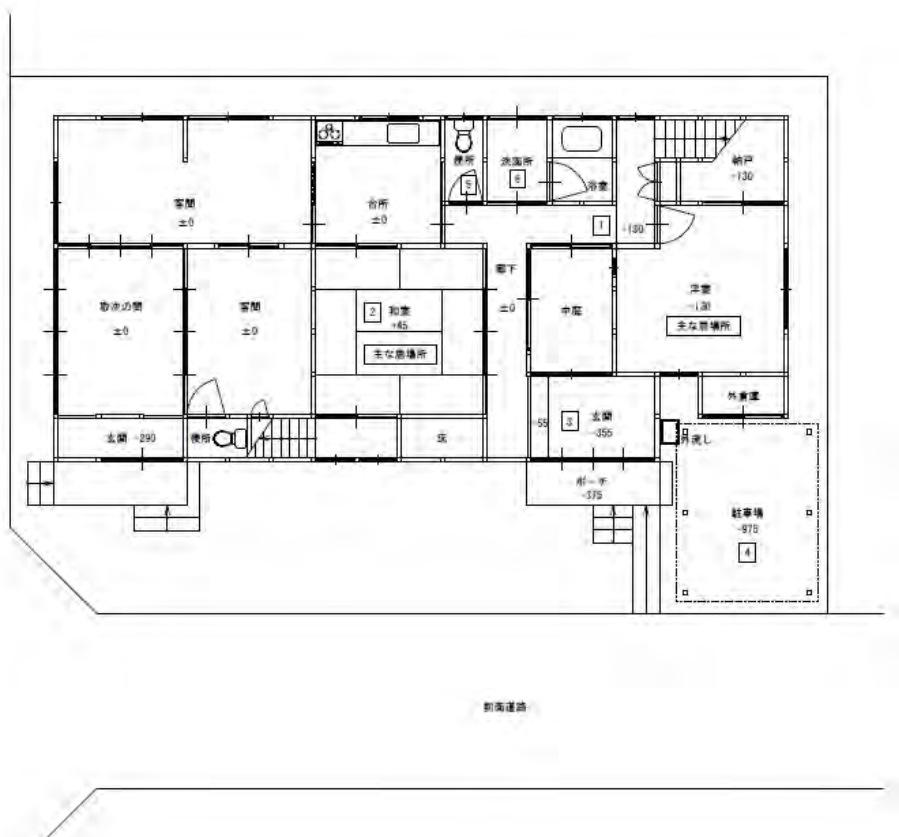
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	1階の居間～寝室～便所を車椅子で自走したい	居間、寝室、便所、 廊下
2	車椅子で外出したい	寝室、テラス、 アプローチ
3	車椅子対応の便所・洗面を設けたい	便所
4	野菜づくりを楽しみたい	テラス
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	廊下、寝室	廊下より寝室の床が低いため（-130 mm）車椅子での自走ができない
2	居間	廊下より居間の床が高いため（+45 mm）車椅子での自走ができない
3	玄関	廊下と玄関の段差が大きいため（-355 mm）車椅子での出入りができない
4	玄関ポーチ、駐車場	玄関ポーチと駐車場の高低差が大きいため、車椅子での出入りができない
5	便所	便所に手摺がなく、また、車椅子が入れる広さでない
6	洗面	洗面化粧台が車椅子対応でない
7		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

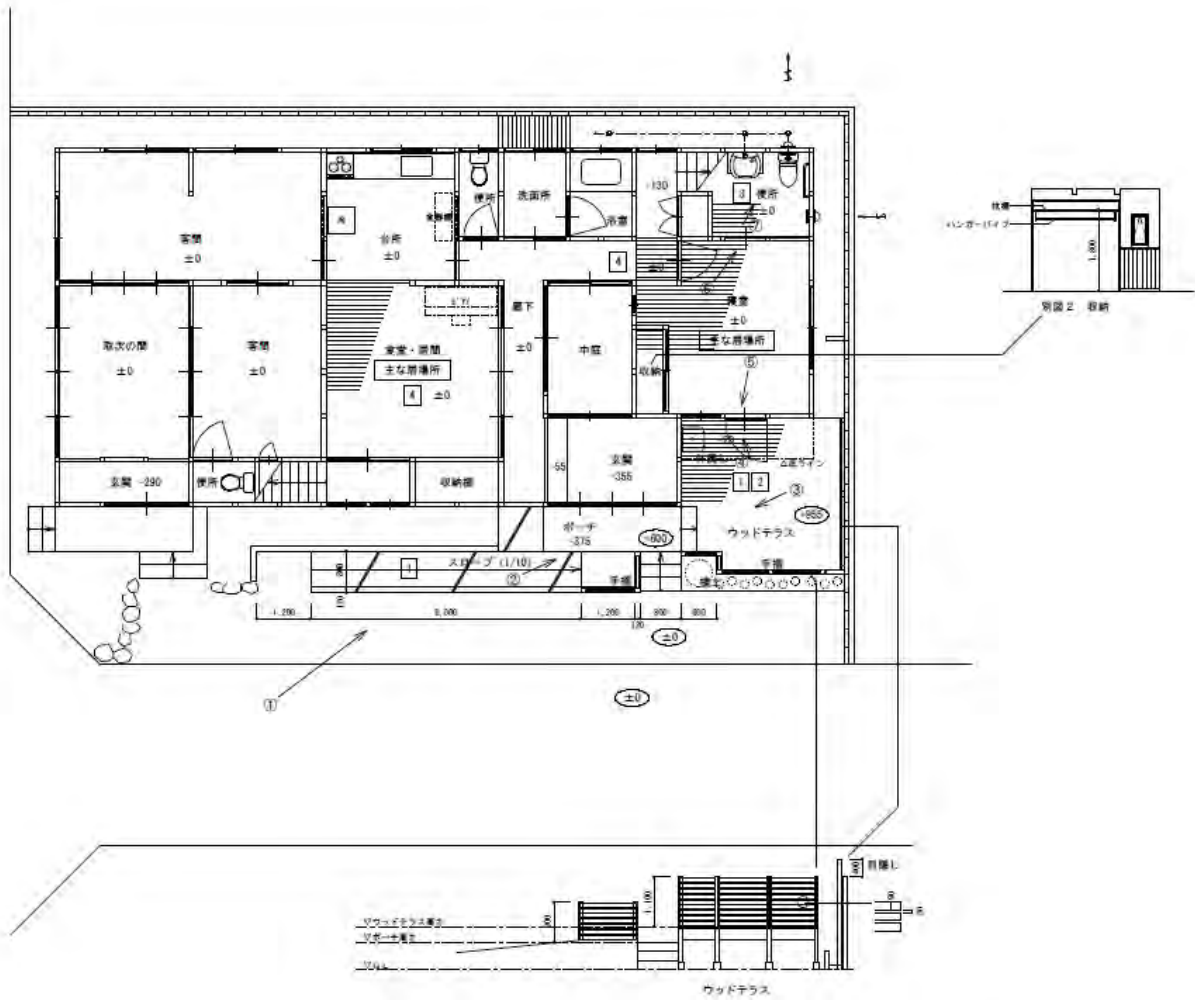
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室、テラス	玄関からの外出をあきらめ、寝室に出入口を設け、駐車場までの段差解消スロープを設けた。	①
2	寝室、テラス	ホームヘルパー等の介護者が駐車場から直接寝室へ入れるようにした。	②
3	便所	ホームヘルパー等の介護者が利用する給湯・洗面機能を介護寝室と隣接させた。また、介護スペースを確保するため、便所と洗面所を一室とした。	③
4	寝室、廊下、居間	車椅子の移動が可能になるように、段差を解消した。	④
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	駐車場～スロープ～玄関ポーチ～テラス	②	玄関ポーチ～テラス
			
③	テラス	④	テラス～寝室
			
⑤	寝室～テラス	⑥	寝室～便所
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	洗面・便所	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

計画にあたり、自宅での介護者・家族・建築士・作業療法士・理学療法士・ケアマネージャー・看護師・福祉用具プランナーとが一堂に会し、介護を受ける本人の状態・家族の意向・それぞれの専門的な立場からの意見などを取り入れることができた。

## 32(093)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	群馬県高崎市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

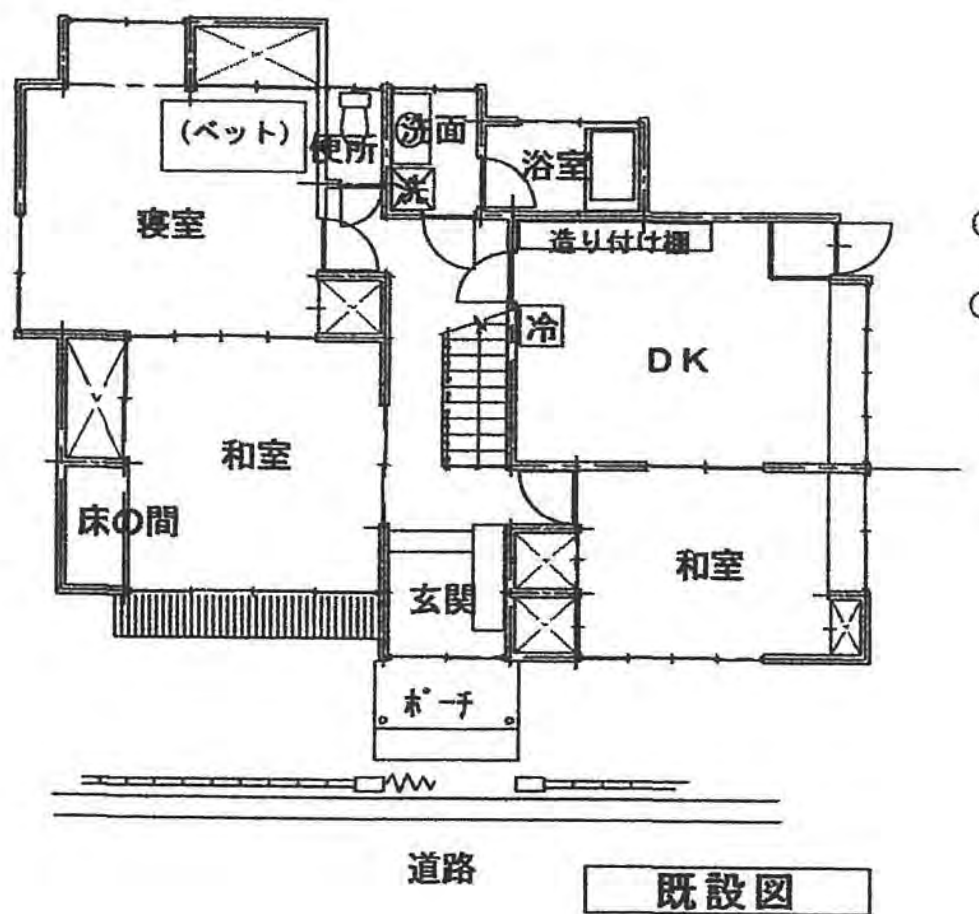
項目			回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	59 歳 / □男 ■女
		家族	息子、息子の嫁、孫
	* 家族内の主たる介護者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	左下肢・下肢・視力 (左側半側視空間無視) に障害あり。起き上がり、立ち上がり、移乗動作は右側方向のみ自力で可能。歩行は装具+杖にて介助が必要。 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	ADLの状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )

	移動方法	屋内	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の通所系サービスの利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
*改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）	
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）	

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	退院後に車椅子生活になるので、家屋全体を見直したい。床の段差解消、外出時の車椅子利用を使用。	
2		
3		

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



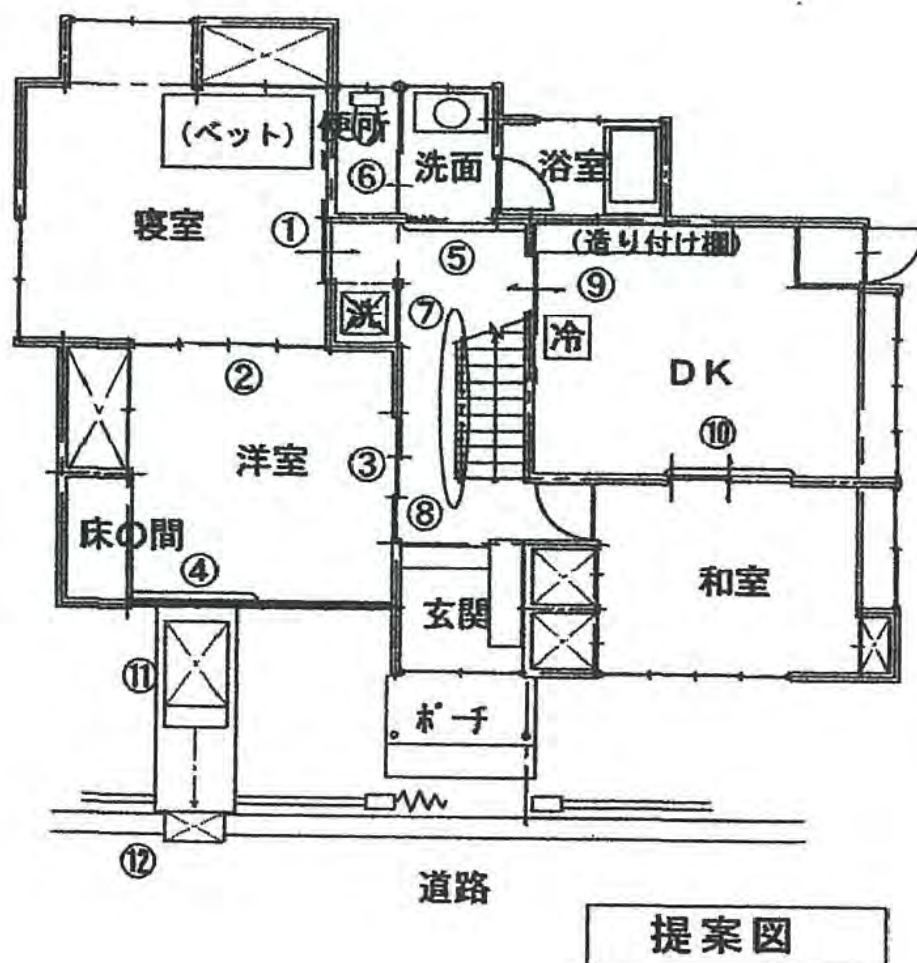
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	引き戸	
2	和室	床下側建具取り替え	
3	便所	洗面所より出入り、車椅子の出入り幅確保	
4	洗面所	開口幅確保、段差解消	
5	DK	引き戸に変更、段差解消	
6	外部	和室前に段差解消機設置、濡れ縁除去、庭及び塀の改修・土間コン。	
7	玄関	玄関、ポーチ。	
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真番号

	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外部	②	和室
			
③	和室敷居	④	DKドア
			
⑤	寝室ドア	⑥	洗面所ドア
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 33(100)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	熊本県熊本市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（娘さんの介助の軽減） 天井走行の行程を如何にコンパクトに押えるか。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 歳 / ■男 □女 家族	
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	下肢全廃 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)	
	屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)	

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

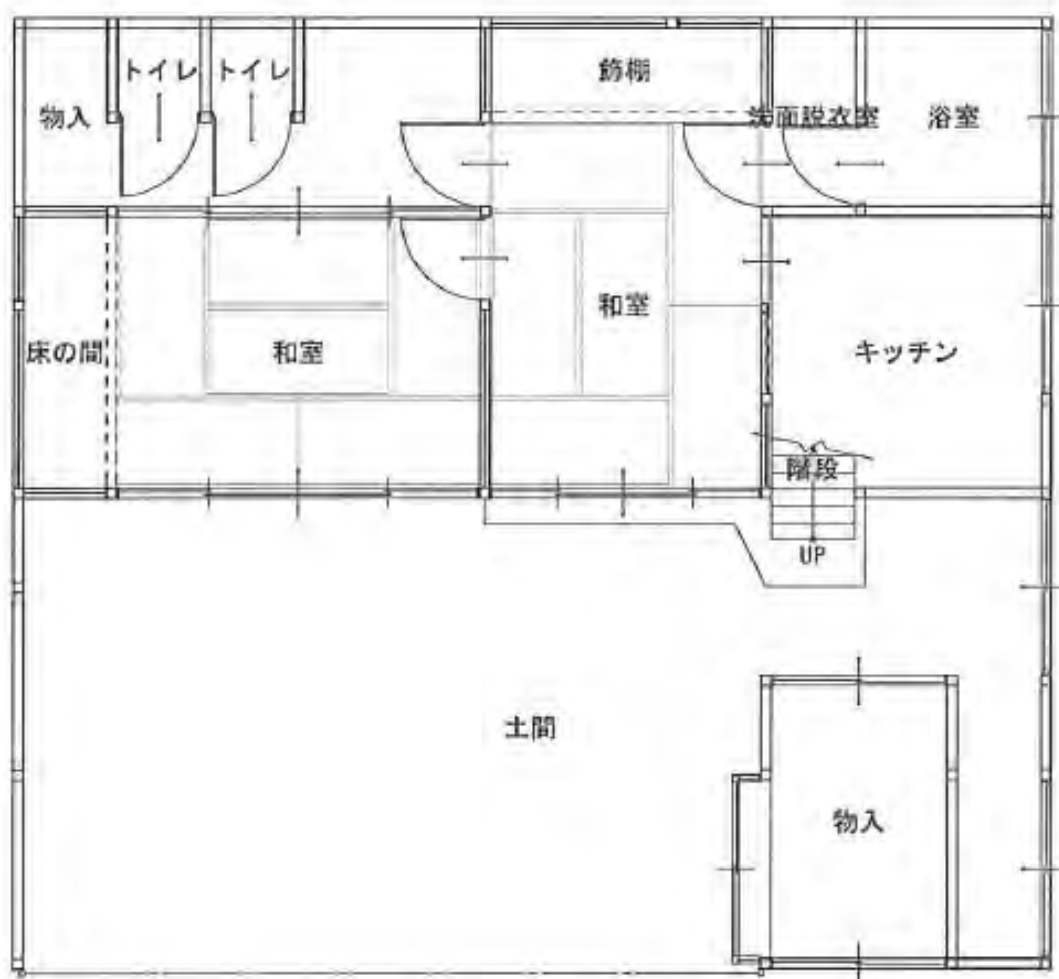
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	浴室・トイレの介助の軽減	浴室・トイレ
2		
3		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室	介助がついても使えない状態
2	トイレ	トイレも同じ
3	寝室	起き上がりも大変
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



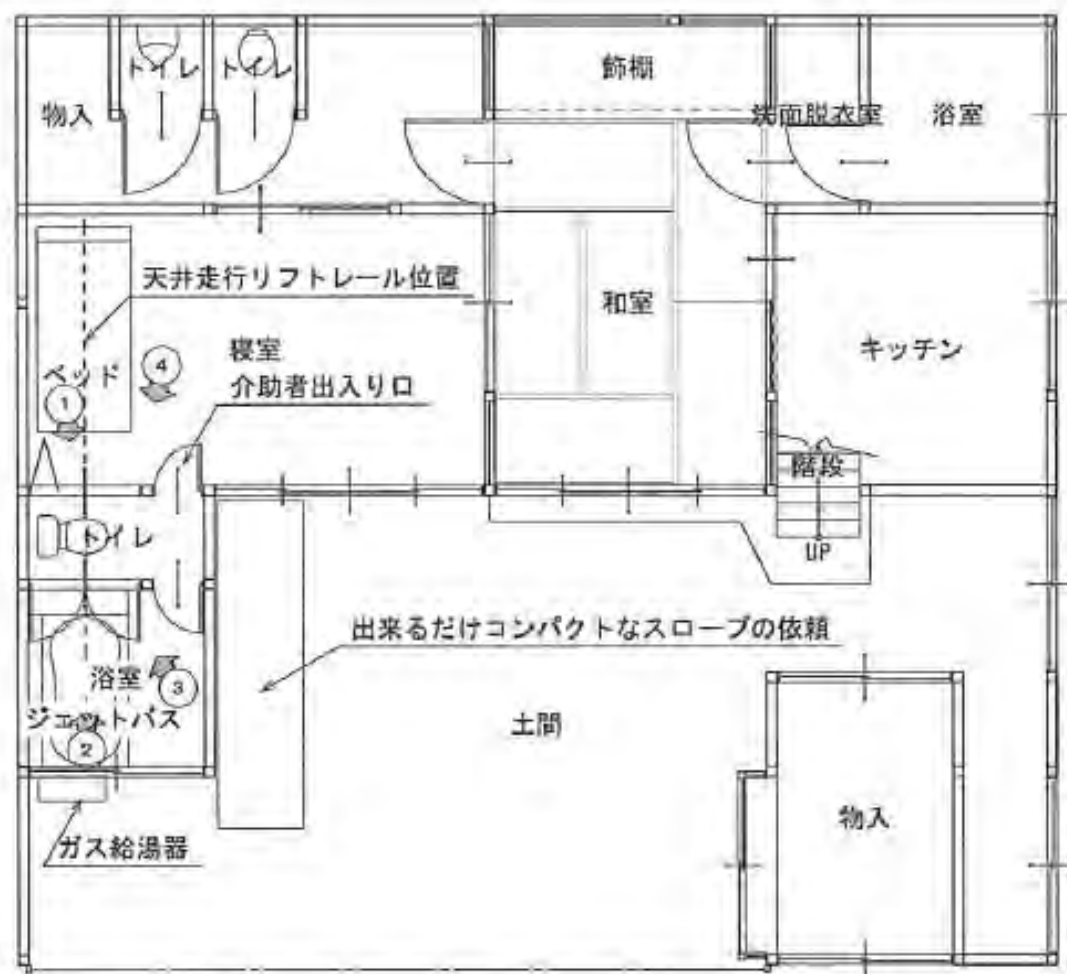
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室・トイレ・浴室	天井走行リフトを使って三か所の介助の負担軽減、三か所が直線状になって、移動距離も最短にする事でコストダウン。	
2	浴室	浴槽の上に板を並べて身体を洗えるようにする、身体を洗った水が浴槽に入らない様に板を加工する。 浴槽の下に、つま先が入る事で、介助者が浴槽に寄りつきし易くする。 排水が介助者に邪魔にならない様に排水の位置を考える、浴槽の下に。	
3	トイレ	トイレの両サイドの敷居に板を渡し脱衣所にも使える様に	
4			





### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	寝室からトイレ・浴室	②	浴室から寝室へ、既存の鉄骨の梁があり高さの確保が難しい
			
③	便所の介助の練習	④	トイレの上に板を並べてる、浴槽の上にも板を並べて、身体を洗う時に使う
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。





## 34(063)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	長崎県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事（第2次工事） <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事（第1次工事）
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車椅子生活となったために外出の出入りのためのスロープ新設の設置場所（足元が少しおぼつかなくなった時期に小さな段差解消のための摺りつけ板と手摺を2005年に第1次工事として設置済み）

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □ＲＣ造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年 / 概ね 23 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	3.2 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階洋室 15.2 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 87 歳 / □男 ■女 家族 娘 65 歳、娘の夫 65 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 ■要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

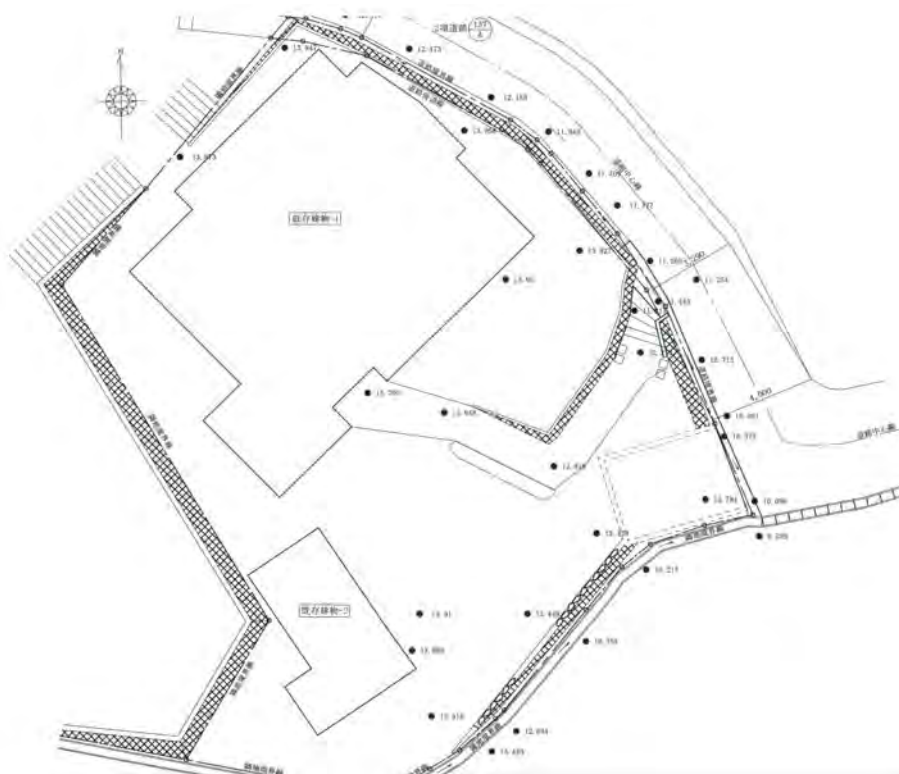
## 6. 工事の目的・対象者の要望

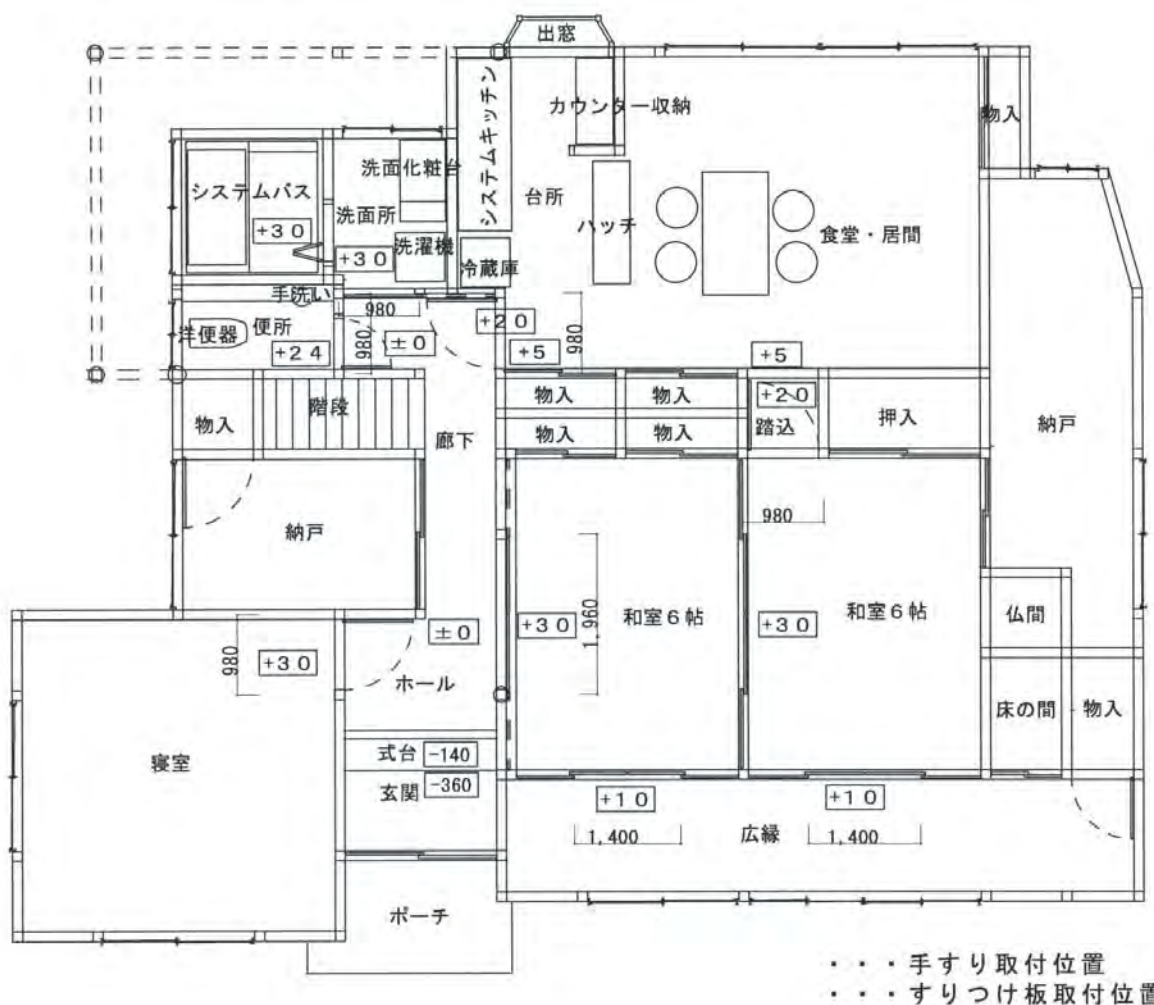
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	デイサービスへ車椅子で外出したい。	居室内外
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	居室内外	玄関土間とホールとは 360 mm、居室と外の土間とは 500 mmの段差があり、車椅子での外出が困難である。（敷地と道路も 2,300 mm程度の段差があり、ここは、車椅子を抱えて昇降している）
2		
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





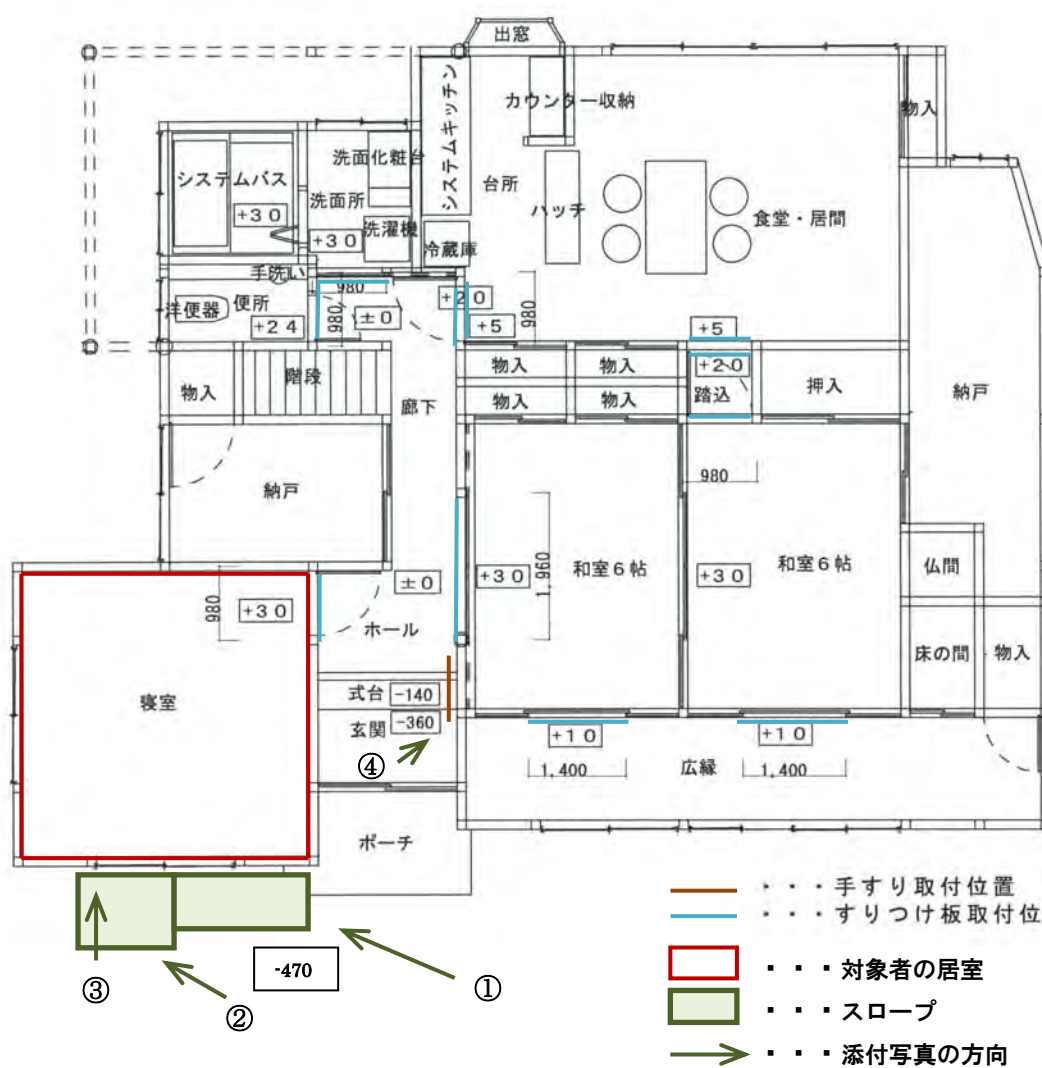
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室（出入り口の新設）	玄関は家族や訪問客の出入りを考慮し、対象者は、居室のはき出し窓外部にスロープを設置した。スロープの下り口は、玄関ポーチとした。	①
2	（参考）玄関	第1次工事の際、玄関の段差については、対象者の筋力低下を防止するために、手摺の設置のみとした。	
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居室外部 1	②	居室外部 2
			
③	居室外部 3	④	玄関（第1次工事）
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。





## 35(086)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	熊本県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	88 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	平成 23 年／概ね 88 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	60 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 ■理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	87 歳／ □男 ■女
		家族	娘 60 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 ■要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	歩行が出来ない。立位が出来ない。 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	特になし	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家の中を車椅子で自由に移動したい。	屋内
2	玄関の前までデイサービスの送迎車に来てもらいたい。	屋外
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	屋内	部屋と部屋の間に敷居等があり、段差により移動が困難である。
2	屋外	道路から玄関の前まで急な坂のため、車が入れない。
3		

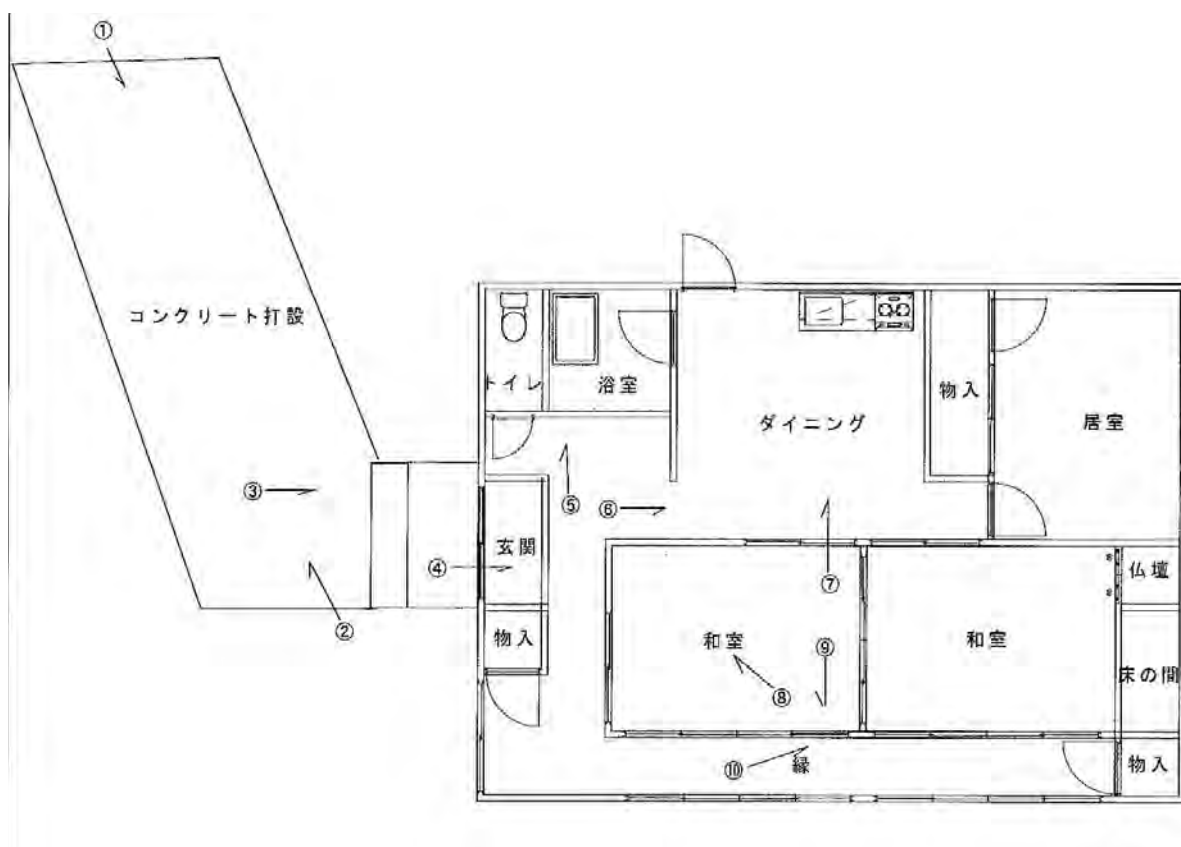
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	和室（畳）であり、車椅子を操作しにくいいため、フローリングに変更した。	④
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①		②	
③		④	
⑤		⑥	



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦		⑧	
			
⑨		⑩	
			

# 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 36(068)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	北海道旭川市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	スキップフロアの住宅で、高齢者夫婦世帯にて、車椅子を使用しての在宅希望にて、ホームエレベーターを設置。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	102.68 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 24 年／概ね 323 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	2.9 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		居間・寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	79 歳 ／ □男 ■女
		家族	夫 83 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 ■要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	認知症により、全てにおいて意欲なく、食事も促さないと自ら食べることなく、機能低下により歩行も困難です。 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 ■重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)



		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

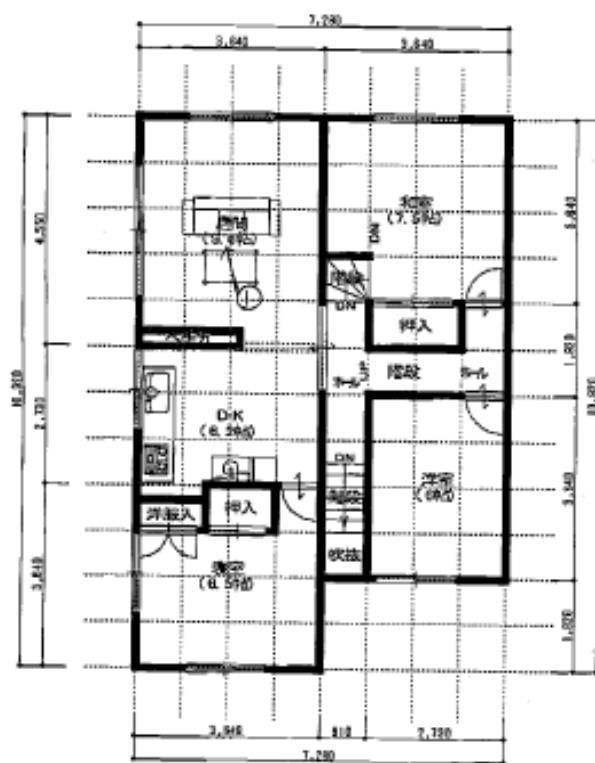
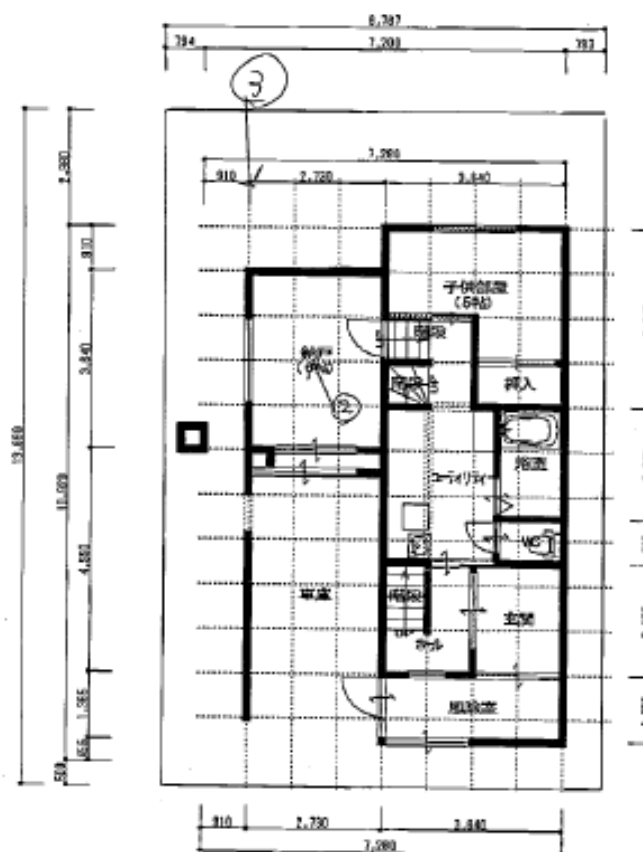
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	夫が妻を在宅で介護したい。	居間・寝室
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	スキップフロア住宅	居住空間が車庫の上にて、階段を使っでの在宅介護は困難
2	ホームエレベーター 設置場所の確保	2Fの居間に上る、エレベーターを設置できる場所を確保したい。
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



2階既存平面図

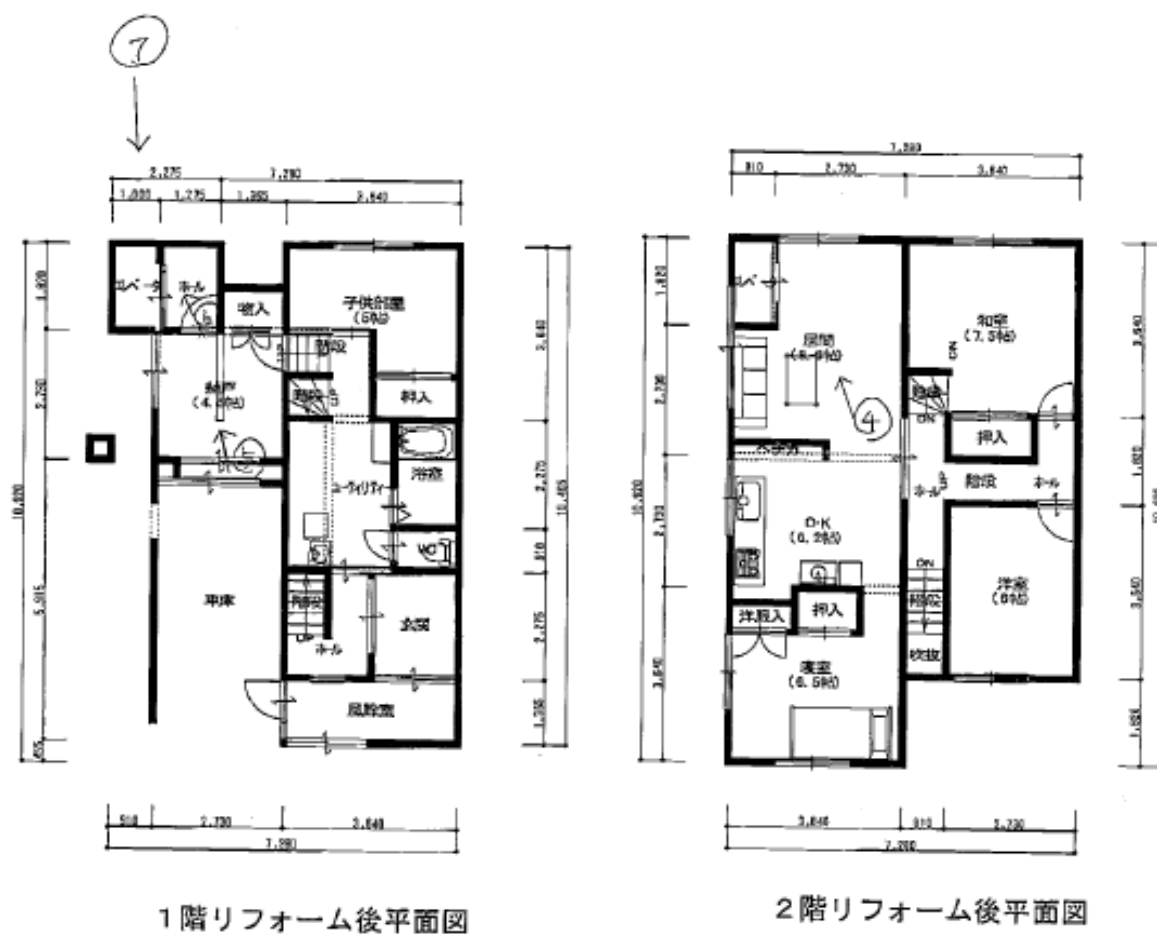
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	ホームエレベーターの設置	1F 納戸を増築し、2F 居間と繋げる場所を確保、階高が150足りず納戸内に1/12スロープを付けエレベーターホール入口ドアを内開きの断熱ドアにして設置した。納戸内は、安全を考慮して人感センサーの照明にした。	①④
2	居間	床材をタイルカーペット施工した。	⑥
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	工事前 2F 居間	②	工事前 1F 納戸
			
③	工事前 裏側外観	④	工事後 居間
			
⑤	工事後 1F (旧納戸) 通路	⑥	工事後 1F エレベーターホール
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	工事後 裏側外観	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

高齢ご夫婦の家庭に於いて、在宅介護をしたいとの要望に、入浴は、デイサービスを利用して、決して無理をしないということで、ホームエレベーターの設置を決めました。

設置可能の介護者同乗の小型のエレベーターにて、実際に使用する前に対応する車椅子を借りて使い方の練習をして引渡しをしました。因みに市内在住の娘さんが、ケアマネージャーを職業としていて時々来てくれているとのことです。 介護保険の住宅改修の範囲でなく、旭川市のやさしさ補助制度（補助限度額 18 万円）には、該当する工事でしたが、早く我が家に連れて帰りたいとのことで、すべて自費での工事でした。



## 37(033)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	S邸 第2期工事	事例所在地	岐阜県本巣市
------	----------	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車いすを使用する上で移動しやすい工夫。 できるだけ自立して生活ができる工夫、外とのつながりを考えた改修。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 15 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 79 歳 / □男 ■女 家族 長男 54 歳、長男の嫁 47 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	大腿骨頸部骨折術後
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（段差解消機 ）

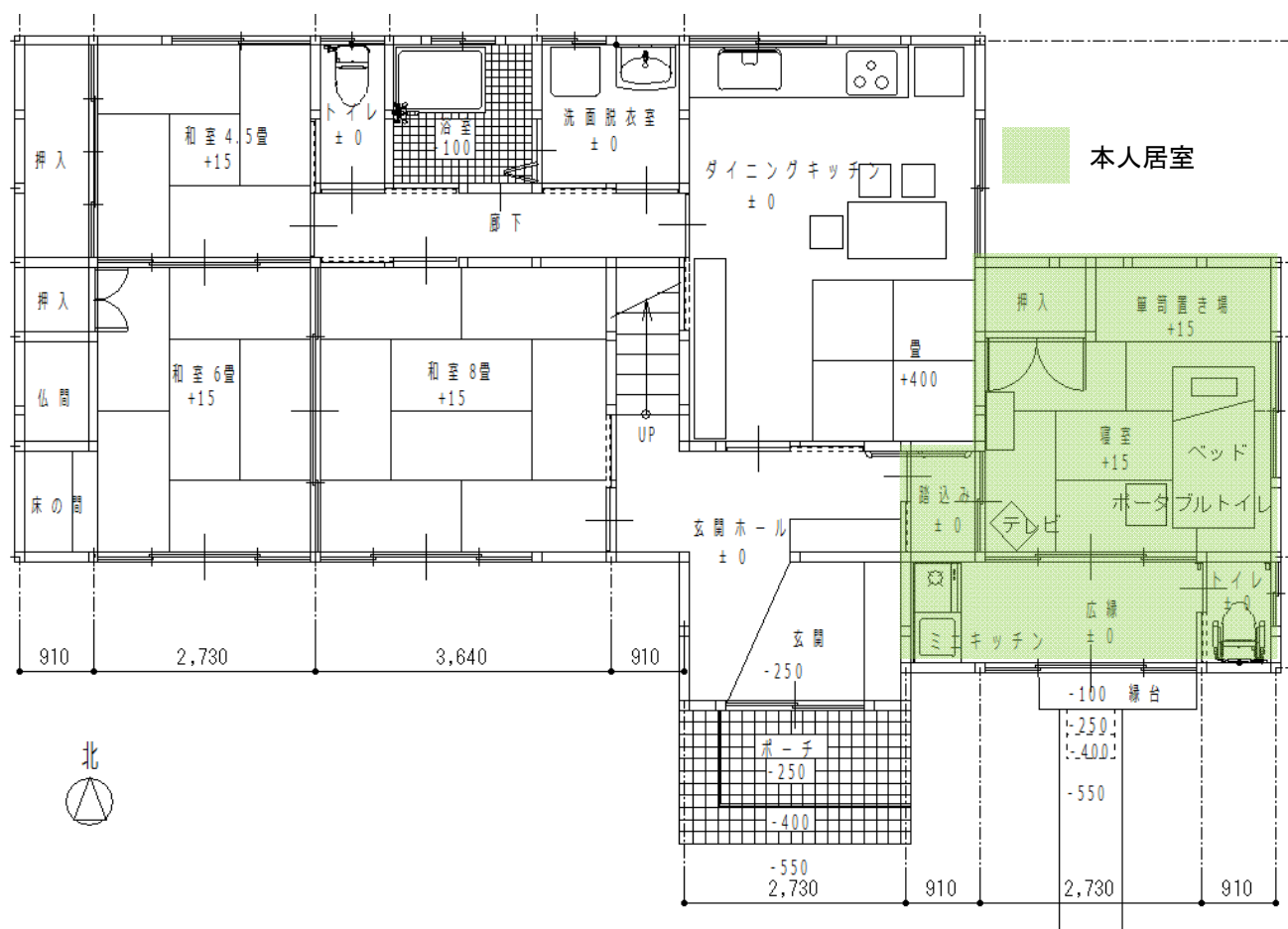
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	床材を変更して移動しやすくする。スペースの確保	居室内
2	外出する際段差解消機の設置	広縁前
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	居室	畳の床を車いすでも移動がしやすいように床材の変更。
2	広縁	車いすで外出できるように段差解消機を設置できるようにする
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



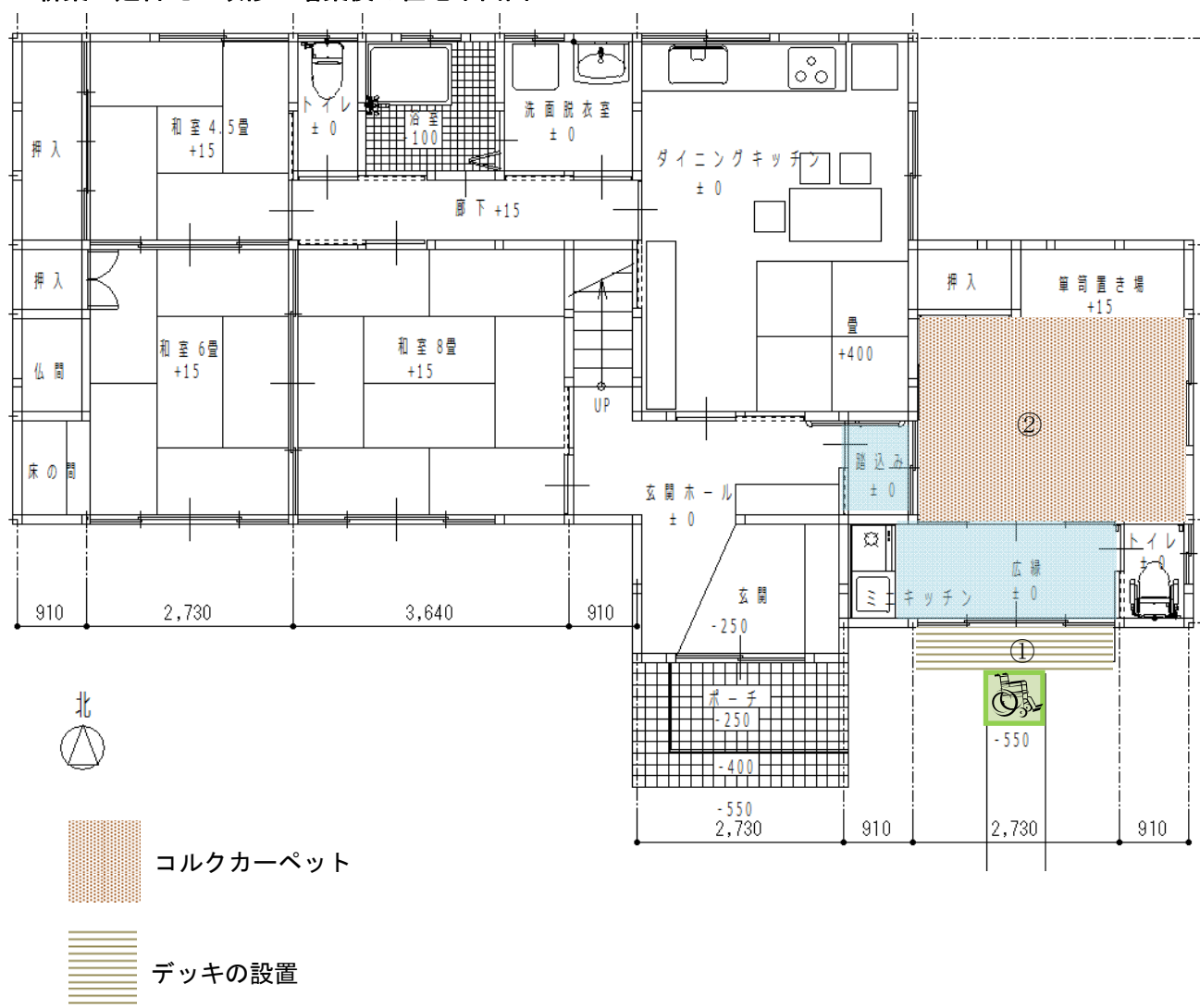
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	コルクカーペットを敷き 扉の撤去	④
2	広縁	段差解消機と広縁との間にデッキを設置して安全に移動できるようにする。	①
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居室 床・障子撤去	②	広縁～屋外
    		  	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

2期工事では車いすで移動が可能ないように居室内の段差をなくした。

費用がかからないように畳の上にコルクタイルを敷く。利用者が亡くなった現在はコルクタイルをとり和室として家族が利用している。

利用者が車いすを使用しながらも自分の服を選んだり整容などをできるように大がかりな改修をせずに工夫で対応した。ミニキッチンも現在は扉をはめて使用している。

大腿骨頸部骨折後一時認知症がひどくなったが自宅にもどり生活が安定するにつれて認知症も改善されてきた。

段差解消機はレンタルで利用者がいなくなった今はデッキも撤去して沓脱石を復活している。

介護は10年以上となるがその時の本人の状況にあわせて改修や模様替えをして対応してきた。

住まいを新築した平成元年（60歳）当初から老人室としてトイレとミニキッチンを備え南東の一番日当たりのいい場所を利用者本人の終の棲家として計画していたため平成23年1月に本人が自宅で亡くなるその日までデイケアやショートステイ等介護サービスを利用し訪問看護を受けて生活することができたのではないかとと思われる。

第3期工事はいよいよ排泄が困難になってきたためにトイレの扉を撤去してカーテンとした。

また福祉用具で昇降便座を取り付けた。

狭いトイレではあったが側方アプローチであったので介護も比較的容易できた。

最後まで自宅の庭をみて過ごしたいというのが利用者の希望であった。

### 第3期工事

2010年12月 利用者82歳 費用 家族による改修2000円程度 昇降便座（介護保険購入10万円）

要介護3 認知ほぼ改善 身障手帳2級（両下肢の機能の著しい障害）





38(067)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	Y 邸	事例所在地	北海道札幌市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （最も重視した工事1つをチェックして下さい）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他 [ ]
主たる工夫のポイント	電動車いすで室内から屋外までひとりで移動できるように、また今後の介護負担を考慮して移動動線のスペース、レイアウトを考慮した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> RC造 <input checked="" type="checkbox"/> その他（HIRC造 ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	20, 669 m <sup>2</sup> ／ 30 階建 16 階に居住
	工事実施年／工事費用	2001 年／概ね 300 万円（フリープラン追加分）
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	97 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		居間、寝室
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> その他（妻 ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	48 歳／ ■男 □女
			家族	妻 47 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □ 要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		1 種 1 級  (外傷性頸髄損傷による体幹四肢機能の著しい障害、起立歩行座位不能)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		転落事故による障害	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)	
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)	



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション ■その他（ 妻が不在時の夜間介護 ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ ■その他（リフト、シャワーキャリー）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	電動車いすです室内～屋外を移動したい。	玄関・室内全般
2	自宅で入浴したい。できれば浴槽に入りたい。	浴室
3	仕事（パソコン）をするスペースがほしい。	居間
4	便器への移動・移乗スペースがほしい。	トイレ
5	バルコニーに出て外の景色を眺めたい。花火を観たい。	バルコニー
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

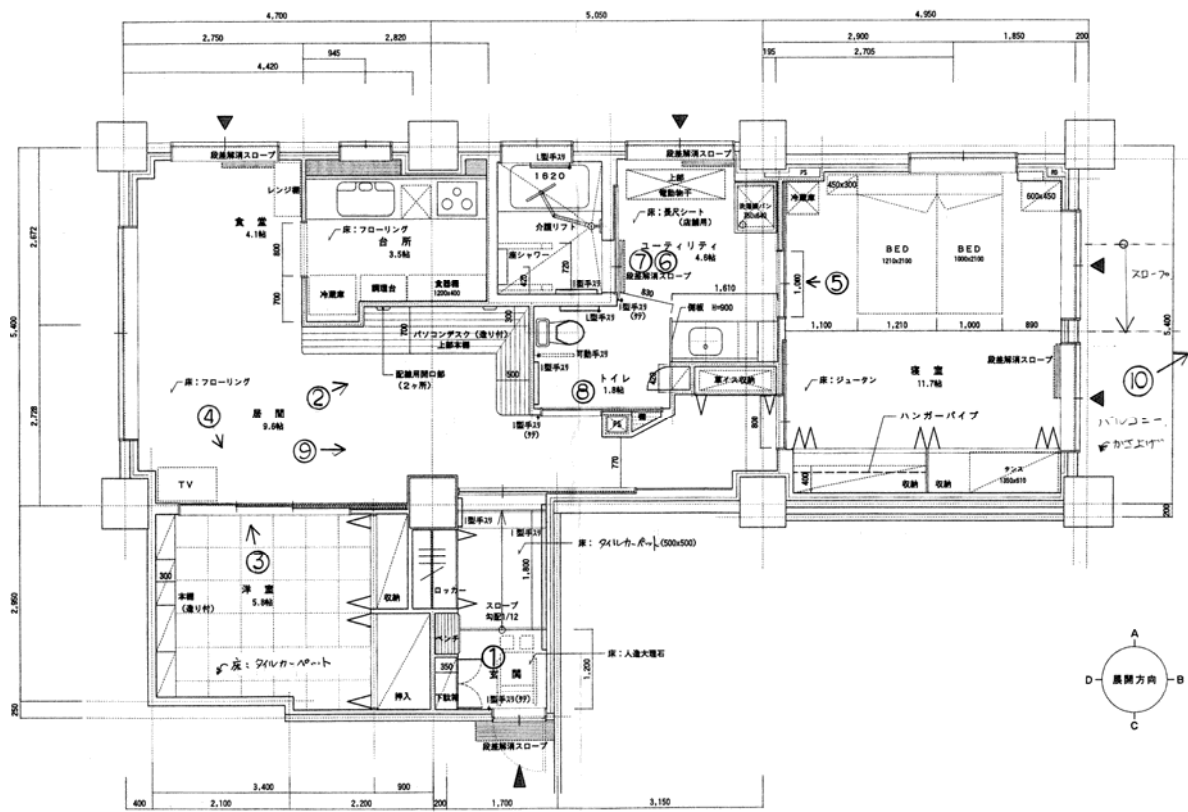
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	上り框の段差はスロープとし、床材は滑りづらいカーペット敷き込みとした。	①
2	室内全般	基本プランを大幅に変更して、車いすで移動するスペースを確保。建具は引き戸とした。	④
3	浴室	ユニットバスを基本プランより大きく（1418→1620）し、介護リフトを設置。これにより浴槽の出入りが安全・安楽にできるようになった。また壁面には浴槽に入ったような効果のある「座シャワー」を取り付けた。	④
4	居間	パソコンで仕事をするスペースを居間に確保。 大きなカウンターと収納棚を設置した。	④⑤
5	寝室	二部屋分のスペースをとり、車いすでも楽に移動できるスペースを確保した。将来リフトを使用するようになって移動動線がシンプルになるように、ユーティリティに隣接させた。	④
6	トイレ	来客のために車いすからの移乗スペースを十分にとるため、ユーティリティと一体とした。 簡易間仕切り用のロールスクリーンを設置した。 便器には尿瓶洗浄用の水栓金物を設置した。	④⑤
7	バルコニー	嵩上げ&スロープを設置することで、車いすでバルコニーに出られるようにした。	④⑤

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	パソコンスペース
			
③	リビング	④	洋室
			
⑤	ユーティリティ	⑥	ユーティリティ
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室・リフト（モリトー「つるペー」）	⑧	トイレ・尿瓶洗浄水栓金物
			
⑨	玄関前から寝室、ユーティリティを見る	⑩	バルコニー
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

水回りを含めてフリープランが可能な新築マンションを購入。入居2年前からY夫婦とプランニングを始めました。4LDKを2LDKにして各部屋のスペースを広くとりました。

室内の床段差はほとんどありませんが浴室出入り口の段差(20mm)は段差解消スロープを設置しました。

妻は介護の専門職で、長年障害者施設での就労経験のある方です。

対象者は電動車いす操作、パソコン操作は自立していますが、生活全般の介助が必要なため、本事例のプランは車いすの移動動線確保と介助負担の軽減が主になりました。

障害者の友人も多く、来訪、宿泊することもあります。

夫婦とも就労しており、妻が出張等で不在の場合はヘルパーが夜間対応しますので、仮眠をとる場所も必要となります。居間に隣接した洋室は普段は開放して使っていますが、介護者と来客用の寝室に転用します。

現状で居住している地域と近接した場所にあり、対象者の両親も徒歩圏内のマンションに居住しており食事等の援助を受けています。またバルコニーから豊平川と中島公園が臨め、キッチンの窓から札幌の中心部の景色が見えるという好立地。

夏の恒例行事である豊平川の花火大会はY氏が最も楽しみにしており、購入の決め手になった条件のひとつです。毎年、ここから観る花火は最高で、私も含めて多くの友人が集まります。

夫の仕事スペースは機器の台数が予想より多く、実際使ってみると狭くてコンセントの位置、数についての打ち合わせが不足していたと感じました。

室内の出隅がR型に面取りされており、キックガードが肝心なところに取り付けられないという、想定外の仕上げとなりました。玄関には障害者の友人のためにベンチをつけましたが、奥行寸法が指示した図面より浅く仕上がっており、使えないベンチになりました。マンションの設計者と直接打ち合わせができなかったのが残念です。

## 39 (057) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	〇邸	事例所在地	徳島県鳴門市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	77.581 m <sup>2</sup> (1階)／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 15 年／概ね 600 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	60.065 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 75 歳 / □男 ■女 家族 夫 80 歳、娘 42 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	半身不随 ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳溢血
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	外出しやすいようにしたい。	玄関
2	介護等をうけやすようにしたい。	洗面・脱衣・風呂
3	高齢者の夫が、ちょっとした調理をできるようにしたい。	洋室2
4	介護者が横で眠れるようにしたい。	洋室2
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	外部の出入りがしやすくなるように、段差を無くした。	①
2	玄関	室内への入口は、リフトを設け、車いすで行き来できるようにした。	④
3	洗面脱衣・風呂	ホームヘルパー等の介護者の介護を受けやすいよう動線に配慮した。	③
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

Architectural floor plan of a two-story house. The plan shows a layout with rooms including a bathroom (便所), kitchen (キッチン), living area (リビング), dining area (ダイニング), and bedrooms (洋室). It also includes a staircase (階段), a closet (クローゼット), and a storage area (物置). The plan is annotated with dimensions and notes about existing structures and proposed changes. A north arrow is located in the top left corner.

### 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①		②	

### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

--



## 40(089)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	ＹＹ邸	事例所在地	北海道札幌市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	室内を車いすで安全に移動できるように床の段差解消をして、トイレまでひとりで移動できる。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	111.3 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	1998～1999 年／概ね 150 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	21 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター ■その他（ MSW ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 75 歳 / ■男 □女 家族 妻 70 歳、娘 30 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 ■要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り (1 種 2 級) ( 不明 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳梗塞による右片麻痺 糖尿病
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 ■その他 (夜間のみ尿瓶使用)
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（電動昇降座椅子）

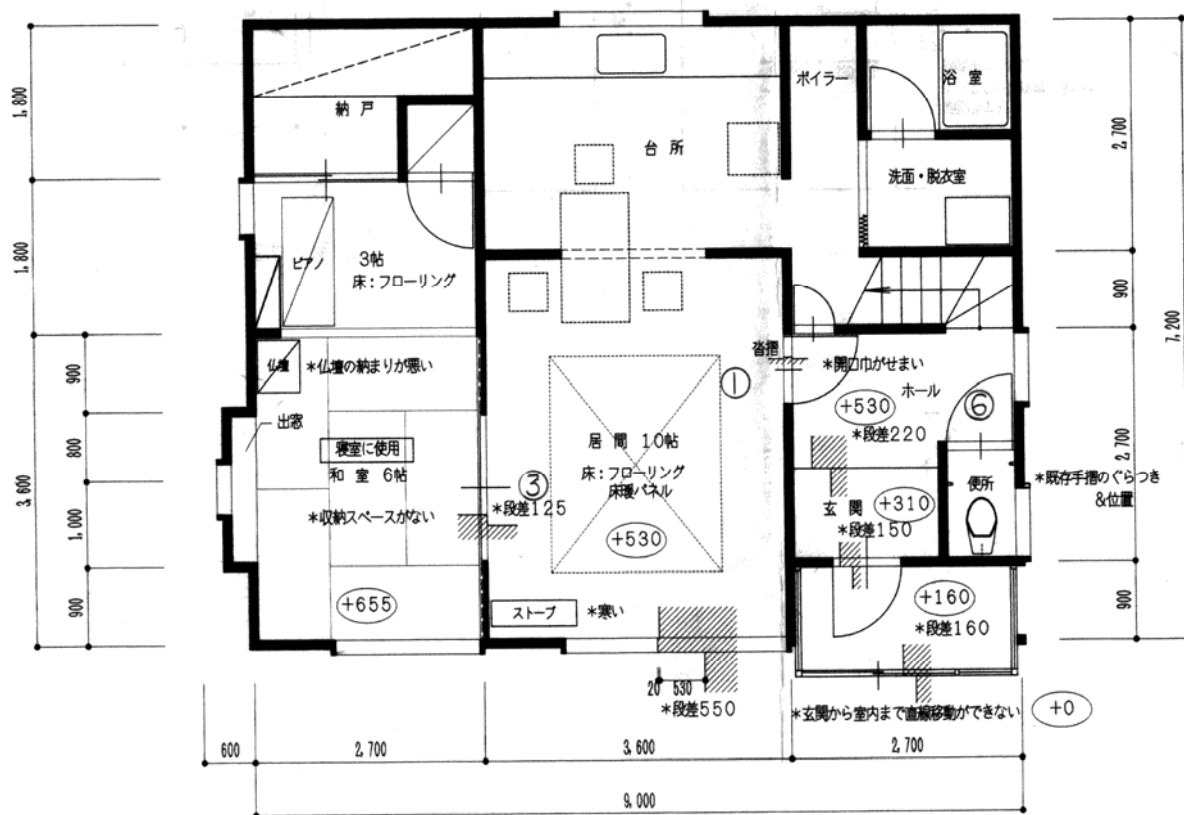
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車いすで室内を移動したい。	和室、居間
2	車いすでトイレの中まで移動し、排泄の介助負担を減らしたい。	トイレ
3	車いすで外出できるようにしたい。	玄関、ポーチ
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関・ポーチ	上り框、ポーチの段差があり、玄関ドアと風除室引き戸の位置がずれているため、介助者の能力では車いすの操作が困難。
2	居間	出入り口のドアは車いすで開閉するのが困難。
3	和室・納戸	居間との間に段差があり車いすでの移動が困難。 収納の使い勝手が悪い。 仏壇、ピアノの配置が悪いため、部屋のレイアウトが悪い。
4	トイレ	せまい。妻が取り付けした手すりがぐらついている。
5		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





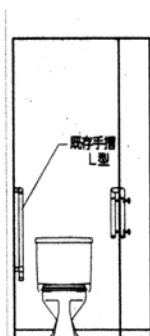
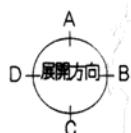
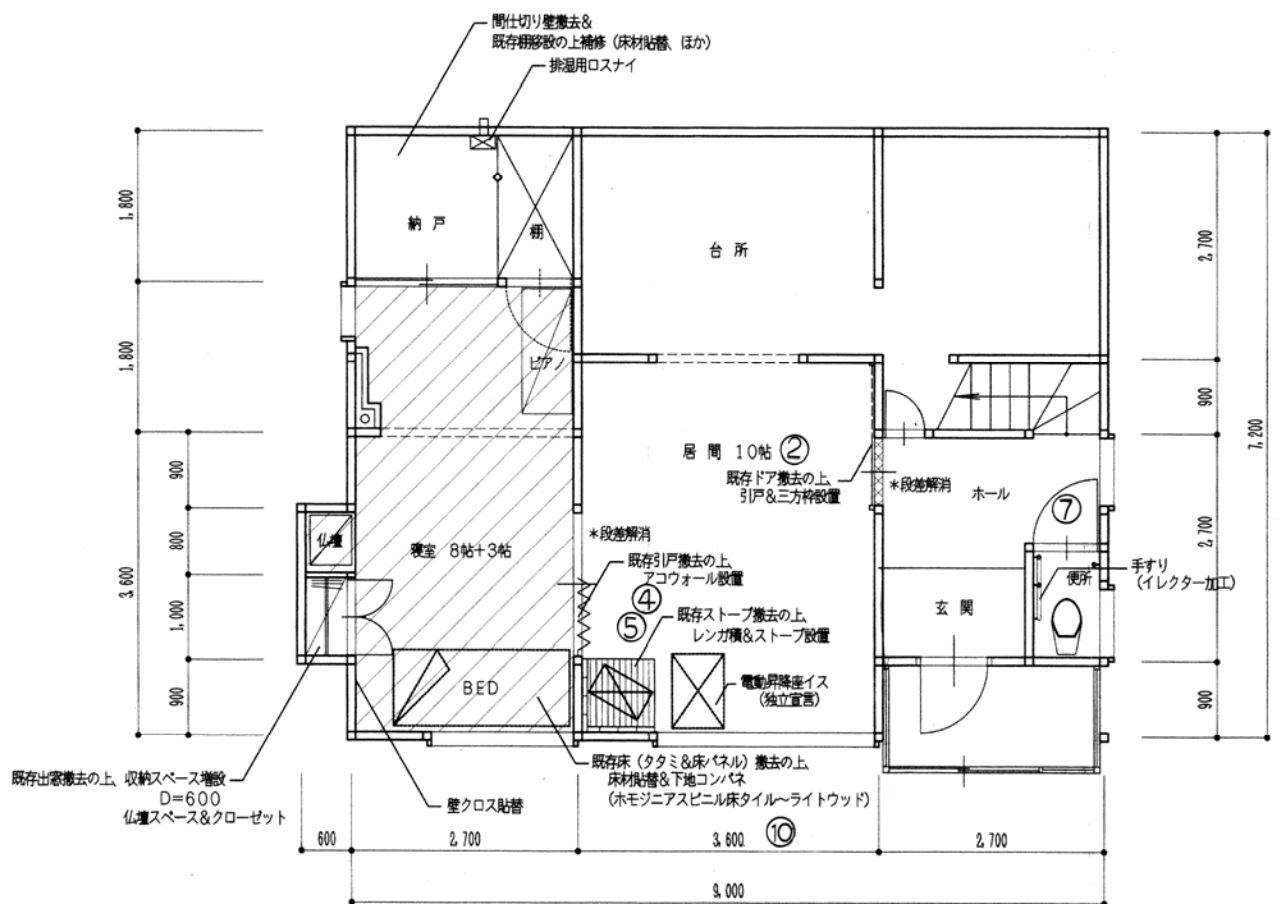
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居間	ドアを引き戸に取替えた。	④⑤
2	和室・納戸	床の段差を解消し、間仕切は車いすでも開閉しやすいアコーディオンドア（アコウオール）に取替た。 出窓部分を収納スペースにして、室内スペースを広げた。 納戸の間仕切りを替えて使い勝手を向上させた。	④⑤
3	トイレ	1回目：介助者の負担軽減のため、手すりを付替えた。 2回目：トイレスペースをひろげ、巾の広い電動ドアとし、車いすで便器の前まで移動できるようにした。	④⑤
4			

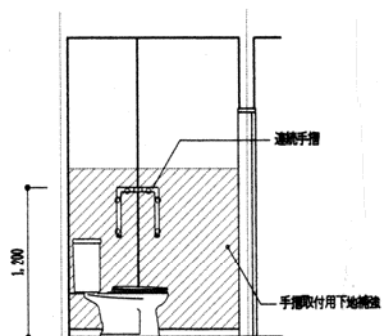
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

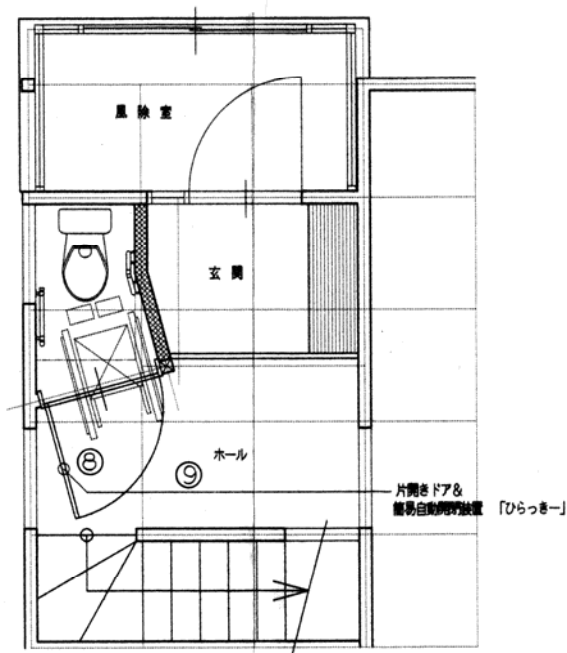
# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



A面展開図



B面展開図



平面図

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居間 【改修前】 ドア	②	居間 引き戸に取替
			
③	和室 【改修前】	④	和室 床段差の解消・洋室に変更
			
⑤	寝室 アコウオール設置	⑥	トイレ 【改修前】
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	トイレ 1回目：手すりの取り付け	⑧	トイレ 2回目 手すりの取替、 スペース拡張
			
⑨	トイレ 2回目 ドアの取替（電動ドア）	⑩	居間 電動昇降座椅子
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

夫婦の体格差があり、介助者は腰痛の持病がある。退院後の介助負担に不安をかかえていた。

外出手段については、掃き出し窓に電動昇降座椅子を置いて車いすから移乗する方法について、病院のリハ職と検討した。この方法で外出が可能になれば退院できるというリハビリの目的を明確にすることで、本人の意欲に結びつけた。

トイレのドアは室内用の電動ドア装置のデモ品を、建具職、電気設備業者、友人（通信の専門職）の協力で設置することができた。本人がリモコンで操作することで、ベッドからトイレまでひとりで移動できるようになった。

しかし、車いすから便器への移乗は本人の依存度が高いため介助者への負担が重く、限界を感じた。

# 41(015)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	秋田県大仙市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	ふらつきによる転倒を防ぐため、車いすでの生活となった対象者。できるだけ介助者の負担が減らし、少しでも自立できることを目指すため、段差解消、手摺の設置をした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	199.10 m <sup>2</sup> ／ 2階建
	工事実施年／工事費用	平成 22 年／概ね 20 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階和室
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	37 歳 / □男 ■女
		家族	父親 60 歳、母親 58 歳、妹 31 歳、義弟 33 歳、甥姪 3 人、 祖母 84 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 ■要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り 小脳疾患による知能低下と体の揺れ。 (身体障害 1 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	側頭葉てんかん	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	部屋から廊下への出入りを車いすでスムーズに行いたい	居室
2	外出の際、対象者・介助者とも、できるだけ不便のないようにしたい	玄関・風除室・アプローチ
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	アプローチ	アプローチから風除室への段差 200 mm
2	風除室	風除室から玄関への段差 180 mm
3	玄関	上り框の段差 180 mm
4	居室	部屋と廊下の敷居の段差 15 mm

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

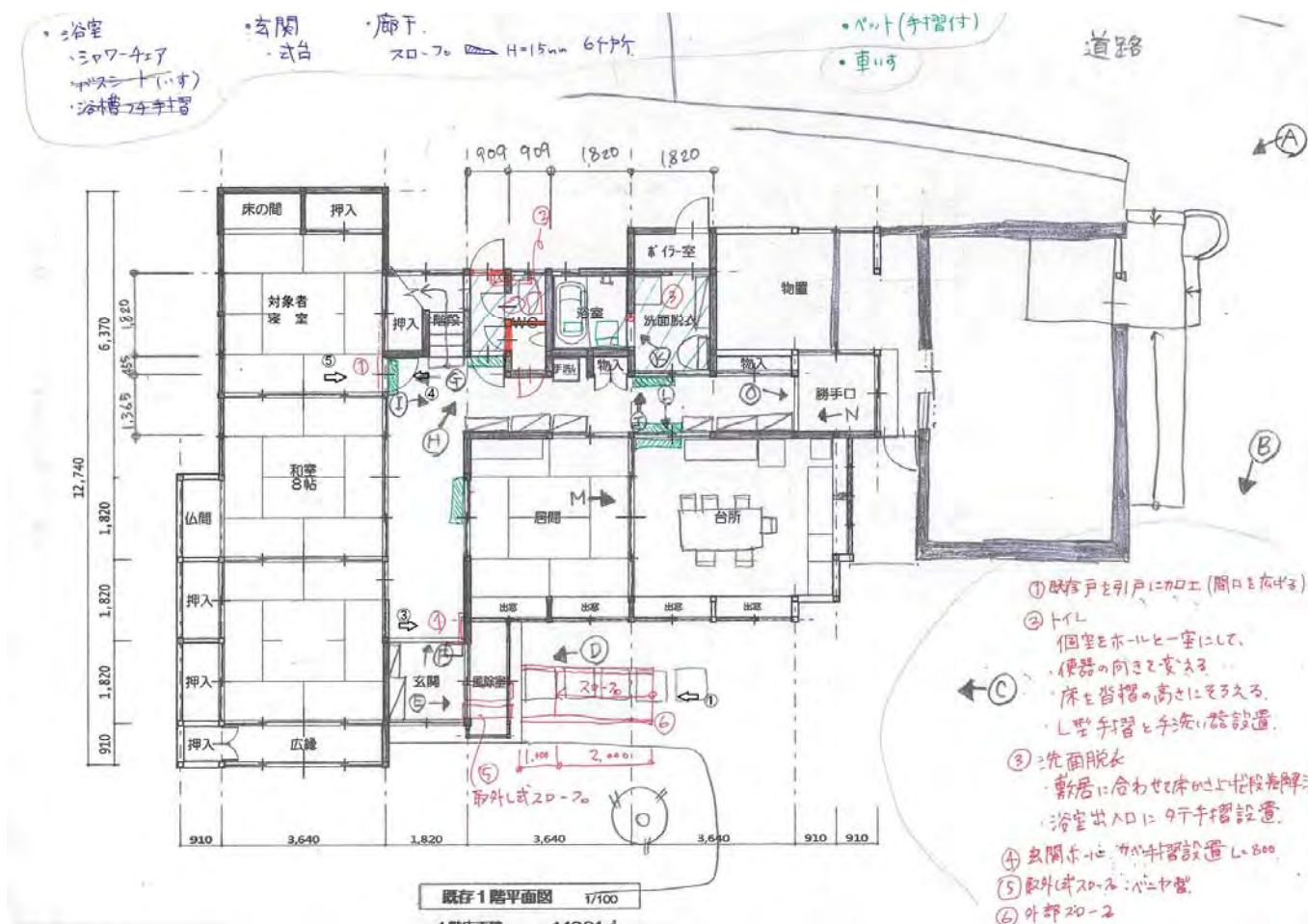
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	アプローチ	十分なスペースがあるため、風除室から出たところをフラットに、その先にスロープを設けた。	①
2	風除室	着脱式スロープを検討したが、車いすの先端を上げ乗り越える方法がベストとなった。(改修なし)	
3	玄関上り框	車いすから手摺につかまって立ち上がり、段差を下りて、その間に介助者が車いすを玄関に下す。そして対象者が車いすに座る。入院先の作業療法士さんと様々なシュミレーションの上採用。	①
4	部屋出入り口	市販の段差解消スロープを設置。 片開き戸を引き戸に加工。	④

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他






# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	アプローチ	②	
			
③	玄関上り框	④	部屋出入口
			
⑤	部屋出入口	(C)	
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
	(D)		玄関から風除室 (E)
			
	(F)		
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

二年前まで健常者として暮らしていた対象者。病気が原因で小脳の一部の機能が低下し、知能の低下と体の揺れの障害が残った。歩行訓練もしていたが、担当医は、転倒防止のため車いすでの生活がベストと判断。車いす生活を前提とした方向性を家族・作業療法士と話し合い、改修を行った。

現在は週3日デイサービスに、週1回リハビリに通い生活をしている。

年齢的にもまだ若く、車いすを使いながらの生活では制限が多く、できる限り自分のことができ、器具を使いながらも歩行できるようにと本人・家族とも試行錯誤している。

あくまでも、将来を重篤な状態の想定ではなく、可能な限りの自立を目標とした改修とした。



## 42(121)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称（建築主等のイニシャルで事例名称をご回答下さい。）

事例名称	外サー C-1	事例所在地	富山県
------	---------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢のお母様が車いすで暮らせる専用の個室や玄関&スロープを設置しました。トイレは安全性と介助のしやすさに配慮し、入口前に多目的ホールとして広いスペースを確保。手洗い器も車いすのまま使用することができます。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 980 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	78→76 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	80 歳代／ □男 ■女
			家族	娘 50 歳代、孫 30 歳代、孫の配偶者 20 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □ 要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況			
	* 認知症の有無と状況		□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

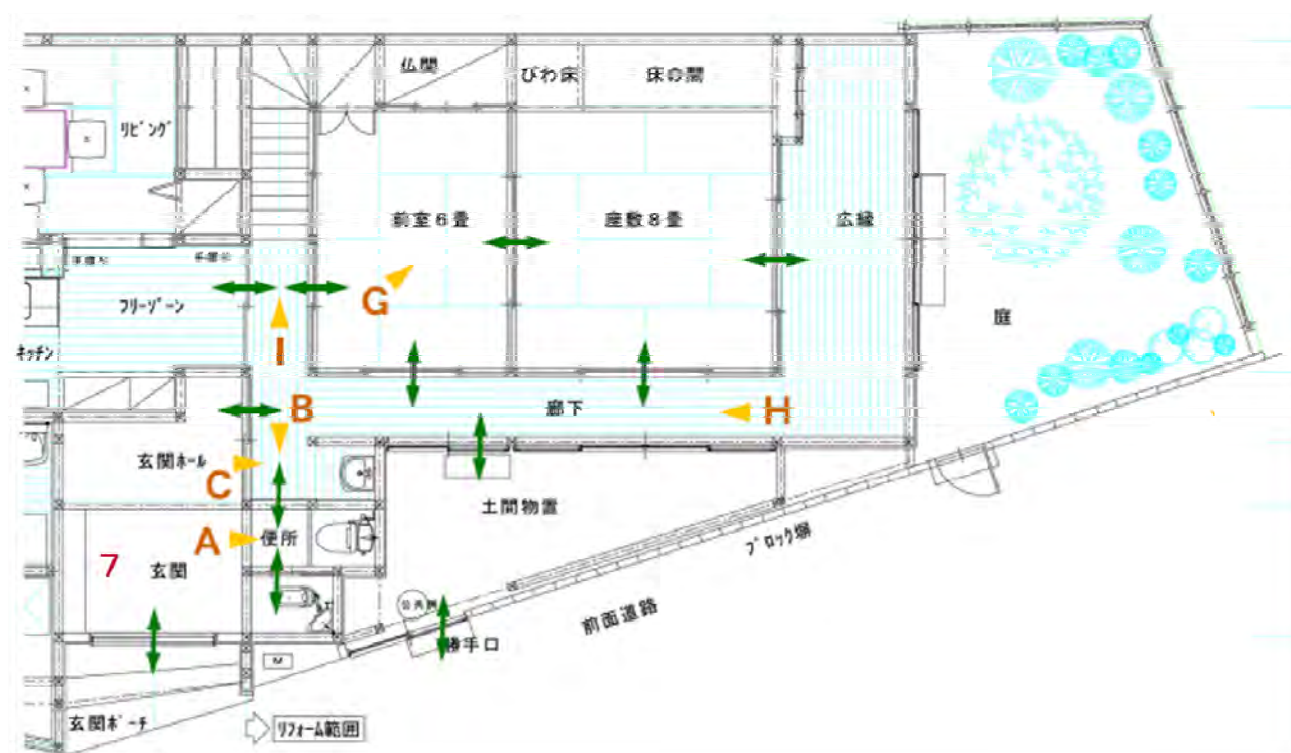
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	高齢の母の介護を前提としたリモデルを。車いす対応の個室やトイレ、屋外への出入り、介護のための控え室などを考えてほしい。	
2		
3		



7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	A. 洋式トイレ	狭く、段差あり。タイル床は滑りやすく、冷えやすい。
2	B. 和式トイレ	同上
3	C. 洗面所	車いすでは使えない。
4	G. 和室	和室主体では車いすの利用には不向き。
5	H. 廊下	座敷と物置に挟まれ、暗く、使い勝手も悪かった。
6	I. 階段	急角度で踏み面も少なく、危険。
7	玄関	道路からの床高が約 70cm と高く、アプローチが困難。
8		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





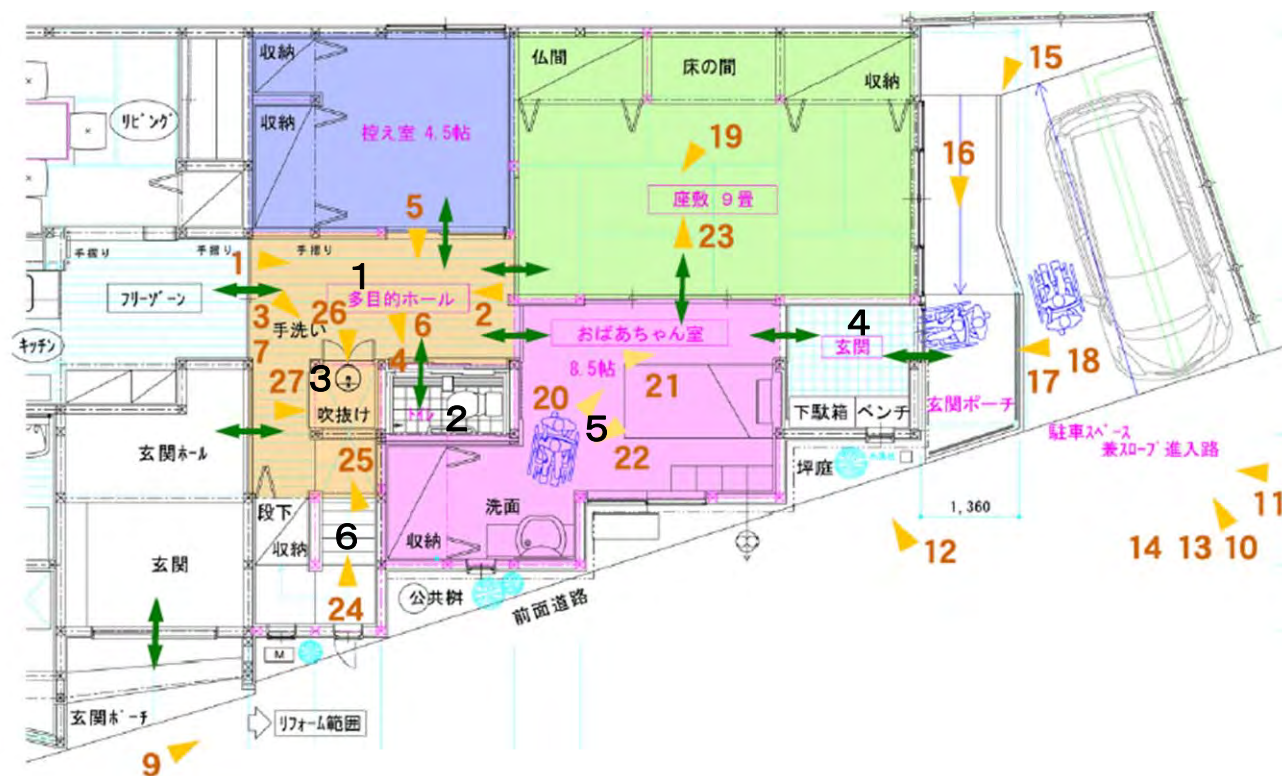
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	多目的ホール	車いすを利用した介護動線において、多目的ホールをフリーゾーンに連続させると共に、多目的ホールを中心に各部屋の役割を整理し、効率的に配置した。	④
2	トイレ	床を水洗いできるトイレユニットにし、清掃性を向上。 出入り口は3枚引き戸による十分な開口を確保し、車いすでの出入りを容易にするとともに、多目的ホールを活用してサイドからの介助を可能にしている。 トイレユニットは半透明な3枚引き戸なので、3枚連動引き戸を沿わせて設置し、一般のトイレとしても使えるように配慮した。床の水洗い時、介護の見守り時など、必要に応じて使い分けられる。	③④
3	手洗い器	下部の扉を開くことで車いすでの使用を可能にした。	④
4	専用玄関	大きな高低差も折り返しのスロープで容易に出入りできるようにした。また、スロープの一部は駐車スペースとしても活用。	①②
5	おばあちゃん室	多目的ホールと座敷に面し、トイレへのアプローチを容易に。 部屋の奥まったところに車いす専用洗面台とクローゼットを設置しプライバシーに配慮。	④
6	階段室	位置を変更し、安全でゆとりある階段になった。手すり設置のため下地も施工済み。	⑤⑥
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	1. 多目的ホール	②	6. トイレユニット
			
③	5. 左から、開放、半透明戸、一般用戸	④	7. 扉を開けると車いすでも使用可
			
⑤	13. スロープ	⑥	19. おばあちゃん室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	2 2. おばあちゃん室洗面台	⑧	2 4. 階段
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

母が自宅で介護を受けながら生活できる機能的な空間ができました。また、それを支える家族も安全に、効率よく、気持ちよく介護ができるので負担が和らぎます。母の個室やリビングに家族みんなが集まったり、絆も強くなったように思います。

43(021)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	埼玉県さいたま市
------	----	-------	----------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	148.22 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	H20 年／概ね 3,600 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階和室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	73 歳／ ■男 □女
		家族	娘 46 歳、娘の子 15 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	便所の巾を広くする。	便所
2	家の中で歩く所は段差をなくす。	廊下・居室
3	段差のある所に手すりを設ける。	玄関
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

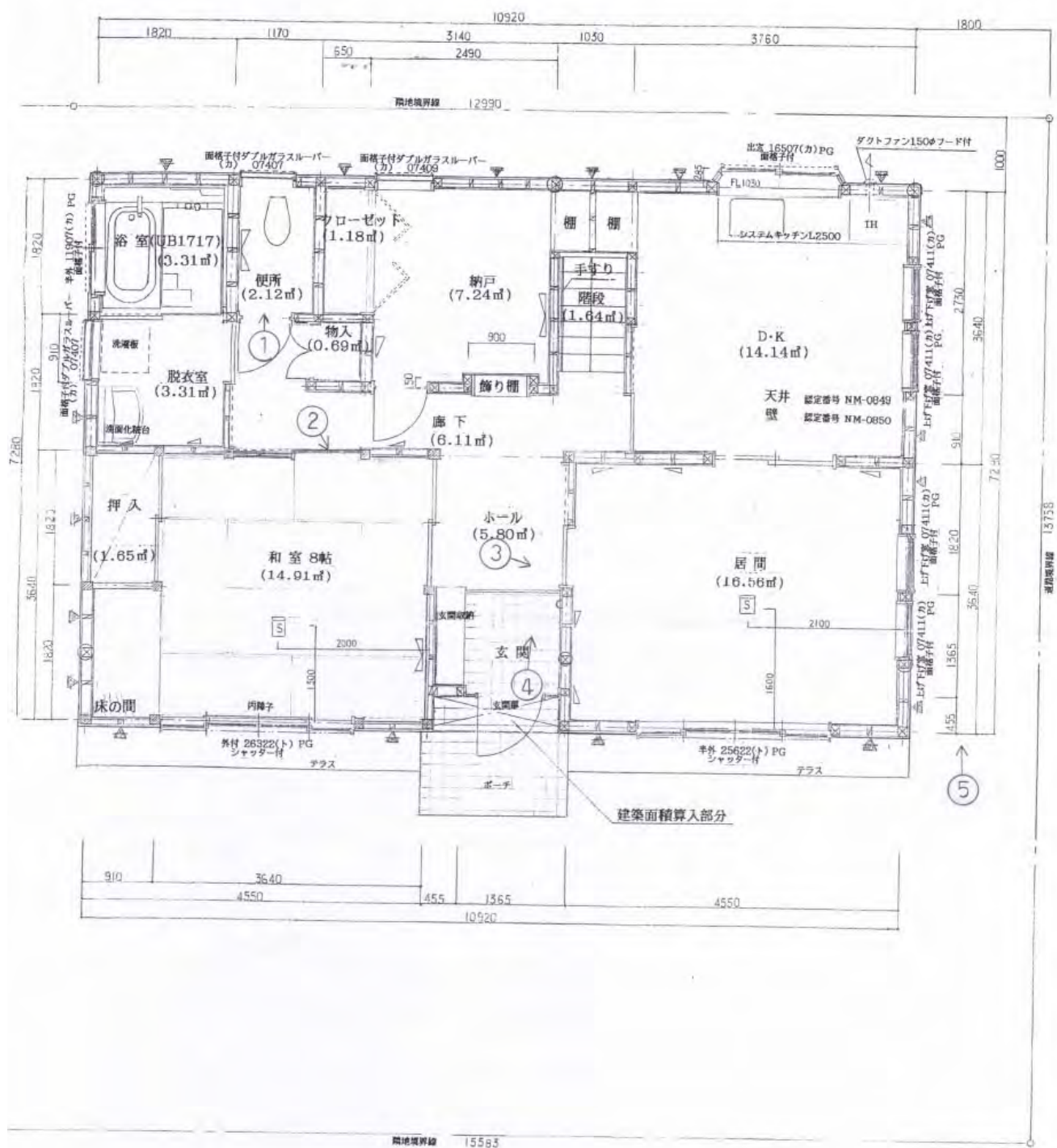
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	便所	便所の巾を広くする。	④
2	廊下と和室	段差なし。	① ④
3	廊下と居間	段差なし。	① ④
4	玄関	玄関の段差に手すりを取り付け。	①
5	駐車場	介護者の送迎、訪問サービス事業者が駐車しやすいスペース。	⑤
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	便所	②	廊下と和室の段差なし
			
③	床の段差無し	④	玄関の手摺
			
⑤	駐車スペース		
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 44(064)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	熊本県熊本市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	■高齢者対応    □障害者対応    □高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	□主に対象者の現在の状況を考慮した工事 ■主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 ■ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 ■ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 ■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 ■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	高齢のため、将来、介護が必要になる可能性を考慮し、介護する家族やホームヘルパーに心身の負担が少なくなるような、部屋の配置、動作寸法の確保、動線を工夫した。また、同時に健常者にとっても使いやすく違和感のないような設計デザインにした。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	198.36 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年 ／概ね 2,500 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		和室、リビング、ダイニング
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	90 歳／ □男 ■女
		家族	孫夫婦
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来に介護等が必要になった場合、増改築をしないで対応できるような設計	玄関、廊下、浴室・洗面所、トイレ
2		
3		
4		
5		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

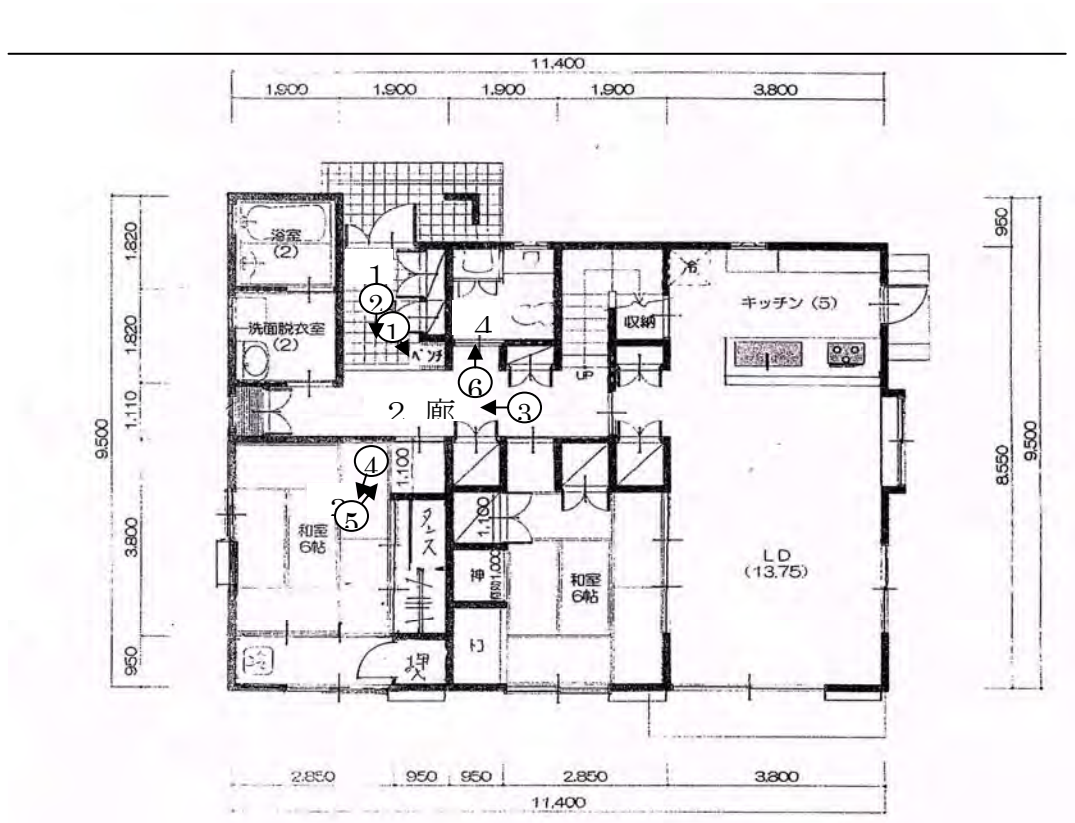
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	靴の脱ぎ履きがしやすいように、高齢者の体型に合わせた座位スペースをつくった。更に、手すりを付けて昇り降りを楽にした。将来、車椅子を使用する場合も、介護者とともに安全に移動でき、回転できる広さを確保した。	①②④⑤
2	廊下	将来、車椅子や介護が必要になった場合、移動に支障ない廊下幅を確保した。廊下の隅に窓と飾り棚を付けて、気持ちを和らげるコーナーをつくった。	②④⑤
3	寝室	廊下から寝室から縁側まで段差を無くした。また、寝室の入り口(踏込)に、車椅子が回転できるスペースを確保した。日当たりがよく風通しのよい場所に寝室を設けた。当事者にとっても介護者にとっても気持ちがやすらぐ。 ベッドからの転倒時に身体に負担が少ないよう、あえて畳を敷いた。玄関からすぐの場所にあるが、踏込があるため、直接寝室が見えない。	①②③④
4	トイレ	車椅子での使用も可能なように、引き戸にして回転スペースも確保した。また、将来、介護が必要になった場合を考慮して、S Kを設けた。毎日、何回もの寝室との往復の距離を最短にしたことで、介護者がS Kを使用しやすくなり、負担を軽くできる。	②③④⑤
5			



### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	玄関
			

③	廊下	④	寝室
			
⑤	寝室	⑥	トイレ
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

新築時、当事者は健常であったが、数年後の骨折で、歩行に支障が残り介護が必要となった。家族から「新築時には気づかなかったが、介護が必要となった今、とてもやりやすく負担も軽く、将来のことも考えて設計してもらったことを大変感謝している。」という連絡を受けた。ただ、洗面所の洗面台が、車椅子仕様でなかったのが、健常者にとっての使い勝手も考えて、造作を組み込む等の工夫が必要だったと感じた。



45(031)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	愛知県名古屋市中
------	----	-------	----------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	視覚障害のある対象者のため住宅玄関近くに居室及び便所・洗面・浴室を設ける。また住宅内の段差を設けない設計。居間及び食堂も居室に隣接。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	277 m <sup>2</sup> ／ 地上2階 地下1階建
	工事実施年／工事費用	2000年／概ね4,500万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 66歳／ □男 ■女 家族 息子37歳、息子の配偶者37歳、孫10歳・7歳・0歳 息子の配偶者の親(父73歳・母69歳)
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り(□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 ■要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	身体障害 有(緑内障により失明) ( 身体障害者2級 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	糖尿病・緑内障・腎臓病 腎臓内科へ通院・眼科へ通院
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ 腎臓内科・眼科への通院のためガイドヘルパー利用 ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで生活したい	居室及便所・洗面・浴室・居間・食堂
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

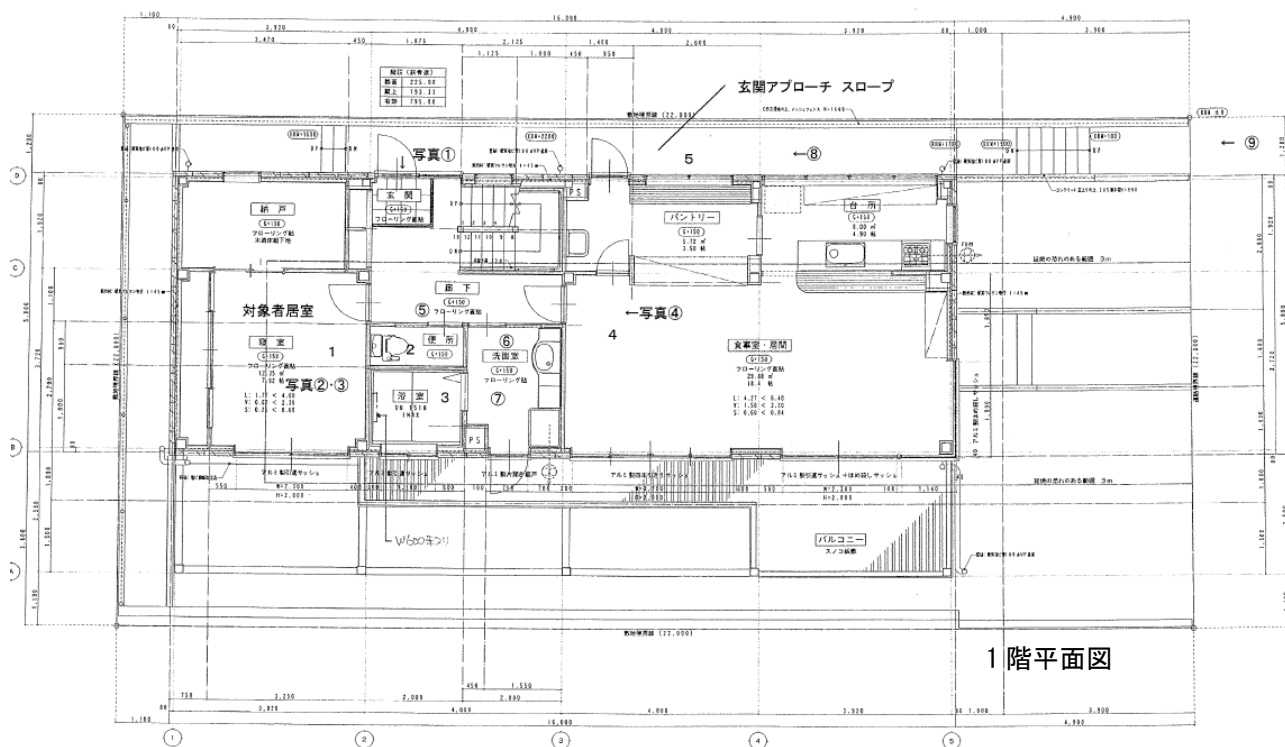
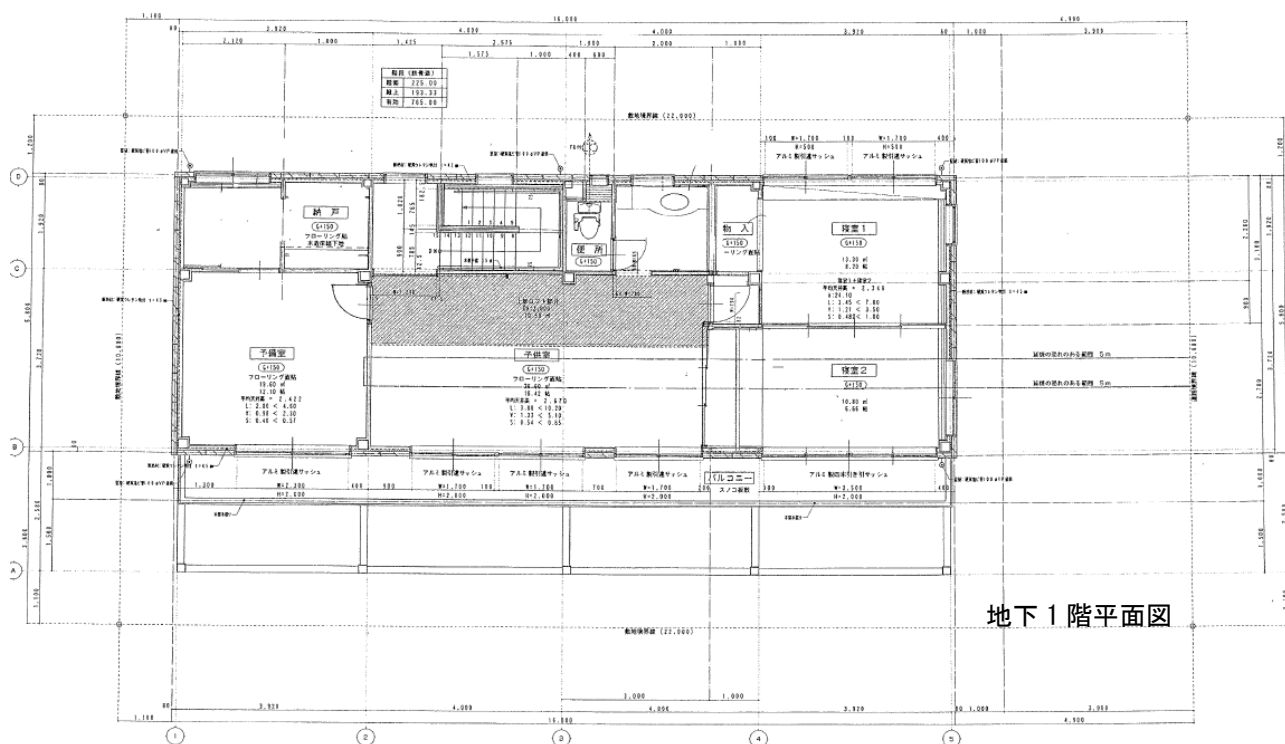
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

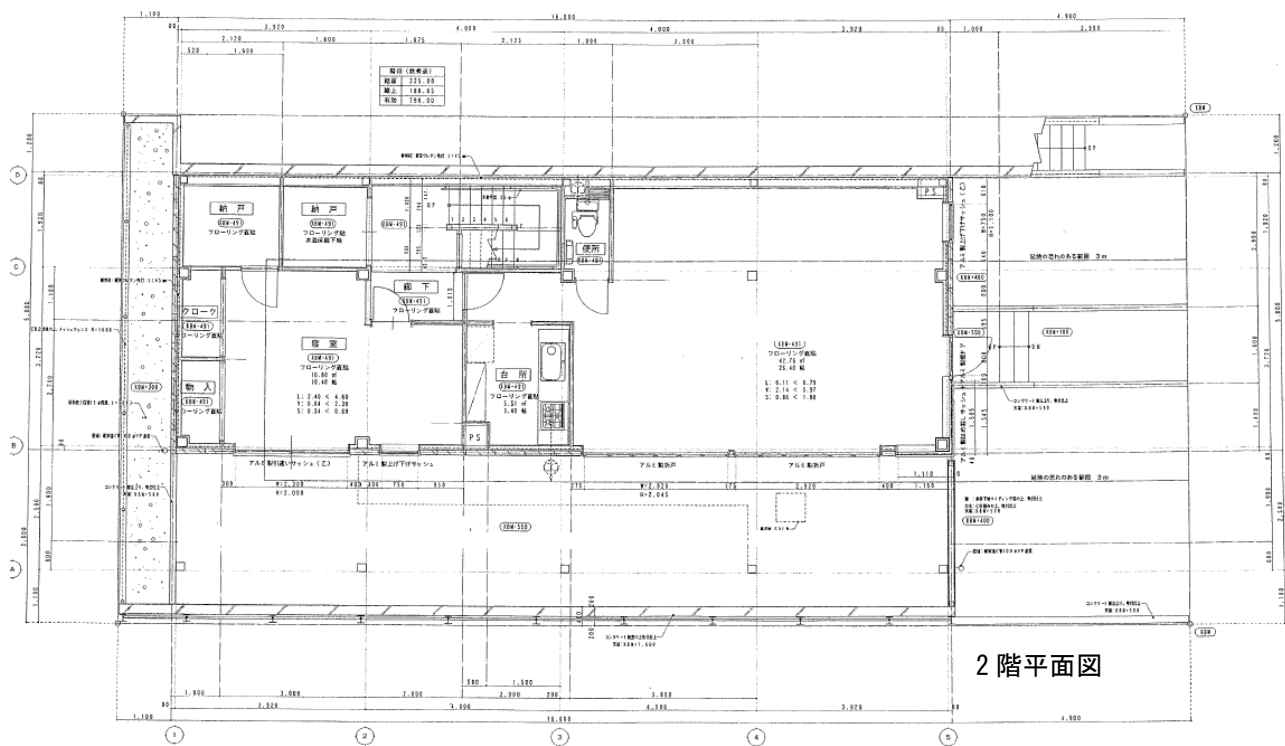
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	洋間とし、訪問介護を受けやすい玄関に近い位置とする。	①・②・③
2	便所	対象者の居室に隣接させ、引き戸とし段差の無い構造とする	①・⑤
3	洗面・浴室	対象者の居室に隣接させ、空間を広く取り、段差の無い構造	③・④
4	居間・食堂	対象者の居室と同じ階に設け段差の無い構造とする	⑥
5	玄関アプローチ	前面道路より段差のあり敷地なので階段はあるもののスロープを設ける。車椅子対応の場合は階段昇降機等で対応予定。電源用配管事前設置。	①
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居室サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	住宅の玄関 フラットな床	②	対象者の居室
			
③	対象者の居室	④	居間・食堂より対象者の居室を見る
			
⑤	便所 引き戸（尿瓶洗浄用水栓を設置）	⑥	洗面所
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	住宅のアプローチ 緩やかなスロープ
			
⑨	玄関アプローチ	⑩	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

夫婦お互いの両親と一緒に暮らすための家を新築しました、夫の母と妻の両親との共同生活子どもが3人いまだき珍しい大家族です。高齢者3名との暮らしですすでに夫の母が緑内障により視野がほとんど無い状態でした。夫の母親のために居室は1階の居間・食堂がある階にし、水周りを居室に隣接させました。夫婦は地階で設計事務所を開設し、業務をおこなっておりますので介護ヘルパーや視覚障害者用のガイドヘルパーなどの外部の方々が出入しやすいように母の部屋は玄関に近いところに設置しました。

また、やはり高齢者との同居と言うこともありEV設置の可能性も考慮してエレベーター用にスラブにあらかじめ開口をとっておき、木下地の上各階収納として計画。地下床下もEVピット掘っておき備えてありました。地階に居室を設け介護が必要になった場合は地階に居室を移せるように間取りを考慮しました。

新築3年目に妻の父親が脳梗塞で倒れ右半身不随になりリハビリ退院までに住宅改修を行うこととなりEV設置工事・前面道路より近いフロアへの段差解消リフトの設置（2003年の住宅改修参照）工事をした。





46(034)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T 邸	事例所在地	三重県松阪市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	対象者が可能な限り、快適な日常生活ができるように工夫した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	148.35 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年／概ね 2,700 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		和室 A (1 階南西角)
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	69 歳／ □男 ■女
			家族	息子 42 歳、息子の配偶者 38 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■息子の配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □ 要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		身体障害有り (下肢 4 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		肝硬変、下肢疾病有り	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他 (サービス)	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ショートステイ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

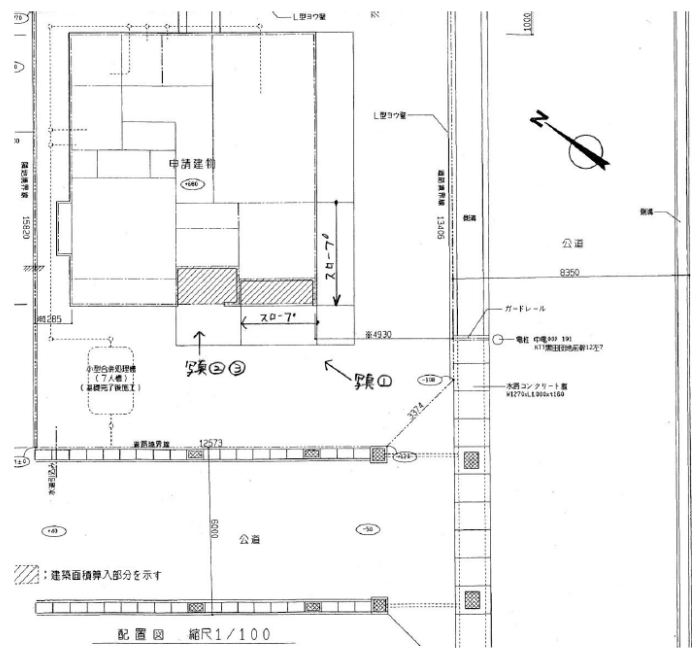
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	デイサービスの送迎車への移動を、スムーズにする。	外部スロープ
2	車いすを使用した場合、出入り口の幅員を十分とる。	玄関扉
3	内部における介助者との歩行、及び車いすでの移動を可能にする。	1階廊下幅員
4	対象者及び介助者も考慮した使い易いトイレとする。	1階トイレ
5	1階LDKに隣接した和室への移動を可能とする。	1階和室B
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## ■新築・建替え・改修・増築前の住宅平面図



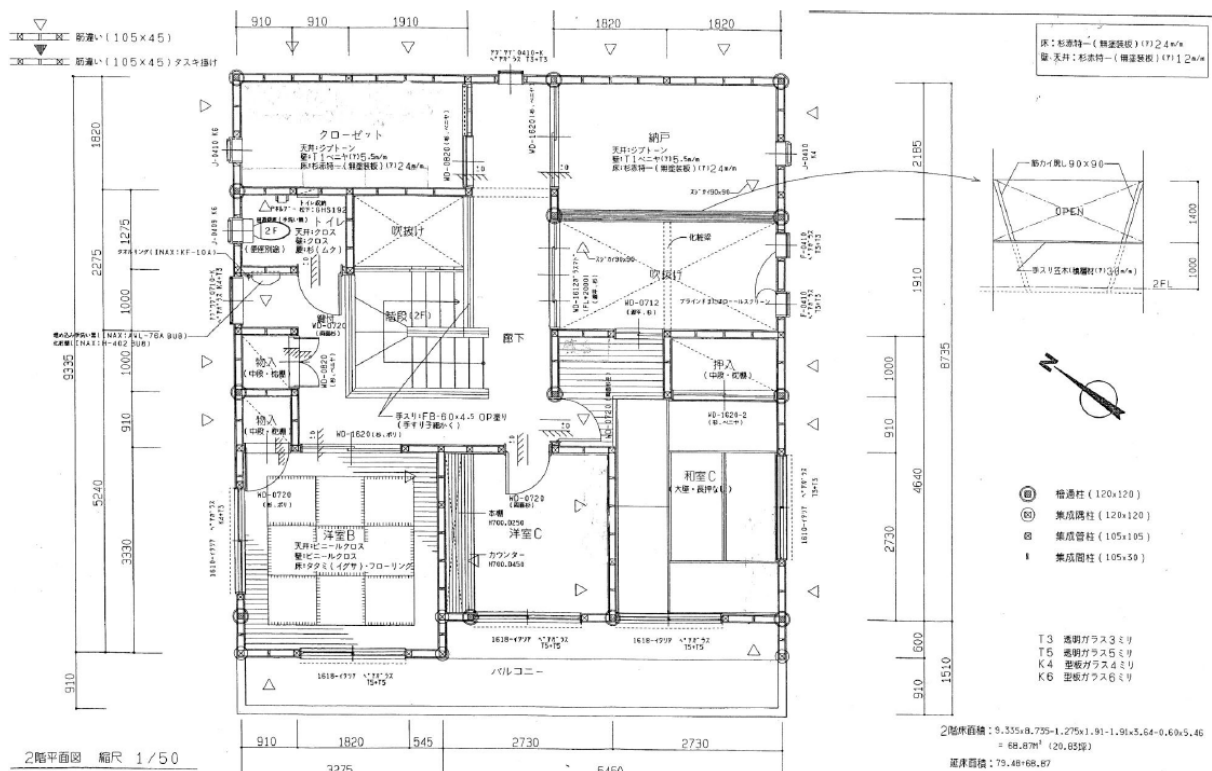
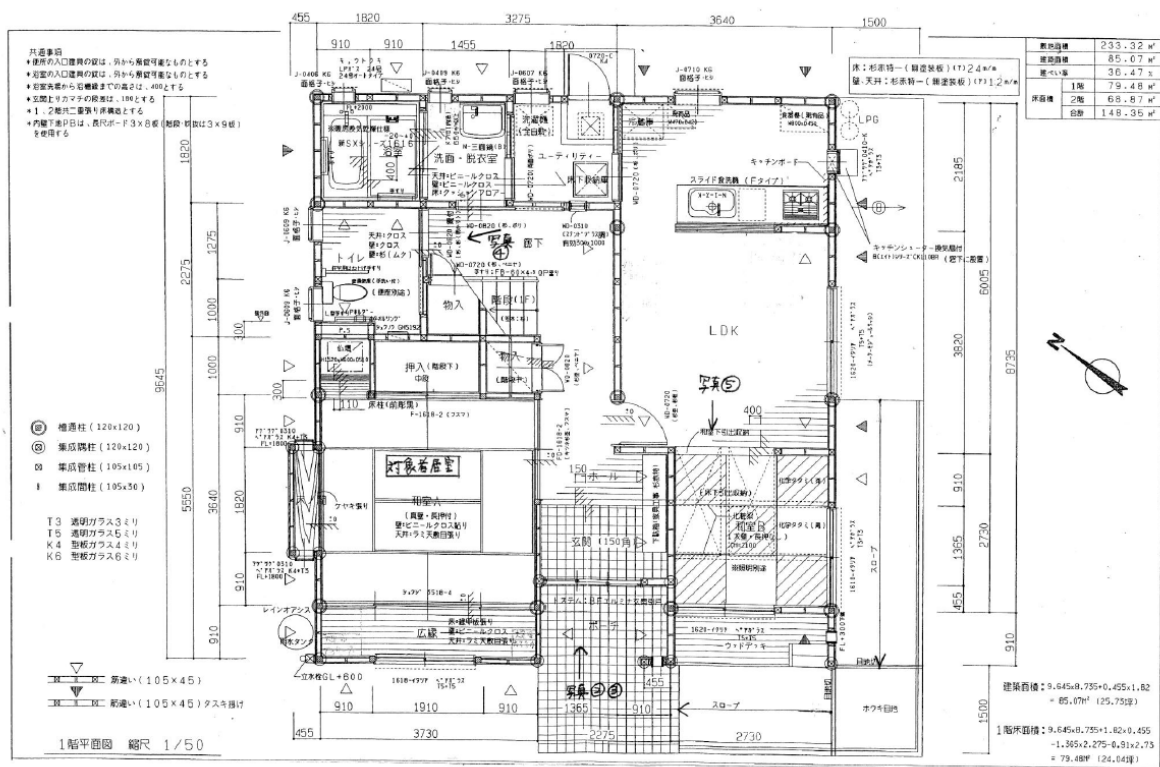
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	スロープ	勾配約 1/15 で駐車場から玄関へ L 字型とし、滑り止めも設置した。	①
2	玄関扉	3 枚引き戸とし、車いすでの出入りにも考慮した。	①
3	1 階廊下幅	芯々 1.82m 及び 1.275m とし、車いす及び介助者との移動を考慮した。	④
4	1 階トイレ	1,820×2,275 の空間とし、対象者の移動を容易にする。また、手摺を便器左右に設け、出入り口も引き戸として対象者が使い易いように考慮した。	③④⑤
5	1 階和室 B	LDK に隣接した和室であることから、対象者が車いすを使用して利用する事も想定し、LDK より床面を車いすとほぼ同じ高さの +400 ミリとし、車いすからの移動をできるだけ容易になるように考慮した。	④⑥
6	1 階和室 A	対象者の居室を日当たりの良い南面で玄関に近接し、対象者の外出や、訪問サービス事業者の出入りに配慮した。	① ②
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



**9. 工夫した場所を中心とする写真** （番号は、『6』及び『8』の番号に合わせています。）

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外部スロープ	② ③	玄関（3枚引戸）から内部廊下を見る
			
④		⑤	
			

**10. その他特記事項**

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

・対象者は、工事の時点で下肢に疾病があり、手術を数回している事から、将来、車いす生活になることが想定された。そこで、設計するにあたり、車いすを使用した生活が、できるだけ快適になるように工夫した。

・外部へ設置したスロープは、現時点（2013年1月）でデイサービスを利用する時に、対象者は杖歩行で日常的に使用しており、使用者及び介護者（家族・デイサービス職員）から、設置位置（駐車場隣接）や勾配について使い易いと好評を得ている。

・1階のトイレについては、車いすの回転が可能で、対象者が骨折により車いすを使用していた時、介護者が介助を容易にできた。

47(056)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	徳島県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	□高齢者対応    □障害者対応    ■高齢障害者対応
工事分類  （主たる工事分類一つをチェック）	■主に対象者の現在の状況を考慮した工事  □主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別）  （主たる工夫について、右記５つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <p>■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫</p> <p>■ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫</p> <p>■ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫</p> <p>■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫</p> <p>■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫</p> <hr/> <p>□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）</p> </div>
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	60.87 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	平成 22 年／概ね 800 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	75 歳／ <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	夫 75 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 )	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		半身不随(自分で立ち上がれない)  ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況			
	* 認知症の有無と状況		<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	A D L の 状況	食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	<input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )	
		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用 )	



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	デイサービスに通いやすくしたい。	玄関・玄関前アプローチ
2	介助しやすくしたい。	洗面脱衣・便所・寝室
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

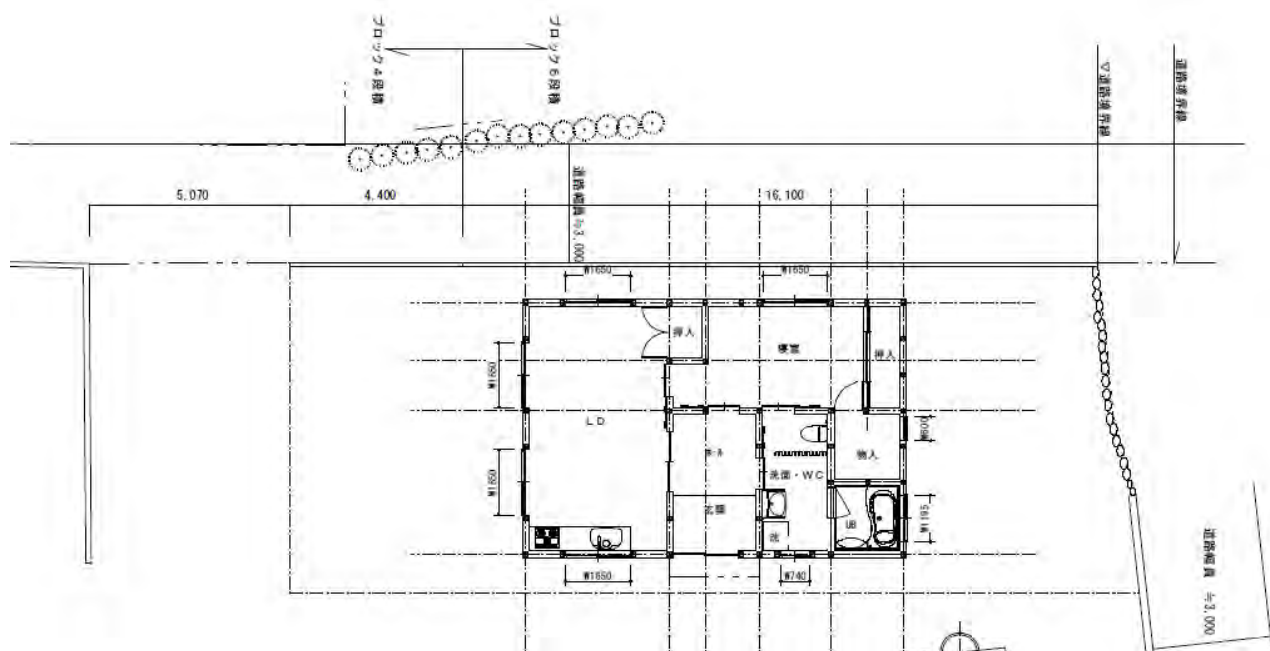
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	玄関の底を深く設け、雨の日にも出入りしやすいようにした。 また、スロープを設け、スロープの降り口から直ぐに車に乗れるようにした。	①
2	洗面・脱衣・風呂・便所	玄関からすぐに入れるように配置し、ホームヘルパー等の介護者の作業の効率が良くなるように配慮した。	③
3	寝室	玄関、洗面・脱衣、便所と行き来しやすいように配置した。	②
4	床	段差を無くし、フローリングは車椅子で動けるように、重歩行用フローリングを使用した。	④
5	天井	将来、リフト設置が可能となるように、天井に下地を設けた。	⑤
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①		②	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

--

## 48(090)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	○邸	事例所在地	岩手県盛岡市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	□高齢者対応    □障害者対応    ■高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	□主に対象者の現在の状況を考慮した工事 ■主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div>           ■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫            □ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫            □ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫            ■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫            ■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫         </div> <hr/> <div>           ■その他（進行性のある病気の為、現在のADLを維持できるように）         </div>
主たる工夫のポイント	施主と同居するお母様が、関節リウマチの為、現在の状態で生活がしやすいように、将来、病状が進んだ時に介護しやすいように工夫した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	124.21 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 16 年／概ね 2,800 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階リビング・私室（洋室）
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	現在約 78 歳／ □男 ■女
		家族	娘（看護師）
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他）	
身体状況	* 要介護度	■自立（建築当時） □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況（障害種別と等級）	身体障害あり (不明 )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	関節リウマチ	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input checked="" type="checkbox"/> その他（病院）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し 不明
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し 不明
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	外出を一人で行いたい。タクシー利用	玄関・玄関前アプローチ
2	日常生活を一人で行いたい	居間・洗面・浴室・トイレ
3	将来を考え、車椅子での生活を考慮したい	居間・私室他
4	トイレは、自分の部屋から行かれるようにしたい	トイレ
5	2階に介助なしで行かれるようにしたい	階段昇降機
6	寒さ対策をして、冬期のADLをスムーズに行えるようにしたい	断熱工事・暖房工事
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

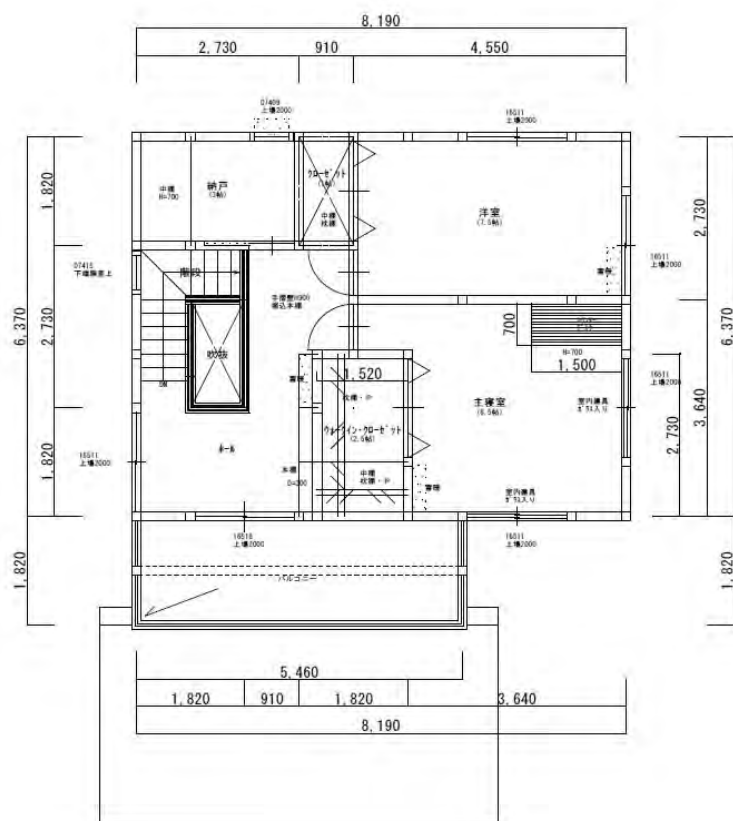
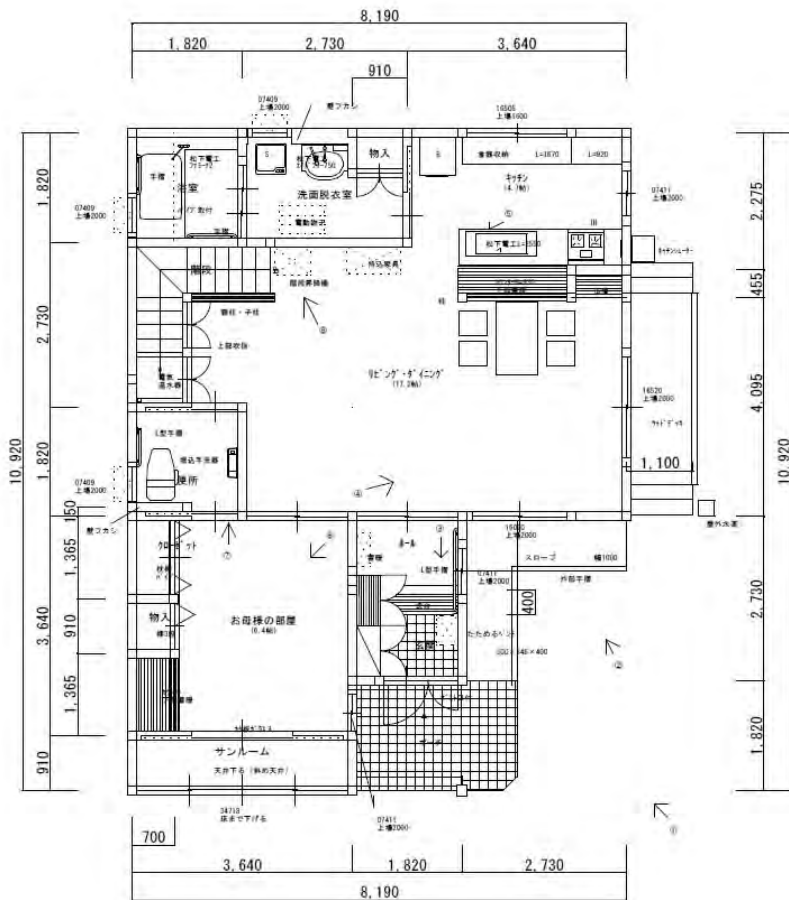
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	アプローチ	車に乗り降りする為に玄関ポーチにスロープを付けた	①
2	リビング	廊下は造らず、リビングを中心に生活ができるようにした	③
3	私室・トイレ	自分の部屋から直接トイレに行けるようにした	④
4	階段	階段昇降機を設置して、自分で2階に上がれるようにした	④
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外観	②	駐車場からスロープを見る
			
③	玄関ベンチ・手摺設置	④	リビングからダイニング方向見る
			
⑤	キッチンから玄関・私室・トイレ方向見る	⑥	入り口から私室を見る
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	私室から行けるトイレ	⑧	階段昇降機
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

北東北は、寒さに対する対応が必要です。(温熱バリアフリー)

冬期が長いために、高齢者の活動期間も短くなり、各室の温度差が循環器の疾病につながる場合がありますので、温熱環境への配慮は大切な要素になります。それと、暖房器具の設置への配慮で、移動のじゃまにならない、操作が簡単など、各室の温度差をできる限りなくすなどの工夫が大切になります。



# 49(019)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	F 邸	事例所在地	栃木県
------	-----	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	寝室を2階から1階に移し、生活用品を収納する納戸を設けた 寝室を茶の間と隣接させ床の段差を解消した

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	116.51 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 500 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	増築部分 14.07 m <sup>2</sup> 改修部分 10.76 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	87 歳／ ■男 □女
			家族	妻
	* 家族内の主たる介助者の状況		■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		疾病はあるようだが不明	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
* 改修・建築後の		有無	□有り □無し	

通所系サービスの利用状況	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

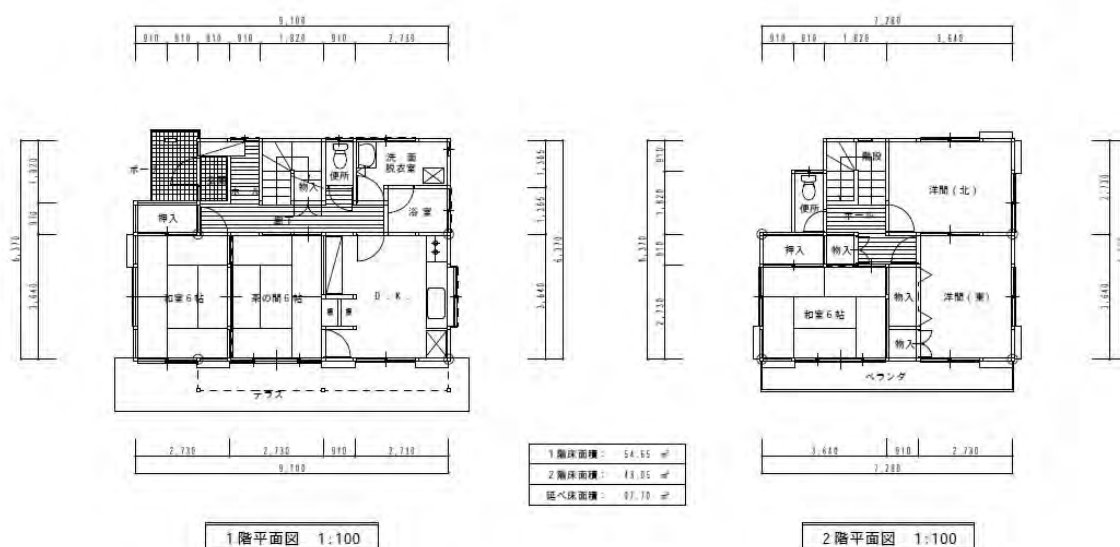
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	要介護に備えて 近々、息子夫婦が退職してもどって来るので、その時に介護されやすいように増改築をしておく。	1階の寝室・納戸
2	2階に息子夫婦が住んで、1階は自分たち夫婦が住めるようにした。	
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	2階の寝室	階段の上り下りが大変である
2	1階の和室6畳	寝室としたいが、介護してもらうには狭過ぎる
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



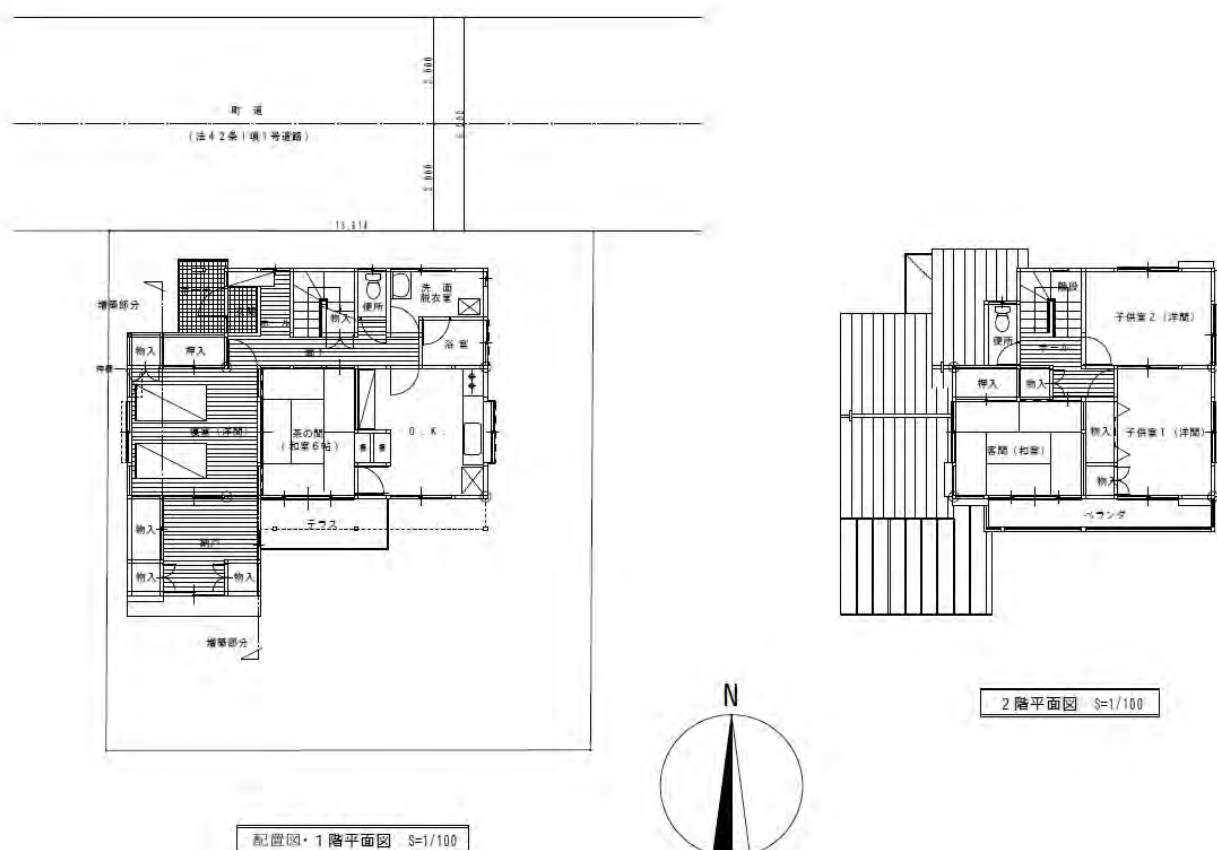
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1			
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①		②	
③		④	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



# 50(041)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H i 邸	事例所在地	兵庫県西宮市
------	-------	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 思い出の場所を残す。内装に自然素材を使用する ）
主たる工夫のポイント	<p>阪神大震災全壊の建替えである。思い出の場所として被害の少なかった居間を残し、それに増築の形をとった。</p> <p>本人は完成当時 86 歳で元気であったが、89 歳で亡くなる迄の 3 年間、徐々に弱り、介護が必要になったのは最後の 1 年であった。それを見越した住宅で、介護が軽減され、福祉サービス、特に入浴サービスが受けやすかった。</p>

## 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）

	延べ床面積／階数	54.42 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	1995 年／概ね 1.370 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	改築 18.74 m <sup>2</sup> 増築 35.68 m <sup>2</sup> 合計 54.42 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他 ( )
対象者の主たる居住スペース		全体
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他 ( )

## 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	86 歳 / □男 ■女
		家族	息子 50 歳、息子の嫁 50 歳 * 息子夫婦は近居
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	突発性難聴、C 型肝炎	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し	
	種類	□通所介護 (デイサービス) □通所リハビリテーション (デイケア) ■その他 (ショートステイ)	
* 改修・建築後の	有無	■有り □無し	



訪問系サービスの利用状況	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input checked="" type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input checked="" type="checkbox"/> その他（訪問医療）
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input checked="" type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（エアマット）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	震災で全壊し、早急に建て替えの必要があった。	全室
2	かねてから、在宅介護を希望していたので、将来の介護を見越して、全室、バリアフリーにした	全室
3		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

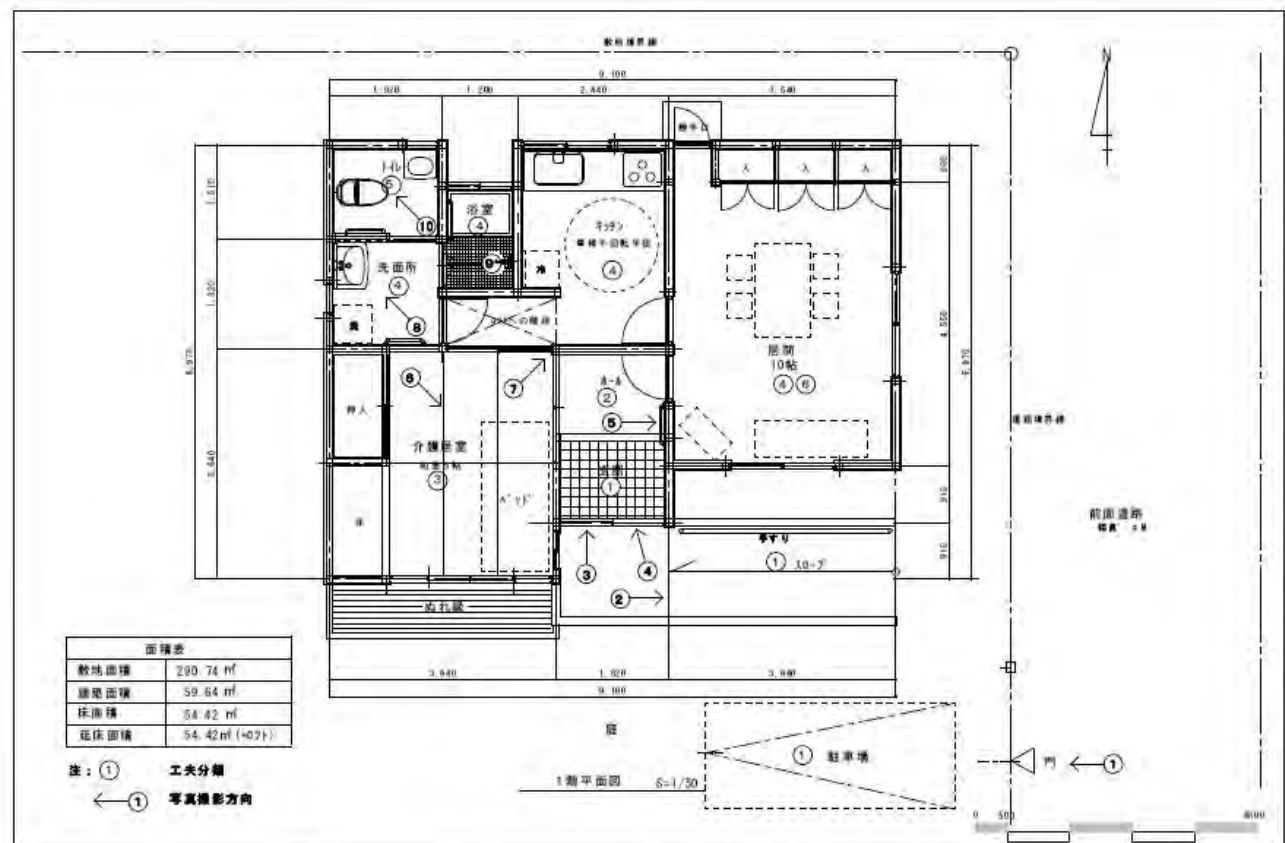
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	駐車場	前面道路は4mと狭く、駐車出来ないので、門を入ってすぐの所に、駐車場を設けた	①
2	アプローチ	門から玄関までをスロープにして、屋外手すりをつけた	①
3	玄関	入口は引違い戸で、フラットレールにして段差なしで入れるようにした。 面積を広くして、上がり框を20cmと低くした。 手すりを付けた。	①
4	介護居室（和室6帖）	対象者が段差なしで直接玄関に出て、外出しやすくした。 玄関から介護者が直接入れるようにした。	① ②
5	浴室、洗面所	給湯、洗面機能を介護居室に隣接させたので、入浴サービスの際も、便利であった。 洗面所に手すり、足元灯をつけた。	③
6	トイレ	介護スペースを取って広くした。 手すりをつけた。 長手方向に引き戸にした。	③
7	キッチン	介護居室は引違い戸になっているので、段差なしで車椅子で、キッチンに行ける。	④
8	居間	介護居室から、玄関またはキッチン経由で、段差なしで行ける。	④
9	全室	自然素材（和紙、漆喰、柿渋）を使って、シックハウス症候群を回避している。	⑥
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	駐車場	②	アプローチスロープ、手すり
			
③	玄関入口ー引違い戸ーフラットレール	④	玄関ーホール
			
⑤	玄関ー手すり（左奥は居間）	⑥	介護居室（和室6帖）ー左奥は玄関ホール
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	廊下—介護居室—玄関ホールの床	⑧	洗面所—トイレ、引き戸で段差なし
			
⑨	浴室—手すり	⑩	トイレ（手すりは反対側）
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

- \* 阪神大震災で全壊した建て替え工事である。被害の少なかった居間部分を残して、増築した。
- \* 本人は、住宅の完成時は元気であったが、体調を崩して、約1年間、始まったばかりの介護保険のお世話になった。  
車椅子を使い、ヘルパーさん、入浴サービス、訪問看護、訪問医療などを受けた。隣居の息子の嫁が主に介護に当たり、娘達も手伝って、希望どうり在宅で終末を迎えた
- \* 延床面積は約 55 m<sup>2</sup>で一人暮らしには十分である。
- \* シックハウスが問題となっていたので、内装は全て自然素材を使用した。(和紙、柿渋、漆喰)
- \* 多かった家財は震災で処分し、ロフトを作って最小限の荷物を収めた。



# 51(087)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S 邸	事例所在地	大阪府茨木市
------	-----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	91.92 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2011 年 ／概ね 360 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	17 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 60 歳／ ■男 □女 家族 妻 58 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来、介護が必要になった場合にホームヘルパー等が他の居室に入らないで 良いように、寝室を玄関に近くに配置し、寝室から直接トイレを利用できる ようにしたい。	1階和室から寝室へ
2	介助を受けやすいように、トイレの長手方向に引き戸の出入口を設けたい。	トイレの位置変更
3	車いすでの移動が可能となるように、洗面所と浴室の出入口の段差を解消す るととも、引き戸にし、バリアフリー対応の浴室、ヒートショックにならな いための浴室予備暖房を設けたい。	洗面所、浴室
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	2階寝室	寝室は2階にあるため、将来、介護が必要となった場合に介護を受けにくい。 また、トイレも1階にしかないため、夜間も2階から1階に行かなければならない。
2	洗面所	段差があるため、将来、車いすが必要となった場合に出入りが困難になる。
3	浴室	出入口に段差があり、また、浴槽の縁が高い。
4		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



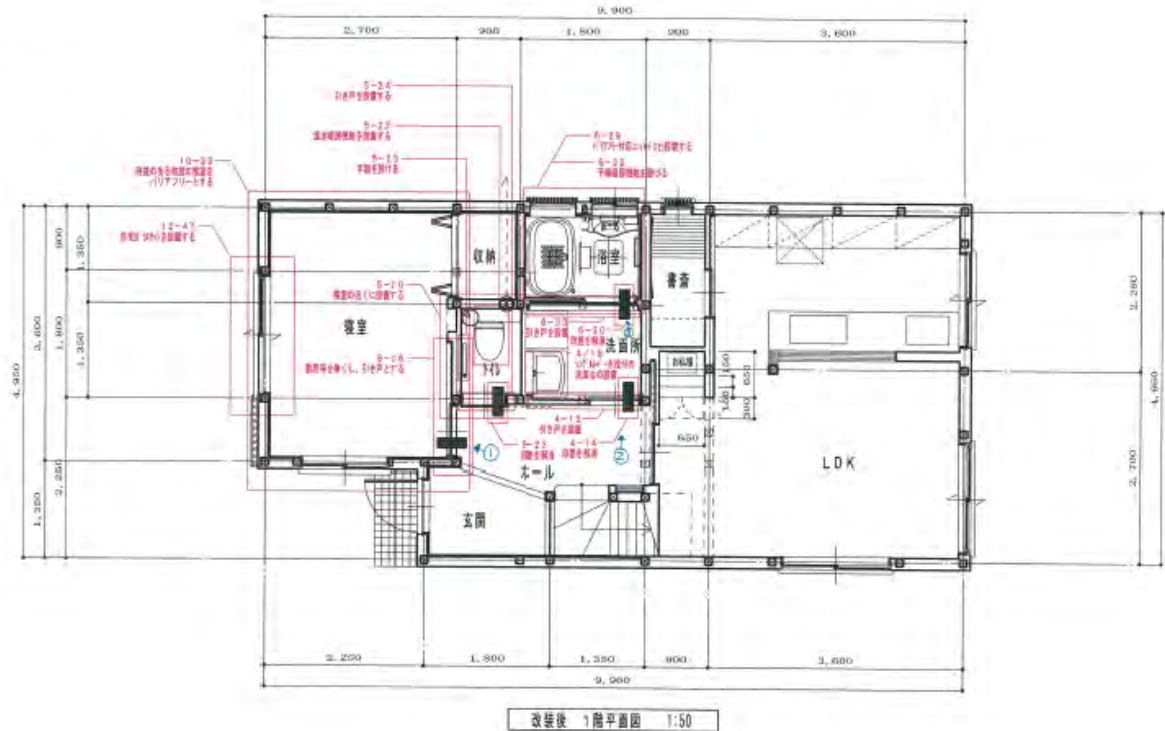
# 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	1階和室	寝室を2階から1階の和室に移し、将来、介護が必要となった場合に介護を受けやすくし、トイレも寝室から直接行くことができるように移動した。トイレには、介護を受けやすいように長手方向に引き戸の出入口を設けた。	
2	洗面所	出入口に段差があるため、段差を解消し、引き戸にすることで、車いすでの移動を容易にした。	
3	浴室	出入口に段差があり、浴槽の縁が高く、手すりもない。また、在来工法であるためヒートショックを受けやすいことから、浴室出入口の段差を解消し、バリアフリー対応のユニットバス、浴室予備暖房を設けた。	
4			

## ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	1階和室 改装後	②	1階和室 改装前
			
③	洗面所 改装後	④	洗面所 改装前
			
⑤	浴室 改装後	⑥	浴室 改装前
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 52(035)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	富山県砺波市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢で失禁が多く収納を改装しトイレを部屋に取った。足が弱り玄関出入りが困難となり手摺を取り付けた。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他 ( )
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他 ( )
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他 ( )
	延べ床面積／階数	240 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	1993 年／概ね 3,500 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	12 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他 ( )
対象者の主たる居住スペース		12 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他 ( )

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 85 歳／ ■男 □女
		家族 息子 50 歳、息子の嫁 46 歳、孫 3 名 中高校生
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	足腰が弱り杖を使用 ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
* 改修・建築後の通所系サービスの利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護 (デイサービス) □通所リハビリテーション (デイケア) □その他 ( )
* 改修・建築後	有無	■有り □無し



の訪問系サービスの利用状況	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
* 改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（四点杖2本で歩行）

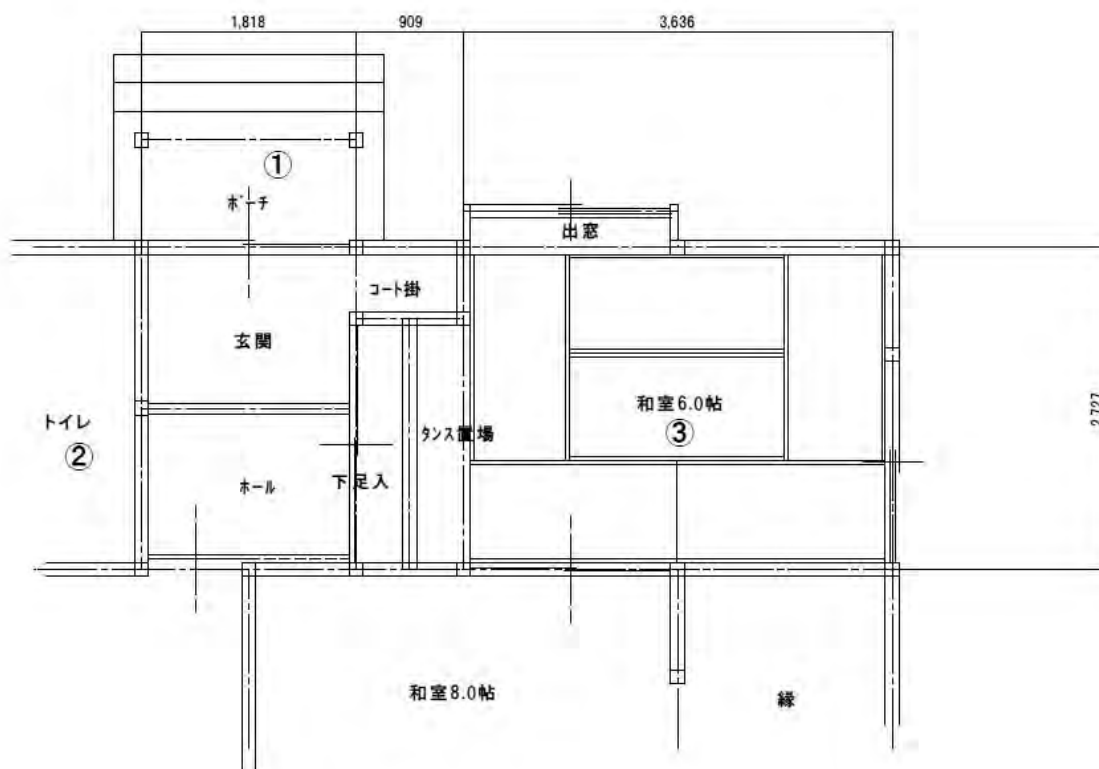
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレを近くしたい	専用トイレ
2	入口の段差が辛い	玄関前階段
3	部屋の汚れが気になり床をタタミから塩ビ系に変更した。（介護者）	対象者寝室
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関ポーチ	段差が大きく上がり降りが辛い
2	トイレ	対象者室から4m程であるが夜は間に合わず通路が汚れた。
3	居室	タタミ敷きで汚れが取れにくい。農村地帯で畑等から帰ると汚れたままで入り掃除が大変である。
4		
5		場所は富山県の砺波平野散居村にある為敷地は300坪ほどと広い場所である。

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



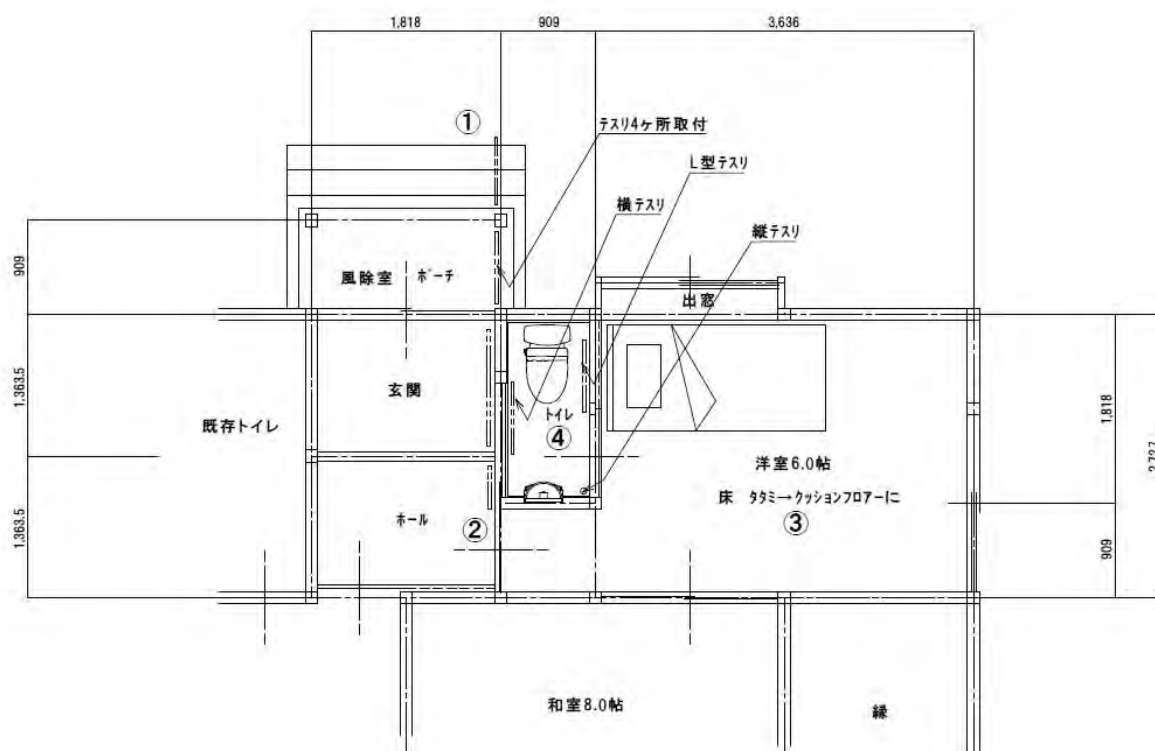
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関ポーチ	手すり 取付 玄関ホールまで連続して手すり取付	
2	玄関ホール	ホームヘルパーが他の居室を通らず入れるようにした。	
3	対象者居室	床 畳を塩ビ系に変更	
4	トイレ	ベッドのすぐ横に設置 足腰が弱い為L型手すり1本 縦手すり1本 横手すり1本 取付	
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

※1 撮影場所、撮影箇所を記入した上で写真を枠内に挿入して下さい。

※2 「新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図」に、撮影番号及び撮影方向を記入して下さい。

※3 施主の使用許諾がとれた写真に限ります。

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関ポーチ	②	玄関
			
③	玄関ホール～居室	④	トイレ手摺
			
⑤	ベッドとトイレの状況	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

同居者の一番の要望は居室横のトイレ設置であった。本人は痴呆は無くしっかりしていた為、工事は不要であると言ったが、工事完成後は近いトイレは楽だと使用しいた。  
階段の手すりは本人からの強い要望があった。

# 53(106)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	愛知県春日井市
------	----	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	スロープの設置が難しいため、車いすで通行可能な階段に改修した

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	108.91 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	33 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input checked="" type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	80 歳／ <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	夫 80 歳（硬膜血種もち），息子 58 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り（ <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他）	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況（障害種別と等級）		無し  ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		リウマチ	
	* 認知症の有無と状況		<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	A D L の 状況	食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）	
屋外		<input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input checked="" type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）		

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	同居のため、1階に居室、浴室を作る	1階洋間
2	外出を可能にする。階段を改善すると共に、車いすの通行も可能に。	アプローチ
3		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室	既設は2階に浴室があり、2階へは上がれないため使用不可
2	77°ローチ	外部階段の昇降が困難であること、車椅子での対応が不可能なこと
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





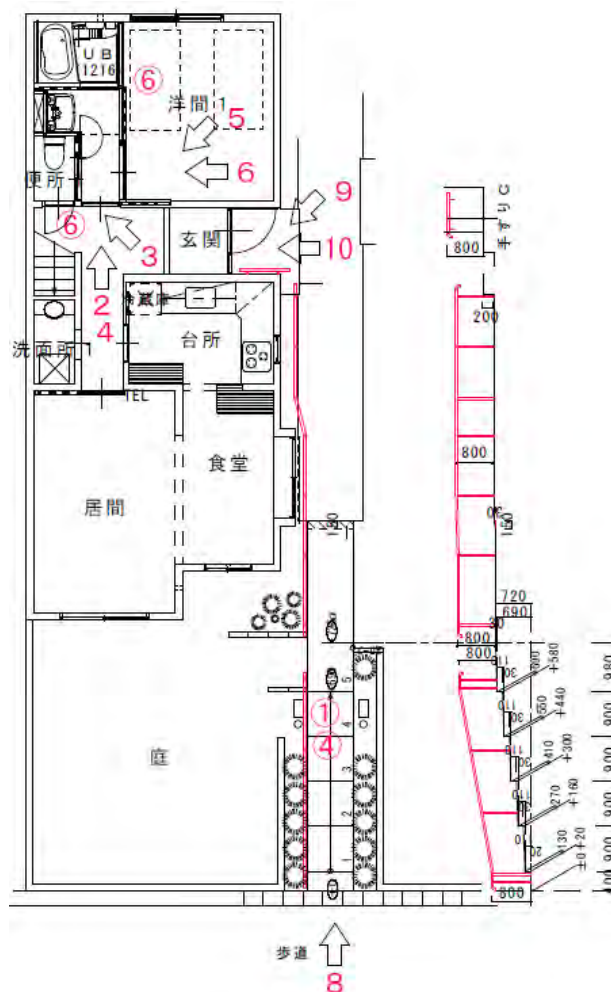
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室・浴室	限られた面積の中で全員が使用する浴室・洗面・2人の寝室を設置	⑥
2	トイレ	寝室から使い易いことを考慮。日中は家族全員が、夜間は老夫婦二人が使用することを前提とし、扉を使い分けることで寝室から扉一枚で、トイレへ出入りすることができる。	⑥
3	77°ロッチ・外部階段	共有地であること、隣接の庭との関係、仕上げ材、また費用を考慮し、階段の改修範囲を最小限に抑え、車いすや歩行器でも通行可能な蹴上げと踏面の奥行きとした。	①④
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
1	工事前	2	工事後 通路奥が浴室
			
3	2方向のトイレ出入口の納まり	4	通路から居室・浴室
			
5	居室から通路・玄関ホール側の扉	6	居室からトイレ出入口
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
7	工事前：外部階段	8	工事後
			
9	玄関ポーチ	10	玄関
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

当初はスロープの設置が希望でした。Mさんの症状の予測が安定していなかったこともあり、通院やデイサービスで外出する際に車いすが必要になる可能性も視野に入れたためでした。しかし、予算の問題に加え、この通路が共有地であることから仕上げ材の変更までは難しいこと、隣り合わせの2件だけでなく他の人々も使用する機会があること、また通路の途中に隣家の庭への出入り口があることから、スロープの十分な距離が取れない。以上の理由で、車イスでも昇降できる蹴上げと踏面の階段を設置することにしました。



## 54(060)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	愛媛県今治市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫  <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	<p>既存建物は増改築を重ね、個室とトイレと台所が別棟の状態だったため、一部を残して増築した。増築部分に、トイレと浴室と台所と居間と寝室を備えた。既存と増築部分はシンプルな動線で繋がるようにして、採光や通風や目線に配慮した。増築後の日常の暮らしが増築部分でほとんど賄えるようにした。増築部分は前面道路との接続を容易にして、明るく、冬は日差しを取り込み暖かく、夏は軒で日差しを絶ち風の流れる涼しい快適な空間を作った。</p> <p>外部との接続を容易にして、一人暮らしのお母様が出かけやすかったり、周辺地域の人たちとの関わりを継続できやすくした。また、近隣住民の方々とのコミュニティーの場に、濡れ縁を道路側に設けた。この広めの濡れ縁は布団を干したり、洗濯物を干したり、野菜を干したり、人々が集ったり、日向ぼっこをしたりと、室内空間と外部空間の連続の機能を併せ持った空</p>

	<p>間として配した。</p> <p>設計前には住み手の暮らしぶりを聞いたり拝見したりして、収納の配慮をきちんとして、床部分にモノが置かれるようなことがあまり無いようにして、掃除がしやすいことや移動の邪魔がないので、転倒を防ぐ設計とした。</p> <p>内部水廻りのトイレと洗面脱衣室は壁で区切らず、一室とした。トイレは小さな空間に仕切らないほうが、掃除もしやすくなり、介添えの人が必要な時には介添えしやすい空間とした。</p> <p>洗面台のカウンターは洋便器横まで延長してつくり、手すり代わりとした。</p> <p>寝室は 6 帖の畳スペースと家具置き場と、押入れ空間をきちんとり、介添えの人の空間も備えた。夜間のトイレ利用を安心安全にするために、寝室とトイレの間に LED の常夜灯も設置した。</p>
--	--

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅 概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	113.60 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 1000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	49.68 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター ■その他（ 照明士 ）

## 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄		
世帯 状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	79 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	
		家族	無し	
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 )		
身体 状況	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明		
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )		
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し		
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度		
	A D L の 状況	食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )	
		屋外	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )	
* 改修・建築後の通所系サービスの利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し		
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護 (デイサービス) <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション (デイケア) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
* 改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し		
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護 (ホームヘルプサービス) <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他 ( )		
* 改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し		
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台 (介護ベッドなど) <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレや風呂を安心して楽に利用したい	トイレ・風呂
2	外部との接続を容易にして外出やサービス利用をしやすくする	濡縁・玄関ポーチ
3	自立した生活をできるだけ長くする	全体

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

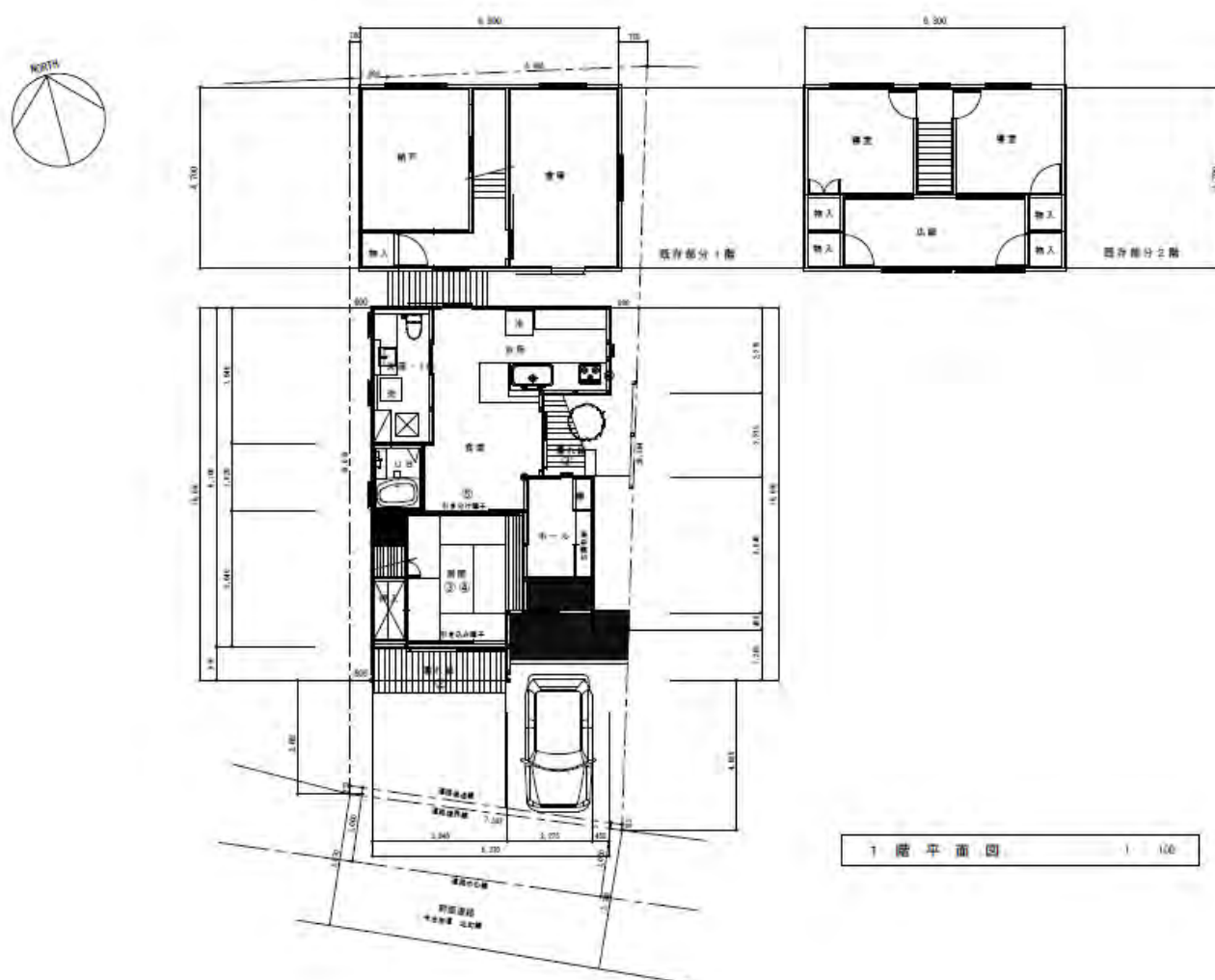
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1		外出を促すために、玄関とホールの段差以外はスロープで前面道路まで繋がるようにした。玄関の段差が無理な場合は、外部に面した寝室からフラットにつづく広めの濡れ縁から外出できるようにした。 寝室の道路側には広めの濡れ縁を設け、近隣の人たちとのコミュニケーションが図れるようにした。元々、近隣住民とのコミュニケーションができていたので、濡れ縁で集い語り過ごす楽しみの場とした。	①
2		外部のサービスを受けやすくするために、寝室は玄関からの動線をシンプルにした。また、直接出入りが可能なように掃出しサッシと広めの濡れ縁を設けて、玄関から以外も利用できるようにした。	②③
3		寝室6帖には押入と家具の置けるスペースを別に設け、介護ベットを置いても、周囲から介添えができる空間を確保した。また、車椅子利用となった場合を考え、寝室と食堂やトイレへはフラットとして、全て引き戸とした。	③④
4		寝室には家具や家電が置けるスペースと押入を別に設け、介添えの人が休めるように6帖をきちんと確保した。	④⑤
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	段差を抑えた玄関	②	近隣とのコミュニティを継続させる濡れ縁
			
③	玄関以外に外部と接続するテラス	④	採光や通風を図る中庭テラス
			
⑤	洗面脱衣室とトイレ	⑥	視線も動線もシンプルな台所
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 55(008)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	○邸	事例所在地	北海道札幌市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（安全に移動できる）
主たる工夫のポイント	室内の段差解消。 寝室の床材の変更。 寝室の断熱改修&構造補強。 手すりの取り付け。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	130 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2006 年／概ね 330 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	65 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	78 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	夫 82 歳、娘 55 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input checked="" type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input checked="" type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 )	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		脳梗塞 軽度の左麻痺 平衡感覚低下	
	* 認知症の有無と状況		<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	A D L の 状況	食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用 ( <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )	
屋外		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用 ( <input checked="" type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 入浴用品 ）

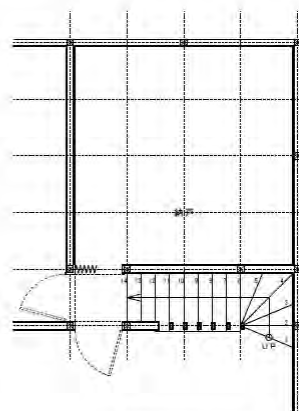
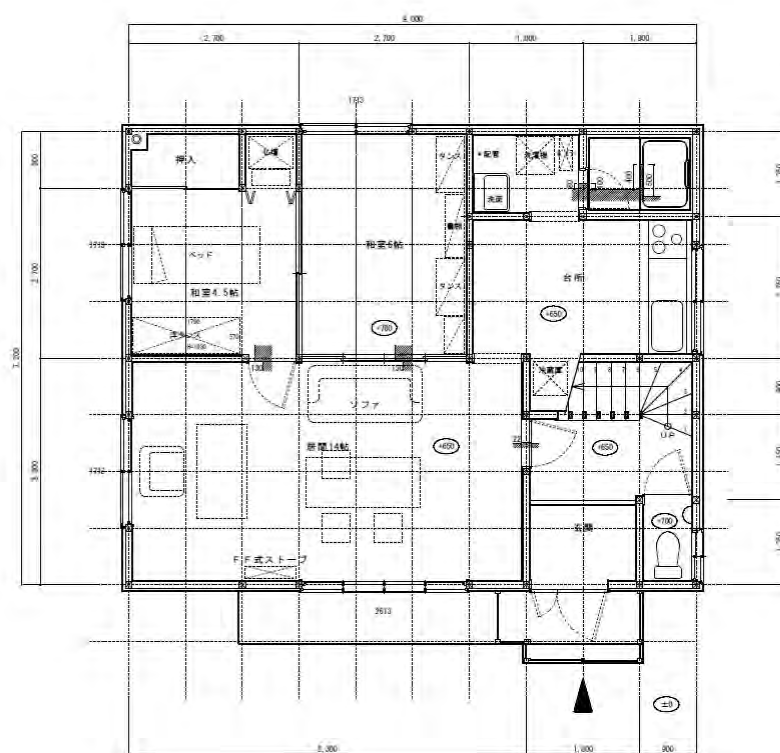
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	室内を安全に移動したい。 移動するときにつかまるところがほしい。	玄関、居間、トイレ、洗面・脱衣室、浴室
2	寝室を洋室に変えて夫婦ともベッドにしたい。	和室 4.5 帖、6 帖
3	ひとりで買い物に行きたい。	玄関、ポーチ
4	2 階のサンルームに洗濯物を干しにいきたい。	階段
5		

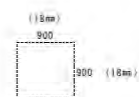
## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関、ポーチ	上り框、ポーチ階段の段差がある。つかまるところがない。 風除室の扉、玄関ドアの開閉時にもつかまるところがない。
2	居間	移動動線につかまるところがない。 ソファやドア枠につかまっている。
3	和室	居間から 130 上がっており、移動時につかまるところがない。 窓から隙間風が入り、寒い。
4	洗面・脱衣室	狭い。洗面台が低い（H=720）ので、前屈みになって顔を洗うのが困難。 建具枠につかまり、片手で洗っている。
5	浴室	洗い場出入り口に段差があり、つかまるところがない。 浴室内の手すりが足りない。
6	トイレ	つかまるところがない。
7	階段	つかまるところがない。
8		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



2階【階段】



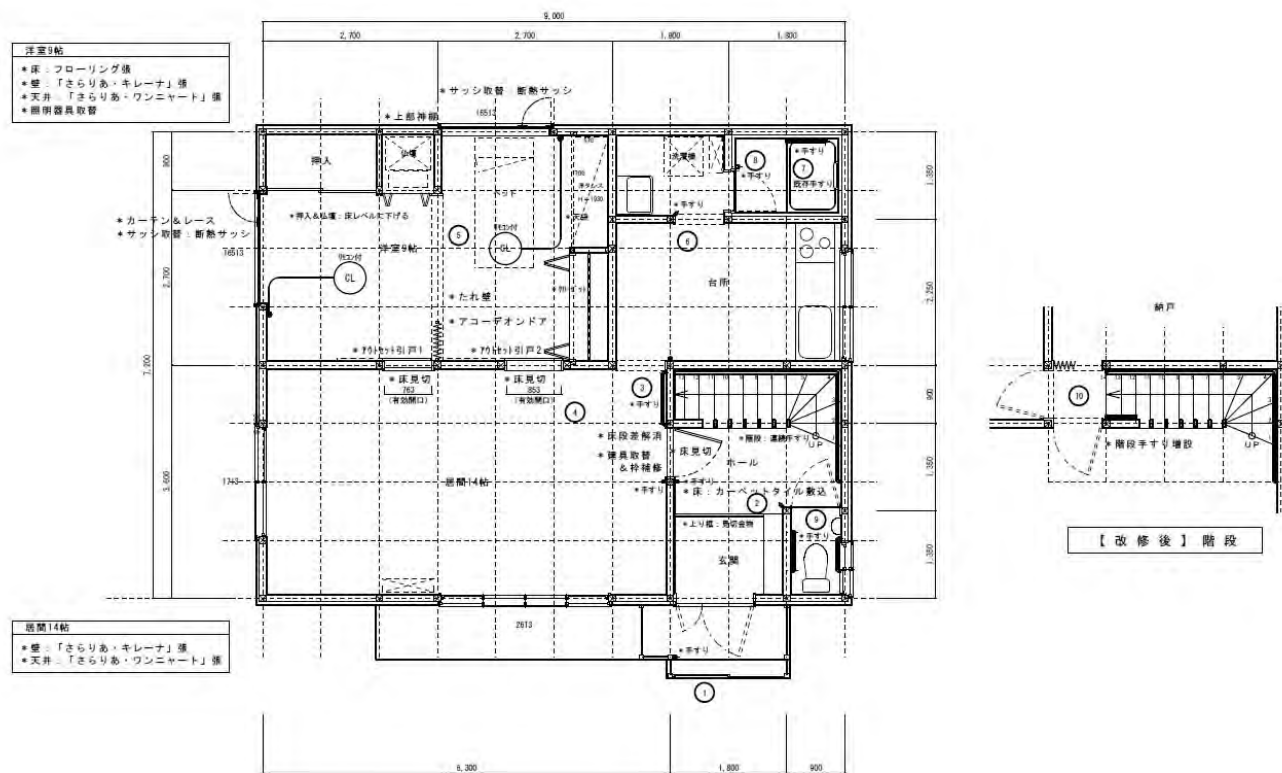
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	建具の開閉時にバランスを崩しやすいので、ドア枠付近に手すりを設置。	⑤
2	ポーチ	ポーチと階段の境目に手すりを取り付けた。	⑤
3	居間	家具類につかまるところは、あえて手すりをつけない。 建具枠付近を中心に手すりを取り付けた。	⑤
4	和室	床は居間のレベルに合わせて段差解消。 和室から洋室に変更し、ベッドからの起き上がりに使う家具は左右逆になるが、支障ないことを確認して配置したため、手すりは不要。 建具は吊り戸に変更し、床の見切りもなくして安全に移動ができるようにした。	⑤
5	洗面・脱衣室	洗面台よこの建具枠に手すりを取り付けた。 洗面台には洗顔するときに身体をささえる介護用品を使用【キッチン腰楽】。	⑤
6	浴室	つかまるところがあれば介助なしで入浴できるので、出入り口、浴槽付近に手すりを取り付けた。	⑤
7	トイレ	便器&手洗い器を取替たばかりなので、空いた空間に手すりを取り付けた。L型、I型	⑤
8	階段	片側に連続した手すりを取り付けた。 後日、反対側にも追加して取り付けた。	⑤
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ポーチ	②	玄関ホール、トイレ前【コーナー手すり】
			
③	居間	④	居間・寝室
			
⑤	寝室	⑥	洗面・脱衣室 【コーナー手すり】
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	浴室
			
⑨	トイレ	⑩	階段
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

○氏は主婦として家事全般をこなし、退院後も継続して主婦業に復帰することを望んでいる。

後遺症の麻痺は軽度で、麻痺側でも手すりにつかまることができる。ふらつきのほうが不安で、移動するときは常に何かに手を触れている（壁、家具）。手すりはバランスを崩すおそれのあるところに取り付けた。

ベッドは現在使っている折りたたみベッドで支障がなく、起居動作は洋たんすにつかまてできるので、現状で福祉用具は不要とした。

寝室は、段差解消と同時に断熱&構造補強も実施した。仕上材は、ビニールクロス臭いが苦手とのことで、壁と天井は脱臭・調湿効果のある建材を使用した。

退院間近に病院内で転倒し、大腿骨頸部骨折で再入院となり、数ミリの段差も危険と判断した。

長女がキーパーソンとなり、高齢の夫のこともあり、今後に備えた改修内容について一緒に検討した。

## 56(017)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	U邸	事例所在地	山形県寒河江市
------	----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	本人がなるべく自立できる生活環境を整えた。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	233.53 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 17 年 / 概ね 1,100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	62.11 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		居間、寝室、WC、ミニキッチン、ウォークインクローゼット、渡り廊下
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	81 歳 / □男 ■女
		家族	息子 56 歳、息子の嫁 54 歳、息子の長男 27 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (■息子 ■息子の嫁 ■息子の長男)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	平成 22 年 3 月に食事をしなくなる。 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り ■無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

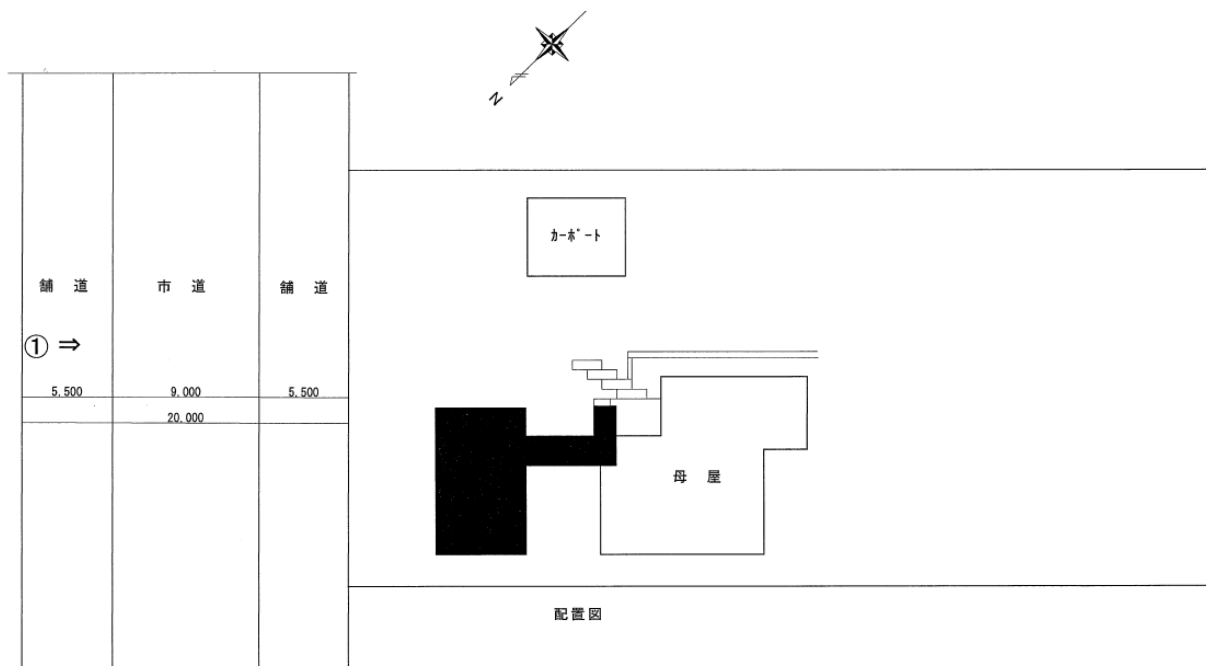
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	北側増築のため居間の採光、通風をどうするか。	建物の離れ
2	屋根形状が複雑になり積雪状況がどうなるか。	建物の離れ
3	敷地内の除雪、排雪、駐車場の配置（施設の配車）	敷地全体計画
4	足腰が弱り自力で歩行困難になったときどうするか。	渡り廊下、玄関
5	玄関アプローチの段差をどうするか。	一時的に簡易スロープ
6	居間の床をフロアにするかタタミにするか。	タタミ
7	母の衣服をどのように収納するか。	大きいクローゼット
8	嫁入り和タンス、整理タンスの置き場。	ウォークイン・クローゼット

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	寝室、居間	空き部屋はあるが、介護生活を考えればどうか ？
2	食事	母屋で一緒に食事をする。
3	食事メニュー	基本的には同じだが、一部母用に改良する。
4	浴室	管理上母屋浴室使用、ただし、2 番風呂
5	玄関	狭いので拡張する、下足置き場、クローゼットの位置替え
6	廊下、ホール	滑りにくい床材に変更
7	廊下、ホール	車いすが使用できる、足元灯、手すりの設置
8	玄関アプローチ	切石階段に簡易木製スロープ設置
9	仏壇の納め	増築部に設置する。
10	洗濯を干す場所	部屋に「干し姫さま」を設置

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



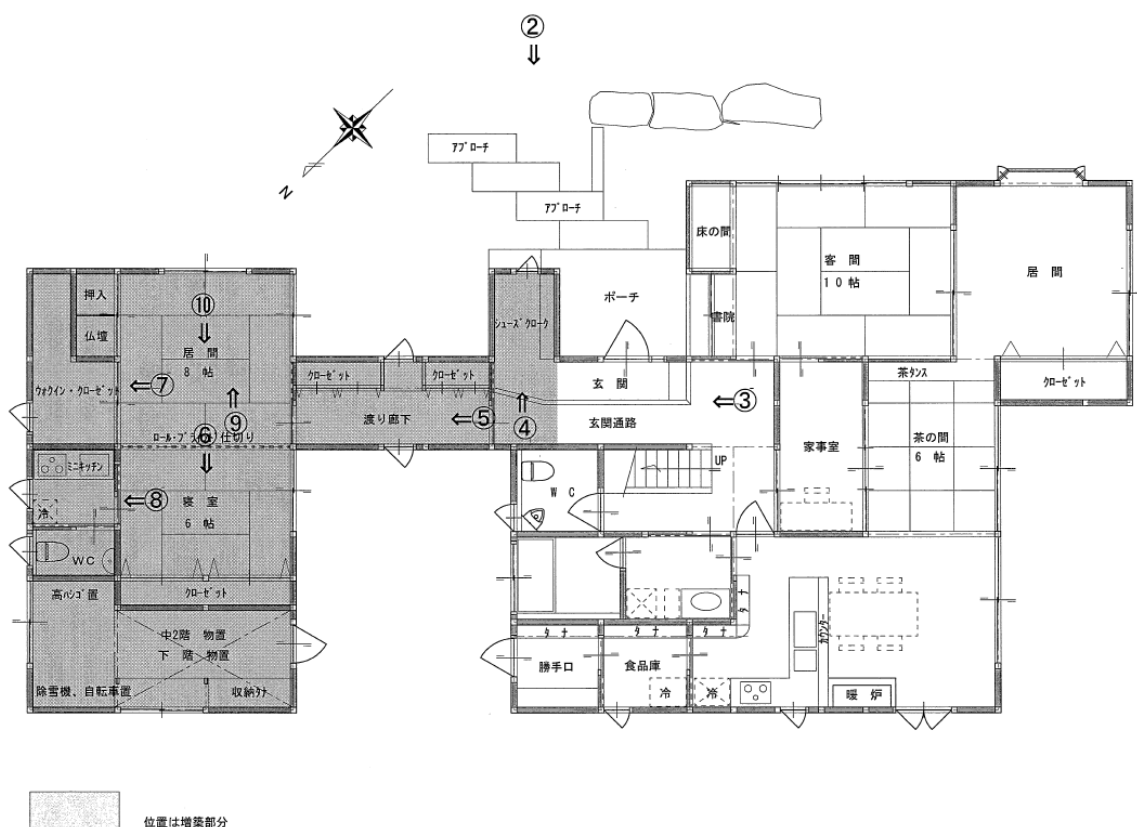
8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関アプローチ	切石階段に簡易木製のスロープ設置	①
2	玄関の配置	離れ渡り廊下繋ぎの為ハキモノ入を解体、車いすが通れる通路設置	②
3	玄関下足、納戸	ハキモノ、小物、コートが玄関に入ったお客様より見えなくする	①
4	クローゼット	母の衣服整理、生活用品の収納	①⑤
5	ウタイン・クローゼット	母の嫁入りタンス、整理タンス、その他諸大型物収納	①⑤
6	渡り廊下、ホール	車いす、人の足が滑りにくい床材、空間、足元灯、手摺の設置	①②③④
7	洋式トイレ	自立し用事が足せるように	①②③④
8	ミニキッチン	自立した生活が営まれるように	①②③④
9	仏壇の納め	自立した生活が営まれるように	①②③④
10	洗濯干し場	自立した生活が営まれるように	①②③④
11	居間と寝室の仕切り	居間 8 帖間と寝室 6 畳間との仕切りにロールブラインド設置し、寝たきりになった場合、本人の姿を目隠しする	①②③④⑤

※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

写真は、改修部分を基に戻してしまっているため現状の写真になります。

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	全体景観	②	玄関アプローチに簡易木製スロープ設置 (8-1)
			
③	玄関に車いすでも通れる通路設置 (8-2)	④	玄関下足、納戸、お客様から見えにくく (8-3)
			
⑤	渡り廊下、クローゼット、衣装、生活用品収納 (8-4、6)	⑥	寝室 6 帖、クロゼット、洗濯干し (8-4、10)
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	ウオーク・クローゼット、嫁入、整理タンス収納 (8-5)	⑧	洋式トイレ、ミニキッチン (8-7, 8)
		 	
⑨	居間 8 帖と仏壇、ウオーク・クローゼット入口 (8-9, 11)	⑩	居間と寝室にロールブラインド仕切り (8-11)
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

### 実母の居宅介護における経過

#### ※ 母を同居させた理由

昭和 63 年まで、私たち家族が親夫婦と同居していたが、諸般の事情により 1Km くらい離れた場所に私たちが別居しました。平成 10 年に父が亡くなり、当時 73 歳の母は、平成 17 年 80 歳まで一人住まいで自立し頑張った。しかし、「冬の雪かきをやるのが難儀になった」と、ちょっとやさっとで弱音を吐かない母が珍しくつぶやいた。また、義母は少し認知症になったのでは・・・？、と妻から言われたが、私は息子として「昔から天然ボケだ」と言いやり、やはり母親を認知症と認めたくなかった。

そうこうしているうち 側溝蓋のちょっとした段差につまずき顎を 3 針縫ったり、裏山に行き溝に落ちたりと これまで考えられないことが続きざまに起こり、このまま一人にしておくのは無理と判断し同居することにした。

#### ※ 母と同居

そこで問題になったのが、母の寝室をどこにするかで妻と話し合い、やがては、認知症が進み、在宅サービスも必要になるだろうと考えられる。その時は、母屋に 介護する方も、される方も遠慮しないで自由に入出入りできる配置にすべきと前から考えていたので、玄関を横に広げ、冬季間の屋根雪おろしの関係上渡り廊下で繋ぎ、離れを増築し、食事、浴室は母屋で一緒にすることにした。

## ※ 在宅サービス利用

入居後、離れで母の友達が自由に行き来し、お茶のみをするようになり楽しんでいたが、上げ膳、下げ膳、毎日友達が来るわけでもないし、自然とテレビを見ながら、気候の良い日はタタミの上でごろり、寒くなると炬燵やベッドでごろ寝の生活となってきた。自立させようと用事をつくり行動させたつもりでいたがいつの間にか、「ボケ」が日増しに強くなってきた、妻がこっそり知り合いのケアマネジャーと寒河江市の地域包括支援センターの職員と相談し介護保険の申請をしていた。

その結果、「要介護1」と認定。介護保険を利用し、となり町のディサービスに通うことになった。

## ※ 母からの教え

最初は、「あんな体の自由が利かない年寄りばかりいる所には行きたくない」、「風呂には入りたくない」とぼやいてディサービスの送迎車が来てから車に乗るまでなだめるのが大変でした、時間が経つにつれ友達ができ、また、ディサービスのいろいろな祭事に喜びを覚え、二人の若い20代女性看護師（私はうらやまし思っていました・・・？）が迎えに来るのを今か今かと待ち詫びるようになっていた。約5年利用している間に「要支援1」から「要支援2」になり認知症状も進んできた。

元の住まいしていた町内会で昔の生活を話し合う集会在、近くの公民館で開催されたので連れて行った時、講演の最中に黙ってどこかに行ったのでトイレかなと思っていたが、なかなか帰ってこないのを探しに言ったら、これまで常連の公民館でトイレがどこにあるか判らなくなり探しているうちに大便を漏らしたようで“良い匂い”を放っていた？。

その後自宅にいても部屋のすぐ脇にトイレがあるにも関わらず、屋外に出て行きウロウロしている間に漏らしてしまう（元の住まいは屋外にトイレがあった）ことがたびたびあり、外で恥ずかしい思いをしたので寝転がっていたりと不自然な態度が多くなり、妻と相談し、「おむつ」をさせることにしたが、嫌がってなかなかしないので、騙し騙し妻から介助してもらっていた。やはり、おむつに直接するのは相当の抵抗があったようで、私の妹に来てもらい手伝ってもらったりもした。

ある時、紙おむつを無理やり外そうとして手で力任せにそっちこちちぎらし、手についた便が布団、ベッドとそっちこちにべったり、床をはいずり周ったため畳の目にべったり、内壁には手形が・・・匂いと清掃に大変な思いをした。

ここで思ったのは、これまで私も建築士として色々なお客様と介護について、手摺はどこに、各所の仕上げはどのと判ったふりをし話し合いを行い、計画プランを練ってきたが、認知症の方はみんな同じ症状があるのではなく各個人の症状が全部違うので、家族、介護士、ケアマネジャー、ホームヘルパーの方々と相談を行い、どうしたら本人のためになるのかを考えていくことを学びました。

母が「お前はわかったふりをしているが、さっぱり判っていないので“おれが”教える」と言っているように思えた。

## 「アリガトウ かあちゃん」

## ※ 病気発症

平成22年3月1日 朝食事が済み 一服した後 立ちあがろうとしたとき、突然、「めまいがする、吐き気がする」と立ってられない状況になった。

その後一週間、三食の食事を全く口にしなくなったので、耳鼻科、専門医院に視てもらったが原因が判らず、ケアマネジャー、主治医と相談の上 専門の病院に入院することになった。しばらくたって、担当医師に病名を聞いたところなんと病名は「老衰」の一言でした。 ショック!!

担当医師より 「延命処置しますか」と質問された。 しかし、父が7年間で10回程 体にメスを入れ、看病した母は「おれの時は自然にしてくれ」と常々言っていたので、妻、姉妹と相談して、食事を全然受け付けない状況で無理して「胃瘻」、「経鼻胃管」までして延命しても母は喜ばないと思い、「自然体でお願いします」と申しました。

6か月間、食事を口から入れず、水も飲まず 点滴だけですごし 9月12日 看取りました。

## ※ 結果 建築士として思うこと

認知症になったり、アルツハイマー病になったり、高齢者が様々な病気になった時、本人が最期まで普通に有意義な人生が営めるよう、自宅を改造、改築、増築をすることが、一番困る時期だけで、その状態が長い間続き自宅で看病できるかと考えるに、ある程度経つと残念ながら最後は病院に入院となる運命で、病院で看取り終えるのが一般的と思われる。

結果的に増改築等した部分が、健康者にとっては無駄になり、元に戻す結果になる。

私の自邸も母亡き後、手摺り、敷きシート、ベッド、暖簾、鍵等を全て取り外す結果となりました。

私は今 仕事において、工事の設計アドバイスをするだけでなく、母の事例を基に、お客様に理解を求めることに努めています。

## 57(120)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	ケア－C－3	事例所在地	茨城県
------	--------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車いすのご家族のため全面バリアフリーに。2 間続きの和室と廊下を LDK に変更し、中央に家族の顔を見ながら調理できる対面キッチンを設置。ご両親の寝室には、外から出入りできるスロープ、トイレを用意しました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 2000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	95.7→147.4 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	60 歳代 / ■男 □女
		家族	妻 60 歳代 息子 30 歳代、息子の嫁 30 歳代、孫女 5 歳、孫男 3 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

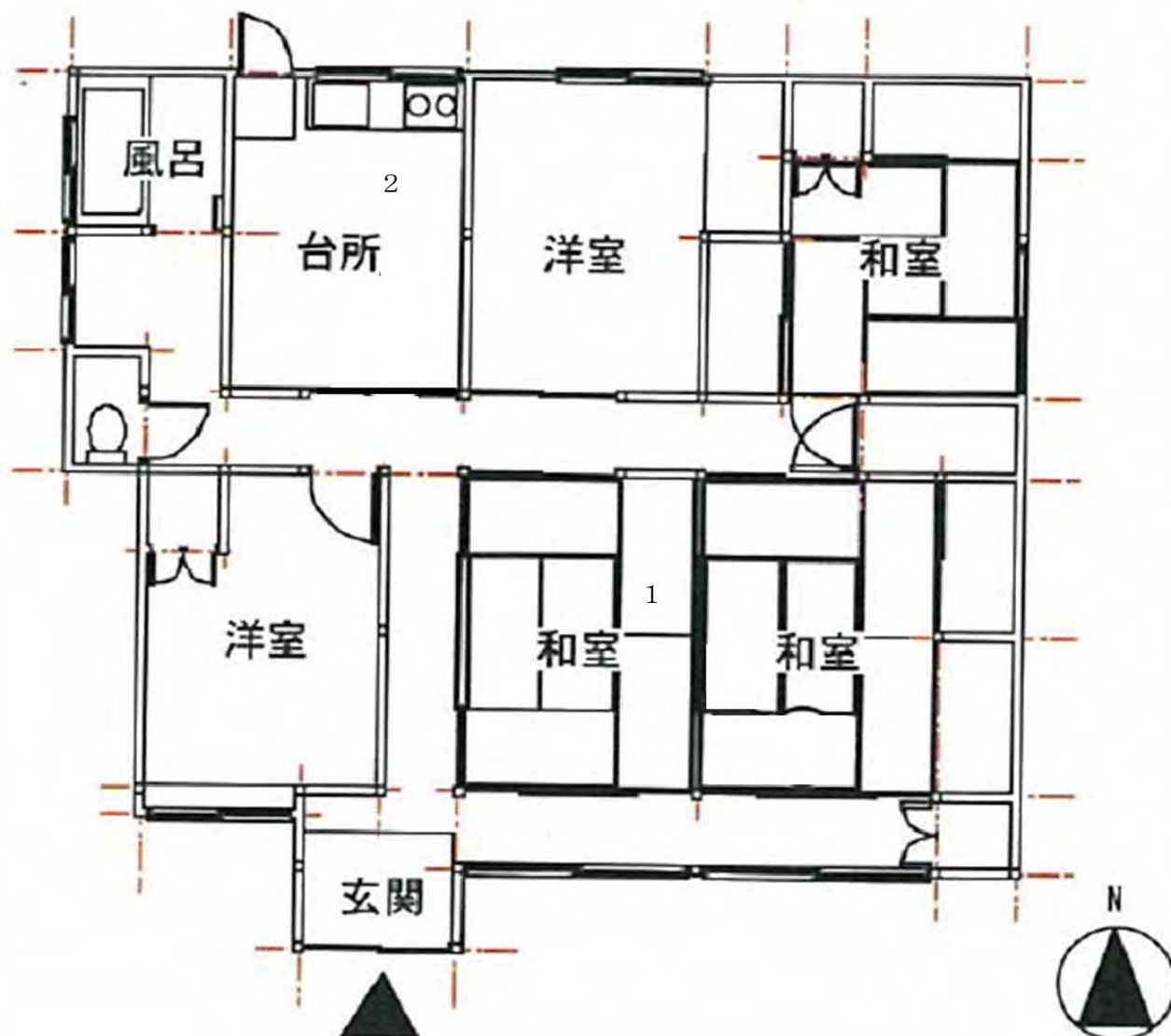
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家族が車いすでの生活になったため、バリアフリーにしたい。	全体
2	北側に面したキッチンが暗く、家族みんなで集まれるスペースが欲しい。	キッチン
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	2間続きの和室	車いすでの移動には不向き。
2	キッチン	北側に面し、暗く寒い。
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



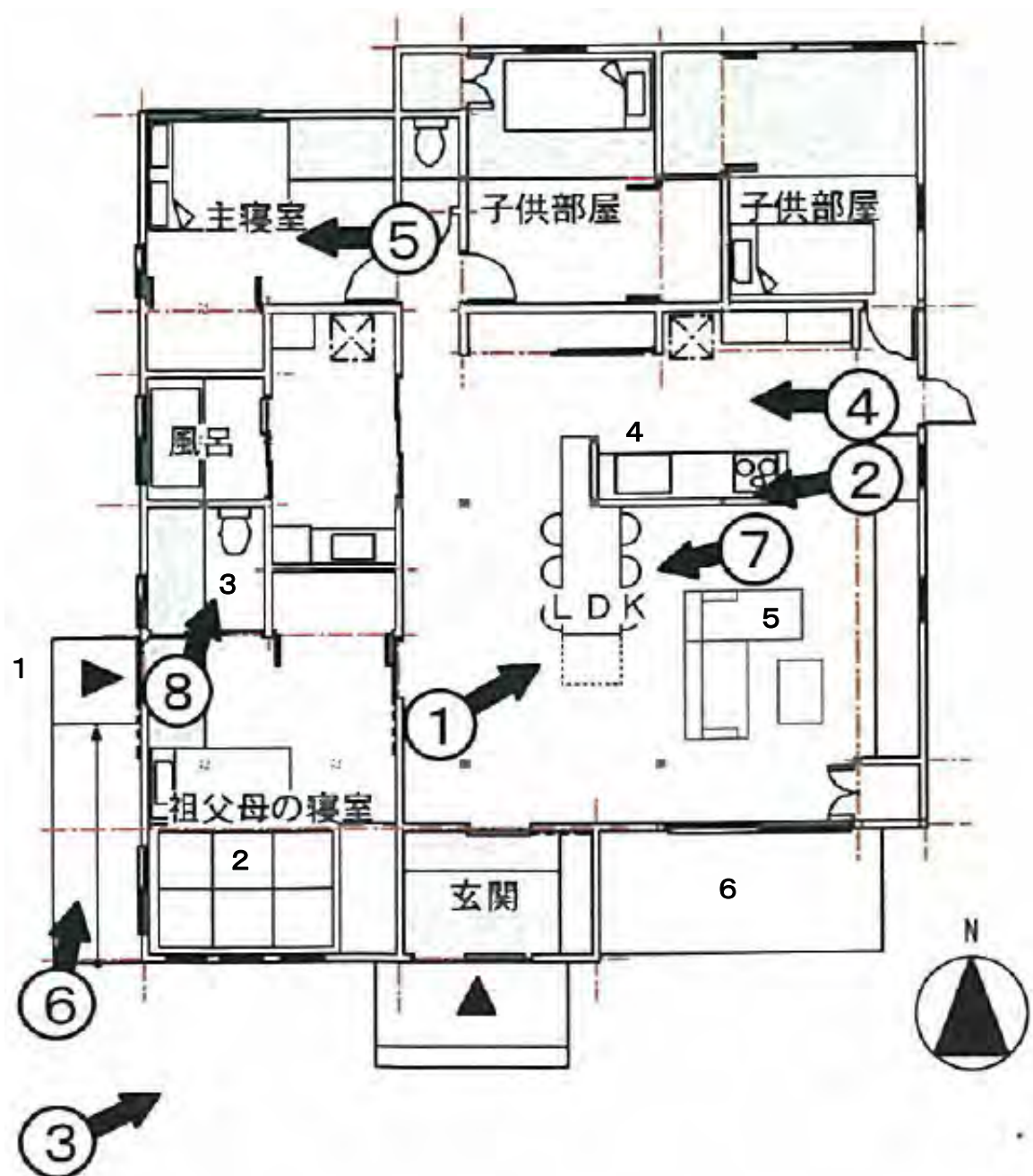
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	祖父母の寝室	車いすから直接部屋につながるスロープを設置。	①
2	同上	腰掛けることができ車いすへの乗り降りを楽しむ小上がりの畳スペース。	④
3	同上	車いすでの動きを考えた1坪のトイレに直接出入りできる。	④
4	L D K	行き止まりがない回遊式で、家族の顔を見ながら調理ができる対面式キッチン。車いすに座ったままでも料理ができる。	④
5	同上	26帖のLDKは屋根勾配に合わせて天井を組んでいるので、高さがあり開放的。しっかり断熱を施した。 LDKを中心に各部屋に移動するプランなので家族同士の繋がりも増える。	④
6	ウッドデッキ	ノンレールサッシなので車いすでもラクにデッキに出ることが可能。	④
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	L D K	②	L D K（2階廊下から）
			
③	外観	④	車いす対応キッチン
<p>外観写真。上部2枚の窓を覆うようにスリット状のスクリーンを取り付け、外観のアクセントにしています。</p> 		<p>家族の顔を見ながら調理が出来る対面キッチン。車いすのまま、座ったままもクラク料理が楽しめます。</p> 	
⑤	天窗	⑥	スロープ
 <p>天窓を付けることにより北側に位置する部屋も明るく過ごせます。</p>		 <p>祖父母の寝室に直接出入り可能なスロープ。</p>	

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	L D Kから直接部屋へ	⑧	1 坪のトイレ
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

58(025)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	A 邸	事例所在地	長野県松本市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	□高齢者対応    □障害者対応    ■高齢障害者対応
工事分類  （主たる工事分類一つをチェック）	□主に対象者の現在の状況を考慮した工事 ■主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別）  （主たる工夫について、右記５つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <input type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫         </div> <hr/> <div> <input type="checkbox"/>その他（ ）         </div>
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	100.75 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2000 年／概ね 2.200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 72 歳／ ■男 □女 家族 妻
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（杖 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来の生活（介護等）を考慮した建物にしたい。	全ての居室
2	居間から台所や通路は一体の空間で使いやすくし、寝室は施主様の希望で個別の部屋とした。	居間、台所、通路 寝室
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

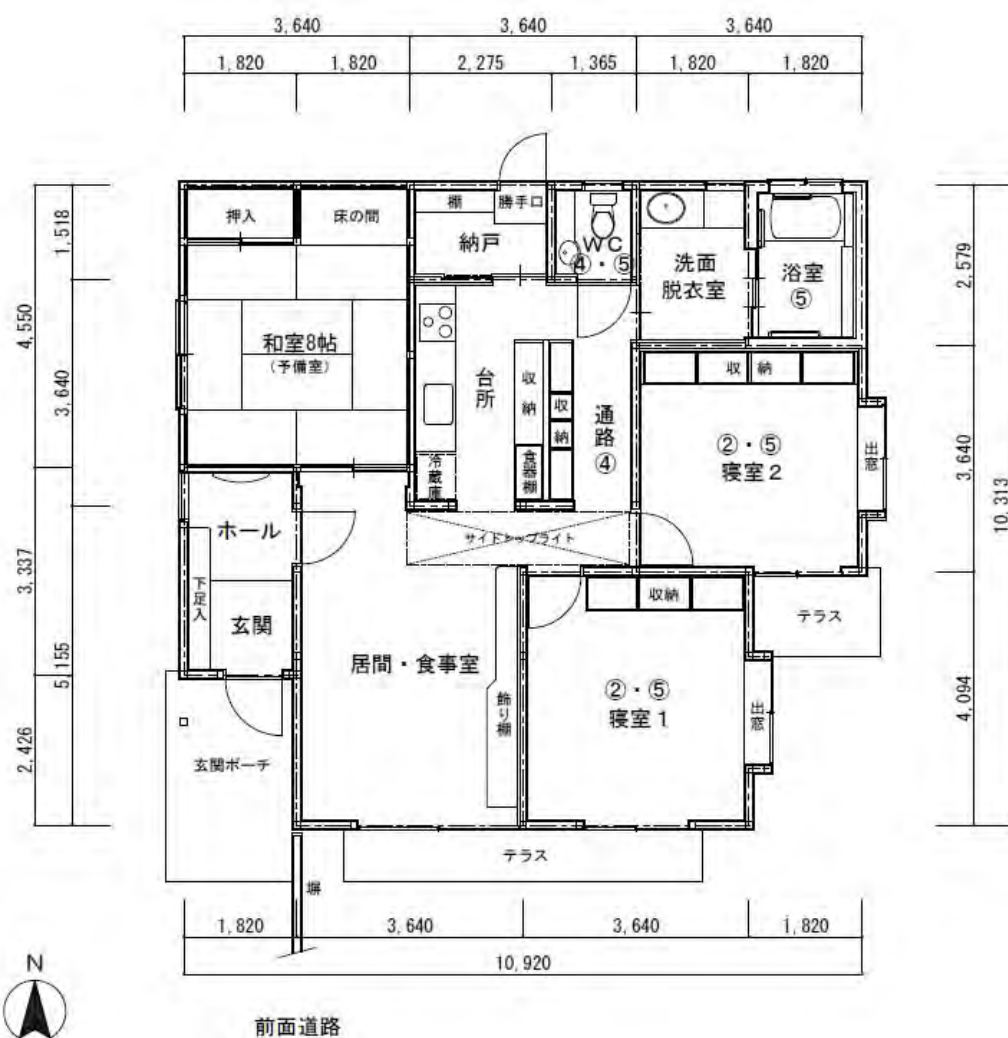
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	間取り	オープンな間取りとし、居間から台所や通路は一体の空間とした。	⑥
2	床段差	居間、寝室から浴室やトイレまでバリアフリーとした。	④・⑤
3	トイレ・通路等	幅を広くし車椅子にも対応できる様にした。	④
4	寝室	夫婦別室にした。	②・⑤
5	緊急対応	浴室やトイレで緊急時の時でも外から開けられる扉とした。	⑥
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



前面道路

平面図 1 : 100

床面積 100.75㎡ (30.48坪)



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居間から台所	②	通路
			
③	テラス	④	洗面脱衣室、浴室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。





59(020)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S 邸	事例所在地	埼玉県深谷市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢者がいつもいる場所を中心に生活動線を計画しています。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	320.62 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 8000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	_____ m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階の 2 部屋
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	90 歳／ <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	娘 60 歳、娘の夫 63 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input checked="" type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 	

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 ■訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ ■歩行器 ■ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	いつもいる場所は、家族とはなればなれにしないでほしい	居室
2	トイレを近くにしてほしい	トイレ
3	お客様とは別の入口を設けたい	内玄関
4	家族との関わりを常に持ちたい	居室、タタミコーナー
5	家中どこにいても快適に過ごしたい	設備
6	非常用の時の対策を考えてほしい	〃（非常ボタン）
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

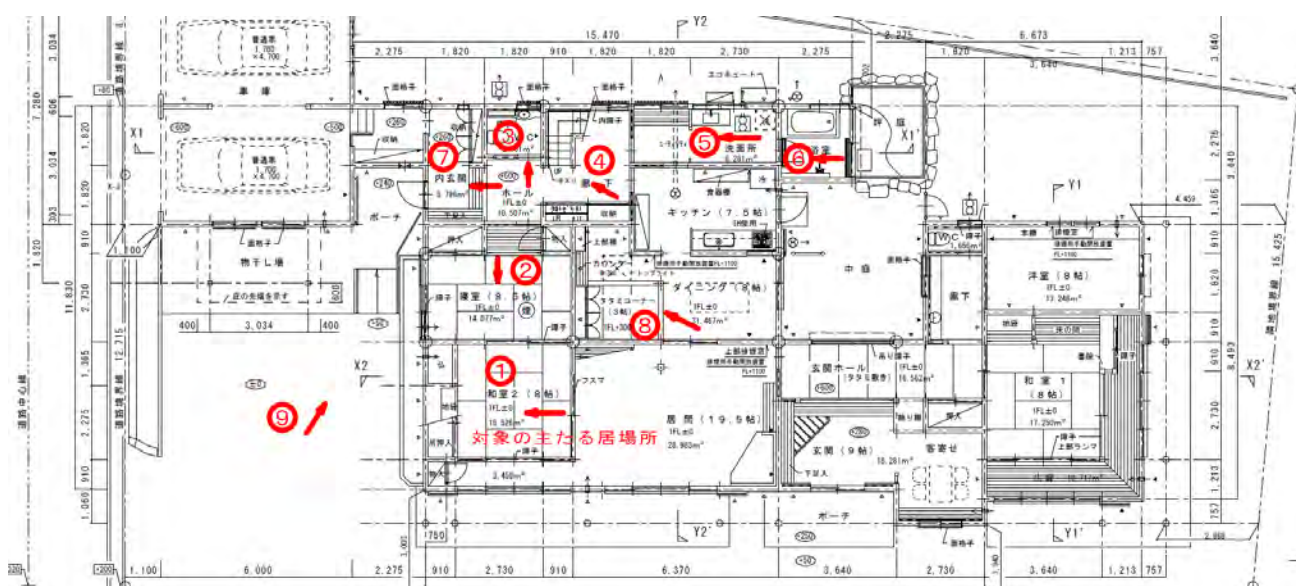
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	いつもいる場所を居間のとなりに計画した。	②
2	寝室	万が一何かあった時の非常ボタンを設置した。	④
3	トイレ	寝室とトイレをすぐ近くに計画し手スリを設置した。	③
4	廊下	廊下の幅は通常より広く1,2m確保した。	④
5	洗面所	足元にやさしい暖房を設置した。	④
6	浴室	手すり設置、段差解消、床暖房を設置した。	③
7	内玄関	お客様とは別に、家族、介護用に玄関を設けた。家族は、雨が降っても濡れずに室内に入れ、介護の車もすぐ近くに駐車できるようになっている。	①、②
8	タタミコーナー	腰かけて休める空間は高齢者にとっても重宝がられている。	
9	アプローチ	車イス利用の為、駐車スペースから内玄関まではスロープとした	①
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居 室	②	寝 室
			
③	トイレ	④	廊 下
			
⑤	洗面所	⑥	浴 室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	内玄関	⑧	たたみコーナー
			
⑨	アプローチ	⑨	
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



60(069)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H 邸	事例所在地	宮城県栗原市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	その他特記事項に記載。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	138.30 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 24 年／概ね 2,590 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	101.86 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		101.86 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	87 歳／ <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
			家族	妻 82 歳、娘 52 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input checked="" type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input checked="" type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 )	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		一人での歩行が不可歩行器。  (	



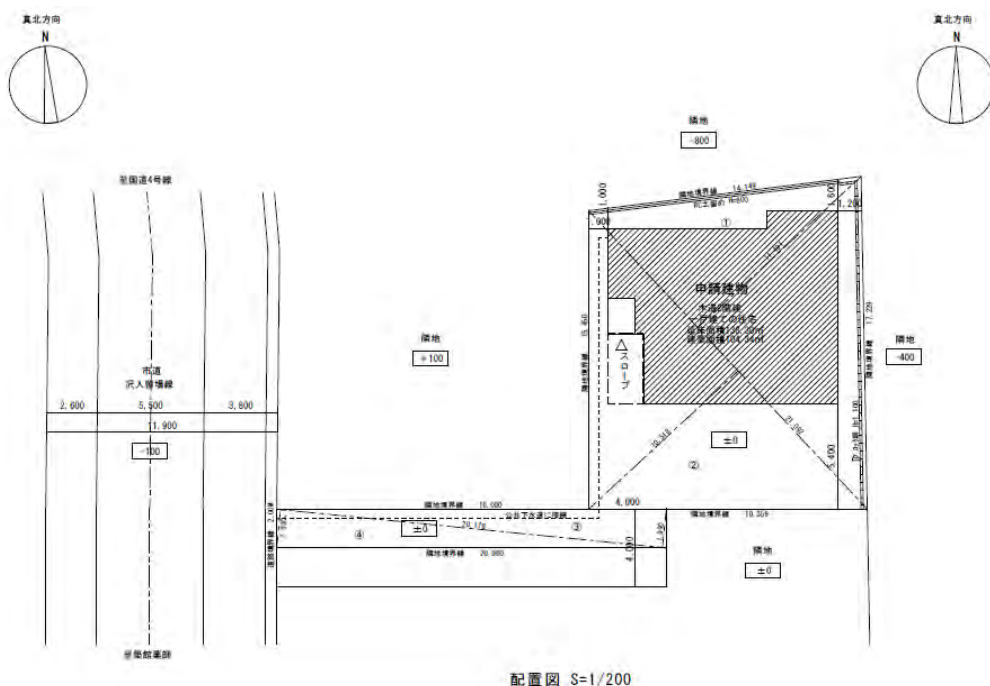
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション ■その他（食事作り ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（浴室用椅子 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで室内行動したい（バリアフリー）。	1階玄関除き全室
2	室内歩行のため手すり欲しい。	納戸収納以外全て
3	玄関は靴の脱着の為あえて100mm段差が欲しい。（収納椅子取付）	玄関
4	寒さ解決を望む。	全室
5	外部を歩きやすくしてほしい。	外部
6	駐車場の確保。	外部
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		



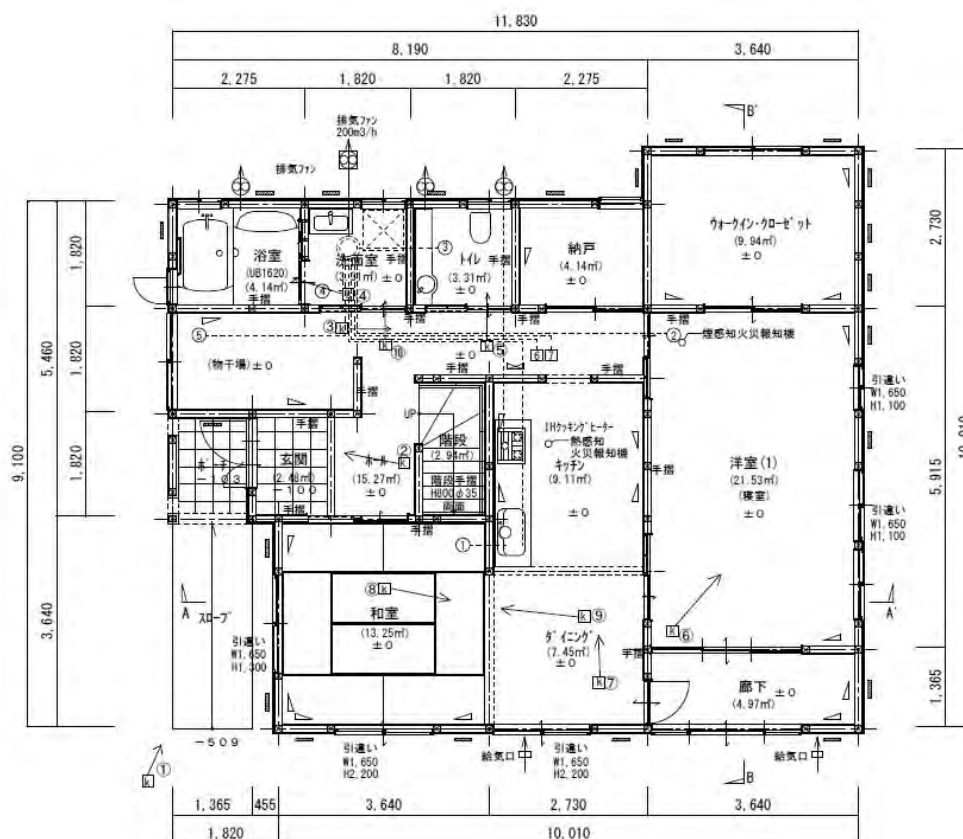
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	靴の脱着しやすくするため段差の要望に対処壁収納椅子取り付け。	①
2	廊下	対象者の行動と介護等を受けやすく幅広く手すりを取付した。	①
3	居間	畳と炬燵にて横になりたいの要望がありバリアした。長椅子準備	⑥
4	キッチン、食堂	対象者も炊事するため間仕切りを避けてある。	②
5	寝室	介護が受けやすく広い夫婦のとした。	③
6	トイレ	介護が必要なとき介助スペースを確保し手すりも確保。	④
7	浴室	同様。	⑤
8	洗濯室	対象者がたまに洗濯もするため戸外干しは無理のため設けた。	⑥
9			

※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



1階平面図 S=1/100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外部スロープ、手すり	②	玄関
			
③	廊下	④	浴室
			
⑤	トイレ	⑥	寝室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	キッチン	⑧	食堂・居間
			
⑨	居間	⑩	脱衣室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

男・87歳、女・82歳ですが自分で靴の脱履きはしたいとの強い要望でした。  
 玄関の段差希望により付けましたが車椅子使用となった場合介護用スロープを利用するためH=100とした。  
 階段も登りたいとの要望にて有効幅をW=1213とし手すりを両側に設置した。  
 暖かい家（デイサービスや病院などのように）にして欲しいとのことでヒートポンプ暖房にて温度差を無くした。  
 介護支援車の駐車スペースも確保しました。  
 救急の場合廊下からも出られるよう4枚引き戸とした。  
 寝室で（介助者・娘）3人でも寝られるようスペースを確保した。  
 玄関幅も親子ドアにて有効幅を確保した。

61(071)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	J 邸	事例所在地	岐阜県多治見市
------	-----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	現在対象者は独居であるが、1/3 は長女の所、1/3 は次女であるJ邸で生活している。新築にあたり、将来の同居を考慮した。



#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	165 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2004 年／概ね 3000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り ■その他（前面道路が傾斜している為、高低差なし～あり ）
対象者の主たる居住スペース		1 階洋室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	85 歳／ □男 ■女
		家族	娘 60 歳、婿 62 歳、孫娘 28 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他）	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	足（膝関節）が悪い為、歩行が少し困難である。 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）
		屋外	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ 杖 ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来の同居を見込んで、居室の様子が家族にわかりやすいこと。	洋室の位置
2	夜中にトイレに行くことが多いので、居室から直接行けること。	トイレの位置、出入口
3	なるべく1人で移動してほしい。	廊下の幅、手摺、段差
4		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

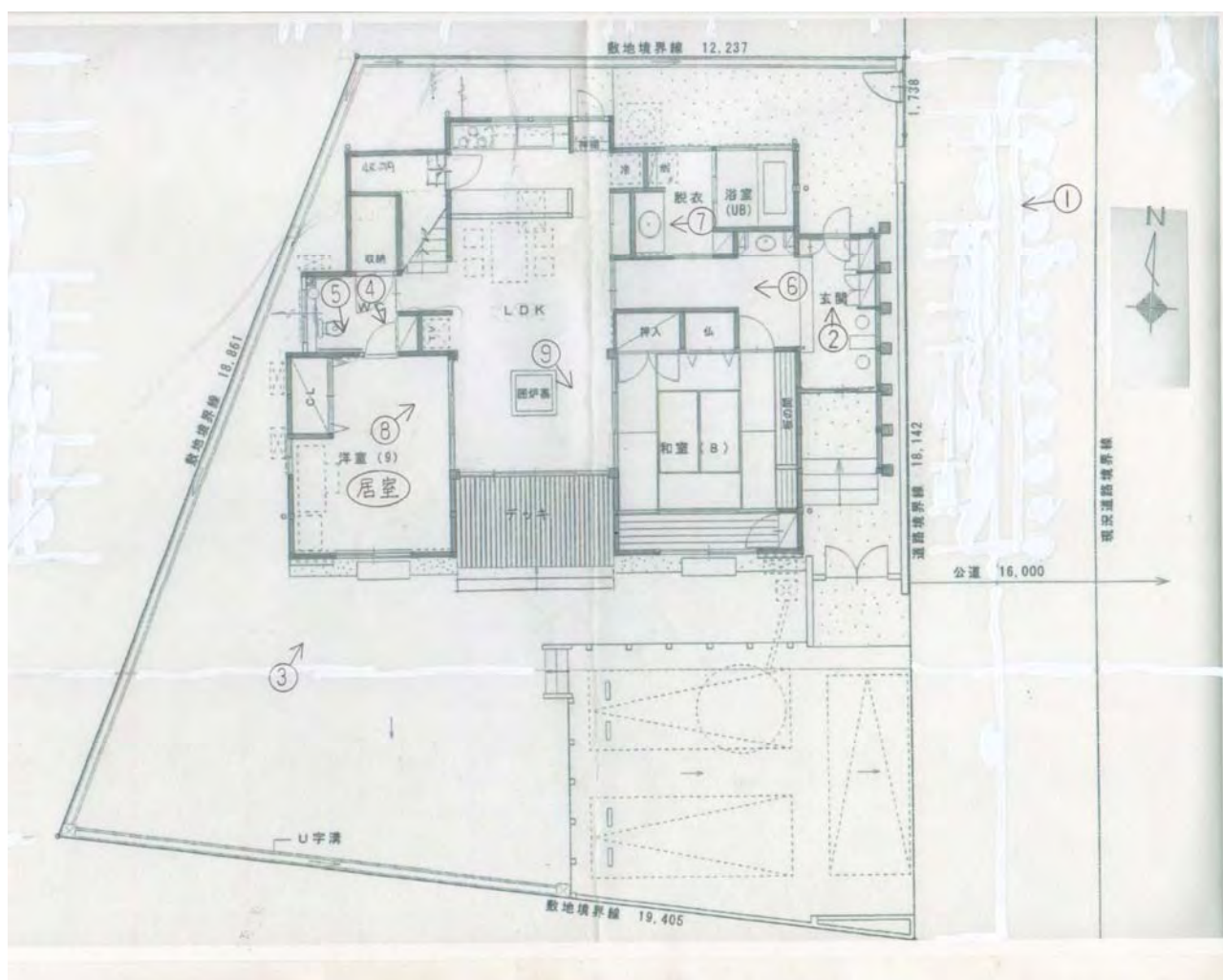
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	裏通用口	道路が傾斜していて、玄関側だと高低差があるので、高低差の少ない裏から入れるようにした。	①
2	通り抜け玄関	裏からも玄関に入れるようにした。	①
3	掃き出し	洋室の掃き出しから出入りできるようにした。	②
4	トイレの入口	洋室からも出入りできるように2ヶ所設けた。	③
5	トイレ	手摺を付け、トイレを広く（1坪）した。	③
6	廊下	巾を広くし、手摺を付けた。居間への建具も広く開くようにした。	④
7	洗面台	洗面台の下部はオープンにして、車椅子でも利用できるようにした。	④
8	洋室	洋室と居間の間の建具は、3本引戸とし、広く開くようにし、また、家族とのつながりを考慮した。	⑤
9	和室	和室は段差なしのバリアフリーとし、建具も3本引戸とし、一体感をもたせた。	⑤
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	東道路から、建物全体	②	玄関から、裏通口
			
③	西南から、洋室南掃き出し	④	トイレ内、2つの入り口
			
⑤	トイレ内、洋室側入口と手摺	⑥	手摺と広い廊下、居間への広い出入口
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	脱衣室、洗面台	⑧	洋室、トイレへのドアと居間への3本引戸
			
⑨	居間から、和室への3本引戸	⑩	
			

**10. その他特記事項**

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



62(022)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」  
調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	東京都
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（在宅介護のストレスを感じさせない工夫）
主たる工夫のポイント	機能を限定しないスペースや引戸により、介護における様々なシーンに対応できるように、また家族のストレスを軽減できるような空間を目指した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	130.88 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2011～2012 年／概ね 3,750 万円（既存解体、外構含む）
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		寝室、広間
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者	88 歳／ □男 ■女
		家族	息子 64 歳、息子の嫁 63 歳、孫 37 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り（□親 □配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他）	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	無し （ ）	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用（□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	対象者を1人にさせないようにしてほしい (家族が常に対象者の気配がわかるようにしてほしい)	寝室、広間
2	対象者が夜、トイレに行くのを家族が気づくようにしてほしい	寝室、トイレ
3	何かあったときなどに添い寝ができるスペースがほしい	和室
4	ストーブの切り忘れが怖いので安全な暖房器具にしたい	寝室（床暖房）
5		

※対象者は認知症のため、「対象者の要望」ではなく、「対象者の家族（介護者）の要望」を記載しました。

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	全体	敷地内に親世帯、子世帯の2棟の住宅が建っていたため、親（対象者）を見守るのが困難だった。家族の知らない間に、認知症の対象者が1人で勝手に外出してしまったこともあった。
2	玄関	道路から玄関、玄関から室内への段差が多く、危険だった。
3	寝室	暖房にガスストーブを使っており、対象者が扱うのが危険だった。
4	キッチン、食堂	介護者が家事をしている時、家族が食事をしている時に、対象者の様子がわからなかった。
5	寝室	居間（対象者の寝室の隣の部屋）で介護者が添い寝をしていた。
6	トイレ	寝室からトイレが遠く、小さな段差も数箇所あったため、危険だった。
7		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

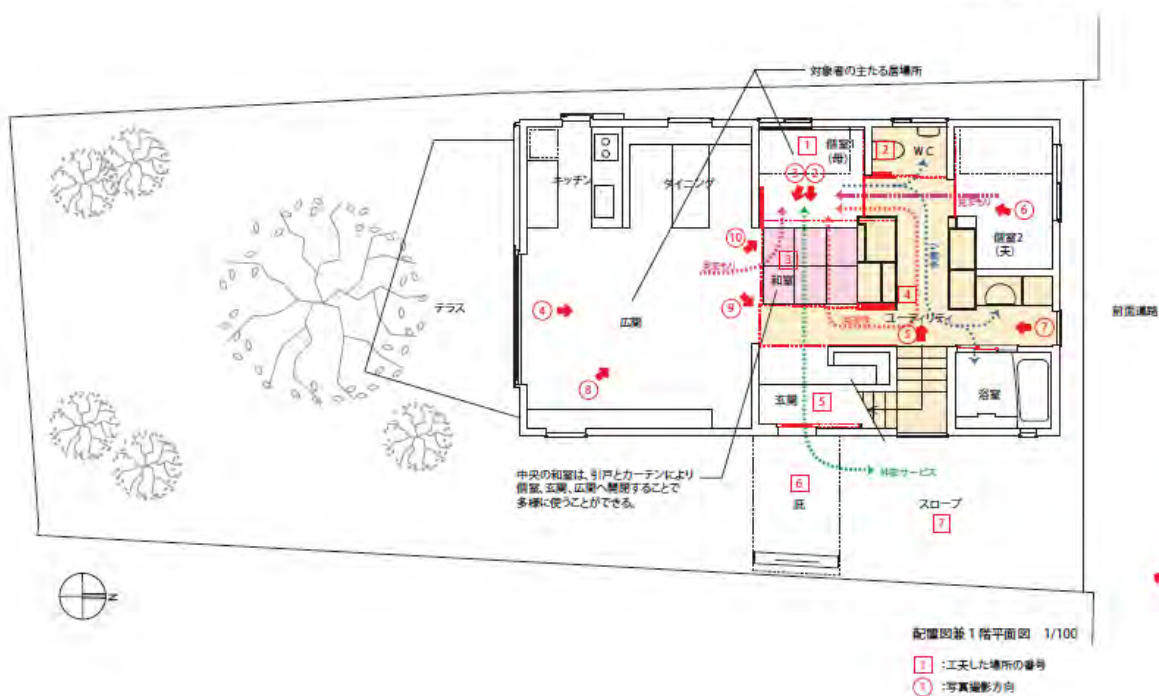
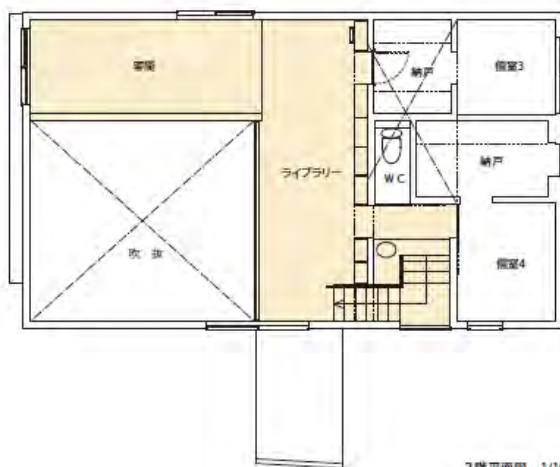
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	対象者の寝室を1階の中央に設け、引戸やカーテンをつかって曖昧に仕切ること、昼夜ともに家族が見守ることができるようにした。	⑥
2	トイレ	寝室の隣に設け、迷わずに行けるようにした。横向きの3枚引戸とし、介護をしやすいようにした。扉と反対側には手摺を設置。家族の寝室との間にトイレがあるため、夜に対象者がトイレに行く際に家族が気づくことができるようにしている。	⑥
3	和室	寝室横の和室は、引戸やカーテンで仕切られており、状況に応じて寝室、広間（居間）、玄関と一体的に使うことができる。家族の集まり、介護者の添い寝、外部サービス用空間として使われる。 引戸の仕切り方によっては、訪問サービス事業者が家族の生活スペースへ入ることなくサービスを行えるようにした。	②③⑥
4	ユーティリティ（廊下）	通常の廊下より広いあいまいな空間をつくり、介護時のサービススペースとして使えるようにした。	②③⑥
5	玄関	段差を小さく（介護者がいれば車椅子で上げられる程度）、手摺の設置などで対象者が自力で出入りできるようにした。玄関—和室—寝室を一直線にして、対象者、サービス事業者ともに出入りのしやすい配置にした。	①②③④
6	玄関前庇	玄関前に大きな庇を設け、介護者も使いやすい玄関とした。	①③
7	アプローチ	玄関の前は道路からのスロープとし、段差をなくすとともに、サービス等の車を入れられるようにした。	①③
8	共通	家族のストレス解消のため、ユーティリティの延長上に開口部を設け、明るく視線の抜けるゆとりある空間とした。	⑥
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



介護時、付き添い人の宿泊時  
→個室の延長



1階中央の和室・ユーティリティのフレキシブルな利用

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	前面道路からスロープ、底を見る	②	個室1から和室、玄関を見る
			
③	寝室1から和室を見る	④	広間から和室、ユーティリティを見る
			
⑤	ユーティリティからトイレを見る	⑥	個室2からトイレを見る
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	ユーティリティ（洗面）から広間を見る	⑧	広間からダイニング、和室、個室1を見る
			
⑨	玄関	⑩	和室と個室1を仕切るカーテン
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

前の住宅では建主は、介護に対してかなりのストレスを感じているように感じた。設計当初や設計途中で出てくる建主の要望はかなり多かったが、その中で本当に今後必要なことを取捨選択し、様々なシーンを想定しながらプランを決定した。また、建主のストレスを軽減させるために、要求された機能だけではなく、開口部や天井高、仕上などを工夫することで、明るく視線の抜ける気持ちのよい空間をつくるよう心がけた。建主の要望は設計依頼段階で思っている一時的な事も多いため、季節の変化や対象者の状況の変化、受給サービスの変化を見越して対応することも大切だと感じた。

この住宅では、敷地内に2世帯分の2軒の住宅があり、片方を建替え、引っ越してから残りを解体するという方法をとったが、そうでない場合には建替え時に敷地外に仮住まいをすることで介護サービスを変えなければならないなどの問題が出てくることもわかった。



## 63(050)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	広島県広島市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	LDKから、寝室、水回りの動線極力短くし、LDKを広く設けることで将来、LDKを寝室としても利用できるようにした

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	359.85 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年 ／概ね 3000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		L D K
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	71 歳／ ■男 □女
		家族	妻 64 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

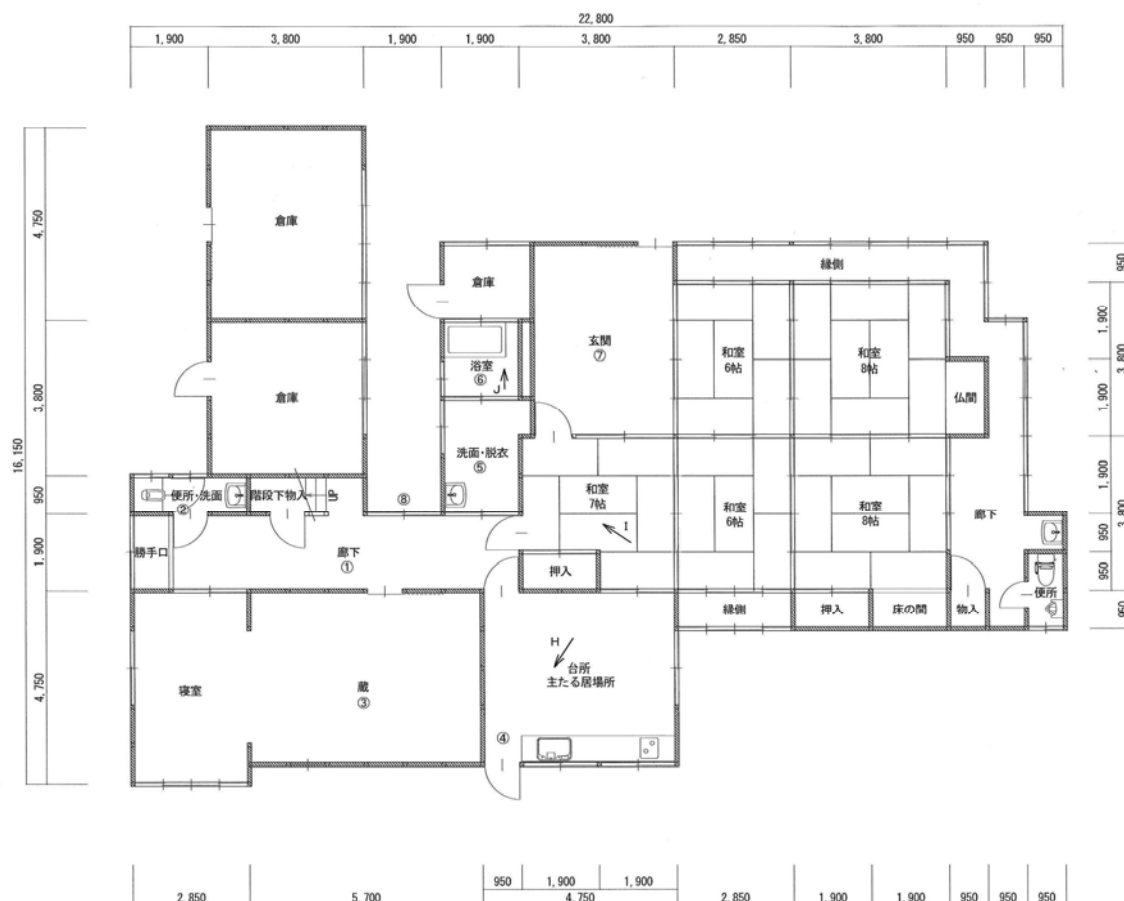
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来、息子夫婦と同居した際、介護しやすいよう間取りを工夫してほしい	L D K、廊下、浴室
2	将来の事を考え、段差だらけの部屋と廊下の段差を解消してほしい	寝室、廊下、L D K
3	将来、スロープの設置や車椅子での生活にも対応できるようにしてほしい	廊下、玄関、アプローチ
4	農業なので、勝手口からできるだけ短い動線で浴室まで行きたい	玄関、浴室
5	将来、手摺が付けれるように下地を入れておいて欲しい	廊下
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	廊下	母屋と蔵、納屋の床レベルが違うのでつまずいたり、転倒しそうになったりする。
2	便所	便所の間口が狭く、和式なので不便
3	蔵	主たる居場所と寝室が蔵で分断されているので不便
4	台所	台所の勝手口から洗濯物を干しているが床段差が大きいので不便
5	洗面脱衣	洗濯機が外に置いているので、脱衣からの動線が長い
6	浴室	脱衣と浴室の段差が 250mm あるので不便
7	玄関	玄関に式台が無い為、450mm 程度の段差がある
8	廊下	廊下から倉庫にいける掃き出しサッシがあるが 500mm 程度の段差がある
9		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

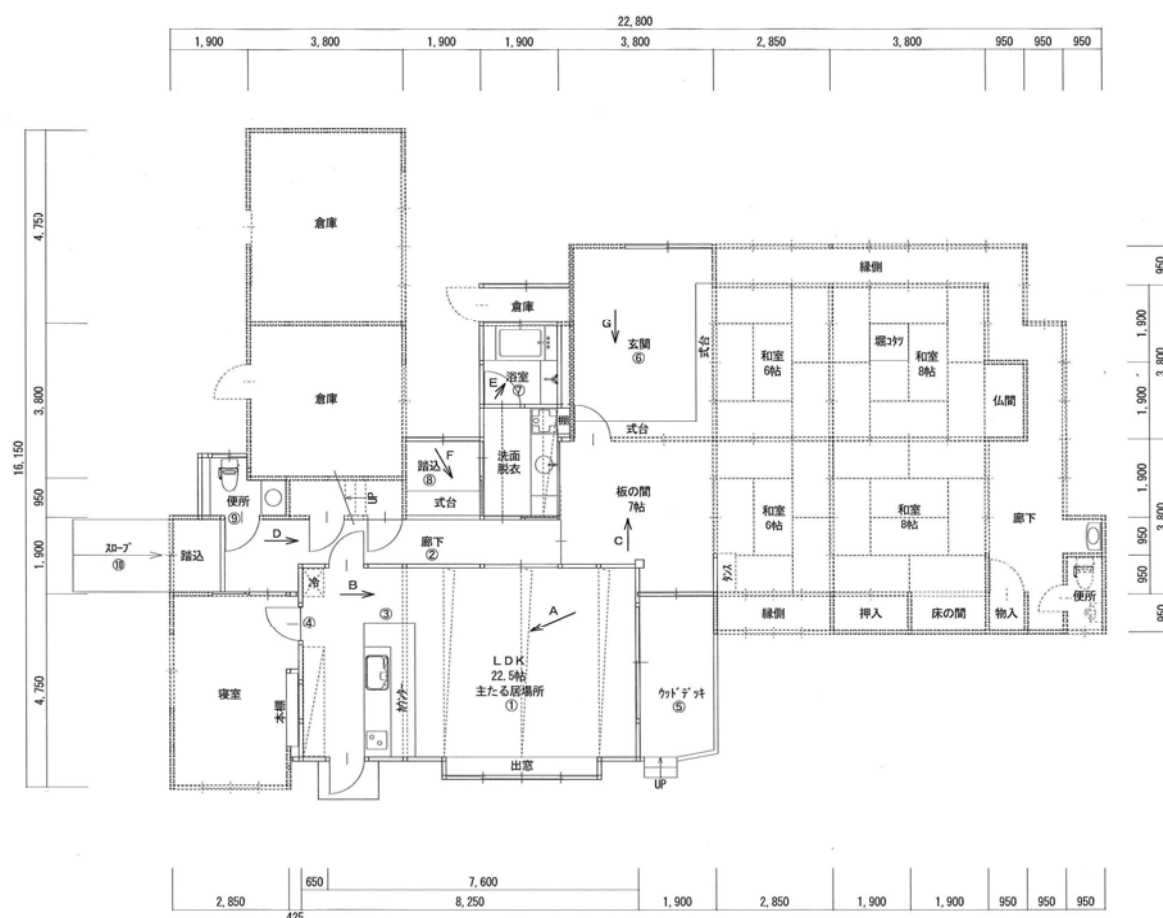




## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	LDK（改築）	蔵が不要とのことなので、蔵、台所を解体し、寝室と近接させた	①
2	廊下（改築）	床段差を解消する為、廊下を解体し、床レベルを母屋に合わせ基礎から作り変えた。	①
3	LDK	車いすでも利用できるようカウンターの高さを検証した。又、車いすのストレッチャーが当たらないように奥行を広くした。	②
4	寝室	LDKから寝室に直接行ける動線とした。	②
5	ウッドデッキ	LDKから段差無しで洗濯ものが干せるようにした。	③
6	玄関	玄関に式台を設け段差を極力少なくした。	①
7	浴室	洗面脱衣から浴室の段差を無くした。	②
8	踏込	主たる居場所から外に出やすいように踏込を新設した。又、段差を極力解消するため、式台の下にスノコを設けた。	①
9	便所	介護ができるように便所を広くし、洋風便器に改造した。	③
10	スロープ	外から踏込までの段差をスロープで解消した。	①

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
A	改修後LDK	B	改修後LDK
			
C	改修後板の間	D	改修後廊下
			
E	改修後浴室	F	改修後踏込
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
G	改修後玄関	H	改修前台所
			
I	改修前和室	J	改修前浴室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

今回の古民家改修でのポイントは、次の世代まで維持できるように、耐震補強や構造部材の強度（白蟻等で断面欠損していないかの検証）を行った。又、水回りの配管を全て取り替え、腐食等による配管等の破裂を防ぐ工夫を行った。工事過程において、母屋、蔵、離れの建物がそれぞれ独立していたものを廊下で接続していた為、蔵と台所を解体した際、新設の廊下で接続しようとしたとき、廊下と母屋の柱の通りや角度が違っていった為、廊下で接続をするときの逃げの取り方を工夫した。

又、施主様からの要望により、建物の外観等をあまり変えないで欲しいと言われていたので既設軒高と今回のLDKの屋根の取り合い部において何度も原寸図面を作成し、原寸のとおり加工を行った。



## 64(083)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	I N 邸	事例所在地	
------	-------	-------	--

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（対象者が退職後に備える為の改修計画。 ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2006 年／概ね 700 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	55 歳／ □男 ■女
		家族	妹
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

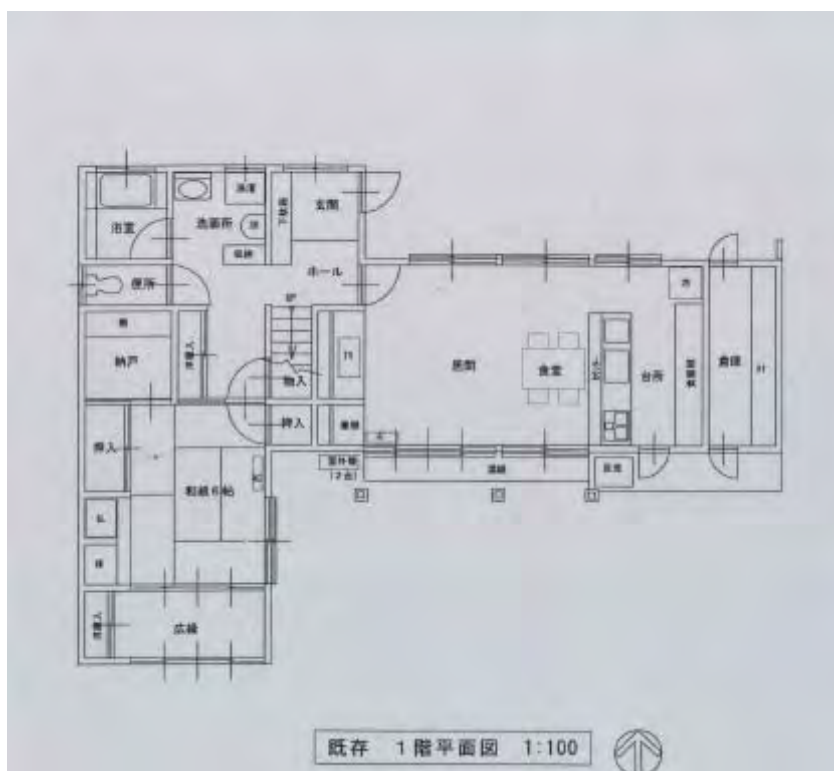
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	水回りの点検、シロアリ点検	
2	2階トイレ、洗面・納戸増築	
3	2階和室からフローリング	
4	階段手すり交換	
5	1階LDKにPCコーナー	
6	網戸交換	
7		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





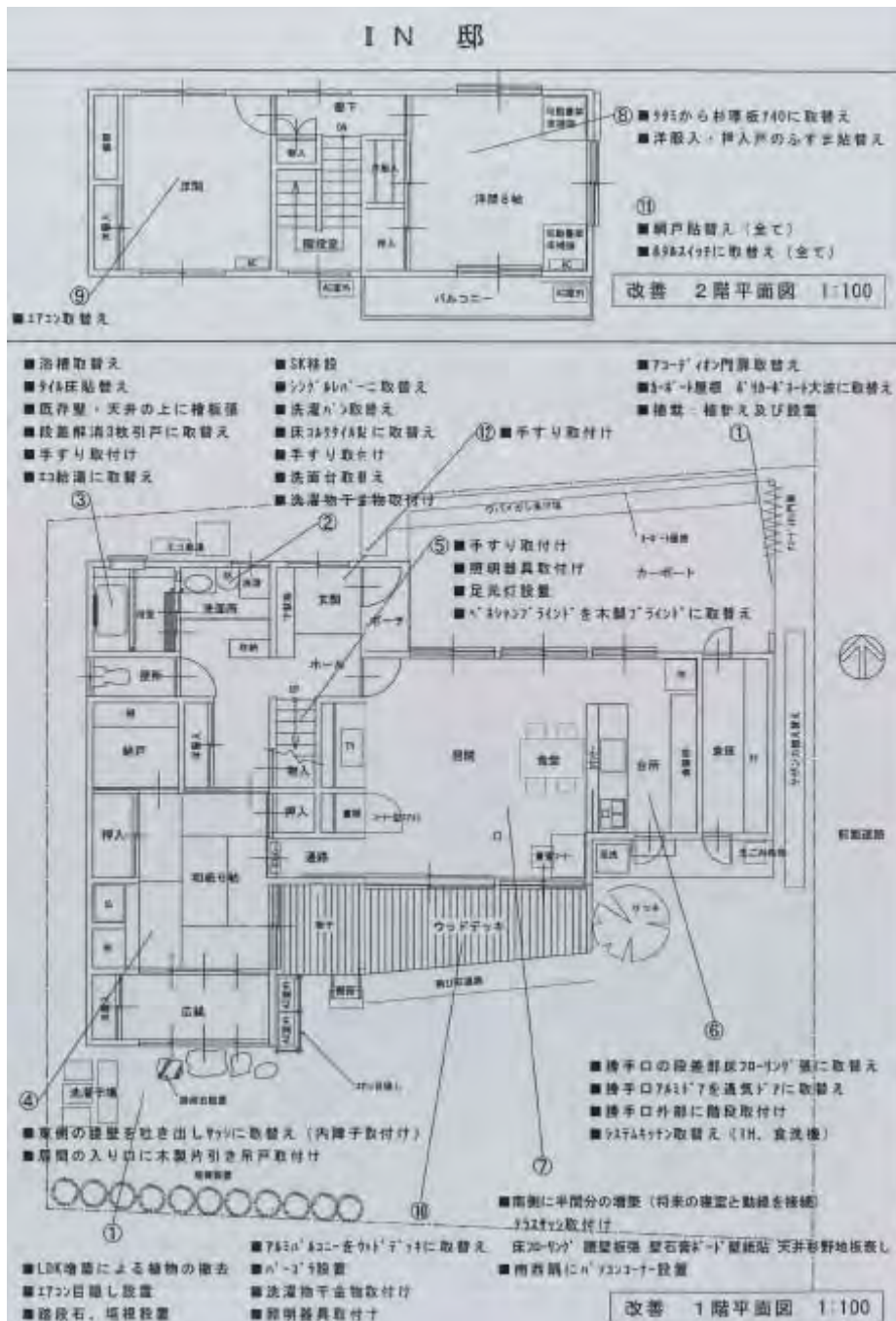
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	将来、2階寝室から1階寝室に下りての生活を想定	
2	居室	居間南側を1m程広げ、将来寝室となる和室と廊下でつなげる	
3	ウッドデッキ	居間南側にウッドデッキを設け、見る庭から、近づける庭へと変える	
4	浴室	寒い浴室を桧板張りの温かい浴室に、入口段差解消、3枚引き戸	
5	洗面脱衣室	洗面脱衣室は使いやすくSKなどのレイアウトを変更	
6	トイレ	トイレは将来、介護スぺーを確保出来るよう広げる予定	
7	玄関	玄関の上がり框に手すり設置	
8	階段	階段の手すり取り付け、照明の取り替え	
9	2階寝室	現状の2階寝室をベッド対応に、タタミ敷きから杉厚板張りに	
10			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	和室	②	ウッドデッキ
			
③	居間	④	玄関
			
⑤	2階和室	⑥	浴室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 65(109)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	支-A-3	事例所在地	栃木県
------	-------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	応接室と居間を一体化し、家事動線を重視してキッチンもつなげ、広々としたLDKに。寝室も移動してリビングの隣に設置。構造補強、断熱性アップ、バリアフリー化で、将来も安心して暮らせる住まいを実現しました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 700 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	96 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳代／ ■男 □女
		家族	妻 70 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家の古臭さ、寒くて暗い環境、家事動線の長さを解消し、老後を安心して暮らせるようにしたい。玄関も来客を気持ちよく迎えらる空間にしたい。	
2		
3		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	①DK	寒くて暗いキッチン
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	①LDK	応接室と居間を一体化し、家事動線を重視してキッチンもつなげ、広々としたLDKに。キッチンは対面キッチン。	⑤
2	②LDK	南側にあった寝室をリビングに隣接した東側に設置。リビングからは寝室まで見渡せ、開放的で移動もスムーズ。	⑤
3			
4	④外壁	イメージを一新するとともに、構造補強や断熱性能を高めた。	⑤
5	⑤玄関	上り下りを楽な玄関に。	⑤
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	L D K	②	L D K－寝室
			
③		④	外観
			
⑤	玄関	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

リモデルして間もなく震災が起きましたが、建物に大きな影響はなく、リモデルしておいて本当によかったと実感しました。対面キッチンにしたことで夫婦の会話が増え、主人が家事に協力的になったこともうれしいです。



# 66(113)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	備－A－2	事例所在地	富山県
------	-------	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	廊下を介していたDKとリビングをつなげ、家族の団らんを実現。同居のお母様やお施主様の将来を考え、床をすべて座敷の高さに合わせてバリアフリーに。納戸を取り壊し、キッチンへの採光・通風も確保しました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1700 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	90.2 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	90 歳代／ <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	息子 50 歳代、息子の配偶者 50 歳代、 孫(女)20 歳代、孫(男)20 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況		<input type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他)	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		(	

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

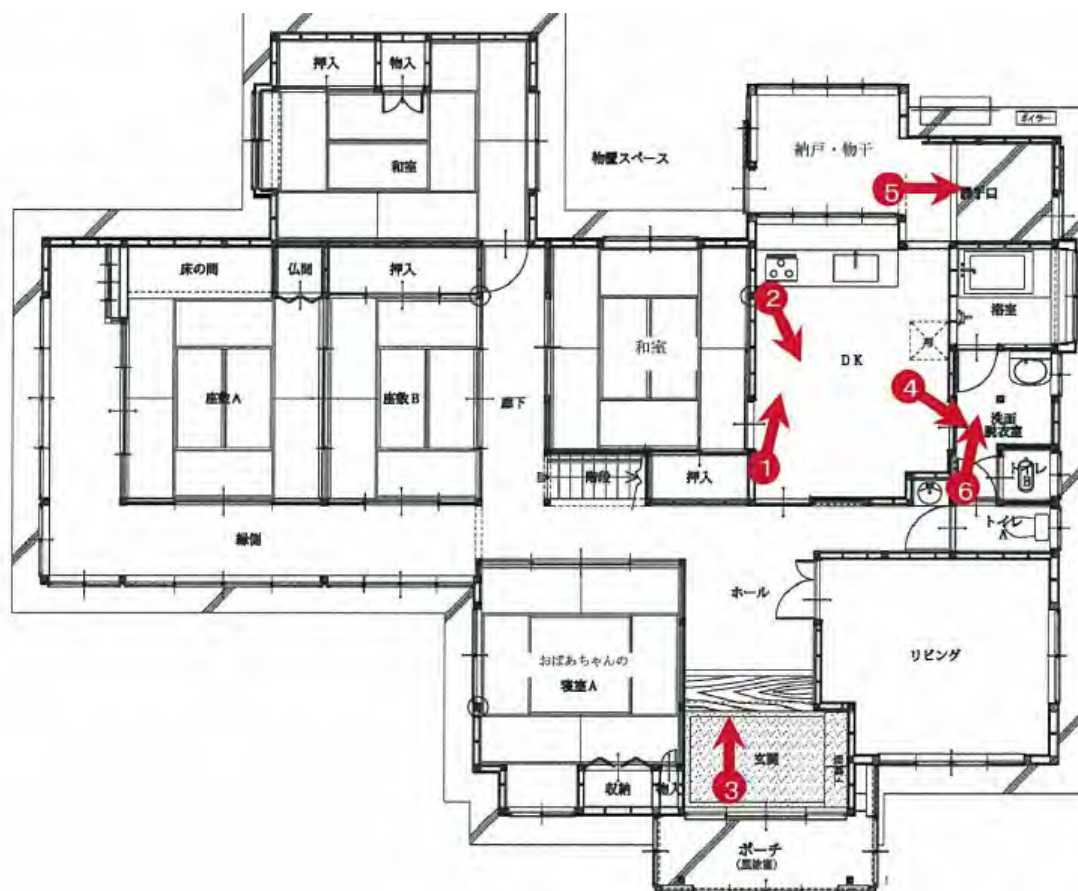
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	冬は寒く、夏は西の窓からの日差しで暑い。	全体
2	浴室には段差があり、浴槽が深く、お年寄りがいるため心配。寒いので暖かいお風呂にしたい。	浴室
3		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	くみ取り式のトイレ（和式）
2	浴室	お年寄にはツライお風呂 段差があり、浴槽が深く、お年寄りがいるため心配。寒いので暖かいお風呂にしたい。
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





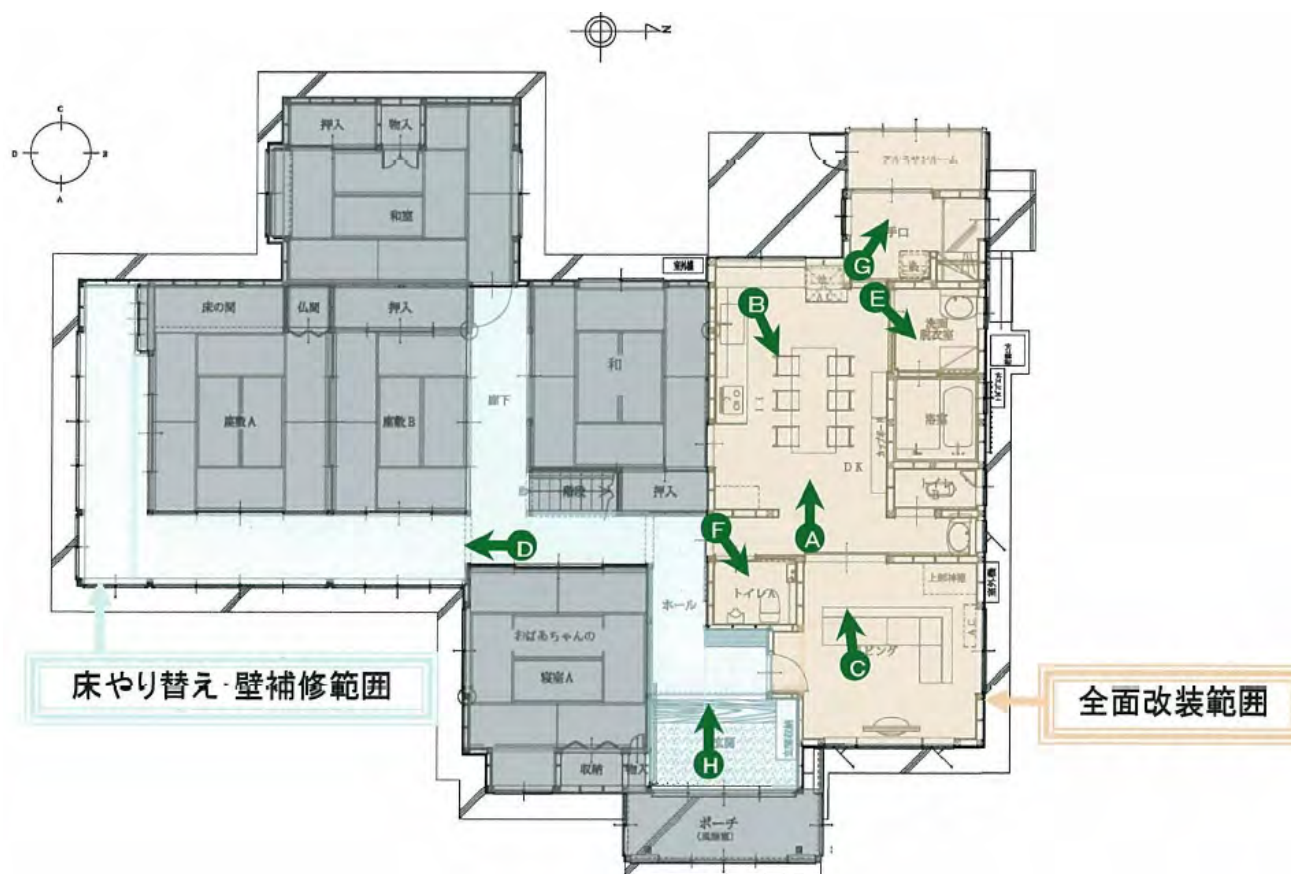
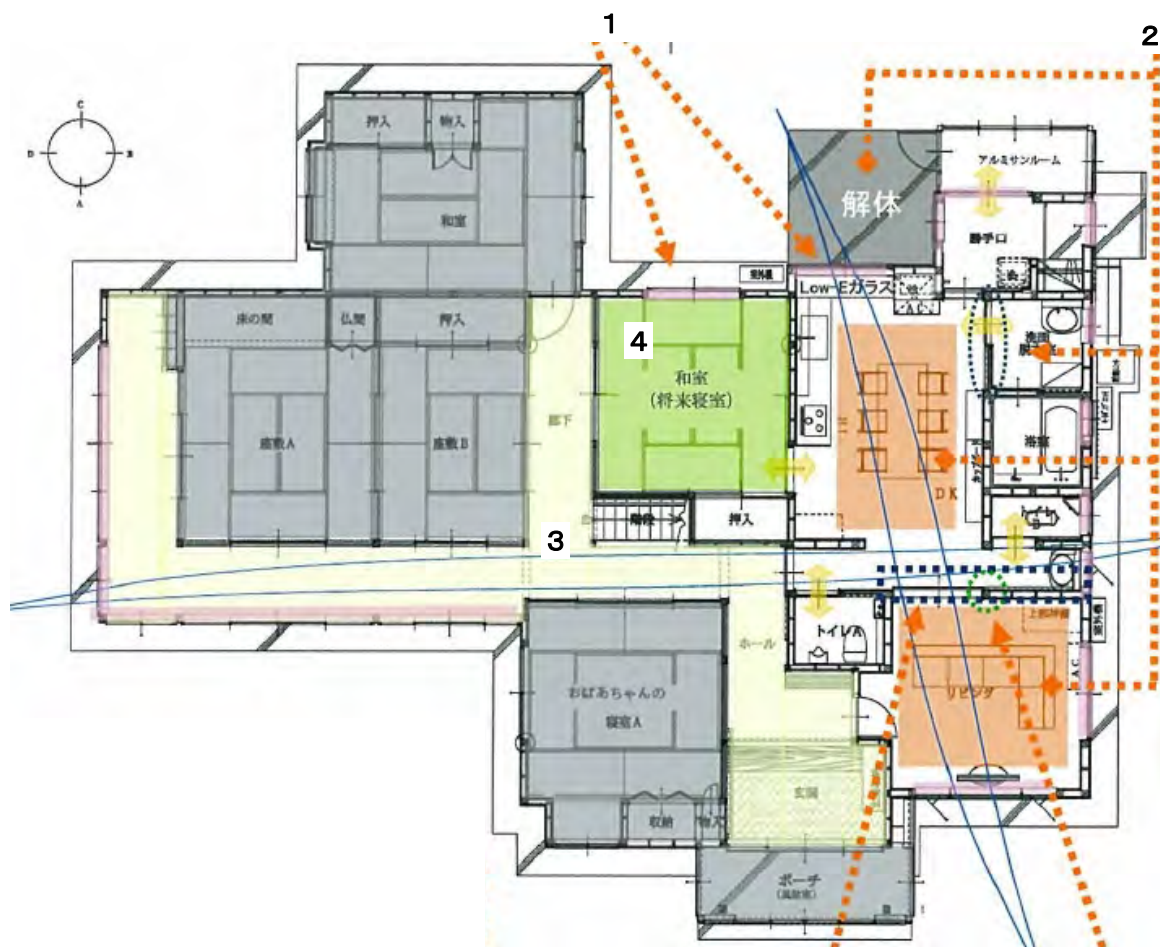
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	外壁	「断熱」 風がサッシのすき間から吹き込み、外のような寒さだった縁側をはじめ、LDK廻りの外部サッシと外壁をやりなおして、断熱材をいれ、外気から家を守ります。DK西面にはLow-E ガラスで夏の暑さを防ぎます。	⑤
2	トイレ、浴室	「間取り」 トイレや脱衣室へは、床暖房を施工したLDKの暖かい空間からそのまま移動できます。室温のバリアフリーを実現。	⑤
3	廊下、縁側、LDK	「段差」 廊下・縁側・LDKの床の高さを座敷の畳の高さにそろえて、家全体をバリアフリーに。	⑤
4	和室	「将来」 将来、夫婦二人きりになれば、和室を寝室とし、1階のLDK廻りの暖かい空間の中で全ての生活ができます。	⑤
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	D. 廊下	②	E. 浴室
 <p>D. 家全体がバリアフリーに</p>		 <p>E. 暖かく安全なバスルーム</p>	
③	F. トイレ	④	
 <p>F. 防音仕様のトイレ</p>			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

キッチンとリビングがつながったことで、1人で料理をすることもなくなり、団らんの時間が増えました。突然の来客時も、引き戸でキッチンを生リビングから隠すことができるし、玄関からも見えなくなったので安心です。



## 67(114)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	備一 A - 3	事例所在地	愛知県
------	----------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	70 歳代の女性の一人暮らしのため、LDK、水まわり、寝室などをコンパクトにまとめ、生活動線が短くなるように配慮。隣家の影響で光が入らないため、居間を減築して採光を確保し、明るいLDとしました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	132 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳代 / □男 ■女
		家族	無し
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

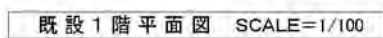
* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	生活動線が長すぎて不便などを、高齢者に配慮した空間にして欲しい。	全体
2	自分の個室はあっても、隣の和室と適度につながっていたい。	和室、リビング
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	全体	70 歳代のおばあちゃんが一人で住む、築 40 年の広い戸建て住宅は、何をするにも生活動線が長すぎて不便。
2	A. キッチン	居間と離れ、暗く孤立。収納も不足。
3	C. 浴室	タイルの浴室は寒く、またぎの深い浴槽。
4	D. 洗面所	勝手口と一緒の洗面脱衣室は寒く、段差が危険。
5	E. トイレ（新設）	トイレが離れにしかなかったので、この位置に新設。
6		



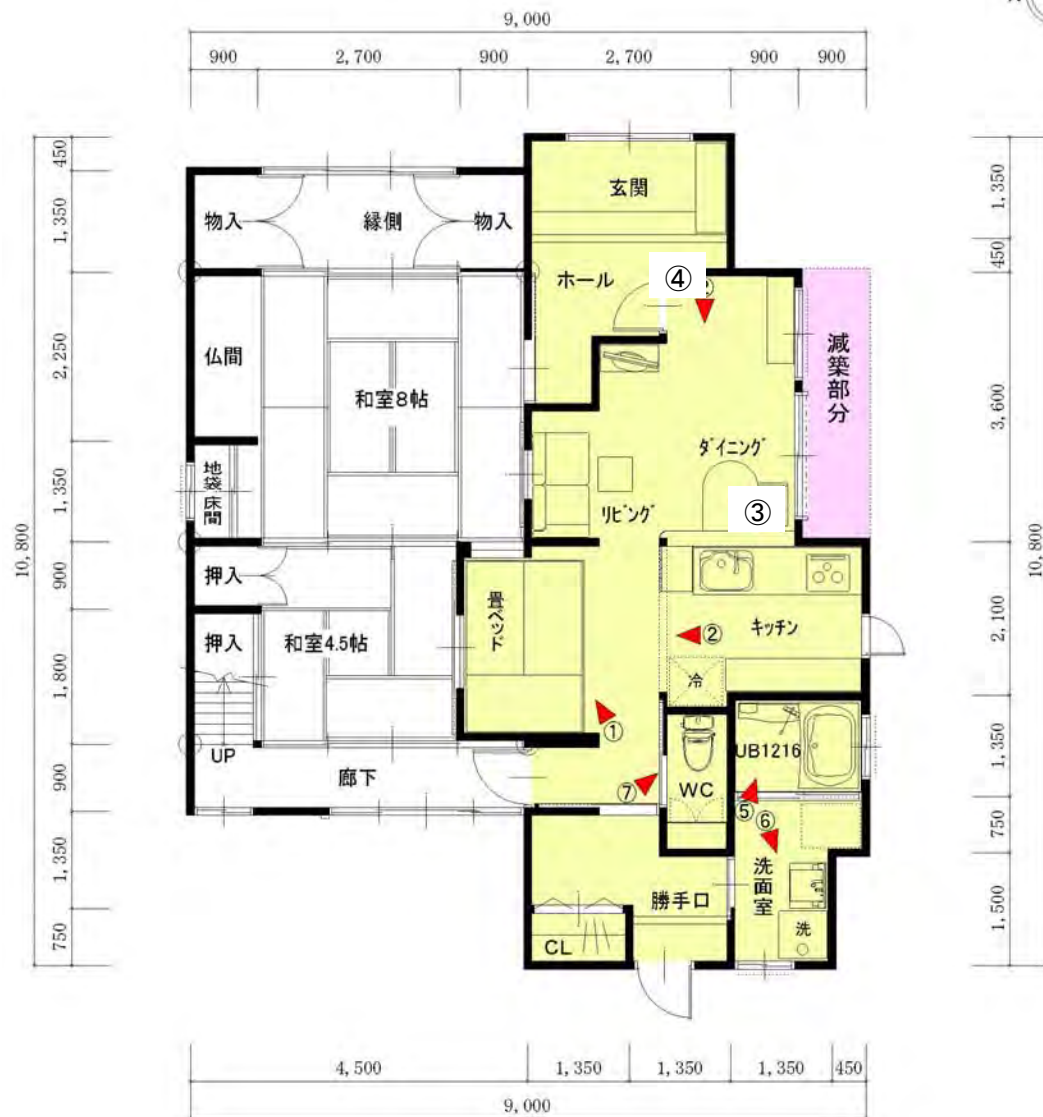


## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	リビング	ＬＤＫ、水廻り、寝室など全てをコンパクトに凝縮し、普段の生活をしやすく。特に昼間は寛ぐ場所に、夜はベッドにもなる、キッチン横の畳コーナーは、家事の合間に腰掛けるにも便利。 丸型の障子窓は通風の機能面だけでなく、和風モダンのデザイン面だけでなく、遊びに来たお孫さんとおばあちゃんを繋げる窓に。	⑤
2	畳コーナー		⑤
3	ソファコーナー		⑤
4	キッチン、ＬＤＫ	減築し、南からの光が射す明るいＬＤＫ。キッチンも対面式にし快適に来客へ対応。	⑤
5	浴室	手すりや浴室暖房も設置し、暖かく、またぎも浅くなったユニットバス。	⑤
6	洗面所	腰の悪いおばあちゃんのため、引出しタイプにした洗面台。肌着やタオルをいちいち取りに行かなくても済むよう、収納スペースも充実した洗面脱衣室。	⑤
7	トイレ	背面をこげ茶のアクセントウォールにして全体の統一を図った落ち着いた空間。手すり、引き戸、人感センサーライトを設けておばあちゃんにやさしいトイレに。	⑤
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



リフォーム後1階平面図 SCALE=1/100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	畳コーナー	②	畳コーナー
 <p>①畳コーナーからリビング方向をみる 上部に見えるのは古い梁</p>		 <p>②畳コーナー</p>	
③	ソファコーナー	④	LDK
 <p>③ソファコーナーと丸窓</p>		 <p>④日が射すようになったLDK</p>	
⑤	浴室	⑥	洗面所
 <p>⑤LDK同様こげ茶をアクセントにしたUB</p>		 <p>⑥収納も充実し広々とした洗面脱衣室</p>	

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	トイレ	⑧	
 <p>⑦手摺や人感ライトを設けた安心なトイレ</p>			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

キッチン、浴室、洗面室、トイレ、ベッドとすべてが近くなって移動が楽になりました。バリアフリーの床、引き戸、床暖房、IHなどの配慮で、一人暮らしも安心です。和室と丸い窓でつながる畳コーナーが一番お気に入りのくつろぎの場。孫が遊びに来たときなどは、窓を開ければ気配を感じられますし、会話も楽しめます。

# 68(115)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	備－A－4	事例所在地	神奈川県
------	-------	-------	------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input type="checkbox"/> その他（ ） 3 階建ての 3 階部分の細分化された間取りを見直し、複雑な動線を解消。各室をスムーズに通る回遊動線で、一体的に利用できる大胆な間取りに。北側の既存のテラスもウッドデッキを設え、室内とのつながりを持たせました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 3階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 2,000万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	82 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	80歳代／ □男 ■女
		家族	息子 50歳代、息子の配偶者 40歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

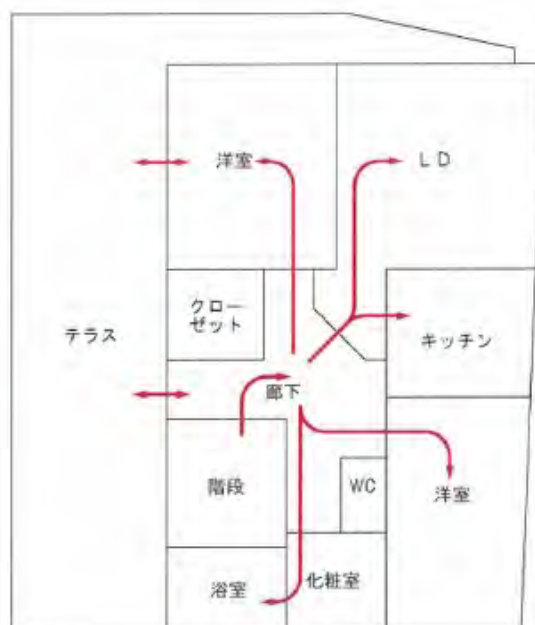
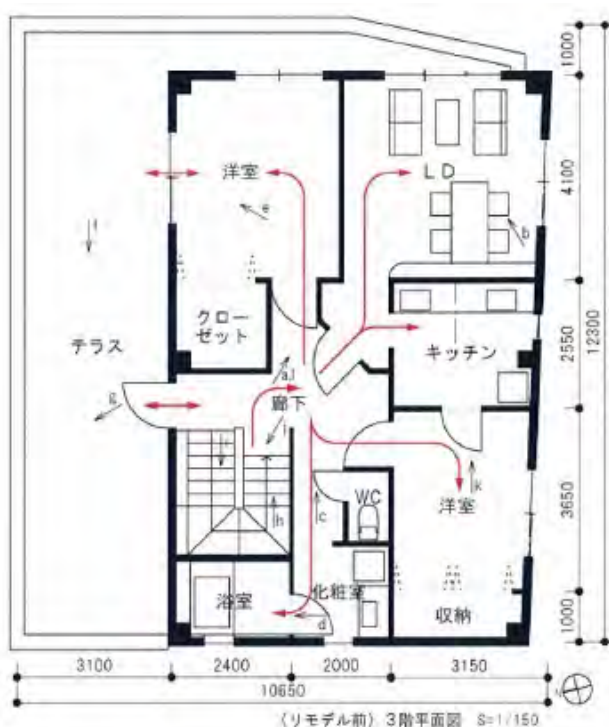
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	現在家族は全員健康だが、これから一生暮らす家となるので、将来の機能低下も配慮した新しい生活スタイルを提案して欲しい。	全体
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	a. 各室	個室に扉が付き、独立性が高く、動線が複雑になっている。
2	c. 廊下	間仕切りにより暗がりが多い。特に廊下部分は暗い。
3	e. テラス	洋室との間に段差がある、など使いにくい。
4	h. i. 階段	施工ミスにより上部下部に余分な段差がある。
5	k. l. 各室	各室入口には建具敷居による段差がある。
6		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



リモデル前は個室プランによる動線の複雑さと使われないテラスが問題となっていた。



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	A. テラス	ウッドデッキを張り段差を解消し、テラスと室内をフラットに繋がせた。ルーバーが明るい空を切り取る。	⑤
2	B. リビング	細分化された部屋をリセットし、広いリビングを中心に、全体が明るい大きなワンルームに感じられるプランに変更。	⑤
3	K. 階段	余分な段差を解消するだけでなく、自然光を取り込んだ安全で魅力的な空間に作り変える。	⑤
4	D. 化粧室、浴室、バステラス	家事動線も兼ねて一体に構成。	⑤
5	E. キッチン	奥の引き戸を開けると食品庫、もう一枚開けると寝室に入る、リビングのバック動線を形成した。	⑤
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

以前の複雑な個室プランではなく、各部屋を歩いて回れる、回遊動線を持つ空間にリモデルした。外に出る心地良さ、広々としたリビングに入る開放感、キッチンに立つ日常、浴槽につかる楽しさを感じながら生活できる住宅をめざした。



リモデル後、全て段差の解消と各室を通る回遊動線により、空間を一体的に利用できるようになった。

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	A. テラス	②	B. リビング
			
③	K. 階段	④	D. 化粧室、浴室、バステラス
			
⑤	E. キッチン	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

施主様の声：

段差も無く自然に外に出られるので、朝食をテラスで取ったり、入浴後にテラスで夜風にあたったりでき、テラスが生活の一部になりました。

また、キッチンー洗濯ー浴室ーテラスと家事動線が確保されているので、家事をすることが大変楽になりました。



## 69(116)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	ケアー A-1	事例所在地	宮崎県
------	---------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input type="checkbox"/> その他（ ） 歴史ある住宅の味わい深い雰囲気を生かしながら、和室2間を一体化して広いLDKに。板戸には和紙系のアクリル板をはめ込み、明るさも向上。トイレは車いすでもOKの広さや手すりなど、バリアフリー仕様に。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1645 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	80→88 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳代 / ■男 □女
		家族	息子 50 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	江戸時代から続く家の「よいところ」を生かし、暗いイメージをなくして広いLDKをつくってほしい。	LDK
2	将来を考え、苦なくトイレに行けるようにしたい。	トイレ
3		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	（要望にはあがっていますが、現状についてはシートで確認できず。）
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

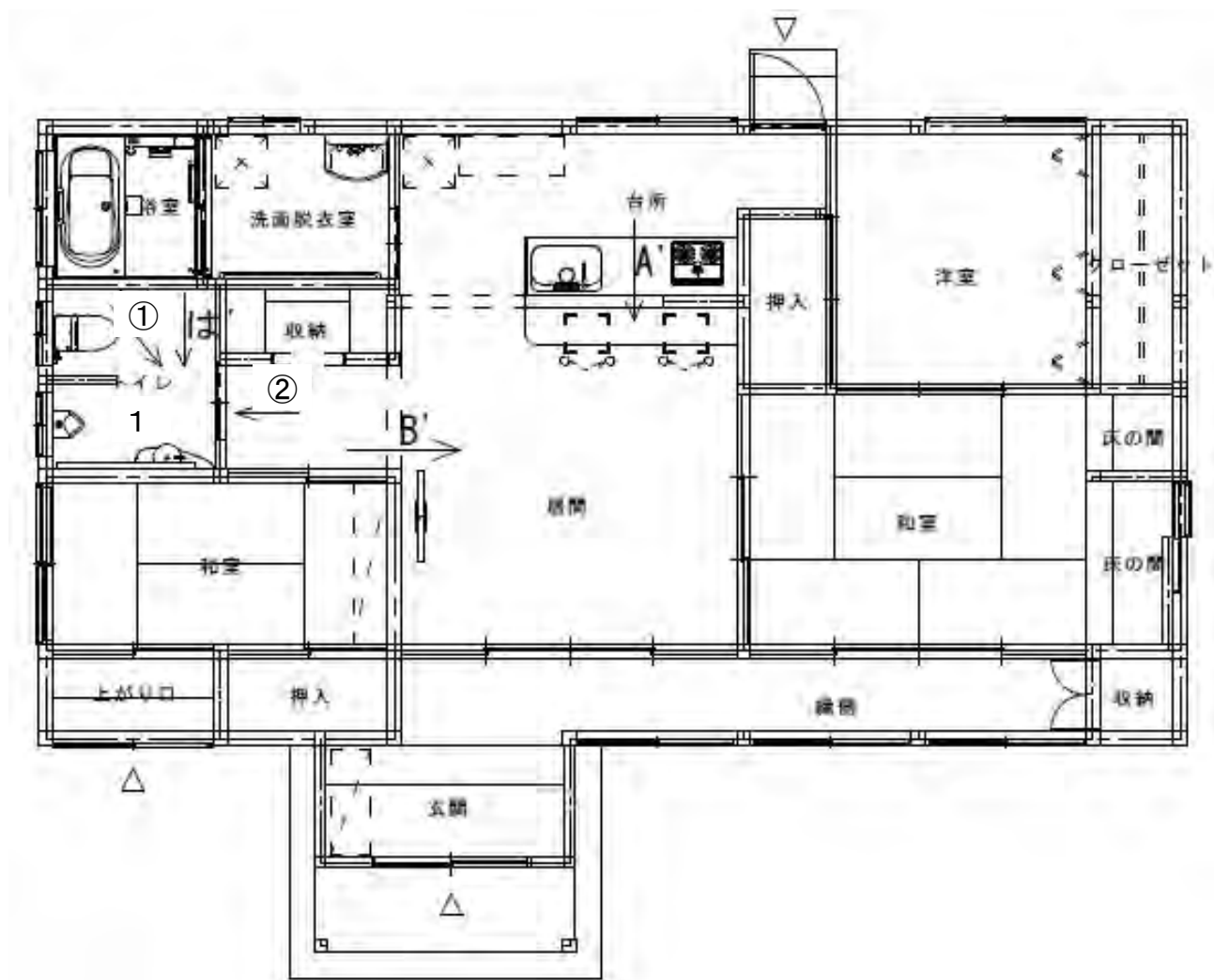




## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	車いすでもサポートしやすい約4m <sup>2</sup> の広さを確保。将来を考え、手すりや伝い歩きの出来るカウンターを、やわらかい雰囲気を崩さないようにしながら設置。	⑤
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ内（飾りだな、手洗い）	②	トイレ
			
③		④	

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

LDKは広さ、明るさともに大満足。既存のよいところを生かしてもらって、再生した感じがうれしいです。トイレは、大便器と小便器で使い分けできるのが便利。おしゃれなデザインの手すりや、つたい歩きのできる手洗いカウンターも気に入っています。

## 70(111)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	支-B-2	事例所在地	愛知県西尾市
------	-------	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	2 間続きの洋室と和室を、体の不自由なご主人のリビング兼寝室に。間仕切りを撤去し、廊下側の壁の数ヵ所に室内窓を設けて光量をアップ。畳のベッドはベンチ、収納にもなる仕掛けで、さまざまなシーンに対応します。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 668 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	55.9 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	50 歳代 / ■男 □女
		家族	妻 50 歳代、息子 30 歳代、娘 20 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	右半身に麻痺あり ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	洋室と和室の2部屋をリビング兼寝室にしたいが、暗くて寒いのを解消してほしい。	リビング
2	体が不自由なので段差をなくし、1人でできることを増やしたい。	全体
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	a. トイレ	敷居をまたぐ必要有り。
2	b. 浴室	ご主人1人では入浴できない
3	e. 和室	高い敷居
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	A. リビング	暗くしている原因の間仕切りを撤去、室内窓を新設して光がたくさん入るように。また、内窓で断熱性を向上。	⑤
2	B. 和室	間仕切りを撤去して明るく快適に。	⑤
3	D. キッチン入口	全体を可能な限り引き戸にしたが、キッチンへの入口は引き戸への変更が難しかったので、ローリング式スライドドアに。	⑥
4	F. 浴室	ベンチ付きの浴室にし、移乗をラクに。	⑥
5	G. トイレ	広くし、将来もしも車いすになってしまっても、車いすのままトイレに入れる。	⑤
6	H. 洗面	階段下スペースを利用して収納を設置し、広く使えるように。ご主人着替え用のベンチも設置。使わないときは邪魔にならないようにたためる。	⑥
7	I. 和室入口	スロープで段差を解消。	⑥
8	J. 洗面所とトイレの入口	引き戸を設置。	⑥
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





# 9. エ夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	A. リビング兼寝室	②	B. リビング兼寝室
			
③	D. キッチン入口	④	F. 浴室
			
⑤	G. トイレ	⑥	H. 洗面
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	I. 和室入口	⑧	J. 洗面所とトイレの入口
 <p>スロープでつまづきを無くしました。</p>			
⑨	J. 洗面所とトイレの入口	⑩	
 <p>間取りを利用してどちらも引き戸を設置。</p>			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

冬場はとても寒く、物置のようにになっていた部屋が、内窓や床の断熱材のおかげで、明るく過ごしやすいうリビング兼寝室になりました。段差やドアがなくなって 移動も楽に。1人でできることも増えて、浴室にはベンチや手すりがあるので、妻に頼らなくても入浴できるようになりました。

# 71 (042) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」

## 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	Y邸	事例所在地	奈良県桜井市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	304 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2000 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	80 歳／ ■男 □女
			家族	息子 46 歳、息子の嫁 44 歳、孫 12 歳・10 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 ■要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況			
	* 認知症の有無と状況		□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車椅子、歩行器で動きやすくする。	1階全室
2	トイレの介助を容易にする。	1階トイレ
3	寝室にトイレ、洗面、浴室を近接させる。	1階水廻り
4	訪問介護時、直接寝室に入れる	通り土間、寝室
5	着脱式のスロープが使える	通り土間
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

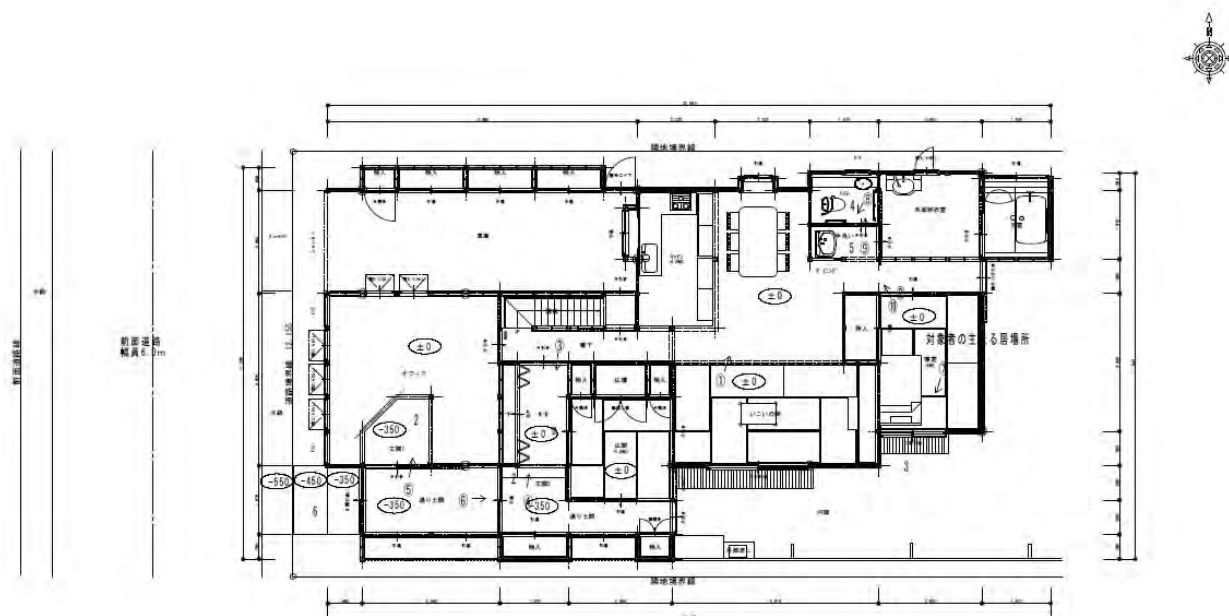
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	段差をほぼ無くし、玄関まで歩行器、車椅子で移動できる。 扉はすべて引き戸とした。	①④
2	玄関	手すりを取付、上り下りを容易にした。 車椅子の使用時は、着脱式のｽｰﾌﾟを設置できるように、奥行きをとった。	①④
3	寝室	玄関から通り土間を通して、直接寝室に入れるようにした。	⑤
4	トイレ	寝室に近接し、介助がしやすいように広くとった。 手洗いは、自動水栓、便座は、自動開閉式とし、手すりを設けた。	④⑤
5	手洗い	洗面所と別に、介助者の使いやすいように手洗いを設けた。	⑤
6	ポーチ	車椅子で登れるよう、奥行きをとった	⑤
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	いこいの間からﾀﾞｲﾅｸﾞ	②	寝室から廊下
			
③	廊下から玄関	④	玄関 2
			
⑤	玄関 1	⑥	玄関から通り土間
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	寝室	⑧	トイレ
			
⑨	トイレ	⑩	寝室から手洗い
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

新築時は、将来的に父親の介護をみこしての設計であったが、その父親が他界し、現在は、義理の母親（要介護5）と同居しており、デｲザｰﾋﾞｽ等を利用している。



## 72(065)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	F 邸	事例所在地	大分県臼杵市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （主たる工事分類一つをチェック）	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<div> <input type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  <input type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫             </div> <hr/> <input type="checkbox"/> その他（建設時 支援や介護を受けながら自立生活が出来る家）
主たる工夫のポイント	家族の成長や変化に対応出来る家を目指し建てました しかし寝たきりの状態、在宅医療、看護、訪問入浴の対応は不十分でした

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	140.76 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	1997 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	85 歳／ □男 ■女
		家族	息子 48 歳、息子の配偶者 43 歳、孫(女) 6 歳、孫(男)3 歳、 嫁の母 71 歳(自立老人)
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り(□親 □配偶者 ■息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 ■要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り ■軽度 □中等度 ■重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 ■全介助 □その他( )
		排泄	□自立 ■見守り □一部介助 ■全介助 □その他( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 ■全介助 □その他( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 ■全介助 □その他( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用(■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用) 手摺
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用(■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション ■その他（在宅医療）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	段差の解消	玄関浴室以外全て
2	手すりの設置	行動範囲全て
3	玄関介助椅子の代用	玄関
4	老人室を2階へ設置 介助散歩、介助入浴（自宅浴室）時階段利用	老人室
5		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

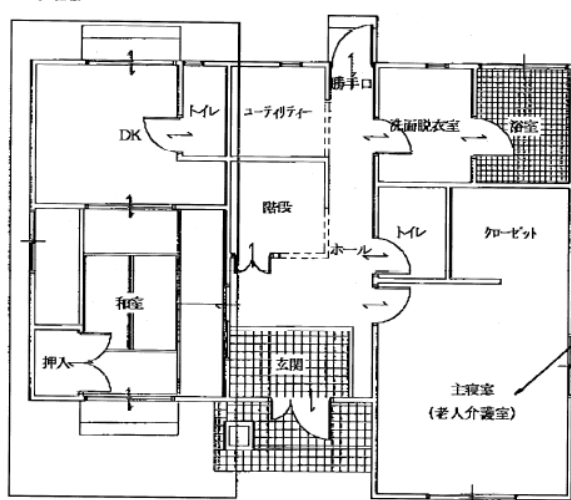
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	老人室の変更	介護状況の変化に伴い1階玄関横主寝室へ	②、③
2			
3			

### ※工夫分類

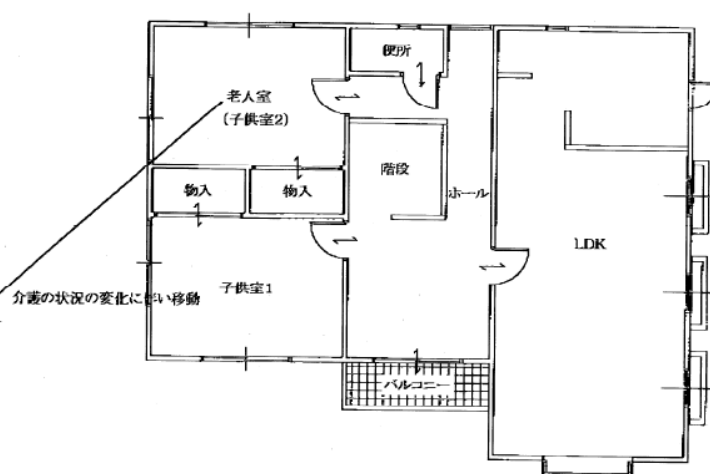
- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

自立老人世帯



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ポーチ手摺	②	玄関介助椅子代用と手摺
			
③	和室への段差	④	階段室
			
⑤	浴室出入口手摺	⑥	浴室手摺
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 73(085)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	宮崎県都城市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	■高齢者対応    □障害者対応    □高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	■主に対象者の現在の状況を考慮した工事 □主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div>           ■対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫            ■ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫            ■ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫            □対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫            ■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫         </div> <hr/> ■その他（対象者が自立して トイレ等に移動しやすい工夫 ）
主たる工夫のポイント	外出先から玄関までの段差解消 各部屋への移動時に使用する 手摺の設置

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	107.84 m <sup>2</sup> ／ 平屋
	工事実施年／工事費用	平成 24 年 ／概ね 1,985 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		寝室、リビング
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 ■医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	96 歳／ ■男 □女
		家族	妻 88 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 ■その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 ■要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り ■無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	高齢の為 足がふらつくので、居住スペースを安全に移動したい	手摺の設置、バリアフリー
2	デイサービスの車まで スムーズに移動したい	玄関前のスロープ 及びアプローチ
3		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

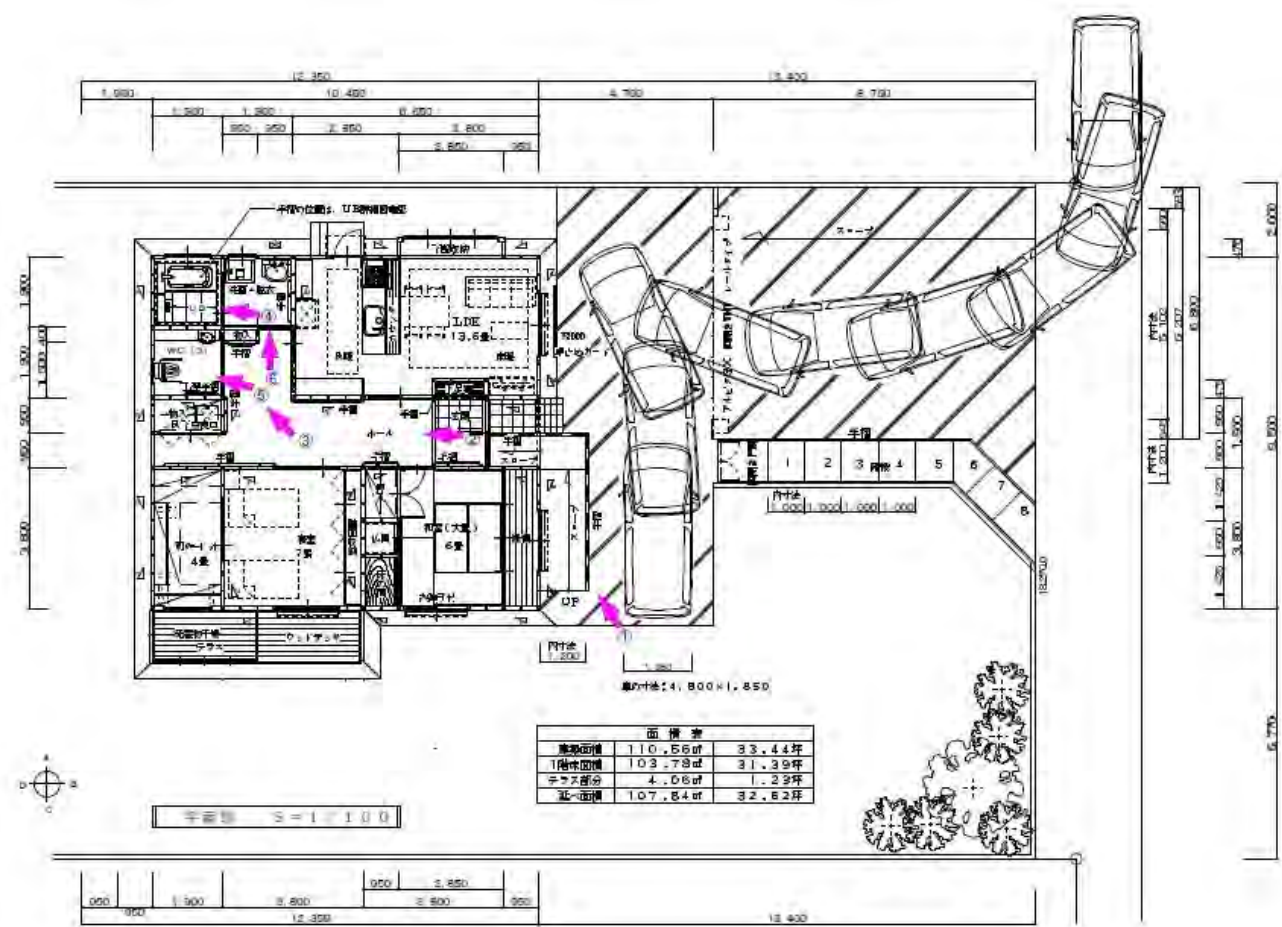
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	77° ローチ	対象者がスムーズに車に乗り外出しやすいように道路から建物までのアプローチを工夫した	①
2	玄関・廊下	対象者が自由に過ごせる様に手摺設置	② ③
3	浴室	対象者の、入浴時「ヒートショック」を緩和すの為 手摺及び暖房機設置	③
4	トイレ	対象者が、転倒しないようトイレアームレスト及び暖房機設置 又 トイレを使用中に気分が悪くなった時様に緊急ボタン（敷地内の息子さん宅とつながっています）	④
5	洗面・脱衣室	対象者が、入浴時の「ヒートショック」を緩和する為の暖房機及び手摺設置	⑤
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	77°ロチ：外部より玄関までのアプローチ	②	廊下：廊下の幅 及び 手摺設置
			

③	廊下：動線上の手摺設置	④	浴室：暖房機能付きユニットバス＋手摺設置
			
⑤	トイレ：トイレアームレスト＋暖房機＋緊急ボタン	⑥	洗面・脱衣所：暖房機＋手摺設置
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 74(072)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	■高齢者対応    □障害者対応    □高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	■主に対象者の現在の状況を考慮した工事 □主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> <input type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫         </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫         </div> <div> <input type="checkbox"/>介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫         </div> <hr/> <div> <input checked="" type="checkbox"/>その他（ 徘徊防止の工夫 ）         </div>
主たる工夫のポイント	対象者の居室を1階とし、トイレと洗面を隣接させた。 ホームエレベーターを設置した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	170 m <sup>2</sup> ／ 3 階建
	工事実施年／工事費用	2006 年／概ね 4000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階、2 階
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 73 歳／ ■男 □女 家族 妻 71 歳、二男 43 歳、二男妻 35 歳、孫 4 歳、孫 1 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 ■要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	糖尿病(インシュリン接種、視力低下、下肢血管バイパス手術)、認知症
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り ■軽度 □中等度 □重度
	A D L の 状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション ■その他（ 訪問歯科 ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（ 杖 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしでダイニングまで行ってほしい。	廊下～EV
2	介助なしでトイレに行ってほしい。	居室～トイレ
3	介助なしで外まで移動してほしい。	居室～廊下
4	介助なしで浴室に入ってほしい。	居室～浴室
5	介助なしで洗面してほしい。	居室～洗面
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室	玄関から近いところに居室を設けた。	②
2	トイレ、洗面、浴室	トイレと洗面と浴室を居室に隣接させた。	③
3	居室	居室のベッド近くにミニキッチンを設置した。	③
4	トイレ、浴室	トイレ、浴室に手すりを設置した。	③
5	各階廊下	ホームエレベータを設置した。	④
6	玄関	徘徊防止のため玄関ドアに脱着式サムターンを設置した。	⑥
7			

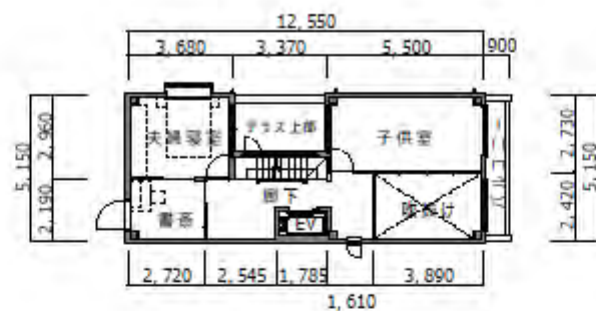
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

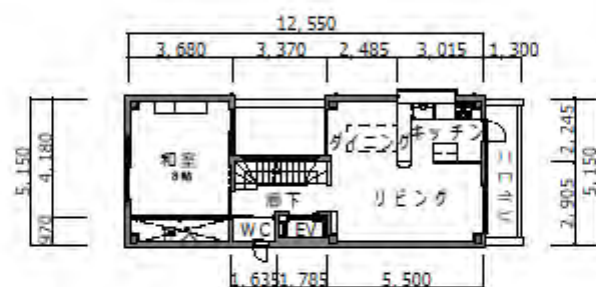


■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

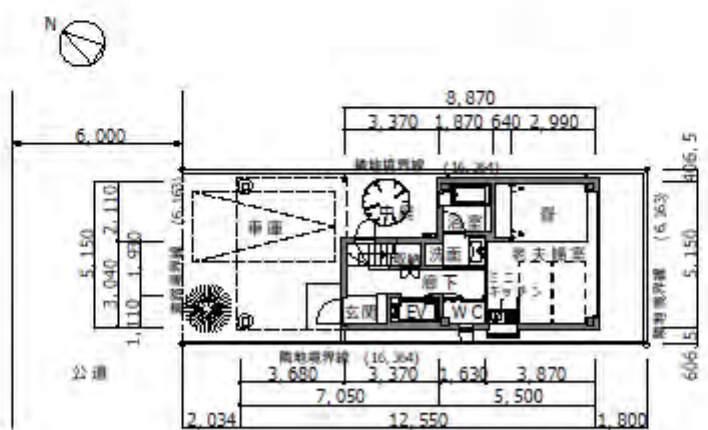
住宅平面図



3 階平面図



2 階平面図



配置図・1 階平面図

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	1階玄関より廊下、EV、居室を見る	②	1階廊下より洗面所、居室を見る
			
③	1階廊下よりトイレを見る	④	1階居室よりミニキッチンとトイレを見る
			
⑤	1階廊下よりトイレ、EV、廊下を見る	⑥	玄関ドア脱着式サムターン
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	1 階浴室手すり	⑧	1 階浴室手すり
			
⑨	2 階廊下よりトイレ、EV を見る	⑩	2 階ダイニングより EV、トイレを見る
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

狭小地のため十分な広さは確保できなかったが、使いやすいコンパクトな動線となるよう配慮して設計しました。

現在は要介護3となり、歩行器で移動しています。週4回デイケア通所、終日おむつ使用、お風呂はデイケアのみです。



## 75(039)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	F 邸	事例所在地	京都府
------	-----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	外に出やすい位置に自室を改修しその周囲にトイレを設置

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	97.36 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2 年／概ね 1,200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	86.38 m <sup>2</sup> (改装 64.03 m <sup>2</sup> 3 増築 22.35 m <sup>2</sup> )
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		97.36 m <sup>2</sup>
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー ■ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	95 歳／ ■男 □女
		家族	息子 58 歳、息子の嫁 54 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	食事介助・歩行困難・ほとんど自室生活	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り ■軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他 (施設のみ)
		起居	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ デイサービスとショートステイ併用 ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

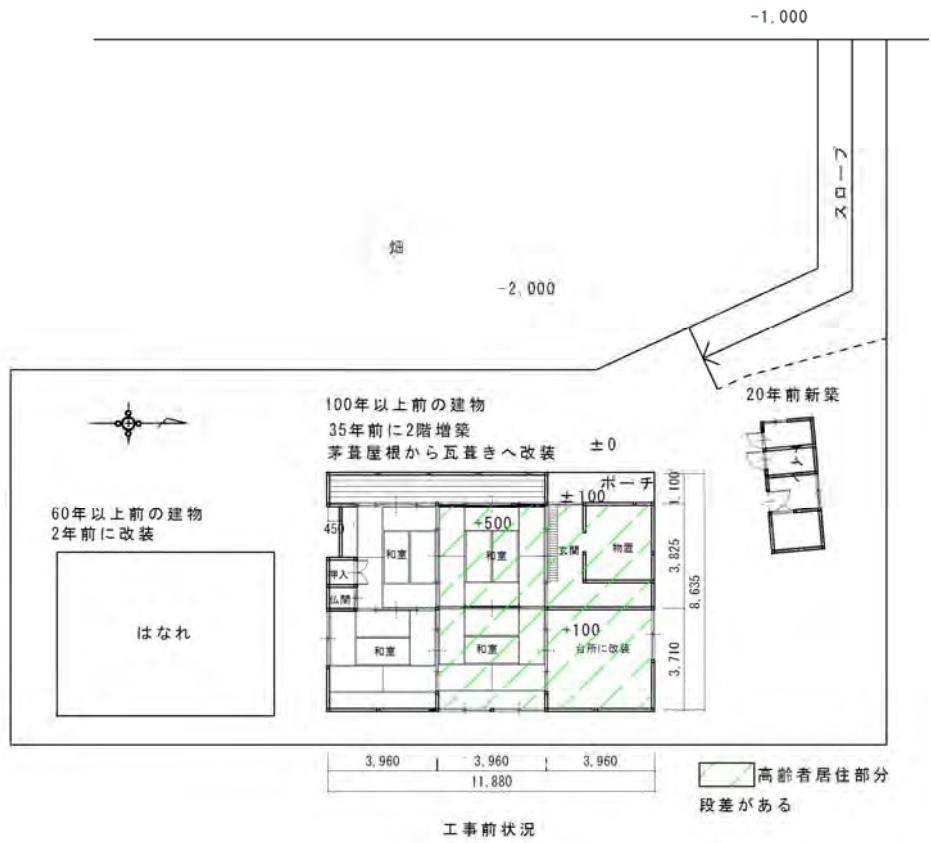
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	デイサービス等の際の移動軽減	自室移動
2		
3		



7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	段差が50cm有り
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

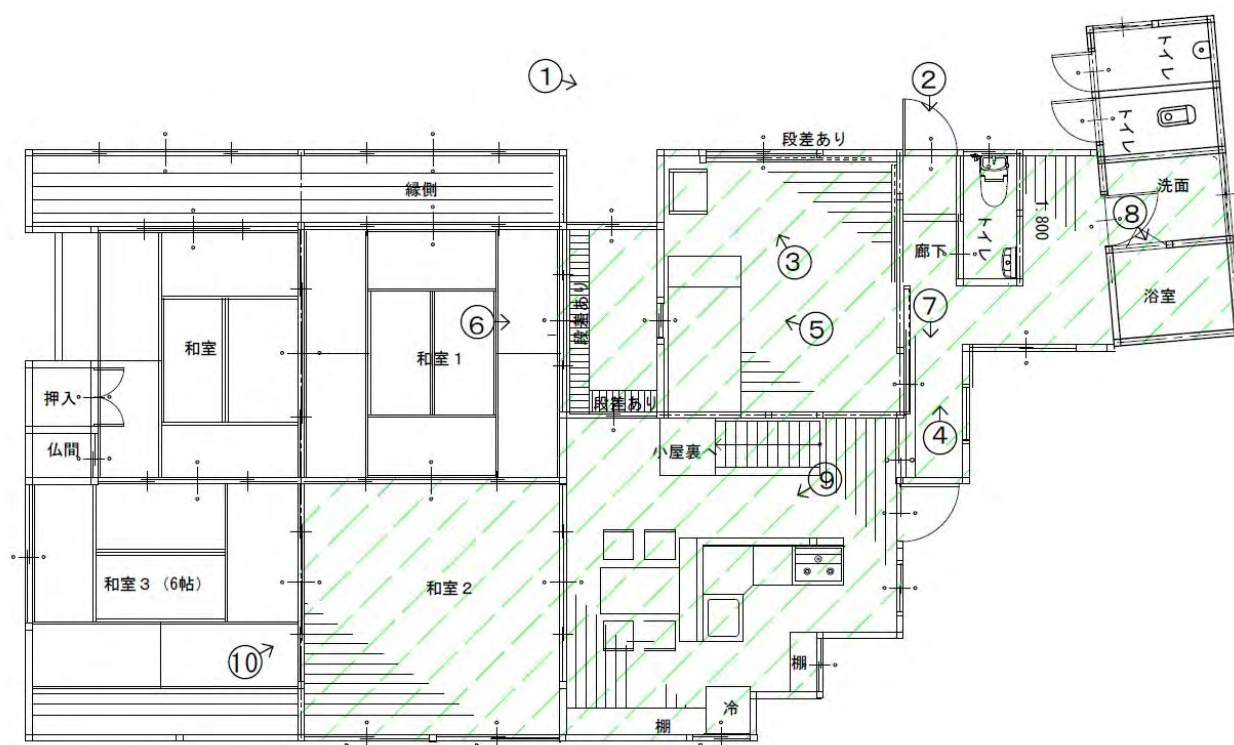




## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	自室移動（改装）	掃き出し窓から出入り	①
2	出居り口新設	自室と専用出入り口設置	②③
3	自室の床	フローリング	④
4	家全体	介護者（息子夫婦）の近い将来の高齢化を加味した大規模改修	⑥
5			

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	出入（新設）・掃出（新設）・玄関（既存）	②	通路（新設）
			
③	自室（移動改装）	④	廊下（新設）
			
⑤	自室（移動改装）	⑥	玄関（既存）
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	廊下（新設）	⑧	洗面・浴室（改装）
			
⑨	D K（改装）	⑩	D K・和室 2（改装）
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

高齢の父親の居住スペースの改善であるが、本人は高齢のため自室以外の移動は少ない。  
 デイサービスの送迎の待機移動の軽減が主目的の増改築であるが、近い将来の息子夫婦の高齢化対策を考慮し大規模改修となった。



## 76(097)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	愛知県豊川市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（身の回りの生活をしやすいように配慮）

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	184.65 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2011 年／概ね 1500 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	96.87 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	80 歳 / ■男 □女
		家族	妻 69 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

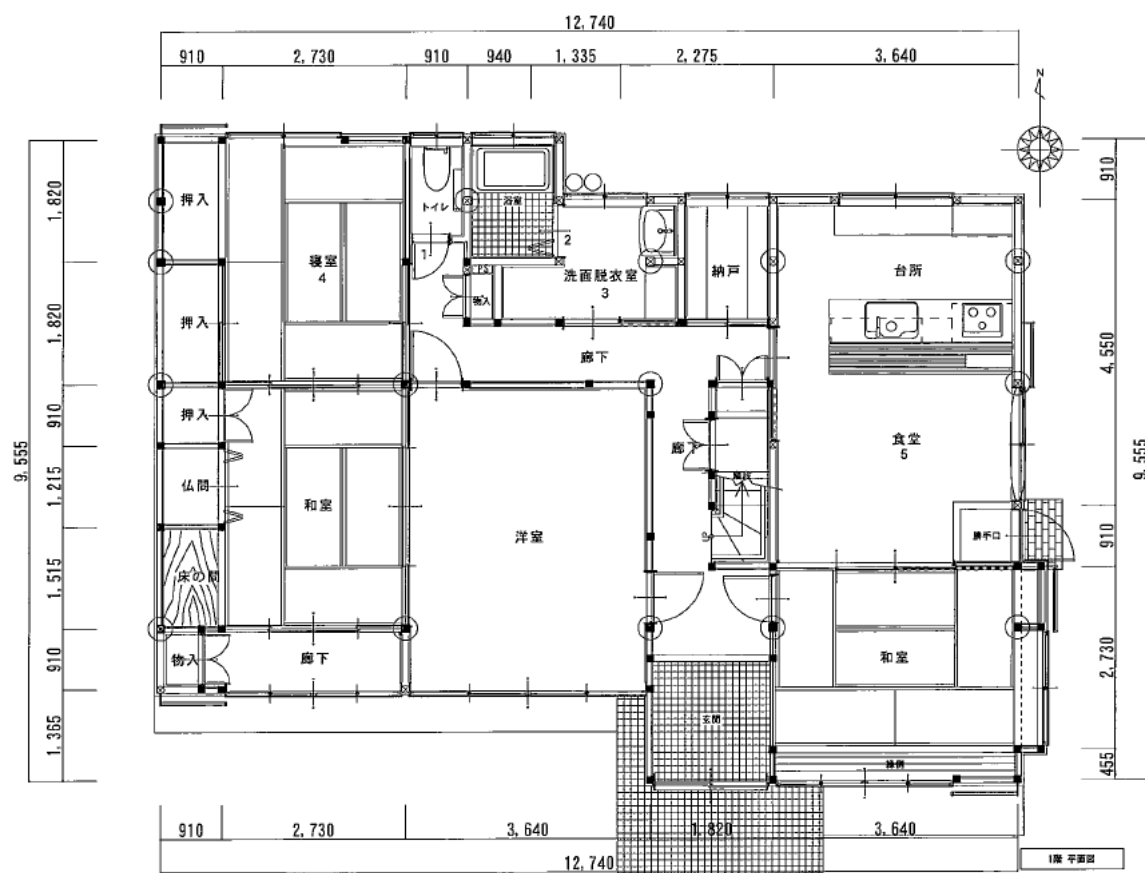
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	水周りが車椅子では使いづらい	トイレ・洗面脱衣室・浴室
2	浴室が狭いので広くしたい	浴室
3	寝室にベッドが置けるように床材を変更したい	寝室
4	食堂では、将来、車椅子が利用できるように広くしたい	食堂
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	入り口が開き戸で狭い。
2	浴室	入り口が狭く、手摺も無く、使いづらい。
3	洗面脱衣室	収納場所が少ない。
4	寝室	畳の床のため、ベッドが置きづらい。
5	食堂	スペースが狭い。
6		



■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





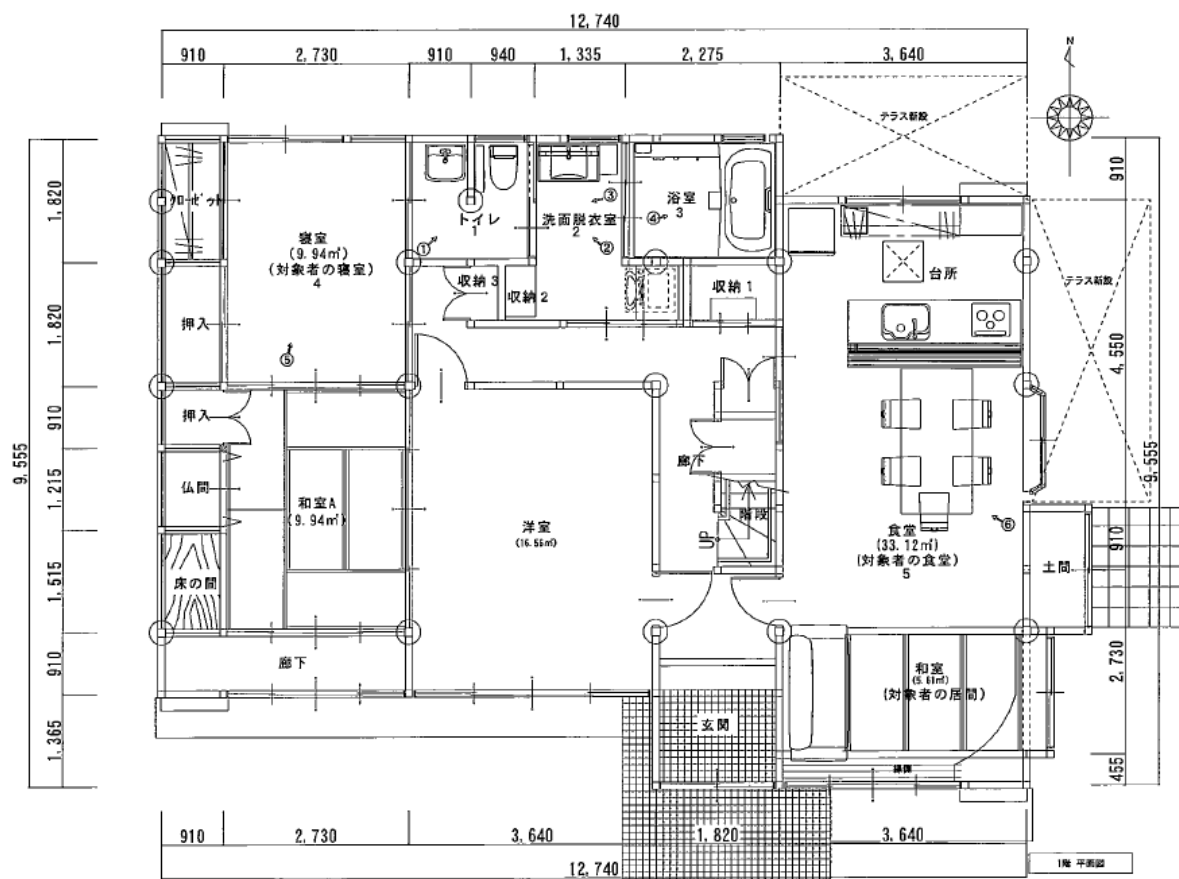
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	耐震壁を考慮した化粧筋交いを設置し、寝室からと洗面脱衣室からの2方向からの出入り口とした。入り口は引き戸とし、車椅子でも行き来が可能となるように配慮した。寝室近くの洗面台は、介護が必要になったときのために大きめの洗面化粧台を設置。かがまなくてもいいようにかさ上げしている。	④
2	洗面脱衣室	トイレを隣接させ、ゆとりある広さと収納スペースを確保した。入り口には、有効開口を確保するため、3枚引き戸を設置した。	④
3	浴室	増築により広くし、浴槽周りに手摺を設置し、安全に配慮した	④
4	寝室	床を畳から桐材に変更することで、和風を保持しつつ、ベッドを置くことができるようにした。桐材は、調湿効果があり、やわかいので転倒時も安全。直ぐ出た廊下より、トイレへアクセス。	④
5	食堂	和室と一体化にすることで、広くゆったり使うことができるようにした。キッチンカウンターの裏の全面収納の上部部分のみガラス戸にすることで、ご主人様もご自分で出し入れが可能になった。	④
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ	②	洗面脱衣室
			
③	洗面脱衣室からトイレを見る	④	浴室
			
⑤	寝室	⑥	ダイニング
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

1. 食堂も南の和室と一体化することで、明るい日差しもはいり、居心地の良い空間となりました。そのため、ご主人様も食堂、居間で過ごす時間が増え、ガスコンロをIHコンロにしたことで、安心して火を使うことができるようになりました。
2. 食堂側のガラス収納は、何がおいてあるかすぐわかりますので、ご主人様がご自分で収納されるようになりました。できるだけ身の回りの行動を自立して行ない続けることができるような配慮は必要ではないかと感じました。

## 77(107)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	支-A-1	事例所在地	石川県
------	-------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	階段下にあるため天井が低く狭いトイレを寝室の近くに移設。将来を考えてスペースをゆったり確保し、バリアフリー仕様に。銘木の天板やお月見をテーマにした遊び心のある意匠で、温かみのある空間にまとめました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1,100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	82.9 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	60 歳代／ ■男 □女
		家族	妻 60 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

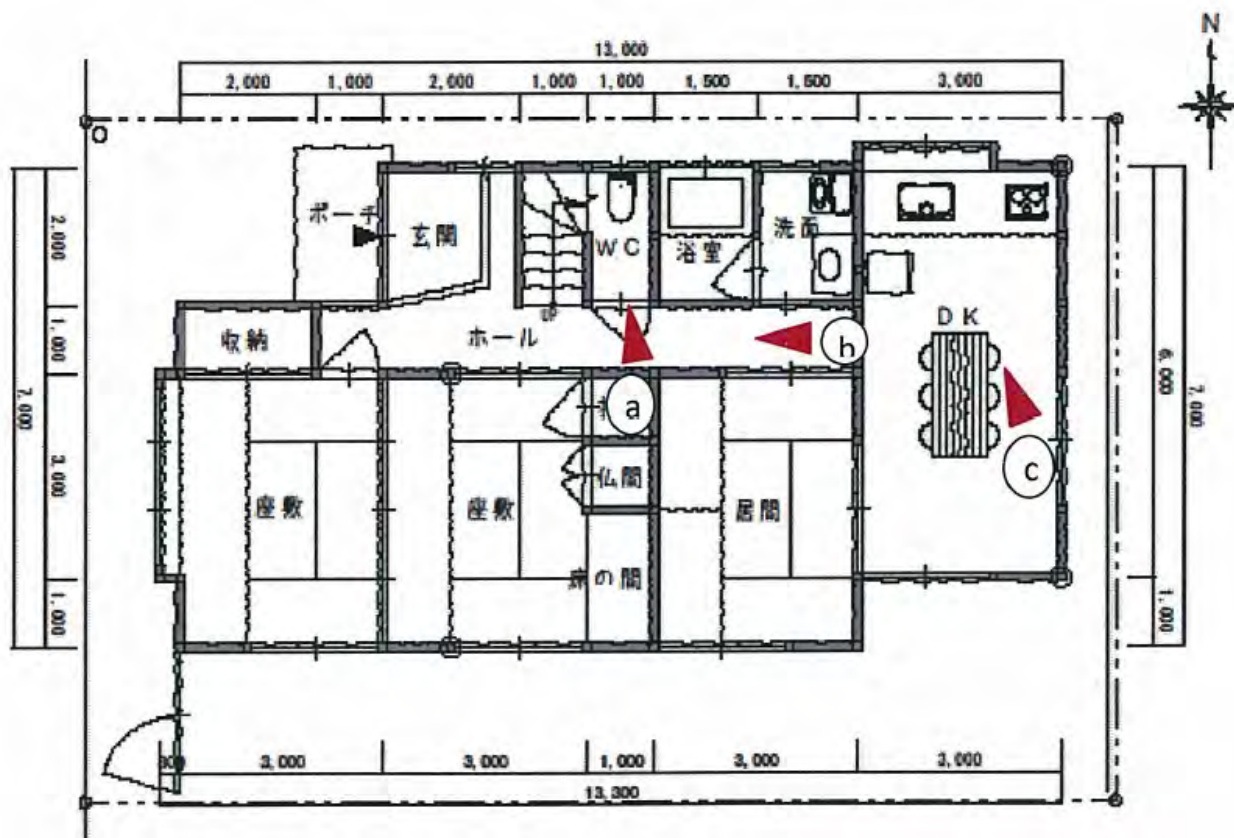
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレが階段下にある、天井が低く、狭い。介護が出来ないので、将来が不安。	トイレ
2	トイレの入口ドアで廊下が狭くなり、使いにくい。	トイレ
3	寝室が2階にあり、階段の上り下りが大変。	寝室の位置
4	居間が暗い。キッチンと死角になっており、各々が孤独感を感じる。みんなが一緒に集まれるところがない。居間が狭く、孫が遊びに来ても、孫たちは和室にいたりバラバラ。	居間、キッチン
5		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	a. トイレ	階段下で狭い。
2	b. トイレ前廊下	トイレのドアが廊下を塞いで使いにくい。
3	c. キッチン（、居間）	キッチンと居間が別で、みんなで集まれるところがない。
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

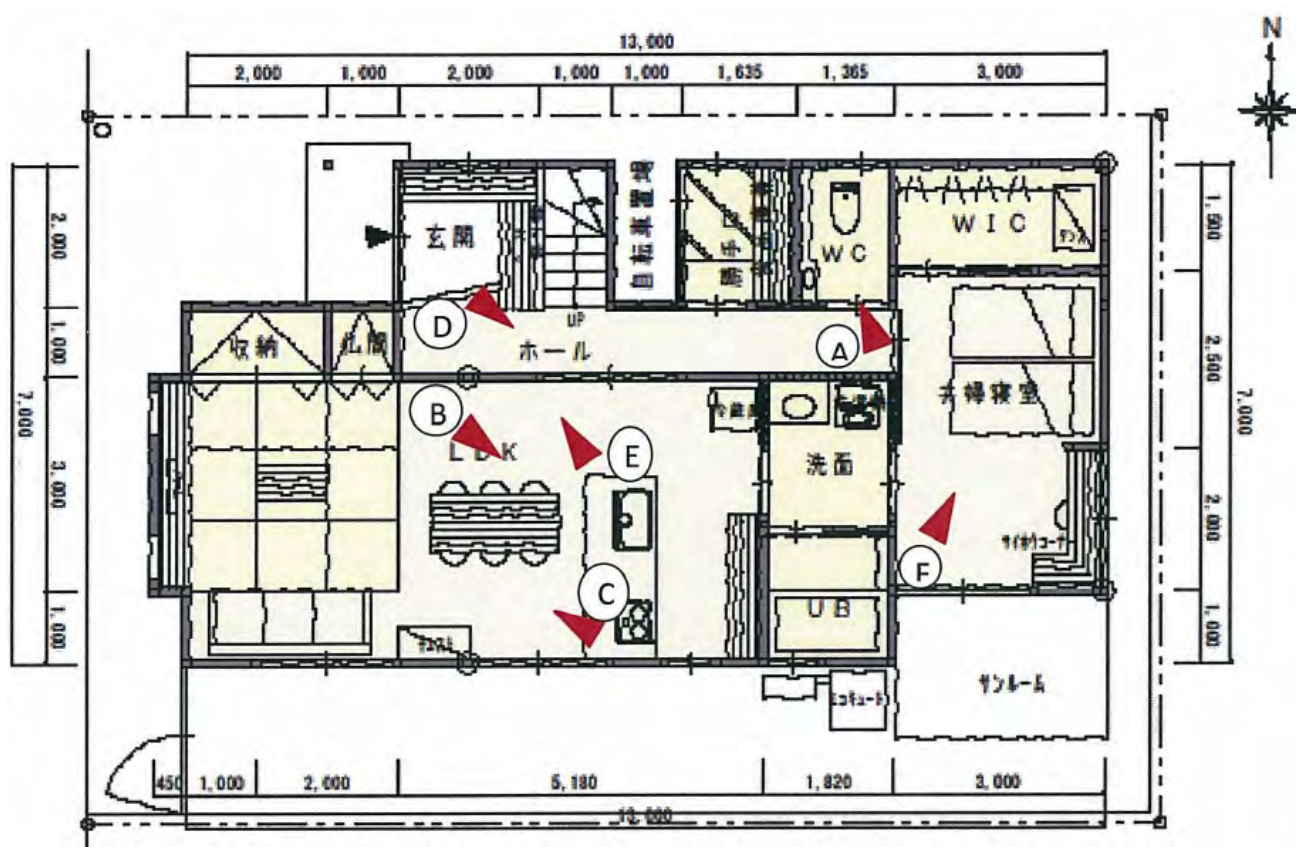




## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	A. トイレ	寝室の近くに配置。今後を考え、ゆったりとした0.75坪に。	⑤
2	B. キッチン、洗面所、寝室	洗面所はキッチンからも寝室からも直接行き来できるように配置。生活動線を楽しめる。	⑤
3	C. LDK	オープンキッチンにつながるリビングは、みんなが集まり楽しめる空間に。	⑤
4	全体	開口はすべて引き戸とし、空間を広く使えるに、またユニバーサルデザインに配慮。	⑤
5			

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	A. トイレ	②	B. キッチン、洗面所、寝室
 <p>ふ、ご家族の思い出をイメージし、遊び心もいれてお月夜をテーマに、優しい気持で、泣かせてくれるトイレに仕上げました。 月とウサギの色をイメージしたアクセント壁に、緑木のぬくもり カウンター♪</p>		 <p>B. 寝室までつながる生活動線が楽になりました。</p>	
③	C. LDK	④	
 <p>C. オールウッドキッチンにつながるリビングは、 みんなが集まり楽しめる空間になりました♪</p>			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

トイレがこの家で一番お気に入りの場所になりました。天然の木目のやさしさと、ぬくもりあるやさしいデザインが気に入っています。寝室からも近いので、夜も安心していけるようになり、夫婦や家族みんな喜んでいます。

将来のことを考えてスペースを広くするだけでなく、温かみがあって癒される空間になった。みんな喜んでくれるので嬉しい。

1階が生活の中心になったので、今後は夫婦共に安心して暮らせるリフォームになりました。温度差なくLDK～洗面～寝室へ行けるので楽になりました。

セカンド玄関（勝手口）が出来たので、買い物してきた時など出入りが楽になりました。

# 78(027)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	1 邸	事例所在地	愛知県春日井市
------	-----	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫  <input checked="" type="checkbox"/> その他（心身の状況が少しでも改善され、家族の介護負担が軽減されるよう現状に合った改修の工夫）
主たる工夫のポイント	・ トイレの位置、介助に配慮した扉・適切な手摺の取付・使用方法に合わせた見やすい収納・

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □ＲＣ造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	119.24 ㎡／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 800 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	23.41 ㎡
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	92 歳／ □男 ■女
		家族	娘 62 歳、娘の夫 65 歳、孫 (男 32 歳)
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		高血圧、喘息、偽通風
	* 認知症の有無と状況		□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度
	ＡＤＬの状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

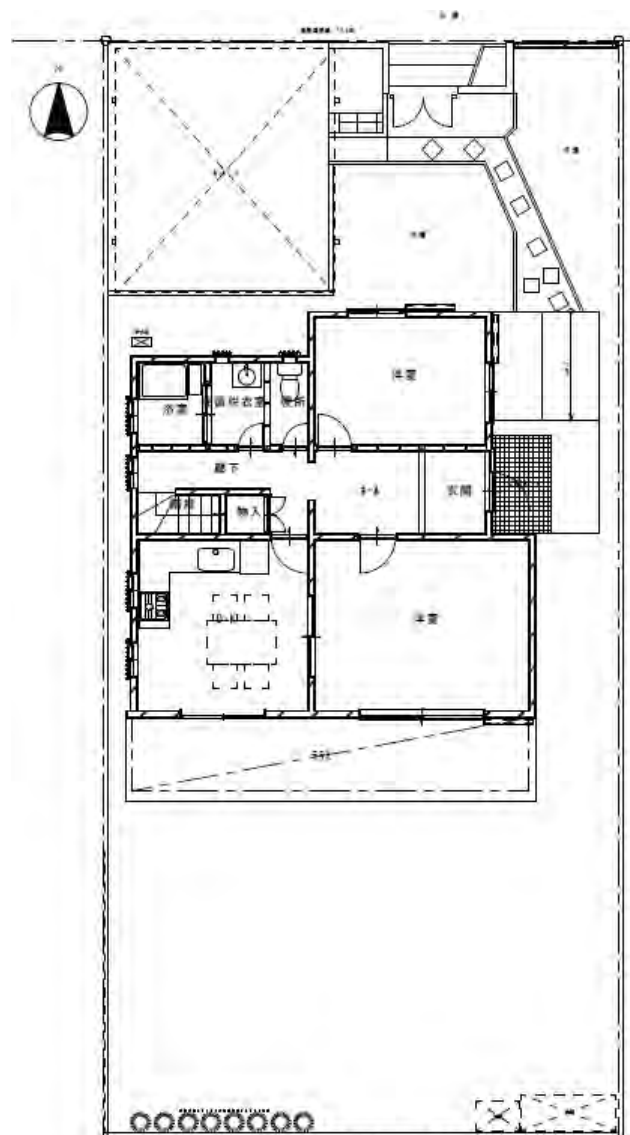
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレと収納を備えた専用の居室（寝室）の増築	母屋南東の庭
2	自立でトイレを使用する（福祉用具の手摺と補高便座を使用していた）	
3	専用のトイレとする	DK と寝室の間に設置
4	基本的には歩行で出入り	玄関、77 <sup>th</sup> ローチ、駐車場
5		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	駐車場	駐車場とアプローチの間の 200mm の段差がきつい
2		
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



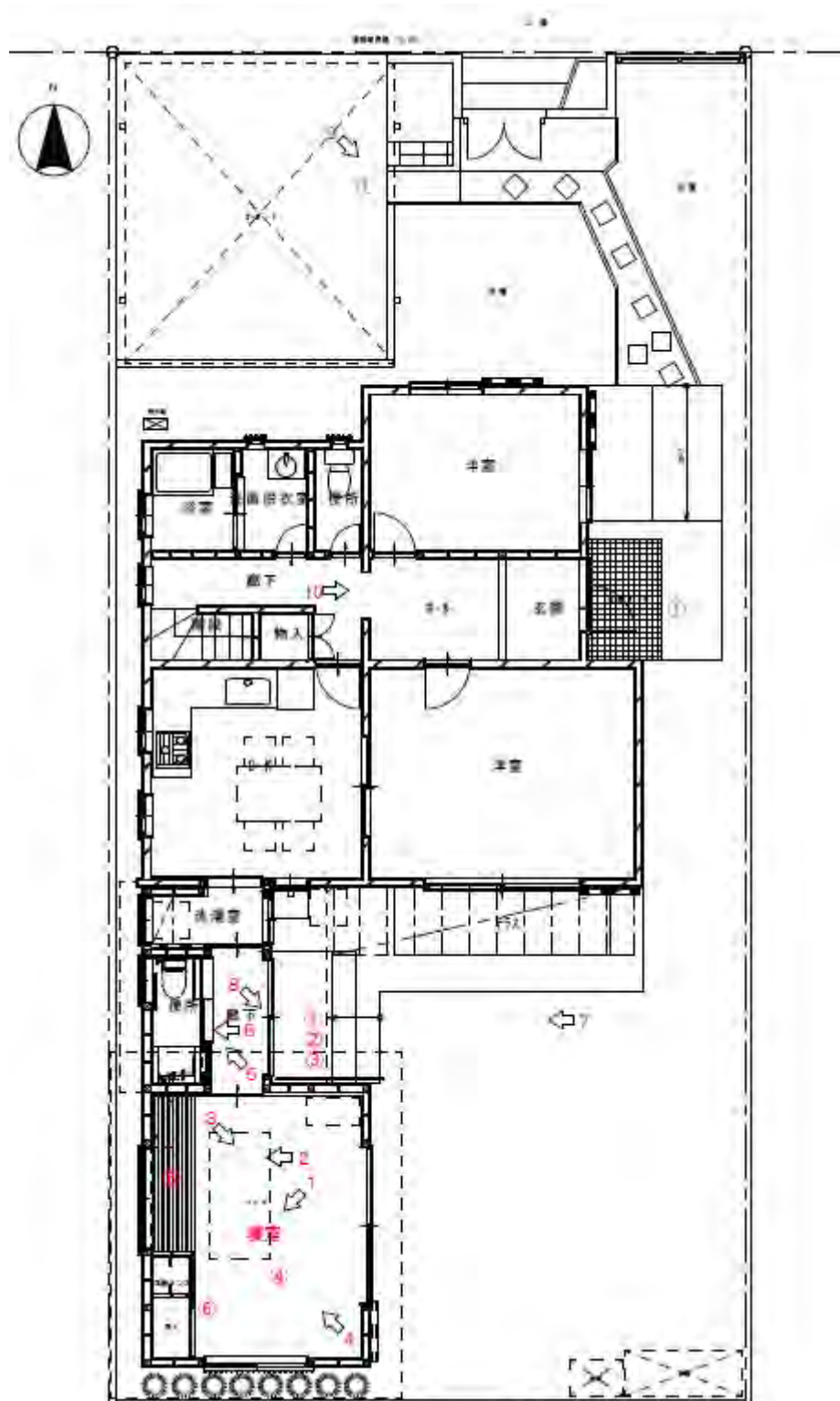
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室・トイレ・母屋	日常過ごす DK と居室の間にトイレと渡り廊下を配置した。使い方が不潔になりがちだったので、母屋にいる時も専用のトイレを使用することで家族のトイレと分けた。廊下を直接外との出入りにも使用できるようゲッキを設置、車いす使用の場合には、簡易スロープの使用や階段を撤去して段差解消機でも対応できるようにした。	①②③④⑤
2	カウンターと収納	棚の上に洗濯したものを置いてそこから選んで持っていく習慣になっていたのですが、同様にできるよう、更に沢山のものが置いておけるスペースとして大きなカウンターを設置。引戸のクローゼット兼押入と引出しは、家族のために設置した。	⑥
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
1	寝室南西（隣家）側	2	大きなカウンター（衣類）
			
3	南東側（ベッドに座ると仏壇が見える）	4	北（母屋）側 廊下、トイレへの出入り口
			
5	トイレ奥の扉は固定を解除して全開できる	6	トイレ内部 手前は跳ね上げ手摺 座って使用できる洗面
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
7	通路前に設置したデッキ	8	通路からデッキ
			
9	駐車場からの段差に取り付けた手摺	10	母屋玄関
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

対象者の生活意欲に繋がることを第一の提案のポイントとした。

①外部では車いすを使用するも、水泳をする運動能力は保持していることから、手摺を適切に配置することで、不安の解消及び安全の確保ができ、母屋の浴室や玄関との行き来が生活リハビリに繋がり、1カ月経過した時点で確実にADLの向上がみられた。

②大きなカウンターに置いた着替えは以前よりも見易くなった。それによって、気に入ったものがないと引出しをあけて探すようになった。

また、カウンターには着替え以外にも外出時に持っていくお財布や小銭などの他、孫やひ孫の写真や思い出の品々を置いた。目⇒脳⇒行動の連鎖が行われ、失われたと思われていた行動が蘇った言える効果があった。

③仏壇へのお詣りを全くしなくなっていたのが、引っ越しをして仏壇が見える位置に「ベッド」を置いたその日から手を合わせるという行為が蘇った。

④外部は、駐車場と77°ローチの段差への手摺取付のみとし、状況を見ながら次期工事とすることにした。

## 79(112)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	支-C-1	事例所在地	山梨県
------	-------	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢のお父様の暮らしやすさを追求し、歩行、車いす両方に対応できるようバリアフリー化。裏玄関を通用口とし、スロープと手すりを設置。室内は廊下幅を広げたほか、リビングにロフトを設けて多目的スペースとしました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 1,000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	81.9 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	80 歳代／ ■男 □女
		家族	息子 40 歳代、息子の配偶者 40 歳代、孫 10 歳代、孫 10 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

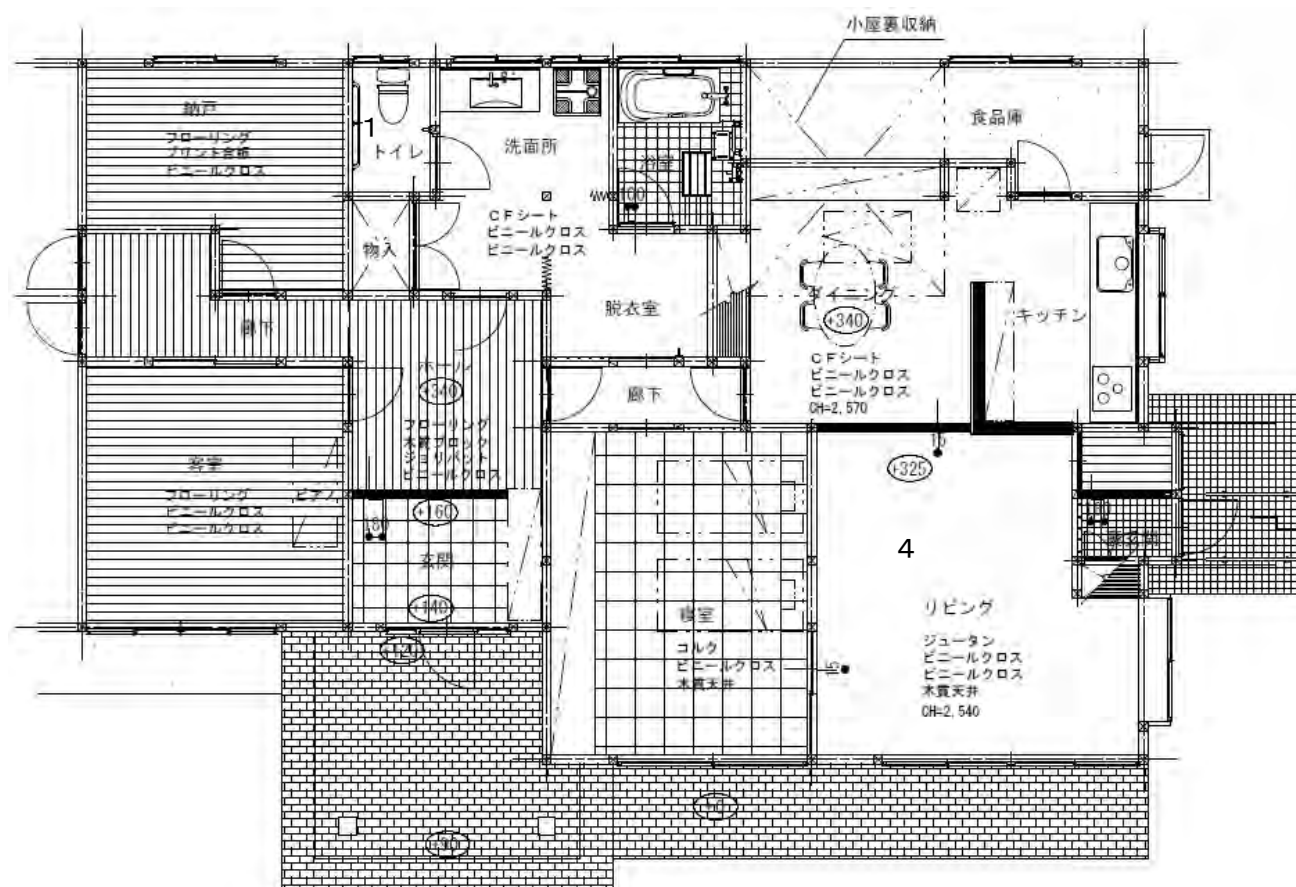
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	広い家にひとりで暮らす父が高齢になり、足腰も弱くなったので心配。すぐ隣りに自分たちの家もあるが、家族と一緒に暮らせるようにしたい。	
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	入り組んだ間取りで、寝室から一番遠いところにあり、扉も片開きドア。 広さも一帖で、振り返って手を洗ったり、水を流す動作が必要。
2	浴室	在来工法で寒く冷たく感じられ、入口には 150mm ほどの段差もあり。
3	玄関	外階段を上がって玄関ドアを開け、上がり框でまた一段上がる必要がある。
4	リビング	ジュータン敷きで車いすにとって動き易くはない。
5		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	寝室から一番近い所に 1,200×1,820 のスペースを確保して設置。便器はオート開閉、オート洗浄タイプにし、要が済んだ後そのままカウンターで手を洗って出られる。 カウンター下の箱は左手で体を持ち上げて立ち座りするための補助台だが、収納も兼ねる。右手側にははね上げ式のアームレストも設置。	④
2	洗面所	広いスペースをとり、車いすでもスムーズに動くことができる。	④
3	浴室	ベンチカウンタータイプで座ったまま横滑りで浴槽側に移動できる。広さも 1.25 坪あり、介護する方々も楽になったと喜んでいただいている。	③④
4	玄関	外に設置したスロープを登り、玄関引き戸を開け、ベンチに座って靴を脱ぎ、そのまま段差なく室内に入ることが出来る。収納部にも工夫し、コート掛け、帽子掛け、下足入れ、ステッキ収納等、便利に。	①
5	リビング	天井を取り払い、ロフトを設置。12畳のリビングが見違えるように広く感じられ、家族共々明るく和やかに過ごせる空間に。 床もフローリングに。	⑥
6	通用口	表玄関とは別に、スロープ、テラス、風除けを設置し、車いすでも簡単に出入りできるようになった。	①
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

上部可動棚  
下部除湿機

上部洗剤収納  
洗濯機パン

小屋裏収納

スライド収納  
立ち降り補助台

食品庫

物干しユニット

洗面、脱衣室

トイレ

キッチン

ダイニング

910

廊下

1245

1340

1300

1100

1400

玄関引戸

風除け

下足入れ

イス

下足入れ切詰め

リビング

ロフト

寝室

書斎

浴室

洗濯機

収納

階段

バルコニー

1

2

3

4

5

6

7



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ	②	洗面所
			
③	浴室	④	スロープ
			
⑤	玄関	⑥	玄関のベンチ
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	リビングとロフト	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

今までは父がひとりでいることが不安だったのですが、リモデルで安心できるようになりました。子どもも面倒をみってくれるし、ロフトの隠れ家的空間も好評。リビングからロフトに広がる空間に家族全員が集う時間は何よりも幸せです。

# 80(117)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	ケア－B－1	事例所在地	埼玉県
------	--------	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	1 階の段差を解消し、出入り口は引き戸に変更。玄関ホール、リビング、キッチン、洗面脱衣室兼トイレを回遊型の動線でつなぎ、移動しやすいように。浴室は3枚引き戸にして開口を広くし、介護にも配慮しています。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 900 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	80 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	60 歳代／ □男 ■女
		家族	娘 30 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

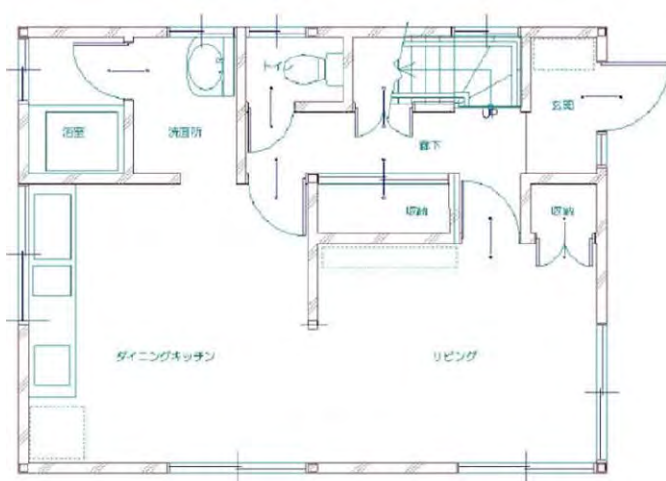
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	築 30 年の老朽化した住まいを、母の介護をしながら快適に暮らせるような間取りにリモデルしたい。将来の車いす生活も視野に入れておきたい。	全体
2		
3		

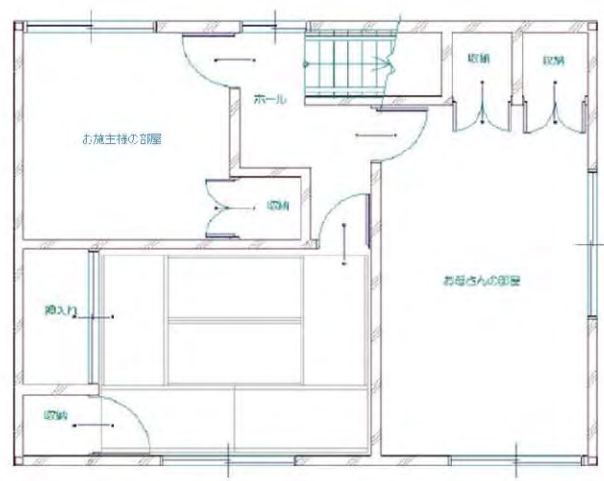
## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室	0.75 坪で狭く、また敷居の段差があった。
2	トイレ	階段下の狭いスペース。出入り口の敷居には段差があった。
3	2 階寝室	2 階にはトイレがないため、ポータブルトイレを使用。
4	玄関	狭く、モノもあふれていた。
5		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



1 階



2 階

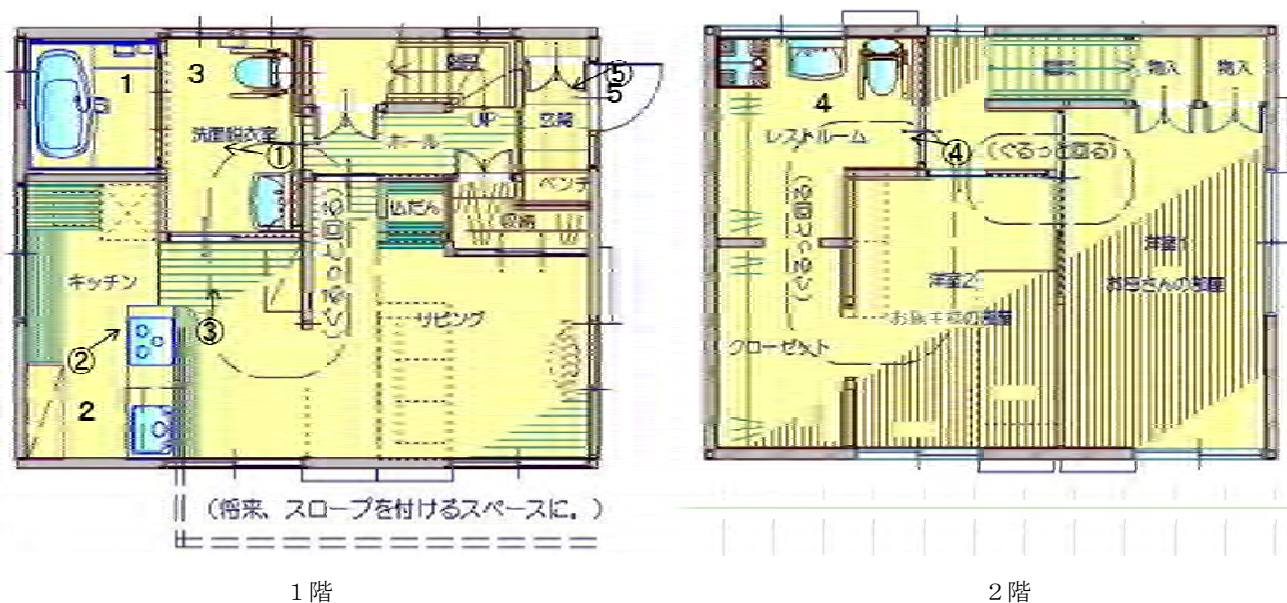
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	浴室	1坪の広さにし、洗面所からの段差を解消。扉は3枚引き戸にして有効開口を広げた。	④
2	キッチン	リビング全体からトイレの方向まで見渡せ、回遊型の間取りにして動線をよくした。	⑥
3	1階トイレ兼洗面脱衣所	廊下とLDの2方向に出入り口を設け、手すりも設置。窓には内窓をつけ、床暖房で室内の温度差をなくした。	④
4	2階トイレ	トイレ・洗面・物干しを同室に。廊下側とクローゼット～個室へと2ウェイの動線で使い勝手をよく。	④
5	玄関	ベンチを設け、腰掛けたり、荷物の一時置き場として利用することもできる。	①
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	浴室	②	キッチン
			
③	1階トイレ兼洗面脱衣所	④	2階トイレ
			
⑤	玄関	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

暗く寒かったキッチンが回遊型の間取りになったことで、風が通り、使い勝手のよい空間になりました。トイレと洗面室が一体化して広くなり、介護もしやすいです。今まではソファで寝ていることが多かった母も、歩きやすい部屋になったことで、できることは自分できるようになりました。



# 81 (077) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S 邸	事例所在地	岐阜県本巣市
------	-----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	2005 年に脳梗塞を発症。娘さんたちは山から下りて同居しないかと誘うが住み慣れた家で暮らしたいとの思いで改修をする。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	168.92 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2005 年／概ね 1000 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	81.4 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	63 歳 / □男 ■女
		家族	夫 65 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 ■要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳梗塞後遺症による片麻痺	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ □その他（段差解消機 ）

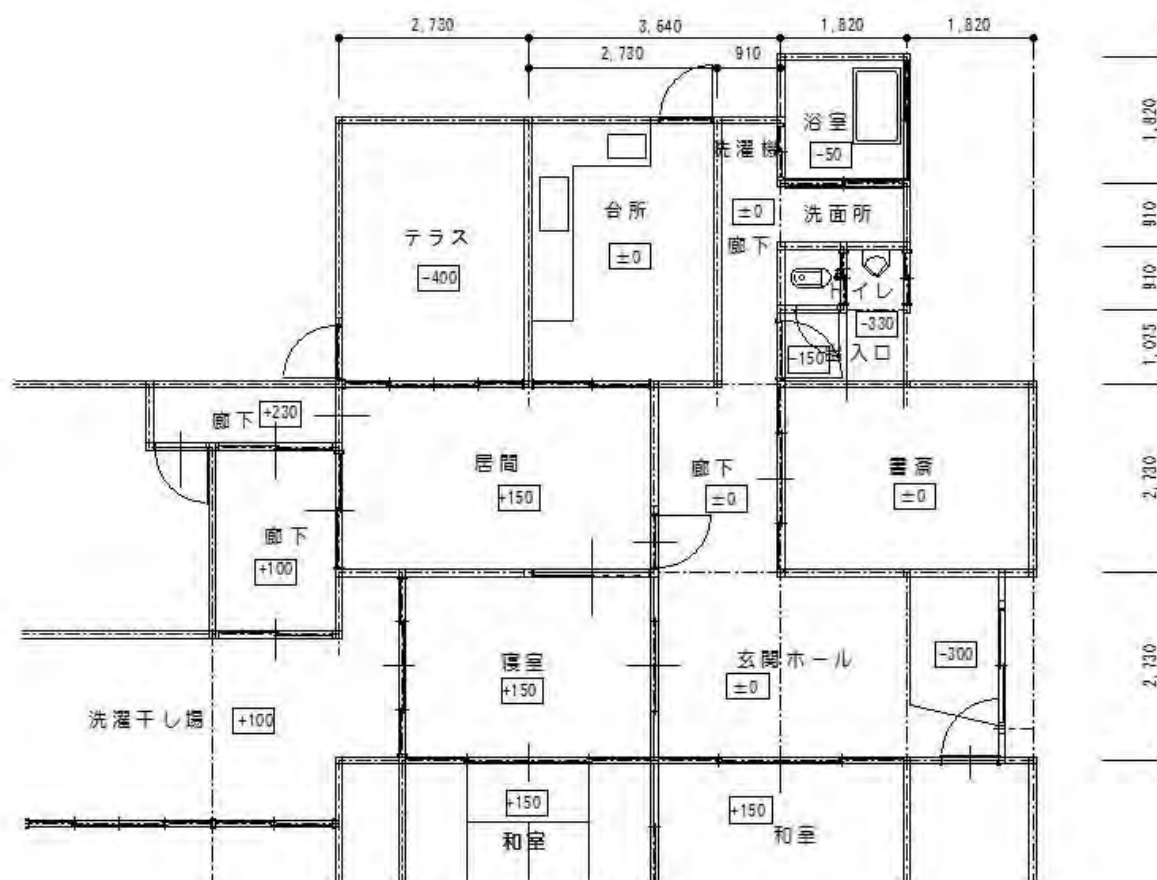
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	居室内の段差をなくし安全に移動したい。	居室、廊下、トイレ
2	外出を容易にしたい	勝手口
3	食事の準備などもできるようにしたい	台所
4	明るく通風のよい環境にしたい	
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	テラス	本人に一番お気に入りの場所であるが 40cm の段差があり容易にいけない
2・3	居間・台所	廊下やキッチンとの段差 15cm あり移動に困難
4	台所	片麻痺があるために立位での調理が困難
5	浴室	浴槽が深く、また入口段差もあり介助入浴にも危険が伴う
6	洗面脱衣室	狭いので介助者するにも困難 廊下の突き当たりで寒い
7	洗濯コーナー	狭く暗い また寒い
8	トイレ出入り口	トイレは外トイレ寒くて狭い
8	勝手口	ガレージと屋根伝いにつながっているので本人の出入り口だが段差が高い
9	トイレ	和式トイレで狭く排泄が困難
10	寝室	和室にカーペットを敷いているが移動を容易にしたい

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



改修前 平面図 S=1/100

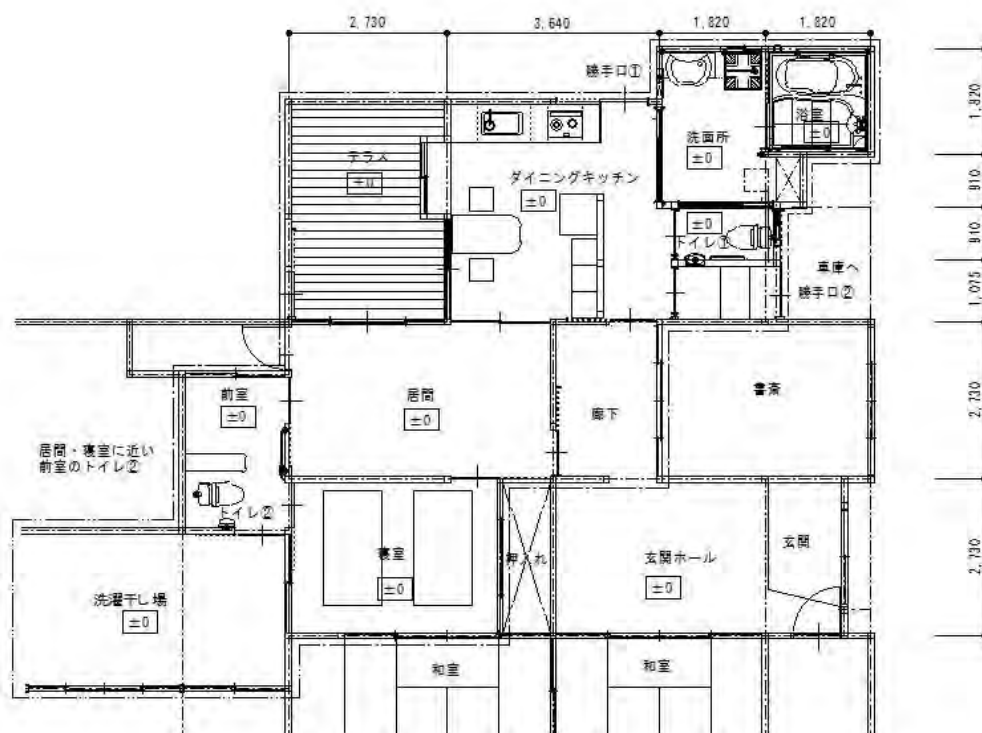
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	テラス	床を嵩上げて明るく暖かい空間とし居間から使えるようにした	④
2・3	居間・台所	段差をなくして移動しやすくし床暖をして温度差もなくした	④
4	台所	車いすでも対応できる台所とした	⑦⑤
5	洗面脱衣室	車いすでも対応できるようにした。また介護スペースを確保	③④⑤
6	洗面脱衣室	使いやすい高さの収納とヒートショックを防ぐよう暖房器具を設置	④⑥
7	浴室	介護しやすい浴室とした	⑧④⑤
8	勝手口	ワイドステップとして車いすでも移動可能とした	①③④⑤
9	トイレ①	前面・側面からのアプローチが可能とし介助スペースを確保	⑨⑤
10	寝室	床をフローリングとして車いすでも移動しやすくした	⑩
11	トイレ②	夜間や調子の悪い時に寝室から利用できるトイレ	④⑤⑥

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面



改修後 平面図 S=1/100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居間からテラス	①	居間からキッチン
			
②	キッチンからテラス	③	トイレ
			
④	トイレ	⑤	浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	勝手口	⑧	居間から寝室
			
⑥	洗面脱衣室	⑩	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

片麻痺という障害が残る奥様と、山の際に建ちとても不便なところではありますがこの場所を終の棲家にしたいというご主人の思いで設計をさせていただきました。

介護保険制度と身障者の住宅改善助成制度(今はありません)の合わせて70万円助成制度を利用しました。

ご主人がアイデア豊富で改修後も奥様のために便利な用具を作ったりまた介護サービスを利用してゆったりとすごしておられます。

片麻痺と言っても両上下肢に偏った麻痺があるために残存能力を生かしながら建具の取っ手などにも配慮しながら進めていきました。





## 82(098)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	和歌山県紀の川市
------	----	-------	----------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  <input checked="" type="checkbox"/> その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日常生活の中で自力で行動しやすい工夫</div>
主たる工夫のポイント	家の中の段差を無くし手摺取付、建具を引き戸に変更など車椅子対応とする。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	136.70 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	35.27 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	87 歳 / ■男 □女
		家族	妻 87 歳、息子 67 歳、息子の嫁 65 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 ■要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り (心臓機能障害 3 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	無し	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

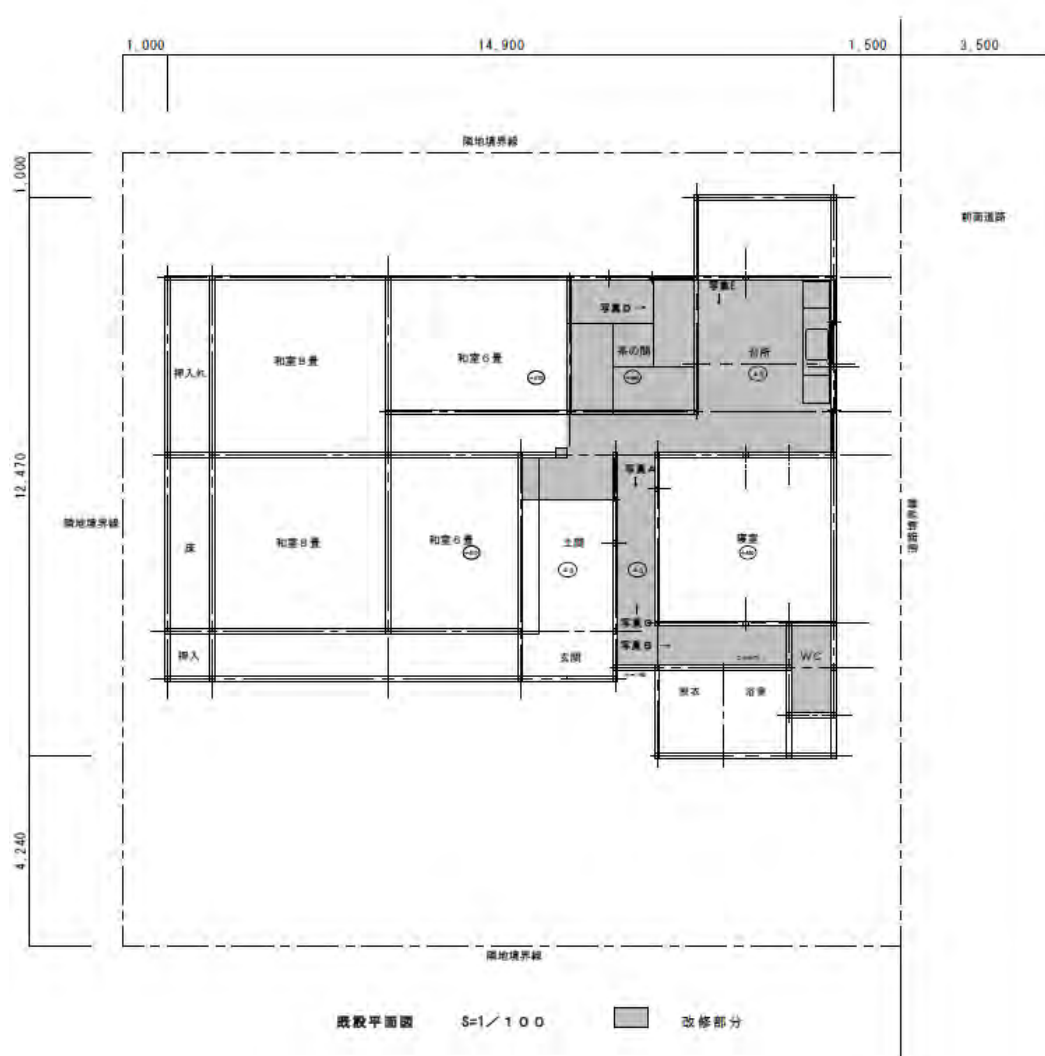
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	土間の台所に床を造って、広くして欲しい。	台所、茶の間
2	寝室から台所、便所へ行く間の段差をなくして欲しい。	廊下
3	玄関と廊下の段差を少なくして欲しい。	玄関
4	自力歩行を助ける手摺を付けて欲しい。	廊下、台所
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関・台所	土間をやめ床を造って欲しい。
2	廊下	寝室と廊下に段差がありすぎて危険。
3	台所	他との段差も問題だが、狭くて車椅子の使用が出来ない。
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



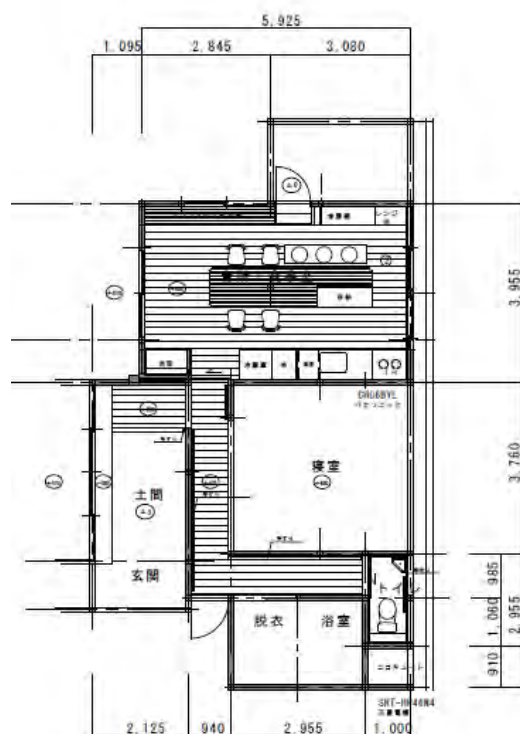
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関・廊下	ホール、廊下に床を造り他との段差を無くした。	④②①
2	廊下	手摺を設けた	④
3	台所	茶の間と一体にして広くし、建具を引戸にして車椅子対応とした。	④
4	便所	廊下との段差を無くし、建具を引き戸とした。	④
5	洗面	台所の一部に洗面を設置	④
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	既設廊下（正面は便所の扉） 写真 B	②	改修後廊下 写真 A
			
③	改修後廊下（正面は台所） 写真 C	④	改修後便所 写真 B
			
⑤	既設台所（右は茶の間） 写真 E	⑥	改修后台所 写真 D
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

最初、ケアマネジャーのアドバイスで手すりだけを付ける予定だったそう。それだけでは実際の生活改善は出来ないで、介護のしやすいようにと共に暮らす息子夫妻の老後も考えた改修にした。  
要介護の程度や今後の生活変化などを総合的に考えた改修が必要となるので、設計者だけの判断だけではなくケアマネジャーや医療関係者等との連携が必要だろう。





## 83(074)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 対象者の安全確保 ）
主たる工夫のポイント	全盲の夫が家屋内で安心して移動できること 変形性膝関節症の妻が玄関アプローチの段差で感じるひざの痛みが軽減されること

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2013 年／概ね 14 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	8 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		2 階
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター■その他（ 社会福祉士 ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	84 歳／ ■男 □女
		家族	妻 75 歳、娘、娘婿、孫
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り(□親 ■配偶者 □息子 ■娘 ■子どもの配偶者 ■孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 ■要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	視覚障害者2級 ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	心筋梗塞・不安定狭心症・心原性脳梗塞	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用) 伝い歩き
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用(■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り ■無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

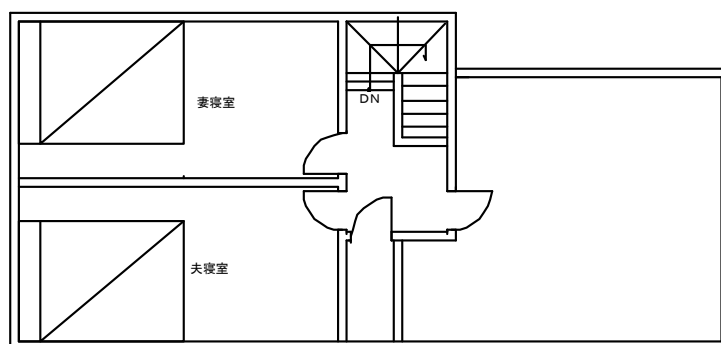
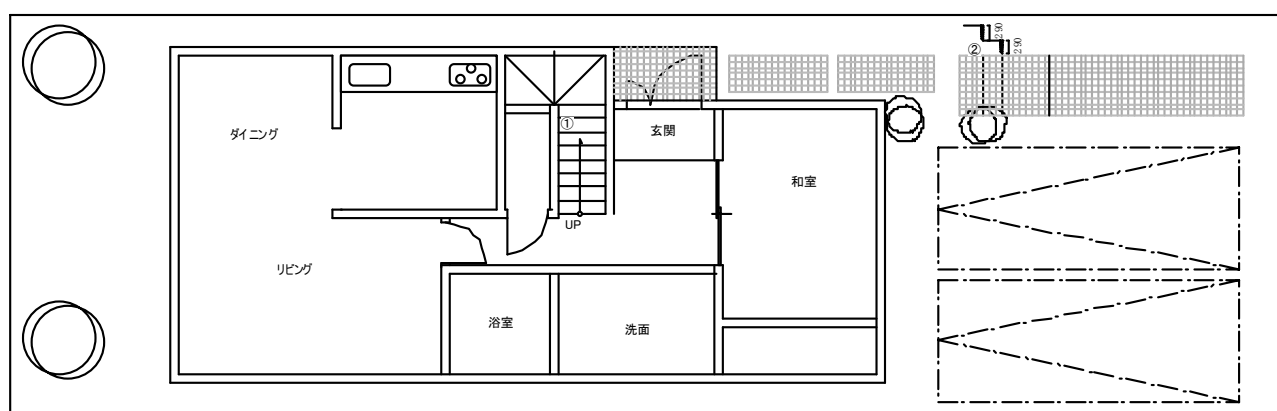
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	階段の安全性を向上させたい	階段
2	玄関アプローチの段差を通過する際の負担を少しでも軽減させたい	玄関アプローチ
3		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	階段	視覚障害者の夫は現在階段数や回り込みの場所を把握し上り下りしているが、下肢筋力が低下してきたため手すりを設置し、安全性を向上させたい。
2	玄関アプローチ	玄関アプローチに2段の段差があるが、妻はその段差を通過するために壁の天端に手を伸ばし支えながら上り下りしている。その恰好は不安定で、伸ばすのがつらくなっているため、手すりを設置し安全性や利便性を向上させたい。
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



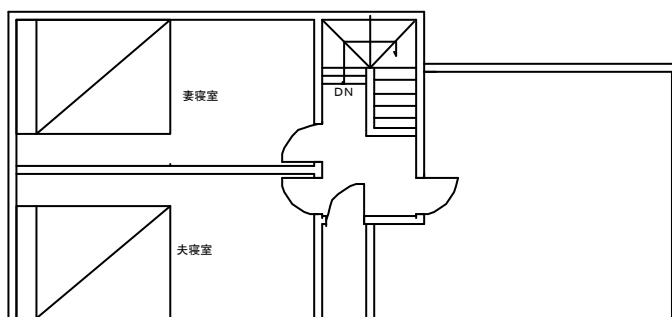
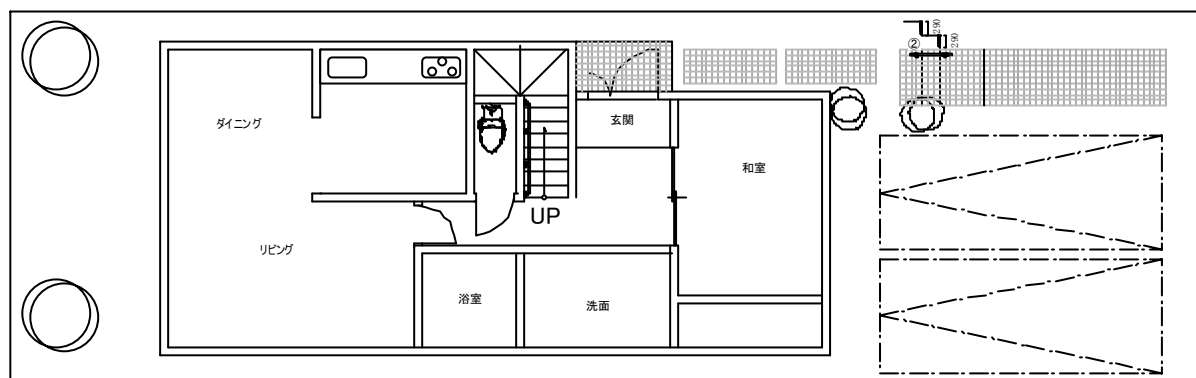
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	階段	視覚障害者の夫が、手すりを見つけやすいように、壁の面と手すりの面をそろえた	①
2	玄関アプローチ	柱幅が 500 mm と短い手すりのため、出端を長くしつかまりやすい形状にした。	①
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	階段	②	階段
			
③	玄関アプローチ	④	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 84(080)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	E邸	事例所在地	
------	----	-------	--

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（養護施設に入所中で住宅改修をし在宅生活に戻る ） 介護関係者が来やすいように、塀を壊して駐車場を増設。アプローチ段差解消。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2007 年／概ね 110 万円 外部工事費は約 110 万円 建物内を含めた全体工事費は 165 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		和室
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	88 歳／ □男 ■女
		家族	1 人
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		下肢筋力低下 日常生活不安定 ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他 (入浴サービス )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input checked="" type="checkbox"/> 杖利用、押し車使用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	南側和室3帖の間にベットを置き寝室とする。	
2	道路から玄関ポーチ、上り框、便所の段差解消	
3	来客、ヘルパーの駐車場確保したい	
4	道路から玄関、室内へと移動経路に手すりを設置したい	
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	エントランス・駐車場	手すり設置、スロープ、階段設置。（床豆砂利洗い出し仕上）
2	駐車場	土間コンクリート打設
3	前面道路	段差解消
4		

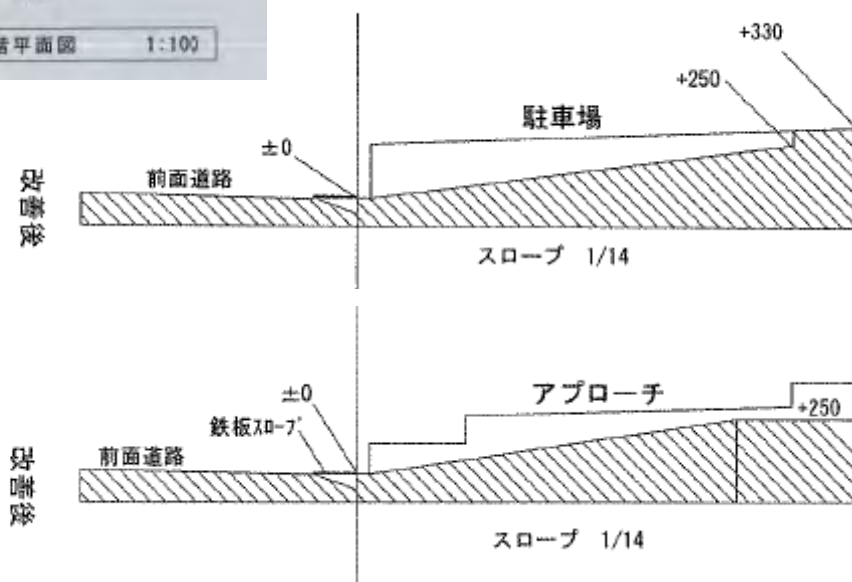
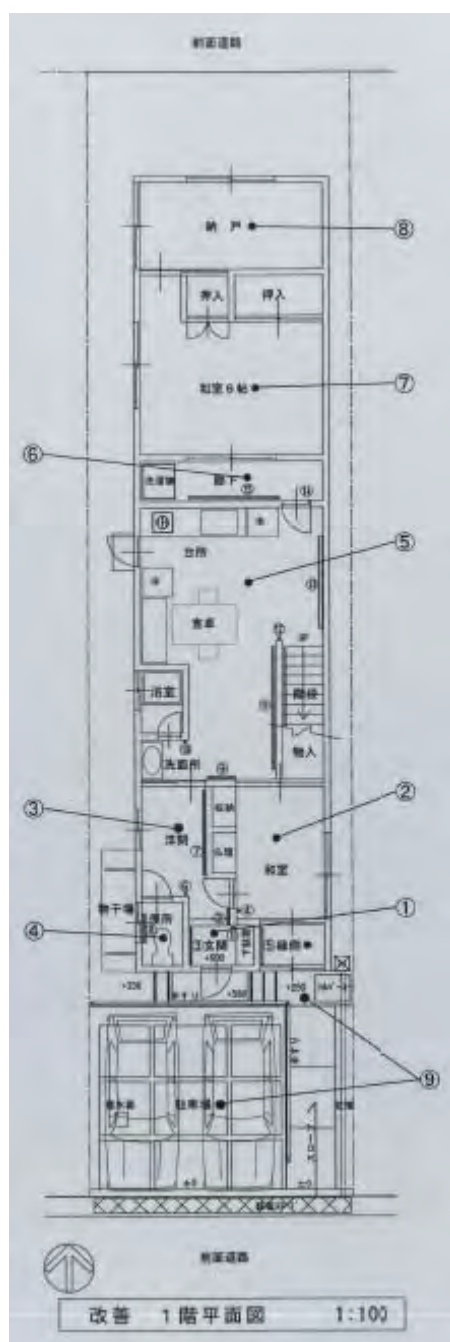
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	駐車場	介護関係者等のため、堀を撤去し駐車場を設置	
2	門扉	塀や門扉を撤去し、地域に対して開けた前庭に	
3	アプローチ	道路からの大きな段差をなくす。玄関ドア前まで 連続手すりを設置	
4	植え込み	花壇や植え込みで、潤いや安らぎ、生物とのふれあいを	
5	洗濯干場	建物西側通路に洗濯干し金物を取り付け	
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	門扉、塀（前）	②	玄関（前）
			
③	駐車場	④	駐車場
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 85(002)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	A 邸	事例所在地	北海道江別市
------	-----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> <input checked="" type="checkbox"/>対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  <input type="checkbox"/>ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  <input type="checkbox"/>対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 </div> <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（対象者が室内を安全に移動できる工夫）
主たる工夫のポイント	安全に移動ができる 改修に家族が参加する（出来るところは家族で）

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	159 m <sup>2</sup> ／ 地上2階建 地下1階
	工事実施年／工事費用	2011 年／概ね 36 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター ■その他（ MSW ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	67 歳 / ■男 □女
			家族	妻 68 歳、娘 30 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援1 ■要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		脳出血による左上肢機能の全廃 (2 級) および左下肢機能の著しい障害 (4 級)  (1 種 2 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		脳出血	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input checked="" type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input checked="" type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（   ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（   ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（   ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

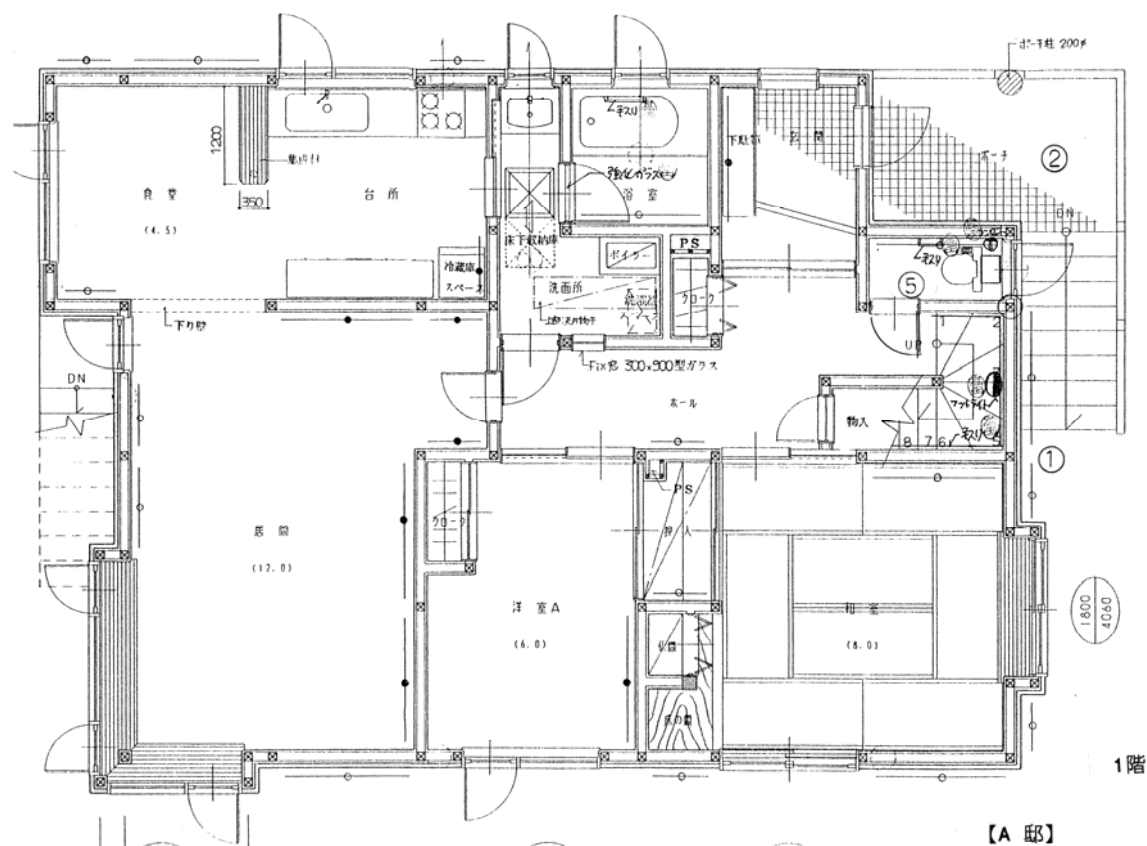
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしで室内を移動したい。	廊下、洗面所、浴室、 トイレ
2	寝室が2階にあるため階段の昇降が困難。	寝室
3	できれば介助なしで2階に上がりたい。	階段、廊下
4	できれば介助なしで外出したい。	玄関、屋外階段
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

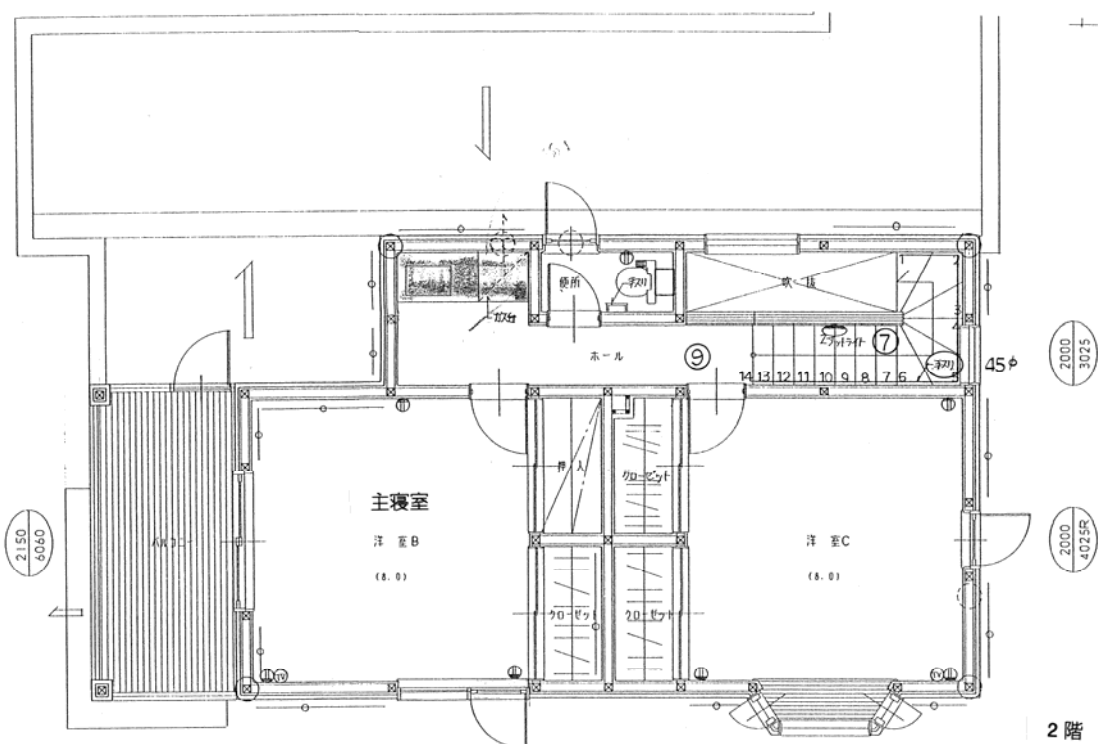
番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	屋外階段	つかまるところがないので、安全に昇降できないためひとりで外出ができない。
2	玄関	上がり框の段差があるので安全に移動できない。 玄関ドアの開閉時につかまるところがない。
3	廊下	居間からトイレに至るところやドアの前につかまるところがないので、安全に移動できない。
4	浴室	出入口～洗い場につかまるところがないので、安全に移動できない。
5	トイレ（1, 2階）	既存の手すりが太くて握りづらいし、手すりが足りない。
6	階段	既存の手すりが太くて握りづらいし、途中で切れているので、安全に昇降できない。段鼻の蹴込み（ころび）に麻痺足の装具がひっかかり、自力で昇ることができない。
7	寝室	2階にあるため階段の移動負担が大きい。
8		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

◆ 1 階平面図「改修前」



◆ 2 階平面図「改修前」





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

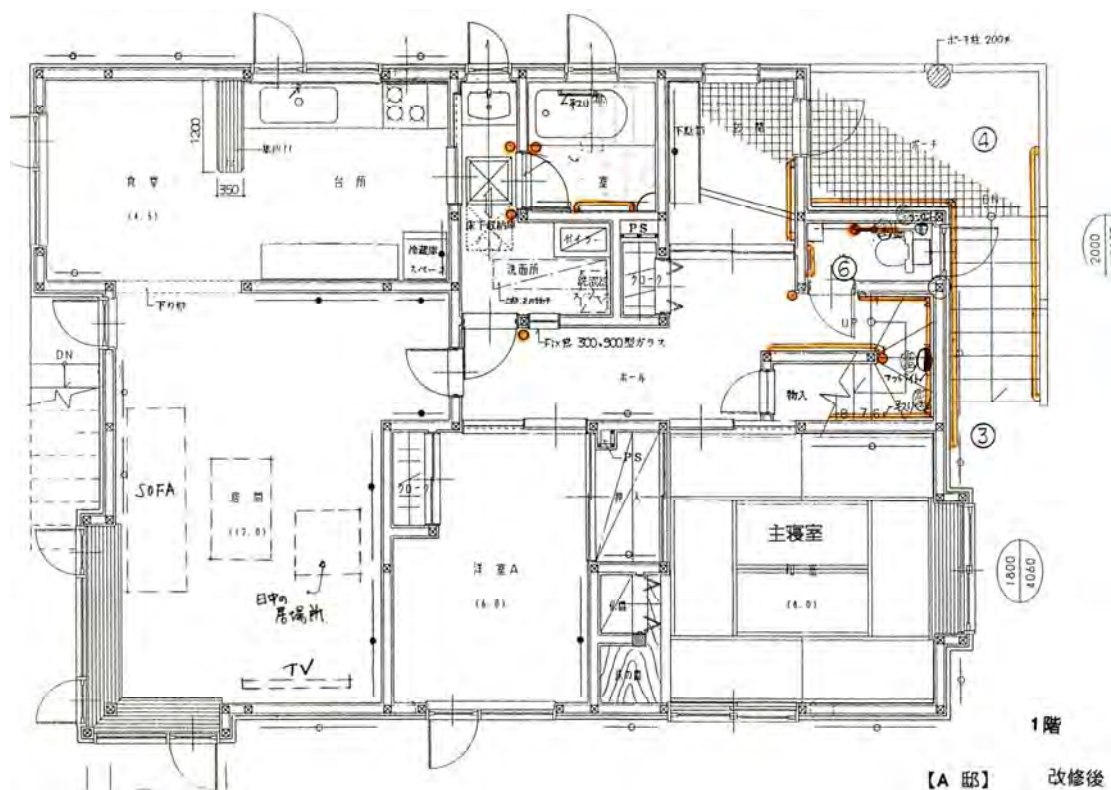
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	屋外階段	昇降時に健側で把持できるよう両側に連続手すりを取り付けた。	⑤
2	玄関	安全な移動ができるように屋外は階段から玄関ドアまで手すりを延長して取り付けた。 玄関上がり框の位置に横手すりを取り付けた。	⑤
3	廊下	安全な移動ができるように階段の延長線上に手すりを取り付けた。 ドア開閉時の転倒予防のため、手すりを取り付けた。	⑤
4	浴室	安全な移動ができるように、浴室の出入りから洗い場までに手すりを取り付けた。	⑤
5	トイレ（1, 2 階）	安全な移動ができるように、手すりを取り付けた。	⑤
6	階段	昇降時に健側で把持できるよう両側に連続手すりを取り付けた。 段先の蹴込み部分に装具が接触しないように板で塞いだ。	⑤
7	寝室	1 階の和室（8 帖）に移動した。	⑤
8			

### ※工夫分類

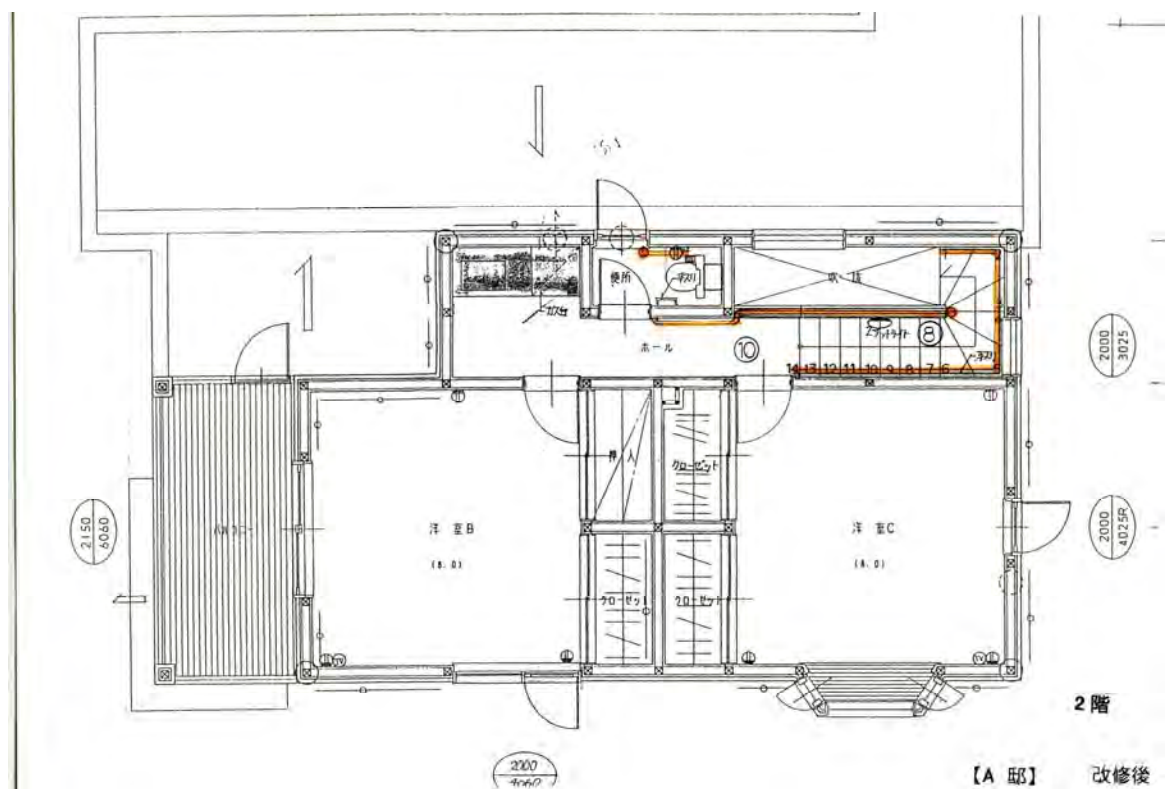
- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

◆1階平面図「改修後」



◆2階平面図「改修後」



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	屋外階段	②	屋外階段
			
③	屋外階段	④	屋外階段
			
⑤	トイレ	⑥	トイレ
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	階段	⑧	階段
			
⑨	階段	⑩	階段
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

対象者はアクティブな方で、町内会の役員をしたり、スポーツが好きで家族でスキーをしたり、地域の友達とパークゴルフを楽しむ方でした。入院中も積極的にリハビリに励んでいました。家族関係もよく、すでに独立している二人の息子も父親のことを気遣っていました。2階にある寝室には家族と一緒にスキーをしている写真などがたくさん飾ってありました。町内会活動の資料やパソコンもあり、寝室はこのまま使っていただくほうがいいのか迷いましたが、階段昇降の負担と安全を考慮して1階に移動しました。リハビリも兼ねて2階にも行けるように、階段の両側に連続した手すりを取り付けました。階段の段先に麻痺足（装具）がひっかかり上がれないことが判明し、一時帰宅の折りに段先の蹴込みを簡易的に塞いでもらって試してもらうよう、息子さんに手伝ってもらうことにしました。結果、スムーズに上がれることが分かりました。この部分の工事費用は介護保険の工事内容に該当しないので、ホームセンターで手に入る材料でできる方法を伝えて実行してもらいました。家族が改修に参加することで、対象者の意欲につながり、改修費用の負担軽減にもなると考えました。

退院後は毎日の散歩を欠かさず、現在はひとりで電車（JR）に乗って外出できるまでになりました。

## 86(047)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	島根県出雲市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	バリアフリー

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	495 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 2,100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	77 歳／ ■男 □女
		家族	妻 75 歳、息子 40 歳、息子の嫁 35 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

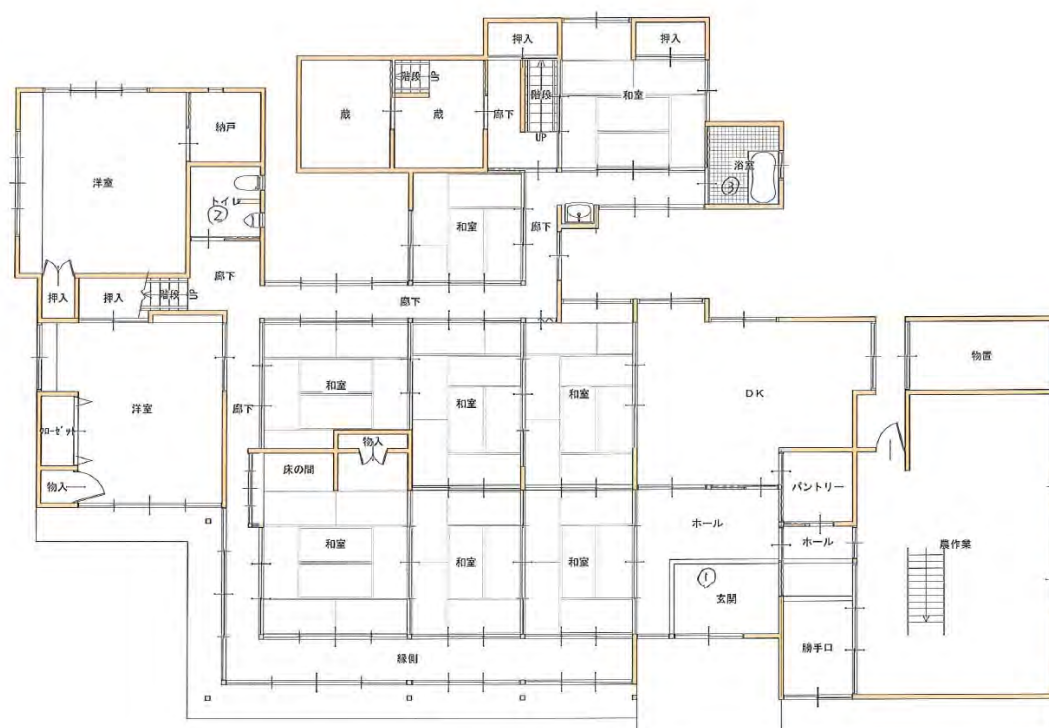
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	室内での転倒の防止	玄関 LDK トイレ
2	ヒートショックの防止	LDK トイレ 浴室
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	玄関ホールから土間に降りるのに敷台、土間と段差があり、高齢化が進んだ場合は自力での外出が困難になる。
2	トイレ	トイレまでの経路で温度差が発生しやすいため温度差の緩和が必要である。
3	浴室	浴室入口で段差が230 mmあり高齢になると事故の発生が考えられた。また、手摺なども無いため転倒の恐れもあった。
4		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	手すりを設置。	⑤
2	LDK	手すりを設置。	⑤
3	トイレ	LDK と廊下境建具の開け閉めにより LDK から温度差が少ない状態でトイレに行けるよう設計。トイレの幅を広くとり車椅子でも入ることができ介護が出来るように配慮した。手すりを設置。	⑤
4	浴室	LDK と廊下境建具の開け閉めにより LDK から温度差が少ない状態で脱衣場まで行けるように設計。浴室はバリアフリーにして、洗い場を広くとり介助が出来るように配慮してある。手すりを設置。	⑤
5	キッチン	IH クッキングヒーターとして安全に配慮。カランは医療用の物を使用して背が低い位置ものでも使用できるよう配慮してある。	⑤
6			

### ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	LDK
			
③	トイレ	④	浴室
			
⑤	キッチン	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

100 年以上経過した住宅であったので部屋毎に段差があり解消するのどこにレベルを合わせるかで考えました。また、どうしても解消が不能な場所等は、スロープを取ることで解消しました。

梁や、柱など古いが良質な材料が多数あったのでそれを活かしながらのリフォーム工事は快適な空間を作る上で考えなくてはならないことが多くありました。



# 87(051)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	N邸	事例所在地	広島県広島市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（今後の身体能力低下に備えた工夫）
主たる工夫のポイント	建物内における移動時の安全性

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	114.2 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 23 年／概ね 200 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	40.11 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	82 歳／ □男 ■女
		家族	娘 57 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	高血圧症	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

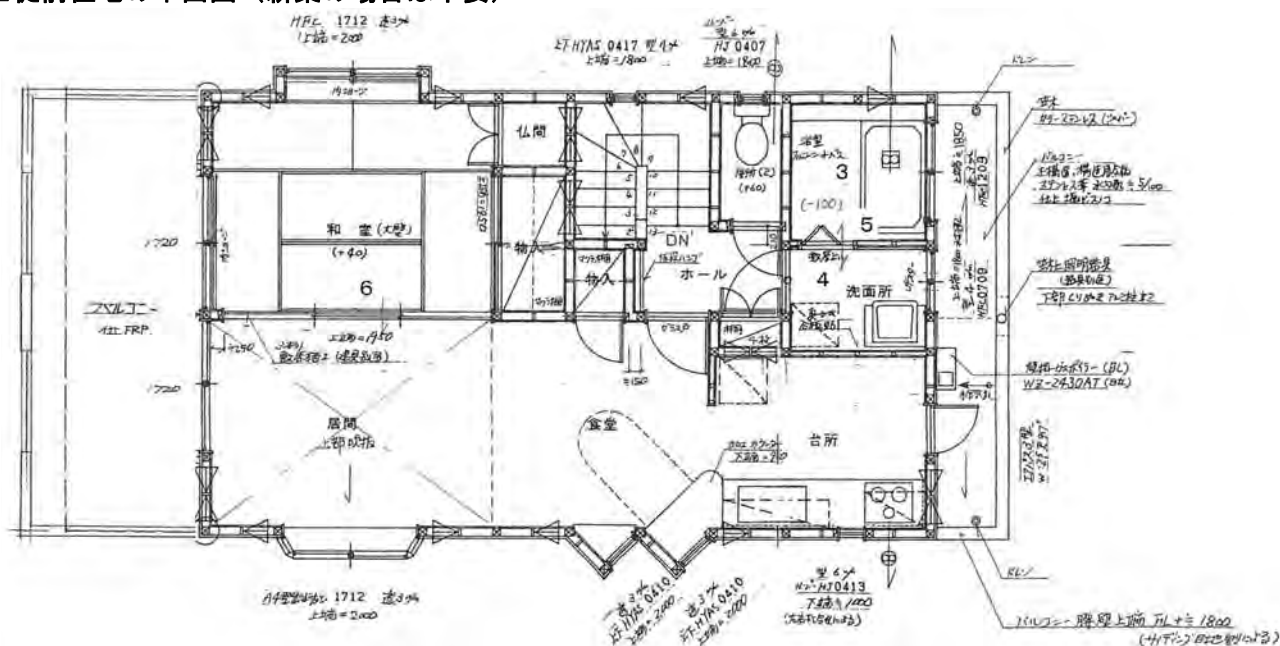
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	LDKが2階のため、安全に上り下りしたい	階段
2	夜間トイレに行くとき、足元だけ明るくしたい	廊下
3	冬季の入浴時、浴室に入る時の寒さを解消したい	浴室
4	浴室入口の段差につまずく	浴室
5	浴槽に入りにくい	浴室
6	リビングと隣接する和室の段差につまずく	リビング、和室
7		

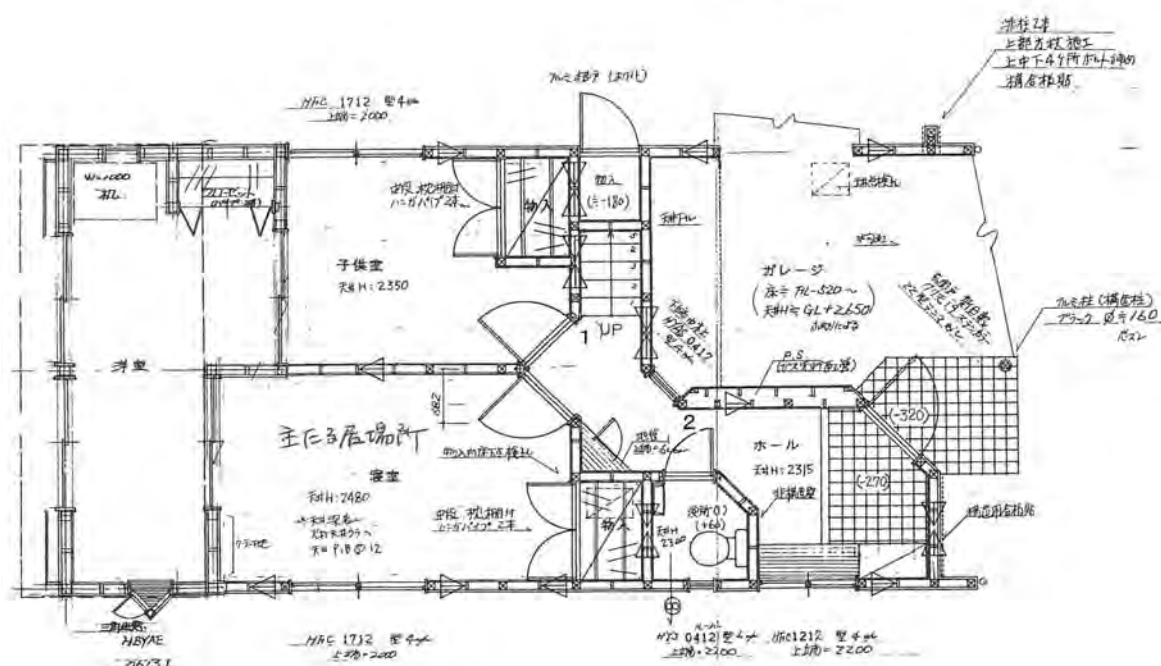
## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体的課題・問題の内容
1	階段	手摺がないため、昇降しにくい
2	廊下	寝室からトイレまでの間に足元灯がない
3	浴室	暖房装置がないため、入浴時の温度差が負担となっている
4	浴室	浴室が二階に配置されているため、洗面所と浴室はまたぎ越さなければならない
5	浴室	手摺が付けられていないため、浴槽への出入り時体が不安定になる
6	和室	リビングに隣接する和室に 40 mm の段差があり、つまづく危険性がある

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



改装前 2 階平面図



改装前 1 階平面図



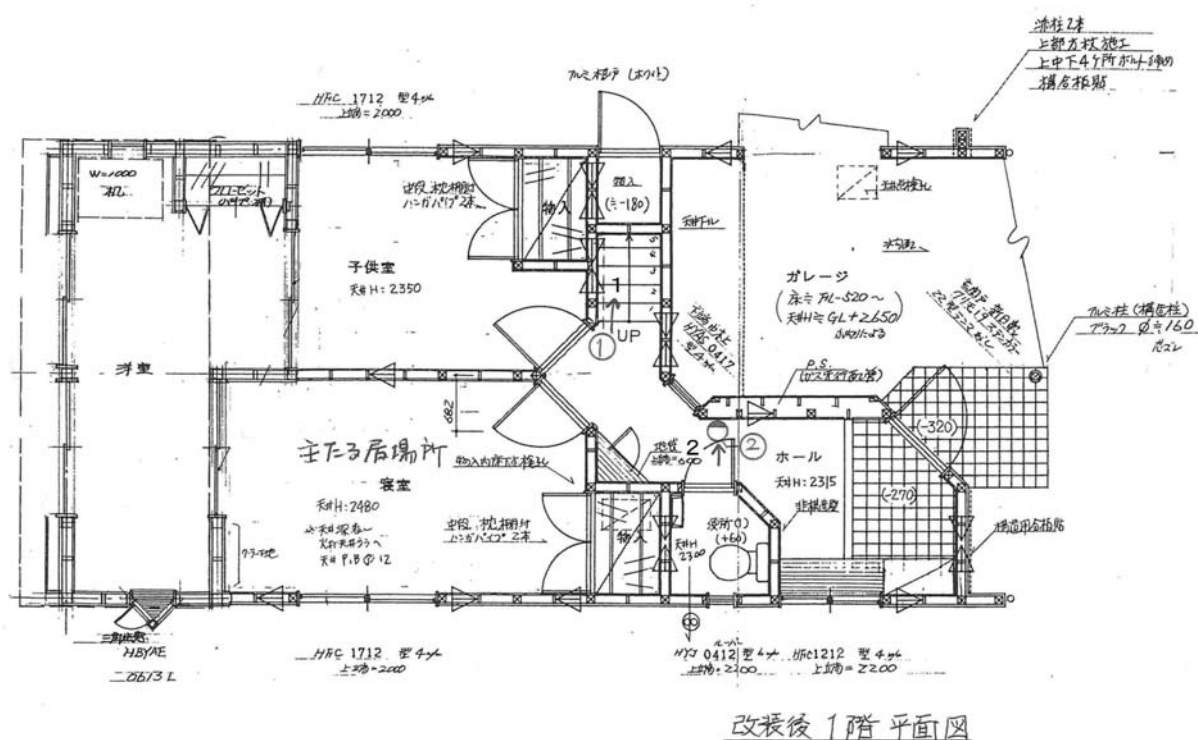
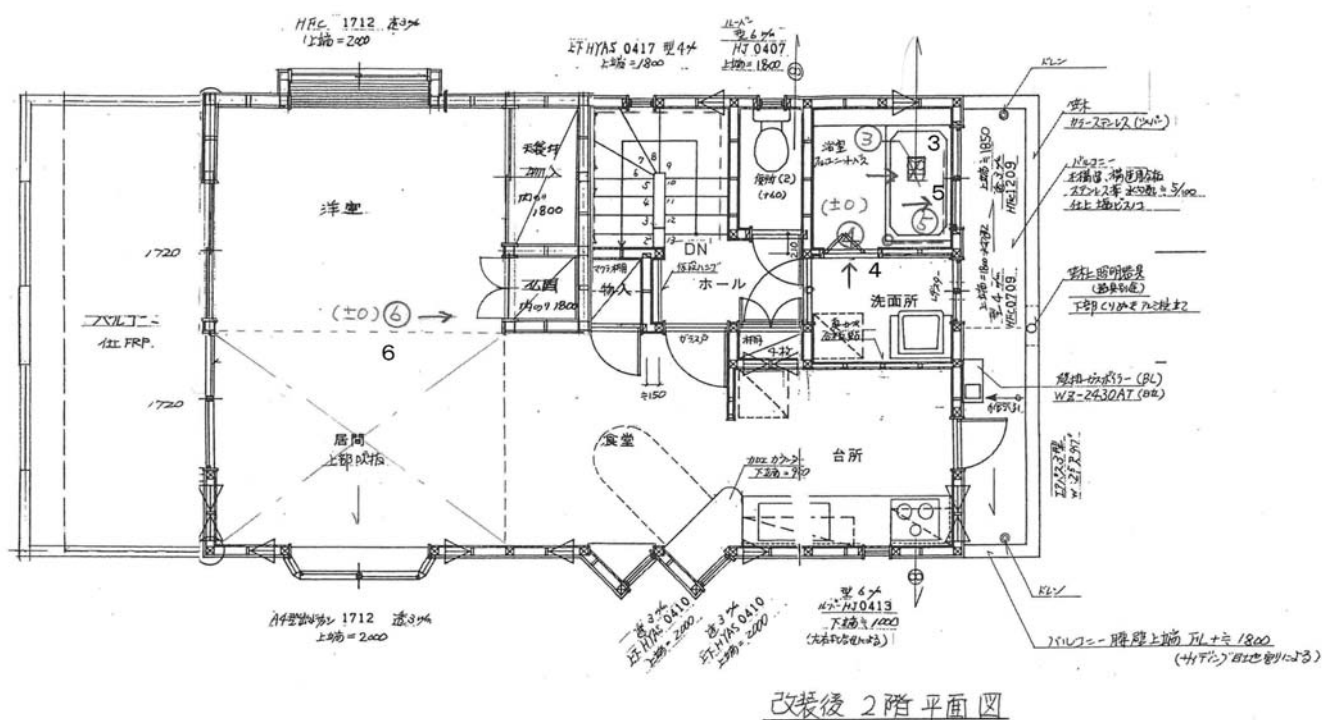
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	階段	階段に対象者の身長に合わせて手摺を取り付けた	⑥
2	廊下	トイレの出入り口正面に足元灯を設置した	⑥
3	浴室	即時暖房が利くよう、ガス式浴室暖房乾燥機を設置した	⑥
4	浴室	1階と2階との懐の関係で、洗面所と浴室の段差は解消できなかったが、出入り口と浴室床との段差はなしとした	⑥
5	浴室	浴槽出入りと立ち上がりの安全を考え、出入口と浴槽横に手摺を設置した	⑥
6	リビング、和室	和室の段差を取り払い洋室に変更し、リビングを広げることとした	⑥

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	階段手摺	①	廊下 足元灯
			
②	浴室 暖房乾燥機	③	浴室 段差解消
			
④	浴室 手摺	⑤	和室 段差解消、洋室変更
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

和室の段差解消のため洋室に変更する際、LDK 部分は現状の床材の上に新床材を施工したため、建具、階段上がりきりのおさまりが問題となった。建具は、現状のものをカットし、階段部は、L 字ノンスリップを使用した。最上段のみ蹴上寸法が床材の厚み分高くなった。

階段の手摺取り付けの際、対象者の使いやすい高さ（階段踏み面より 620 mm）には下地がなく、下地の板を打ち付けての取り付けとなった。

## 88(052)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	広島県福山市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> 共同建て <input checked="" type="checkbox"/> その他（歯科医院併用）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	181.89 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 340 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	9.61 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input checked="" type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階ＬＤＫ
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	88 歳／ □男 ■女
			家族	息子 63 歳、息子の嫁 62 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		無し ( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		無し	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	将来的に介護が必要になった際に洗面・脱衣、浴室が利用し易いように	廊下、洗面・脱衣、浴室
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	廊下～洗面・脱衣	段差が 140mm あり、扉が外開きの為に廊下へ支障をきたす。
2	洗面・脱衣所	躯体が ALC の為、P、B 直貼による断熱性が無く（床も同様）冬場は衣類の脱着時に体温低下をおこす。窓からも冷気の侵入。
3	浴室	脱衣所から 100mm 下がる段差に加えタイル貼の為に寒い
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	廊下～洗面・脱衣所	脱衣所の床組を下げ段差解消をし、ドアを片引き戸に変更した。	⑤
2	洗面・脱衣所	壁・床下には断熱材を入れ、窓には内付樹脂サッシを取付けて床材には12mmのコルクを使用した。洗面台は車椅子にも対応可能な物を採用	④
3	浴室	出入口は片引戸とし段差解消の上、腰掛けのあるシステムにした。	⑤
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	廊下～洗面・脱衣所	②	洗面・脱衣所
			
③	浴室入口	④	浴室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 89(053)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	山口県下関市
------	----	-------	--------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（段差移動、また入浴・排便の際の安全のための工夫） 安全な移動の確保。浴室・WCでは 福祉用具の活用をする

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	110.97 m <sup>2</sup> ／ 1 階建(2F物置あり)
	工事実施年／工事費用	H24 年／概ね 20 万円(介護保険 住宅改修工事適用)
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		板の間2(昼間) 寝室(夜間)
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 80 歳／ □男 ■女 家族 夫 77 歳、娘 49 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り(□親 ■配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 ■その他)
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 ■要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	変形性膝関節炎 メニエル氏病
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用(■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用(■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ ■その他（ ウォシュレット付補高便座、浴室用 シャワーチェア ）

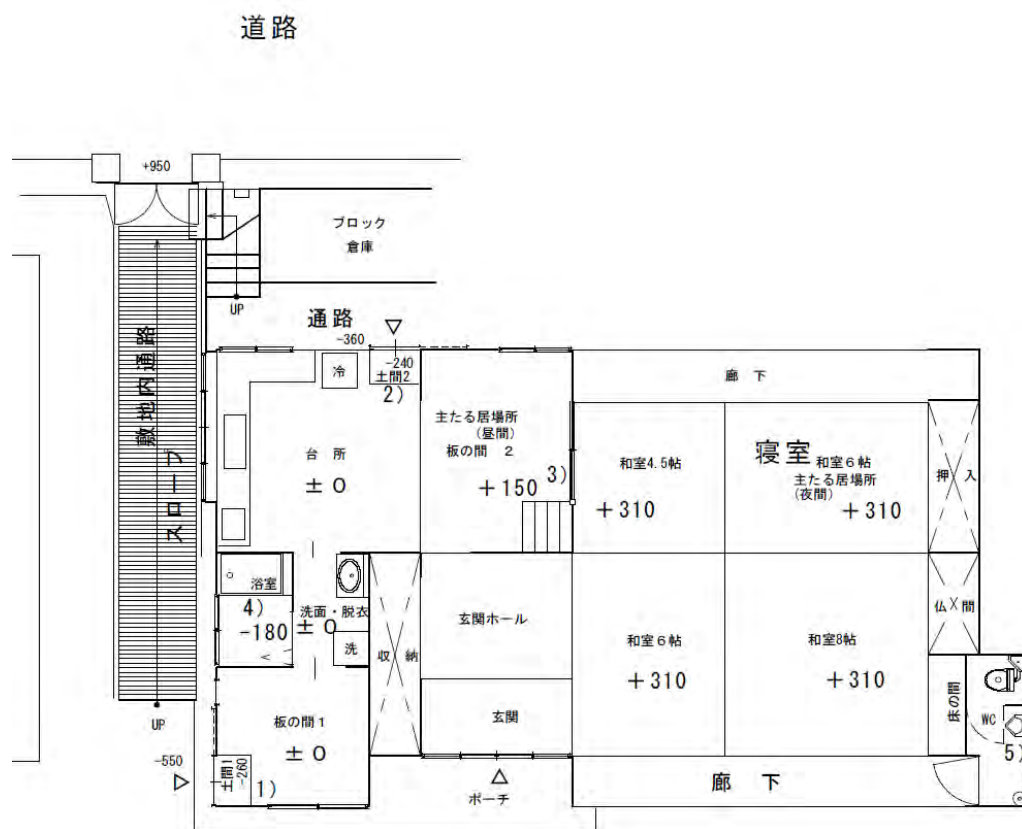
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	室内段差部分での移動の際、杖だけでは不安	住宅内段差部全般
2	入浴の際の移動・立ち上がりで転倒しかけた。安全に入浴したい。	浴室
3	トイレ内での移動・立ち上がりに不安。	WC
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体的課題・問題の内容
1	板の間 1	段差が 260 mm あり、配送便等の業者はこちらを利用するため、カギを開ける時、段差が危険。
2	台所	段差が 240 mm あり、倉庫などへの移動に危険。
3	板の間 2	段差が 150 mm あり、和室との移動の際危険。
4	浴室	段差が出入り口に 180 mm。また、移動や立ち上がりに扉、給水栓やタオル掛けなどを支えている。（タオル掛けはビスが抜けかけ、浴室扉は故障していた。）
5	WC	板の間 2・寝室等普段の居場所から遠い。やっと辿り着いて、タイル床を杖歩行するのは大変で、便器が低いため立ち上がりに力を入れると、膝が痛む。内扉も開けにくく、入りにくい。
6		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



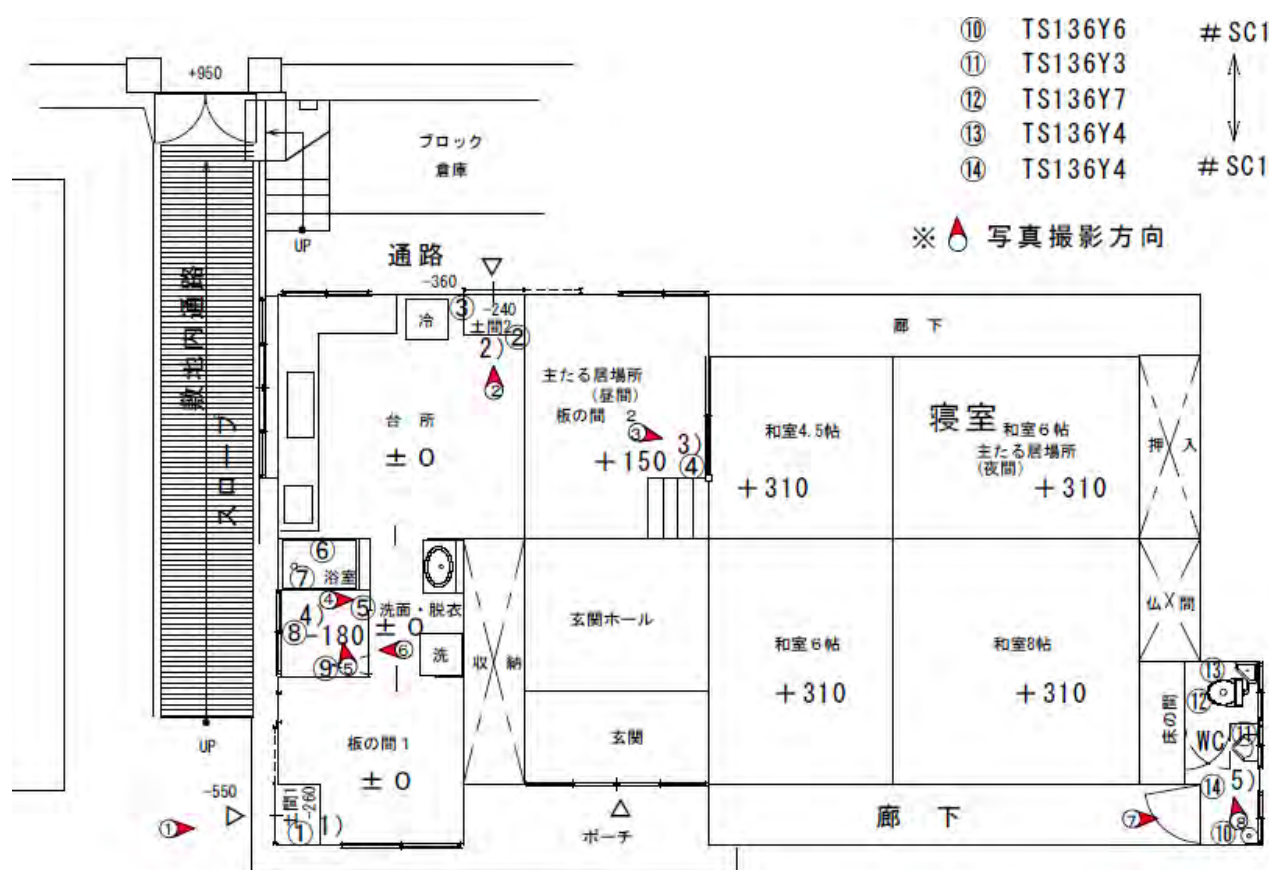
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	板の間 1	身体保持用に横手摺①を設置。	⑥
2	台所	身体保持用に横手摺②、床に座って履物を履き、立ち上がる際に使用する縦手摺③を設置。	⑥
3	板の間 2	身体保持用に柱に出隅ﾌﾞﾗｯｸで縦手摺④を設置。	⑥
4	浴室	移動・立ち上がりのために⑤～⑨の手摺を設置。浴室での福祉用具(シャワーチェア)の利用と合わせて、安全性を確保。	④ ⑥
5	WC	便器への移動を考慮した手摺⑩～⑭までを設置。福祉用具の補高便座の利用と合わせて使用。また、使い勝手良く、移動をスムーズにするため、内扉の吊元変更をした。	④ ⑥
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	板の間 1 土間	②	台所 土間
			
③	板の間 2 段差部 手摺 ④	④	浴室 扉横 手摺⑤
			
⑤	浴室 手摺 ⑥～⑧	⑥	浴室 手摺⑦～⑨
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	WC 手摺①	⑧	WC 手摺⑪～⑭
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



# 90(055)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	山口県山口市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	今すぐ必要な手すりと将来も有効に使える必要最小限の手すりの設置

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	170 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 20 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 70 歳／ □男 ■女 家族 夫 75 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 ■要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	転倒による右手の骨折
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input checked="" type="checkbox"/> その他（シャワーチェア）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助無しで外出したい	玄関
2	建具の開閉時の安全確保と自分のことは自分で！自立のため。	寝室・洗面所・便所
3	安全な移動と家事動線の安全の確保	階段・ランドリー、勝手口
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	上り框、式台の段差を手すりでクリアする
2	寝室・洗面所・便所	建具の開閉時、出入り口での転倒防止と自力での動作補助
3	階段・ランドリー、勝手口	移動時の安全と自力で家事をしたい
4		

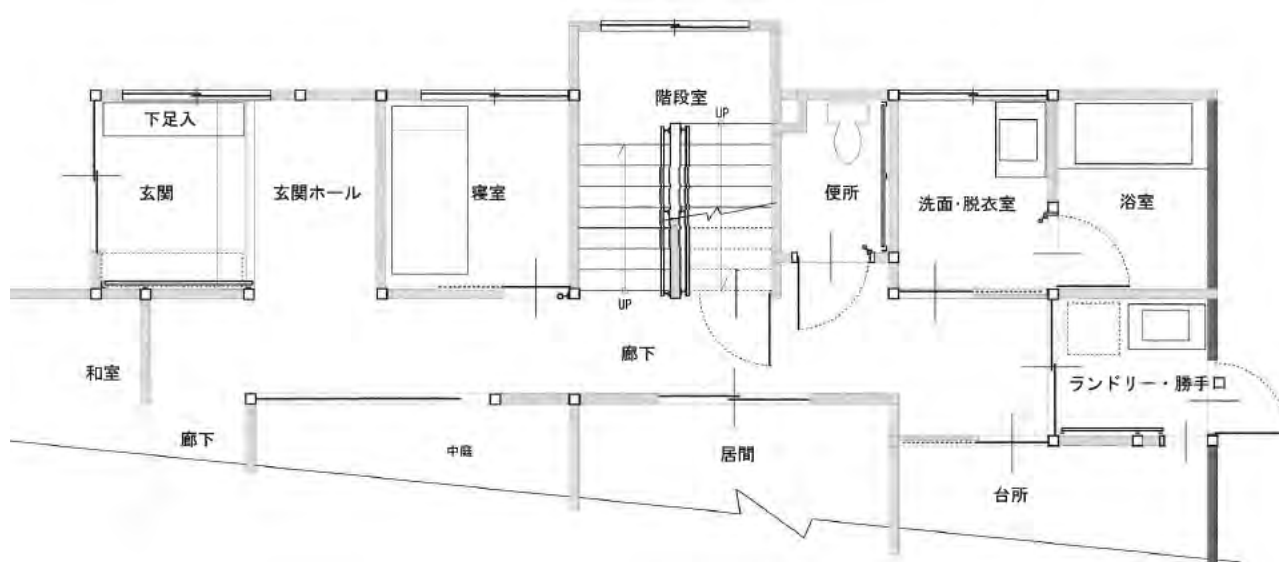
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	本人の身体状況に合わせた位置と高さ。来客者への配慮。	①
2	寝室・洗面所・便所	本人の身体状況に合わせた位置と高さ。自力で移動。	⑤
3	階段・ランドリー、勝手口	本人の身体状況に合わせた位置と高さ。自力で移動・家事。	⑤
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			



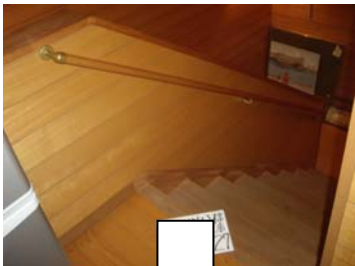
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	寝室・洗面所・便所
			
③	階段・ランドリー、勝手口	④	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

住み慣れた我が家の階段での突然の転倒事故。利き手を骨折してしまったため、日常生活がままならない。頼れる人はいない。何とかならないかと包括支援センターに相談。

介護認定が降りるか降りないか・・・たぶん降りるだろうと、代理のケアマネージャーの言葉で施主より住宅改修のための現場立会日の調整の電話があった。

そして、現在とこれからの自立のための、住宅改修では当たり前に見える手すりの設置という必要最小限の改修が提案された。

ハード面でもソフト面でも施主にとっては「これで、いきなり日常生活には戻れないけれど・・・不自由だけどとりあえず日常生活ができるかも。」という自信につながる。

なんとなく・・・車椅子になったら・・・とか、介護が必要になったら・・・とか、「訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい住宅改修をしてくださいと。」など・・・

設計の依頼は自分がそういう立場にならなければ必然としては対象の項目にならないと思う。



# 91(081)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	I 邸	事例所在地	
------	-----	-------	--

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（腰痛の為、和式便所を様式に変更、同時に耐震改修も実施 ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2008 年／概ね 270 万円 (工事費 160 万円／内補助金 60 万円) 同時期に木造耐震改修も行った (113 万円／内補助金 60 万円)
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	75 歳／ ■男 □女
		家族	妻
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要    ■一部介助 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の通所系サービスの利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り    ■無し
	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り    ■無し
	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類		<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	便所 w p 和式から様式にし、楽に安全にしたい	
2	床の小段差を解消し、躓き防止	
3	浴室の床を滑りにくく安全にしたい	
4	寝室を2階から1階に変更しベッドを置きたい	
5	洗濯が近くで安全にできるようにしたい	
6		

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

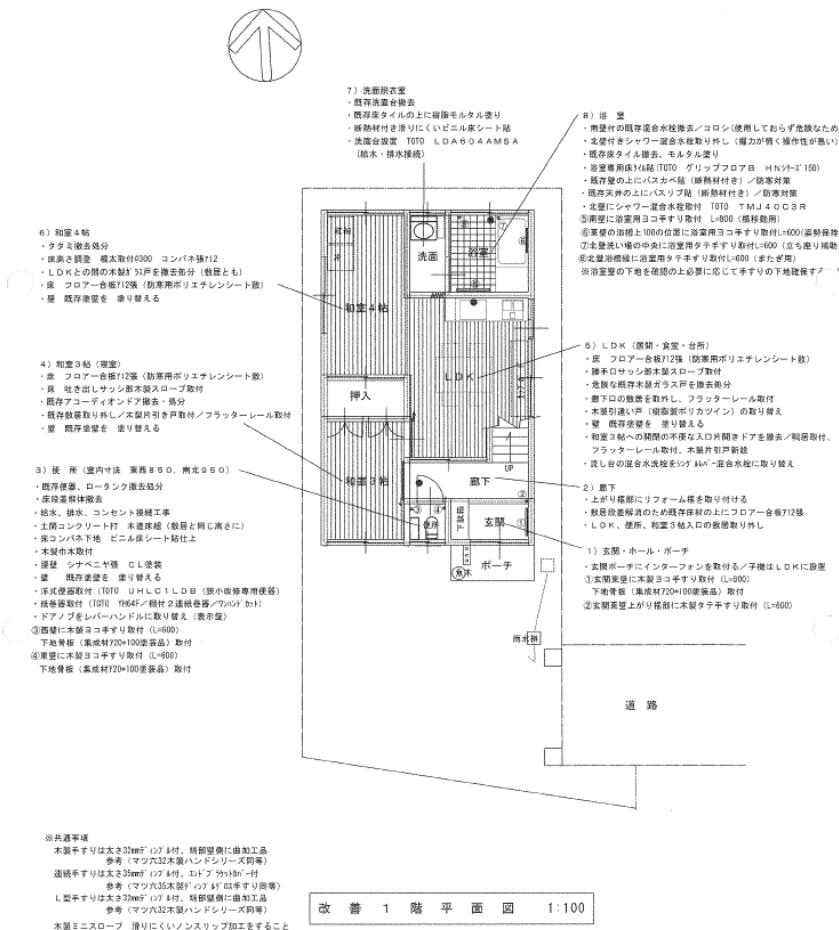
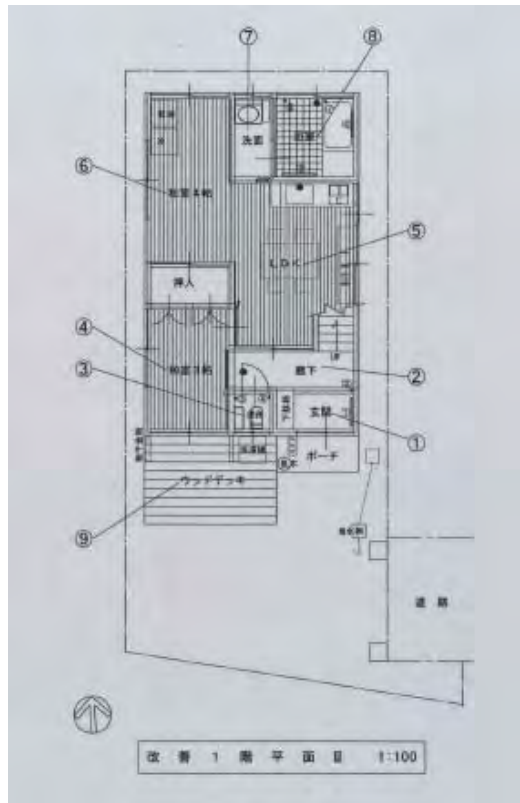
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	インターホン取り付け、手すり取り付け	
2	廊下	廊下と各室との敷居段差解消のため、フローリングを上張り	
3	便所	両用便器（汽車便）を、狭小用の腰掛式便器に取り替え、手すり取り付け	
4	台所	流しの握り玉式湯水2水栓をシングルレバー混合水栓に取り替え	
5	洗面所	床タイルを、冷たくないクッションフロアに貼り替え、洗面台取り替え	
6	浴室	寒い浴室壁に断熱壁材を張り、手すり取り付け、混合水栓取り替え	
7	和室	タタミ敷をフローリングに張り替え、日当たり確保のため、建物南側の物置（木造平屋）を解体撤去	
8			

### ※工夫分類


- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	玄関
			
③	玄関	④	玄関
			
⑤	トイレ	⑥	浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	台所	⑧	
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。





## 92(091)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	群馬県
------	----	-------	-----

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		2階居室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（施行者 ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	68 歳／ □男 ■女
		家族	無し
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

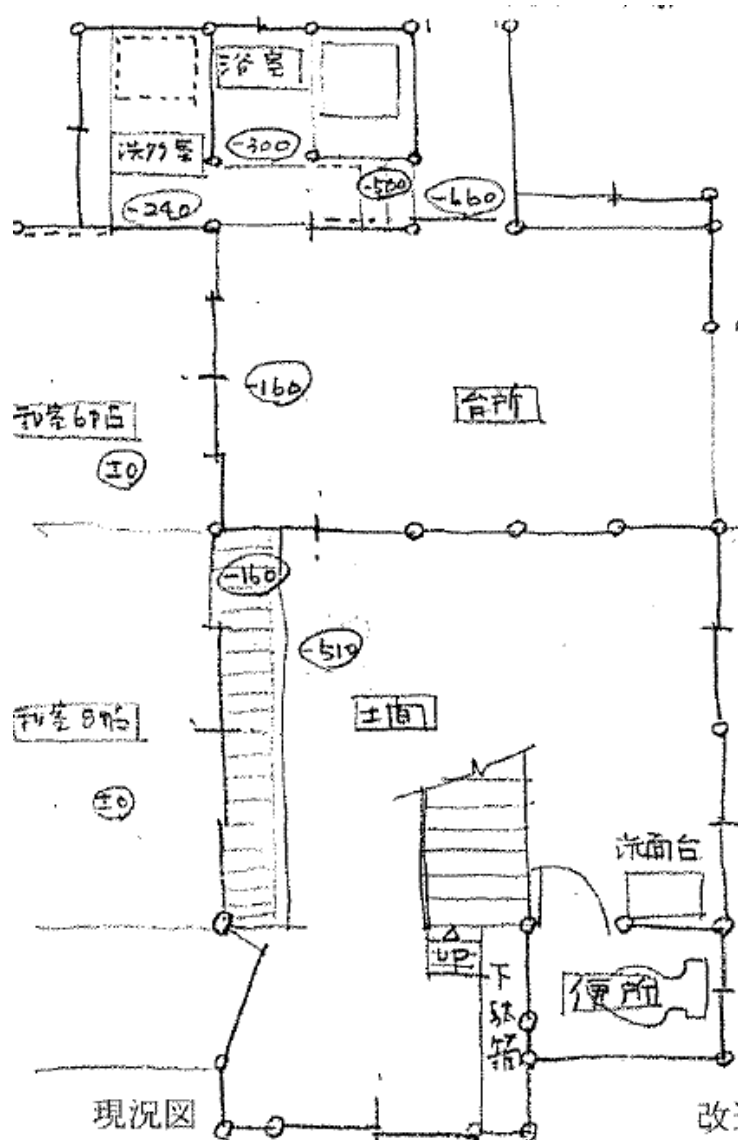
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	土間を経由せず直接トイレに行きたい	
2	住宅の床高がまちまちなのを解消したい。	
3		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	玄関土間床を台所高さまで上げる
2	玄関	土間の東、便所の並びに浴室、洗濯室を持ってくる
3	台所	台所と和室との間に通路分のスロープ台を作る
4	玄関	下駄箱を外す。
5		

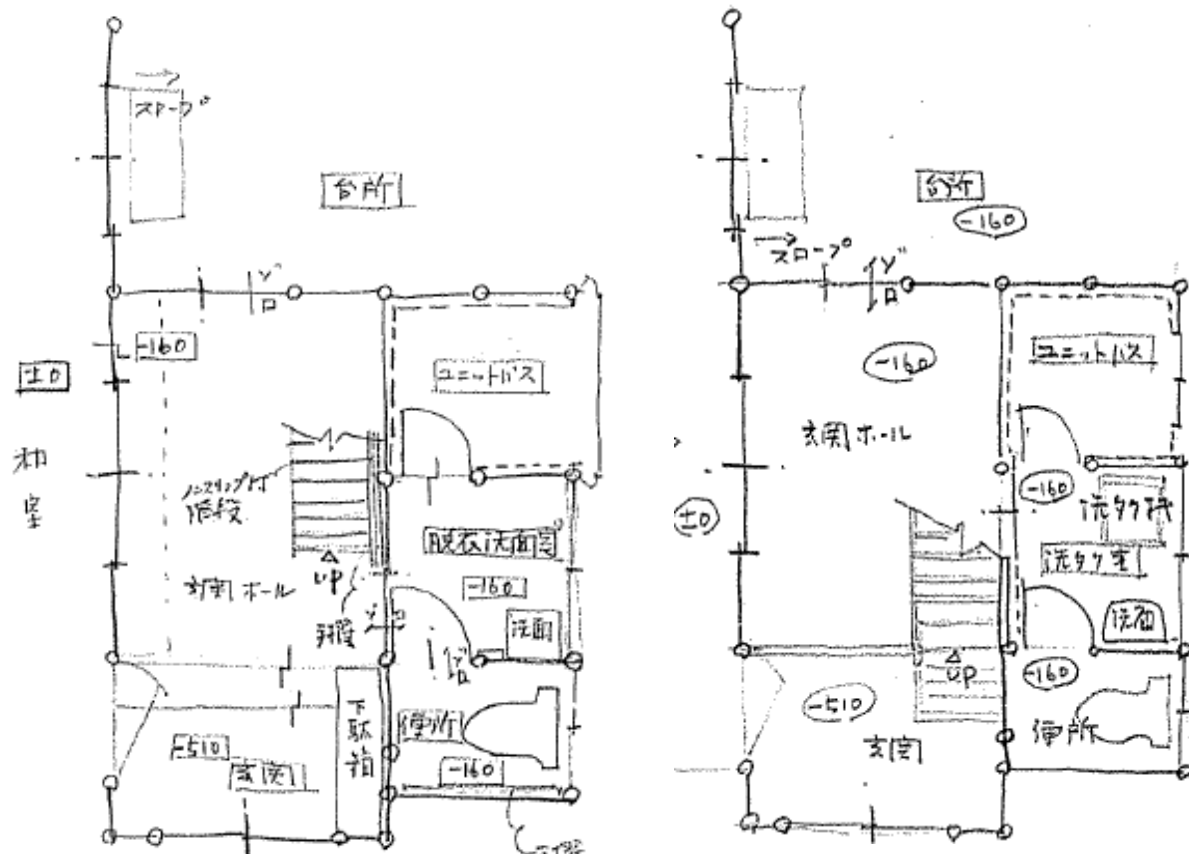
## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



# 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	土間を無くし、台所と玄関ホールを平らに。そこから脱衣洗面室、便所、ユニットバスに続く。	
2	階段	階段を北に移動。手すり、ノンスリップつき階段	
3	脱衣洗面室	脱衣洗面所及び便所の床を上げたため、便器、洗面所があがり、窓との差が無くなり天井高を低くした。	
4	照明	玄関、玄関ホール、便所、脱衣洗面室、ユニットバスに照明を設置	
5			

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



※改修後平面図（案）

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	玄関ホール
			
③	浴室からホール	④	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 93(099)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	島根県出雲市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	段差を成るべく無くし、手摺等を要所要所に配した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	106.37 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 283 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	28.01 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		特定寝室と水廻りと玄関
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	77 歳／ □男    ■女
			家族	娘 42 歳、孫長男 23 歳、孫次男 20 歳、孫長女 17 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親   □配偶者   □息子   ■娘   □子どもの配偶者 □孫   □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立   ■要支援 1   □要支援 2 □要介護 1   □要介護 2   □要介護 3   □ 要介護 4   □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		(	



* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

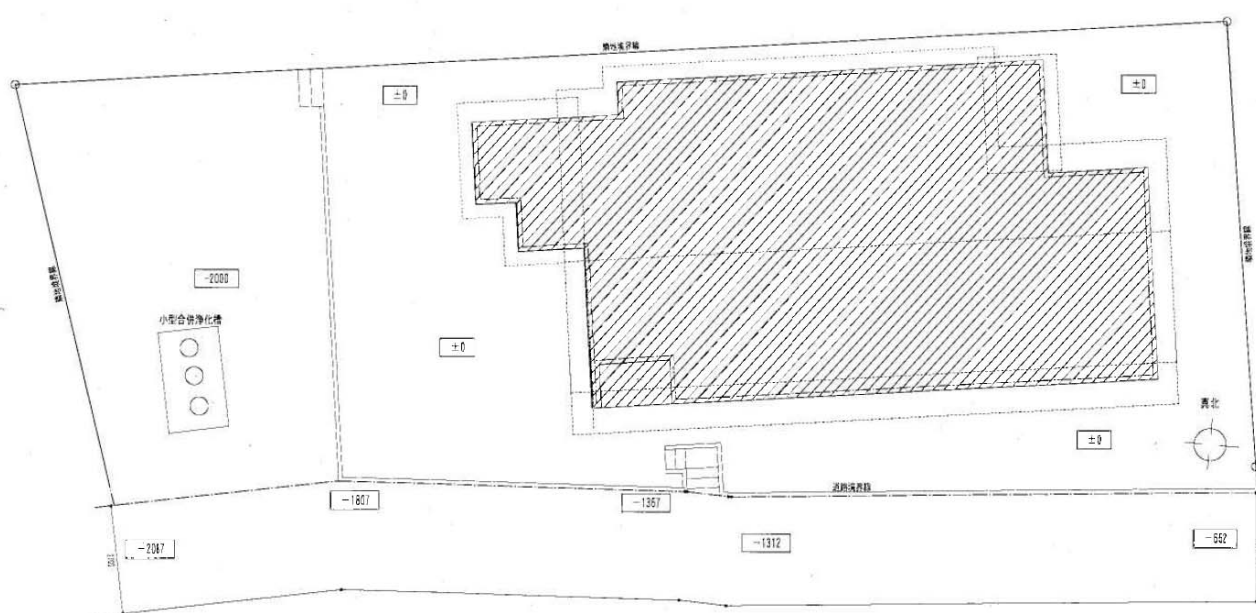
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	対象者が毎日の生活を安心して、安全に暮らせるように改修した。	
2		
3		

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	段差あり
2	便所	入口段差あり、狭い、手摺無
3	浴室	入口段差あり、浴槽が入りにくい、寒い、
4	洗面脱衣室	床段差あり、小さな洗面器しかない、狭くて使い辛い
5	DK	ガス調理器で危ない、段差あり
6		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

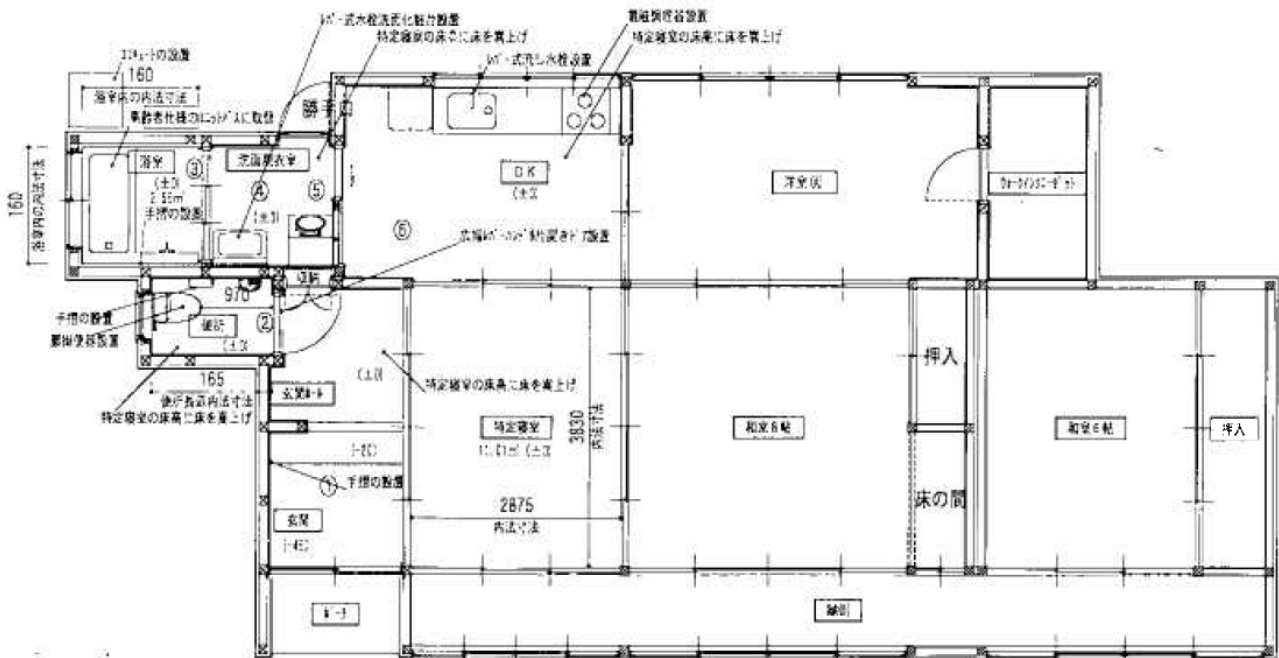


部配置図 1/100

8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	手摺を設置	①
2	便所	入口段差解消、有効開口拡張、ドアをレバーハンドル式に変更 スペースの拡張、手摺・洋式便器・手洗い器の設置	③
3	浴室	ユニットバスの設置、手摺設置、断熱仕様の為入浴時に暖い 段差解消、3枚引き戸により有効開口拡張	③
4	洗面脱衣室	段差解消、スペースの拡張、使いやすい配置、洗面化粧台の変更	③
5	DK	段差解消、電磁調理器の設置	③
6			

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



改修後平面図 1/100

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	トイレ
			
③	浴室	④	浴室入口 3 枚引き戸
			
⑤	洗面脱衣室	⑥	キッチン
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



## 94(104)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	東京都港区
------	----	-------	-------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<div>・ 連続した手すりの設置   ・ 段差の緩和</div> <div>・ 跨ぎ高さの低い浴槽交換</div>

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家（1階 店舗に貸している） □借家 □その他
	延べ床面積／階数	約 90 m <sup>2</sup> ／ 3 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 60 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		2 階（居室、トイレ、台所）3 階（浴室、洗面所）
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（業者）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	88 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
			家族	無し
	* 家族内の主たる介助者の状況		■介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り ( <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他 )	
身体 状況	* 要介護度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 ■要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		歩行は自立歩行だが、時々杖をついている。腰痛があり膝に痛みがあり特に右膝が痛い。座る時に足を伸ばして座っている。	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況			
	* 認知症の有無と状況		<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り ■軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	A D L の 状況	食事	<input type="checkbox"/> 自立 ■見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		排泄	■自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		入浴	<input type="checkbox"/> 自立 ■見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		起居	■自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	移動方法	屋内	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 ■用具利用 ( ■杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )	
屋外		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 ■用具利用 ( ■杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用 )		



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り ■無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	便座からの立ち座りをスムーズにしたい。扉敷居の段差につまづかなくしたい。	トイレ
2	安心して安全に浴槽の出入りをしたい。	浴室
3	玄関や浴室への階段の上り下りをスムーズにしたい。	階段
4	居室からトイレ、浴室、玄関へ安心して安全に移動したい。	廊下
5		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	汽車便を腰掛便座に改修していたが、膝通や腰痛で便座から立ち座りにくくなった。廊下と敷居の高さが25mmあり、つまづく。
2	浴室	膝痛や腰痛で足が上がりにくくなり浴槽の縁を跨ぎにくくなり、入浴が難しくなった。浴室内の床が滑りやすく移動に不安を感じる。洗面所と浴室に段差150mmがあり、上り下りに不安を感じる。
3	階段	膝通や腰痛で足が上がりにくくなり、急な勾配で、上り下りに転倒・転落の不安がでてきた。
4	廊下	膝通や腰痛で足が上がりにくくなり、移動に転倒・転落の不安がでてきた。
5		

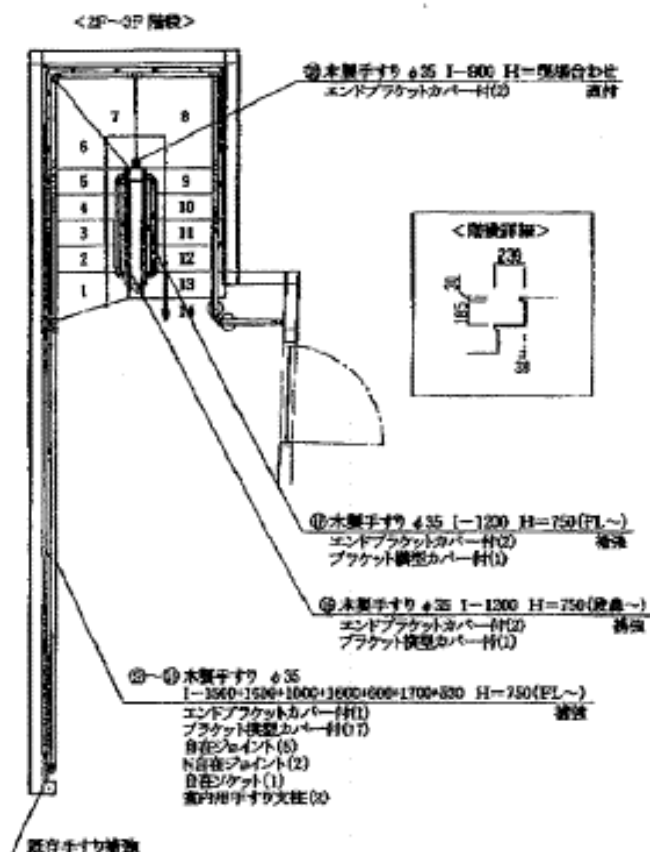
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	便座からの立ち座りを助けるため、また身体を支え転倒を防止するため、便座横にL字型の手すりを設置した。廊下と敷居の段差25mmは摺り付け板を設置。	③⑤⑥
2	浴室	跨ぎ高さの低い浴槽に交換、身体を支え転倒・転落を防止し安全に安心して浴槽を出入りするため、手すりを設置。	③⑤
3	階段	身体を支え転倒・転落を防ぐため、安心して安全に移動するため、手すりを設置。2階から3階への階段には両側に設置。	①⑤
4	廊下	居室から3階浴室、玄関へ移動しやすいように、身体を支え転倒・転落を防ぐため、安心して安全に移動するため、手すりを設置。	①②③⑤
5			

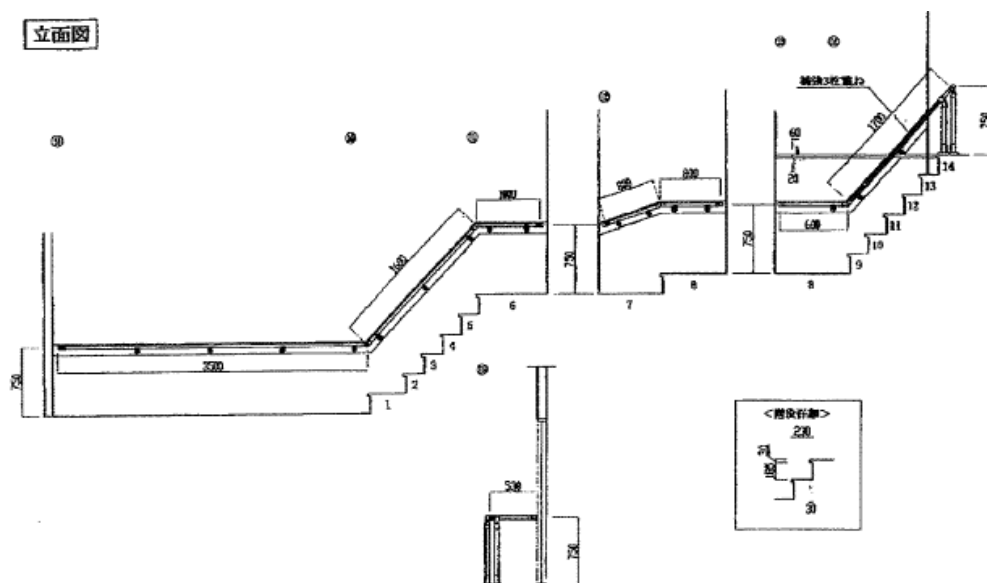
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

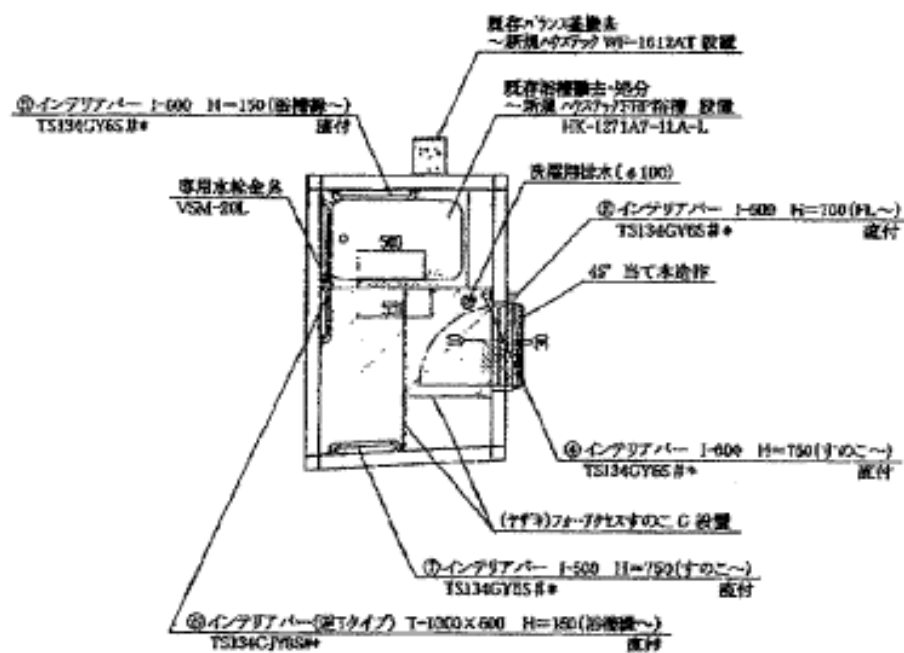


立面图



處理場合対応

＜改題後＞



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	浴室	②	階段
			
③	階段	④	階段
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

## 95(043)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	和歌山県紀の川市
------	----	-------	----------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 （最も重視した工事1つをチェックして下さい）	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） （最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい）	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（対象者が寝室で就寝・介護・排便が可能な部屋とする）
主たる工夫のポイント	床は滑らない又汚した時に取替可能なタイルカーペットの置敷きとする ポータブルトイレは無臭・メンテナンスフリーのバイオトイレを使用。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	96.15 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	19.47 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		寝室・玄関を改修した居間
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	87 歳 / ■男 □女
		家族	妻 86 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 ■要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り (ペースメーカー装着、1 級 )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	心臓疾患 有り 脳梗塞による傷害	
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 ■ポータブルトイレ □その他（ ）

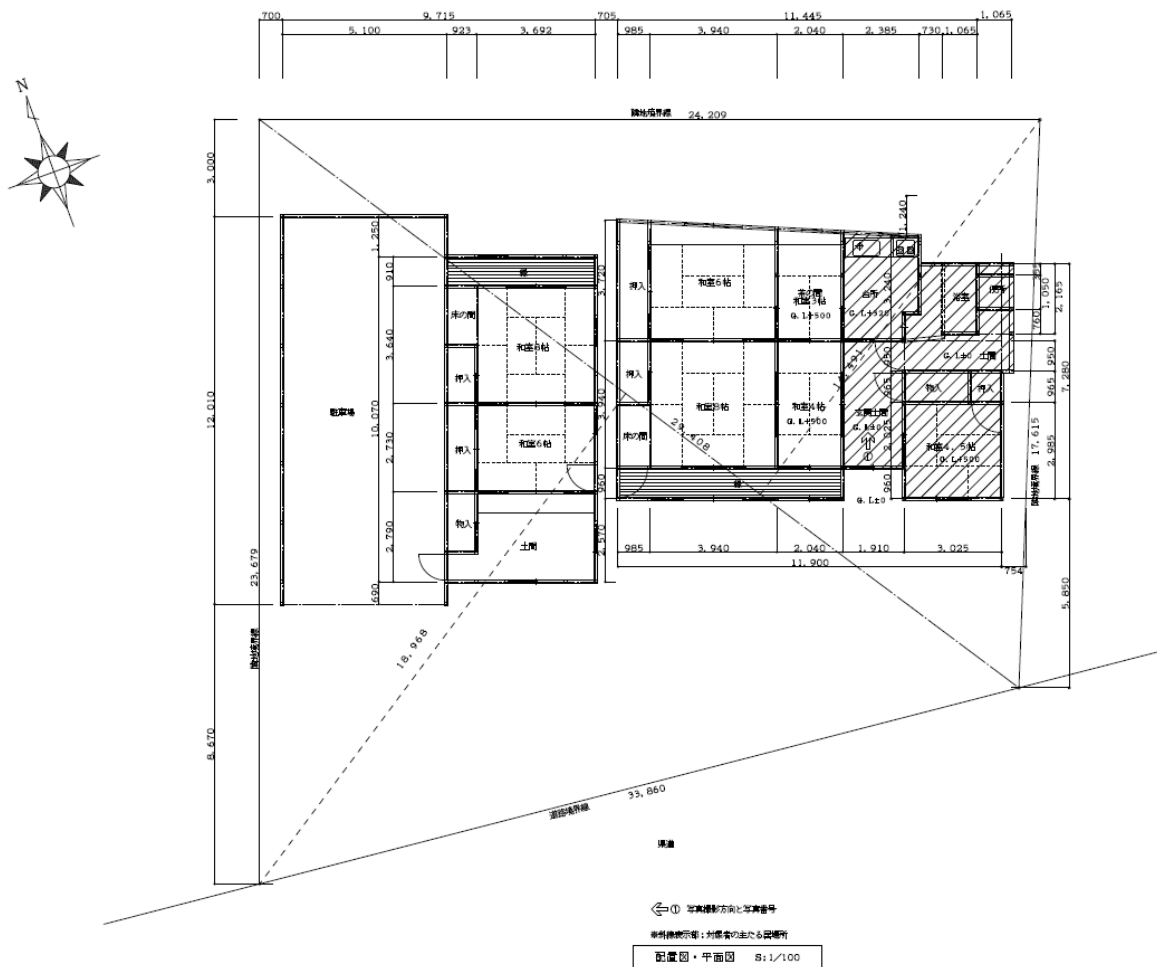
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	1室で就寝・介護・排便を可能にする	寝室
2	寝室・居間・台所のバリアフリー	寝室、玄関、居間
3	移動の為に手摺の設置	玄関、居間
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	玄関は土間で各室との間に最大 500mm 程度の段差有
2	寝室	和室で障害者の居住室に不適、隣接は玄関の土間で段差有り
3		古い家屋の為、夏、冬は寒暖が厳しい
4	台所	玄関と隣接していて段差有り
5		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

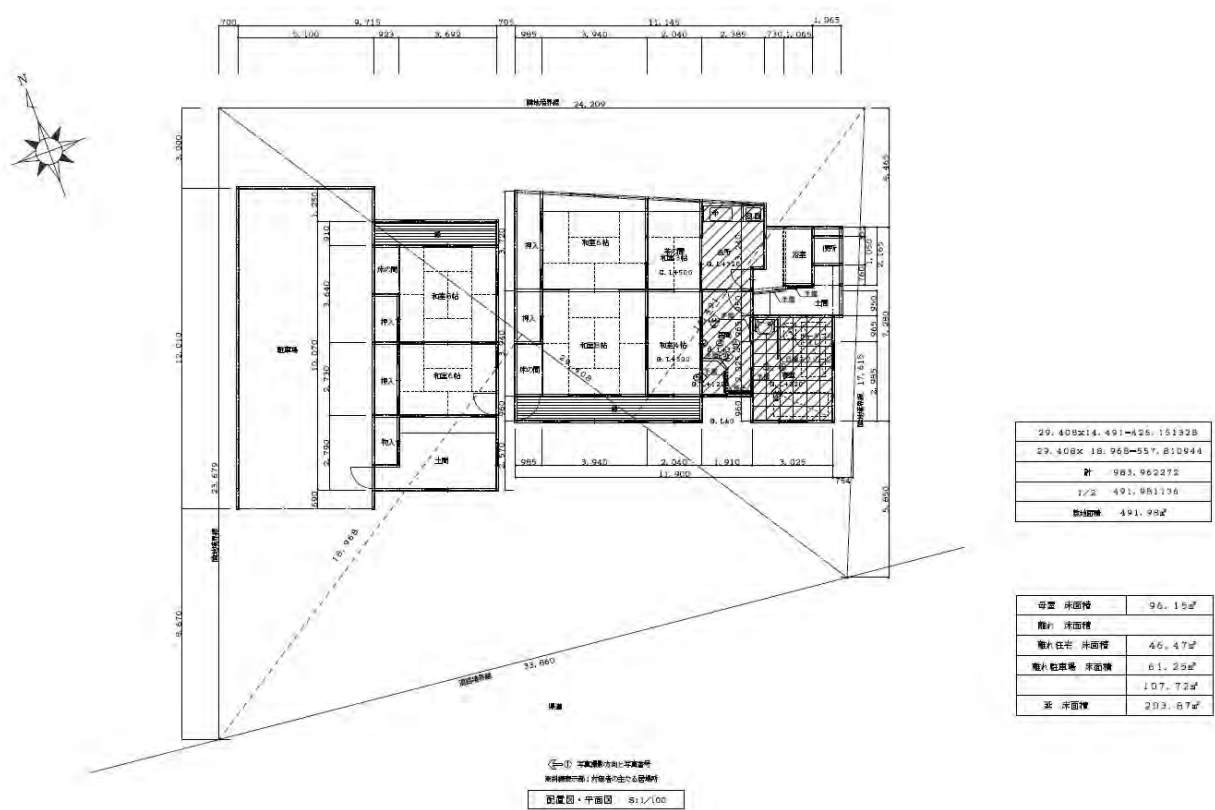
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関・玄関ホール・台所	土間に床を設置し台所・寝室と段差解消、手摺の設置	②③④
2	寝室	既存が和室だったので板張りにしタイルカーペットの置敷きに改修	③④
3		バイオ式のポータブルトイレの設置	③④
4		車いすで使用可能な洗面台の設置	③④
5		建物が古く断熱性が低いため空調機の設置	⑤
6			

※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関 施工前	②	玄関を板張り床の居間に改修
			
③	和室を寝室に改修	④	寝室内部
			
⑤	玄関上り口の手摺	⑥	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

設計前に依頼者の住環境、希望など出来るだけ聴き取り、設計者、ケアマネージャーの知識が全て正しいとの独断的な判断は、絶対避けるべきである。

改修後どのように利用するかをよく打合せをする。

今回は、依頼者が無断で外出しないよう玄関と居間の段差は小さくしても残しました。玄関の引き違い建具の敷居は土間と高低差がありましたが、玄関側は高低差を無くしましたが、外部とは段差をなくしました。



# 96(037)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	滋賀県高島市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	安全を確保して、自立した日常生活が送れるようにすること。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	154.21 m <sup>2</sup> ／ 2階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 330 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	65.2 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 78 歳 / □男 ■女 家族 夫 80 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 ■要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	左変形性股関節症 (手術予定) 慢性腎不全 (2回/週、人工透析)
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

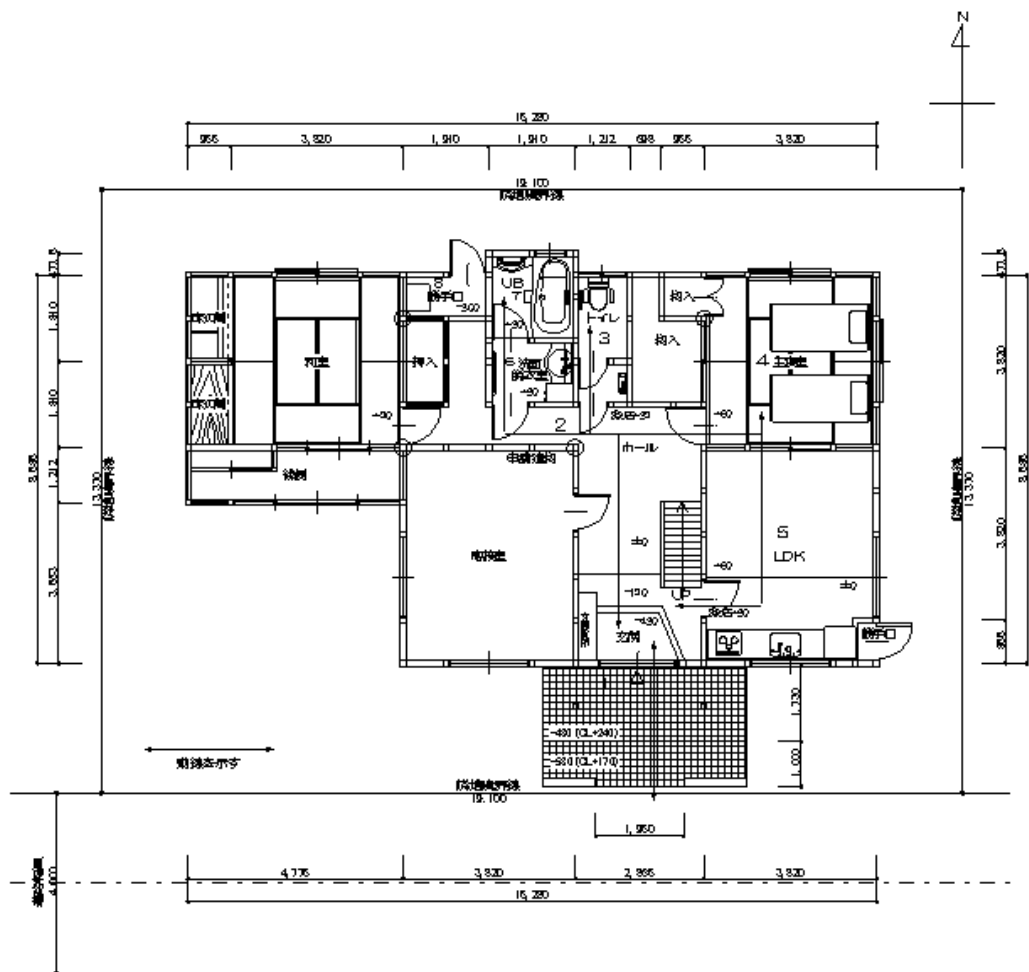
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	通院、外出時の出入りの段差を解消したい。	玄関、ホール、ポーチ
2	住宅内で躓き転倒など起こさないようにしたい。	各室出入口段差解消、 手摺
3	自立した日常生活を送るための安全な家事動線を確保したい。	洗濯室の移動
4	杖や歩行器を使用するので建具の工夫をしてほしい。	各室の出入口
5	安全な IH クッキングヒーターに変更してほしい。	キッチン
6	日中の大半を過ごす LDK に床暖房を設置して欲しい。	LDK
7	緊急時の電話連絡用に宅内配線の整理をする。	主寝室、LDK

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関・ポーチ	タタキと上がり框の段差が 430mm あり簡易足台を用いているが不安定で、手摺などつかまるものがなくて不安を感じている。 70mm 段差のある 2 段ポーチ、前面道路との段差が 170mm あり掴まるものがないので昇降動作が不安である。
2	廊下	トイレ、洗面脱衣室、浴室までの廊下に掴まるものがなく不安である。
3	トイレ	洋式便器であるが、腰掛ける、立ち上がる動作が股関節に負担で補助具がほしい。 杖歩行、掴まり歩行しているので片開き戸の開閉が不便で姿勢が不安定である。 30～35mm の敷居に躓きそうで転倒しないか不安である。
4	主寝室	ベッドを使用、また杖、室内歩行器使用に対応した床材でない。 衣服の整理整頓が出来ずに通路が妨げられている。 杖歩行、掴まり歩行しているので片開き戸の開閉が不便で姿勢が不安定である。
5	LDK	室内に 60mm の段差があり躓きの危険がある。室内が雑多で移動動線がスムーズでない。 ガスコンロ使用なので火の始末が不安である。 杖歩行、掴まり歩行しているので片開き戸の開閉が不便で姿勢が不安定である。 30mm の敷居に躓きそうで転倒しないか不安である。
6	洗面脱衣室	脱衣動作時につかまり立ち、あるいは腰掛けるなどの補助具がなく不安定である。 杖歩行、掴まり歩行しているので片開き戸の開閉が不便で姿勢が不安定である。 30mm の敷居に躓きそうで転倒しないか不安である。
7	浴室	浴室出入口附近、浴槽への出入り時に動作を補助するものがなく危険である。 杖歩行、掴まり歩行しているので片開き戸の開閉が不便で姿勢が不安定であり、シャワー椅子を使用しているので開閉がしにくい。
8	洗濯室	勝手口に洗濯室があるが段差が 300mm あり不便で危険である。
9		



■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



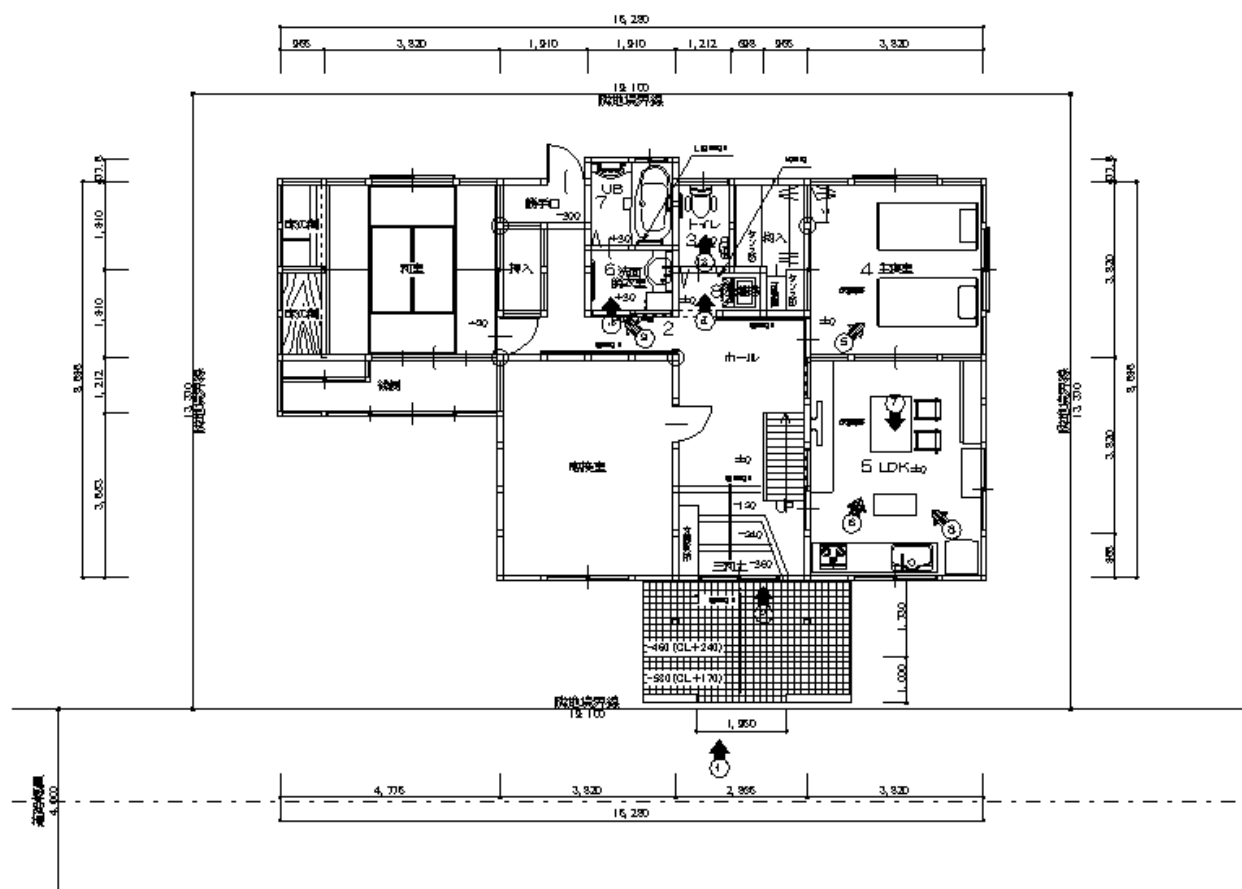
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関・ポーチ	段差解消には120mmの式台を新設し、手摺を設置した。	①
2	廊下	なるべく連続するように手摺を設置した。	①⑥
3	トイレ	トイレ用手摺を設置した。 別室で設けてあった手洗い室とトイレを一体の部屋にし出入口を一つにまとめ、片開き戸から引き込み戸に変更した。	⑥
4	主寝室	畳から木質系フローリングに変更し他室との段差はなしとした。 出入口の片開き戸を片引き戸に変更した。 主寝室の物入れを改修して室内に物があふれて動線を塞がないようにした。	③⑥
5	LDK	室内の段差を解消した。 しゃがみ込む動作の少ないスライド式システムキッチンに変更した。 ガスコンロからIHクッキングヒーターに変更した。 固定式アイランドを設けて囲まり立ちの補助として、室内の整理整頓のしやすさを確保し動線上に物が散乱しないように工夫した。 不必要な家具の出っ張りなどで動線を妨げたり、躓き、引っかかりの原因とならぬようテレビは壁掛けとして、室内動線を確保した。 出入口の片開き戸は片引き戸に変更した。	④⑤⑥
6	洗面脱衣室	出入口の片開き戸は片引き戸に変更した。 出入口の段差はスロープ敷居で解消した。 室内に横手摺りを設置、壁面収納式腰掛け椅子を設置した。	⑤⑥
7	浴室	出入口の片開き戸を中折れ戸に変更した。 出入口右手、浴槽右手にL型手摺を設置した。	⑤⑥
8	洗濯室	日常生活動線内にあるトイレ手洗い室を改修し洗濯室を設けることで、動線を短くし利用しやすい位置にした。	⑥
9			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	ポーチ手摺設置	②	玄関式台造作・手摺設置
			
③	トイレ手摺設置	④	トイレドア：引き込み戸に変更
			
⑤	主寝室：木質系フローリングに変更	⑥	LDK と主寝室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	LDK キッチン廻り	⑧	LDK 壁掛けTVとLD
			
⑨	洗面脱衣室段差解消：スロープ敷居設置	⑩	浴室ドア：中折れ戸に変更 脱衣室：壁面収納式椅子設置
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

出来るだけ自分たちで自立した日常生活を送りたいと考えておられる高齢者がいる。

介護に備えて住宅を改修するという考えよりも、安心安全に快適に自宅で生活するために改修したいという思いからの改修工事依頼が多いのも事実である。

安心安全には火の始末に関わることもあり、IH クッキングヒーターに変更する、灯油を使用しない床暖房を設置するなどの依頼もある。

また、片づけや整理整頓が上手くいかないため、所謂足の踏み場もない状態で、日常動線が妨げられ、自宅にしながら危険な目にあっているケースも多々あるので、住環境整備に係る住宅改修、高齢者住宅故のプランへの配慮が必要だと感じる。

また、図面上には現れにくのだが、緊急連絡システム、通信システムの計画も依頼される。平面プランと同じくルーティーンで計画していく必要があると考える。



## 97(028)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

### 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

### 2. 事例名称

事例名称	1 邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	-----	-------	---------

### 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（屋内を安心して生活できる工夫     ）
主たる工夫のポイント	前かがみになりがちな体勢の対象者が安全に暮らせる工夫

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	138 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 19 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	8 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		2 階
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター ■その他（社会福祉士）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	71 歳／ ■男 □女
		家族	妻 71 歳
身体状況	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 ■要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	パーキンソン病	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション ■その他（ 訪問マッサージ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	□有り ■無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

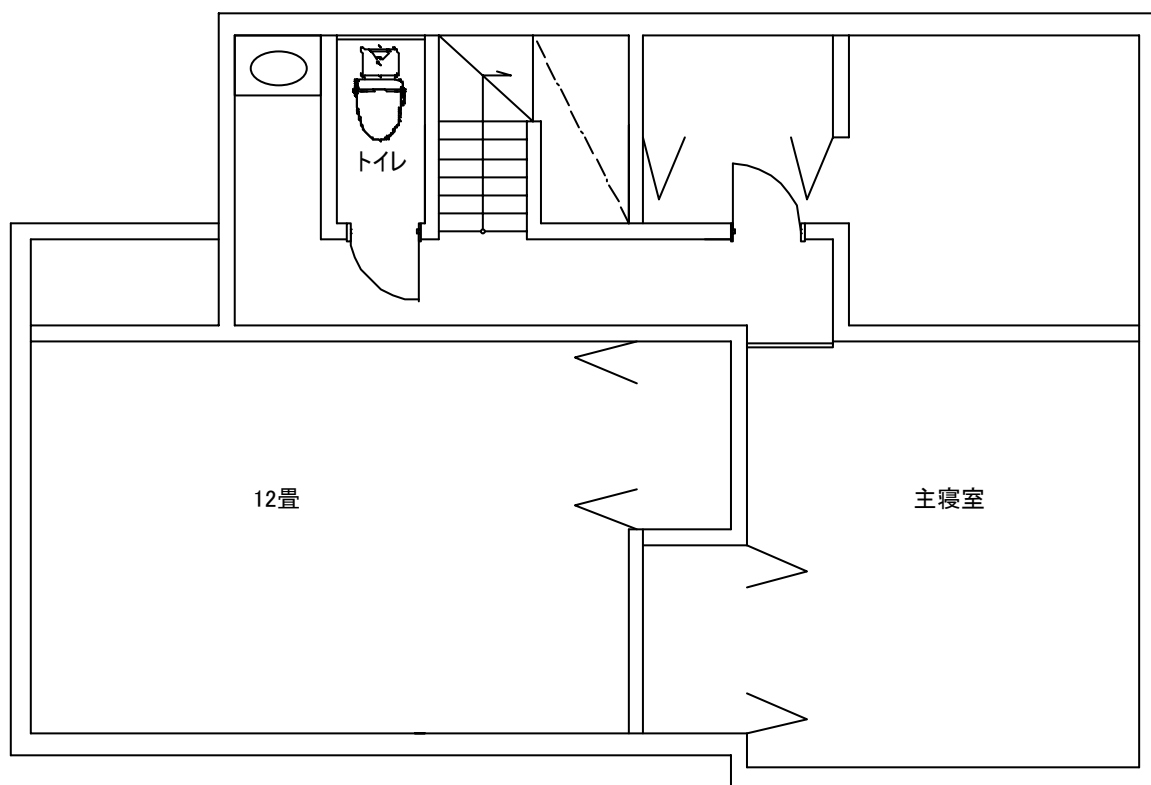
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレでの立ち上がりの負担を軽減したい	トイレ
2	玄関で靴の履き替えにふらつくことを軽減したい	玄関
3	玄関アプローチに手すりをつけることによって、外出する気分を向上させたい	玄関アプローチ
4		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	トイレに手すりがなく、立ち上がりが困難。
2	玄関	玄関で靴を履きかえるときにふらつく。
3	玄関アプローチ	外出の機会が減っている。手すりをつけることで外出意欲を増大させたい。
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



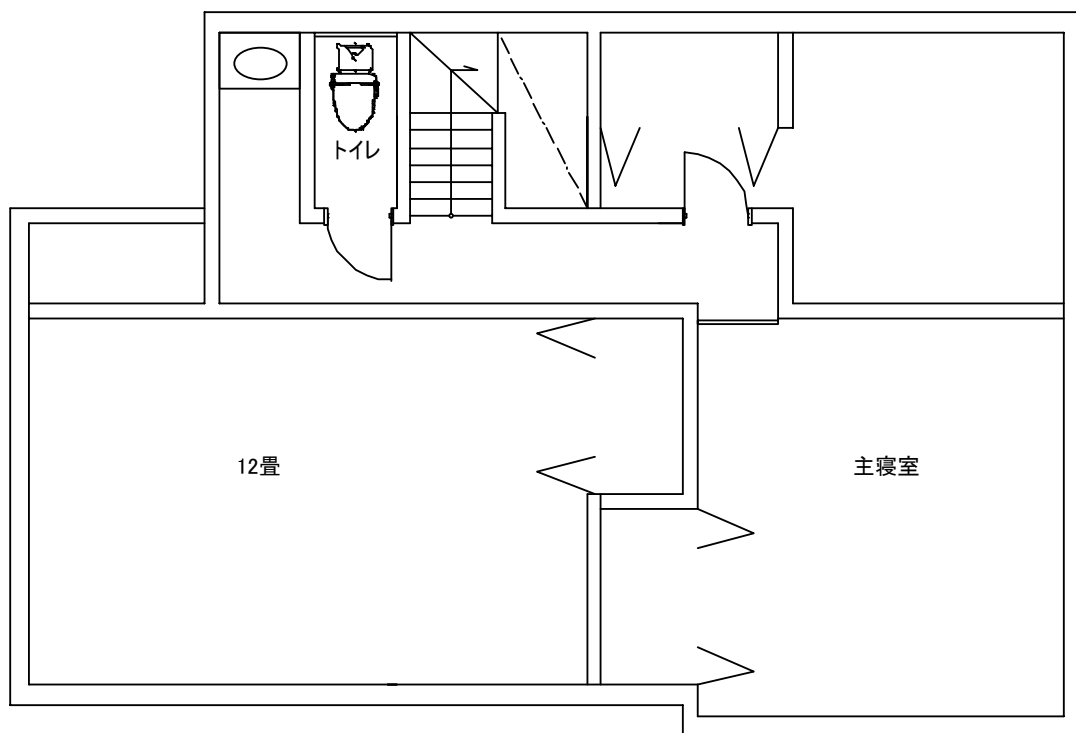
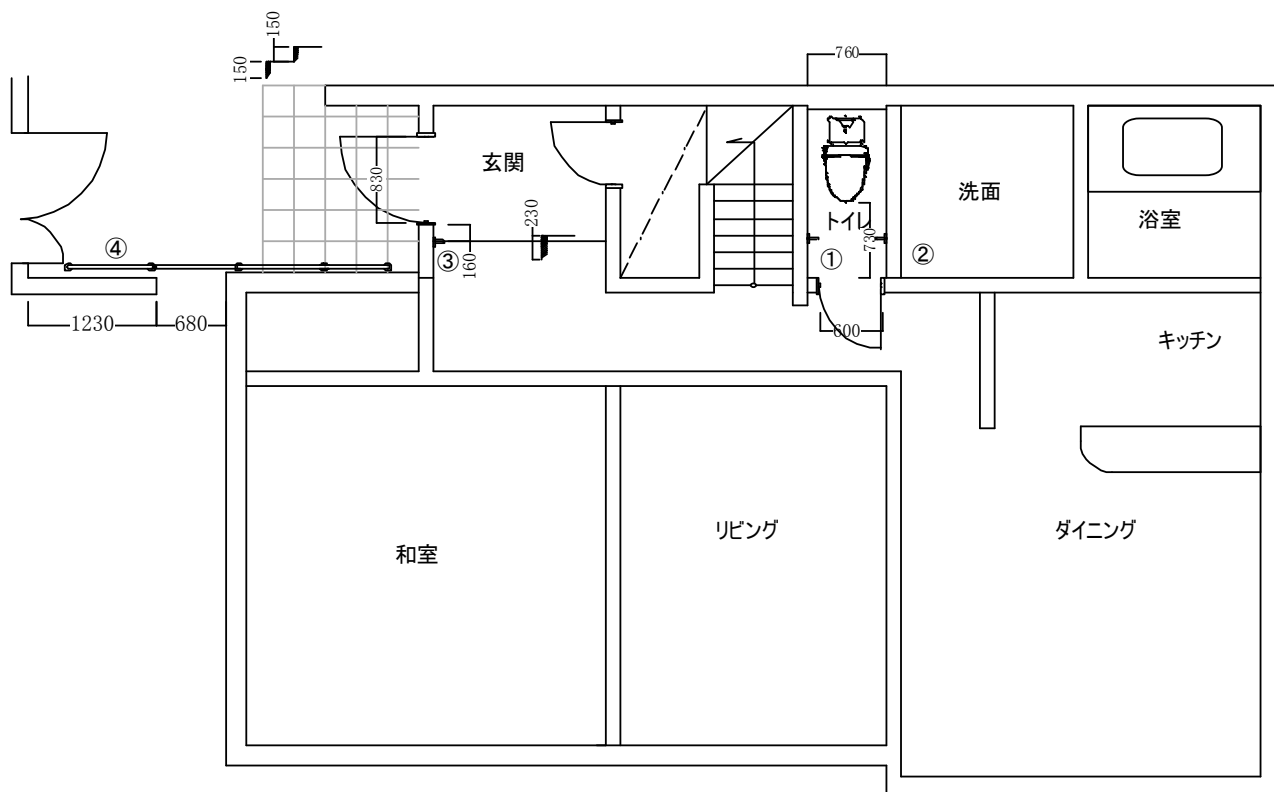
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	トイレは立て手すりのみを取り付けた。前かがみ体勢になるため、手すりの高さは低め 600 mm。将来筋力低下による座位保持が困難になった場合は、トイレガード（レンタル）にて対応。	① ⑤
2	玄関	玄関かまちの上下からも使いやすい高さ	①
3	玄関アプローチ	通路で手すりが途切れることを防ぐために、跳ね上げ式手すりに対応	①
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①		②	
③		④	

⑤		⑥	
			

**10. その他特記事項**

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 98(030)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	愛知県豊橋市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 50 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	10 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 60 歳代／ ■男 □女 家族 妻
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( 左半身不随 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家の中の移動を一人で行えるようにしたい	廊下・トイレ・浴室・寝室
2	外出時の玄関から外部への移動を一人で安全にできるようにしたい	玄関、アプローチ
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	外部アプローチ	段差が大きいため(280 mm)、一人では移動が難しい。
2	廊下	壁をつたい歩きしないと不安定で転んでしまう。
3	出入り口の段差	足が上がらないためつまづいてしまう。
4		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	廊下・水廻り	お施主様と現地で打ち合わせをかさね、身長、使い勝手にあわせて手摺の取り付けを行った。	②
2	外部アプローチ	敷地に余裕がなくスロープにするスペースがないため、手摺取付。	①
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関ポーチ	②	寝室・廊下
			
③	寝室入り口	④	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

施工時にお施主様に実際に移動等お願いし、使いやすい高さや場所を確認しながら行いましたが、お施主様に負担がかかってしまい申し訳なかったです。



# 99(040)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	兵庫県神戸市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> その他（対象者が安全に自立した生活を送れる工夫） 生活動線にある段差をできる限り廃除した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	123 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 65 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	9.8 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 ■作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 81 歳／ □男 ■女 家族 夫 86 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
身体状況	* 要介護度	□自立 ■要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	パーキンソン症候群で、手のしびれがあり、足は小刻みにしか動かせない
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	安全に外出ができるようにしたい。	玄関前の段差
2	安全に屋内で、自立した生活を送りたい。	寝室の段差解消
3	安全にお風呂に入りたい。	浴室出入口の段差緩和
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	使い勝手から、勝手口の出入りをしてるが、段差が大きくブロックを仮置きして何とかしのいでいる。不安定で大変危険である。
2	寝室	和室なので、廊下より 30mm 全体に上がっている。出入りが一番頻繁な所なので転倒の危険度がおおきい。
3	浴室	出入口に 150mm の跨ぎがあるので、転倒の危険がある。
4		

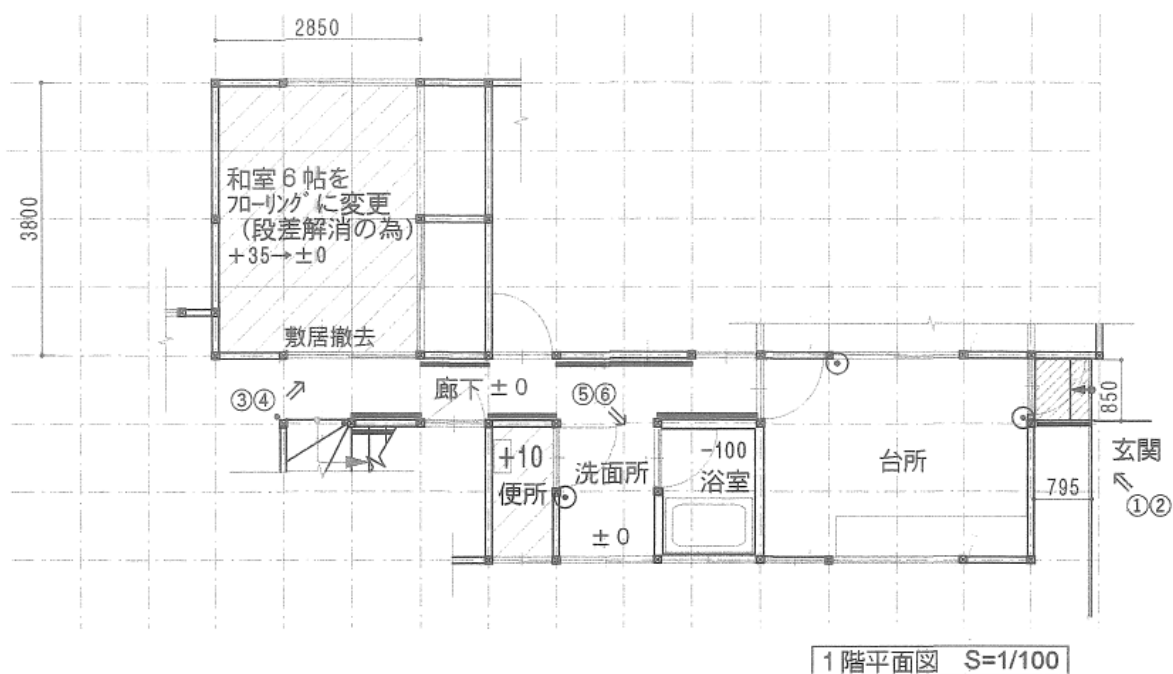
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	勝手口前の段差を緩くするため段数を増やし、踏み面を大きくした。 また、安全を考え手摺を取付した。	①
2	寝室	廊下との段差があるので、床をたたみからフローリングに張替した。 それに伴って、敷居を撤去し、鴨居を付け足したことで、クラシックな建具をそのまま利用できた。	②
3	浴室	出入口のタイルの跨ぎ部分を廊下と同レベルまで撤去して、段差を緩和させた。また、安全を考え手摺を取付した。	③
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関 アプローチ (旧)	②	玄関 アプローチ (新)
			
③	寝室 出入口 (旧)	④	寝室 出入口 (新)
			

⑤	浴室 出入口 （旧）	⑥	浴室 出入口 （新）
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

対象者は、住み慣れた家なので、使い勝手が悪くても、あまり気にならないようで、計画の段階では、必要最小限の改修範囲になることが多い。

実際に施工が始まり、出来上がってくると、その便利さを体感して、追加を要求される。

補助金の申請をした工事では、手続きが複雑になったり、補助金の対象から外されたりすることがあるので、計画の段階から、対象者の希望が無くても、強く主張しないといけないことを痛感している。

# 100(075)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	I 邸	事例所在地	愛知県名古屋市
------	-----	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
主たる工夫のポイント	<input type="checkbox"/> その他（介護者が送迎しやすい工夫      ） デイサービスからの帰宅時、家族が留守の際に入室できるよう考慮した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	236.52 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	236.52 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 ■傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 ■福祉住環境コーディネーター □その他（施工者 ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

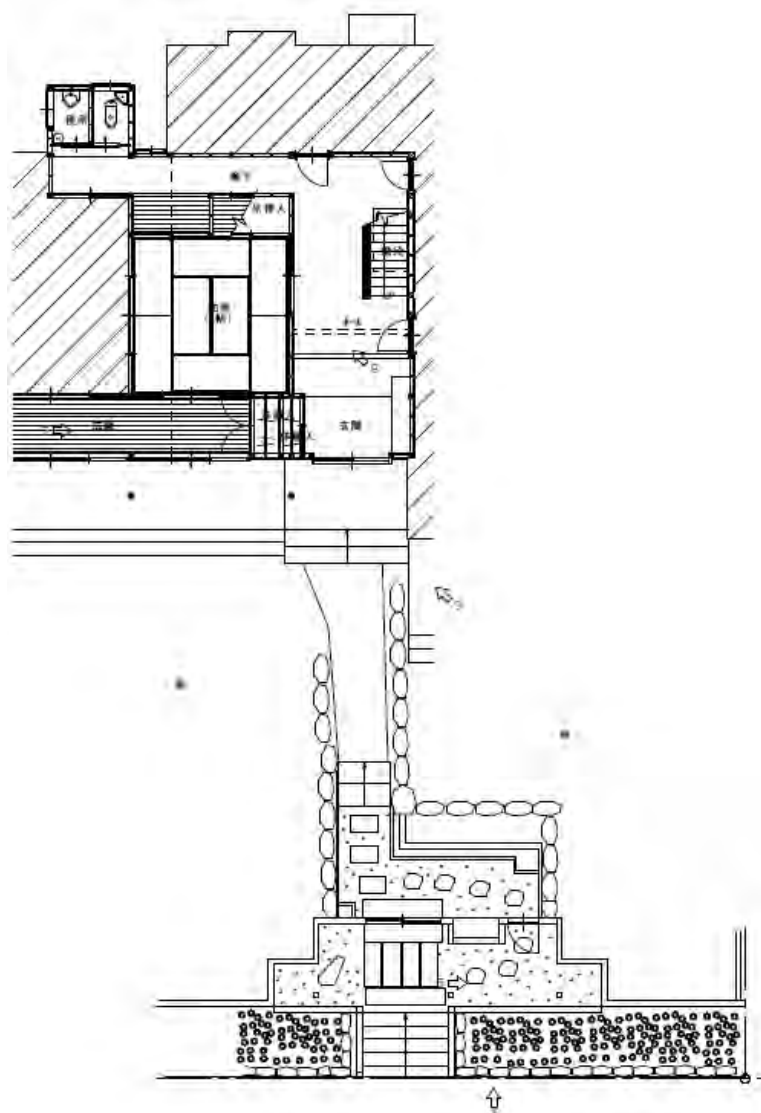
項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 80 歳／ □男 ■女
		家族
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 ■息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 ■要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	特になし
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 ■中等度 □重度
	A D L の 状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	77° ローチ	階段が急すぎて昇降が非常に大変
2	玄関	玄関からの出入りでは、エリアの分離ができない
3		

## ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



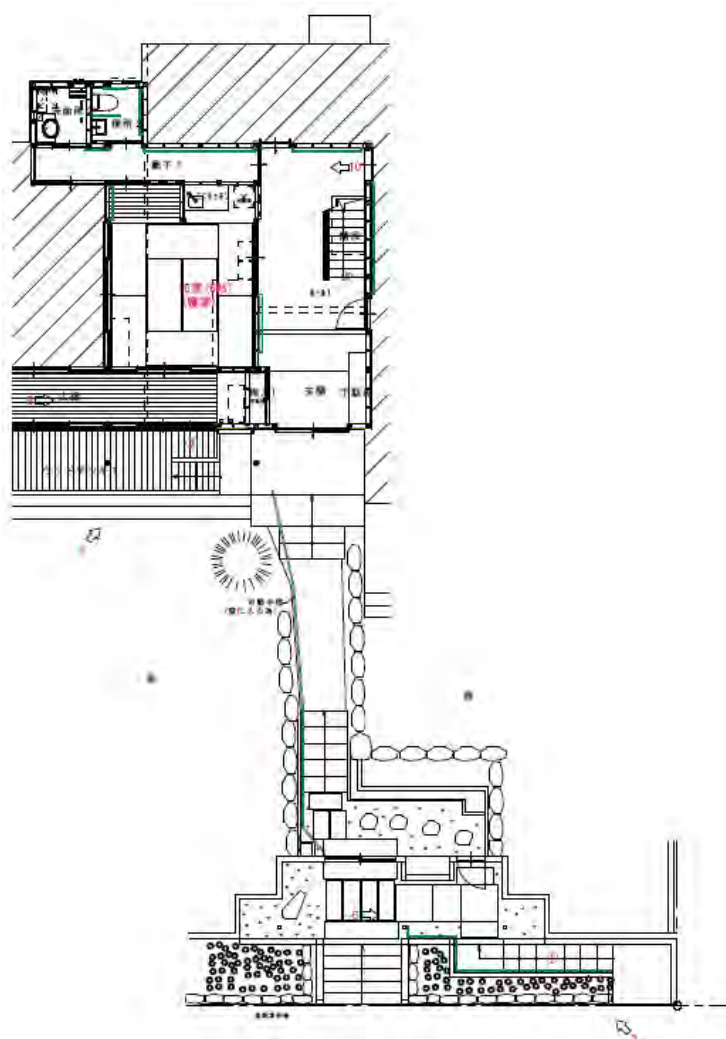
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	道路—77°ローチ	77°ローチの段差解消の方法：現時点及び将来予測の歩行 ADL が良好なため、敷地と道路の段差は、石垣を一部壊し迂回路を新設。77°ローチも歩行しやすい階段と通路に改修し、手すりを取り付けた。	①
2	居室前・広縁	77°ローチから直接デッキに上がり、セム解除の上入室できること	③
3	サッシの鍵	引き違いアルミサッシ用の解・施錠できる防犯上有効な鍵を工夫・取付	③
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
1	敷地から門まで 工事前	2	迂回路 昇降しやすい階段と手摺（ジャラ材）
			
3	玄関と和室（寝室）前 工事前	4	直接のアプローチ（和室前デッキへ）
			
5	道路より敷地への通路 工事前	6	道路より敷地への通路 工事後
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
7	工事前 広縁 向かって右が工事後の出入口	8	工事後 出入り口
			
9	向かって左がおばあちゃんエリア	10	エリア分離の引戸 留守の時には施錠
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

当初、エレベーターの取付を希望されたが、構造及び費用等の問題で諦めることにした。北側の階段を改修して利用することや西側に階段を新設することも検討した。その結果、ほぼ毎日デイサービスに通っていることから、せめてその行き来の際に一日一回でも、お気に入りの広い庭を愛でながら歩くことに意義を見出し、既設のアプローチを中心に改善する方針をとった。将来の対策として、段差解消機を設置して東側からデッキまで到達する可能性を見据えた。

内外両側から施・解錠できる4枚建ての掃出しサッシに取り付けられる防犯上有効な鍵の選定に難航した。



# 101 (092) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	
------	----	-------	--

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
	<input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	H22 年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（行政担当者）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 70 歳／ ■男 □女 家族 妻、息子
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 ■息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	右下肢マヒ、感覚障害 ( )
身体状況	* 要介護度	□自立 ■要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input checked="" type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	寝室の変更	
2	段差解消（部屋と玄関、ダイニングキッチンとトイレ）	
3	浴室改造	
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	段差	部屋（和室6畳）と玄関ホール、ダイニングキッチンとの段差 30mm。 ダイニングキッチンと玄関ホールの見切り枠段差 30mm、ダイニングキッチン とトイレ仕切り枠段差 90mm
2	トイレ	手すり、段差解消
3	浴室	段差解消 45mm
4	玄関	玄関土間と建艦ホールの段差 28mm解消。手すり
5	外部	道路、車寄せ段差 50mm。玄関ポーチ段差 270mm
6		

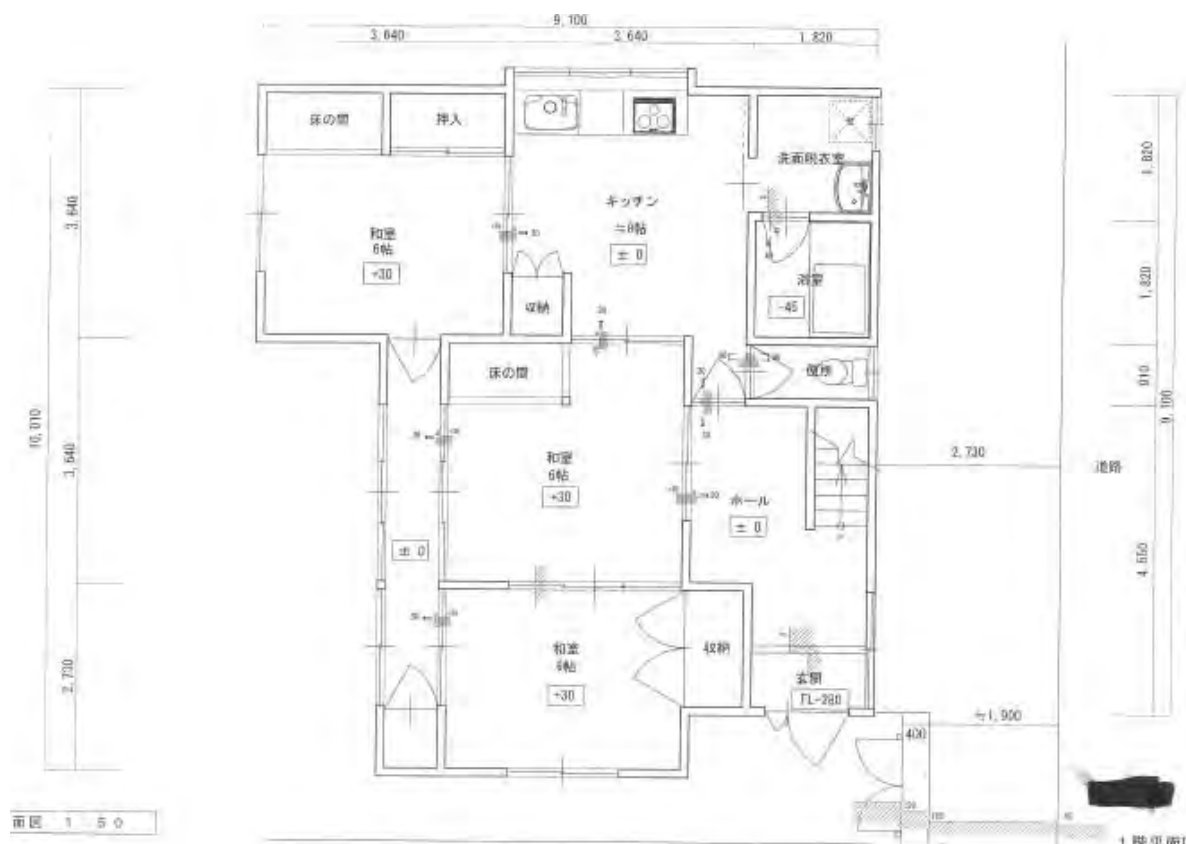
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	寝室	床の間を外し、天井との見切りを廻り縁までとする。畳敷きを床に変更。段差解消	④
2	浴室	脱衣室から浴室への冊子ドアの床框に合わせてすのこを作り置く。手すり設置。バスボード設置	④
3	玄関	手すり設置。床置き台設置。	④
4	外部	階段左手に門扉まで手すり設置	④
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外部	②	玄関
			
③	浴室	④	段差
			
⑤	段差	⑥	段差
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



# 102(032)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S邸 第1期工事	事例所在地	岐阜県本巣市
------	----------	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	2000年より状況に合わせて改修を繰り返してきた。 できるだけ自立して生活ができる工夫、外とのつながりを考えた改修。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	2001 年／概ね 15 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 ■福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 72 歳 / □男 ■女 家族 息子 47 歳、息子の嫁 40 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	高血圧・加齢に伴なる ADL の低下
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 ■見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ ■歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（段差解消機 ）

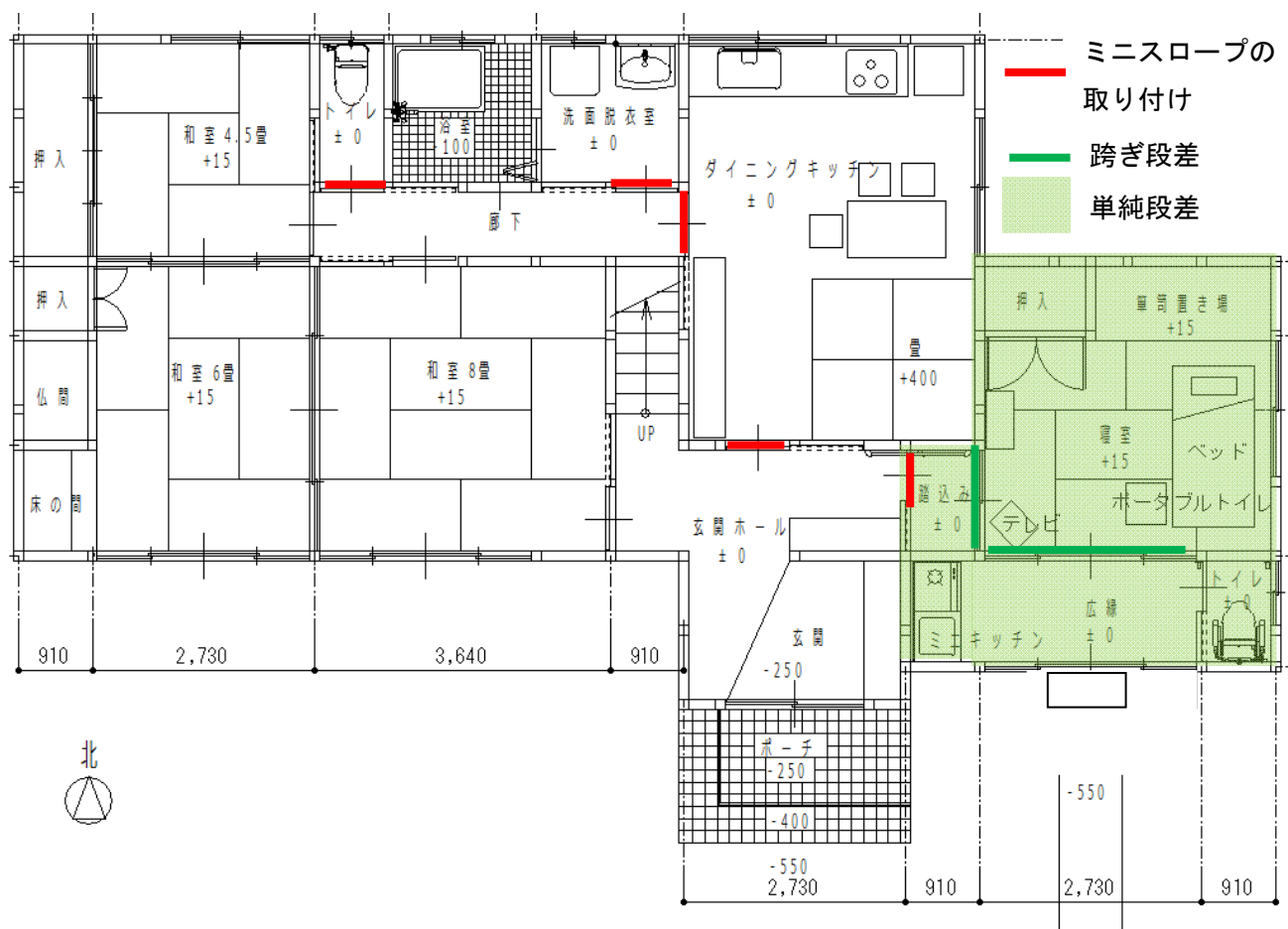
## 6. 工事の目的・対象者の要望

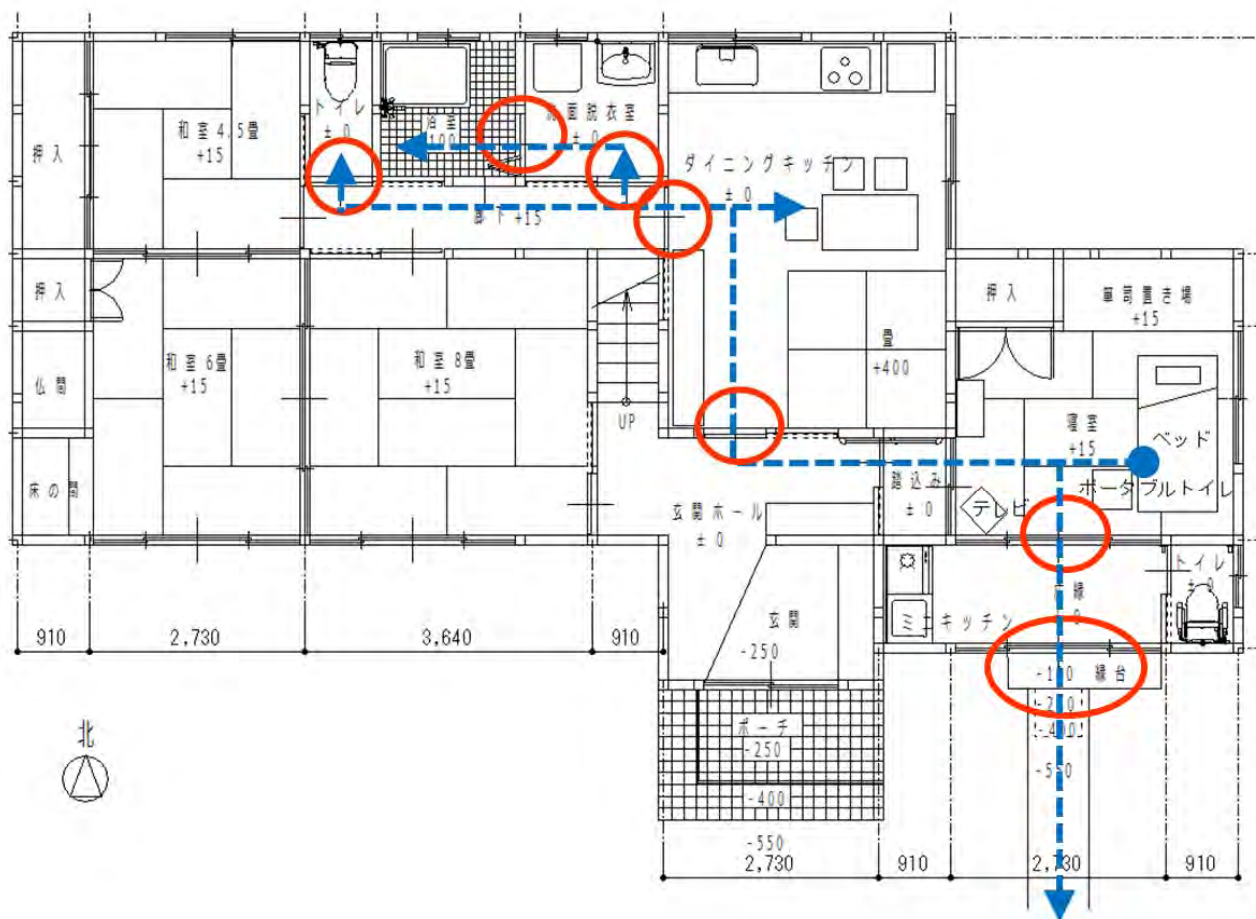
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	段差の解消をして住宅内を安全に移動できるようにする	廊下、トイレ
2	外出する際広縁からの段差が大きいのので危険	広縁前
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	敷居段差	室内は伝い歩きまたは歩行器で移動するが単純または跨ぎによる敷居段差 15mm がある。 段差が危険となる。
2	広縁	主に居室から外出される。広縁からの段差が大きく外出の際危険である。
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





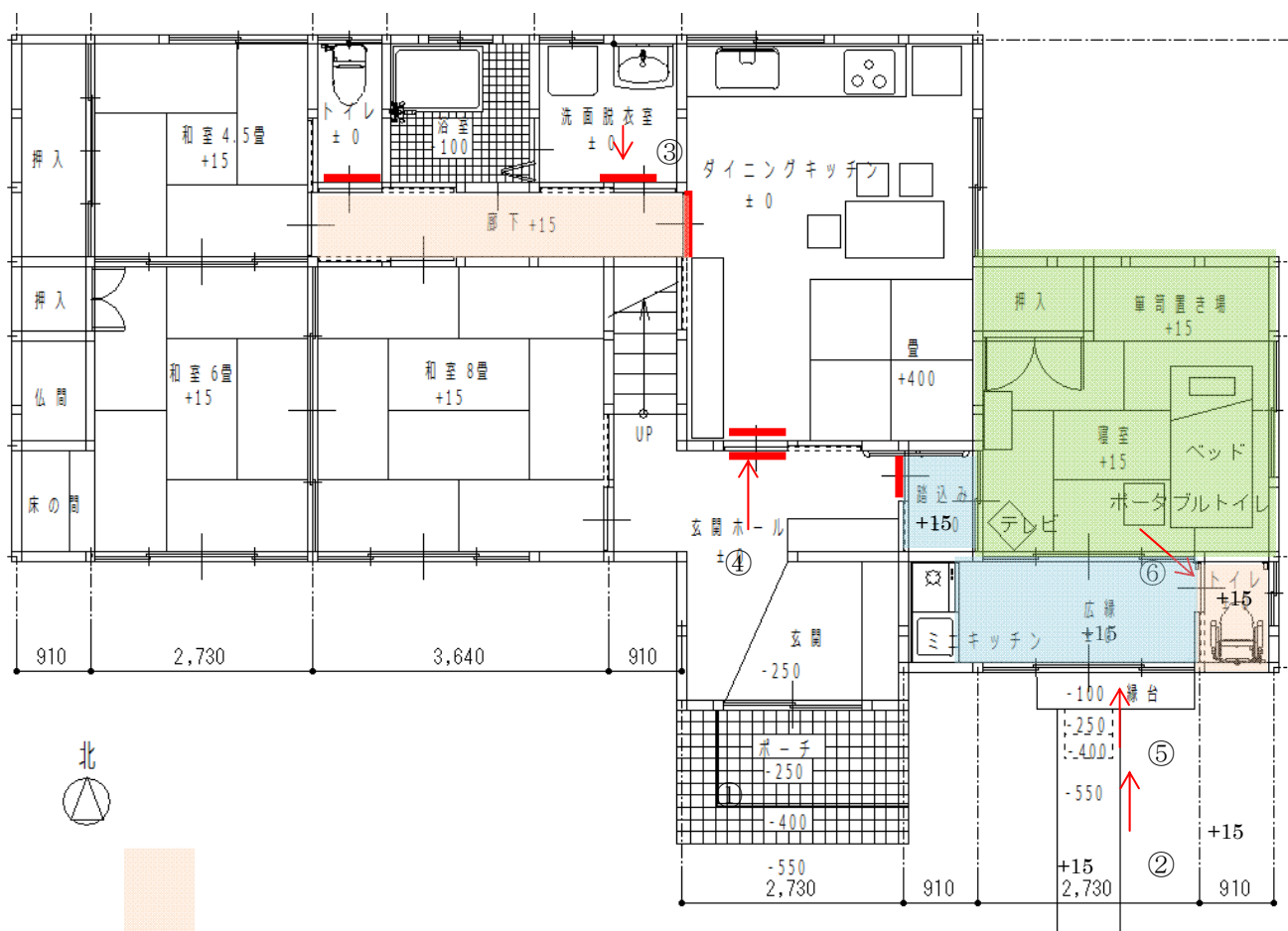
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	出入り口	ミニスロープの取り付け	④⑥
2	廊下・トイレ	床の嵩上げ・手すりの取り付け	④⑥
3	広縁	足のあげられる階段を設置して手すりを取り付ける。 外から鍵が閉められる鍵に変更する。	①②⑤
4	浴室	すのこ（福祉用具）の設置	⑥
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



タイルカーペットによる床の嵩上げ工事

ミニスロープの取り付け

# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	敷居段差 ミニスロープ	②	廊下 床の嵩上げとミニスロープ
			
③	外からかえる鍵に変更	④	階段と手すりの取り付け(簡易)
			
⑤	床段差の解消 (タイルカーペット)	⑥	
			



## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

平成12年 もともと虚弱老人であったが子宮脱の術後より部屋に閉じこもりがちになる。

指が壊死する疾病があり小さな段差でも躓くことがあり歩行が不安定になる。

15mmという小さな段差ではあるが改善をして食事は家族と一緒にとれるようにする。

平成13年よりデイサービスの利用をはじめた。入浴を家でする頻度が少なくなり外へ出ることで認知症状がではじめていたが重度にならずにすんだ。

外からかえる鍵をつけることで家族が留守の時にもサービスを利用することができ介護負担が軽減された。

またその後訪問看護を受ける時にも役立った。



# 103(061)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	Is 邸	事例所在地	福岡県北九州市
------	------	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（便所：広さ1.5帖・汚物洗浄槽を設置）
主たる工夫のポイント	和寝具⇒洋寝具（2ベット設置）の寝室～台所～茶の間動線、 家具：収納の見直し。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	93.8 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 740 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		■茶の間・寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	84 歳／ ■男 □女
			家族	妻 80 歳 * 別世帯 息子 50 歳、娘 53 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 ■要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		有り  (肢体不自由 左第2・3・4・5指4級 直腸機能障害・直腸潰瘍4級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		無し	
	* 認知症の有無と状況		□無し ■認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	□車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ■その他（浴室：洗い場椅子 ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	冬季の入浴時の寒さが辛くなった。併せて壁タイルの割れ、浮き、クロスの傷みが見られる等、内装を改善したい。	浴室・脱衣、洗面
2	台所の内装、設備等の汚損、ガス火器への不安、室内暖冷房効果を改善したい。古家の漏電火災報道の影響を受け電気配線等、安全点検と改修を行いたい	台所 建物全般
3	廊下～玄関床～ポーチの段差、腐朽した玄関戸の耐強風、遮音、防犯性能を改善したい	玄関・ポーチ
4	夫婦が高齢になったため屋内外の行動範囲が狭くなって、動作等が相当遅くなっている。採光・通風環境・冷暖房効果・開放性を高める等、日常生活動線を改善したい。和寝具からベットにしたい。	改修後の寝室・台所
5	和室の湿度が高く感じる。冬季の寒さが辛くなった。家族構成が変化しているが各居室の広さが生かされていないこの際、改善したい。	和室・広縁等
6	便所に手摺が必要になった。（装具洗浄のため汚物洗濯槽を設置・約20年前、便所改修時の要望）	便所

# 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室・脱衣（洗面）	床、壁が旧来の仕様（壁、床タイル貼り・旧型ステンレス浴槽）のため断熱、保温性能が乏しい。浴室の扉が内開き、建具幅 600mm・敷居段差 100mm あり改善が必要。
2	台所	床板と下地の老朽化による隙間・傾斜、厨房機器等の腐朽が進んでいる。その他、什器・雑貨等が多く収納されてない。窓開口、換気扇が充分機能していない。＊採光・換気等、居住環境を損なっている。
3	玄関	木製玄関戸の腐朽により開閉作動、防犯、交通騒音対策等、性能が乏しい。履きものの着脱・廊下への上り、降り時に柱に手を着き身体を支えている。玄関・ポーチ床面の嵩上げ改善と手摺が必要。
4	和室	和寝具の準備、片付けが足腰に負担になっている。日常生活の動線と共に見直し改善が必要。カーテン、雨戸の開閉も面倒になっている様子が伺える。従って採光・換気等、居住環境を損なっている。
5	各居室	床下が旧来仕様（木造束立て）のため断熱化が必要。 家具・収納等の把握、全体の配置を改善し住宅内の怪我予防のため屋内外を整理整頓し不用品の廃棄処分が必要。
6	便所（20 年前、改修済み）	手摺が必要。 （20 年前はオストメイトへの対応情報が少なく衛生器具も対応製品が無く、既製洗濯槽（小型）を配管等、工夫、設置し現在に至っている）

[illegible]

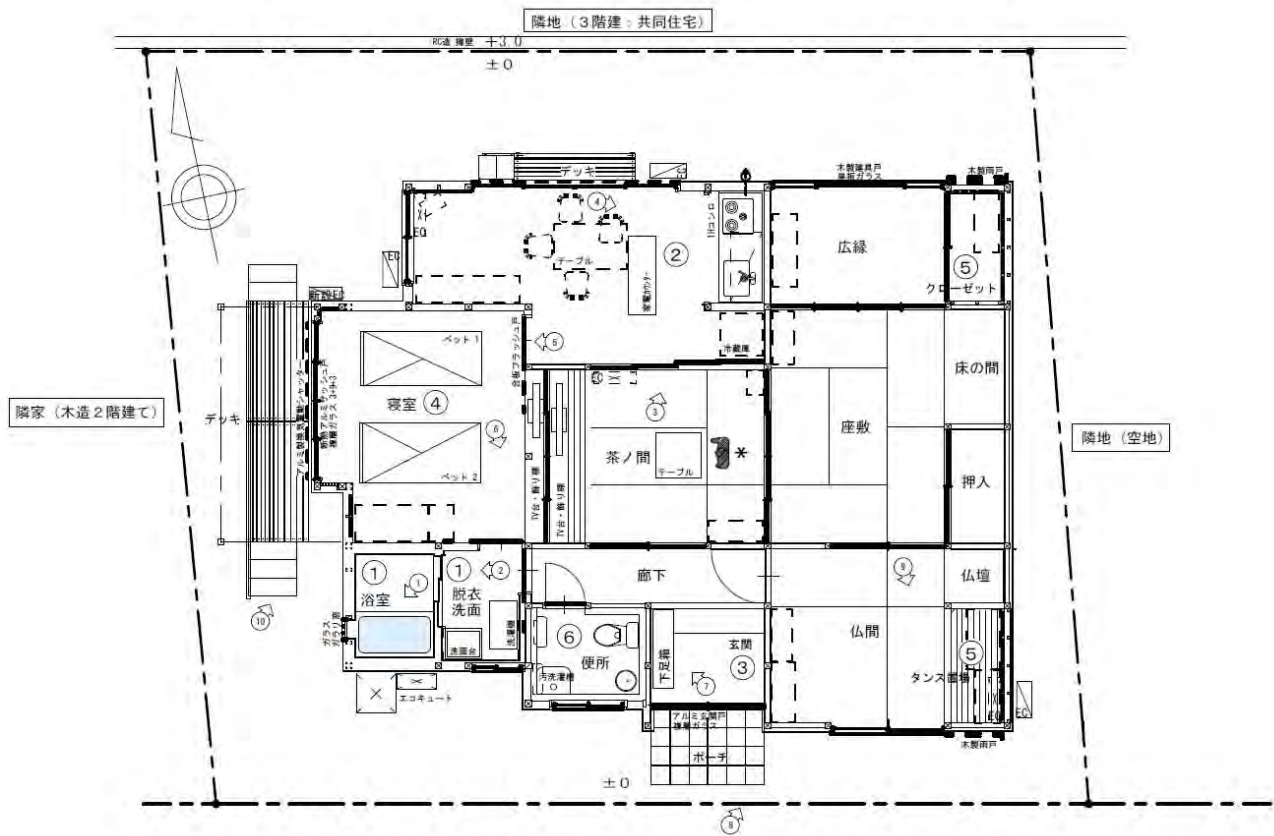
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	浴室 脱衣（洗面）	浴室：ユニットバス、高断熱浴槽、換気暖房乾燥機、段差解消 2枚引込戸、追い焚き仕様を採用。機能的、清潔、工期短縮等メリットは大。脱衣（洗面）：床 根太間断熱材、手摺・タオル掛けを設置、セラミックファンヒーターによりヒートショック対応。出入口（2ヶ所）の段差解消を行った。	③⑤⑥
2	台所 （旧）板の間 茶の間	オール電化（エコキュート）を採用、併せて全ての電気系統、回路増設、配線等の安全点検と分電盤を新設。IH コンロ台・システムキッチンを採用、厨房家電品の集約を行った。 屋外への行動を誘導するデッキを新設。居室間・屋外への開放性を高めるため建具改修を行った。	③⑤⑥
3	玄関	防音・断熱性能高いアルミサッシュ（大型引手、防犯性能の高い錠）を採用。玄関、ポーチ床面の嵩上げ、滑り難いタイル貼り・屋内外に手摺を設置した。	③⑤⑥
4	寝室（旧 台所）	<b>洗面・脱衣⇔浴室</b> ↑↓⇔ ⇒寝室 ⇒屋外（デッキ） 便所 ↑↓ *動線・採光・換気・開放性 ↑↓ ↑↓ <b>玄関⇔ ⇒茶の間⇔ ⇒台所⇒屋外（デッキ）</b> ・2台のベッドが設置可能な広さを確保、就寝時の気温、湿度に優しい床暖房（電気式）を採用。出入り口扉を引戸、段差を改善。開放性を高める幅広・高開口、遮熱効果の高い複層ガラス・断熱サッシ・アルミ換気シャッター（電動自動開閉・防犯）を採用。	③④⑤⑥
5	各居室（広縁・仏間）	*耐震改修を薦め、併せて木造床・壁の断熱化を進める。（根太間・壁内・化学畳等） 広縁に収納、仏間にタンス置場を設置、全家具の配置を見直。	⑤⑥
6	便所	手摺の設置（参考：汚物洗濯槽は既に設置済み）	③④⑤⑥

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	浴室（ユニットバス、高断熱浴槽）	②	脱衣～浴室（手摺・タオル掛け・引戸）
			
③	台所～茶の間 4枚障子 改修後・開放（片寄せ）	④	台所（システムキッチン・IHコンロ）
			
⑤	寝室（ワイド・高開口）	⑥	寝室～脱衣・洗面
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	玄関 左側 縦手摺(下駄箱、手摺) 右側 同様	⑧	ポーチ～玄関
			
⑨	タンス置場	⑩	屋外デッキ・物干し
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

- ・リフォーム費用対効果が新築に比べ「見える化」的な説明が難しい。(施主が高齢のため\*子供同席)  
設備工事費と建築工事費の比較、リフォーム前後の光熱費、断熱性能・省エネ・エコ等、具体的に説明(過去3年間の光熱費・工事契約見積書のチェック、比較・改修後の温湿度を各室の定時定点で測定・床暖房の温湿度状況を測定等、各々を説明用にグラフ化)、設備機器の運転効率を確認する。未改修部分との違い。特に国のエコポイントや、市のリフォーム改修助成申請に伴う個人情報の扱いについて説明。
- ・改修後、温湿度計を設置、熱中症・ヒートショック対応等、床暖房・断熱サッシ・断熱建材の効果等、住人自身が日常、判り易くする。
- ・工事完了時期によっては、季節、生活実態等に対応した設備機器等の運転切り替え、取り扱い調整等、安全に使いこなしているか見とどける。(住人が高齢者の場合、床暖房設備の効率的な運転設定は特に必要)
- \*火災報知機の点検、移設、(新)増設等、再チェックが必要。



# 104 (066) 高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	愛知県名古屋市中
------	----	-------	----------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（左半身麻痺対象者の利用可能な便所や浴槽等の手摺設置）
主たる工夫のポイント	前面道路からの段差解消及び対象者の住居内移動の負担の軽減 段差解消リフト設置。EVの設置。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 ■鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	277 m <sup>2</sup> ／ 地上 2 階 地下 1 階建
	工事実施年／工事費用	2003 年／概ね 300 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	20 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 ■看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。2003年の改修

項目			回答欄	
世帯 状況	対象者及び家族構成  (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)		対象者	76 歳 / ■男 □女
			家族	妻 73 歳、娘 40 歳、娘の夫 40 歳・孫 (13 歳・10 歳・3 歳) 娘の夫の母 69 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況		□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 ■娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体 状況	* 要介護度		□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)		有り  (身体障害者 3 級)	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		脳血管障害により、右上肢機能障害、歩行困難な機能障害	
	* 認知症の有無と状況		■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の 状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )	
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)	
屋外		□自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (■杖利用 ■歩行器利用 □車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

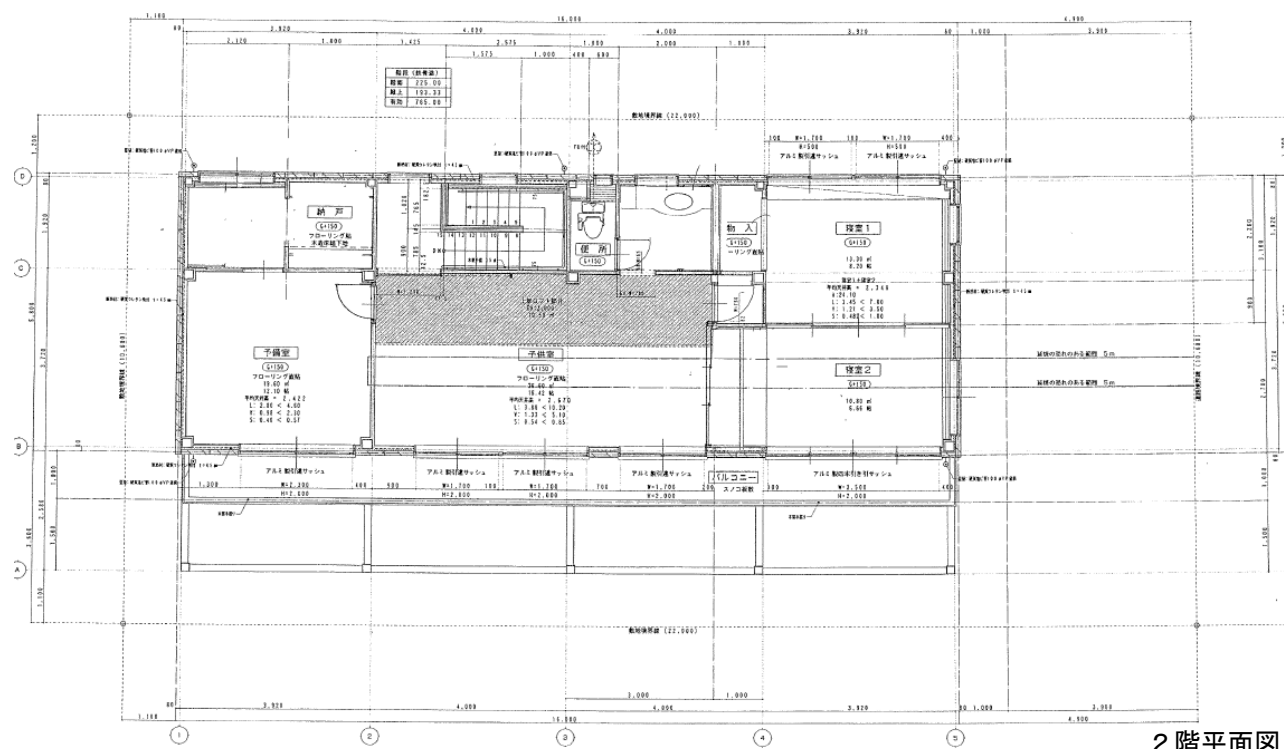
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	通所サービスなどへ安全に出かけたい	段差解消リフト
2	室内の移動（食事や団欒・入浴など）を安全に行いたい。各階の移動	E Vの設置
3	トイレの使用の改善 手摺の設置	便所
4	入浴を安全に行いたい 手摺の設置	浴室

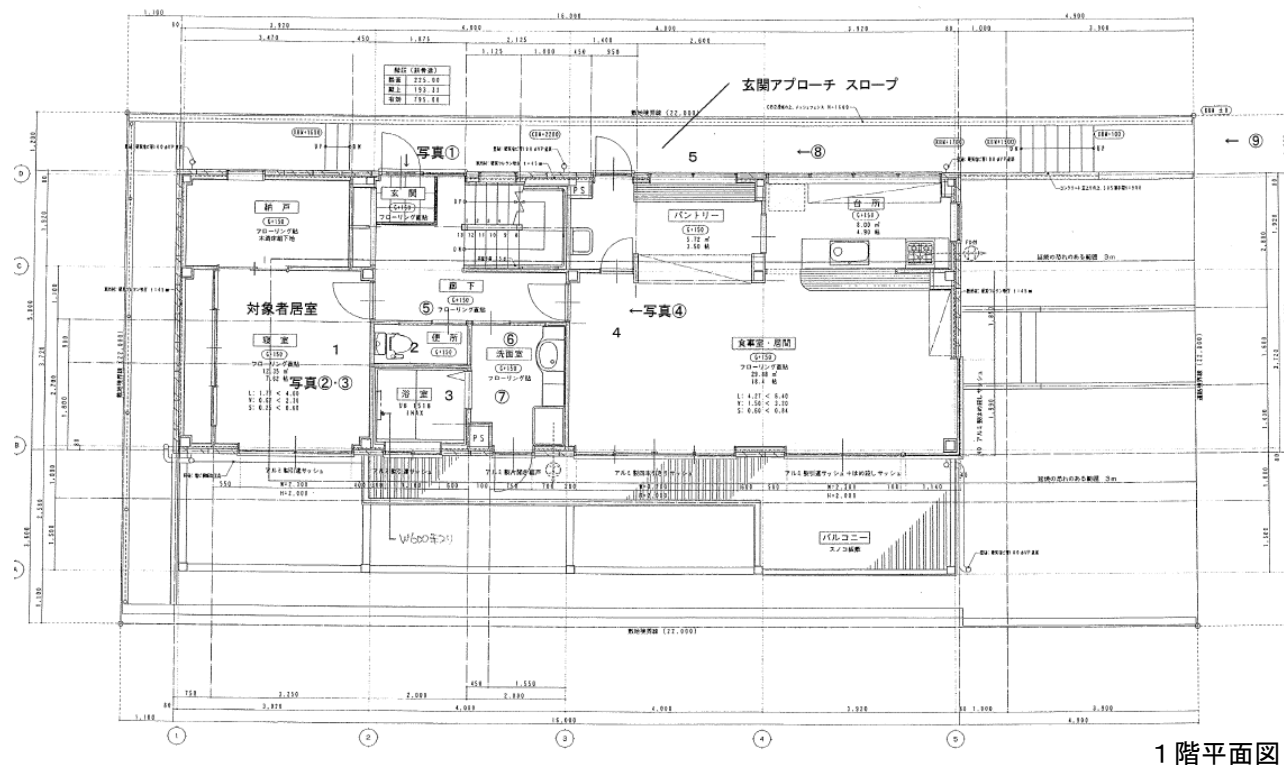
## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	階段等	居室が2階にあり階段の利用が危険
2	前面道路との段差	前面道路より1階が2mほどあがっており、地階は1mほど下がっているため 車椅子等の移動が難しい
3	便所	右上肢障害及び歩行困難なため手摺が必要
4		

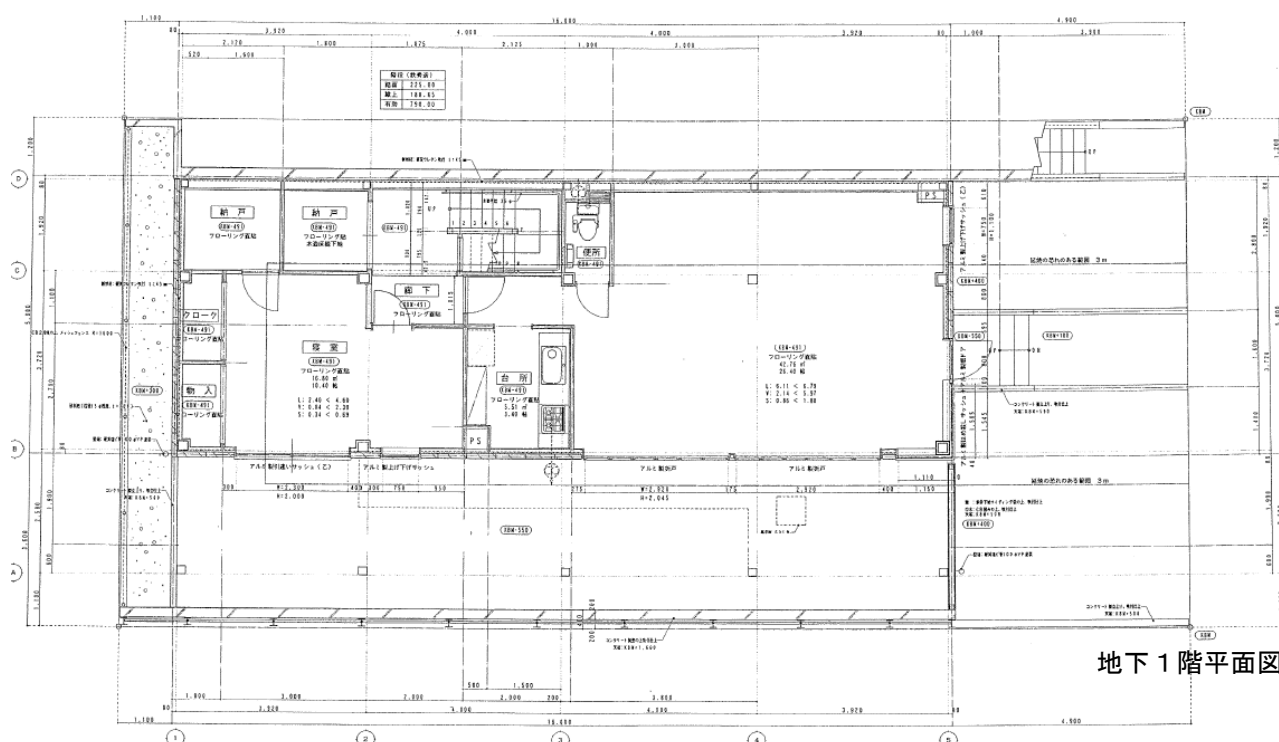
■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

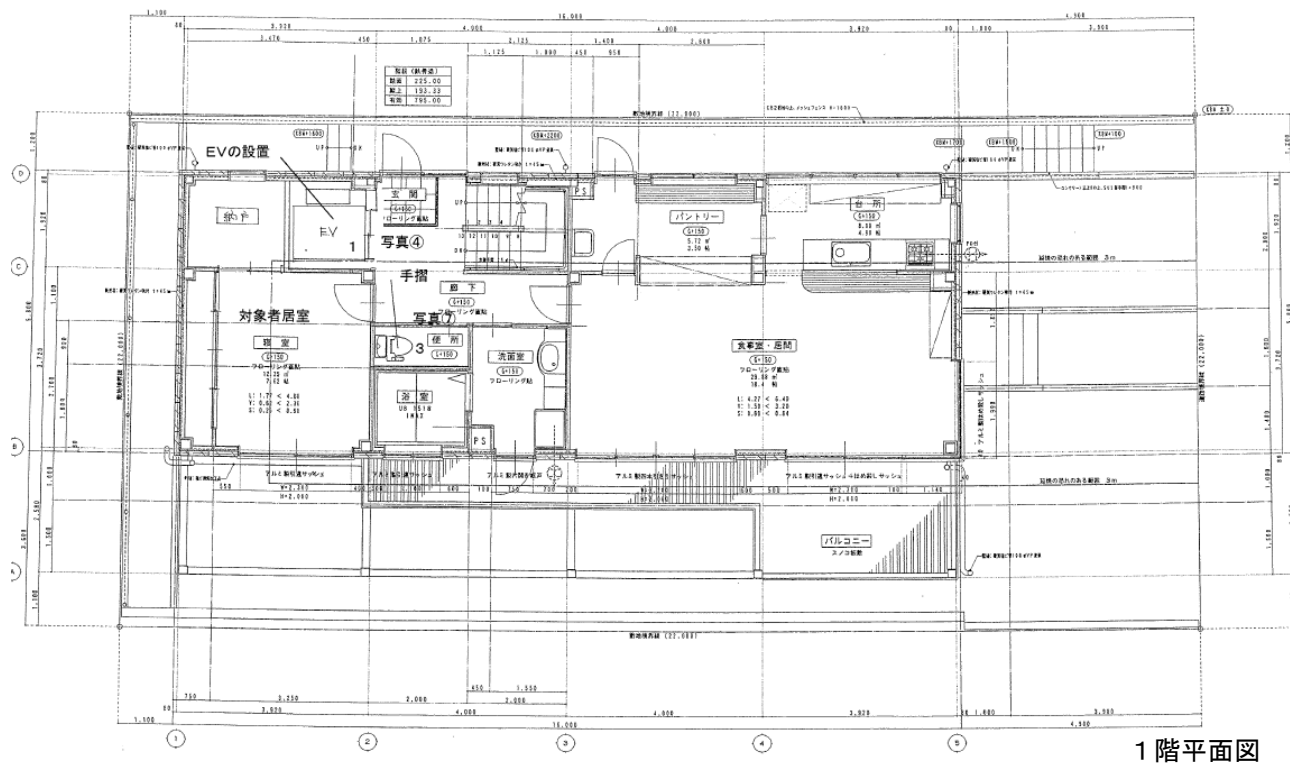
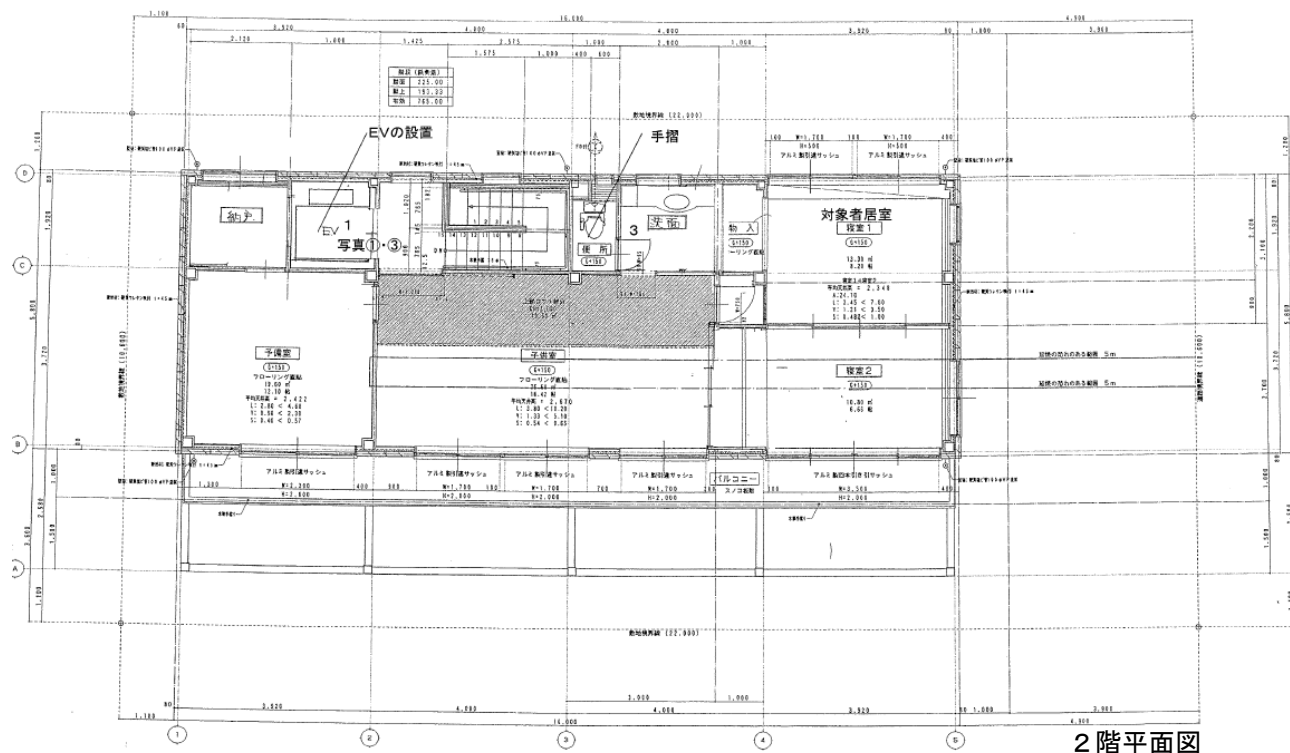
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	階段等	階段の利用をあきらめ、E Vを設置し各階を移動可能にした。	①④
2	前面道路との段差	段差解消リフトの設置 住宅玄関からの出入をあきらめ地階より外部へ移動	①④
3	便所	手摺の設置	⑥
4			

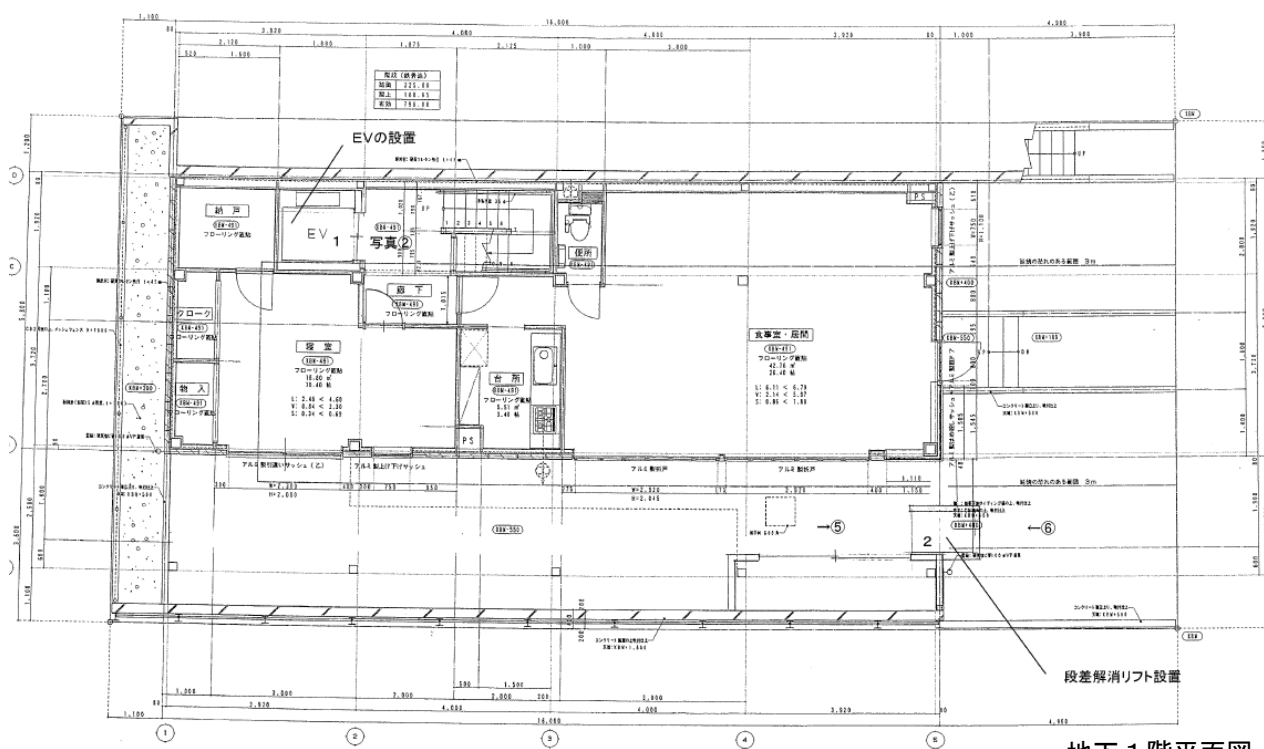
### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

# ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図







## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	E V工事	②	地階E V入り口
			
③	2階E V入り口	④	1階E V入り口
			
⑤	前面道路までの段差解消リフト	⑥	段差解消リフト
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	1 階便所 手摺	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

新築時に高齢者対応の住宅として各階は段差の無い構造でしたが、敷地の関係で高低差があり新築時には住宅玄関への階段昇降機の可能性・地階までの段差解消リフトの設置、高齢者居室の変更など対策を考えていました。どのような状態に変化するのかわからないので改修が必要になった高齢者の常態に合わせて改修することに決めていましたが、結局はEV及びリフトの設置という改修工事にいたったわけです。

リハビリを終えてなんとか歩いて自宅に戻った父親も脳梗塞を繰り返し2008年には他界しました。

2013年現在、夫の母は週に3度の人工透析をし、脚を切断し車椅子の生活になっていますが自宅にて生活できています。身体障害者1級・要介護認定5と症状は進みましたが、訪問介護の利用と通院介護のサービスを利用し生活しています。



# 105 (024) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	東京都多摩市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（対象者が日常生活を安全に過ごす。骨折しやすいので転倒に注意が必要。）
主たる工夫のポイント	年齢が若いため、『介助されている』という風な改修にはしないように心がける。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	108.98 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2013 年／概ね 20 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 ■前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階和室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 ■医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	60 歳 / □男 ■女
		家族	夫 64 歳、娘 30 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 ■要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	多発性骨髄腫	
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り ■一部介助 □全介助 ■その他 (補助棒を利用して起きる)
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input checked="" type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input checked="" type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
*改修・建築後の	有無		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
通所系サービスの利用状況	種類		<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
訪問系サービスの利用状況	種類		<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input checked="" type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション（２回/週） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の	有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
福祉用具の利用状況	種類		<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

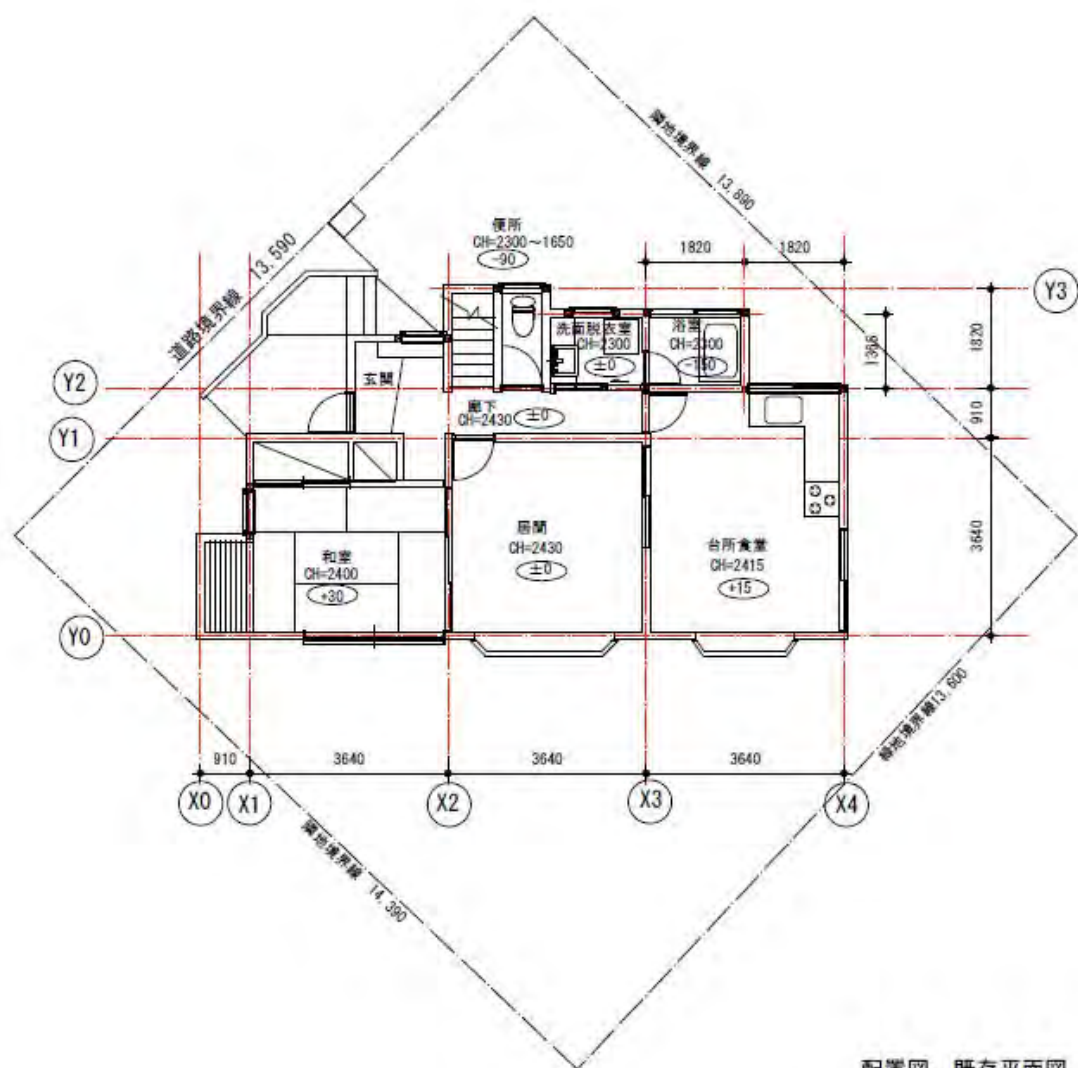
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	外部階段+ポーチに手すりを設置。手すりが無いとひとりで外出できない。 玄関ポーチは目立つところであり、まだ 60 歳なので、見るからに介護という ような手すりにはしたくない。	外部階段、玄関前アプ ローチ
2	トイレの段差解消。廊下より-60mm	トイレ
3	浴室の段差解消、ユニットバスにして、暖かく滑り難い床に。手すりを設置。	浴室
4	車椅子での入れるように出入口の間口を広くし、沓づりを無くす	洗面所
5	玄関の昇降時に使う手すりを設置。	玄関
6	ローコストで仕上げたい。	全般
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関ポーチ、外階段	外壁がサイディングのため、耐力不足から壁には設置出来ない。階段や玄関ポーチの形状が複雑なため、既製品の手すりではいくつものパーツを使う必要がある。メーカーの自在手すりは色が限られており、コストも高い。
2	玄関昇降のための手すり	壁下地の耐力が無い。玄関は吹き抜けになっており、壁を壊して補強版を入れると壁面積が広いとため、コストがかかる。

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



配置図、既存平面図  
1/100



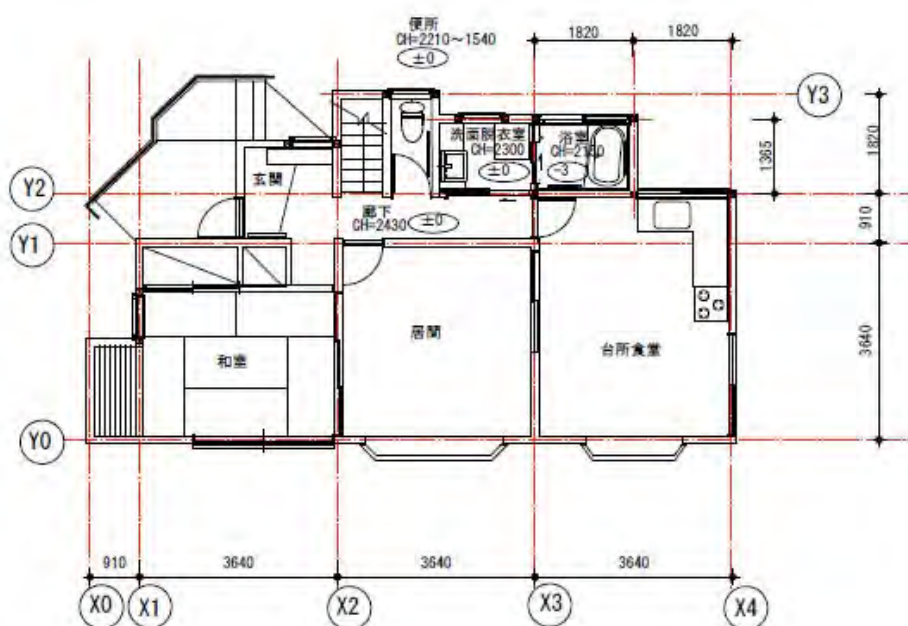
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

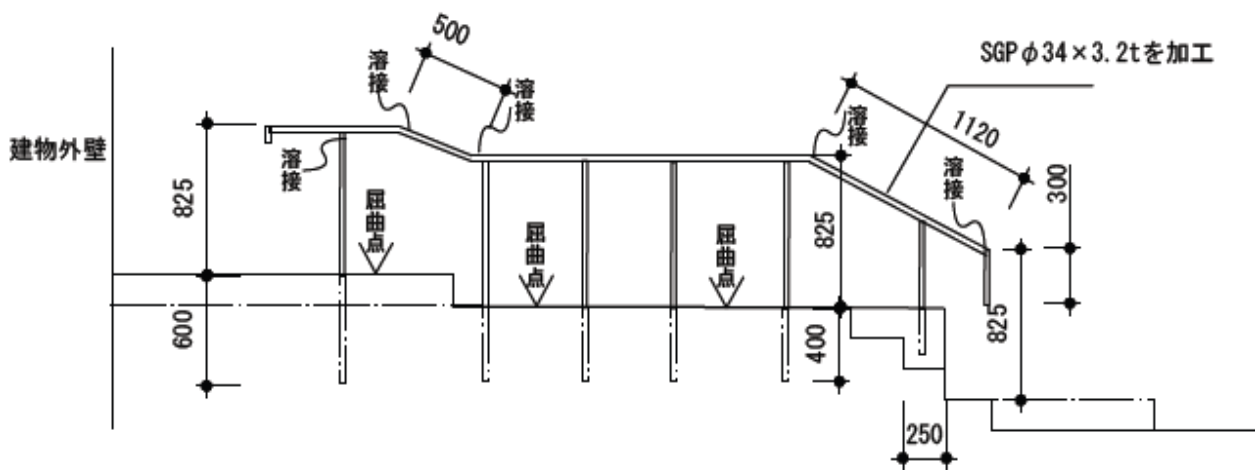
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	外階段手すり	鉄管を切断加工、溶接後、塗装をして仕上げた。鉄管は冬冷たいが、本人が色選択を出来る事やデザインを優先した。手すりの高さは、職人さんに鉄管を支えてもらい、ちょうど良い高さを決めた。 玄関タイルは穴をあけるとヒビが入り破損の危険があるので、距離を確認して花壇の縁石部分に取付けた。	①
2	玄関手すり	壁に設置した手すり下地板の角を面取りして、なるべく住まいに違和感がないようにした。また、既製品手すりに合わせて下地板を同色に塗装した。	①

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	外階段手すり	②	外階段手すり
			
③	外階段手すり	④	玄関手すり
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑤		⑥	
			
⑦	トイレ手すり	⑧	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

※介護保険は、1の外部階段とポーチの手すりに利用。

# 106(088)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	T邸	事例所在地	北海道旭川市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> その他（トイレでの動作を安全に自分でしたい）
主たる工夫のポイント	既存の便座の高さが低く、座る時に手すりにつかまってもドスンと座ってしまい、立ち上がる時も介助がほしいので、便座を高くしたい。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	1F 部分 75.6 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 24 年／概ね 32 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 86 歳／ □男 ■女 家族 娘 63 歳、娘の夫 75 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 ■娘 ■子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 ■要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	無し ( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	腰・膝痛と加齢に伴う両下肢の筋力低下
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り ■軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 ■見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り ■無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	トイレを介助なしで行きたい。	トイレ
2		
3		

#### 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	トイレの奥行が狭く、便座が低く、又隅の手洗いが、高く洗わずらい。
2		
3		

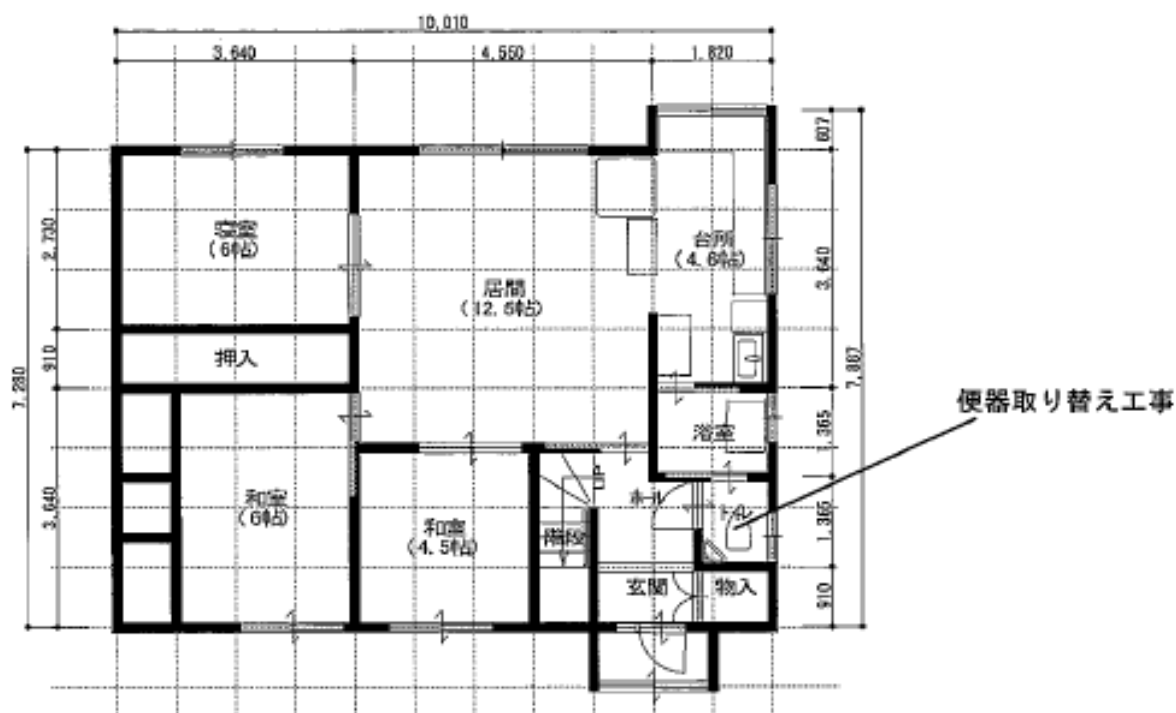
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	立ち座りしやすく便座の高さ42センチ・奥行もコンパクトで、手洗いも届く高さ800の TOTO ウォシュレット GG800 を設置しました。	⑥
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





# 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ	②	既存便座の高さ
			
③	既存手洗いの高さ	④	床 解体
			
⑤	リフォーム後 便座の高さ	⑥	トイレ
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	リフォームご手洗い	⑧	
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

対象者は、当初ディサービスに行くのを嫌がっていたが、トイレ改修するのに1日かかり、日中トイレを使えないことを理由に、ケアマネージャーと、ディサービスの体験を勧めて娘さんで行って見たところ、大変気に入って、その後毎週通所するようになり、娘さんもホットしているとのことでした。

# 107(108)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	支-A-2	事例所在地	神奈川県
------	-------	-------	------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	高齢になったお母様のために、増築によって洗面所と浴室のスペースを広げ、後々介護が必要になっても対応できるよう、ゆとりのある空間に。洗面所からも直接トイレに出入りできるように引き戸でつなげています。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 650 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	7.17→10.5 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳代／ □男 ■女
		家族	娘 50 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

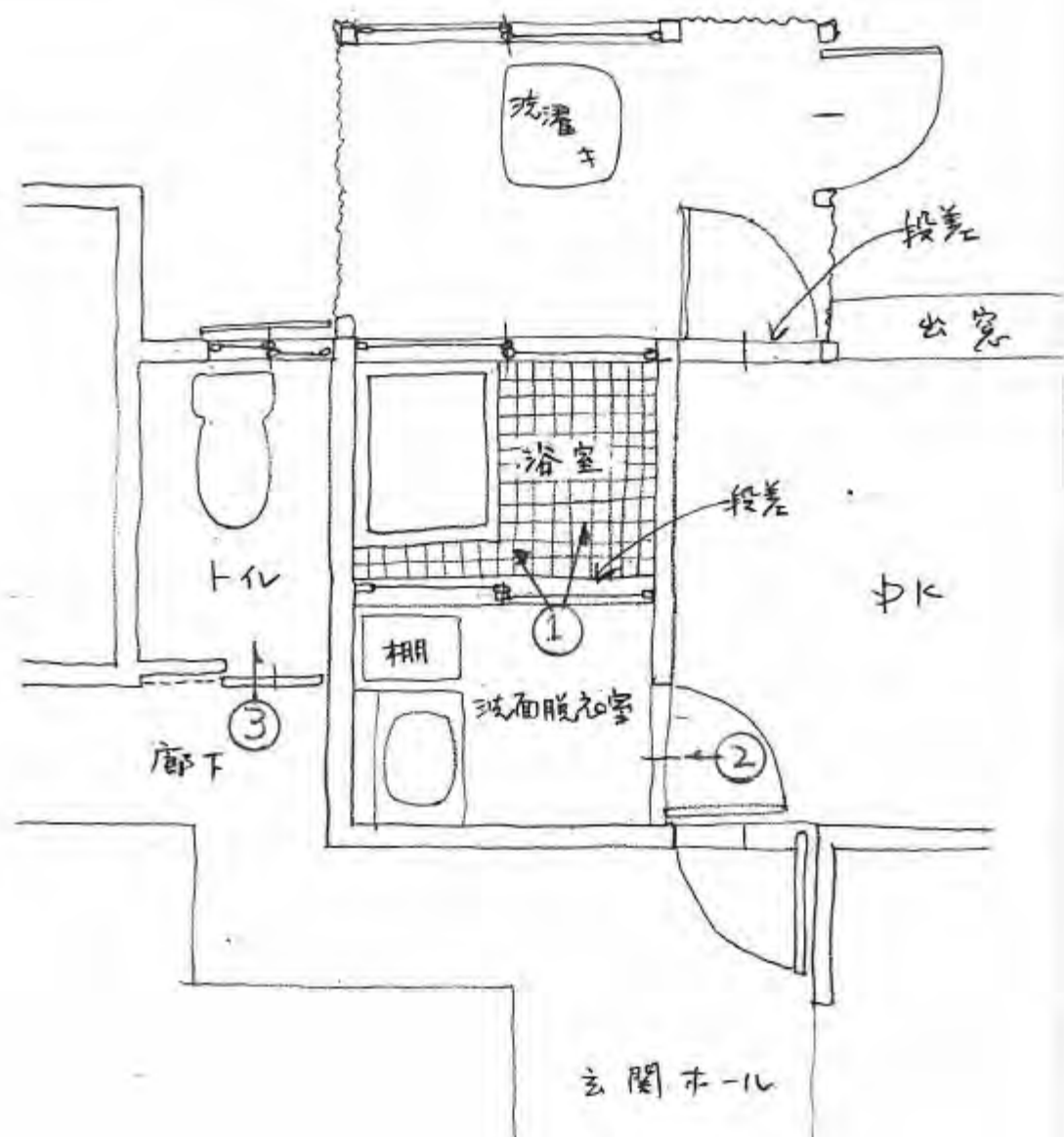
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	高齢期を迎えた母のために、安全で快適な水まわりにしたい。後々介護が必要になったときに、介護しやすいような空間にしておきたい。	
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	浴室	段差が心配。掃除が大変。床が冷たい。補助具の手すりを使って浴槽に出入りしている。
2	洗面所	物がいっぱい。
3	トイレ	手洗いを別にしたい。素敵にしたい。
4		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



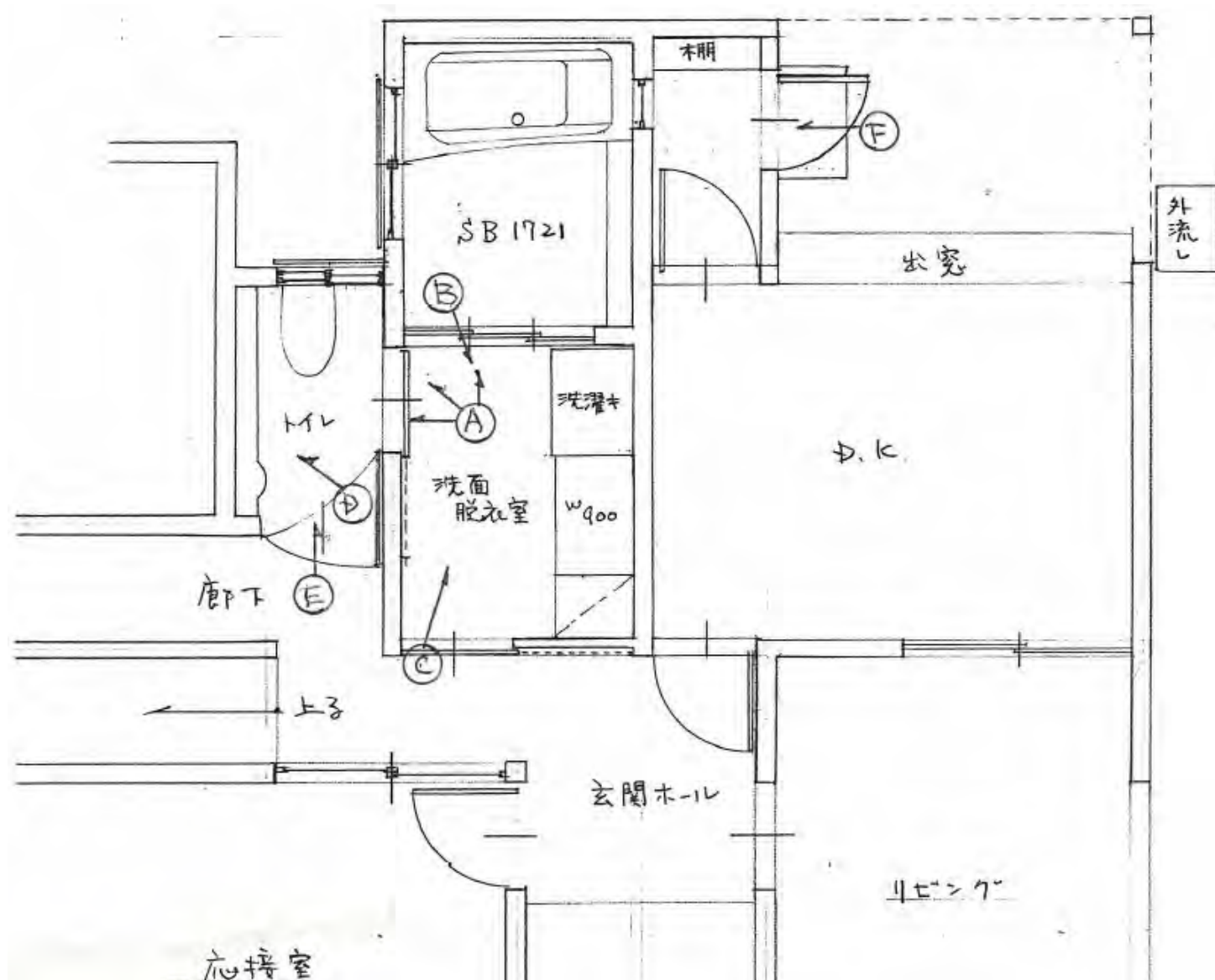
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	A. 浴室	広さを0.75坪から1.25坪に。スペースを拡げ、快適性が増すと共に使い勝手も良くなり、また今後介護が必要になったときも考慮。窓を複層ガラスで外気の影響も少なく配慮。さらに2部屋換気の浴室暖房乾燥機を使い、洗面所の換気も考えた快適な空間に。	⑤
2	C. 洗面所ー浴室	洗面所から浴室への段差を解消するとともに3枚引き戸で使いやすくした。	⑤
3	A. 洗面所ートイレ	洗面所からトイレへの扉を設け、廊下と洗面所の双方からトイレへ。	⑤
4	E. トイレ	引き込み戸を使って出入り口の幅を広げ、また内付けサッシを取り付けて、外気の影響を少なくした。	⑤
5			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	A. 浴室	②	C. 洗面所－浴室
			
③	A. 洗面所－トイレ	④	E. トイレ
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

水まわりのスペースが広くなって使いやすくなりました。

洗面所から直接トイレに行けるので、入浴時のトイレも安心です。冬の浴室の寒さからも解放されました。

トイレ、洗面所、浴室とすべての段差がなくなり、安心して出入りできます。



# 108 (046) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	A邸	事例所在地	島根県松江市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	障害者が楽に使用できるよう和式便器から洋式便器に改修した。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	168.00 m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	平成 23 年／概ね 60 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	2 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	46 歳 / ■男 □女
		家族	父 75 歳、母 72 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	■介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	■自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (■杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1		
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1			
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	便所（改修前）	②	便所（改修後）
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 109(110)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	支-A-4	事例所在地	大阪府
------	-------	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	急勾配の階段によって仕切られていた和室、食堂・洋間をつながりのある空間に。LDK の隅に階段を移動し、緩やかな回り階段として安全に昇り降りできるようにしました。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 810万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	45.4→46.2 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	50歳代 / □男 ■女
		家族	
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り(□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用(□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

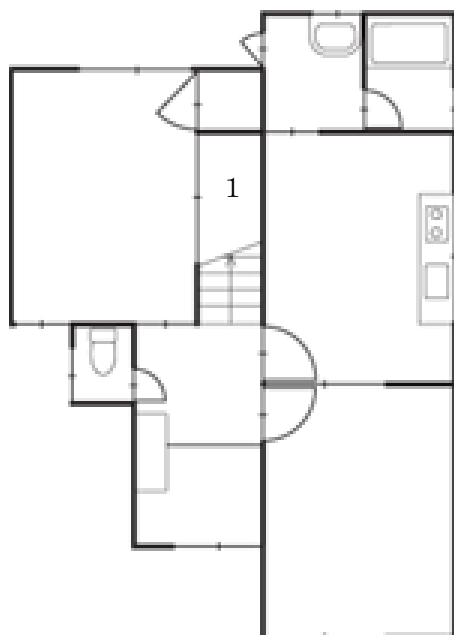
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	今後のことを考え、急な階段を緩やかにしたい。	階段
2	1階を広く使えるLDKにして、できれば和室も残したい。	居間
3	トイレも広くしておきたい。	トイレ
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	階段	急な勾配の階段が家の真ん中にあり、1階が間仕切られていた。
2		
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



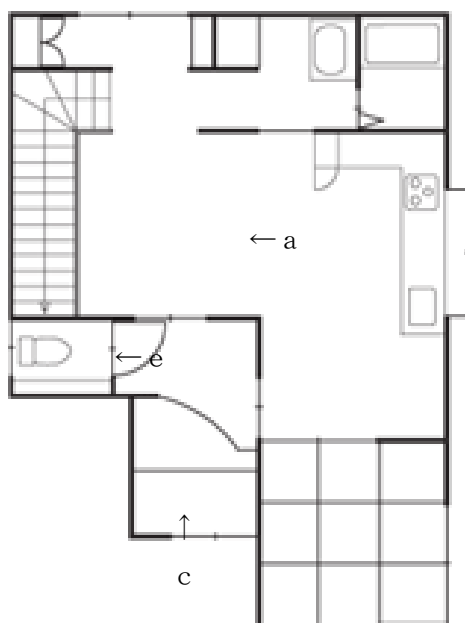
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	a. 階段	1 間で上がりきっていた階段を位置を変え、1. 5 間プラス 2 段で上がりきる回り階段とした。さらに、幅も内寸で 900mm を確保。 元の階段部は、梁・柱を補強して耐震性を高め、LDK スペースを拡大、一繋がりに。 広がったスペースには断熱材、内張りサッシで断熱性を考慮。	⑤
2	c. 玄関	ゆったりとした 2 段上がり框とし安心して出入りできる設計に。	⑤
3	e. トイレ	増築しスペースを確保。	⑤
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	a. 階段、LDK	②	c. 玄関
			
③	e. トイレ	④	
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

階段がゆったりして、手すりを使わなくてもラクに上がれるほど使いやすくなりました。1階も空間が広くなったので、動きやすいです。



# 110(118)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	ケアーC-1	事例所在地	愛知県
------	--------	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	築40年の老朽化した住まいを、介護が必要なお母様のために段差解消、手すり設置など、バリアフリー仕様に。使用していない店舗スペースを活用し、お母様の寝室を1階に設け、水まわりを広くとって動きやすい回遊動線に。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	□木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	□持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 78万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	101 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	□平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	70 歳代／ □男 ■女
		家族	息子 50 歳代
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)	
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	□無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度	
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)

* 改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
* 改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input checked="" type="checkbox"/> 手すり <input checked="" type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

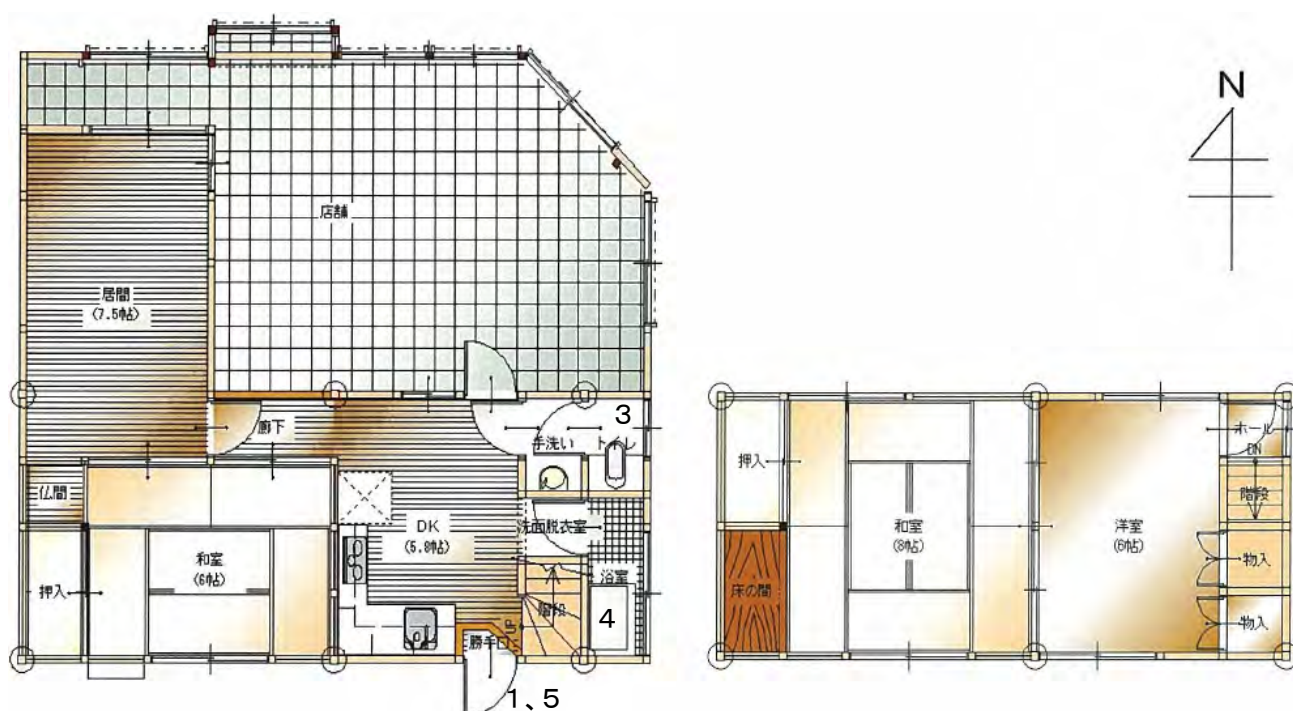
#### 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	来訪者用の玄関がなく、不都合。	玄関
2	介護が必要な母のために暮らしやすい住まいにしたい。	全体
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	勝手口	店舗用出入り口と勝手口しかなく、来訪者にとってわかりにくい。また、勝手口は狭く、段差も大きい。
2	全体	部屋毎に段差があり、出入り口も狭い。
3	トイレ	段差のある和式トイレ。
4	浴室	狭くて寒々する在来式浴室。
5	水廻り	洗濯機が外にあるなど、水廻りの家事動線が悪く、スペースも狭い。
6		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





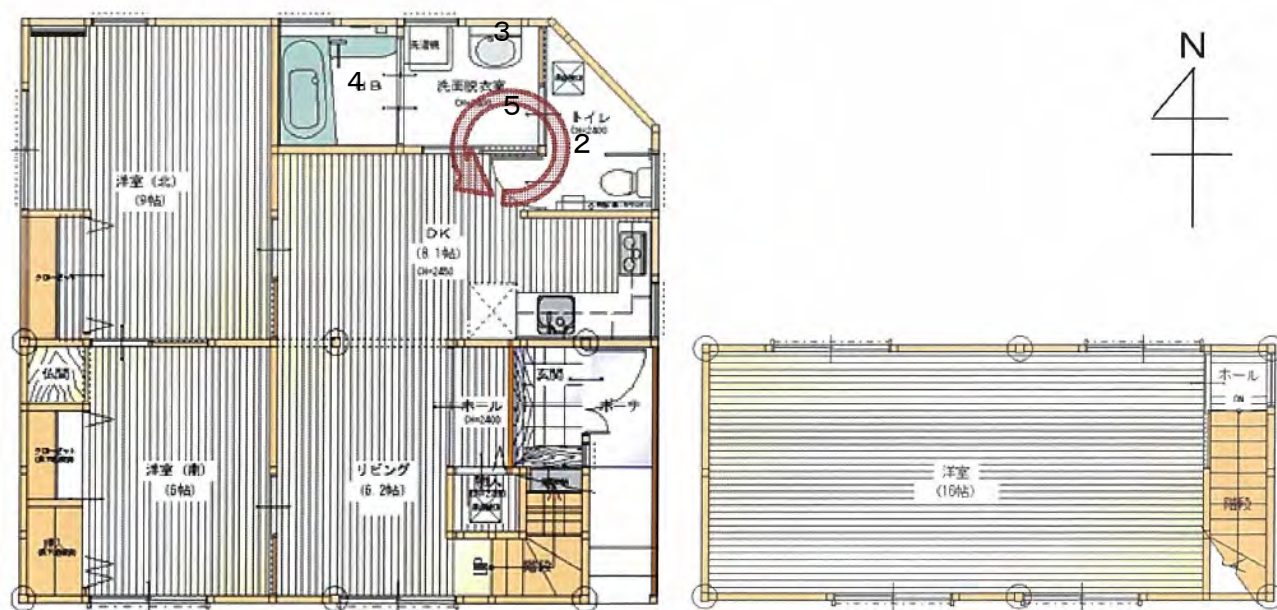
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関	アプローチに手すりも付け、高齢の訪問者にも配慮。 玄関内には式台、手すりで出入りに配慮。	①
2	トイレ	明るくゆったりとした、介助し易いトイレに。	④
3	洗面所	車いす対応の昇降する洗面台に。	④
4	浴室	1坪の広々浴室に。	⑥
5	キッチン、トイレ、洗面	回遊式にし、家事動線をよく。	④
6			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関	②	玄関（アプローチの手すり）
		 <p>②アプローチに手すりを付けて、高齢の訪問者にも配慮</p>	
③	玄関（式台）	④	玄関（手すり）
			
⑤	トイレ	⑥	洗面
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	キッチン、トイレ
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

お施主様の声：

店舗用の出入口と勝手口しかなかった家に、玄関とアプローチができたことで、近所の方が訪ねてくれることが増えて、介護のアドバイスもいただくようになって母とともに喜んでいます。部屋の移動がしやすくなったので、母が身のまわりのことを自分できるようになりました。



# 111 (094) 「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	Ⅰ邸	事例所在地	東京都
------	----	-------	-----

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者対応 <input type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	① 46 m <sup>2</sup> の集合住宅を高齢夫婦のためにワンルームに全面リフォーム * 息子夫婦（60代半ば）からの依頼 ② ベッドコーナーからトイレ、浴室まで一直線で行けるプランに ③ 介護者のための休息のためのソファ（仮のベッドに） ④ 手すりや洋服掛けのためにデザインされた2段のバー ⑤ 馬型手すり ⑥ 多目的テーブル前の壁は介護者同士の連絡のためのピンナーボードとして有効

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	46 ㎡
	工事実施年／工事費用	平成 6／概ね 800 万
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	46 ㎡
	敷地の状況	<input type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 療法士 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input type="checkbox"/> その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄	
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者	88 歳 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		家族	妻 85 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り（ <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他） * 近くに住んで介護	
身体状況	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護 5 <input type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明	
	* 身体障害の有無と状況（障害種別と等級）	パーキンソン病で車椅子、又は両側手すりで歩行（ ）	
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況		
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度	
	ＡＤＬの状況	食事	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）
		屋外	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input type="checkbox"/> 車椅子利用）

* 改修・建築後の通所系サービスの利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
* 改修・建築後の訪問系サービスの利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 □訪問リハビリテーション ■その他（ 巡回医師 ）
* 改修・建築後の福祉用具の利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

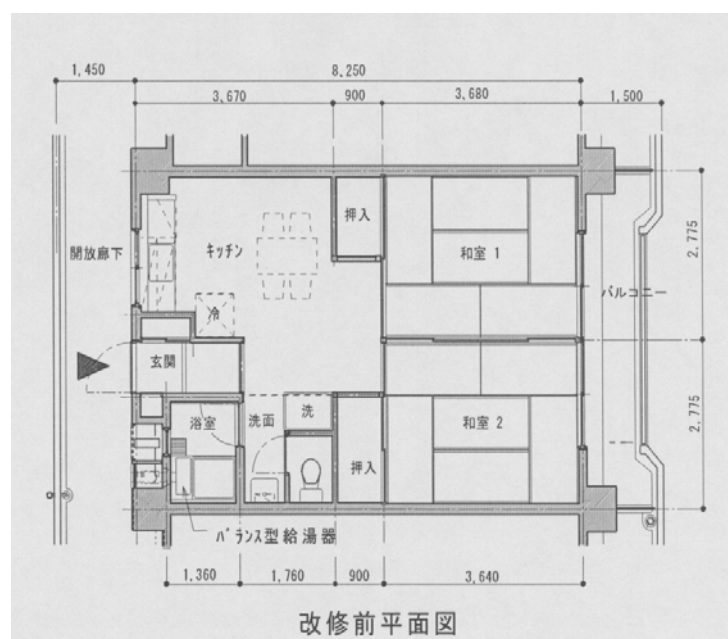
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	<p>築35年の集合住宅で、今まで全く手を入れていない。 南バルコニーに面して6帖和室が二間の当たり前のプランをワンルームに改修した。 高齢の親を心配した息子夫婦が、父親が入院中に計画し、2か月間で工事を行った。 * 高齢夫婦のための集合住宅1住戸の改修の例だが、二世帯住宅の場合でも、水回りを含めて40㎡程度の独立した空間は、家族に気兼ねなく訪問サービスを受ける、そして提供する、のに必要なのではないか、と感じた設計であった。</p>	
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1		
2		
3		

### ■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



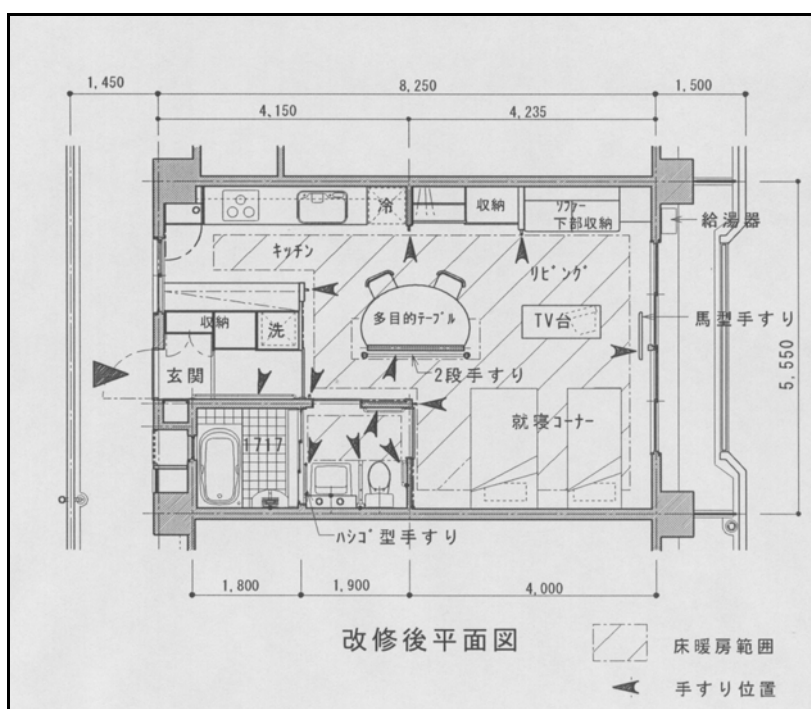
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	全景	—	—
2	旧キッチン	—	—
3	寝室コーナー、リビング	床：コルク、温水式床暖房 壁・天井：珪藻土、コテ仕上げ	
4	居間	ダイニングテーブルは多目的に使う 間仕切り壁はピンナップボードに	
5	居間	回転式テレビ台を備え付け 創りつけソファは背を外して簡易ベッドになる 馬型独立手摺	
6	トイレ、洗面、浴室	ワンルームとし、ベッドから浴室まで直線でつながる	
7	トイレ、洗面	洗面ボウルは車椅子対応の薄型 便器横に折りたたみ手摺	
8	洗面、浴室、ハシゴ手摺	浴室出入部分には、タオル掛け兼用ハシゴ手摺 浴室は3枚引戸、バリアフリーユニットバス	

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	全景、旧キッチン	②	旧キッチン
			
③	就寝コーナーからリビング方向を見る	④	バルコニー側から全体を見る 多目的テーブル、間仕切り壁はピンナップボードに
			
⑤	回転式テレビ台（中央）、ソファベッド、馬型手摺	⑥	トイレ、洗面、浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	トイレ、洗面	⑧	洗面、浴室、ハシゴ手摺
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 112(084)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	K邸	事例所在地	宮崎県延岡市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	■新築    □建替え    □改修（増築を除く）    □増築
対象者の別	□高齢者対応    □障害者対応    ■高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	■主に対象者の現在の状況を考慮した工事 □主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<div> ■「対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫  ■ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫  ■ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫  ■対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫  ■介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 </div> <hr/> ■その他（なるべく自分で生活できるように）
主たる工夫のポイント	進行性の病気なので、リハビリも兼ねなるべく自分で生活できるように、介護になってもストレスのないように、細かいところまで配慮を重ねた。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	108.6 m <sup>2</sup> ／ 1 階建
	工事実施年／工事費用	平成 20 年／概ね 1,600 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		対象者の部屋、LDK
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター ■その他（対象者が元養護・支援学校の先生でした ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 65 歳／ □男 ■女 家族 夫 63 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 ■要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障がいの有無と状況 (障がい種別と等級)	( )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	パーキンソン病 ふるえ、すくみ足、小刻み歩行、前傾姿勢…
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		排泄 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		入浴 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
		起居 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)



## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	アプローチ ポーチ 玄関	駐車場から玄関までのスロープ、玄関内スロープを設置し、居室から駐車場までの段差をなくし外出しやすいようにした。 将来の車椅子移動にも備えるため。 駐車場から玄関ホールまで、手すりをつなげた。	① ④ ⑤ ⑥
2	各部屋の建具	全室引き戸を採用し、引手は上から下までの掘込引手とした。 上吊りレールにして足元に段差が出来ないようにした。 間口が広いところは引き違いを設置し、どちらからでも出入りできるようにした。	① ④ ⑤ ⑥
3	妻（対象者）の部屋	部屋内に引き戸、手すり付のトイレと手洗いを設置した。車椅子になったら引き戸＆間仕切りが簡単に外せるようにしており、将来の介助・介護時にもホームヘルパー等が利用できる。	① ③ ④ ⑤ ⑥
4	妻（対象者）の部屋	掃き出し窓を設置し、寝たきりになったらそこにスロープを設けられるよう前庭を広くとっている。	② ③ ⑤
5	クローゼット	お互い気兼ねなく就寝できるように、でもいざという時はすぐに来てくれるように、クローゼットを挟んで対面に対象者の部屋と介護者の部屋出入り口を設けた。 将来、夜間の訪問サービス時にも介護者（夫）に迷惑をかけない。	③ ⑤
6	ホールからトイレ、ＵＴ、ＵＢの水廻り	ここにもトイレを設け、あちこちに手すりを設置し、身体のバランスを崩さないようにした。介助になっても、車椅子になってもローカや出入り口など十分な広さを確保している。	③ ④ ⑤ ⑥
7	ＵＴ	洗面器の他に洗濯流しを設けた。	③ ⑤ ⑥
8	キッチン	システムキッチンは壁付けにして、手すりの代わりに台と壁伝いで移動できるようにした。将来、車椅子になった時のためにもスペースが広く取れる。	③ ④ ⑤ ⑥
9			

### ※工夫分類

①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫

②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫

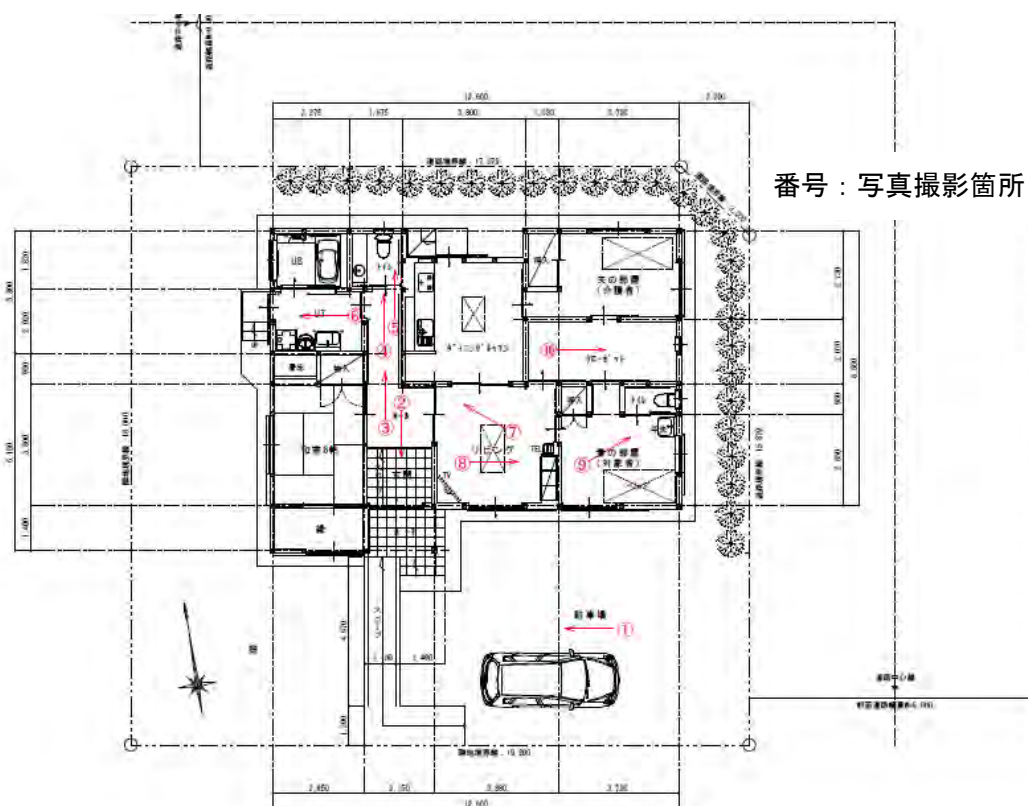
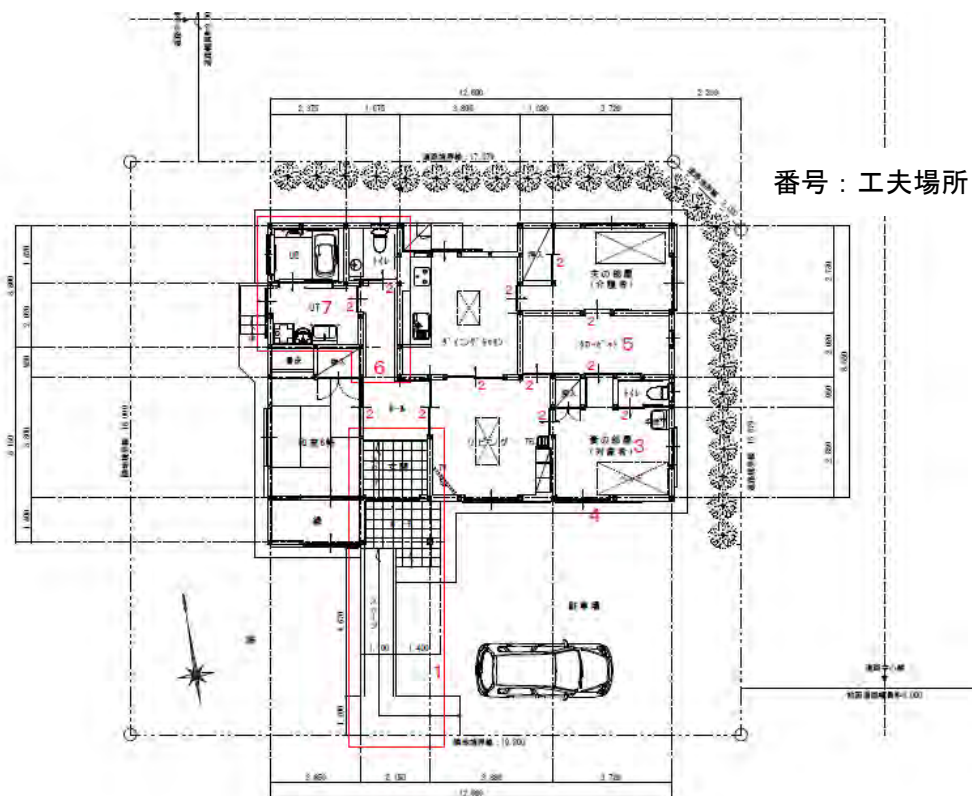
③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫

④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫

⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫

⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図





## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	駐車場～アプローチ～玄関／スロープ、手すり	②	玄関ホール／スロープ、手すり、段差なし
			
③	ホール～ローカ～水廻り／手すり、段差なし	④	トイレ／2枚引込み戸、手すり、カウンター
 <p>* 現在は正面壁と廊下両側にも手すりを設置。</p>			
⑤	トイレ建具／高さいっぱいの堀込引手	⑥	ユーティリティ／洗濯流し、縦手すり
			



番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	リビング／どちらからでも入れるように広く	⑧	リビング／居場所に TEL と物入れを設置
			
⑨	妻の部屋／専用トイレ、手洗い、簡易間仕切	⑩	クローゼット／対象者と介護者の緩衝地帯
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

- \* 対象者が元支援・養護学校の先生だったため、十分な打ち合わせの上で設計施工できたので、途中変更入居後のクレームありません。やはり、お施主様自身が自分の身体機能や疾病をよく知り、こちらに伝えてくださって、納得してもらえる設計をすることが一番大切だと感じました。
- \* 上吊り戸は下レールがなく、つまづきやゴミつまりがなく、とても好評です。
- \* 引き戸をどこでも開けられるように、高さいっぱい堀込引手にしたのも好評です。
- \* 段差をなくすため、玄関框をポーチと面一にしたのですが、ゴミが入ってくるみたいで、障がいがいなければ・・・と悔やんでおられました。
- \* 将来のために手すりの下地はすべての壁に入れておいたのですが、ご入居後生活しながら位置を決めて早々と取り付けました。生活してみても付けてもらって良かったです。と受けました。
- \* 施工の難点といえば、上吊り戸に必ず空いてしまうの隙間・・・これをどうにかするのが課題です。

今のところ、クッションでカバーしてますがゴミたまりになるのです…；；

# 113(003)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	北海道札幌市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input checked="" type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (最も重視した工事1つをチェックして下さい)	<input type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (最も重視した工夫を上記4つの項目から1つチェックした上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	<p>進行性の病気だが、現状の機能を継続できるようにかつ、介護負担が増えなくても介護者の負担が増えないように工夫した。</p> <p>今回の工事は高齢に備えて思い切った改修を実施した。</p> <p>床段差の解消に併せて床暖房（電気）設備とした。熱源が室内に出ないので安全に移動が可能。室内は電動車いすの移動の障害にならないように、床に物を置かないように工夫した～壁面収納、吊り戸棚。</p> <p>ホームエレベータを設置することで、玄関～1階～2階の移動が可能となった。</p>

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	115 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2010 年／概ね 2,100 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	115 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 54 歳 / □男 ■女 家族 夫 54 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	1 種 2 級 (遠位性ミオパチーによる坐位、起立困難な体幹機能障害 四肢機能障害)
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	遠位性ミオパチー
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の 状況	食事 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 ■その他 (日中独居時は自立)
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（入浴用品 ）

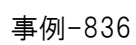
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	家の中が寒い	室内すべて
2	電動車いすで家中どこでも移動できるようにしたい。	室内すべて
3	電動車いすで調理を続けたい。	台所
4	できれば2階にも行けるようになりたい。	玄関、階段
5	洗面所で顔を洗えるようにしたい。	洗面所
6	浴室が狭いので介助スペースを広げたい。	浴室
7		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	室内全般	老朽化による断熱性能低下。灯油ストーブ1台では寒い。 室内の段差はないが、家財道具が多く移動経路が狭いため電動車いすでの移動が困難。
2	玄関	上がり框の段差があり電動車いすでの移動が困難。
3	台所	電動車いすでの回転移動が困難。流し台下部に膝をいれるスペースがない。
4	洗面所	洗面所が狭い上、既製の洗面台は膝入れスペースがないので電動車いすでは近づくことができない。握力が低下しているので水栓金物の操作ができない。
5	浴室	夫の介助で浴室までは歩いていくが、ドア敷居の段差と洗い場床が滑りやすいので転倒のおそれがある。（床に滑り止めマットを敷いている）
6	トイレ	日中独居時のみ、ひとりでできるように現状のトイレ動作を変えたくない。 病気の進行により自立困難になった場合に介助スペースがない。
7		

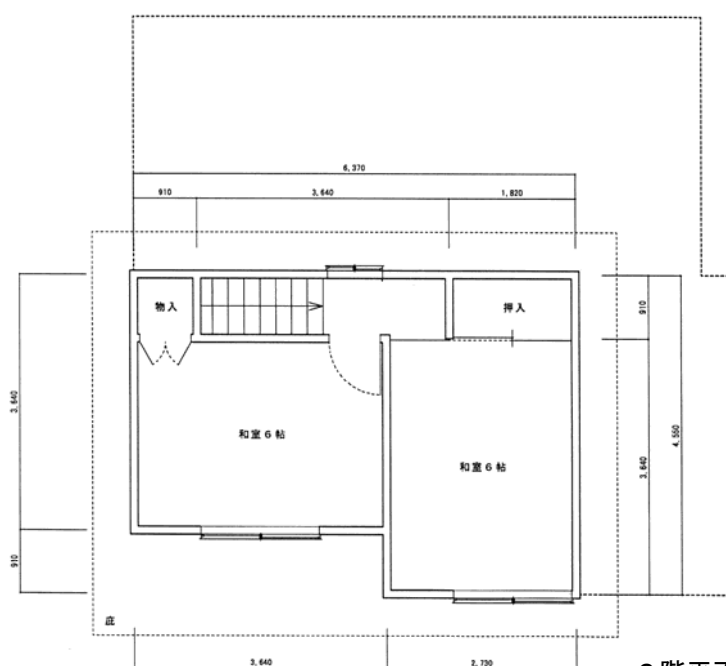
### ◆配置図



◆平面図



1 階平面図



2 階平面図

## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

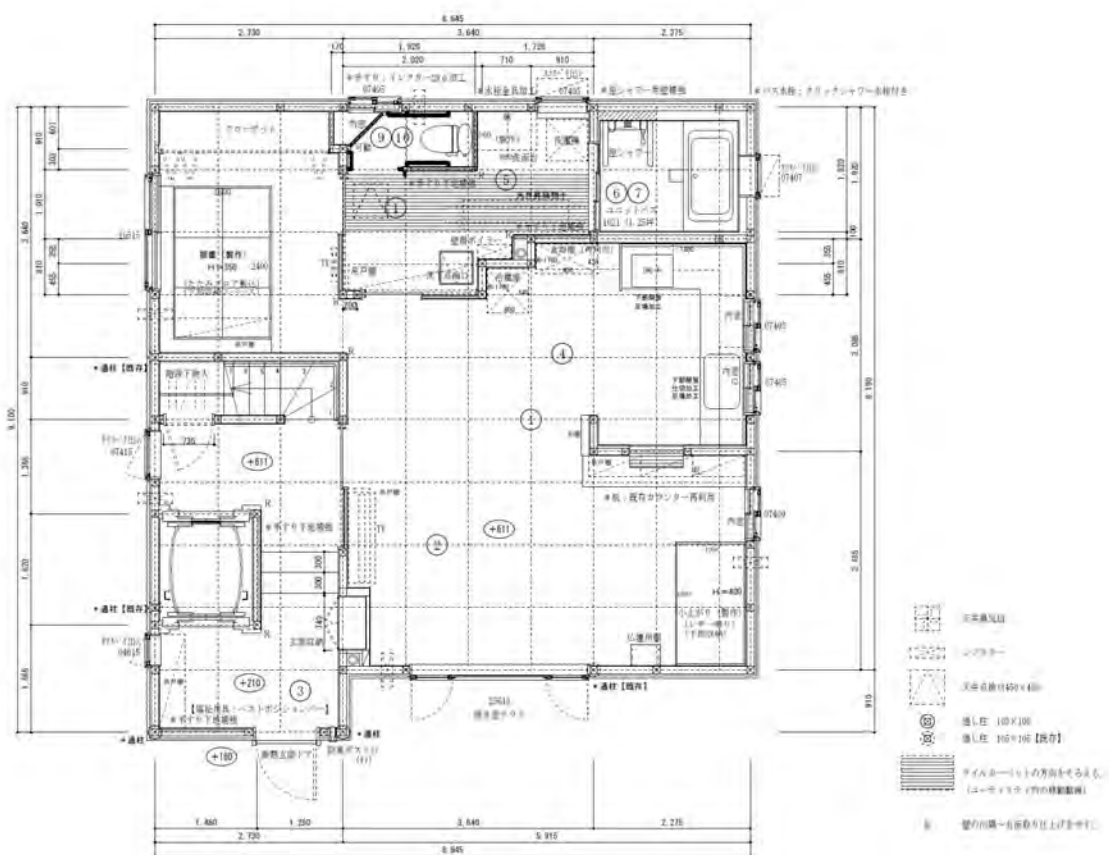
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	室内全般	断熱改修と床暖房（電気）により室内の温度差がなくなった。 ホームエレベーター設置に伴う構造補強と併せて電動車いす走行のために、室内の床の補強工事も実施した。	④⑤
2	玄関	ホームエレベーターの仕様を段差解消リフト機能と両方向ドアにすることで玄関から室内への移動と外出が可能になった。	①④⑤
3	台所	台所スペースを広げ、電動車いすの回転スペースを確保した。 コンロとシンク下部を開放して膝入れスペースを確保した。 操作が楽な水栓金物を選定した。	④⑤
4	洗面所	筋ジストロフィーの方が公開しているホームページで紹介されている洗面所を参考に、吐水部分をジャバラ状の管にして顔を近づけるだけで顔が洗えるようになった。操作部分は指が入る形状のハンドルを取り付けた。洗面台のサイズはモックアップを作って、確認しながらオリジナルの洗面台を制作した。	④⑤
5	浴室	介助スペースが広い1.25坪のユニットバスを採用した。 浴槽に入れないときでも同様の効果があるシャワーを設置した。	④⑤
6	トイレ	既存にほぼ忠実にトイレをレイアウトし、間仕切りは簡単に撤去できるように施工。手すり位置、形状は本人の移動動作を確認しながら決定した。ペーパーホルダーと手すりが干渉するため、ペーパーホルダーをスライドできるようにした。	④⑤
7			

### ※工夫分類

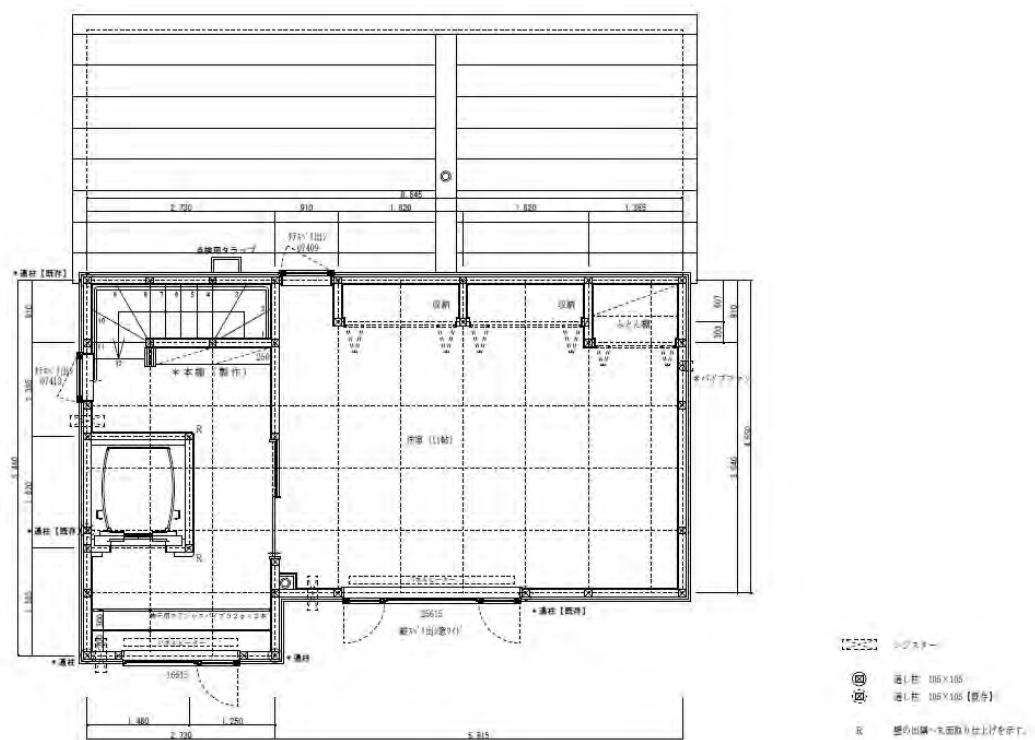
- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他



## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



### 1 階平面図



## 2階平面図

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	居間	②	居間
			
③	玄関	④	台所
			
⑤	洗面台	⑥	浴室
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	浴室	⑧	トイレ
			
⑨	トイレ	⑩	トイレ
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

M夫妻は初回訪問時に、改修の要望を具体的に記載したメモを用意されていました。また、長年関わっている理学療法士から病気についての情報収集が有益でした。

特にトイレのレイアウトは日中独居時に自力で行うため、安全性が求められる。今回の改修の一番大事な部分であると認識して臨みました。理学療法士と相談しながら、いくつかのパターンを作って検討してもらいました。ショールームで設計通りのレイアウトを本人と夫に試してもらったが、床の素材が違うためイメージがつかめませんでした。結局、自宅で新しいレイアウトを想定した手すりを夫に取り付けてもらい、移動できることを確認して最終のレイアウトが決まりました。

床暖房も数社から見積もりを取り、実際にショールームで室内の暖かさを実感して決定となりました。2階は物置状態だったが、相談を進めるうちに、絶対2階にも上がりたいという気持ちに変化していき、大きなサイズのエレベーターを導入することになりました。

竣工後に電動車いすが回転する箇所のタイルカーペットが剥がれて浮いてしまうトラブルが起きました。原因はタイヤの摩擦と重量（電動車いすと本人の体重）によるもので、接着剤をより強度のものにして貼り替えることになりました。



# 114(023)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	東京都八王子市
------	----	-------	---------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	<p>寝室から道路に直接出られるスロープを掃出し窓に設置。将来ベッドでの生活になっても屋外の生活を楽しめるように、スロープの一部を木製デッキにした。階段下収納を無くしトイレの面積を広くし、車椅子で使えるようにした。また寝室から直接トイレに行ける引き戸を設置。</p>

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	94.8 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	2012 年／概ね 160 万円（上記該当部分）
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		1 階和室（8 畳+押し入れ+床の間）→洋室（床暖房）+CL に改修
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 ■医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者 56 歳 / ■男 □女 家族 妻、息子 22 歳、娘 24 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し □介助者有り（□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他）
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 ■要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	（身体障害者 2 級）
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脊髄小脳を含む変性疾患（多系統萎縮症）
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立□見守り □一部介助 ■全介助□その他（ストマ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 ■その他（ディサービス）
		起居 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用）
		屋外 □自立 □見守りが必要 □一部介助 ■用具利用（□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	□有り □無し 不明（聞いていません）
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 □訪問看護 □訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） □手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	寝室（和室）を、介助用ベット、頸部まで支える車いすでの移動や移乗が楽にできるようにする。寝室と他居室の段差が110mmある。	和室
2	トイレが狭く、段差があり、車椅子で入れない。	トイレ、階段下収納
3	洗面所の出入口が狭く、車椅子で入れない。	トイレに洗面台
4	寝室から玄関まで遠く、屈曲が3回、框段差もあり外出時の介助（簡易スロープ設置）が大変なので、何とかしたい。将来訪問入浴サービスを受けたいが難しい。	南側庭に、道路までスロープ
5		

※介護保険は、2の手すり+便器に利用。4と2の洗面台は、障害者の中規模改修費用を利用。その他はケア連携型バリアフリー改修事業（補助金）を利用。

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	外出（玄関）	寝室が他室より110mm段差があり、車椅子で他の部屋に行く事ができない。玄関まで2屈曲、玄関にも框段差や玄関前段差があり、介助者の負担が大きい。
2	トイレ	トイレは廊下からの段差が+80mmあり外開きのため、手すりにつかまって移動しているが、本人、介助者の負担が大きい。寝室との段差も30mmある。



配置図、既存平面図  
1/100



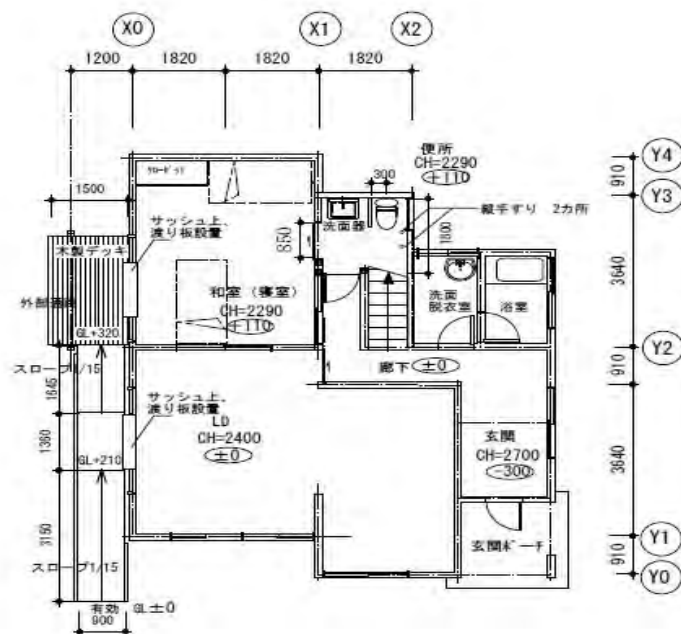
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	居室（出入り口の新設）	玄関からの外出をあきらめ、寝室のはき出し窓を出入り口とし、段差解消のスロープを設置した。寝室前は木製デッキ+ベンチ（になる手すり）を設け、家族との会話や花の好きな本人が屋外の生活を楽しめるよう工夫した。スロープの下り口は自宅駐車場とした。また、寝室から居間へアクセスするために、スロープの途中、居間のはき出し窓前を平坦にしてある。	①④
2	トイレ（出入り口の新設）	寝室段差+110mmの解消は大工事になるためあきらめ、トイレの床段差を寝室に合わせて高くした。階段下収納を壊してトイレを広げ、かつ寝室からトイレに直接行く引き戸を新設した。	④

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	スロープ木製デッキ全体	②	ベンチにもなる手すり付き木製デッキ
			
③	居間出入口前のスロープ平坦部	④	デッキと床高さは同じ（上部がベランダのため雨はほとんど入らない）
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑤		⑥	
			
⑦	寝室とトイレ、ベットは介助者用	⑧	寝室
			

## 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

床の間や押入を撤去し、部屋を広くした。介助者のスペースを確保し、必要最低限の身の回りものを入れられるクローゼットを作成。将来寝たきりになる事が予想され、ベットを置く位置の正面に、天井からテレビを設置した。また、将来使う医療機器用のコンセントなども増設した。(床の間等を壊したので、電気配線や下地と一緒に工事する事が出来たため。)



# 115(103)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	M邸	事例所在地	熊本県熊本市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	リフトの設置場所の確定

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 階建
	工事実施年／工事費用	年／概ね 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 □理学療法士 ■ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄		
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者	歳 / ■男 □女	
		家族		
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)		
身体状況	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明		
	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	( )		
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況			
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度		
	A D L の状況	食事	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		排泄	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		入浴	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
		起居	□自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )	
移動方法	屋内	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		
	屋外	□自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)		

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	<input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

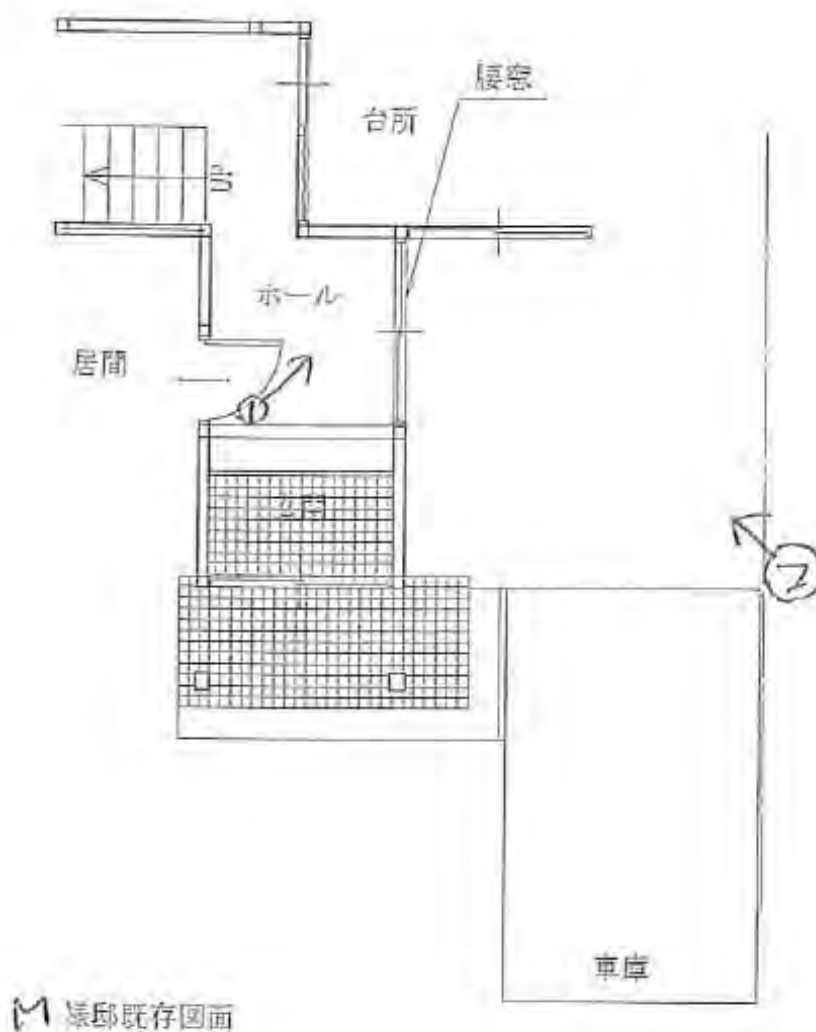
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	自立での外出	玄関ホール横
2		
3		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関	車椅子利用で居室から玄関までは来られるが、扉が内開きのため開けられない。 玄関前段差が 200 mmあり、自力では外出できない
2		
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）



M 景邸既存図面



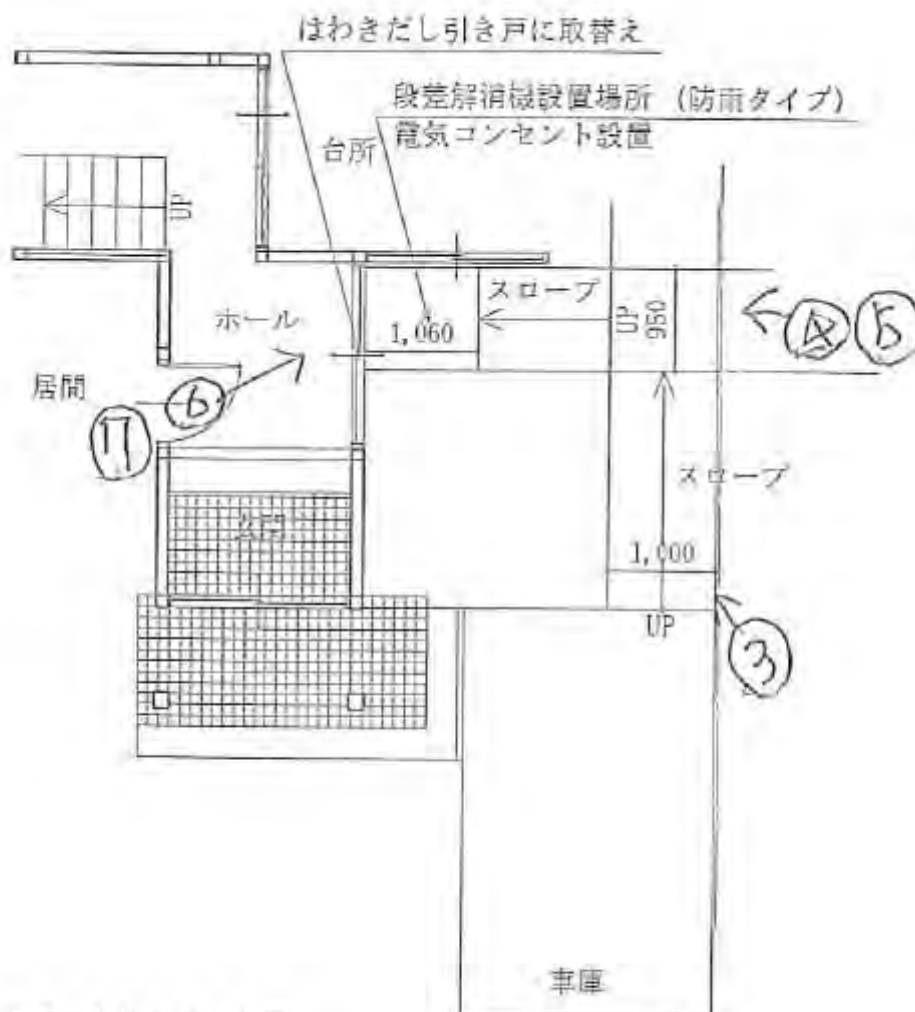
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1			
2			
3			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等を受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他


## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



M 段差解消機設置図面

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関（下駄箱などを移動して場所の確保）窓の部分だと筋交いなどが無いのと、壁の補修が少なくて済む。	②	リフトと設置場所駐車場から近いところに設置したい。
			
④	駐車場からリフトまでの状態自力で移動できるスロープに。	③	リフトの設置スロープが、リフトの面と同じ高さに、スロープの板が要らない様に、雨水がたまらない工夫も。
			
⑤	駆動部との取り合い、転倒防止。	⑥	出入り口サッシも樹脂パネルを入れて重量を押えるのと、割れた時の危険防止に。
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	渡し板の下の方に床を保護するクッションを付ける事で床板の保護になる。	⑧	
			

**10. その他特記事項**

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



# 116(018)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	茨城県常陸太田市
------	----	-------	----------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	自立を目的としたトイレ空間子工夫。 介助しやすい浴室の改修。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	H24 年／概ね 220 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	7.8 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		和室・茶の間
検討に関わった専門家等		□建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー □保健師 □看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 51 歳 / ■男 □女 家族 母 77 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 □配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	有り ( 2 級 第一種 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	脳性小児麻痺による両下肢機能障害
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		排泄 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
		入浴 □自立 □見守り □一部介助 ■全介助 □その他（ ）
		起居 □自立 ■見守り □一部介助 □全介助 □その他（ ）
	移動方法	屋内 ■自立 □見守りが必要 □一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 ■用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） □通所リハビリテーション（デイケア） ■その他（ 通所作業所 ・ リハビリ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□訪問介護（ホームヘルプサービス） ■訪問入浴介護 □訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす □特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり □スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ ■その他（ バスリフト ）

## 6. 工事の目的・対象者の要望

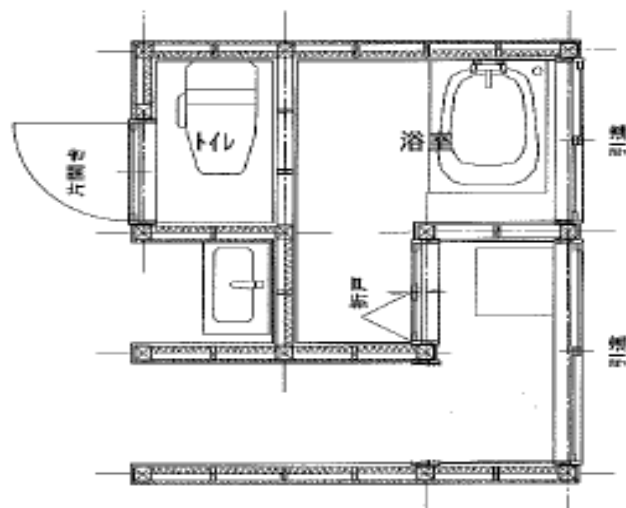
番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	介助なしでトイレを使用する	トイレ
2	本人の姿勢の安定と浴槽内で体を温めたい	脱衣室・浴室
3	介助者が安心して入浴介助をできるようにしたい	浴室
4		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ	便座への高さ調整に台を設置して使用しているが、年齢とともに床に敷いた台、便器への移乗も難しくなってきた。介助者の母も高齢の為介助動作に無理を感じてきた。 トイレのドアの開閉が一人では難しく母が高齢になるとともに自立したトイレの利用が必要となってきた。
2	浴室	母が入浴介助をしていたが、安心して入浴を介助することが難しくなってきた。
3		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

【改修前】





## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

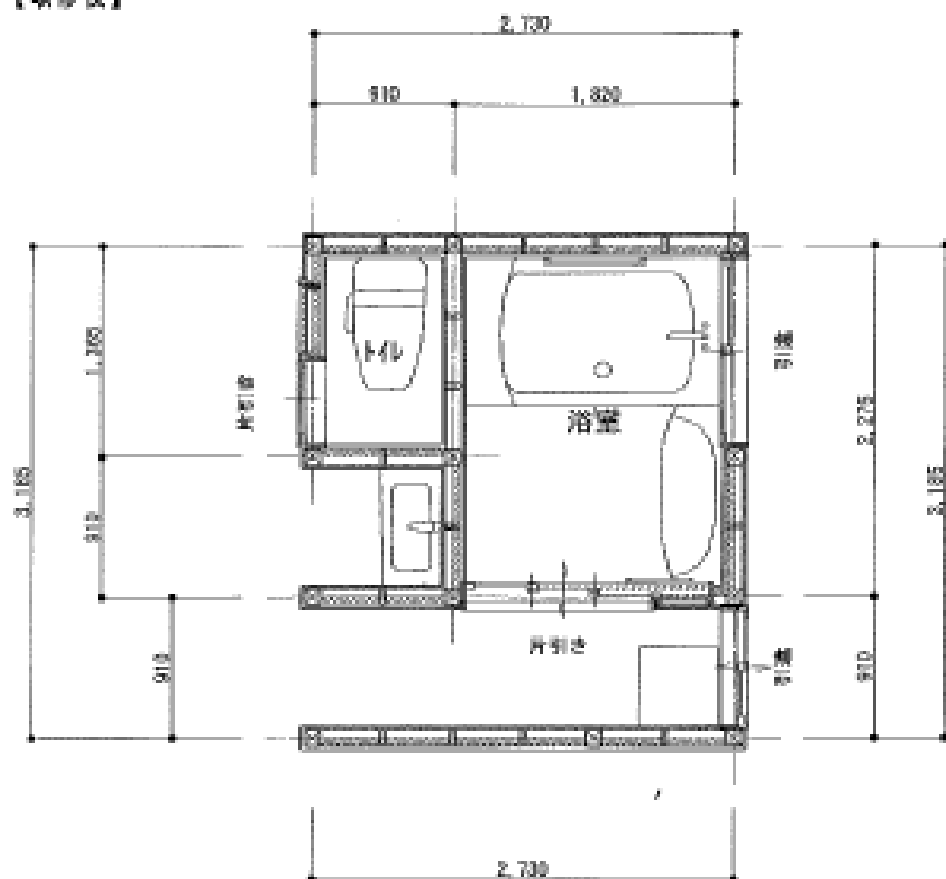
番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ	床面を廊下の高さに合わせることで出入りがスムーズになった。	⑥ 自立
2	トイレ	複数の手すりを設置することでトイレの利用が自立してできるようになった。	⑥ 自立
3	トイレ	トイレのドアから引き戸へ変更することで体の移動が少なく、トイレの出入りが楽になった。（以前は介助者がドアの開け閉めをしていた）	⑥ 自立
4	トイレ	便器を床下に埋め込む（便座までの高さを H=250 ）	⑥ 自立
5	浴室	浴室のスペースの確保と段差の改修（浴室入り口段差 H=170）	③
6	浴室	バスリフトを設置し体を暖めるために浴槽内に入ることができるようになった。（外部の介助を受けての入浴となる） 本人の体の安定を図るための手すりの設置で入浴しやすくする。	③
7	脱衣室	浴室入り口は介助スペースの確保の為に3枚引き戸にする。 シャワーチェアを必要となったときに和室から廊下脱衣スペース・浴室への動線確保（工事中は2階が寝室であったが、現在2階に上がれず和室を寝室として利用している） 廊下の一部を脱衣スペースに変更。	⑤
8			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図

【改修後】



## 9.工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	トイレ	②	トイレ
			
③	トイレ	④	トイレ
			

⑤	浴室	⑥	浴室
			
番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	脱衣室	⑧	
			

# 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。

# 117(070)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	S邸	事例所在地	宮城県仙台市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	車いす利用でも生活の継続が可能で、ホームヘルパーも介助動作が出来るよう、トイレへの動線変更、玄関扉の自動化などを行った。

#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	<input type="checkbox"/> 戸建て <input checked="" type="checkbox"/> 共同建て <input type="checkbox"/> その他（ ）
	建物構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input checked="" type="checkbox"/> ＲＣ造 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	所有関係	<input checked="" type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 借家 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	延べ床面積／階数	46 m <sup>2</sup> ／ 10 階建（6 階部分）
	工事実施年／工事費用	平成 24 年／概ね 300 万円
	工事対象面積 （改築・増築の場合）	25 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 平坦地 <input type="checkbox"/> 傾斜地 <input type="checkbox"/> 前面道路と高低差有り <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		
検討に関わった専門家等		<input checked="" type="checkbox"/> 建築士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input checked="" type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医師 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉住環境コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> その他（社会福祉士 ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 （対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別）	対象者 45 歳 / <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 家族 無し
	* 家族内の主たる介助者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 介助者無し <input type="checkbox"/> 介助者有り（ <input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 息子 <input type="checkbox"/> 娘 <input type="checkbox"/> 子どもの配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> その他）
	* 要介護度	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 1 <input type="checkbox"/> 要支援 2 <input type="checkbox"/> 要介護 1 <input type="checkbox"/> 要介護 2 <input type="checkbox"/> 要介護 3 <input type="checkbox"/> 要介護 4 <input type="checkbox"/> 要介護 5 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 （障害種別と等級）	有り （下肢 2 級 全体で 1 級）
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	筋ジストロフィー
	* 認知症の有無と状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 認知症の疑い有り <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中等度 <input type="checkbox"/> 重度
	ＡＤＬの状況	食事 <input checked="" type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		排泄 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		入浴 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
		起居 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	移動方法	屋内 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）
		屋外 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 用具利用（ <input type="checkbox"/> 杖利用 <input type="checkbox"/> 歩行器利用 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子利用）

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	□通所介護（デイサービス） ■通所リハビリテーション（デイケア） □その他（ 神経難病病院への通院 ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	■有り □無し
	種類	■訪問介護（ホームヘルプサービス） □訪問入浴介護 ■訪問看護 ■訪問リハビリテーション □その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り □無し
	種類	■車いす ■特殊寝台（介護ベッドなど） ■手すり ■スロープ □歩行器 □ポータブルトイレ □その他（ ）

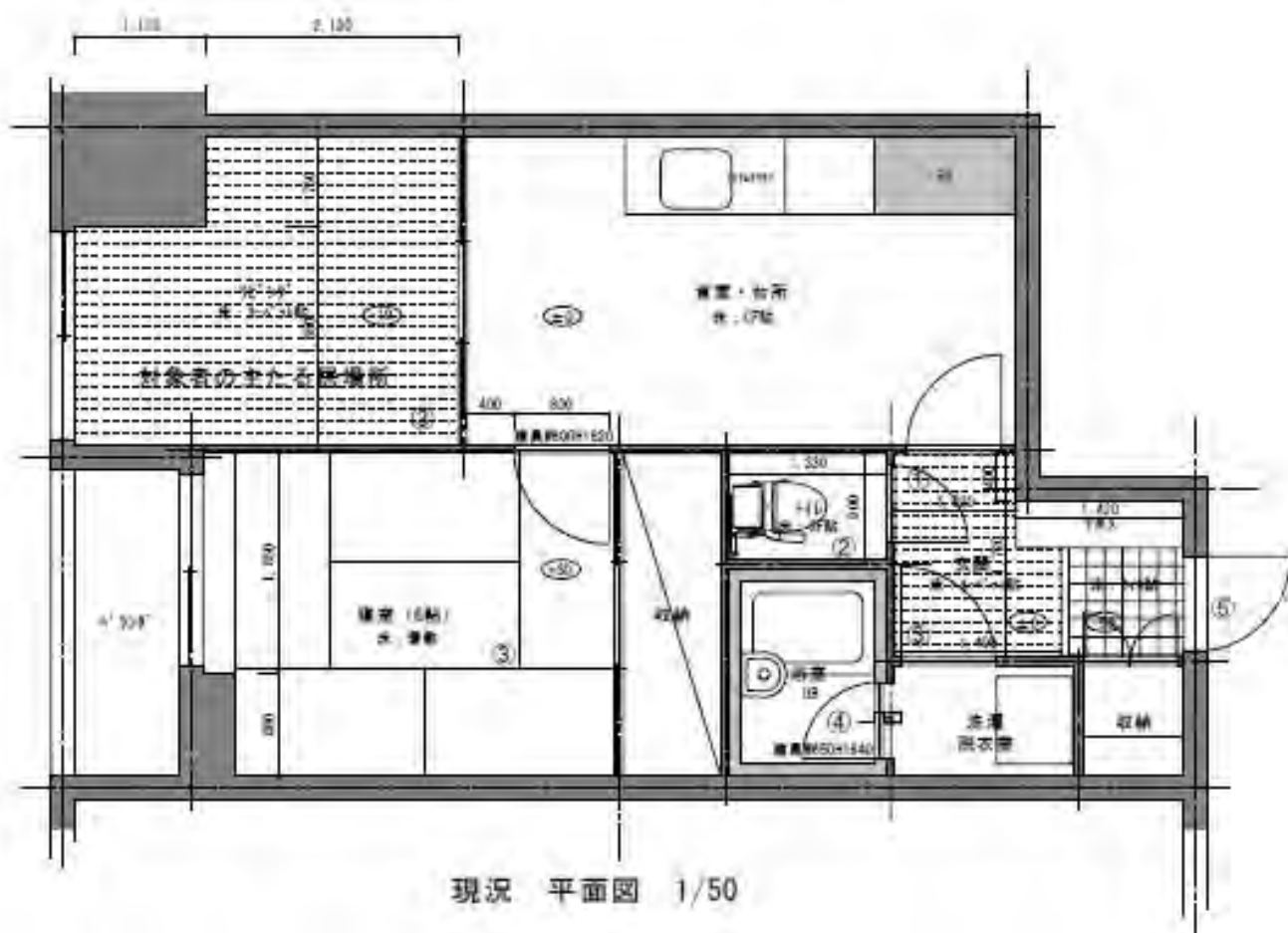
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	車いすでトイレまで行きたい	トイレ
2	トイレで介助してもらいやすくしたい	トイレ
3	車いすで屋内を移動しやすくしたい	屋内（床・建具）
4	入浴動作を介助してもらいやすくしたい	浴室・脱衣室
5	介助なしでもマンション共同玄関まで行きたい	玄関
6	車いすのまま、台所の水栓が使いたい	台所
7		

7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	トイレ動線	トイレの配置上、車いすでトイレまで行けない。
2	トイレ	トイレ内の空間が狭く、介助が困難。
3	屋内の床	床が絨毯、畳の部分は、車いすでの移動に適していない。
4	浴室	つかまられる部分が無いため、入浴動作が困難。
5	玄関戸	開き戸で、開いたまま固定できないため、車いすで通過できない。
6	玄関段差	玄関に 50mm 程度の段差があり、車いすで通行できない。
7	台所	車いすに座った状態だと、水栓に手が届かない。
8		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





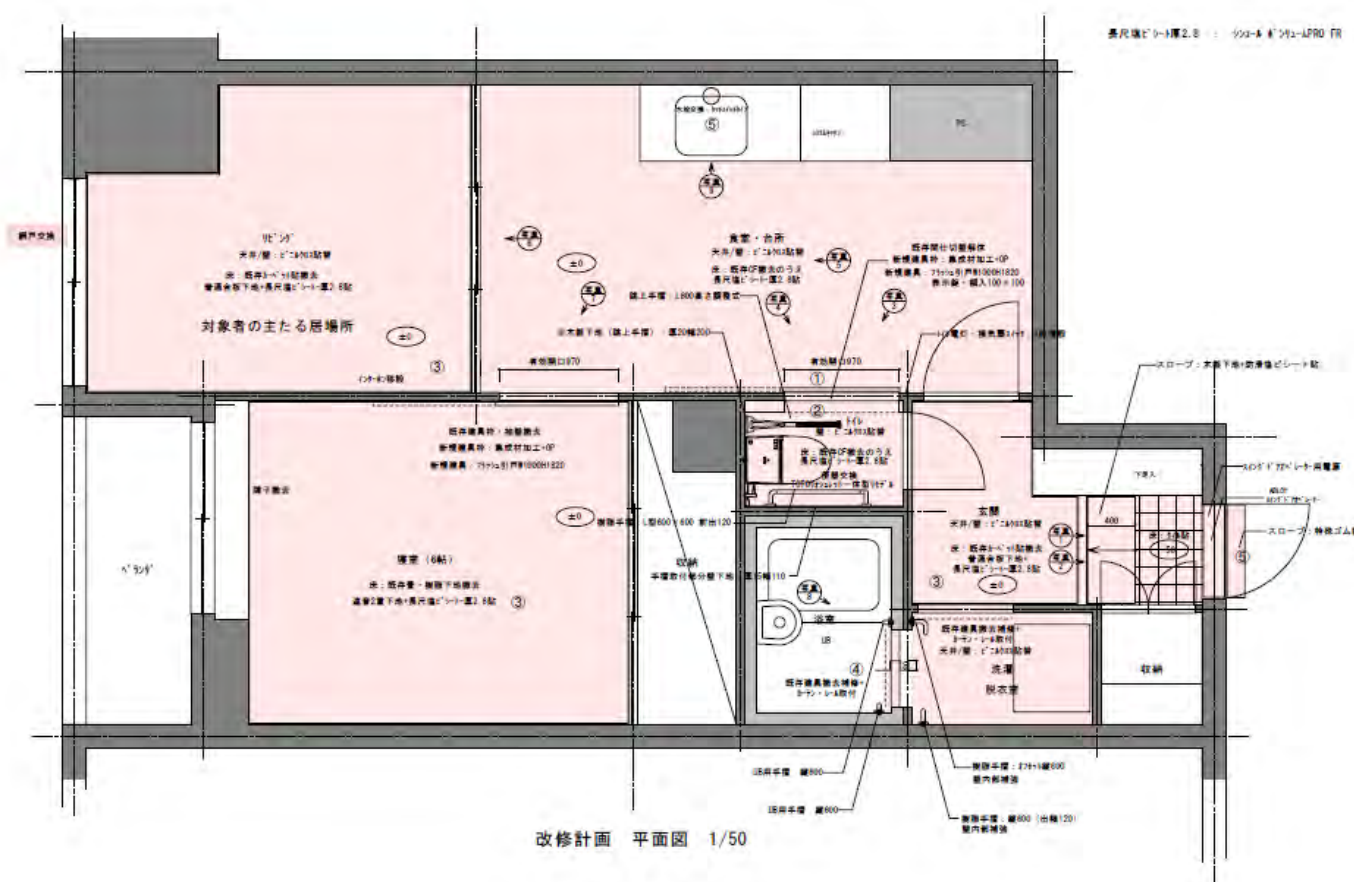
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	トイレ動線	食堂から直接トイレへ行けるよう新規開口部を設けた。	④
2	トイレ	上記開口を設けることで、側方から介助できるようにした。	③
3	屋内の床	樹脂シート仕上として、車いすの移動を妨げないようにした。	④
4	浴室	各部に手摺を取付け、入浴動作を安定化した。	③
5	玄関戸	リモコン操作の自動扉とし、スロープを設けた。	①
6	台所	水栓金具を前面で操作できるタイプに交換した。	⑤
7			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	玄関 自動扉	②	玄関 スロープ
			
③	トイレ 設備・手摺等	④	食堂～トイレ 建具新設
			
⑤	食堂 床材	⑥	リビング 床材
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	食堂～寝室 建具開口拡大	⑧	浴室 手摺等
			
⑨	台所 水栓交換	⑩	
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。



# 118(078)「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」 調査票

## 1. ご協力いただいた方のご連絡先

勤務先・所属	
名前	
郵便番号／連絡先住所	
電話番号／ファクシミリ番号	
メールアドレス	

## 2. 事例名称

事例名称	H邸	事例所在地	富山市射水市
------	----	-------	--------

## 3. 事例分類

項目	回答欄
新築・建替え・改修・増築の別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 建替え <input checked="" type="checkbox"/> 改修（増築を除く） <input type="checkbox"/> 増築
対象者の別	<input type="checkbox"/> 高齢者対応 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者対応 <input type="checkbox"/> 高齢障害者対応
工事分類 (主たる工事分類一つをチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 主に対象者の現在の状況を考慮した工事 <input type="checkbox"/> 主に対象者の今後の状況の変化を見越した工事
工夫分類（主たる工夫の別） (主たる工夫について、右記5つの項目からチェック（複数可）した上で、その他工夫点もあれば下記の「その他」にもチェックをして下さい)	<input checked="" type="checkbox"/> 対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫 <input type="checkbox"/> 介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫 <hr/> <input type="checkbox"/> その他（ ）
主たる工夫のポイント	外出と室内移動（寝室・LDK・廊下・トイレ）が、本人の自立が可能なように改修した。



#### 4. 事例概要

項目		回答欄
住宅概要	建て方	■戸建て □共同建て □その他（ ）
	建物構造	■木造 □鉄骨造 □RC造 □その他（ ）
	所有関係	■持ち家 □借家 □その他（ ）
	延べ床面積／階数	156.5 m <sup>2</sup> ／ 2 階建
	工事実施年／工事費用	平成 22 年／概ね 130 万円
	工事対象面積 (改築・増築の場合)	49.76 m <sup>2</sup>
	敷地の状況	■平坦地 □傾斜地 □前面道路と高低差有り □その他（ ）
対象者の主たる居住スペース		リビング、ダイニング、寝室
検討に関わった専門家等		■建築士 □作業療法士 ■理学療法士 □ケアマネジャー □ホームヘルパー ■保健師 ■看護師 □医師 □福祉用具プランナー等の福祉用具の専門家 □福祉住環境コーディネーター □その他（ ）

#### 5. 対象者の状況

※ 工事時点の状況として下さい。

項目		回答欄
世帯状況	対象者及び家族構成 (対象者の年齢／性別、 家族の続柄／年齢／性別)	対象者 60 歳 / □男 ■女 家族 夫 65 歳、娘 35 歳
	* 家族内の主たる介助者の状況	□介助者無し ■介助者有り (□親 ■配偶者 □息子 □娘 □子どもの配偶者 □孫 □その他)
	* 要介護度	□自立 □要支援 1 □要支援 2 □要介護 1 □要介護 2 □要介護 3 □要介護 4 □要介護 5 □要介護認定を受けていないため不明
身体状況	* 身体障害の有無と状況 (障害種別と等級)	2 級 (筋緊張性筋ジストロフィーによる両上下肢機能障害 )
	* 疾病、先天性疾患の有無と状況	平成 8 年進行性筋ジストロフィーと診断 平成 15 年障害者手帳 2 級交付
	* 認知症の有無と状況	■無し □認知症の疑い有り □軽度 □中等度 □重度
	A D L の状況	食事 ■自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 (スプーン使用 )
		排泄 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 (夫の介助 )
		入浴 □自立 □見守り ■一部介助 □全介助 □その他 (夫の介助 )
		起居 □自立 □見守り □一部介助 □全介助 □その他 ( )
	移動方法	屋内 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 □車椅子利用)
		屋外 □自立 □見守りが必要 ■一部介助 □用具利用 (□杖利用 □歩行器利用 ■車椅子利用)

*改修・建築後の 通所系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 通所介護（デイサービス） <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション（デイケア） <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 訪問系サービスの 利用状況	有無	<input type="checkbox"/> 有り ■無し
	種類	<input type="checkbox"/> 訪問介護（ホームヘルプサービス） <input type="checkbox"/> 訪問入浴介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> その他（ ）
*改修・建築後の 福祉用具の利用 状況	有無	■有り <input type="checkbox"/> 無し
	種類	■車いす <input type="checkbox"/> 特殊寝台（介護ベッドなど） <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> スロープ <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> その他（ ）

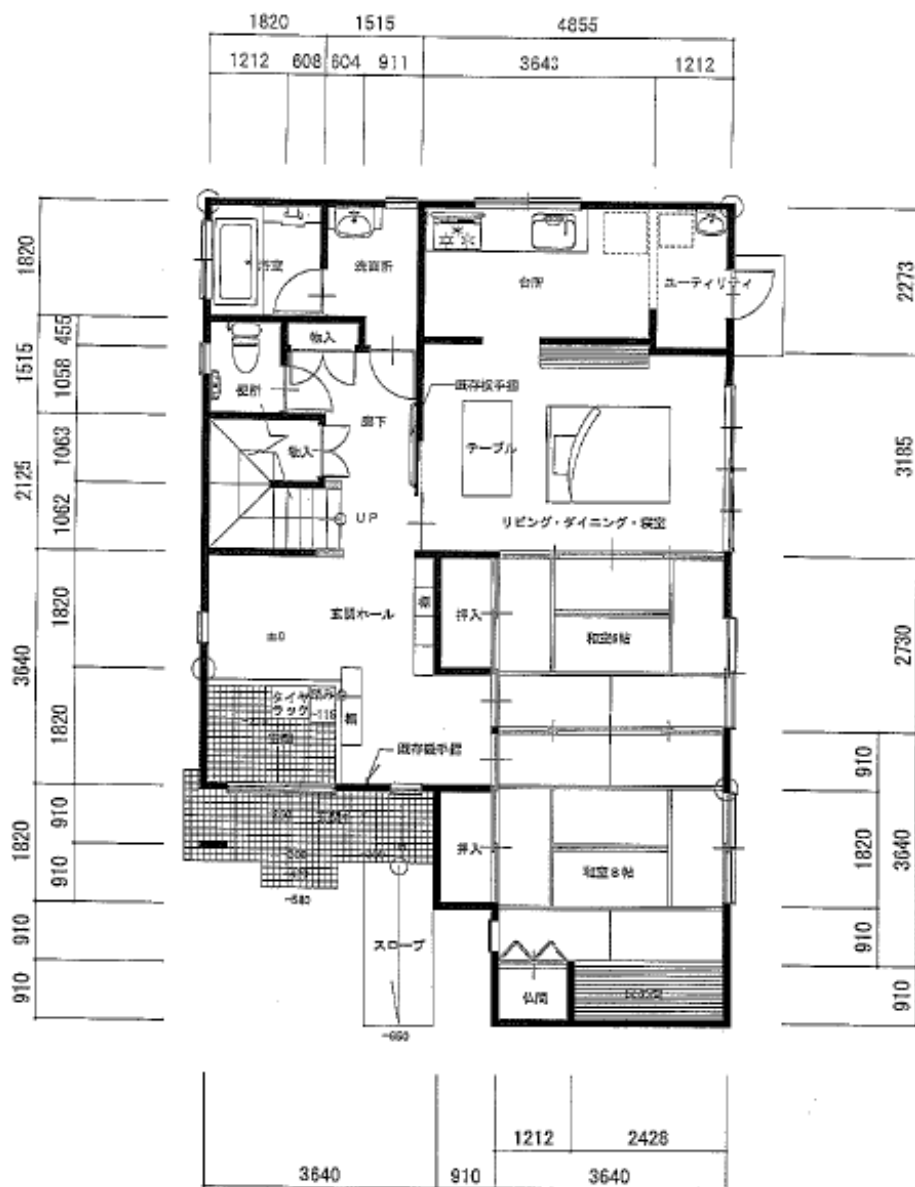
## 6. 工事の目的・対象者の要望

番号	工事の目的・対象者の要望	対応する場所
1	独りで外出したい	玄関、玄関ホール、ポーチ
2	独りでトイレに行き、排泄したい	寝室、廊下、トイレ
3	独りで台所に行き、家事をしたい	寝室、台所
4	独りでベッドから立ち上がりたい	寝室
5	独りで家の中を動きたい	LDK、寝室、廊下、台所
6		

## 7. 建替え・改修・増築前の問題点及び従前住宅の平面図（新築の場合は不要）

番号	問題の発生場所	具体の課題・問題の内容
1	玄関、玄関ホール、ポーチ	玄関にもポーチにも段差があり、スロープあるが急な為、自力では外出できない。
2	寝室	ベッドからつかまる所がないので、自力では立上れない。
3	寝室、廊下、トイレ	つかまる所がない事、トイレでも便器の周りに手すりがなく、自力ではできない。
4	寝室、台所	つかまる所がないので、台所に自力では行けない。
5		

■従前住宅の平面図（新築の場合は不要）





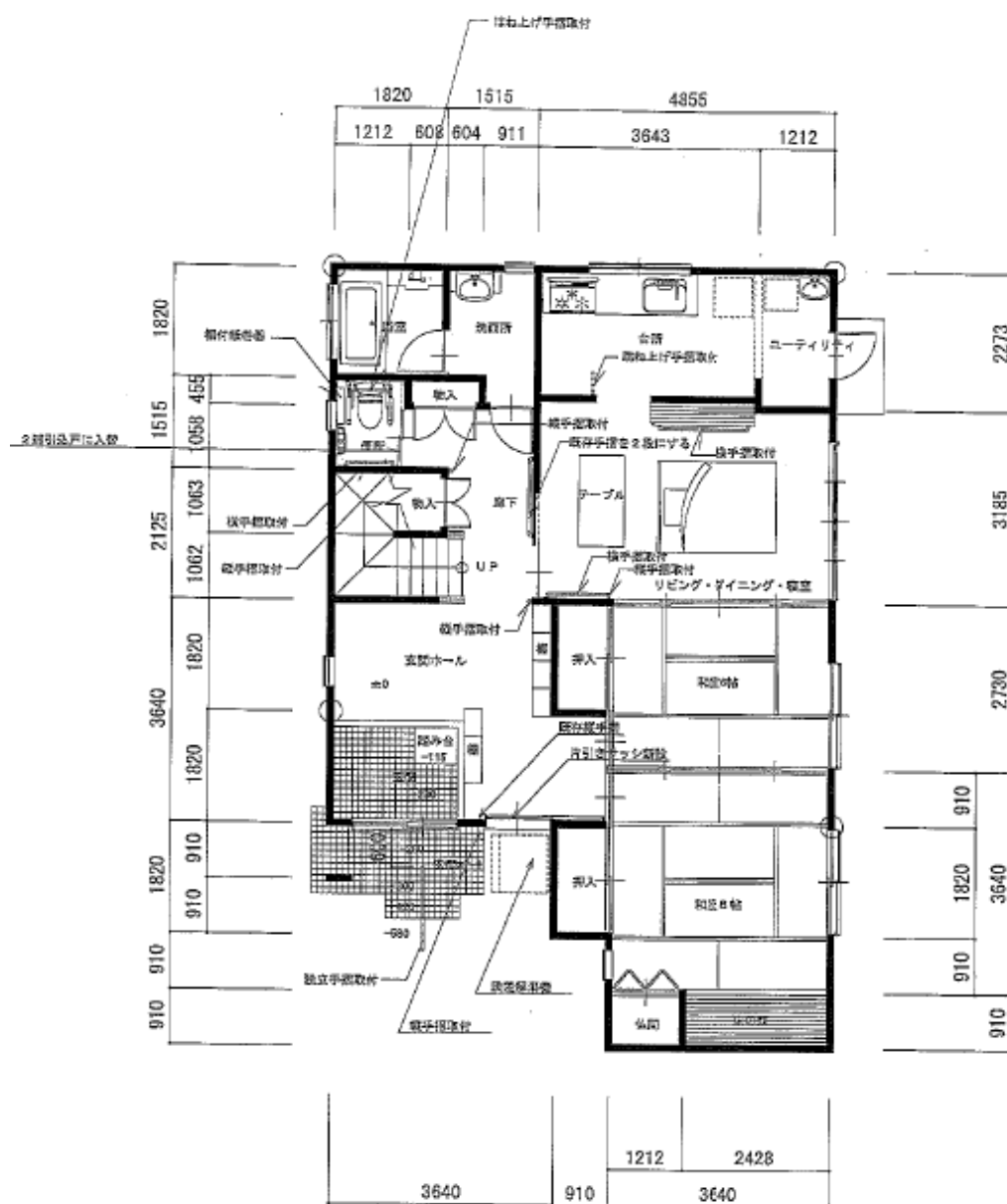
## 8. 新築・建替え・改修・増築後の工夫及び住宅平面図

番号	工夫場所	工夫した内容	工夫分類※
1	玄関ホール、ポーチ	玄関ホールにははき出し片引戸を設置し、外部に段差解消機を設置し、自力で外出できるようにした。	①
2	寝室、廊下、トイレ	ベッドからの立上り用に手すりを設置し、移動の動線に手すりを設置、トイレにも手すりを設置し、トイレの入口を2本引戸とし、自力で移動とトイレができるようにした。	④
3	台所	台所内に跳ね上げ手すりを取付、自力で台所へ行き、キッチン作業ができるようにした。	①
4			

### ※工夫分類

- ①対象者が外出しやすい（通所サービスに行きやすい等）工夫
- ②ホームヘルパー等の介護者が対象者の寝室等に行きやすい（訪問サービス事業者が入りやすい）工夫
- ③ホームヘルパー等の介護者の介護等が受けやすい（訪問サービス事業者のサービス提供を受けやすい）工夫
- ④対象者が車椅子、介護ベッド等の福祉用具の利用を行いやすい工夫
- ⑤介護等が必要となった場合に備える（将来的に居宅サービスを受給しやすい）工夫
- ⑥その他

## ■新築・建替え・改修・増築後の住宅平面図



### 1階計画平面図

## 9. 工夫した場所を中心とする写真

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
①	廊下	②	廊下
			
③	トイレ	④	トイレ
			
⑤	トイレ入り口	⑥	トイレ入り口
			

番号	撮影場所、撮影箇所	番号	撮影場所、撮影箇所
⑦	玄関	⑧	玄関ポーチ
			

#### 10. その他特記事項

設計上のポイントや設計・工事過程における課題点等、上記の回答欄で記載できないこと等について自由に記入して下さい。